

鹿島浦遺跡

北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域
埋蔵文化財発掘調査報告書

〔第1分冊 本文・挿図編〕

2010

東日本高速道路株式会社
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

鹿島浦遺跡は、太田市東今泉町に所在し、北関東自動車道の伊勢崎インターチェンジから県境間の建設に伴い、平成 15・16 年度に当事業団によって発掘調査が実施されました。

このほど、東日本高速道路株式会社の委託を受けて、平成 20 年度から平成 21 年度にかけて整理事業を行いました成果がまとめられ、ここに報告書を刊行する運びとなりました。

遺跡は、現在の北関東自動車道太田桐生インターチェンジ下にあり、インターに接して国道 122 号線、500m 程で国道 50 号線との合流地点という交通の要所に位置しています。

発掘調査においても、都と東北地方を結ぶ古代官道「東山道駅路」跡が発見され、西に大道東遺跡を経て大道西遺跡・ハケ入遺跡へと約 1 km にわたり直線的に繋がる道路跡であることが解りました。時を越えて交通の要所である北関東自動車道のインターチェンジがこの地に来たことは、人の営みの普遍性を物語っているかのように思えます。

本報告書の刊行に至るまでには、東日本高速道路株式会社(旧日本道路公団)・群馬県教育委員会・太田市教育委員会をはじめ、関係各位並びに周辺地域住民の方々にも多大なご尽力・ご協力を賜りました。ここに記して感謝申し上げますとともに、今後、本報告書ならびに出土資料が教育や研究に広く活用されますことを願い、序といたします。

平成 22 年 3 月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長 須田 栄一

例 言

本書は、平成15・16年度に行われた北関東自動車道(伊勢崎～県境)の建設に伴う「鹿島浦遺跡」の埋蔵文化財発掘調査報告書である。遺跡は、群馬県太田市東今泉町487番地他に所在し、隣接の菜前遺跡と合わせて、現在の北関東自動車道太田桐生インターチェンジ部分に相当する。

1、事業主体 東日本高速道路株式会社 関東支社 (調査時旧称「日本道路公団 東京建設局」)

2、調査主体 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

3、調査期間 平成15年8月1日～平成16年3月31日

平成16年4月1日～平成17年3月31日

4、調査面積 48,483㎡(平成15年度=14,138㎡ 平成16年度=34,345㎡)

5、調査組織

理事長 小野宇三郎、常務理事 住谷永市、事業局長 神保佑史、管理部長 萩原利通(H15)・矢崎敏夫(H16)

総務課 課長 植原恒夫(H15)・丸岡道雄(H16)、係長 竹内 宏・高橋房雄、主幹 須田朋子・吉田有光

主任 阿久澤玄洋・栗原幸代(H16)・佐藤聖行(H16)、主事 田中賢一

補助員 今井もと子・内山佳子・若田 誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・狩野真子

東毛調査事務所 所長 平野進一、調査研究部長 真下高幸、調査研究第二課長 下城 正・井川達雄(H15)、

調査研究第三課長 中沢 悟(H16)、課長 石塚久則

庶務課 係長 笠原秀樹、副主幹 柳岡良宏・今泉大作(H16)、

主任 北野勝美(H15)・清水秀紀(H16)、事務補助員 中沢恵子・金子三枝子

調査担当者 [平成15年度] 専門員 関根頼二・土谷慎二

専門員 廣津英一・小林 徹 [範囲確認調査 2月16日～3月5日]

[平成16年度] 専門員 関根頼二(～7月)・新倉明彦・土谷慎二

調査研究員 齊藤幸男(8月～)・横山直樹

6、整理主体 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

7、整理期間 平成20年4月1日～平成21年3月31日

平成21年4月1日～平成22年3月31日

8、整理組織

[平成20年度]

理事長 高橋勇夫、常務理事 木村裕紀・津金澤吉茂、資料整理部長 相京建史、調査研究部長 飯島義雄

総務部 補佐兼総務GL 笠原秀樹、係長(総括)兼経理GL 佐嶋芳明、

係長(総括) 須田朋子、主幹(総括) 齋藤恵利子・柳岡良宏、主幹 矢島一美、主任 齋藤陽子

事務補助員 今井もと子・若田誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・狩野真子・武藤秀典

整理担当 専門員(総括) 新倉明彦、主任調査研究員 田村邦宏

器械実測 整理補助員 田所順子・岸 弘子・小池益美

デジタル写真処理 整理補助員 牧野裕美・市田武子・酒井史恵・廣津真希子・安藤美奈子・矢端真規

高梨由美子・須藤絵美・下川陽子・横塚由香

保存処理 主幹 関 邦一、補助員 小村浩一・津久井桂一・多田ひさ子

木器処理 整理補助員 田中のぶ子・狩野なつ子・小池 縁・佐々木茂美

遺物写真撮影 主幹(総括) 佐藤元彦

[平成 21 年度]

理事長 高橋勇夫・須田栄一、常務理事 木村裕紀、事業局長 相京建史
資料整理部長 石坂 茂、調査研究部長 飯島義雄
総務部 総務部長兼総務 GL 笠原秀樹、係長(総括)兼経理 GL 佐嶋芳明、係長(総括) 須田朋子、
主幹(総括) 柳岡良宏、主幹 田口小百合、矢島一美、主任 高橋次代
事務補助員 今井もと子・若田誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・狩野真子・武藤秀典
整理担当 主任専門員(総括) 新倉明彦
器械実測 整理補助員 田所順子・木原幸子・岸 弘子・福島瑞希
デジタル写真処理 整理補助員 牧野裕美・市田武子・酒井史恵・廣津真希子・安藤美奈子・矢端真観
高梨由美子・須藤絵美・下川陽子・横塚由香
保存処理 主幹 関 邦一、補助員 増田政子・津久井桂一・多田ひさ子・
木器処理 整理補助員 田中のぶ子・狩野なつ子
遺物写真撮影 主幹(総括) 佐藤元彦

本報告書の執筆者

編集・執筆 主任専門員(総括) 新倉明彦、主任調査研究員 田村邦宏
遺物観察 上席専門員 綿貫邦男・神谷佳明、主席専門員 山口逸弘、主任専門員(総括)大西雅広
主任調査研究員 笹澤泰史
執筆 主任専門員(総括) 関根慎二 第3章 第1節 縄文時代の遺構と遺物 第1項
主任専門員(総括) 岩崎泰一 第3章 第1節 縄文時代の遺構と遺物 第2項 石器
専門員(総括) 高島英之 第3章 第2節 第4項-6 道路状遺構(東山道駅路)
指導・助言 主席専門員(総括) 小島敦子、主任調査研究員 齊田智彦

9. 指導・分析・委託等

発掘調査指導・助言 古代交通研究会 木下 良・道路文化研究所 武部健一
遺構掘削請負業務 (株)技研測量(代理人 岩松・茂木)、火山灰等分析 (株)古環境研究所、
航空写真撮影業務 (株)シン技術コンサル、地上測量業務 (株)アコン測量・朝日測量、
遺構図デジタルトレース業務 (株)アコン測量、石材同定 群馬県地質研究会会員 飯島静男

- 出土遺物並びに遺構測量図・写真等の記録類は、すべて群馬県埋蔵文化財調査センターに保管されている。今後、研究・教育等各方面での幅広い活用が望まれる。
- 発掘調査時から本報告書作成に至る間、群馬県教育委員会・太田市教育委員会をはじめ関係機関、並びに周辺住民の方々には多大な協力を頂いた。また、猛暑・極寒の厳しい気候時においても発掘調査に従事して頂いた発掘作業員各位にも改めて感謝の意を表したい。

凡 例

1、遺構の名称と番号

本報告書に用いた遺構名称は、発掘調査時において付与された記号(SJ・SB・SD・SKなど)を「竪穴住居跡・掘立柱建物跡」などに改め、また、番号については、遺構測量原図・出土遺物注記などとの整合性を保つために、原則として調査時に付した番号を踏襲し、()内に旧名称・旧番号を記した。

2、方位と主軸

本報告書の遺構図・全体図に記された方位記号の示す北は座標上の北を示し、主軸角度等の計算においてもこれを基準として用いた。

3、挿図の縮尺

本報告書に掲載の図の縮尺は、原則として下記のとおりとし、例外については挿図内にその縮尺を記した。

遺構実測図

竪穴住居跡・掘立柱建物跡 1:80 (炉・カマド跡 1:40)、井戸跡・土坑跡・Pit跡 1:40、
溝跡 1:100

遺物実測図

土器(土師器・須恵器・縄文土器〔中期〜〕) 1:4、土器(縄文土器〔早期〕) 1:2、
土製・石製・金属製品(土錘・砥石・打製石斧・鉄滓) 1:4、
石製・金属製品(紡錘車・石核・古銭) 1:2、小型石製・金属製品(石錘・帯金具) 1:1、
大型土器・大型石製品(須恵器大甕・五輪塔・石臼・石皿) 1:8

4、挿図のトーン

挿図内のトーン部は、原則として下記を表し、これ以外については挿図内に記した。

遺構実測図



焼土・炭

遺物実測図



内面黒色処理



粘土付着



漆



軸

5、写真図版

遺物写真の縮尺は、原則として実測図に準じた縮尺を用いた。

6、色 調

遺構埋土の注釈および遺物観察表に記した色調表現は、農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所色票監修「新版標準土色帖」に拠った。

7、地形図

本報告書で使用した地形図は下記のとおりである。

国土地理院 地勢図 1/200,000 「宇都宮」 地形図 1/25,000 「桐生」・「上野境」

国土地理院 数値地図 25000 (地図画像) 「宇都宮」

目次

扉	
口絵	
序	
例言	
凡例	
目次	
遺構別検索(挿図・図版目次)	
第1章 発掘調査の概要	
第1節 調査に至る経緯・・・・・・・・・・	1頁
第2節 調査の方法と経過・・・・・・・・・・	1頁
第3節 基本土層・・・・・・・・・・	3頁
第2章 周辺の環境	
第1節 地理的環境・・・・・・・・・・	4頁
第2節 歴史的環境・・・・・・・・・・	5頁
第3章 検出遺構と出土遺物	
第1節 縄文時代の遺構と遺物	
第1項 埋裏・土坑跡・・・・・・・・・・	9頁
第2項 遺構外出土遺物(縄文)・・	22頁
第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物	
第1項 1・2・3区の遺構と遺物	
1、調査区の概要・・・・・・・・・・	48頁
2、竪穴住居跡・・・・・・・・・・	51頁
3、掘立柱建物跡・・・・・・・・・・	187頁
4、土坑跡・Pit跡・・・・・・・・・・	188頁
5、井戸跡・・・・・・・・・・	210頁
6、その他の遺構・・・・・・・・・・	216頁
第2項 4区の遺構と遺物	
1、調査区の概要・・・・・・・・・・	223頁
2、竪穴住居跡・・・・・・・・・・	225頁
3、土坑跡・Pit跡・・・・・・・・・・	254頁
4、井戸跡・・・・・・・・・・	271頁
5、その他の遺構・・・・・・・・・・	271頁
第3項 5区の遺構と遺物	
1、調査区の概要・・・・・・・・・・	275頁
2、調査区の概要・・・・・・・・・・	276頁
3、竪穴住居跡・・・・・・・・・・	279頁
4、掘立柱建物跡・・・・・・・・・・	310頁
5、土坑跡・Pit跡・・・・・・・・・・	312頁
6、井戸跡・・・・・・・・・・	319頁
7、道路状遺構・・・・・・・・・・	320頁
第5項 8区の遺構と遺物	
1、調査区の概要・・・・・・・・・・	325頁
2、竪穴住居跡・・・・・・・・・・	327頁
3、掘立柱建物跡・・・・・・・・・・	356頁
4、土坑跡・Pit跡・・・・・・・・・・	362頁
5、井戸跡・・・・・・・・・・	407頁
6、その他の遺構・・・・・・・・・・	411頁
第6項 溝跡・・・・・・・・・・	414頁
第7項 遺構外出土遺物 (奈良・平安)・・・・・・・・・・	530頁
第3節 中世～近現代の遺構と遺物	
第1項 畠跡・耕作痕・・・・・・・・・・	536頁
第2項 氾濫跡(旧大溝跡) および遺構外出土遺物(中世～)	558頁
報告書抄録・・・・・・・・・・	601頁
写真図版編(第2分冊)	
検出遺構・・・・・・・・・・	PL 01
出土遺物・・・・・・・・・・	PL235
付 図 全体図	

單元性標準 136 詳

綱要區	標準名	位 稱	標準類別	標準號數	適用範圍	綱要區	標準名	位 稱	標準類別	標準號數	適用範圍	標準名	位 稱	標準類別	標準號數	適用範圍	備 考
1-204	1号单元住宅标准	1-204-S-01	31	第3030区	51	第3030区	51	6	249	-	-	-	-	-	-	-	-
1-205	2号单元住宅标准	1-205-S-02	51,52	第3036,3038区	52	第3036区	53	6,7	249	-	-	-	-	-	-	-	-
1-206	3号单元住宅标准	1-206-S-03	53,54	第3039,4030区	54	第4100区	54	8	249	-	-	-	-	-	-	-	-
1-208	4号单元住宅标准	1-208-S-04	54,55	第412-4430区	56	第4310区	56	9,1	249	-	-	-	-	-	-	-	-
1-209	5号单元住宅标准	1-209-S-05	57	第404,4100区	57	第4400区	57	11	249	-	-	-	-	-	-	-	-
1-210	6号单元住宅标准	1-210-S-06	58	第4000区	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
1-207	7号单元住宅标准	1-207-S-07	58,6	第20,5100区	61	第3410区	61	13,14	250	-	-	-	-	-	-	-	-
1-211	8号单元住宅标准	1-211-S-08	59-61	第300-5300区	64	第5500区	62	13,14	250	-	-	-	-	-	-	-	-
1-203	9号单元住宅标准	1-203-S-09	62-63	第506,5170区	63,64	第308,590区	64	13	250	-	-	-	-	-	-	-	-
1-202	10号单元住宅标准	1-202-S-10	65	第3000区	66	第6100区	66,67	16	250	-	-	-	-	-	-	-	-
1-201	11号单元住宅标准	1-201-S-11	67	第3020区	68	第6300区	68	17	251	-	-	-	-	-	-	-	-
1-200	12号单元住宅标准	1-200-S-12	69	第3040区	70	第6500区	70	18	251	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	13号单元住宅标准	1-204-S-13	80	第3040区	70	第6600区	70	18	251	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	14号单元住宅标准	1-204-S-14	71	第3040区	72	第6600区	72	19	251	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	15号单元住宅标准	1-204-S-15	73,74	第309,7100区	75	第7200区	75	20	251,252	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	16号单元住宅标准	1-204-S-16	73,74	第309,7300区	76	第7300区	76	21	252	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	17号单元住宅标准	1-204-S-17	77	第3070区	78	第7300区	78	22	252	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	18号单元住宅标准	1-204-S-18	79	第3080区	78	第7300区	78	23	252	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	19号单元住宅标准	1-204-S-19	80	第3000区	81	第7400区	81	24	252	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	20号单元住宅标准	1-204-S-20	81,82	第300,4100区	82	第8100区	82	25	252	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	21号单元住宅标准	1-204-S-21	83,84	第302,8300区	83	第8200区	84	26	252,253	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	22号单元住宅标准	1-204-S-22	85	第3040区	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	23号单元住宅标准	1-204-S-23	85,86	第305,8700区	86,87	第308,400区	87	28	253	-	-	-	-	-	-	-	-
3-14	14号单元住宅标准	3K-S-24	88	第3040区	88	第3100区	88	29	254	-	-	-	-	-	-	-	-
3-15	25号单元住宅标准	3K-S-25	89	第3040区	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	26号单元住宅标准	1-204-S-26	90	第393,9400区	90	第9400区	90	30,31	254	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	27号单元住宅标准	1-204-S-27	91,92	第395,9600区	92	第9700区	93	32	254	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	28号单元住宅标准	1-204-S-28	94	第3000区	95	第9900区	95	33	254	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	29号单元住宅标准	1-204-S-29	96,97	第100,103,10700区	98	第10300区	97	34,35	255	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	30号单元住宅标准	1-204-S-30	98	第104,105区	100	第10900区	99	34,36	255	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	31号单元住宅标准	1-204-S-31	98,99	第104,106,10700区	100	第10900区	100	34,36	255	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	32号单元住宅标准	1-204-S-32	100,102	第110-112,1100区	102	第113,11400区	101	37	255	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	33号单元住宅标准	1-204-S-33	104	第113-117区	105	第11800区	105	38	256	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	34号单元住宅标准	1-204-S-34	106,109	第119-123区	107	第12200区	108	39	256	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	35号单元住宅标准	1-204-S-35	109	第123,124区	109	第12200区	109	40	256	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	36号单元住宅标准	1-204-S-36	110,111	第126,127区	111	第12600区	112	41	256	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	37号单元住宅标准	1-204-S-37	112,113	第129-131区	113	第13200区	114	42	257	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	38号单元住宅标准	1-204-S-38	114	第11300区	115	第13400区	115	43	257	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	39号单元住宅标准	1-204-S-39	116	第131-137区	116	第130,136,117,13900区	117	44	257	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	40号单元住宅标准	1-204-S-40	118,119	第140-145,119,120,14700区	119,120	第141,14700区	120	45	258	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	41号单元住宅标准	1-204-S-41	121,122	第146,149区	122	第15000区	121	46	258	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	42号单元住宅标准	1-204-S-42	123,124	第151-153区	124	第15400区	123	47	258	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	43号单元住宅标准	1-204-S-43	125	第155,156区	126	第15700区	126	48	258	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	44号单元住宅标准	1-204-S-44	126,127	第158,159区	127	第160,16100区	128	49	259	-	-	-	-	-	-	-	-

1-204	45号单元住宅标准	1-204-S-45	129	第162,163区	129	第16400区	130	50	259	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	46号单元住宅标准	1-204-S-46	130	第163-164区	131	第16900区	131	51	259,260	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	47号单元住宅标准	1-204-S-47	132	第170-173区	133	第17100区	133	52	260	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	48号单元住宅标准	1-204-S-48	133,134	第173-177区	134	第17800区	134	53	260	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	49号单元住宅标准	1-204-S-49	133,136	第179-182区	136	第18200区	136	54	260	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	50号单元住宅标准	1-204-S-50	136,137	第183-185区	139	第186,138,18700区	139	55	260	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	51号单元住宅标准	1-204-S-51	141	第188-190区	141	第19100区	142	56	261	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	52号单元住宅标准	1-204-S-52	142,143	第191-194区	144	第19500区	143	57	261	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	53号单元住宅标准	1-204-S-53	144,145	第196-198区	145	第19900区	145	58	261	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	54号单元住宅标准	1-204-S-54	146,147	第200-202区	147	第20300区	147	59	262	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	55号单元住宅标准	1-204-S-55	148,149	第204-209区	149	第21000区	150	60	262	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	56号单元住宅标准	1-204-S-56	150,153	第211-213区	151	第21400区	151	61	262	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	57号单元住宅标准	1-204-S-57	160	第20000区	-	-	-	-	62	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	58号单元住宅标准	1-204-S-58	152	第215-217区	153	第21800区	154	63	262,263	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	59号单元住宅标准	1-204-S-59	154,155	第219-221区	155	第22200区	155	64	263	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	60号单元住宅标准	1-204-S-60	156	第223-225区	157	第22600区	157	65	263	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	61号单元住宅标准	1-204-S-61	157,158	第227-229区	158	第23000区	159	66	263	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	62号单元住宅标准	1-204-S-62	159,160	第231,232区	160	第23300区	160	67	264	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	63号单元住宅标准	1-204-S-63	160,161	第234,235区	161	第23600区	161	67	264	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	64号单元住宅标准	1-204-S-64	161,162	第237,238区	162	第23900区	162	68	264	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	65号单元住宅标准	1-204-S-65	163	第240区	164	第24100区	164	69	264,265	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	66号单元住宅标准	1-204-S-66	163,166	第243-244区	166	第24600区	166	70	265	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	67号单元住宅标准	1-204-S-67	167	第24600区	168	第24700区	168	71	265	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	68号单元住宅标准	1-204-S-68	168,169	第249-250区	169	第25100区	169	72	265	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	69号单元住宅标准	1-204-S-69	170,171	第252,253区	171	第25400区	171	73	265	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	70号单元住宅标准	1-204-S-70	172	第255,256区	172	第25700区	172	74	266	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	71号单元住宅标准	1-204-S-71	173	第26000区	174	第269,175,26000区	175	75	266,267	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	72号单元住宅标准	1-204-S-72	177	第26100区	177	第26200区	177	76	267	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	73号单元住宅标准	1-204-S-73	178	第26300区	173	第26400区	173	77	267	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	74号单元住宅标准	1-204-S-74	179	第265-267区	179	第26800区	179	78	267	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	75号单元住宅标准	1-204-S-75	180	第269-271区	180	第27000区	180	79	267	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	76号单元住宅标准	1-204-S-76	181	第27200区	181	第27200区	181	80	267	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	77号单元住宅标准	1-204-S-77	182	第273,274区	182	第27500区	182	81	267	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	78号单元住宅标准	1-204-S-78	183	第276-278区	183	第27900区	184	82	267,268	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	79号单元住宅标准	1-204-S-79	184,185	第280,281区	185	第282,186,28300区	186	83	268	-	-	-	-	-	-	-	-
4-1	1号单元住宅标准	4K-S-01	225	第322,323区	4K	第322,323区	4K	-	104	-	-	-	-	-	-	-	-
4-1	2号单元住宅标准	4K-S-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-1	3号单元住宅标准	4K-S-03	225,226	第324-327区	226	第32900区	227	105	271	-	-	-	-	-	-	-	-
4-1	4号单元住宅标准	4K-S-04	227,228	第329-331区	228	第33300区	228	106	271	-	-	-	-	-	-	-	-
4-1	5号单元住宅标准	4K-S-05	229,23	第													

調查區	遺構名	類別	遺構 類別別	碑號 號別	遺物 類別別	碑面 番号	遺物 遺構 写真	遺物 写真	備考	
4区	10号碑元 柱礎跡	6区 S2-10	239.24	第355-354 区	240	第35308	240	312	273	-
4区	11号碑元 柱礎跡	6区 S2-11	241.242	第354-359 区	242	第36090	242	313	273	-
4区	12号碑元 柱礎跡	6区 S2-12	243.244	第360, 363, 364区	243	第36090	244	314	273	-
4区	13号碑元 柱礎跡	6区 S2-13	245	第363-367 区	246	第36090	246	315	273	-
4区	14号碑元 柱礎跡	6区 S2-14	246	第360区	247	第33700	247	316	273	-
4区	15号碑元 柱礎跡	6区 S2-15	247-249	第371, 374 区	249	第33700	250	317	273, 274	-
4区	16号碑元 柱礎跡	6区 S8-110	251	第373-378 区	251	第33700	252	318	274	-
4区	17号碑元 柱礎跡	6区 S2-01	254.255	第380-382 区	255	第36390	255	319	274	-
6区	3号碑元 柱礎跡	6区 S2-01	279.28	第406-408, 410区	280	第41900	280	347	275	-
6区	3号碑元 柱礎跡	6区 S2-02	280, 286	第411-413 区	281	第41900	283	348	275	-
6区	3号碑元 柱礎跡	6区 S2-03	282, 283	第411, 418 区	283	第41900	283	349	275	-
4区	4号碑元 柱礎跡	6区 S2-04	284, 280	第420-422 区	285	第42400	285	350	275	-
7区	3号碑元 柱礎跡	7区 S2-01	286	第424, 425 区	287	第42800	287	351	275	-
7区	3号碑元 柱礎跡	7区 S2-02	287	第427区	288	第42800	288	352	275	-
7区	3号碑元 柱礎跡	7区 S2-03	288, 288	第429, 431 区	289	第43800	289	353	275	-
7区	4号碑元 柱礎跡	7区 S2-04	289	第433区	289	第43200	290	354	275	-
7区	3号碑元 柱礎跡	7区 S2-05	290	第433, 436 区	291	第43700	291	355	275	-
7区	6号碑元 柱礎跡	7区 S2-06	-	-	-	-	-	-	-	-
7区	7号碑元 柱礎跡	7区 S2-07	291, 292	第438-440 区	292	第44100	292	355,	276	-
7区	8号碑元 柱礎跡	7区 S2-08	293, 294	第442-445 区	294	第44800	294	357	276	-
7区	9号碑元 柱礎跡	7区 S2-09	295	第447区	296	第44800	296	358	276	-
7区	10号碑元 柱礎跡	7区 S2-10	296	第448区	296	第44800	296	359	276	-
7区	11号碑元 柱礎跡	7区 S2-11	297, 298	第448, 453 区	298	第45400	299	360	276, 277	-
7区	12号碑元 柱礎跡	7区 S2-12	-	-	-	-	-	-	-	-
7区	13号碑元 柱礎跡	7区 S2-13	300	第454, 456 区	300	第45700	301	361	277	-
7区	14号碑元 柱礎跡	7区 S2-14	301, 302	第454, 459 区	302	第45900	302	362	277	-
7区	15号碑元 柱礎跡	7区 S2-15	303, 303	第460区	303	第46000	304	363	277	-
7区	16号碑元 柱礎跡	7区 S2-16	304	第461区	305	第46100	305	364	277	-
7区	17号碑元 柱礎跡	7区 S2-17	305, 306	第463, 464 区	306	第46400	306	365	277, 278	-
7区	18号碑元 柱礎跡	7区 S2-18	306	第464区	-	-	-	366	-	-
7区	19号碑元 柱礎跡	7区 S2-19	307	第466区	308	第46700	308	367	278	-
7区	20号碑元 柱礎跡	7区 S2-20	309	第468区	309	第46800	309	368	278	-
7区	21号碑元 柱礎跡	7区 S2-21	310	第468区	310	第46800	310	369	278	-
8区	1号碑元 柱礎跡	8区 S2-01	327	第485, 486 区	329	第48700	329	380	279	-
8区	2号碑元 柱礎跡	8区 S2-02	327	第485, 486 区	329	第48700	329	380	279	-
8区	3号碑元 柱礎跡	8区 S2-03	330, 333	第489-491 区	331	第49100	332	381, 382	279	-
8区	4号碑元 柱礎跡	8区 S2-04	333, 334	第492, 493 区	334	第49300	334	383	279	-
8区	5号碑元 柱礎跡	8区 S2-05	335	第494区	335	第49400	336	384	279	-
8区	6号碑元 柱礎跡	8区 S2-06	-	-	-	-	-	-	-	-
8区	7号碑元 柱礎跡	8区 S2-07	337, 338	第496, 497 区	338	第49700	338	385	279	-
8区	8号碑元 柱礎跡	8区 S2-08	338, 339	第498, 499 区	339, 341	第499, 500区	340	386, 388	280	-
8区	9号碑元 柱礎跡	8区 S2-09	341, 342	第500, 502 区	342	第50200	342	389	280	-
8区	10号碑元 柱礎跡	8区 S2-10	343, 344	第503, 504 区	344	第50400	345	390	280	-
8区	11号碑元 柱礎跡	8区 S2-11	345	第505区	346	第50500	346	391	280	-

8区	12号碑元 柱礎跡	8区 S2-12	346, 347	第505, 506 区	347	第50600	347	392	280	-
8区	13号碑元 柱礎跡	8区 S2-13	348	第509区	348	第50900	348	393	280	-
8区	14号碑元 柱礎跡	8区 S2-14	349	第510, 511 区	350	第51100	350	394	281	-
8区	15号碑元 柱礎跡	8区 S2-15	350-353	第512-515 区	354	第51600	355	395	281	-
8区	16号碑元 柱礎跡	8区 S2-16	-	-	-	-	-	-	396, 397	-
8区	17号碑元 柱礎跡	8区 S2-17	-	-	-	-	-	-	397	-
※調査区外欠番										
8区	18号碑元 柱礎跡	8区 S2-18	329	第488区	-	-	-	-	380	-

獨立柱礎跡跡 17跡

調査区	遺構名	類別	遺構 類別別	碑面 番号	遺物 類別別	遺物 遺構 写真	遺物 写真	備考
1-2区	1号孤立 柱礎跡	1-2区 S8-01	387	第284区	-	-	84	-
1-2区	2号孤立 柱礎跡	1-2区 S8-02	-	-	-	-	-	※調査区外欠番
1-2区	3号孤立 柱礎跡	1-2区 S8-03	388	第283区	-	-	84	-
6区	1号孤立 柱礎跡	6区 S8-01	310	第470区	-	-	169	-
6区	2号孤立 柱礎跡	6区 S8-02	310	第471区	310	第471区	310	170
6区	3号孤立 柱礎跡	6区 S8-03	310	第471区	-	-	170	-
6区	1号孤立 柱礎跡	6区 S8-01	308	第472区	-	-	198	-
6区	2号孤立 柱礎跡	6区 S8-02	308	第472区	-	-	198	-
6区	3号孤立 柱礎跡	6区 S8-03	307	第470区	-	-	199	-
6区	4号孤立 柱礎跡	6区 S8-04	307	第470区	-	-	199	-
6区	5号孤立 柱礎跡	6区 S8-05	308	第471区	-	-	200	-
6区	6号孤立 柱礎跡	6区 S8-06	308	第471区	-	-	200	-
6区	7号孤立 柱礎跡	6区 S8-07	309	第472区	-	-	201	-
6区	8号孤立 柱礎跡	6区 S8-08	309	第472区	-	-	201	-
6区	9号孤立 柱礎跡	6区 S8-09	309	第474区	-	-	202	-
6区	10号孤立 柱礎跡	6区 S8-10	309	第475区	-	-	202	-
6区	11号孤立 柱礎跡	6区 S8-11	361	第326区	-	-	203	-
6区	12号孤立 柱礎跡	6区 S8-12	362	第327区	-	-	203	-

土坑跡 30基

調査区	遺構名	類別	遺構 類別別	碑面 番号	遺物 類別別	遺物 遺構 写真	遺物 写真	備考
1-2区	1号土坑 跡	1-2区 S8-01	388	第284区	-	-	85	-
1-2区	2号土坑 跡	1-2区 S8-02	388	第283区	388	第283区	388	85
1-2区	3号土坑 跡	1-2区 S8-03	389	第284区	-	-	85	-
1-2区	4号土坑 跡	1-2区 S8-04	389	第287区	-	-	85	-
1-2区	5号土坑 跡	1-2区 S8-05	389	第287区	-	-	85	-
1-2区	6号土坑 跡	1-2区 S8-06	389	第287区	-	-	85	-
1-2区	7号土坑 跡	1-2区 S8-07	389	第287区	-	-	85	-
1-2区	8号土坑 跡	1-2区 S8-08	389	第287区	-	-	85	-
1-2区	9号土坑 跡	1-2区 S8-09	389	第287区	-	-	86	-
1-2区	10号土坑 跡	1-2区 S8-10	389	第287区	389	第287区	389	86
1-2区	11号土坑 跡	1-2区 S8-11	390	第288区	-	-	86	-
1-2区	12号土坑 跡	1-2区 S8-12	390	第288区	390	第288区	390	86
1-2区	13号土坑 跡	1-2区 S8-13	390	第288区	390	第288区	390	86
1-2区	14号土坑 跡	1-2区 S8-14	391	第288区	-	-	86	-
1-2区	15号土坑 跡	1-2区 S8-15	391	第288区	-	-	86	-

調査区	道幅名	旧称	道幅 类别	採回 番号	道物 类别	採回 番号	道物 状態	道幅 写真	備考
1-254	16号主路 線	1-254 SK-16	191	第2900回	-	-	86	-	-
1-258	17号主路 線	1-258 SK-17	191	第2900回	-	-	86	-	-
1-258	18号主路 線	1-258 SK-18	191	第2900回	-	-	86	-	-
1-258	19号主路 線	1-258 SK-19	191	第2900回	-	-	86	-	-
1-258	20号主路 線	1-258 SK-20	191	第2900回	-	-	86	-	-
1-258	21号主路 線	1-258 SK-21	191	第2900回	-	-	87	-	-
1-258	22号主路 線	1-258 SK-22	191	第2900回	-	-	87	-	-
1-258	23号主路 線	1-258 SK-23	191	第2900回	-	-	87	-	-
1-258	24号主路 線	1-258 SK-24	192	第2900回	192	第2900回	82	87	268
1-258	25号主路 線	1-258 SK-25	191	第2900回	-	-	87	-	-
1-258	26号主路 線	1-258 SK-26	192	第2910回	-	-	87	-	-
1-258	27号主路 線	1-258 SK-27	192	第2910回	-	-	87	-	-
1-258	28号主路 線	1-258 SK-28	192	第2910回	-	-	87	-	-
1-258	29号主路 線	1-258 SK-29	192	第2910回	-	-	87	-	-
1-258	30号主路 線	1-258 SK-30	192	第2910回	-	-	87	-	-
1-258	31号主路 線	1-258 SK-31			1-258 4号主路線区画	-	-	-	-
1-258	32号主路 線	1-258 SK-32	192	第2910回	-	-	87	-	-
1-258	33号主路 線	1-258 SK-33			1-258 9号主路線区画	-	-	-	-
1-258	34号主路 線	1-258 SK-34	192	第2910回	-	-	88	-	-
1-258	35号主路 線	1-258 SK-35			1-258 6号主路線区画	-	-	-	-
31K	36号主路 線	1-258 SK-36	193	第2920回	193	第2920回	83	88	268
31K	37号主路 線	1-258 SK-37	193	-	-	-	88	-	-
31K	38号主路 線	1-258 SK-38	193	-	-	-	88	-	-
31K	39号主路 線	1-258 SK-39	193	-	-	-	88	-	-
31K	40号主路 線	1-258 SK-40	-	-	-	-	-	-	-
1-258	41号主路 線	1-258 SK-41	193	第2930回	193	第2930回	84	88	268
1-258	42号主路 線	1-258 SK-42	194	第2940回	194	第2940回	84	88	268
1-258	43号主路 線	1-258 SK-43	194	第2950回	-	-	88	-	-
1-258	44号主路 線	1-258 SK-44	194	第2950回	-	-	89	-	-
1-258	45号主路 線	1-258 SK-45	-	-	-	-	89	-	-
1-258	46号主路 線	1-258 SK-46	181	第2370回	-	-	89	-	-
1-258	47号主路 線	1-258 SK-47	194	第2950回	-	-	88	-	-
1-258	48号主路 線	1-258 SK-48	195	第2960回	195	第2960回	85	89	269
1-258	49号主路 線	1-258 SK-49	194	第2950回	-	-	89	-	-
1-258	50号主路 線	1-258 SK-50	195	第2960回	-	-	89	-	-
1-258	51号主路 線	1-258 SK-51	195	第2960回	-	-	89	-	-
1-258	52号主路 線	1-258 SK-52	195	第2960回	-	-	90	-	-
1-258	53号主路 線	1-258 SK-53	195	第2960回	195	第2960回	85	90	-
1-258	54号主路 線	1-258 SK-54	195	第2960回	-	-	90	-	-
1-258	55号主路 線	1-258 SK-55	195	第2960回	-	-	90	-	-
1-258	56号主路 線	1-258 SK-56	195	第2960回	-	-	90	-	-
1-258	57号主路 線	1-258 SK-57	195	第2960回	195	第2960回	85	90	269
1-258	58号主路 線	1-258 SK-58	196	第2970回	-	-	90	-	-

調査区	道幅名	旧称	道幅 类别	採回 番号	道物 类别	採回 番号	道物 状態	道幅 写真	備考
1-254	59号主路 線	1-254 SK-59	196	第2970回	-	-	90	-	-
1-254	60号主路 線	1-254 SK-60	196	第2970回	196	第2970回	196	91	269
1-258	61号主路 線	1-258 SK-61	196	第2970回	-	-	91	-	-
1-258	62号主路 線	1-258 SK-62	196	第2970回	-	-	91	-	-
1-258	63号主路 線	1-258 SK-63	196	第2970回	-	-	91	-	-
1-258	64号主路 線	1-258 SK-64	196	第2970回	196	第2970回	196	91	269
1-258	65号主路 線	1-258 SK-65	196	第2970回	-	-	91	-	-
1-258	66号主路 線	1-258 SK-66	196	第2970回	-	-	91	-	-
1-258	67号主路 線	1-258 SK-67	197	第2980回	-	-	91	-	-
1-258	68号主路 線	1-258 SK-68	197	第2980回	-	-	92	-	-
1-258	69号主路 線	1-258 SK-69	-	-	-	-	-	-	-
1-258	70号主路 線	1-258 SK-70	96	第2980回	-	-	92	-	-
1-258	71号主路 線	1-258 SK-71	197	第2980回	197	第2980回	198	92	269
1-258	72号主路 線	1-258 SK-72	198	第2990回	198	第2990回	198	92	269
1-258	73号主路 線	1-258 SK-73	198	第2990回	-	-	92	-	-
1-258	74号主路 線	1-258 SK-74			1-258 7号主路線区画	-	-	-	-
1-258	75号主路 線	1-258 SK-75	198	第2990回	-	-	92	-	-
1-258	76号主路 線	1-258 SK-76	198	第2990回	-	-	92	-	-
1-258	77号主路 線	1-258 SK-77	198	第2990回	-	-	92	-	-
1-258	78号主路 線	1-258 SK-78	198	第2990回	-	-	92	-	-
1-258	79号主路 線	1-258 SK-79	198	第2990回	-	-	92	-	-
41K	1号主路 線	41K SK-01	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	2号主路 線	41K SK-02	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	3号主路 線	41K SK-03	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	4号主路 線	41K SK-04	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	5号主路 線	41K SK-05	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	6号主路 線	41K SK-06	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	7号主路 線	41K SK-07	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	8号主路 線	41K SK-08	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	9号主路 線	41K SK-09	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	10号主路 線	41K SK-10	254	第3040回	-	-	-	-	120
41K	11号主路 線	41K SK-11	254	第3040回	-	-	-	-	121
41K	12号主路 線	41K SK-12	254	第3040回	-	-	-	-	121
41K	13号主路 線	41K SK-13	254	第3040回	-	-	-	-	121
41K	14号主路 線	41K SK-14	255	第3050回	-	-	-	-	121
41K	15号主路 線	41K SK-15	255	第3050回	-	-	-	-	121
41K	16号主路 線	41K SK-16	255	第3050回	-	-	-	-	121
41K	17号主路 線	41K SK-17	255	第3050回	-	-	-	-	121
41K	18号主路 線	41K SK-18	255	第3050回	-	-	-	-	121
41K	19号主路 線	41K SK-19	255	第3050回	-	-	-	-	122
41K	20号主路 線	41K SK-20	255	第3050回	-	-	-	-	122
41K	21号主路 線	41K SK-21	255	第3050回	-	-	-	-	122
41K	22号主路 線	41K SK-22	255	第3050回	-	-	-	-	122
41K	23号主路 線	41K SK-23			※調査区外区画	-	-	-	-
41K	24号主路 線	41K SK-24	231	第3380回	-	-	-	-	122

調查區	道標名	旧 称	道標 类别	標頭 番号	道物 类别	標頭 番号	道物 数量	道標 写真	道物 写真	備考
7区	10号土庫 跡	7区 SK-09	314	第4780区	-	-	172	-	-	-
7区	10号土庫 跡	7区 SK-09	314	第4780区	-	-	172	-	-	-
7区	10号土庫 跡	7区 SK-10	-	-	-	-	-	-	-	-
7区	11号土庫 跡	7区 SK-11	315	第4790区	315	第4790区	315	172	278	-
7区	12号土庫 跡	7区 SK-12	315	第4790区	315	第4790区	315	172	278	-
7区	13号土庫 跡	7区 SK-13	301	第4580区	-	-	172	-	-	-
7区	14号土庫 跡	7区 SK-14	316	第4800区	-	-	172	-	-	-
7区	15号土庫 跡	7区 SK-15	-	-	-	-	-	-	-	-
7区	16号土庫 跡	7区 SK-16	-	-	-	-	-	-	-	-
7区	17号土庫 跡	7区 SK-17	-	-	-	-	-	-	-	-
7区	18号土庫 跡	7区 SK-18	-	-	-	-	-	-	-	-
7区	18号土庫 跡	7区 SK-19	316	第4800区	316	第4800区	317	173	278	-
7区	20号土庫 跡	7区 SK-20	316	第4800区	-	-	173	-	-	-
7区	21号土庫 跡	7区 SK-21	316	第4800区	316	第4800区	317	173	278	-
7区	22号土庫 跡	7区 SK-22	-	-	-	-	-	-	-	-
8区	1号土庫 跡	8区 SK-01	362	第5280区	-	-	-	-	-	-
8区	2号土庫 跡	8区 SK-02	362	第5280区	-	-	-	-	-	-
8区	3号土庫 跡	8区 SK-03	362	第5280区	372	第5300区	371	203	282	-
8区	4号土庫 跡	8区 SK-04	362	第5280区	372	第5300区	371	203	282	-
8区	5号土庫 跡	8区 SK-05	362	第5280区	-	-	203	-	-	-
8区	6号土庫 跡	8区 SK-06	363	第5290区	372	第5300区	371	203	282	-
8区	7号土庫 跡	8区 SK-07	362	第5280区	-	-	204	-	-	-
8区	8号土庫 跡	8区 SK-08	363	第5290区	372	第5300区	371	204	282	-
8区	9号土庫 跡	8区 SK-09	363	第5290区	372	第5300区	371	204	282	-
8区	10号土庫 跡	8区 SK-10	363	第5290区	-	-	204	-	-	-
8区	11号土庫 跡	8区 SK-11	363	第5290区	-	-	204	-	-	-
8区	12号土庫 跡	8区 SK-12	363	第5290区	372	第5300区	371	204	282	-
8区	13号土庫 跡	8区 SK-13	363	第5290区	-	-	204	-	-	-
8区	14号土庫 跡	8区 SK-14	363	第5290区	372	第5300区	371	204	282	-
8区	15号土庫 跡	8区 SK-15	363	第5290区	-	-	204	-	-	-
8区	16号土庫 跡	8区 SK-16	364	第5300区	-	-	205	-	-	-
8区	17号土庫 跡	8区 SK-17	364	第5300区	-	-	205	-	-	-
8区	18号土庫 跡	8区 SK-18	364	第5300区	372	第5300区	371	205	282	-
8区	19号土庫 跡	8区 SK-19	364	第5300区	-	-	205	-	-	-
8区	20号土庫 跡	8区 SK-20	364	第5300区	372	第5300区	371	205	282	-
8区	21号土庫 跡	8区 SK-21	364	第5300区	-	-	205	282	-	-
8区	22号土庫 跡	8区 SK-22	364	第5300区	372	第5300区	371	205	282	-
8区	23号土庫 跡	8区 SK-23	364	第5300区	-	-	205	-	-	-
8区	24号土庫 跡	8区 SK-24	364	第5300区	-	-	205	-	-	-
8区	25号土庫 跡	8区 SK-25	364	第5300区	-	-	205	-	-	-
8区	26号土庫 跡	8区 SK-26	365	第5310区	-	-	206	-	-	-
8区	27号土庫 跡	8区 SK-27	365	第5310区	-	-	206	-	-	-
8区	28号土庫 跡	8区 SK-28	365	第5310区	-	-	206	-	-	-
8区	29号土庫 跡	8区 SK-29	365	第5310区	-	-	206	-	-	-

調查區	道標名	旧 称	道標 类别	標頭 番号	道物 类别	標頭 番号	道物 数量	道標 写真	道物 写真	備考
8区	30号土庫 跡	8区 SK-30	365	第5310区	-	-	206	-	-	-
8区	31号土庫 跡	8区 SK-31	365	第5310区	-	-	206	-	-	-
8区	32号土庫 跡	8区 SK-32	365	第5310区	-	-	206	-	-	-
8区	33号土庫 跡	8区 SK-33	365	第5310区	-	-	206	-	-	-
8区	34号土庫 跡	8区 SK-34	365	第5310区	-	-	206	-	-	-
8区	35号土庫 跡	8区 SK-35	363	第5290区	-	-	207	-	-	-
8区	36号土庫 跡	8区 SK-36	365	第5310区	372	第5300区	371	207	282	-
8区	37号土庫 跡	8区 SK-37	366	第5320区	-	-	207	-	-	-
8区	38号土庫 跡	8区 SK-38	366	第5320区	372	第5300区	371	207	282	-
8区	39号土庫 跡	8区 SK-39	366	第5320区	-	-	207	-	-	-
8区	40号土庫 跡	8区 SK-40	366	第5320区	372	第5300区	371	207	282	-
8区	41号土庫 跡	8区 SK-41	366	第5320区	-	-	207	-	-	-
8区	42号土庫 跡	8区 SK-42	366	第5320区	372	第5300区	371	207	282	-
8区	43号土庫 跡	8区 SK-43	366	第5320区	-	-	207	-	-	-
8区	44号土庫 跡	8区 SK-44	366	第5320区	-	-	207	-	-	-
8区	45号土庫 跡	8区 SK-45	366	第5320区	-	-	207	-	-	-
8区	46号土庫 跡	8区 SK-46	367	第5330区	-	-	207	-	-	-
8区	47号土庫 跡	8区 SK-47	367	第5330区	-	-	207	-	-	-
8区	48号土庫 跡	8区 SK-48	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	49号土庫 跡	8区 SK-49	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	50号土庫 跡	8区 SK-50	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	51号土庫 跡	8区 SK-51	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	52号土庫 跡	8区 SK-52	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	53号土庫 跡	8区 SK-53	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	54号土庫 跡	8区 SK-54	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	55号土庫 跡	8区 SK-55	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	56号土庫 跡	8区 SK-56	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	57号土庫 跡	8区 SK-57	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	58号土庫 跡	8区 SK-58	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	59号土庫 跡	8区 SK-59	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	60号土庫 跡	8区 SK-60	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	61号土庫 跡	8区 SK-61	367	第5330区	-	-	208	-	-	-
8区	62号土庫 跡	8区 SK-62	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	63号土庫 跡	8区 SK-63	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	64号土庫 跡	8区 SK-64	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	65号土庫 跡	8区 SK-65	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	66号土庫 跡	8区 SK-66	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	67号土庫 跡	8区 SK-67	368	第5340区	-	-	209	-	-	-
8区	68号土庫 跡	8区 SK-68	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	69号土庫 跡	8区 SK-69	368	第5340区	-	-	208	-	-	-
8区	70号土庫 跡	8区 SK-70	369	第5350区	-	-	208	-	-	-
8区	71号土庫 跡	8区 SK-71	369	第5350区	-	-	208	-	-	-
8区	72号土庫 跡	8区 SK-72	369	第5350区	-	-	208	-	-	-
8区	73号土庫 跡	8区 SK-73	369	第5350区	-	-	208	-	-	-

調査区	道幅名	区 称	道幅 类别	排阻 番号	道物 类别	排阻 番号	道物 状態	道幅 写真	道物 写真	備考
1-204	4110P11	1-204 道	-	-	-	-	-	-	-	-
1-204	4110P11	1-204 道	-	-	-	-	-	-	-	-
6区	140P11	6K 道	317	第483区	-	-	-	173	-	-
7区	150P11	7K 道	317	第483区	317	-	317	173	-	-
7区	240P11	7K 道	-	-	-	-	-	-	-	※調査中欠番
7区	300P11	7K 道	317	第483区	-	-	-	173	278	-
7区	440P11	7K 道	-	-	-	-	-	-	-	※調査中欠番
7区	540P11	7K 道	317	第483区	-	-	-	173	-	-
7区	640P11	7K 道	317	第483区	-	-	-	173	-	-
8区	140P11	8K 道	-	-	-	-	-	-	-	-
8区	240P11	8K 道	308	第647区	-	-	-	-	-	-
8区	340P11	8K 道	-	-	-	-	-	206	-	-
8区	440P11	8K 道	-	-	-	-	-	-	-	-
8区	540P11	8K 道	-	-	-	-	-	-	-	-
8区	640P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	740P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	840P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	940P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	211	-
8区	1040P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	211	-
8区	1140P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	211	-
8区	1240P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	1340P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	1440P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	1540P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	1640P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	1740P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	211	-
8区	1840P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	211	-
8区	1940P11	8K 道	-	-	-	-	-	-	-	-
8区	2040P11	8K 道	-	-	-	-	-	-	-	-
8区	2140P11	8K 道	-	-	-	-	-	-	-	-
8区	2240P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	2340P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	2440P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	2540P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	2640P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	2740P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	2840P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	2940P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3040P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3140P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3240P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3340P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3440P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3540P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-

調査区	道幅名	区 称	道幅 类别	排阻 番号	道物 类别	排阻 番号	道物 状態	道幅 写真	道物 写真	備考
8区	3640P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3740P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3840P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	3940P11	8K 道	378	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4040P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4140P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4240P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4340P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4440P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4540P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4640P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4740P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4840P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	4940P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5040P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5140P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5240P11	8K 道	380	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5340P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5440P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5540P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5640P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5740P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5840P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	5940P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6040P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6140P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6240P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6340P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6440P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6540P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6640P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6740P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6840P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	6940P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7040P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7140P11	8K 道	381	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7240P11	8K 道	382	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7340P11	8K 道	382	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7440P11	8K 道	382	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7540P11	8K 道	382	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7640P11	8K 道	382	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7740P11	8K 道	382	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7840P11	8K 道	382	第540区	-	-	-	-	-	-
8区	7940P11	8K 道	382	第540区	-	-	-	-	-	-

調査区	道幅名	旧称	道幅 类别	採回 番号	遺物 类别	採回 番号	遺物 数量	道幅 延長	遺物 延長	備考
4区	5493P11	KK 新 跡	P546	-	-	-	-	-	-	-
4区	5473P11	KK 新 跡	P547	-	-	-	-	-	-	-
4区	5483P11	KK 新 跡	P548	-	-	-	-	-	-	-
4区	5493P11	KK 新 跡	P549	-	-	-	-	-	-	-
4区	5503P11	KK 新 跡	P550	-	-	-	-	-	-	-
4区	5513P11	KK 新 跡	P551	-	-	-	-	-	-	-
4区	5523P11	KK 新 跡	P552	-	-	-	-	-	-	-
4区	5533P11	KK 新 跡	P553	-	-	-	-	-	-	-
4区	5543P11	KK 新 跡	P554	-	-	-	-	-	-	-
4区	5553P11	KK 新 跡	P555	-	-	-	-	-	-	-
4区	5563P11	KK 新 跡	P556	-	-	-	-	-	-	-
4区	5573P11	KK 新 跡	P557	-	-	-	-	-	-	-
4区	5583P11	KK 新 跡	P558	-	-	-	-	-	-	-
4区	5593P11	KK 新 跡	P559	-	-	-	-	-	-	-
4区	5603P11	KK 新 跡	P560	-	-	-	-	-	-	-
4区	5613P11	KK 新 跡	P561	-	-	-	-	-	-	-
4区	5623P11	KK 新 跡	P562	-	-	-	-	-	-	-
4区	5633P11	KK 新 跡	P563	-	-	-	-	-	-	-
4区	5643P11	KK 新 跡	P564	-	-	-	-	-	-	※調査区外
4区	5653P11	KK 新 跡	P565	-	-	-	-	-	-	-
4区	5663P11	KK 新 跡	P566	-	-	-	-	-	-	※調査区外
4区	5673P11	KK 新 跡	P567	-	-	-	-	-	-	-
4区	5683P11	KK 新 跡	P568	-	-	-	-	-	-	-
4区	5693P11	KK 新 跡	P569	-	-	-	-	-	-	-
4区	5703P11	KK 新 跡	P570	-	-	-	-	-	-	-
4区	5713P11	KK 新 跡	P571	-	-	-	-	-	-	-
4区	5723P11	KK 新 跡	P572	-	-	-	-	-	-	-
4区	5733P11	KK 新 跡	P573	-	-	-	-	-	-	-
4区	5743P11	KK 新 跡	P574	-	-	-	-	-	-	-
4区	5753P11	KK 新 跡	P575	-	-	-	-	-	-	-
4区	5763P11	KK 新 跡	P576	-	-	-	-	-	-	-
4区	5773P11	KK 新 跡	P577	-	-	-	-	-	-	-
4区	5783P11	KK 新 跡	P578	-	-	-	-	-	-	-
4区	5793P11	KK 新 跡	P579	-	-	-	-	-	-	-
4区	5803P11	KK 新 跡	P580	-	-	-	-	-	-	-
4区	5813P11	KK 新 跡	P581	-	-	-	-	-	-	-
4区	5823P11	KK 新 跡	P582	-	-	-	-	-	-	-
4区	5833P11	KK 新 跡	P583	-	-	-	-	-	-	-
4区	5843P11	KK 新 跡	P584	-	-	-	-	-	-	-
4区	5853P11	KK 新 跡	P585	-	-	-	-	-	-	-
4区	5863P11	KK 新 跡	P586	-	-	-	-	-	-	-
4区	5873P11	KK 新 跡	P587	-	-	-	-	-	-	-
4区	5883P11	KK 新 跡	P588	-	-	-	-	-	-	-
4区	5893P11	KK 新 跡	P589	-	-	-	-	-	-	-

調査区	道幅名	旧称	道幅 类别	採回 番号	遺物 类别	採回 番号	遺物 数量	道幅 延長	遺物 延長	備考
4区	5903P11	KK 新 跡	P590	-	-	-	-	-	-	-
4区	5913P11	KK 新 跡	P591	-	-	-	-	-	-	-
4区	5923P11	KK 新 跡	P592	-	-	-	-	-	-	-
4区	5933P11	KK 新 跡	P593	-	-	-	-	-	-	-
4区	5943P11	KK 新 跡	P594	-	-	-	-	-	-	-
4区	5953P11	KK 新 跡	P595	-	-	-	-	-	-	-
4区	5963P11	KK 新 跡	P596	-	-	-	-	-	-	-
4区	5973P11	KK 新 跡	P597	-	-	-	-	-	-	-
4区	5983P11	KK 新 跡	P598	-	-	-	-	-	-	-
4区	5993P11	KK 新 跡	P599	-	-	-	-	-	-	-
4区	6003P11	KK 新 跡	P600	-	-	-	-	-	-	-
4区	6013P11	KK 新 跡	P601	-	-	-	-	-	-	-
4区	6023P11	KK 新 跡	P602	-	-	-	-	-	-	-
4区	6033P11	KK 新 跡	P603	-	-	-	-	-	-	-
4区	6043P11	KK 新 跡	P604	-	-	-	-	-	-	-
4区	6053P11	KK 新 跡	P605	-	-	-	-	-	-	-
4区	6063P11	KK 新 跡	P606	-	-	-	-	-	-	-
4区	6073P11	KK 新 跡	P607	-	-	-	-	-	-	-
4区	6083P11	KK 新 跡	P608	-	-	-	-	-	-	-
4区	6093P11	KK 新 跡	P609	-	-	-	-	-	-	-
4区	6103P11	KK 新 跡	P610	-	-	-	-	-	-	-
4区	6113P11	KK 新 跡	P611	-	-	-	-	-	-	-
4区	6123P11	KK 新 跡	P612	-	-	-	-	-	-	-
4区	6133P11	KK 新 跡	P613	-	-	-	-	-	-	-
4区	6143P11	KK 新 跡	P614	-	-	-	-	-	-	-
4区	6153P11	KK 新 跡	P615	-	-	-	-	-	-	-
4区	6163P11	KK 新 跡	P616	-	-	-	-	-	-	-
4区	6173P11	KK 新 跡	P617	-	-	-	-	-	-	-
4区	6183P11	KK 新 跡	P618	-	-	-	-	-	-	-
4区	6193P11	KK 新 跡	P619	-	-	-	-	-	-	-
4区	6203P11	KK 新 跡	P620	-	-	-	-	-	-	-
4区	6213P11	KK 新 跡	P621	-	-	-	-	-	-	-
4区	6223P11	KK 新 跡	P622	-	-	-	-	-	-	-
4区	6233P11	KK 新 跡	P623	-	-	-	-	-	-	-
4区	6243P11	KK 新 跡	P624	-	-	-	-	-	-	-
4区	6253P11	KK 新 跡	P625	-	-	-	-	-	-	-
4区	6263P11	KK 新 跡	P626	-	-	-	-	-	-	-
4区	6273P11	KK 新 跡	P627	-	-	-	-	-	-	-
4区	6283P11	KK 新 跡	P628	-	-	-	-	-	-	-
4区	6293P11	KK 新 跡	P629	-	-	-	-	-	-	-
4区	6303P11	KK 新 跡	P630	-	-	-	-	-	-	-
4区	6313P11	KK 新 跡	P631	-	-	-	-	-	-	-
4区	6323P11	KK 新 跡	P632	-	-	-	-	-	-	-
4区	6333P11	KK 新 跡	P633	-	-	-	-	-	-	-

調査区	道幅名	旧称	道幅 类别	検印 番号	道物 类别	検印 番号	道物 状態	道幅 写真	道物 写真	備考
01K	6349P11	新 道	新							
01K	6350P11	新 道	新							
01K	6369P11	新 道	新							
01K	6379P11	新 道	新							
01K	6389P11	新 道	新							
01K	6399P11	新 道	新							
01K	6409P11	新 道	新							
01K	6419P11	新 道	新							
01K	6429P11	新 道	新							
01K	6439P11	新 道	新							
01K	6449P11	新 道	新							
01K	6459P11	新 道	新							
01K	6469P11	新 道	新							
01K	6479P11	新 道	新							
01K	6489P11	新 道	新							
01K	6499P11	新 道	新							
01K	6509P11	新 道	新							
01K	6519P11	新 道	新							
01K	6529P11	新 道	新							
01K	6539P11	新 道	新							
01K	6549P11	新 道	新							
01K	6559P11	新 道	新							
01K	6569P11	新 道	新							
01K	6579P11	新 道	新							
01K	6589P11	新 道	新							
01K	6599P11	新 道	新							
01K	6609P11	新 道	新							
01K	6619P11	新 道	新							
01K	6629P11	新 道	新							
01K	6639P11	新 道	新							
01K	6649P11	新 道	新							
01K	6659P11	新 道	新							
01K	6669P11	新 道	新							
01K	6679P11	新 道	新							
01K	6689P11	新 道	新							
01K	6699P11	新 道	新							
01K	6709P11	新 道	新							
01K	6719P11	新 道	新							
01K	6729P11	新 道	新							
01K	6739P11	新 道	新							
01K	6749P11	新 道	新							
01K	6759P11	新 道	新							
01K	6769P11	新 道	新							
01K	6779P11	新 道	新							

調査区	道幅名	旧称	道幅 类别	検印 番号	道物 类别	検印 番号	道物 状態	道幅 写真	道物 写真	備考
01K	6789P11	新 道	新							
01K	6799P11	新 道	新							
01K	6809P11	新 道	新							
01K	6819P11	新 道	新							
01K	6829P11	新 道	新							
01K	6839P11	新 道	新							
01K	6849P11	新 道	新							
01K	6859P11	新 道	新							
01K	6869P11	新 道	新							
01K	6879P11	新 道	新							
01K	6889P11	新 道	新							
01K	6899P11	新 道	新							
01K	6909P11	新 道	新							
01K	6919P11	新 道	新							
01K	6929P11	新 道	新							
01K	6939P11	新 道	新							
01K	6949P11	新 道	新							
01K	6959P11	新 道	新							
01K	6969P11	新 道	新							
01K	6979P11	新 道	新							
01K	6989P11	新 道	新							
01K	6999P11	新 道	新							
01K	7009P11	新 道	新							
01K	7019P11	新 道	新							
01K	7029P11	新 道	新							
01K	7039P11	新 道	新							
01K	7049P11	新 道	新							
01K	7059P11	新 道	新							
01K	7069P11	新 道	新							
01K	7079P11	新 道	新							
01K	7089P11	新 道	新							
01K	7099P11	新 道	新							
01K	7109P11	新 道	新							
01K	7119P11	新 道	新							
01K	7129P11	新 道	新							
01K	7139P11	新 道	新							
01K	7149P11	新 道	新							
01K	7159P11	新 道	新							
01K	7169P11	新 道	新							
01K	7179P11	新 道	新							
01K	7189P11	新 道	新							
01K	7199P11	新 道	新							
01K	7209P11	新 道	新							
01K	7219P11	新 道	新							

調査区	道幅名	旧称	道幅 类别	採回 番号	遺物 类别	採回 番号	遺物 数量	遺物 写真	遺物 写真	備考
8区	9085P1	8区 新	P908	-	-	-	-	-	-	-
8区	9087P1	8区 新	P909	-	-	-	-	-	-	-
8区	9089P1	8区 新	P900	-	-	-	-	-	-	-
8区	9091P1	8区 新	P901	-	-	-	-	-	-	-
8区	9092P1	8区 新	P902	-	-	-	-	-	-	-
8区	9093P1	8区 新	P903	-	-	-	-	-	-	-
8区	9094P1	8区 新	P904	-	-	-	-	-	-	-
8区	9095P1	8区 新	P905	-	-	-	-	-	-	-
8区	9096P1	8区 新	P906	-	-	-	-	-	-	-
8区	9097P1	8区 新	P907	-	-	-	-	-	-	-
8区	9098P1	8区 新	P908	-	-	-	-	-	-	-
8区	9099P1	8区 新	P909	-	-	-	-	-	-	-
8区	9100P1	8区 新	P910	-	-	-	-	-	-	-
8区	9110P1	8区 新	P911	-	-	-	-	-	-	-
8区	9120P1	8区 新	P912	-	-	-	-	-	-	-
8区	9130P1	8区 新	P913	-	-	-	-	-	-	-
8区	9140P1	8区 新	P914	-	-	-	-	-	-	-
8区	9150P1	8区 新	P915	-	-	-	-	-	-	-
8区	9160P1	8区 新	P916	-	-	-	-	-	-	-
8区	9170P1	8区 新	P917	-	-	-	-	-	-	-
8区	9180P1	8区 新	P918	-	-	-	-	-	-	-
8区	9190P1	8区 新	P919	-	-	-	-	-	-	-
8区	9200P1	8区 新	P920	-	-	-	-	-	-	-
8区	9210P1	8区 新	P921	-	-	-	-	-	-	-
8区	9220P1	8区 新	P922	-	-	-	-	-	-	-
8区	9230P1	8区 新	P923	-	-	-	-	-	-	-
8区	9240P1	8区 新	P924	-	-	-	-	-	-	-
8区	9250P1	8区 新	P925	-	-	-	-	-	-	-
8区	9260P1	8区 新	P926	-	-	-	-	-	-	-
8区	9270P1	8区 新	P927	-	-	-	-	-	-	-
8区	9280P1	8区 新	P928	-	-	-	-	-	-	-
8区	9290P1	8区 新	P929	-	-	-	-	-	-	-
8区	9300P1	8区 新	P930	-	-	-	-	-	-	-
8区	9310P1	8区 新	P931	-	-	-	-	-	-	-
8区	9320P1	8区 新	P932	-	-	-	-	-	-	-
8区	9330P1	8区 新	P933	-	-	-	-	-	-	-
8区	9340P1	8区 新	P934	-	-	-	-	-	-	-
8区	9350P1	8区 新	P935	-	-	-	-	-	-	-
8区	9360P1	8区 新	P936	-	-	-	-	-	-	-
8区	9370P1	8区 新	P937	-	-	-	-	-	-	-
8区	9380P1	8区 新	P938	-	-	-	-	-	-	-
8区	9390P1	8区 新	P939	-	-	-	-	-	-	-
8区	9400P1	8区 新	P940	-	-	-	-	-	-	-
8区	9410P1	8区 新	P941	-	-	-	-	-	-	-

調査区	道幅名	旧称	道幅 类别	採回 番号	遺物 类别	採回 番号	遺物 数量	遺物 写真	遺物 写真	備考
8区	9420P1	8区 新	P942	-	-	-	-	-	-	-
8区	9430P1	8区 新	P943	-	-	-	-	-	-	-
8区	9440P1	8区 新	P944	-	-	-	-	-	-	-
8区	9450P1	8区 新	P945	-	-	-	-	-	-	-
8区	9460P1	8区 新	P946	-	-	-	-	-	-	-
8区	9470P1	8区 新	P947	-	-	-	-	-	-	-
8区	9480P1	8区 新	P948	-	-	-	-	-	-	-
8区	9490P1	8区 新	P949	-	-	-	-	-	-	-
8区	9500P1	8区 新	P950	-	-	-	-	-	-	-
8区	9510P1	8区 新	P951	-	-	-	-	-	-	-
8区	9520P1	8区 新	P952	-	-	-	-	-	-	-
8区	9530P1	8区 新	P953	-	-	-	-	-	-	-
8区	9540P1	8区 新	P954	-	-	-	-	-	-	-
8区	9550P1	8区 新	P955	-	-	-	-	-	-	-
8区	9560P1	8区 新	P956	-	-	-	-	-	-	-
8区	9570P1	8区 新	P957	-	-	-	-	-	-	-
8区	9580P1	8区 新	P958	-	-	-	-	-	-	-
8区	9590P1	8区 新	P959	-	-	-	-	-	-	-
8区	9600P1	8区 新	P960	-	-	-	-	-	-	-
8区	9610P1	8区 新	P961	-	-	-	-	-	-	-
8区	9620P1	8区 新	P962	-	-	-	-	-	-	-
8区	9630P1	8区 新	P963	-	-	-	-	-	-	-
8区	9640P1	8区 新	P964	-	-	-	-	-	-	-
8区	9650P1	8区 新	P965	-	-	-	-	-	-	-
8区	9660P1	8区 新	P966	-	-	-	-	-	-	-
8区	9670P1	8区 新	P967	-	-	-	-	-	-	-
8区	9680P1	8区 新	P968	-	-	-	-	-	-	-
8区	9690P1	8区 新	P969	-	-	-	-	-	-	-
8区	9700P1	8区 新	P970	-	-	-	-	-	-	-
8区	9710P1	8区 新	P971	-	-	-	-	-	-	-
8区	9720P1	8区 新	P972	-	-	-	-	-	-	-
8区	9730P1	8区 新	P973	-	-	-	-	-	-	-
8区	9740P1	8区 新	P974	-	-	-	-	-	-	-
8区	9750P1	8区 新	P975	-	-	-	-	-	-	-
8区	9760P1	8区 新	P976	-	-	-	-	-	-	-
8区	9770P1	8区 新	P977	-	-	-	-	-	-	-
8区	9780P1	8区 新	P978	-	-	-	-	-	-	-
8区	9790P1	8区 新	P979	-	-	-	-	-	-	-
8区	9800P1	8区 新	P980	-	-	-	-	-	-	-
8区	9810P1	8区 新	P981	-	-	-	-	-	-	-
8区	9820P1	8区 新	P982	-	-	-	-	-	-	-
8区	9830P1	8区 新	P983	-	-	-	-	-	-	-
8区	9840P1	8区 新	P984	-	-	-	-	-	-	-
8区	9850P1	8区 新	P985	382	30440E	-	-	-	-	-

調査区	道標名	旧称	道標 类别	標記 番号	道物 类别	標記 番号	道物 状態	道標 写真	道物 写真	備考
8区	9893P11	8区 標		382	201408					
8区	9873P11	8区 標								
8区	9883P11	8区 標								
8区	9893P11	8区 標								
8区	9903P11	8区 標								
8区	9913P11	8区 標								
8区	9923P11	8区 標								
8区	9933P11	8区 標								
8区	9943P11	8区 標								
8区	9953P11	8区 標								
8区	9963P11	8区 標								
8区	9973P11	8区 標								
8区	9983P11	8区 標								
8区	9993P11	8区 標								
8区	1000P11	8区 標								
8区	1001P11	8区 標								
8区	1002P11	8区 標								
8区	1003P11	8区 標								
8区	1004P11	8区 標								
8区	1005P11	8区 標								
8区	1006P11	8区 標								
8区	1007P11	8区 標								
8区	1008P11	8区 標								
8区	1009P11	8区 標								
8区	1010P11	8区 標								
8区	1011P11	8区 標								
8区	1012P11	8区 標								
8区	1013P11	8区 標								
8区	1014P11	8区 標								
8区	1015P11	8区 標								
8区	1016P11	8区 標								
8区	1017P11	8区 標								
8区	1018P11	8区 標								
8区	1019P11	8区 標								
8区	1020P11	8区 標								
8区	1021P11	8区 標								
8区	1022P11	8区 標								
8区	1023P11	8区 標								
8区	1024P11	8区 標								
8区	1025P11	8区 標								
8区	1026P11	8区 標								
8区	1027P11	8区 標								
8区	1028P11	8区 標								
8区	1029P11	8区 標								

調査区	道標名	旧称	道標 类别	標記 番号	道物 类别	標記 番号	道物 状態	道標 写真	道物 写真	備考
8区	1030P11	8区 標								
8区	1031P11	8区 標								
8区	1032P11	8区 標								
8区	1033P11	8区 標								
8区	1034P11	8区 標								
8区	1035P11	8区 標								
8区	1036P11	8区 標								
8区	1037P11	8区 標								
8区	1038P11	8区 標								
8区	1039P11	8区 標								
8区	1040P11	8区 標								
8区	1041P11	8区 標								
8区	1042P11	8区 標								
8区	1043P11	8区 標								
8区	1044P11	8区 標								
8区	1045P11	8区 標								
8区	1046P11	8区 標								
8区	1047P11	8区 標								
8区	1048P11	8区 標								
8区	1049P11	8区 標								
8区	1050P11	8区 標								
8区	1051P11	8区 標								
8区	1052P11	8区 標								
8区	1053P11	8区 標								
8区	1054P11	8区 標								
8区	1055P11	8区 標								
8区	1056P11	8区 標								
8区	1057P11	8区 標								
8区	1058P11	8区 標								
8区	1059P11	8区 標								
8区	1060P11	8区 標								
8区	1061P11	8区 標								
8区	1062P11	8区 標								
8区	1063P11	8区 標								
8区	1064P11	8区 標								
8区	1065P11	8区 標								
8区	1066P11	8区 標								
8区	1067P11	8区 標								
8区	1068P11	8区 標								
8区	1069P11	8区 標								
8区	1070P11	8区 標								
8区	1071P11	8区 標								
8区	1072P11	8区 標								

*調査区外

調査区	道幅別	旧称	道幅 表測区	検印 番号	道物 表測区	検印 番号	道物 観察表	道幅 写真	道物 写真	備考
0区		10739	0区 P1073	-	-	-	-	-	-	-
0区		10740	0区 P1074	-	-	-	-	-	-	-
0区		10750	0区 P1075	-	-	-	-	-	-	-
0区		10760	0区 P1076	-	-	-	-	-	-	-
0区		10770	0区 P1077	-	-	-	-	-	-	-
0区		10780	0区 P1078	-	-	-	-	-	-	-
0区		10790	0区 P1079	-	-	-	-	-	-	-
0区		10800	0区 P1080	-	-	-	-	-	-	-
0区		10810	0区 P1081	-	-	-	-	-	-	-
0区		10820	0区 P1082	-	-	-	-	-	-	-
0区		10830	0区 P1083	-	-	-	-	-	-	-
0区		10840	0区 P1084	-	-	-	-	-	-	-
0区		10850	0区 P1085	-	-	-	-	-	-	-
0区		10860	0区 P1086	-	-	-	-	-	-	-
0区		10870	0区 P1087	-	-	-	-	-	-	-
0区		10880	0区 P1088	-	-	-	-	-	-	-
0区		10890	0区 P1089	-	-	-	-	-	-	-
0区		10900	0区 P1090	-	-	-	-	-	-	-
0区		10910	0区 P1091	-	-	-	-	-	-	-
0区		10920	0区 P1092	-	-	-	-	-	-	-
0区		10930	0区 P1093	-	-	-	-	-	-	-
0区		10940	0区 P1094	-	-	-	-	-	-	-
0区		10950	0区 P1095	-	-	-	-	-	-	-
0区		10960	0区 P1096	-	-	-	-	-	-	-
0区		10970	0区 P1097	-	-	-	-	-	-	-
0区		10980	0区 P1098	-	-	-	-	-	-	-
0区		10990	0区 P1099	-	-	-	-	-	-	-
0区		11000	0区 P1100	307	第338区	-	-	-	-	-
0区		11010	0区 P1101	-	-	-	-	-	-	-
0区		11020	0区 P1102	-	-	-	-	-	-	-
0区		11030	0区 P1103	-	-	-	-	-	-	-
0区		11040	0区 P1104	-	-	-	-	-	-	-
0区		11050	0区 P1105	-	-	-	-	-	-	-
0区		11060	0区 P1106	-	-	-	-	-	-	-
0区		11070	0区 P1107	-	-	-	-	-	-	-
0区		11080	0区 P1108	-	-	-	-	-	-	-
0区		11090	0区 P1109	-	-	-	-	-	-	-
0区		11100	0区 P1110	-	-	-	-	-	-	-
0区		11110	0区 P1111	-	-	-	-	-	-	-
0区		11120	0区 P1112	-	-	-	-	-	-	-
0区		11130	0区 P1113	-	-	-	-	-	-	-
0区		11140	0区 P1114	-	-	-	-	-	-	-
0区		11150	0区 P1115	-	-	-	-	-	-	-
0区		11160	0区 P1116	-	-	-	-	-	-	-

調査区	道幅別	旧称	道幅 表測区	検印 番号	道物 表測区	検印 番号	道物 観察表	道幅 写真	道物 写真	備考
0区		11170	0区 P1117	-	-	-	-	-	-	-
0区		11180	0区 P1118	-	-	-	-	-	-	-
0区		11190	0区 P1119	-	-	-	-	-	-	-
0区		11200	0区 P1120	-	-	-	-	-	-	-
0区		11210	0区 P1121	-	-	-	-	-	-	-
0区		11220	0区 P1122	-	-	-	-	-	-	-
0区		11230	0区 P1123	-	-	-	-	-	-	-
0区		11240	0区 P1124	-	-	-	-	-	-	-
0区		11250	0区 P1125	-	-	-	-	-	-	-
0区		11260	0区 P1126	-	-	-	-	-	-	-
0区		11270	0区 P1127	-	-	-	-	-	-	-
0区		11280	0区 P1128	-	-	-	-	-	-	-
0区		11290	0区 P1129	-	-	-	-	-	-	-
0区		11300	0区 P1130	-	-	-	-	-	-	-
0区		11310	0区 P1131	-	-	-	-	-	-	-
0区		11320	0区 P1132	-	-	-	-	-	-	-
0区		11330	0区 P1133	-	-	-	-	-	-	-
0区		11340	0区 P1134	-	-	-	-	-	-	-
0区		11350	0区 P1135	-	-	-	-	-	-	-
0区		11360	0区 P1136	-	-	-	-	-	-	-
0区		11370	0区 P1137	-	-	-	-	-	-	-
0区		11380	0区 P1138	-	-	-	-	-	-	-
0区		11390	0区 P1139	-	-	-	-	-	-	-
0区		11400	0区 P1140	-	-	-	-	-	-	-
0区		11410	0区 P1141	-	-	-	-	-	-	-
0区		11420	0区 P1142	-	-	-	-	-	-	-
0区		11430	0区 P1143	-	-	-	-	-	-	-
0区		11440	0区 P1144	-	-	-	-	-	-	-
0区		11450	0区 P1145	-	-	-	-	-	-	-
0区		11460	0区 P1146	-	-	-	-	-	-	-
0区		11470	0区 P1147	-	-	-	-	-	-	-
0区		11480	0区 P1148	-	-	-	-	-	-	-
0区		11490	0区 P1149	-	-	-	-	-	-	-
0区		11500	0区 P1150	-	-	-	-	-	-	-
0区		11510	0区 P1151	-	-	-	-	-	-	-
0区		11520	0区 P1152	-	-	-	-	-	-	-
0区		11530	0区 P1153	-	-	-	-	-	-	-
0区		11540	0区 P1154	-	-	-	-	-	-	-
0区		11550	0区 P1155	-	-	-	-	-	-	-
0区		11560	0区 P1156	-	-	-	-	-	-	-
0区		11570	0区 P1157	-	-	-	-	-	-	-
0区		11580	0区 P1158	-	-	-	-	-	-	-
0区		11590	0区 P1159	-	-	-	-	-	-	-
0区		11600	0区 P1160	-	-	-	-	-	-	-

調査区	道幅名	区 称	道幅 类别	採回 番号	道物 类别	採回 番号	道物 状態	道幅 写真	道物 写真	備考
04	1337	04 P11-08	04 P1337	-	-	-	-	-	-	-
04	1338	04 P11-08	04 P1338	-	-	-	-	-	-	-
04	1339	04 P11-08	04 P1339	-	-	-	-	-	-	-
04	1340	04 P11-08	04 P1340	-	-	-	-	-	-	-
04	1341	04 P11-08	04 P1341	-	-	-	-	-	-	-
04	1342	04 P11-08	04 P1342	-	-	-	-	-	-	-
04	1343	04 P11-08	04 P1343	-	-	-	-	-	-	-
04	1344	04 P11-08	04 P1344	-	-	-	-	-	-	-
04	1345	04 P11-08	04 P1345	-	-	-	-	-	-	-
04	1346	04 P11-08	04 P1346	-	-	-	-	-	-	-
04	1347	04 P11-08	04 P1347	-	-	-	-	-	-	-
04	1348	04 P11-08	04 P1348	-	-	-	-	-	-	-
04	1349	04 P11-08	04 P1349	-	-	-	-	-	-	-
04	1350	04 P11-08	04 P1350	-	-	-	-	-	-	-
04	1351	04 P11-08	04 P1351	-	-	-	-	-	-	-
04	1352	04 P11-08	04 P1352	-	-	-	-	-	-	-
04	1353	04 P11-08	04 P1353	-	-	-	-	-	-	-
04	1354	04 P11-08	04 P1354	-	-	-	-	-	-	-
04	1355	04 P11-08	04 P1355	-	-	-	-	-	-	-
04	1356	04 P11-08	04 P1356	-	-	-	-	-	-	-
04	1357	04 P11-08	04 P1357	-	-	-	-	-	-	-
04	1358	04 P11-08	04 P1358	-	-	-	-	-	-	-
04	1359	04 P11-08	04 P1359	-	-	-	-	-	-	-
04	1360	04 P11-08	04 P1360	-	-	-	-	-	-	-
04	1361	04 P11-08	04 P1361	-	-	-	-	-	-	-
04	1362	04 P11-08	04 P1362	-	-	-	-	-	-	-
04	1363	04 P11-08	04 P1363	-	-	-	-	-	-	-
04	1364	04 P11-08	04 P1364	-	-	-	-	-	-	-
04	1365	04 P11-08	04 P1365	-	-	-	-	-	-	-
04	1366	04 P11-08	04 P1366	-	-	-	-	-	-	-
04	1367	04 P11-08	04 P1367	-	-	-	-	-	-	-
04	1368	04 P11-08	04 P1368	-	-	-	-	-	-	-
04	1369	04 P11-08	04 P1369	-	-	-	-	-	-	-
04	1370	04 P11-08	04 P1370	-	-	-	-	-	-	-
04	1371	04 P11-08	04 P1371	-	-	-	-	-	-	-
04	1372	04 P11-08	04 P1372	-	-	-	-	-	-	-
04	1373	04 P11-08	04 P1373	-	-	-	-	-	-	-
04	1374	04 P11-08	04 P1374	-	-	-	-	-	-	-
04	1375	04 P11-08	04 P1375	-	-	-	-	-	-	-
04	1376	04 P11-08	04 P1376	-	-	-	-	-	-	-
04	1377	04 P11-08	04 P1377	-	-	-	-	-	-	-
04	1378	04 P11-08	04 P1378	-	-	-	-	-	-	-
04	1379	04 P11-08	04 P1379	-	-	-	-	-	-	-
04	1380	04 P11-08	04 P1380	-	-	-	-	-	-	-

調査区	道幅名	区 称	道幅 类别	採回 番号	道物 类别	採回 番号	道物 状態	道幅 写真	道物 写真	備考
04	1381	04 P11-08	04 P1381	-	-	-	-	-	-	-
04	1382	04 P11-08	04 P1382	-	-	-	-	-	-	-
04	1383	04 P11-08	04 P1383	-	-	-	-	-	-	-
04	1384	04 P11-08	04 P1384	-	-	-	-	-	-	-
04	1385	04 P11-08	04 P1385	-	-	-	-	-	-	-
04	1386	04 P11-08	04 P1386	-	-	-	-	-	-	-
04	1387	04 P11-08	04 P1387	-	-	-	-	-	-	-
04	1388	04 P11-08	04 P1388	-	-	-	-	-	-	-
04	1389	04 P11-08	04 P1389	-	-	-	-	-	-	-
04	1390	04 P11-08	04 P1390	-	-	-	-	-	-	-
04	1391	04 P11-08	04 P1391	-	-	-	-	-	-	-
04	1392	04 P11-08	04 P1392	-	-	-	-	-	-	-
04	1393	04 P11-08	04 P1393	-	-	-	-	-	-	-
04	1394	04 P11-08	04 P1394	-	-	-	-	-	-	-
04	1395	04 P11-08	04 P1395	-	-	-	-	-	-	-
04	1396	04 P11-08	04 P1396	-	-	-	-	-	-	-
04	1397	04 P11-08	04 P1397	-	-	-	-	-	-	-
04	1398	04 P11-08	04 P1398	-	-	-	-	-	-	-
04	1399	04 P11-08	04 P1399	-	-	-	-	-	-	-
04	1400	04 P11-08	04 P1400	-	-	-	-	-	-	-
04	1401	04 P11-08	04 P1401	-	-	-	-	-	-	-
04	1402	04 P11-08	04 P1402	-	-	-	-	-	-	-
04	1403	04 P11-08	04 P1403	-	-	-	-	-	-	-
04	1404	04 P11-08	04 P1404	-	-	-	-	-	-	-
04	1405	04 P11-08	04 P1405	-	-	-	-	-	-	-
04	1406	04 P11-08	04 P1406	-	-	-	-	-	-	-
04	1407	04 P11-08	04 P1407	-	-	-	-	-	-	-
04	1408	04 P11-08	04 P1408	-	-	-	-	-	-	-
04	1409	04 P11-08	04 P1409	-	-	-	-	-	-	-
04	1410	04 P11-08	04 P1410	-	-	-	-	-	-	-
04	1411	04 P11-08	04 P1411	-	-	-	-	-	-	-
04	1412	04 P11-08	04 P1412	-	-	-	-	-	-	-
04	1413	04 P11-08	04 P1413	-	-	-	-	-	-	-
04	1414	04 P11-08	04 P1414	-	-	-	-	-	-	-
04	1415	04 P11-08	04 P1415	-	-	-	-	-	-	-
04	1416	04 P11-08	04 P1416	-	-	-	-	-	-	-
04	1417	04 P11-08	04 P1417	-	-	-	-	-	-	-
04	1418	04 P11-08	04 P1418	-	-	-	-	-	-	-
04	1419	04 P11-08	04 P1419	-	-	-	-	-	-	-
04	1420	04 P11-08	04 P1420	-	-	-	-	-	-	-
04	1421	04 P11-08	04 P1421	-	-	-	-	-	-	-
04	1422	04 P11-08	04 P1422	-	-	-	-	-	-	-
04	1423	04 P11-08	04 P1423	-	-	-	-	-	-	-
04	1424	04 P11-08	04 P1424	-	-	-	-	-	-	-

調査区	道標名	旧称	道標 类别	標記 番号	道物 类别	標記 番号	道物 状態	道標 写真	道物 写真	備考		
8区	20180	8区 Fl: 8区	20116	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20181	8区 Fl: 8区	20117	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20180	8区 Fl: 8区	20118	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20180	8区 Fl: 8区	20119	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20200	8区 Fl: 8区	20120	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20210	8区 Fl: 8区	20121	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20220	8区 Fl: 8区	20122	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20230	8区 Fl: 8区	20123	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20240	8区 Fl: 8区	20124	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20250	8区 Fl: 8区	20125	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20260	8区 Fl: 8区	20126	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20270	8区 Fl: 8区	20127	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20280	8区 Fl: 8区	20128	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20290	8区 Fl: 8区	20129	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20300	8区 Fl: 8区	20130	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20310	8区 Fl: 8区	20131	※調査区外							-	-
8区	20320	8区 Fl: 8区	20132	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20330	8区 Fl: 8区	20133	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20340	8区 Fl: 8区	20134	270	第500区	-	-	-	-	-		
8区	20350	8区 Fl: 8区	20135	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20360	8区 Fl: 8区	20136	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20370	8区 Fl: 8区	20137	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20380	8区 Fl: 8区	20138	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20390	8区 Fl: 8区	20139	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20400	8区 Fl: 8区	20140	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20410	8区 Fl: 8区	20141	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20420	8区 Fl: 8区	20142	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20430	8区 Fl: 8区	20143	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20440	8区 Fl: 8区	20144	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20450	8区 Fl: 8区	20145	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20460	8区 Fl: 8区	20146	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20470	8区 Fl: 8区	20147	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20480	8区 Fl: 8区	20148	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20490	8区 Fl: 8区	20149	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20500	8区 Fl: 8区	20150	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20510	8区 Fl: 8区	20151	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20520	8区 Fl: 8区	20152	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20530	8区 Fl: 8区	20153	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20540	8区 Fl: 8区	20154	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20550	8区 Fl: 8区	20155	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20560	8区 Fl: 8区	20156	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20570	8区 Fl: 8区	20157	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20580	8区 Fl: 8区	20158	-	-	-	-	-	-	-		
8区	20590	8区 Fl: 8区	20159	-	-	-	-	-	-	-		

8区	20600	8区 Fl: 8区	20160	-	-	-	-	-	-	-
8区	20610	8区 Fl: 8区	20161	-	-	-	-	-	-	-
8区	20620	8区 Fl: 8区	20162	-	-	-	-	-	-	-
8区	20630	8区 Fl: 8区	20163	-	-	-	-	-	-	-
8区	20640	8区 Fl: 8区	20164	-	-	-	-	-	-	-
8区	20650	8区 Fl: 8区	20165	-	-	-	-	-	-	-
8区	20660	8区 Fl: 8区	20166	-	-	-	-	-	-	-
8区	20670	8区 Fl: 8区	20167	-	-	-	-	-	-	-
8区	20680	8区 Fl: 8区	20168	-	-	-	-	-	-	-
8区	20690	8区 Fl: 8区	20169	-	-	-	-	-	-	-
8区	20700	8区 Fl: 8区	20170	-	-	-	-	-	-	-
8区	20710	8区 Fl: 8区	20171	-	-	-	-	-	-	-
8区	20720	8区 Fl: 8区	20172	-	-	-	-	-	-	-
8区	20730	8区 Fl: 8区	20173	-	-	-	-	-	-	-
8区	20740	8区 Fl: 8区	20174	-	-	-	-	-	-	-
8区	20750	8区 Fl: 8区	20175	-	-	-	-	-	-	-
8区	20760	8区 Fl: 8区	20176	-	-	-	-	-	-	-
8区	20770	8区 Fl: 8区	20177	-	-	-	-	-	-	-
8区	20780	8区 Fl: 8区	20178	-	-	-	-	-	-	-
8区	20790	8区 Fl: 8区	20179	-	-	-	-	-	-	-
8区	20800	8区 Fl: 8区	20180	-	-	-	-	-	-	-
8区	20810	8区 Fl: 8区	20181	-	-	-	-	-	-	-
8区	20820	8区 Fl: 8区	20182	-	-	-	-	-	-	-
8区	20830	8区 Fl: 8区	20183	-	-	-	-	-	-	-
8区	20840	8区 Fl: 8区	20184	-	-	-	-	-	-	-
8区	20850	8区 Fl: 8区	20185	-	-	-	-	-	-	-
8区	20860	8区 Fl: 8区	20186	-	-	-	-	-	-	-
8区	20870	8区 Fl: 8区	20187	-	-	-	-	-	-	-
8区	20880	8区 Fl: 8区	20188	-	-	-	-	-	-	-
8区	20890	8区 Fl: 8区	20189	-	-	-	-	-	-	-
8区	20900	8区 Fl: 8区	20190	-	-	-	-	-	-	-
8区	20910	8区 Fl: 8区	20191	-	-	-	-	-	-	-
8区	20920	8区 Fl: 8区	20192	-	-	-	-	-	-	-
8区	20930	8区 Fl: 8区	20193	-	-	-	-	-	-	-
8区	20940	8区 Fl: 8区	20194	-	-	-	-	-	-	-
8区	20950	8区 Fl: 8区	20195	-	-	-	-	-	-	-
8区	20960	8区 Fl: 8区	20196	-	-	-	-	-	-	-
8区	20970	8区 Fl: 8区	20197	-	-	-	-	-	-	-
8区	20980	8区 Fl: 8区	20198	-	-	-	-	-	-	-
8区	20990	8区 Fl: 8区	20199	-	-	-	-	-	-	-
8区	21000	8区 Fl: 8区	21000	-	-	-	-	-	-	-
8区	21010	8区 Fl: 8区	21001	-	-	-	-	-	-	-
8区	21020	8区 Fl: 8区	21002	-	-	-	-	-	-	-
8区	21030	8区 Fl: 8区	21003	-	-	-	-	-	-	-

鎮區	道橋名	路名	道橋類別	樁固號	道橋類別	樁固號	道橋類別	道橋寫真	道橋寫真	備考
8區	2104路	8區 P1104	-	-	-	-	-	-	-	-
8區	2105路	8區 P1105	-	-	-	-	-	-	-	-
8區	2106路	8區 P1106	-	-	-	-	-	-	-	-
8區	2107路	8區 P1107	-	-	-	-	-	-	-	-
4區	2108路	8區 P1108	-	-	-	-	-	-	-	-
4區	2109路	8區 P1109	-	-	-	-	-	-	-	-
4區	2110路	8區 P1110	-	-	-	-	-	-	-	-
8區	2111路	8區 P1111	-	-	-	-	-	-	-	-
8區	2112路	8區 P1112	-	-	-	-	-	-	-	-
8區	2113路	8區 P1113	-	-	-	-	-	-	-	-
8區	9001路	8區 P5001	382	第144路	-	-	-	191	-	-
8區	9002路	8區 P5002	382	第144路	-	-	-	-	-	-
8區	9003路	8區 P5003	382	第144路	-	-	-	-	-	-
8區	9004路	8區 P5004	382	第144路	-	-	-	-	-	-
8區	9005路	8區 P5005	382	第144路	-	-	-	-	-	-
8區	9006路	8區 P5006	382	第144路	-	-	-	-	-	-

井戶路 11 基

鎮區	道橋名	路名	道橋類別	樁固號	道橋類別	樁固號	道橋類別	道橋寫真	道橋寫真	備考
1-2區	1号井戶路	1-2區 SE-01	230	第304路	230	第304路	230	95	269	-
1-2區	2号井戶路	1-2區 SE-02	230	第304路	-	-	-	95	-	-
1-2區	3号井戶路	1-2區 SE-03	210, 211	第300路	211	第300路	211	96	269	-
1-2區	4号井戶路	1-2區 SE-31	212	第300路	213	第300路	213	97	269	-
1-2區	5号井戶路	1-2區 SE-33	213, 214	第300路	-	-	-	98	-	-
1-2區	6号井戶路	1-2區 SE-35	214	第311路	215	第311路	215	98, 100	269	-
1-2區	7号井戶路	1-2區 SE-74	215	第312路	215	第312路	215	100	309	-
4區	1号井戶路	8區 SE-22	271	第399路	271	第399路	271	143	274	-
4區	1号井戶路	8區 SE-01	319	第482路	-	-	-	174	-	-
7區	1号井戶路	7區 SE-01	319	第483路	-	-	-	174	-	-
7區	2号井戶路	7區 SE-02	319	第483路	-	-	-	174	-	-
7區	3号井戶路	7區 SE-03	-	-	-	-	-	-	-	-
8區	1号井戶路	8區 SE-01	407-408	第431-547路	409	第437路	409	212	-	-

溝 路 65 基

鎮區	道橋名	路名	道橋類別	樁固號	道橋類別	樁固號	道橋類別	道橋寫真	道橋寫真	備考
1-2區	1号溝路	1-2區 SE-01	419, 42	第158-159路	419	第158路	422	219	-	-
1-2區	2号溝路	1-2區 SE-02	421, 422	第160-161路	421	第160路	422	219	-	-
1-2區	3号溝路	1-2區 SE-03	423-425	第162-164路	425	第164路	422	219, 22	285	-
1-2區	4号溝路	1-2區 SE-04	421, 422	第165-164路	422	第164路	422	219	285	-
1-2區	5号溝路	1-2區 SE-05	430, 431	第169, 170路	430	第169路	422	219, 22	286	-
1-2區	6号溝路	1-2區 SE-06	431	第170路	-	-	-	223	-	-
1-2區	7号溝路	1-2區 SE-07	430, 431	第169-170路	431	第170路	422	221	286	-
1-2區	8号溝路	1-2區 SE-08	432, 433, 434	第171路	432	第171路	422	214	282, 283	-
1-2區	9号溝路	1-2區 SE-09	433-439	第172-178路	433	第172-178路	422	214, 283, 285	216, 284	-
3區	9号溝路	3區 SE-09	433	第172路	433	第172路	-	-	284	-
1-2區	10号溝路	1-2區 SE-10	438, 437	第163, 166路	-	-	-	-	220	-

鎮區	道橋名	路名	道橋類別	樁固號	道橋類別	樁固號	道橋類別	道橋寫真	道橋寫真	備考
1-2區	11号溝路	1-2區 SE-11	427	第165路	-	-	-	220	-	-
1-2區	12号溝路	1-2區 SE-12	428, 429	第167-168路	429	第168路	428	222	286	-
1-2區	13号溝路	1-2區 SE-13	419	第169路	-	-	-	223	-	-
1-2區	14号溝路	1-2區 SE-14	421	第169路	-	-	-	223	-	-
1-2區	15号溝路	1-2區 SE-15	423	第169路	-	-	-	224	-	-
1-2區	16号溝路	1-2區 SE-16	440-442	第179-181路	-	-	-	223	-	-
4區	18号溝路	3區 SE-16	442	第181路	-	-	-	-	-	-
1-2區	17号溝路	1-2區 SE-17	443	第181路	443	第181路	427	224	286	-
4區	1号溝路	4區 SE-01	404, 408	第163, 167路	408	第167路	427	226	286	-
4區	2号溝路	4區 SE-02	429	第169路	-	-	-	-	-	-
4區	3号溝路	4區 SE-03	439	第169路	-	-	-	-	-	-
4區	4号溝路	4區 SE-04	449-451	第192路	-	-	-	227	-	-
4區	5号溝路	4區 SE-05	448	第192路	-	-	-	-	-	-
4區	6号溝路	4區 SE-06	448, 451, 454	第197-199, 200, 203路	-	-	-	225	-	-
4區	7号溝路	4區 SE-07	455	第194路	-	-	-	227	-	-
4區	8号溝路	4區 SE-08	466-470	第200-209路	466	第200路	423	216	285	-
4區	9号溝路	4區 SE-09	465-465	第201-204路	465	第204路	426	216	285	-
4區	10号溝路	4區 SE-10	456-458	第205-207路	458	第207路	426	221, 222	285	-
4區	11号溝路	4區 SE-11	451-453	第207-202路	451	第207路	426	227	285	-
4區	12号溝路	4區 SE-12	432-433	第203, 202路	-	-	-	227	286	-
4區	13号溝路	4區 SE-13	430, 432	第208, 209路	-	-	-	-	-	-
4區	14号溝路	4區 SE-14	460	第210路	-	-	-	-	-	-
4區	15号溝路	4區 SE-15	460	第210路	-	-	-	178	-	-
4區	16号溝路	4區 SE-16	461	第200路	-	-	-	227	-	-
4區	17号溝路	4區 SE-17	461	第200路	-	-	-	228	-	-
4區	18号溝路	4區 SE-18	461	第200路	-	-	-	228	-	-
4區	19号溝路	4區 SE-19	447	第208路	-	-	-	223	-	-
4區	20号溝路	4區 SE-20	447	第208路	-	-	-	223	-	-
4區	21号溝路	4區 SE-21	447	第208路	-	-	-	223	-	-
4區	22号溝路	4區 SE-22	461	第200路	-	-	-	-	-	-
4區	23号溝路	4區 SE-23	447	第208路	-	-	-	-	-	-
4區	24号溝路	4區 SE-24	438	第207路	-	-	-	-	-	-
4區	25号溝路	4區 SE-25	447	第208路	-	-	-	-	-	-
4區	1号溝路	4區 SE-01	476-478	第213-217路	-	-	-	-	-	-
4區	2号溝路	4區 SE-02	476-478	第213-217路	477	第213路	427	228	286	-
4區	3号溝路	4區 SE-03	476-478	第213-217路	477	第213路	427	228	286	-
4區	4号溝路	4區 SE-04	476-478	第213-217路	477	第213路	427	228	286	-
4區	5号溝路	4區 SE-05	480	第218路	-	-	-	-	-	-
4區	6号溝路	4區 SE-06	480	第218路	-	-	-	-	-	-
4區	7号溝路	4區 SE-07	-	-	-	-	-	-	-	-
4區	8号溝路	4區 SE-08	473-473	第212-214路	-	-	-	216	-	-
4區	9号溝路	4區 SE-09	473-473	第212-214路	474	第213路	426	217	285	-
4區	10号溝路	4區 SE-10	481	第220路	481	第220路	427	228	286	-

調査区	道標名	名称	道標 番号	道標 位置	道標 位置	道標 位置	道標 位置	備考
6区	11号道標	6F5D-11	481	第6130区	-	-	226	-
6区	12号道標	6F5D-12	481	第6130区	-	-	228	-
6区	13号道標	6F5D-13	482, 483	第621, 622区	-	-	228	-
6区	14号道標	6F5D-14	482	第6130区	-	-	229	-
6区	15号道標	6F5D-15	482, 483	第621, 622区	-	-	-	-
7区	1号道標	7F5D-01	486, 487	第602-631区	487	第627区	328	229, 286
7区	2号道標	7F5D-02	486, 487	第602-631区	486	第627区	328	-
7区	3号道標	7F5D-03	487, 488	第629-639区	488	第627区	328	229, 286
7区	4号道標	7F5D-04	489	第6130区	-	-	229	-
7区	5号道標	7F5D-05	494, 495	第631, 634区	-	-	229	-
7区	6号道標	7F5D-06	494, 495	第631, 634区	-	-	229	-
7区	7号道標	7F5D-07	496	第6130区	-	-	-	-
7区	8号道標	7F5D-08	-	-	-	-	-	-
7区	9号道標	7F5D-09	-	-	-	-	-	-
7区	10号道標	7F5D-10	496	第6130区	-	-	-	-
8区	11号道標	8K5D-11	497, 498	第636, 637区	-	-	-	-
8区	1号道標	8K5D-01	543, 544	第602, 603, 605区	-	-	-	-
8区	2号道標	8K5D-02	543, 544	第602, 603区	-	-	-	-
8区	3号道標	8K5D-03	544, 548	第653, 655区	-	-	228	-
8区	4号道標	8K5D-04	545, 549	第654, 658-660区	549	第608区	329	229, 286
8区	5号道標	8K5D-05	545	第6140区	-	-	229	-
8区	6号道標	8K5D-06	545	第6140区	-	-	229	-
8区	7号道標	8K5D-07	508	第647区	508	第647区	328	229, 286
8区	8号道標	8K5D-08	501-507	第646-648区	501	第648区	323	216, 217, 219
8区	9号道標	8K5D-09	501-507	第646-648区	501	第648区	323	217, 219
8区	10号道標	8K5D-10	509, 511	第648, 649区	-	-	230	-
8区	11号道標	8K5D-11	508	第647区	-	-	229	-
8区	12号道標	8K5D-12	514	第6130区	-	-	-	-
8区	13号道標	8K5D-13	517, 518	第656, 657区	-	-	-	-
8区	14号道標	8K5D-14	519	第6130区	-	-	-	-
8区	15号道標	8K5D-15	519	第6130区	-	-	-	-
8区	16号道標	8K5D-16	519	第6130区	-	-	230	-
8区	17号道標	8K5D-17	519	第6130区	-	-	230	-
8区	18号道標	8K5D-18	511, 512	第630, 631区	511	第608区	328	230, 286

その他の道標

調査区	道標名	名称	道標 番号	道標 位置	道標 位置	道標 位置	道標 位置	備考	
1-2区	1号道標	1-2区 1号道標	11	第000区	11	第000区	11	2, 255	
6区	1号道標	6区1 号道標	11	第000区	11, 12	第6, 7区	12	2, 255	
6区	2号道標	6区2 号道標	12	第000区	12	第7区	13	2, 255	
7区	1号道標	7区1 号道標	13	第000区	13	第6区	14	3, 256	
7区	2号道標	7区2 号道標	13	第000区	13, 14	第9, 900区	14	3, 256	
7区	3号道標	7区3 号道標	14	第000区	14	第6区	14	3, 256	
7区	4号道標	7区4 号道標	15	第100区	15	第100区	15	3, 256	
7区	5号道標	7区5 号道標	15	第100区	15	第100区	15	3, 257	
7区	6号道標	7区6 号道標	16	第110区	16	第110区	16	4, 257	
1-2区	1号半 道標	1-2区 S2-01	222	第1160区	-	-	100	-	
6区	1号半 道標	6K53-01	-	非調査区/大帯				-	-
8区	2号半 道標	8K S3-02	411	第5510区	411	第5510区	412	-	
8区	3号半 道標	8K S3-03	412	第5520区	-	-	-	-	
8区	4号半 道標	8K S3-04	412	第5530区	413	第5540区	413	-	
1-2区	1号土 道標	1号土 道標中	216	第3130区	216, 219	第311, 316区	219, 221	103, 209, 271	
1-2区	2号土 道標	2号土 道標中	221	第3110区	221	第3170区	221	101, 271	
1-2区	3号土 道標	3号土 道標中	-	-	-	-	-	-	
1-2区	4号土 道標	4号土 道標中	223	第3180区	221	第3180区	221	-	
4区	1号架 石道標	1号架 石道標	271, 272	第600, 601区	273	第6020区	273	144, 274	
4区	2号架 石道標	2号架 石道標	274	第6030区	274	第6030区	274	144, 274	
7区	1号架 石道標	1号架 石道標	-	-	-	-	-	178	
7区	2号架 石道標	2号架 石道標	-	-	-	-	-	178	
7区	3号架 石道標	3号架 石道標	-	-	-	-	-	178	
4区	1号机 道標	1号机 道標	529	第6610区	-	-	232	-	
4区	2号机 道標	2号机 道標	529	第6610区	-	-	-	-	
1-2区	道標	道標	536-540	第669-678区	-	-	231	-	
4区	道標	1-2号 道標	564-559	第679-683区	-	-	232	-	
4区	道標	1-2号 道標	551, 552	第684, 685区	-	-	232	-	
6区	在野代 道標	在野代 道標	553	第6860区	-	-	233	-	
7区	道標	道標	554	第6870区	-	-	-	-	
7区	水田道 標	水田道 標	554	第6870区	-	-	233	-	
8区	道標	1-2号 道標	555-557	第688-690区	-	-	233	-	
5-7区	河川道 標	6-7区 大道標	561-566	第691-698区	565	第699, 7150区	566, 600	233, 288, 302	

第1章 発掘調査の概要

第1節 調査に至る経緯

北関東自動車道(伊勢崎～群馬栃木県境間)建設事業に伴い、群馬県教育委員会では埋蔵文化財分布状況の詳細確認を行うため、沿線の伊勢崎市・佐波郡東村・新田郡藪塚本町・太田市の2市1町1村に協力要請を行い、遺跡の確認作業に入った。伊勢崎～県境間の建設に伴う計画路線に関わる埋蔵文化財発掘調査については、群馬県教育委員会スポーツ文化部文化財保護課、群馬県土木部道路建設課高速道路対策室、日本道路公団の三者で協議した結果、本線部分の発掘調査及び県道(側道)についての発掘調査は財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が受託することとなり、平成12年8月に日本道路公団東京建設局長、群馬県教育委員会教育長、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長の三者により協定書を締結、これに基づき道路公団と事業団との間で契約を結び、平成12年度より伊勢崎～群馬栃木県境間17.7kmについての発掘調査が開始された。太田市東今泉町に所在する当遺跡は、平成15・16年度に調査の対象となった。(注:市町村および機関はすべて当時の名称)

第2節 調査の方法と経過

鹿島浦遺跡は、高速道インターチェンジ部に当たるため、総面積48,483㎡を測る。平成15年7月から準備を開始し、調査対象域内を現有道を境に1～8区の調査区に分割(後掲調査区設定図参照)し、開始当初は調査担当者2名をもって、5区・6区・7区を対象に調査を進めることとした。平成16年1月以降は、次年度調査を円滑に進めるため、対象区の範囲確認～表土掘削を先行して行うと共に、1月には検出された東山道駅跡を中心とした現地説明会を開催した。

翌年度を迎え4月より体制を新たに4区・8区・1～3区を対象に、隣接農地の耕作時期等との調整を図りつつ調査を進め、調査区毎に調査を終えた時点で埋め戻し、平成16年3月31日をもって終了した。

【平成15年度】

8月19日	調査事務所設置、調査開始(調査担当者:関根・土谷)
8月21日	7区表土除去作業開始
8月26日	8区表土除去作業開始、測量機打設
9月5日	7区遺構掘削作業開始
9月中	降雨のため作業休止続く
10月6日	7区調査に先行して5区・6区範囲確認調査開始
10月16日	7区調査に先行して6区表土除去作業開始
10月24日	6区遺構掘削作業開始、測量機打設
11月4日	7区遺構掘削、6区遺構(水田・高跡)掘削作業開始
11月7日	7区・1・2区航空写真撮影
11月12日	7区遺構掘削、6区水田・高跡調査、5区高跡調査
11月26日	7区-1下面遺構掘削作業～遺構掘削、調査
12月4日	7区-1調査に先行して6区遺構掘削作業
12月12日	7区-1調査終了
12月18日	6区遺構掘削作業～遺構(溝跡)掘削開始
12月24日	年内作業終了
1月7日	調査再開、6区遺構掘削
1月15日	水田、武部一尚先生指導
1月25日	遺跡埋地説明会開催(来場者250名)
1月28日	6区遺構掘削、7区石垣区調査開始
2月9日	6区航空写真撮影
2月16日	6・7区調査に先行して4区範囲確認調査開始
2月16日	調査担当者:関根・土谷・齋藤・小林
2月23日	8区表土除去作業開始
2月25日	7区石垣区調査開始
3月2日	6区・7区人遺構掘削作業
3月10日	8区-1遺構掘削作業～調査
3月16日	6区石垣区説明会、石垣区調査開始
3月23日	年内調査終了
3月24日	7区-1埋め戻し作業
3月26日	6区埋め戻し作業

【平成16年度】

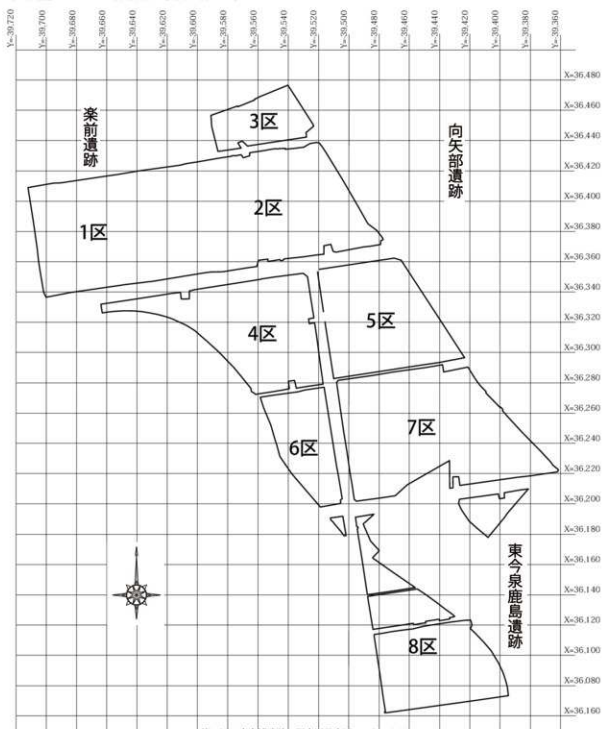
4月8日	発掘調査作業再開、(調査担当者:関根・新倉・土谷・橋山)
4月9日	8区-2・3及び4区遺構掘削作業
4月21日	8区遺構掘削作業～遺構掘削(溝跡)作業開始
4月23日	8区表土除去作業開始

4月26日	4区遺構掘削作業～遺構(住居跡)掘削開始
4月27日	測量機打設
5月13日	8区-2・3及び4区・2航空写真撮影
5月14日	7区-3遺構掘削作業、8区洪水氾濫期除去作業
5月24日	8区洪水氾濫期下遺構掘削作業～遺構掘削作業開始
5月24日	1・2区表土掘削作業開始、4区・8区遺構調査
6月2日	1・2区遺構掘削作業、7区石垣区調査開始
6月中	降雨による埋め戻し続く
6月9日	1・2区遺跡のため調査機、水切り溝及び排水施設設置
6月11日	1・2・4区降雨のため水没、排水作業
6月21日	7区-3調査終了埋め戻し
6月28日	8区調査、1・2区遺構掘削作業開始
8月2日	調査担当者:新倉・土谷・斎藤・橋山
8月12日	埋め戻し(お昼休み)
8月17日	調査再開、4区調査、8区水没のため排水作業
8月18日	1区遺構掘削～掘削作業、4区・8区直行調査
9月16日	1・2区航空写真撮影
9月27日	10月初旬にかけて降雨
10月12日	8区調査終了～埋め戻し
10月15日	1・2区、4区航空写真(実機)撮影
10月18日	降雨による埋め戻し続く
11月中	1・2区、4区直行調査、中頃より3区調査開始
12月1日	1・2区、4区直行調査、3区調査開始
12月8日	3区調査終了～埋め戻し
12月14日	4区航空写真撮影
12月20日	4区調査終了～埋め戻し
12月22日	年内調査終了～外周安全対策
12月28日	年内作業終了
1月6日	調査再開、1・2区調査
2月16日	降雨のため作業休止
3月9日	1・2区航空写真撮影
3月18日	調査終了
3月22日	1・2区埋め戻し、調査事務所撤収準備
3月23日	調査終了(遺跡見守り)
3月30日	埋め戻し完了、プレハブ解体

第1章 発掘調査の概要

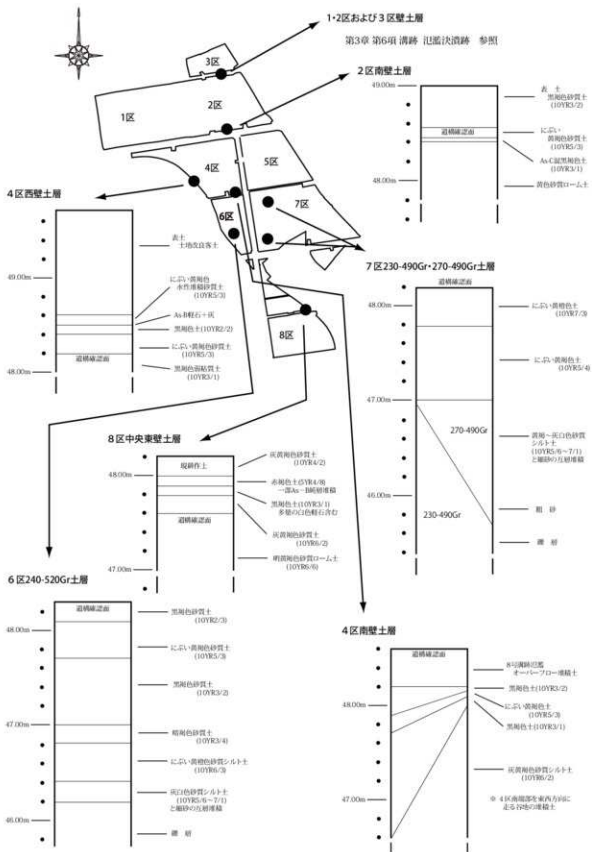
調査に際し設定した調査区については、アラビア数字をもって呼称し、グリッドについては国家座標第IX系を用いて調査時の平面測量等を行った。グリッドの呼称については、一般的なアルファベットと数字の組合わせによる任意の設定を行わず、X・Yの座標値の下3桁を連ねて位置の呼称とした。また、検出遺構の名称については、各調査区毎の連番を原則とし、調査時においてはアルファベット略号(SJ・SB・SE・SD等)を用いて命名した。

遺構の図化記録については、原則1/20の縮尺とし、一部1/10・1/40・1/100等の縮尺を用いた。写真記録については、35mmモノクロISO400・35mmリバーサルISO200・6×7プロローニー判モノクロISO400のフィルムを用いて調査担当者が撮影を行った。掘削作業、重機掘削作業、基準点・水準点測量作業、デジタル測量作業、航空写真撮影等の実施については専門業者に委託し行った。



第1図 鹿島通遺跡 調査区設定図 S-1:2,500

第3節 基本土層



第2図 基本土層図

第2章 周辺の環境

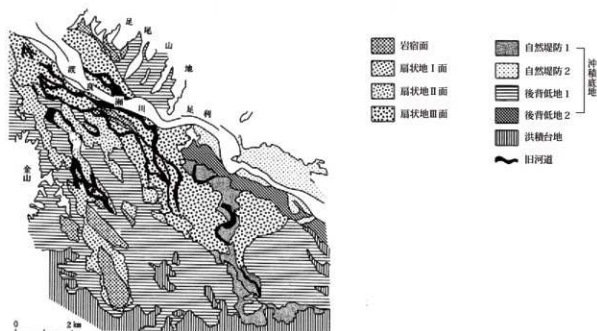
第1節 地理的環境

遺跡の所在する周辺の地形は、金山丘陵（標高約236m）と八王子丘陵（標高約294m＝桐生市茶臼山）および、その周辺の台地・低地および渡良瀬川で構成される。金山丘陵・八王子丘陵は、元々は足尾山地よりの延端部であったものが、断層が生じ、さらに大間々扇状地を形成した渡良瀬川が約24,000年前ころから流路を東に変えたことにより、現在の独立丘陵となったとされる。

大間々扇状地は、渡良瀬川が足尾山地を流れ出る谷口にあたる大間々町（標高約200m）を扇頂とし、西は赤城山南東斜面、東は八王子丘陵・金山丘陵を限りとする東西約14km、南北約16kmに及ぶ関東地方で三番目に大きな扇状地である。大量の砂礫を堆積させた渡良瀬川は、その後現在の河道へと移動したため、扇中央部には河川がなく乾燥した土地となった。一方、基盤層である厚い砂礫層を流れ伝わる地下水や扇状地上に降った雨水は浸透し、扇端部で湧水として湧出する。この湧水点を源として小河川が生まれ、南側の利根川に沿って帯状に形成された自然堤防との間に沖積低地を形成した。八王子丘陵・金山丘陵の西側は、この大間々扇状地（葎葎面）の扇端部に当たるため、等高線に沿うように湧水池が数多く点在し、「寺井・小金井・上野井・市野井・金井」など「井」の付く地名が連なる。その南側には洪積台地である由良（宝泉）台地が延び、周辺は沖積地となる。

また、本遺跡が所在する八王子丘陵・金山丘陵の東側から現渡良瀬川河道との間の地形は、渡良瀬川の流路変更以前に形成された葎葎台地や流路変更後に形成された渡良瀬川扇状地・旧河道・沖積地となる。渡良瀬川扇状地は、桐生市赤岩橋付近（標高約120m）を扇頂とし、太田市下小林から栃木県足利市御厨を扇端部とする南北18km東西7.5kmに及ぶ扇状地で、渡良瀬川の東遷により形成された時期の異なる3面で構成される。扇状地は南北に細長く、旧河道や沖積地が入り乱れ、複雑な地形となる。遺跡は、この渡良瀬川扇状地Ⅱ面上にあり、前掲の基本土層に示したとおり、その基盤層には扇状地砂礫層や洪水層の堆積が認められる。

この渡良瀬川扇状地については、隣接遺跡である大道東遺跡の調査報告（財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第464集「大道東遺跡（1）—縄文時代編—」）に、渡良瀬川扇状地上に点在する北関東自動車道地域等の近年の発掘調査事例と従来の渡良瀬川扇状地研究との若干の齟齬について担当者の私見を記されているので参照願いたい。



第3図 渡良瀬川扇状地の地質区分図（「太田市史」1996 184頁図より）

第2節 歴史的環境

旧石器時代から中・近世に至る通史的環境については、隣接遺跡の調査報告である「栗前遺跡(1)」(2009年刊財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第454集)に詳しい報告があるので、ここでは、本遺跡より検出された遺構の時代についての概観のみを述べるにとどめる。

奈良・平安時代

〈東山道駅路〉 北関東自動車道関連の太田市域の発掘調査により、八ヶ入遺跡・大道西遺跡・大道東遺跡・鹿島浦遺跡の4遺跡から、中約13mを測り、両側に側溝を有する道路状遺構が検出された。この道路状遺構は4遺跡間の約1kmほどの距離をほぼ直線で結ぶことから、古代官道としての東山道駅路であろうと推察される。

東山道は古代の地域区分である五畿七道のひとつで、近江・美濃・飛騨・信濃・上野・武蔵(後に東海道)・下野・陸奥・出羽の九つの国からなると同時に、都を起点に全国に向けて造られた七つの官道のひとつでもある。官道には規程により30里(約16km)毎に駅家(うまや)が設置され、駅馬が配置されると共に休憩宿泊施設が設けられた。上野国内には坂本(碓氷郡)・野後(碓氷郡)・群馬(群馬郡)・佐位(佐位郡)・新田(新田郡)の5駅が置かれていたことが『延喜式』に見える。特に新田駅は上野より下野へ向かう東山道駅路と武蔵へ向かう幹道との分岐点であり、交通の要衝であったと考えられる。

この東山道駅路に対する考古学的検証は、これまで県内各地で検出された古代幹線路に比定される道路状遺構調査事例から、9世紀以降の推定国府付近を通るルートや7世紀後半から8世紀代の牛糞・矢ノ原ルート、および県南部を通るルート等が想定されてきた。前記の太田市域検出の4事例については、重複する住居跡等の年代から、6世紀代より新しく、かつ8世紀中葉より古いものであると推定されるが、4事例共に現在整理作業中もしくは未整理状態にあり、今後、遺構に対する詳細な報告の後に、更なる検討がなされるものと思われる。

〈寺院・官衙跡〉 金山丘陵西北の寺井・天良地区から小金井・市野井(旧新田町)にかけての地域には、大型獨立柱建物跡・礎石建物跡や瓦の出土などから古代寺院跡や地方官衙跡に比定される遺跡が多く存在する。寺院跡としては、8世紀中葉の小規模寺院跡と推定される釣堂遺跡や7世紀後半の創建と推定される寺井庵寺がある。また、官衙的な遺跡としては、新田郡の郡家倉庫跡と推定される礎石建物跡が検出された天良七堂遺跡のほか、小金井入谷でも礎石建物跡や瓦が検出され、未整理遺跡ではあるが、北関東自動車道関連の八ヶ入遺跡・栗前遺跡・向矢部遺跡・鹿島浦遺跡等より三彩陶器片・軒瓦片・円面硯・硯脚円面硯・漆紙文書など、近隣に寺院・官衙施設が存在を想わせる遺物の出土もある。

〈生産跡〉 金山丘陵周辺地域には、菅ノ沢遺跡や高太郎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡など、古くから製鉄窯跡や須恵器窯跡群が数多く点在することが知られている。北関東自動車道関連の釜山遺跡では、製鉄炉や鍛冶工房遺構などが検出されると共に、製鉄関連集団の居住域としての集落跡も検出された。この釜山遺跡と併せ、同じく北関東自動車道関連の西野原遺跡でも同様の製鉄関連遺構が検出され、両遺跡合わせて7基の箱形炉・出土鉄滓量に至っては数十トンにもおよび、7世紀後半代の製鉄関連遺跡としては国内でも最大級の規模となり、この金山丘陵周辺地域は有数の工業地帯であったといえる。

また、農業生産跡として、上強戸遺跡群から、7世紀末から8世紀前半頃と考えられる厚い洪水堆積物に覆われた水田跡が広域に渡り検出された。水田跡の遺存状況は良好で、畦を境にして耕作・整備状況の異なる水田面や埋没水田と時期を同じくする用水路跡なども検出されている。この用水路跡には木樋の出土や複数の分岐溝があり、周辺一帯の幹線用水路であったと考えられる。同遺跡からは、天仁元(1108)年の浅間山噴火による火山灰で埋没した水田跡も検出されている。同噴火による埋没水田跡の検出例として、他に前沖遺跡などがあり、この火山災害は県内の他地域と同様に、この地域の田畑に壊滅的な打撃をもたらした。

鎌倉・室町時代以降

〈新田荘〉 本遺跡の位置する太田市域の中世を語る上で最も重要である新田荘は、平安時代末から鎌倉時代初期にかけて上野国新田郡一円に成立した荘園である。

清和源氏の八幡太郎源義家の子義国が足利に下向し坂東に土着。その子新田義重(源義重)が新田の地に入部して再

第2章 周辺の環境

開発に努め、保元2(1157)年に左衛門督家藤原忠雅・金剛心院に寄進し、義重は下司職に任命立券された。新田荘は義重の子孫に相続され、東国武士団としての新田一族の基盤となった。荘園域は赤城山麓を北端に、南は利根川の自然堤防、東は八王子・金山丘陵、西は早川沿岸を境とした。本遺跡は、新田荘東端部付近に位置することになる。荘園水田開発に欠くことのできない水源として、前記の地理的環境の項に記した大間々扇状地上に点在する湧水点の存在が大きい。河川の少ない扇状地上にあって地表下を流れる伏流水は重要な水源となった。また、荘園の飛躍的な規模拡大の要因となったことは、この地が新田開発ではなく、天仁元(1108)年の浅間山噴火災害により埋没した律令期水田の復興にあったからと推察される。新田開発が用地の削平や新規用水路の確保を要するのに対して、埋没水田の復興は労力が少なく、かつ生産の確実性が高い。新田荘域における埋蔵文化財発掘調査で検出される浅間山B軽石水田遺構の様相、即ち、復興の痕跡の有無を調査することで新田荘域の再開発を考古学的に検証することができると考えられる。

〈新田荘遺跡〉 平成12年に旧太田市・旧新田町・旧尾島町(現在は合併し太田市)の広域にわたる11ヶ所の寺社・館跡・湧水地など新田氏関係の遺跡を一括して「新田荘遺跡」として史跡指定される。円福寺境内・十二所神社・生品神社境内・江田館跡・反町館跡・重殿水源・矢田神水源・総持寺境内・長楽寺境内・東照宮境内・明王院境内の11ヶ所におよぶ新田荘関係の中世遺跡を面的にとらえての指定である。

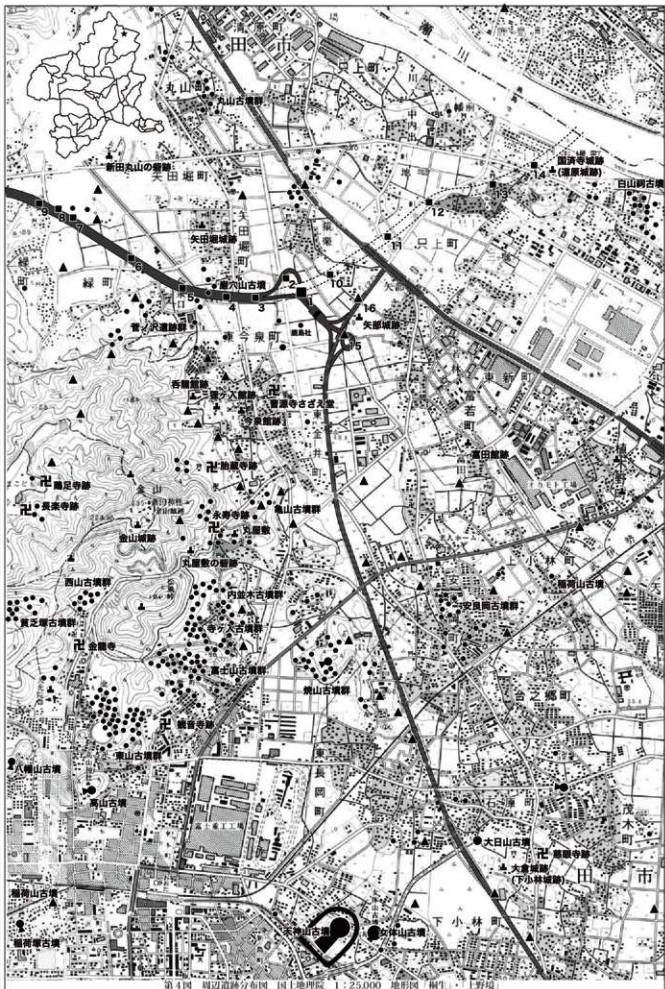
〈金山城〉 城は本遺跡の南東に位置する金山丘陵(標高約236m)上にある山城。昭和9年に国史跡に指定。築城は応永3(1469)年に新田氏一族の岩松家純が家臣である横瀬国繁に命じ、世良田長楽寺の僧松陰軒の綱張り(地鎮祭)により城を築かせたとされる。岩松氏は新田荘松郷を名字とする一族で、鎌倉時代後期には新田本宗家をしのぐ勢力に至り、後の南北朝動乱期には足利方につき、新田義貞ら南朝方新田氏が滅んだ後は、新田荘を支配し新田氏を称した。享禄元(1528)年、下克上の流れに乗じて主君岩松昌純を殺害し、城の実権は横瀬泰繁・成繁父子が奪い、実質的な金山城主となる。天正年間には新田・桐生・伊勢崎・館林・足利を手中に治め、後に成繁は源姓由良と改称し戦国大名の地位を得るが、この間の領地を取り巻く情勢は厳しく、甲斐の武田氏・越後の上杉氏・相模の後北条氏と列強戦国大名の狭間に有り、度重なる攻略に合うもの、金山城は難攻不落を誇る。天正12(1584)年に後北条氏の謀略により城主由良国繁と弟の館林城主長尾頼長の両名が小田原城に幽閉、帰還を条件に城は開城され、後北条氏支配下となるものの、天正18(1590)年に豊臣秀吉の小田原城攻略により後北条氏は滅亡、金山城は廃城となる。

金山城の城域は広大で、山頂部に実城を置き、山頂から延びる西尾根に西城を、北に延びる観音山に北城を、南の中八王子山には八王子山ノ首を構える、言わば複合的城郭である。山頂部の実城域に日ノ池・月ノ池の大池を持ち、石垣・石敷き通路・石組み排水路・石組み井戸など山城としては珍しい石組みの施設を有する。

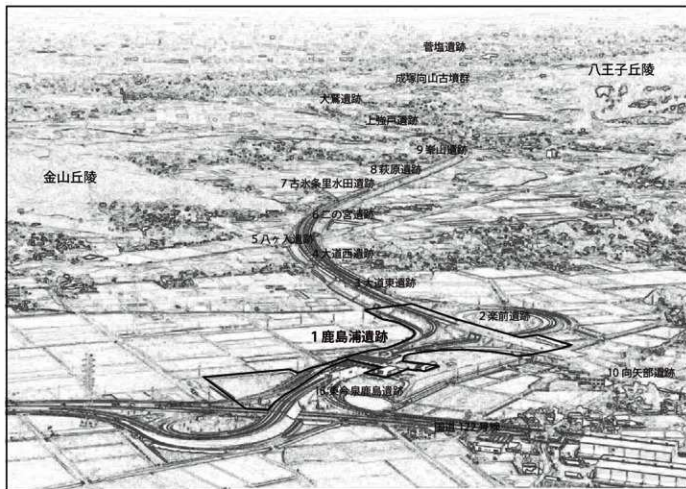
〈小字名〉遺跡名の元となる小字名「鹿島浦」は、記録によっては「鹿島島」と記されたものもあり、この呼称には「かしまり」と仮名が添えられている。いづれにしても、遺跡の南に位置していた「鹿島社」に由来するものと考えられる。

周辺遺跡一覧

No	遺跡名	所在地	遺跡概要	主な文献
1	鹿島浦遺跡(本遺跡)	太田市東今泉町	北関東自動車道開通発掘調査	本報告書
2	東前遺跡	太田市東今泉町	昭和61～63年 太田市教育委員会発掘調査 北関東自動車道開通発掘調査	「首良山川流域遺跡発掘調査概報」 事業別調査報告書第454集
3	大道東遺跡	太田市東今泉町	昭和41年 駒沢大学発掘調査 北関東自動車道開通発掘調査	「太田中史」 事業別調査報告書第464集・481集
4	大道西遺跡	太田市東今泉町	北関東自動車道開通発掘調査	未報告
5	八ヶ入遺跡	太田市東今泉町・緑町	北関東自動車道開通発掘調査	未報告
6	の宮遺跡	太田市緑町	北関東自動車道開通発掘調査	事業別調査報告書第459集
7	古木条平副水田遺跡	太田市緑町	北関東自動車道開通発掘調査	事業別調査報告書第459集
8	林原遺跡	太田市緑町	北関東自動車道開通発掘調査	未報告
9	塚山遺跡	太田市緑町・上瀬戸町	北関東自動車道開通発掘調査	事業別調査報告書第460集
10	向矢部遺跡	太田市只上町	平成3・6・7・8・12・16年 太田市教育委員会発掘調査 北関東自動車道開通発掘調査	「首良山川流域遺跡発掘調査概報」・「市内遺跡Ⅱ」・事業別調査報告書
11	矢部遺跡	太田市只上町	北関東自動車道開通発掘調査	未報告
12	只上深淵遺跡	太田市只上町	北関東自動車道開通発掘調査	未報告
13	新島遺跡	太田市只上町	北関東自動車道開通発掘調査	未報告
14	道尾遺跡	太田市只上町	北関東自動車道開通発掘調査	未報告
15	東今泉館跡遺跡	太田市東今泉町	国道122号幹線道路改良工事に伴う発掘調査	事業別調査報告書第403集
16	長楽寺遺跡	太田市只上町	平成3・8年太田市教育委員会発掘調査	「市内遺跡ⅡⅢ」



第4図 周辺道路分布図 国土地理院 1:25,000 地形図 解作・上野浩



第5回 北関東自動車道の沿線遺跡

第3章 検出土遺構と出土遺物

第1節 縄文時代の遺構と遺物

第1項 埋裏・土坑跡

本遺跡での縄文時代遺構は、住居は検出されず土坑を主体に検出されている。本遺跡の北西側には、縄文中期から後期の集落遺跡である大道東遺跡・業前遺跡が立地する。本遺跡は、これらの縄文集落遺跡の東端に位置しており、集落遺跡の縁辺部にあたる。このため、集落の本体である住居遺構は検出されず、土坑や遺物廃棄場である包含層等が検出されたのみである。検出された遺構は、土壌（埋設土器含む）15基、谷地部の縄文土器廃棄場1箇所である。以下各遺構について概要を記す。

1・2区検出遺構

1号埋裏 (P11 PL2・235) 形状は、ほぼ円形を呈する土壌である。規模は、長軸 0.86 m、短軸 0.68 m、深さ 19cm を測る。底面は、平坦ではなく凹凸があり柔らかい。土壌掘削後、間もなく土器を埋設し埋め戻していると考えられる。土壌のほぼ中央に、口縁部の欠損した深鉢が正位に埋設されていた。遺構確認までの段階で上部が削平されており、深鉢口縁が削平された可能性がある。

6区検出遺構

1号埋裏 (P11・12 PL2・235) 形状は、南北に長い長楕円形を呈する土壌である。規模は、長軸 1.28 m、短軸 0.92 m、深さ 18cm、主軸は $N-19^{\circ}-W$ を測る。底面は比較的平坦で、覆土の観察から、土器を埋設すると同時に土壌全体を埋め戻していると思われる。大形の深鉢が4個体埋設されていた。本土壌は、底面に大形の深鉢を横にして敷き詰めるように置き、その上に深鉢を被せるように埋設されていた。

2号埋裏 (P12 PL2・235) 形状は、隅丸方形を呈する土壌である。規模は長軸 0.62 m、短軸 0.56 m、深さ 22cm、主軸は $N-112^{\circ}-W$ を測る。底面は、平坦ではなく凹凸が多い。覆土中には、ローム混じり土が堆積しており人為的な埋め戻しと考えられる。深鉢が2個体出土している。深鉢は、土圧等の影響で小片になって出土している状態であったが、破片が重なって出土していることから、2個の土器が重なって埋められていたと考えられる。

縄文時代土層により埋没した谷地 (図 21 写真 2) が確認されている。遺物などは、検出されておらず、谷を覆っている堆積土から縄文時代中期頃のものだと判断した。

7区検出遺構

1号埋裏 (P13 PL3・236) 形状は、東西に長い不整形を呈する。規模は、長軸 0.79 m、短軸 0.54 m、深さ 10cm、主軸は $N-65^{\circ}-W$ を測る。底面は平坦で皿状に掘り込まれている。深鉢は、底部を正位に埋設した状態で検出された。上面が削平されていることから、さらに上部があったと考えられる。

2号埋裏 (P13・14 PL3・236) 本遺構は、南側にある長方形の土壌と北側にある楕円形になる土壌の2基が重複している。規模は、南側の長方形の土坑が長軸 0.58 m、短軸 0.41 m、深さ 28cm、主軸 $N-9^{\circ}-E$ を測る。北側にある土壌は、長軸 0.98 m、短軸 0.78 m、深さ 10cm、主軸 $N-87^{\circ}-W$ を測る。北側土壌の遺物が南側に乗るように出土していることから、北側土壌が新しい。角礫を主体とした集石遺構に大形の深鉢土器片が、割られた状態で出土している。

3号埋裏～6号埋裏遺構は、埋裏の掘り方が検出されなかった。深鉢大形破片がまとまって出土したため、埋裏として報告する。3号埋裏 (P14 PL3・236) は、地山の上につぶれた状態で出土している。4号埋裏 (P15 PL3・236) は、礫と共に、深鉢胴部～底部にかけての大形破片が、地山の上に礫と共につぶれた状態で出土した。5号埋裏 (P15 PL3・237) は、礫と共に大形の口縁部破片や深鉢口縁～胴部にかけての土器が地山の上につぶれた状態で出土している。6号埋裏 (P16 PL4・237) 本遺構は、掘り込みが認められなかった。地山状に礫と土器破片が集中して検出されている。

第3章 検出遺構と出土遺物

10号土坑(P16・17 PL4・237・238)本遺構は、長方形の掘り込みとその中にある楕円形の掘り込みである。掘り込みの中から大小の深鉢形土器や浅鉢形土器、石器が出土している。長方形土坑の規模は、長軸2.62m、短軸1.78m、深さ17cm、主軸N-90°-Wを測る。楕円形の土坑は、長軸1.08m、短軸0.59m、深さ22cm、主軸N-53°-Eを測る。長方形遺構の覆土中には、炭化物や焼土粒が混入し、覆土中に土器小片が出土していることから、埋没にある程度の時間差が認められる。楕円形遺構は、底面に深鉢が正位で埋められており、覆土中に炭化物や焼土が認められるなど、仮の可能性も考えられる。一方で、方形遺構の周辺からは、柱穴などは検出されておらず規模も小さいことから、住居と捉えにくい性格の遺構である。

15号土坑(P18 PL4・238)本遺構の掘り込みは不鮮明で、出土遺物周辺がなだらかに落ち込んでいる状況である。掘り込み底面は、比較的平坦で遺物が底面から若干浮いた状態で出土している。2個体の深鉢形土器が並んで置かれた状態で出土している。その他に、礫や石斧、磨石などが出土している。

16・17号土坑(P19 PL4)2基の土坑がL字形に重複している。17号土坑が新しい。16号土坑は長方形を呈し、現状で長軸1.8m、短軸1.15m、主軸N-90°-Wを測る。底面は比較的平坦で掘り込みは浅い。17号土坑は、中央部で括れる長楕円形を呈する。底面は、比較的平坦で掘り込みは浅い。長軸1.4m、短軸1.25m、主軸は、ほぼ北を向く。覆土中から縄文中期加曾利EⅢ式土器の小片が出土しているが図示できるものではなかった。

18号土坑(P19 PL4)形状は、長楕円形を呈する。規模は、長軸1.81m、短軸1.01m、深さ36cm、主軸N-21°-Wを測る。底面に向かって緩やかに傾斜し、平坦面は少ない。覆土上層から縄文中期加曾利EⅢ式土器や礫の小片が多く出土しているが、図示できるものはなかった。

19号土坑(P19)形状は、南北方向に長い楕円形を呈する。規模は、長軸1.29m、短軸1.1m深さ42cmを測る。主軸は、ほぼ北を向く。底面は、平坦面が少なく凹凸が多い。覆土には、下層に焼土・炭化物を含む層が堆積、上層では、黒色土主体の覆土が堆積していることから自然体積と考えられる。遺構の南では、礫が2個出土している。

1号配石(P19)不整形の掘り込みに、角礫が主体となって置かれている。掘り込みは浅く、底面は比較的平坦である。規模は、長軸10.8m、短軸0.62cmを測る。この範囲に礫が集中している。礫に混じり縄文中期の加曾利EⅢ式土器の小片が出土しているが、図示できるものはなかった。

風倒木(P19)風倒木痕からは、礫がまとまって出土しているが図示できるもの無い。縄文包含層(P19 PL2)からは、角礫や加曾利EⅢ式土器の小片が出土しているが図示できるものはなかった。その他7区からは性格不明の小土坑群(P20)が検出されているが、遺構確認土層から縄文時代と認定した。これらの小土坑群からは、遺物が検出されず、性格不明である。

包含層出土の土器

縄文時代の土器は、早期の押型文、条痕文系土器、前期間山式、黒浜式、諸磯式、中期の五顔ケ台式、阿玉台式、勝坂式、加曾利E式、後期の堀之内式土器などが、遺跡全体から散発的に出土している。

その中で、早期後半の野島式土器が、6区北西隅でまとまって出土している。出土総量は少ないが、この周辺にまとまって出土していることから何らかの遺構が周辺にあったと想定される。群馬県において野島式土器の出土例は少なく、貴重な資料である。この時期の土器を出土する遺跡では、板倉町藤山貝塚の資料が知られている。本遺跡では、出土していないが鶴ヶ島式土器が赤城山南麓の丘陵地帯に遺跡があり、縄文海進期における低地部と丘陵部の遺跡のあり方を検討する資料の一つになると考える。

縄文中期の加曾利EⅢ式土器は、本遺跡全体から出土している。本遺跡の北西部に位置する大道東遺跡、桑前遺跡では、加曾利EⅢ式土器の集落が発見されており、その一連の中で考える必要がある。集落の主体である住居群を外れた本遺跡では、埋設土器が数カ所で検出されている。住居群の外側にある集落の施設として、埋設土器群や、土坑群が検出された。さらに土器の廃棄場として深鉢の大形破片も出土している。これらの出土遺物や遺構は、縄文集落全体の構造を検討する資料となると考える。

1・2区1号埋篋

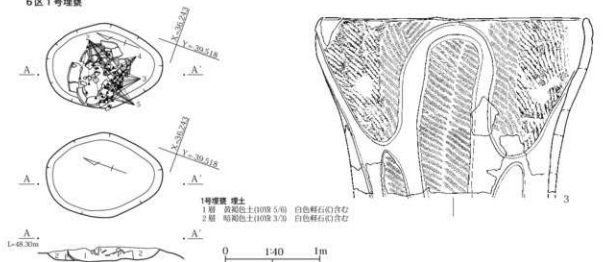


1号埋篋 埋土
 1層 赤褐色土(100R 4/3) 粘性なし 黒褐色土
 と黄褐色土の混土 しまりや中強い
 2層 オリーブ褐色土(15R 4/3) 粘性なし 黒褐色土
 と黄褐色土の混土 しまりや中強い

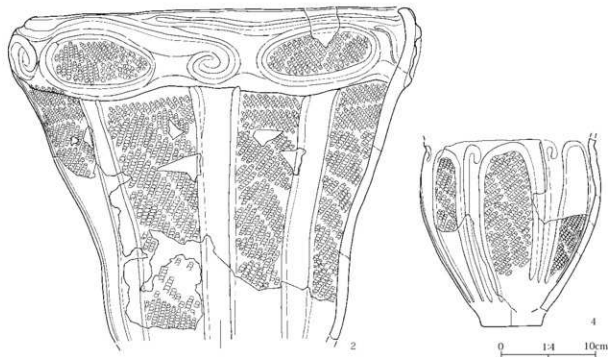
1区1号埋篋出土遺物観察表

番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文種の特徴等	備考
1	深鉢 体部～底部	①粗：白色粒・石英・雲母 ②良好 ③褐色5YR6/6	底：4.5. 小型深鉢、やや縦身の体部器形。3条の垂下沈線による懸垂文構成。R.L.縦位充填施文	加曾利EⅢ式

6区1号埋篋

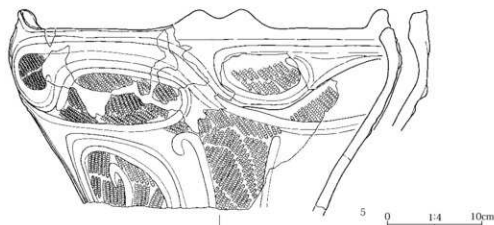


1号埋篋 埋土
 1層 黄褐色土(100R 5/6) 白色軽石(0)含む
 2層 黄褐色土(100R 3/3) 白色軽石(0)含む



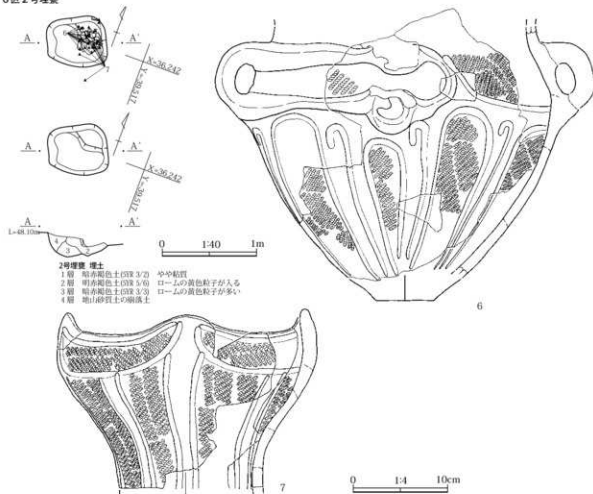
第6図 1・2区1号埋篋・6区1号埋篋

第3章 検出遺構と出土遺物



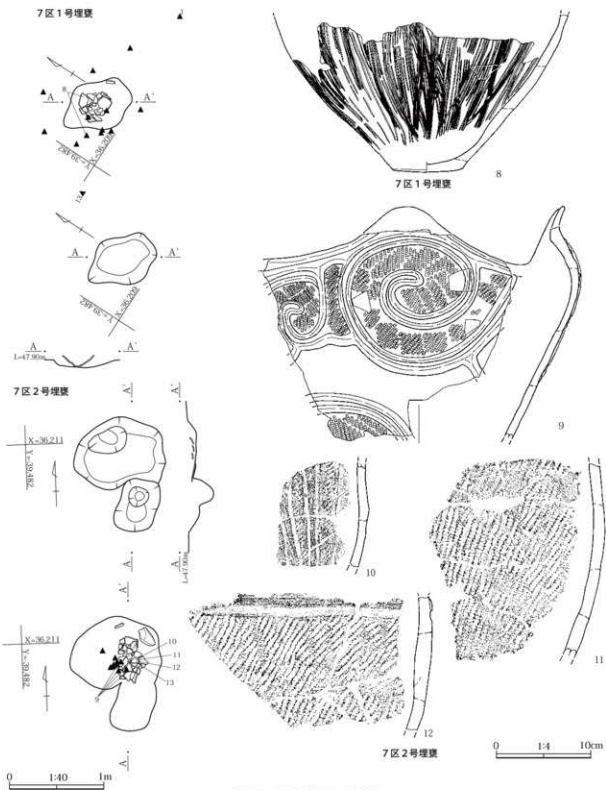
番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
2	深鉢 口縁～体部中位4/5	①粗：白色粒・石英・輝石 ②良好 ③鈍い赤褐色5YR5/4	L1：(D.6). 大型の深鉢。隆線によるL1縁部渦巻文と区画文構成。5単位構成か。無線は凹線及び撫で。体部は之条の垂下沈線による懸垂文構成。縦文はR1充填施文。	加曾利EⅢ式
3	深鉢 口縁～体部中位1/3	①粗：白色粒・石英 ②良好 ③棕色7.5YR6/6	L1：(D.0). 平鉢。L1縁部は緩やかに内湾する。沈線による波状文と逆U字状区画による二帯構成。無筋L1充填施文。	加曾利EⅢ式
4	深鉢 体部のみ1/3	①細：白色粒・石英 ②良好 ③明赤褐色5YR5/6	体部中位が内湾する。沈線による鏡子状懸垂文と逆U字状懸垂文が配される。縦位R1充填施文。	加曾利EⅢ式
5	深鉢 口縁～体部上半1/3	①粗：白色粒・石英・輝石 ②良好 ③鈍い褐色7.5YR5/4	L1：(H.8). 大型深鉢。波状突起を付す。L1縁部隆線による平渦巻文と横U状区画文を配す。体部は鏡子状沈線等による懸垂文構成か。R1充填施文。	加曾利EⅢ式

6区2号埋篋



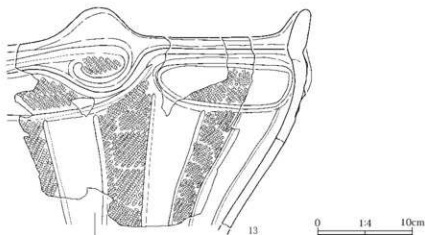
第7図 6区1号埋篋・2号埋篋

番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
6	深鉢 体部1/4	① 細：白色粒・片岩粒少・輝石 ② 良好 ③ 棕色5Y36/6	体部上半に横状把手を設け、胴部・注脚による区画文を施す。単位は不明。体部は逆U字状懸垂文・縦位織子状沈線各配す。R L充填無文	加曾利E重式
7	深鉢 口縁～体部中位4/5	① 細：白色粒・石英 ② 良好 ③ 鈍い黄棕色10Y87/3	縦位織子単位。口縁部は沈線による長区画文構成。体部は2条沈線による懸垂文構成。R L充填無文。体部中位で意図的な欠損を見る	加曾利E重式



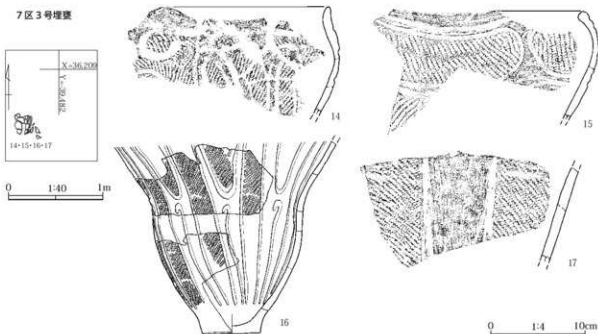
第8図 7区1号埋篋・2号埋篋

第3章 検出遺構と出土遺物



番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
8	深鉢 体部中位～底部3/4	① 細・白色粒・石英・雲母 ② 良好 ③ 褐色7.5YR4/3	底：7.3. 体部下半は内湾気味に強く開く。5・6条単位加管利EⅡ式の縦位密接条線が器面を覆う	
9	深鉢 U1線～体部上半1/4	① 細・白色粒・石英・輝石 ② 良好 ③ 鈍い黄褐色10YR7/4	波状突起頂部を欠損。U1線部は2条隆線による大柄の渦巻き状意匠を配す。体部は無文部を挟むことから、二帯構成が窺えよう。R L充填施文	加管利EⅡ式
10	深鉢 体部中位破片	① 細・白色粒・輝石 ② 良好 ③ 褐色7.5YR6/6	小径の体部片。沈線による懸垂文構成。施文部縦文は縦位R L充填施文	加管利EⅡ式
11	深鉢 体部破片	① 粗・白色粒・石英・輝石 ② 良好 ③ 鈍い褐色7.5YR6/4	縦位・斜位R Lを加す	加管利EⅡ式
12	深鉢 体部上半破片	① 細・白色粒・石英・輝石 ② 良好 ③ 鈍い黄褐色10YR6/4	頭部縦位隆線を設け凹線を欄線とし、以下縦位R Lが覆う	加管利EⅡ式
13	深鉢 U1線～体部上半1/5	① 粗・白色粒・石英・輝石 ② 良好 ③ 明赤褐色5YR5/6	U1：(45.0). 波状突起を付し直下に隆線による渦巻き状意匠を配しU1線部増門状区画文を連続する。体部は2条沈線による懸垂文構成。縦位R L充填施文	加管利EⅡ式

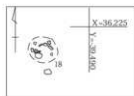
7区3号埋篋



番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
14	深鉢 U1線～体部上半破片	① 細・白色粒・石英 ② 良好 ③ 鈍い黄褐色10YR7/3	波状突起を付し直下に沈線による渦巻文。体部は2条沈線による逆U字状意匠を配す。R L充填施文	加管利EⅡ式
15	深鉢 U1線部破片	① 細・白色粒・輝石 ② 良好 ③ 鈍い黄褐色10YR5/3	波状隆線。沈線によるU1線部増門状区画文構成。体部は沈線による懸垂文。R L充填施文	加管利EⅡ式
16	深鉢 体部中位～底部3/4	① 細・白色粒・輝石 ② 良好 ③ 褐色5YR6/6	底：6.0. キャリパー状深鉢。体部上半は沈線によるU字状意匠を配し下半は縦手状懸垂文を配す。R L充填施文。外面上半、内面下半に灰化物付着	加管利EⅡ式
17	深鉢 体部中位破片	① 細・白色粒・石英 ② 良好 ③ 鈍い黄褐色10YR7/3	胴部には幅広で縦位研帯を加える。垂下沈線による懸垂文構成。L R L縦位充填施文	加管利EⅡ式

第9図 7区2号埋篋・3号埋篋

7区4号埋篋



0 1:40 1m



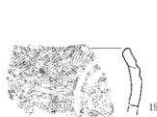
0 1:4 10cm

番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
18	深鉢 体部2/3	①粗：白色粒・褐色粒・雲母 ②良好 ③明赤褐色5YR5.6	無文の体部下半。縦位研ぎを施す。炭化物は外面体部中部斜位EⅢ式 位に内面体部下半に付着する	

7区5号埋篋



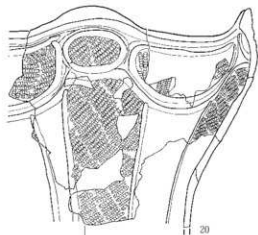
0 1:40 1m



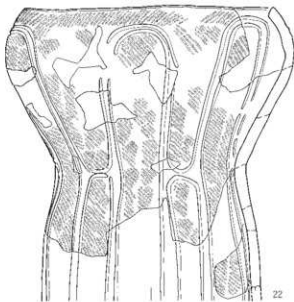
19



21



20



22

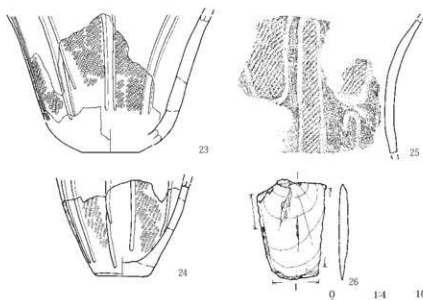
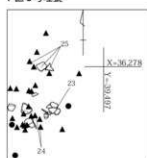
0 1:4 10cm

番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
19	深鉢 L口部破片	①粗：白色粒・石英・輝石 ②良好 ③明赤褐色5YR5.6	2条沈線による逆U字状逆経か。縄文はL1線部が横位、 以下は縦位無節Lが施される	加曾利EⅢ式
20	深鉢 L1線～体部上半1/4	①粗：白色粒・石英・輝石 ②良好 ③鈍い黄褐色10YR7/3	L1：07.0h。波状線。波状突起を付し沈線によるL1線部 内凹区画文を配し、槽凹区画文が差なる。体部は2 条沈線による懸垂文構成。R L充填無文。	加曾利EⅢ式
21	深鉢 体部中位破片	①粗：白色粒・石英 ②良好 ③鈍い黄褐色10YR6/3	2条沈線による懸垂文構成。U字状逆経と逆U字状逆経 も配される。縦位R L充填無文	加曾利EⅢ式
22	深鉢 L1線～体部中位1/2	①粗：白色粒・石英 ②やや軟質 ③鈍い褐色7.5YR6/4	L1：26.4。L1線部内湾するキャリバー状を呈す。体部 中位の筋曲強い。2条の沈線による逆U字状逆経を連続 した二帯の懸垂文構成。無節L充填無文	加曾利EⅢ式

第10図 7区4号埋篋・5号埋篋

第3章 検出遺構と出土遺物

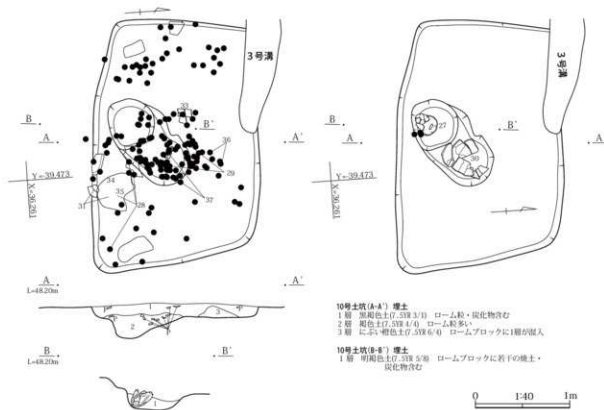
7区6号埋篋



番号	種類・部位	①胎土2構成3色調		文様の特徴等		備考
		②粗:白色粒・石英	③細:白色粒	大型の深線か。2条沈線による懸垂文構成。R.L.縦位充	加曾利EⅢ式	
23	深鉢 体部下半破片	①粗:白色粒・石英	③細:白色粒	大型の深線か。2条沈線による懸垂文構成。R.L.縦位充	加曾利EⅢ式	胎土文
24	深鉢 体部中位～底部の破片	①細:白色粒	③細:褐色7.5YR6/4	底:5.7。2・3条の垂下沈線による懸垂文構成。無筋L	加曾利EⅢ式	縦位・斜位充填施文
25	深鉢 体部破片	①粗:白色粒・石英・輝石	②良好	沈線で画されたU字状意匠と逆U字状懸垂文。縦位L	加曾利EⅢ式	手状沈線も加わる。R.L.縦位充填施文

番号	器種	形態	残存状態	製作状況	石材	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)
26	石器	幅広削片	完形	—	黒色頁岩	10.6	7.5	1.1	112.7

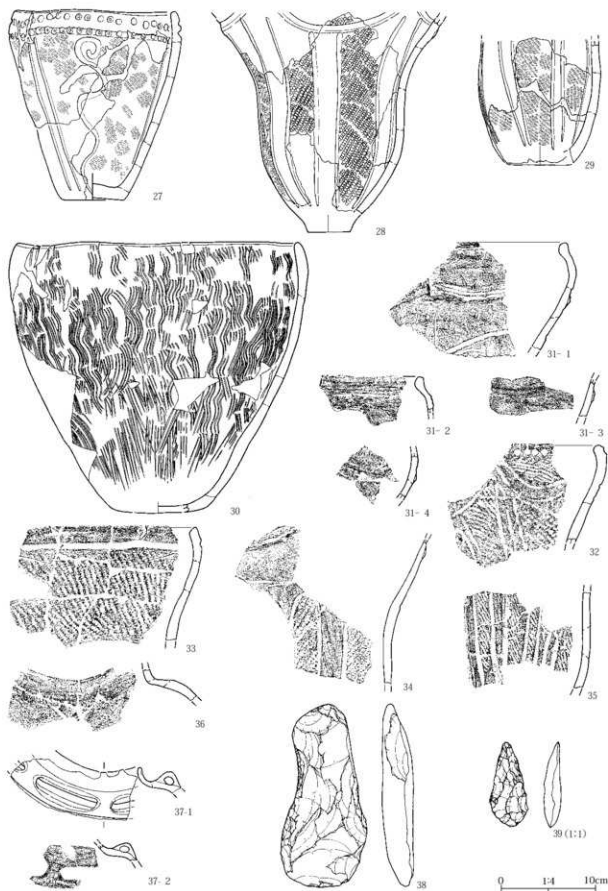
7区10号土坑(SK-10)



10号土坑(A-A') 埋土
 1層 黒褐色土(7.5YR 3/1) ローム粒・炭化物含む
 2層 褐色土(7.5YR 4/4) ローム粒多い
 3層 赤い褐色土(7.5YR 6/4) ロームブロックに1層が混入

10号土坑(B-B') 埋土
 1層 明褐色土(7.5YR 5/6) ロームブロックに若干の堆土・炭化物含む

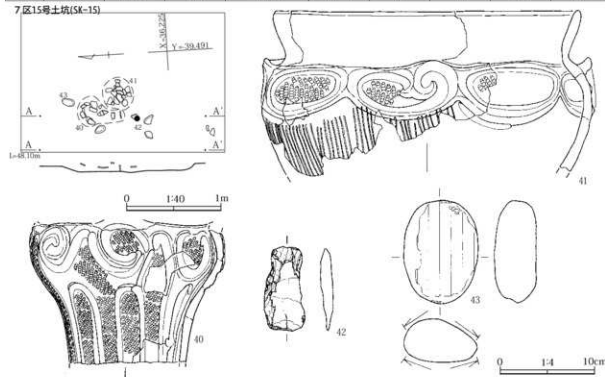
第11図 7区6号埋篋・10号土坑



第12図 7区10号土坑出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
27	深鉢 体部下位一部欠損	① 粗：白色粒・石英・輝石 ② やや軟質 ③ 褐色5YR6/6	L17.0 底：6.5 高：20.2。小型深鉢。L1線部に2段の横位円形刺突文を施す。体部は沈線による横字状懸垂文と逆U字状懸垂文を配す。3単位を数える。無胎土・胎土厚薄	加賀利EⅡ式
28	深鉢 体部2/3	① 粗：白色粒 ② 良好 ③ 明赤褐色7.5YR7/2	キヤリク一匹深鉢。L1線部文様下部の陶線を見る。体部は2条の垂下沈線による懸垂文構成。R1充填物文	加賀利EⅡ式
29	深鉢 体部下半1/3	① 粗：白色粒・石英・菱角 ② 良好 ③ 褐色5YR6/6	体部下半は内湾する。2条の垂下沈線による懸垂文構成。無胎土・胎土厚薄	加賀利EⅡ式
30	深鉢 L1線一部破片	① 粗：石英・白色粒 ② 良好 ③ 黄褐色10YR7/3	L1：(29.2) 底：10.8 高：28.7。大型の深鉢深鉢。横位円形刺突文を施す。胎土厚薄	加賀利EⅡ式
31-1	深鉢 L1線部破片	① 粗：白色粒・石英少 ② 良好 ③ 黄褐色10YR7/2	L1：(29.2) 底：10.8 高：28.7。大型の深鉢深鉢。横位円形刺突文を施す。胎土厚薄	加賀利EⅡ式
31-2	深鉢 L1線部破片	① 粗：白色粒・石英少 ② 良好 ③ 黒褐色10YR3/1	L1：(29.2) 底：10.8 高：28.7。大型の深鉢深鉢。横位円形刺突文を施す。胎土厚薄	加賀利EⅡ式
31-4	深鉢 肩部破片	① 粗：白色粒・石英少 ② 良好 ③ 黒褐色10YR3/1	L1：(29.2) 底：10.8 高：28.7。大型の深鉢深鉢。横位円形刺突文を施す。胎土厚薄	加賀利EⅡ式
31-3	深鉢 肩部破片	① 粗：白色粒・石英少 ② 良好 ③ 黒褐色10YR3/1	L1：(29.2) 底：10.8 高：28.7。大型の深鉢深鉢。横位円形刺突文を施す。胎土厚薄	加賀利EⅡ式
32	深鉢 L1線一部破片	① 粗：白色粒・輝石 ② やや軟質 ③ 褐色7.5YR7/6	L1線部は円形刺突文と2条沈線による平横円状区画。体部は沈線による懸垂文構成。無胎土・胎土厚薄	加賀利EⅡ式
33	深鉢 L1線一部破片	① 粗：白色粒・輝石少 ② やや軟質 ③ 褐色7.5YR7/6	L1線部に横位沈線を施す。以下単位R1が僅う。器面磨成する	加賀利EⅡ式
34	深鉢 体部上半破片	① 粗：白色粒 ② 良好 ③ 黄褐色7.5YR5/3	陶線部によるL1線部区画文構成。浅い横位沈線以下体部は沈線による逆U字状懸垂文	加賀利EⅡ式
35	深鉢 体部中心破片	① 粗：白色粒・石英 ② 良好 ③ 黄褐色7.5YR6/6	垂下沈線による懸垂文構成。胎土厚薄文は無胎土・胎土厚薄	加賀利EⅡ式
36	鉢 肩部破片	① 粗：白色粒・石英・輝石 ② 良好 ③ 黄褐色2.5YR5/2	強き胎土厚薄。胎土厚薄による胎土厚薄を配されるが、粗粒としない。胎土厚薄	加賀利EⅡ式
37-1	鉢 L1線部破片	① 粗：白色粒・石英 ② 良好 ③ 灰黄褐色10YR6/2	2点からなる。強く内湾する体部上半。2条の横位陶線をつなぐ小型の横位刺突文を施す。赤彩痕跡僅かに見る	加賀利EⅡ式
37-2	鉢 L1線部破片	① 粗：白色粒・石英 ② 良好 ③ 灰黄褐色10YR6/2	2点からなる。強く内湾する体部上半。2条の横位陶線をつなぐ小型の横位刺突文を施す。赤彩痕跡僅かに見る	加賀利EⅡ式



第13図 7区15号土坑

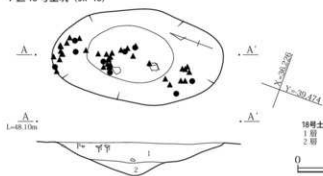
番号	器種・部位	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
40	深鉢 L1線一部破片1/1	① 粗：白色粒・輝石 ② 良好 ③ 黄褐色10YR7/4	L1：18.5。波状突起を逆形的に欠く。陶線による平湾懸垂文をL1線部に配す。体部は沈線による逆U字状懸垂文構成。横字状陶線L1線部まで達する。R1充填物文	加賀利EⅡ式
41	深鉢 L1線一部破片	① 粗：白色粒・石英 ② 良好 ③ 明赤褐色2.5YR5/6	L1：(32.0)。あるいは内湾部か。L1線部は無文で肩部陶線強い。体部上半は陶線による渦巻文と横円状区画文構成。下半は横位密接条線を施す	加賀利EⅡ式

番号	器種	形態	残存状況	製作状況	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
42	打製石片	短棒形	完形	未製品	ホルンフェルス	8.9	4.3	1.3	60.3
43	磨石	楕円盤	完形	—	黒胎輝石(白山岩)	10.8	8.0	4.3	584.0

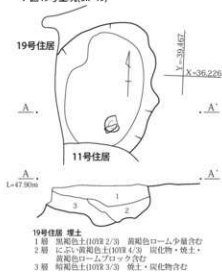
7区 16、17号土坑 (SK-16、17)



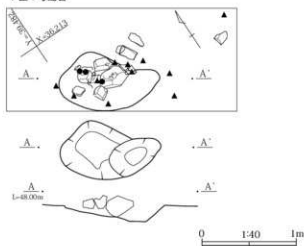
7区 18号土坑 (SK-18)



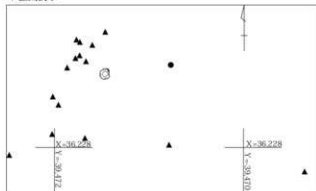
7区 19号土坑(SK-19)



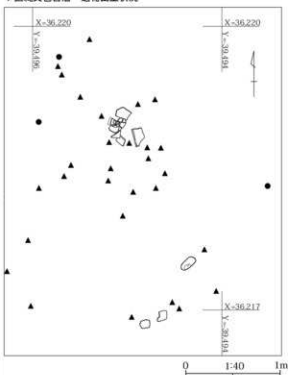
7区 1号配石



7区 風倒木

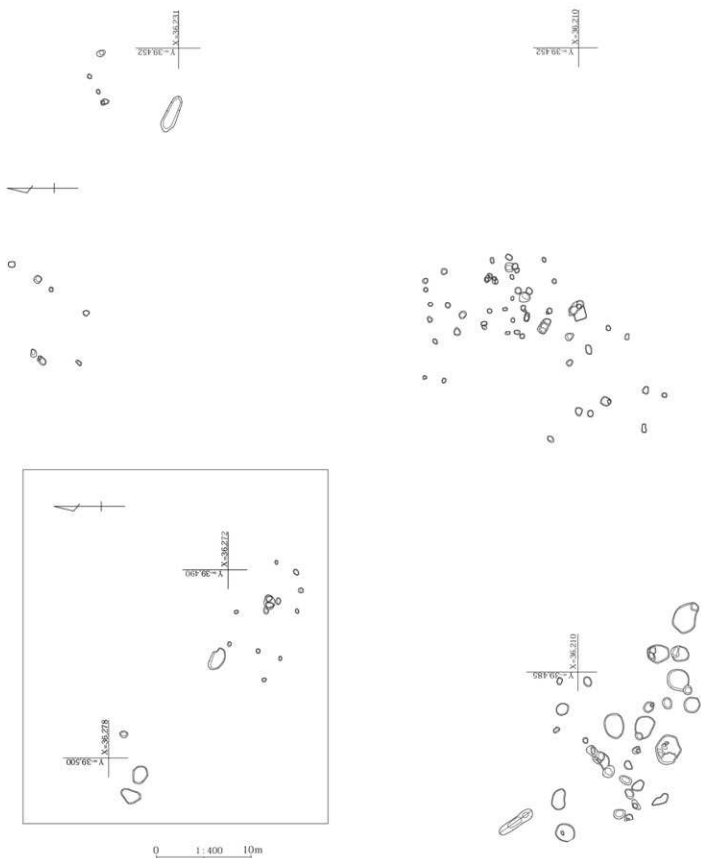


7区縄文包含層 遺物出土状況



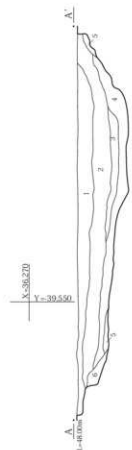
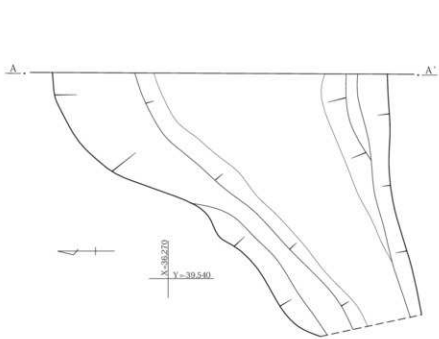
第14図 7区 16・17号土坑、18号土坑、19号土坑、1号配石、遺物包含層、風倒木

第3章 検出遺構と出土遺物

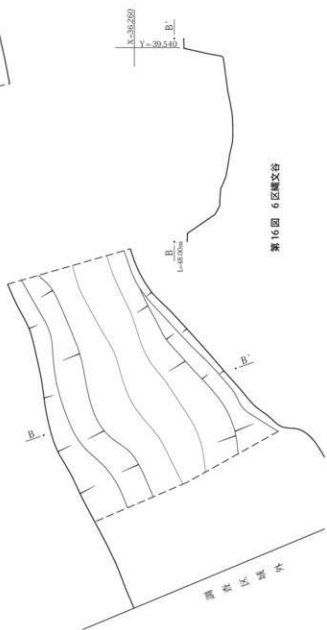


第15図 7区土坑群

6 区層文谷



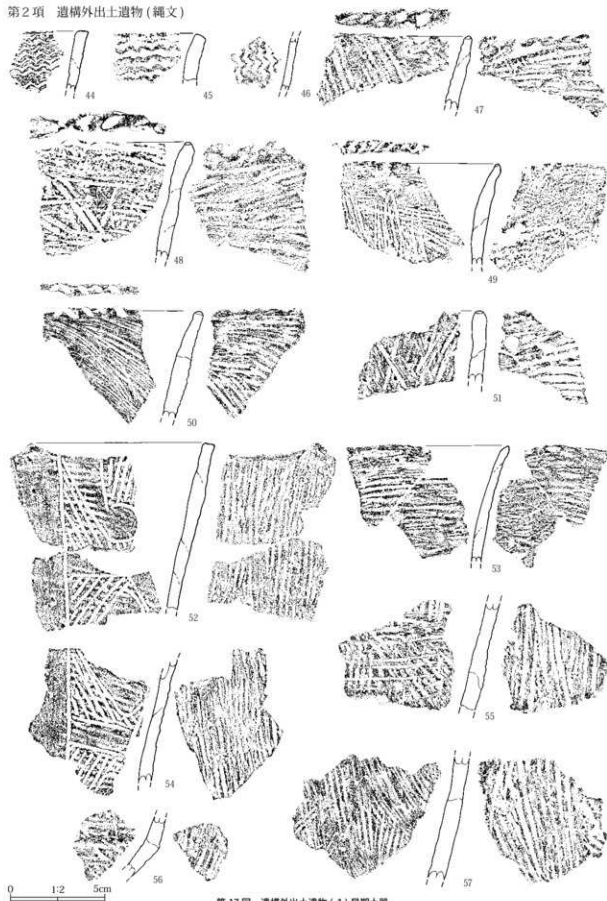
- 縄文谷 層土
- 1 層 黒褐色土位、3層以下、灰褐色土がブロックである
 - 2 層 黒褐色土位、3層以下、灰褐色土がブロックである
 - 3 層 黒褐色土位、3層以下、灰褐色土がブロックである
 - 4 層 同上、4層以下、3層以下
 - 5 層 同上、4層以下、3層以下
 - 6 層 同上、4層以下、3層以下



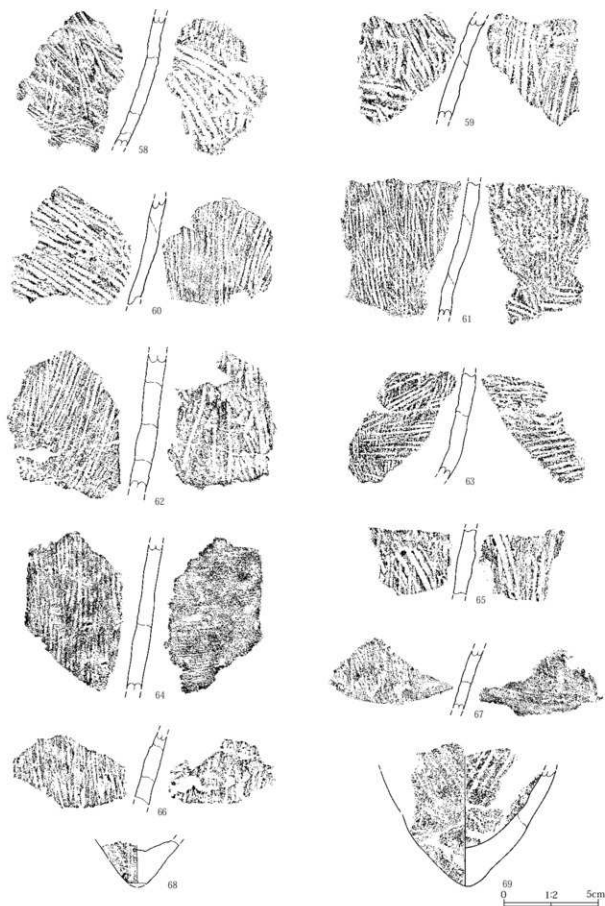
第16図 6区層文谷

第3章 検出遺構と出土遺物

第2項 遺構外出土遺物(縄文)

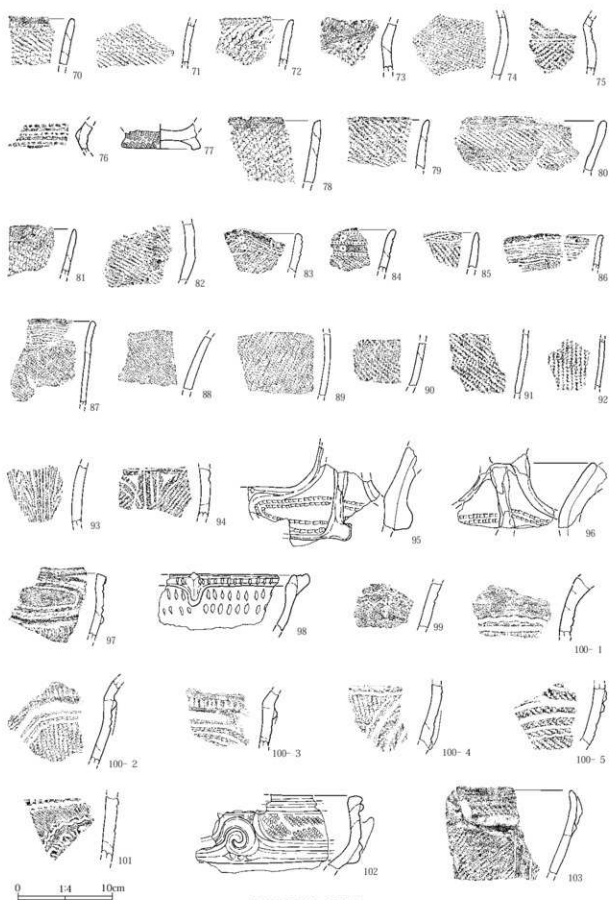


第17図 遺構外出土遺物(1) 早期土器

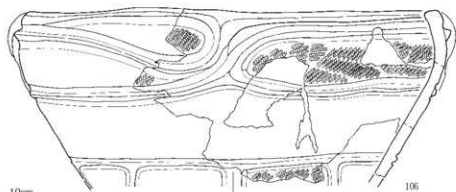
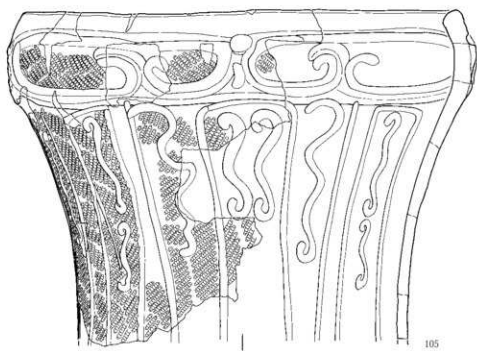
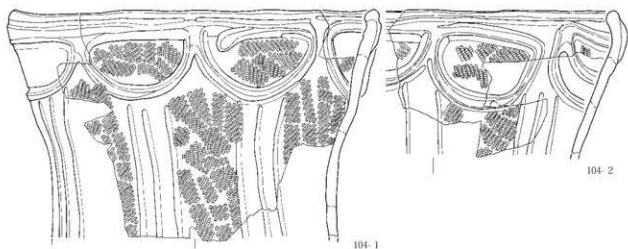


第18図 遺構外出土遺物(2) 早期土器

第3章 検出遺構と出土遺物

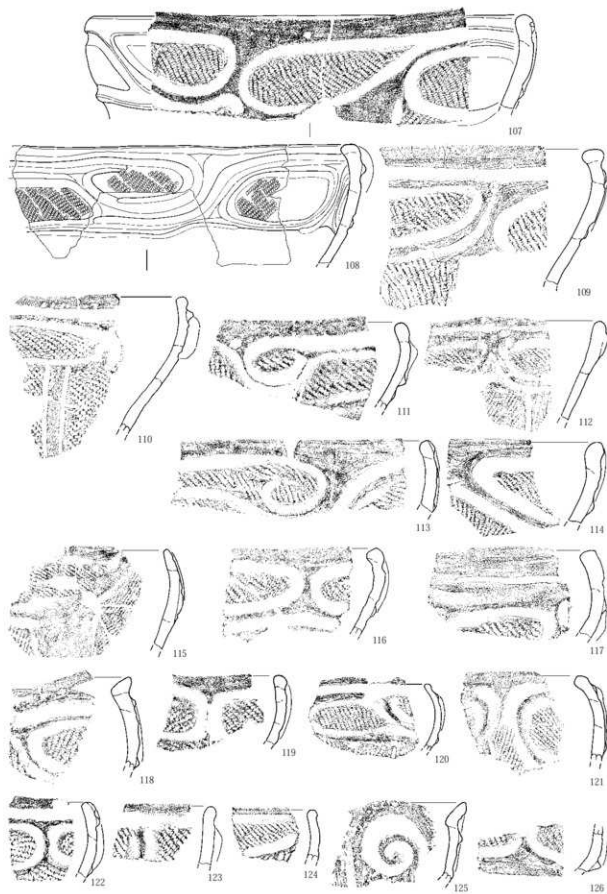


第19図 遺構外出土遺物(3)

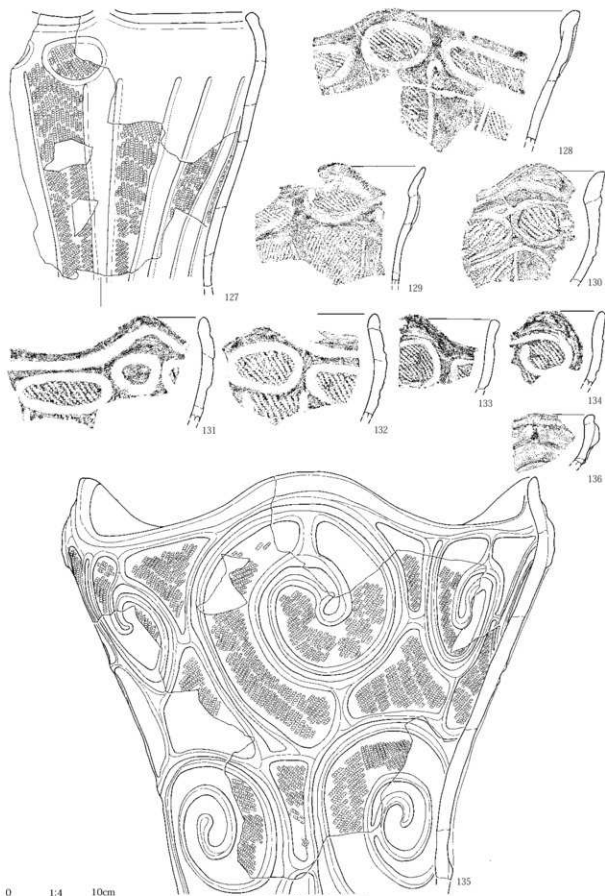


0 1:4 10cm

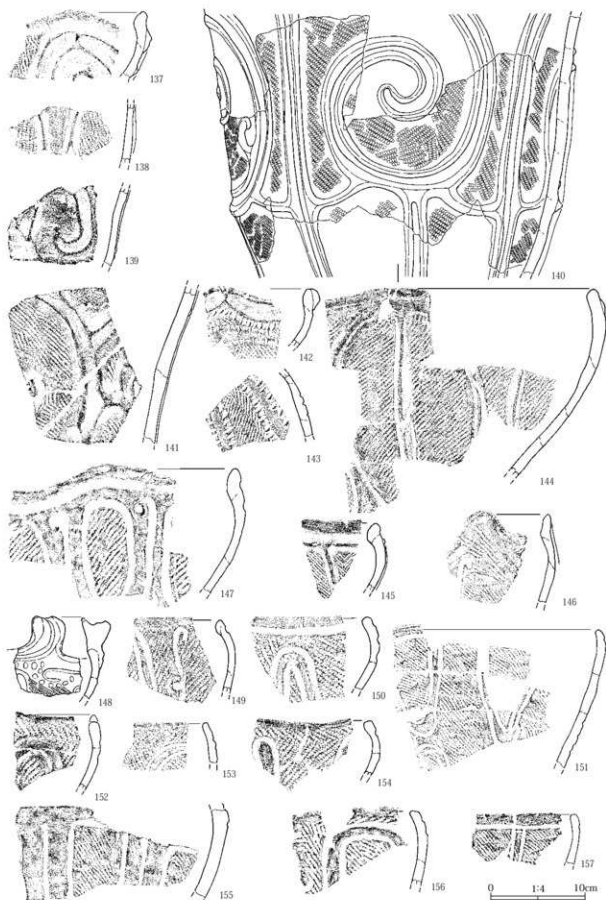
第20図 遺構外出土遺物(4)



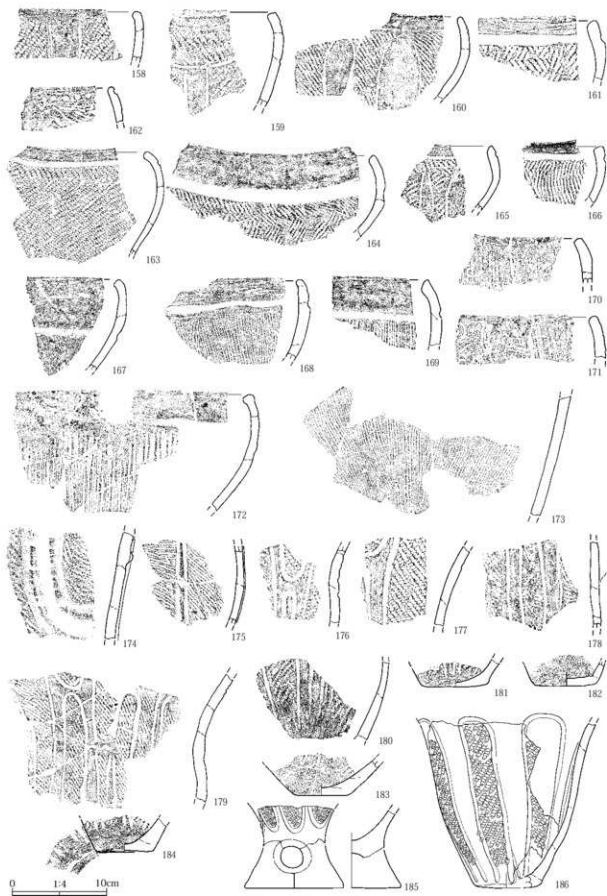
第21図 遺構外出土遺物(5)



第22図 遺構外出土遺物(6)

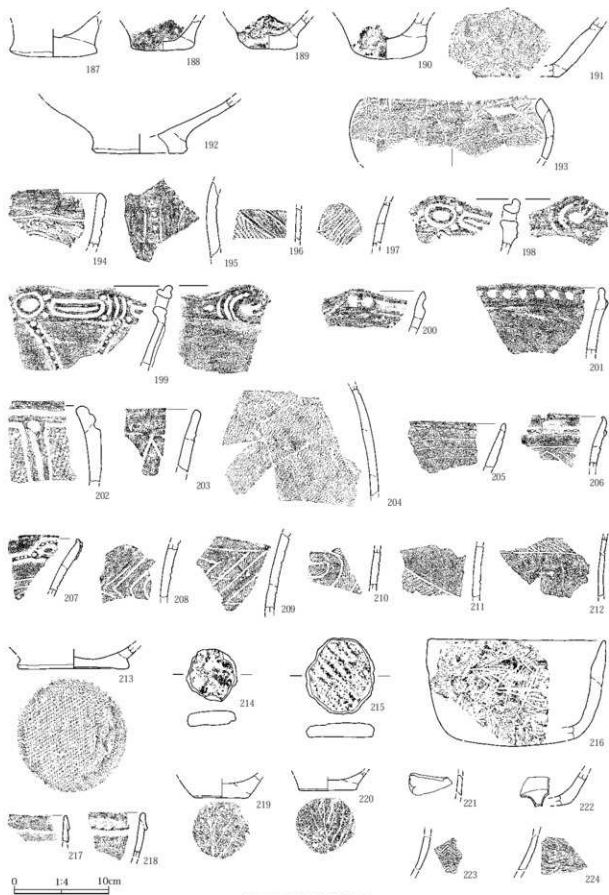


第23図 遺構外出土遺物(7)



第24図 遺構外出土遺物(8)

第3章 検出遺構と出土遺物



第25図 遺構外出土遺物(9)

縄文遺構外観表

NO	種類・部位 出土位置	①胎土(焼成)色調			文様の特徴等	備考
		①	②	③		
44	深鉢 上縁部破片 260-520	① 黒・砂黒・石英 ② 良好	③ 鈍い赤褐色5YR5/3	上唇端部角部状をなす。縦信山形押型文を多段に施す。原形幅約2cm	早期	
45	深鉢 上縁部破片 260-530	① 黒・石英・輝石多 ② 良好	③ 灰褐色5YR5/2	上唇部角部状で僅かに凹む。空平幅位の縦信山形押型文を施す。	早期	
46	深鉢 体部破片 表裡	① 黒・白色粒・輝石 ② 良好	③ 浅黄色2.5Y7/3	器厚や空平手。縦信山形押型文を施す	早期	
47	深鉢 上縁部破片 260-550	① 黒・白色粒・輝石・繊維・チャート? ② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR5/3	上唇部に斜位刻みを付す。外面斜位、内面横位条線を施す	野島式	
48	深鉢 上縁部破片 260-550	① 黒・石英・チャート大・白色粒・繊維 ② 良好	③ 鈍い褐色10YR5/3	上唇部に斜位刻みを加える。外面は横位・斜位条線、内面は横位条線を施す。幅広で深い壺文	野島式	
49	深鉢 上縁部破片 260-550	① 黒・白色粒・石英・繊維 ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/3	上縁部外反。上唇部に刻み。外面横位条線後縦位条線、内面は斜・横位条線を施す。	野島式	
50	深鉢 上縁部破片 260-550	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 灰黄褐色10YR4/2	上唇部に刻みを加す。外面斜位条線、内面1上縁部横位、体部斜位条線を施す	野島式	
51	深鉢 上縁部破片 260-550	① 黒・石英大・繊維 ② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR5/3	上唇部に刻みを加える。外面縦位条線後格子目状の条線施す。内面は深い横位条線を施す	野島式	
52	深鉢 上縁部破片 260-550	① 黒・白色粒・輝石・繊維 ② 良好	③ 褐色7.5YR4/4	縦位・上唇部角部状。外面は縦位条線後縦位・斜位注線による区画文が、無文部を設け小部は空平斜位条線を充填する。内面は縦位条線を施す	野島式 54と同一個体か	
53	深鉢 上縁部破片 260-550	① 黒・白色粒・繊維少 ② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR5/3	上縁部外反。薄手の器厚で上唇部は実る。内外面とも横位条線を施す	野島式	
54	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・輝石・繊維 ② 良好	③ 鈍い黄褐色5YR5/3	横位条線後縦位・横位注線による小区画文構成。無文部を設け斜位注線を充填する。内面は縦位条線を施す	野島式	
55	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・輝石・繊維・チャート? ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/4	緩やかな湾曲を呈す。外面縦位・斜位条線後横位条線、内面は縦位条線を深く施す	野島式	
56	深鉢 体部中位破片 表裡	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/4	器面すべり部。外面横位条線後縦位・斜位条線、内面は縦位条線を施す	野島式	
57	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・石英・繊維 ② 良好	③ 明黄褐色10YR6/6	内外面とも縦位・斜位条線を施す。破片下部に補修孔を有す	野島式	
58	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/4	空平手の器厚で緩やかな湾曲を呈す。外面は縦位・横位条線を施す。内面は深く、斜位に施される	野島式	
59	深鉢 体部破片 表裡	① 黒・白色粒・石英・繊維・チャート? ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR6/4	外面横位・斜位条線、内面縦位条線を施す。内外面器面凹凸。	野島式	
60	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 明赤褐色5YR5/8	空平薄手の器厚。外面は斜位条線、内面下縦位条線。条線幅やや広い	野島式	
61	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・石英・輝石・繊維 ② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR5/3	器面凹凸顕著。外面は縦位条線、内面は縦位・横位条線を施す	野島式	
62	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・輝石・繊維 ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/4	緩やかな湾曲を呈す。内外面とも縦位条線を施す	野島式	
63	深鉢 体部破片 表裡	① 黒・白色粒・繊維少 ② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR6/3	緩やかに湾曲を呈す。外面は横位・斜位条線、内面は横位条線を施す	野島式	
64	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・石英大・白色粒・輝石・繊維・チャート? ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/4	外面縦位条線、内面横位条線を施す。内面条線は細く空平浅い壺文	野島式	
65	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・石英・繊維 ② 良好	③ 明褐色7.5YR5/6	内外面とも縦位・斜位条線を施す。	野島式	
66	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・石英・繊維 ② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR5/4	空平薄手の器厚。外面縦位条線後横位、内面は横位帯を施す	野島式?	
67	深鉢 体部破片 260-550	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/4	内外面とも縦位条線を施す	野島式	
68	深鉢 底部破片 表裡	① 黒・白色粒・石英・繊維 ② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/3	尖底端部欠削。外面縦位条線を施す。内面器壁割減	野島式	
69	深鉢 体部下位～底部のみ 5D-27ク土	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 褐色5YR6/6	尖底。内外面凹凸顕著で縦位・斜位条線を施す	野島式?	
70	深鉢 上縁部破片 200-510	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR7/3	上唇部内面状をなす。縦位帯付き無頸Rを多段に施す。内面頸・器唇を加える	岡山1	
71	深鉢 体部破片 200-520	① 黒・白色粒・石英・繊維 ② 良好	③ 鈍い黄褐色	頸付R上横位施文	岡山1	
72	深鉢 上縁部破片 210-490	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 鈍い褐色10YR6/3	上唇部凹みを帯びる。無頸上横位施文	野島式	
73	深鉢 体部中位 220-510	① 黒・白色粒・繊維 ② 繊維	③ 褐色10YR4/1	緩やかな器面を呈す器体部。横位R上Lを施す	野島式	
74	深鉢 体部破片 表裡	① 黒・白色粒・石英・繊維少 ② 良好	③ 鈍い褐色5YR6/4	付加兼R上L横位・縦位施文による縦位斜位帯文構成	野島式	
75	深鉢 体部破片 220-490	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 浅黄色2.5Y7/3	器部器面部に粗粒の器紋(形文を横位に設ける。地文は横位L・R・R上による羽状縄文構成	野島式	
76	深鉢 体部破片 5D01ク土	① 黒・片岩・繊維 ② 良好	③ 褐色7.5YR6/6	器面部に小窓の遊紋(形文を横位多段に配す。内面平滑	野島式	
77	深鉢 底部破片 200-510	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 鈍い赤褐色2.5YR5/4	初期の台付式深鉢。L・R・R上横位施文による羽状縄文構成	野島式	
78	深鉢 上縁部破片 5D01ク土	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 灰黄色2.5YR7/2	上唇部内面状をなす。横位R上Lを施す	野島式	
79	深鉢 上縁部破片 200-510	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR6/3	歪みある器形。横位R上L器面を覆う	野島式	
80	深鉢 上縁部破片 220-490/210-490	① 黒・白色粒・繊維 ② 良好	③ 暗灰黄色2.5Y5/2	上唇部凹みを帯びる。横位R上Lを施す。内面器面横位器唇を施す	野島式	

第3章 検出遺構と出土遺物

NO	種類・部位 出土位置	①胎土(2)焼色(3)色調			文様の特徴等		備考
		①	②	③			
81	深鉢 1.1線部破片 230-520	① 白: 白色粒・織維 ② 良好	③ 黄い褐色7.5YR6/4	口唇部尖り形状。O段多量R.Lを横位に施す。内面研磨を加える		深鉢式	
82	深鉢 体部破片 220-490	① 白: 白色粒・織維 ② 良好	③ 黄い褐色10YR6/3	横位R.Lを施す。器面凹凸多い		深鉢式	
83	深鉢 1.1線部破片 1・2区フケ土	① 白: 白色粒・織維 ② 良好	③ 黄い褐色10YR5/4	波面部に小型の円形刺突文を縦位に配し、口唇部に沿って平行沈線が施す。地文は無文		深鉢式	
84	深鉢 1.1線部破片 260-540	① 白: 白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 褐色5YR6/6	1.1線部は縦位刺突文を多数に設け、円形刺突文を加える。体部は波状刺突文を縦位に施す		深鉢a式	
85	深鉢 1.1線部破片 S0017ク土	① 白: 白色粒・輝石 ② 良好	③ 明褐色7.5YR5/4	1.1線部直下に内面平行沈線による横位凹状線と斜位沈線を配す。地文は横位R.L		深鉢a式	
86	深鉢 1.1線部破片 1・2区表土	① 白: 石英・片岩 ② 良好	③ 明赤褐色5YR5/6	1.1線部に横位平行沈線を配し、以下横位R.Lを施す。器厚薄手。内面研磨を加える		深鉢a式	
87	深鉢 1.1線部破片 S153 No.1・2	① 白: 石英・片岩 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR5/3	1.1線部に横位平行沈線を配し、以下横位R.Lを施す。器厚薄手。内面研磨を加える		深鉢a式	
88	深鉢 体部破片 240-510	① 白: 白色粒・輝石 ② 良好	③ 褐色7.5YR7/4	器厚を縦位に外反する。横位R.Lを施す。結晶部を見る。内面研磨を加える		深鉢a式	
89	深鉢 体部中位破片 1・2区 SK-1937ク土	① 白: 白色粒・石英 ② 良好	③ 褐色7.5YR4/3	縦位R.Lを施す。横位R.Lを覆う。器厚薄手		深鉢a式	
90	深鉢 体部破片 S0017ク土	① 白: 石英・片岩 ② 良好	③ 黄い黄褐色5YR5/4	横位R.Lを施す		深鉢a式	
91	深鉢 体部破片 S0017ク土	① 白: 石英・片岩 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR5/3	横位R.Lを施す		深鉢a式	
92	深鉢 体部破片 240-480	① 白: 白色粒・片岩・輝石 ② 良好	③ 黄い赤褐色5YR5/4	斜位R.Lを施す		深鉢a式	
93	深鉢 体部破片 4区表土	① 白: 白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い赤褐色2.5YR5/4	横位平行沈線による懸垂文構成。縦位尖形沈線を充填する		深鉢a式	
94	深鉢 上部上平破片 260-540	① 白: 石英大多・雲母 ② 良好	③ 黄い褐色7.5YR5/4	横位沈線以下、3条の短沈線が重なり、内側に波状沈線・三五台目式文を配す。横位L.Rを充填する		阿玉台Ⅱ式	
95	深鉢 1.1線部破片 230-490	① 白: 白色粒・石英・雲母 ② 良好	③ 褐色7.5YR6/4	波状縦位波面。重下隆降で波面下部に屈曲する。側面・充填文は復列半柱状文の結節沈線		阿玉台Ⅱ式	
96	深鉢 1.1線部破片 230-460	① 白: 白色粒・石英・雲母 ② 良好	③ 明褐色5YR7/2	波状縦位波面。重下隆降で波面下部を画す。規則半柱状文の横位結節沈線を充填する		阿玉台Ⅱ式	
97	深鉢 1.1線部破片 4区表土	① 白: 石英大多・雲母 ② 良好	③ 褐色7.5YR6/6	隆降による1.1線部閉門状区画。側線は復列の結節沈線。器部に横位刺突目列を施す		阿玉台Ⅱ式	
98	深鉢 1.1線部破片 210-480	① 白: 石英・雲母 ② 良好	③ 灰褐色5YR5/2	平縁で尖形突起を付す。口唇部および1.1線部に横位刺突目列を施す		阿玉台Ⅱ式	
99	深鉢 器部破片 230-480	① 白: 石英・雲母多 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/2	横位波状沈線を2条施す		阿玉台Ⅱ式	
100-1	深鉢 体部破片 200-480	① 白: 白色粒・石英・雲母 ② 良好	③ 黄い赤褐色5YR6/4	5点を同一個体と判断した。器部は無文で、器部隆降上位に横位刺突目形文を施す。体部は波状隆降を配し、側線に沈線が内・外縁に波状沈線が施される。隆降付付後にL.Rを充填無文しており、意図的に縄文が縦線に及ぶ		中期中葉	
100-2	深鉢 体部破片 S17 No.7	① 白: 白色粒・石英大多・雲母 ② 良好	③ 黄い赤褐色5YR5/4				
100-3	深鉢 体部破片 SK2 No.9	① 白: 白色粒・石英大多・雲母 ② 良好	③ 黄い褐色7.5YR6/4				
100-4	深鉢 体部破片 S17フケ土	① 白: 白色粒・石英大多・雲母 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR6/3				
100-5	深鉢 体部破片 S16フケ土	① 白: 白色粒・石英大多・雲母 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR5/3				
101	深鉢 体部破片 220-530	① 白: 白色粒・石英 ② 良好	③ 明赤褐色2.5YR5/6	横位内波状縦刺突文以下斜位沈線・波状沈線・垂半文が施される		樽飯3式	
102	深鉢 1.1線部破片 210-530	① 白: 白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄い褐色7.5YR7/3	芝罘隆降による1.1線部閉門状区画と区画文構成。溝文は下位で突出。地文は横位R.L。器面は無文。		加賀利EⅠ式	
103	深鉢 1.1線部破片 230-530	① 白: 白色粒・石英 ② 良好	③ 黄い褐色7.5YR6/3	側線による1.1線部閉門状区画。側線は無文。器部は浅い重下隆降による懸垂文構成。R.L充填無文		加賀利EⅡ式	
104-1	深鉢 1.1線+体部中位1/3 230-530	① 白: 白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/3	E1: (107.0). 2.志の天破片からなる。平縁。隆降による1.1線部閉門状区画構成。おそらく4単位。側線は凹線および凹で、器部は2・3条の重下隆降による懸垂文構成。横位はR.L充填無文		加賀利EⅡ式	
104-2	深鉢 1.1線+体部中位1/3 230-530	① 白: 白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR6/4	E1: (106.0). 大型の深鉢。平縁で隆降による1.1線部閉門状区画構成。4単位を想定した。区画接点上位に凹文を配す。器部は隆降による逆U字状懸垂文と横位刺突目沈線を配す。R.L充填無文		加賀利EⅡ式	
105	深鉢 1.1線+器部破片 230-530	① 白: 白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/3	E1: (103.4). 1.1線部は隆降による長閉門状区画構成。区画接点に尖形突起を付す。側線は凹線と沈線。器部は無文で、器部は横位沈線以下2条隆降による懸垂文構成か。L.R充填無文		加賀利EⅡ式 (108)と同一個体か	
107	深鉢 1.1線部1/4 470・532	① 白: 白色粒・石英・雲母少・輝石 ② 良好	③ 黄い赤褐色5YR5/4	E1: 志. 隆降による1.1線部閉門状区画構成。側線は凹線・L.Rを充填する。未穿孔の補修を見る		加賀利EⅡ式	
108	深鉢 1.1線+器部破片 230-530	① 白: 白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/3	E1: (2.0). 隆降による1.1線部閉門状区画構成。側線は凹線・L.R充填無文。器部は無文。		加賀利EⅡ式	
109	深鉢 1.1線部破片 配1.1 2物No.5・10	① 白: 白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄い褐色7.5YR6/4	1.1線部に横位の横位閉門状区画を添付以下低位隆降による平閉門状区画構成。R.L充填無文		加賀利EⅡ式	
110	深鉢 1.1線部破片 S0017ク土	① 白: 白色粒・石英 ② 良好	③ 黄い赤褐色5YR5/4	隆降による1.1線部閉門状区画構成。側線は凹線・L.Rを充填する		加賀利EⅡ式	
111	深鉢 1.1線部破片 S0017ク土	① 白: 白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/3	隆降による1.1線部閉門状区画構成。側線は凹線。器部は沈線による懸垂文構成。R.L充填無文		加賀利EⅡ式	
112	深鉢 1.1線部破片 230-530	① 白: 白色粒・石英少 ② 良好	③ 灰褐色2.5YR6/1				

第1節 縄文時代の遺構と遺物

NO	種類・部位 出土位置	①胎土(焼成)色調			文様の特徴等	備考
		①	②	③		
113	深鉢 1.1線部破片 表裡	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	底凸隆線による1.1線部両面文と区画文構成。側線は横で、R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
114	深鉢 1.1線部破片 配石1・2割No.8	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 褐色5YR6/6	隆線による1.1線部区画文構成。側線は凹線。R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
115	深鉢 1.1線部破片 5J12	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 明赤褐色5YR5/6	底凸隆線による1.1線部区画文構成。側線は凹線。体部は垂下沈線による懸垂文構成。R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
116	深鉢 1.1線部破片 219-480	① 胎：白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	1.1線部両面。隆線による1.1線部両面区画文構成。凹線を側線とし、横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
117	深鉢 1.1線部破片 230-480	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/3	1.1線部に横位沈線を沿って、以下隆線による相間区画文構成。側線は凹線。横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
118	深鉢 1.1線部破片 SK776-2	① 胎：白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	縦平かな波状線。隆線による1.1線部両面区画文構成。側線は横で、横位R.L.を充填施文する	加判利EⅡ式	
119	深鉢 1.1線部破片 SD17ク土	① 胎：白色粒 ② 良好	③ 褐色7.5YR5/6	隆線による1.1線部区画文構成。側線を側とし、横位R.L.を充填する。器面水漬のため摩滅	加判利EⅡ式	
120	深鉢 1.1線部破片 220-530	① 胎：白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	隆線による1.1線部両面区画文構成。側線は凹線。体部は垂下沈線による懸垂文構成。R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
121	深鉢 1.1線部破片 3割ク土	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	隆線による大柄な1.1線部両面文と区画文構成。体部は垂下沈線による懸垂文構成。R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
122	深鉢 1.1線部破片 240-520	① 胎：白色粒 ② 良好	③ 褐色5YR6/6	隆線による1.1線部区画文構成。側線は沈線。横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
123	深鉢 1.1線部破片 横一3 リュウ	① 胎：白色粒・輝石・雲母少 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	1.1線部に横位凹線を沿って、隆線による区画文を配す。側線は横で、横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
124	深鉢 1.1線部破片 200-460	① 胎：白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄褐色10YR6/2	隆線による1.1線部区画文構成。側線は凹線。横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
125	深鉢 1.1線部破片 270-490	① 胎：白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄い褐色7.5YR6/4	波状突起。隆線による両面文を配す。側線は凹線。横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
126	深鉢 1.1線部一部中位1/4 S1197ク土	① 胎：白色粒 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/3	隆線による1.1線部区画文下端。側線は沈線。横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
127	深鉢 1.1線部一部中位1/3 230-530	① 胎：白色粒 ② 良好	③ 黄い褐色2.5YR6/4	上：(G).0. 波状線が、1.1線部横位沈線以下、沈線による門形区画文を配す。直下より体部は2条沈線による懸垂文構成。横文はR.L.充填施文	加判利EⅡ式	
128	深鉢 1.1線部一部上半破片 230-530・230-530	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 明赤褐色2.5YR5/4	波状突起を付す。隆線による門形・相間区画文構成。側線は沈線。体部は垂下沈線等による懸垂文構成。横位R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
129	深鉢 1.1線部一部上半破片 SD163 3F	① 胎：白色粒 ② 良好	③ 明黄褐色10YR7/6	波状突起下は隆線による1.1線部区画文構成。体部は2条沈線の懸垂文構成。加飾R.L.を充填施文する	加判利EⅡ式	
130	深鉢 1.1線部一部上半破片 270-420	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 褐色5YR6/6	波状突起を付し、波首部に沈線による門形区画文を配す。体部は両面懸垂文構成か。R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
131	深鉢 1.1線部破片 230-530	① 胎：白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	波状突起を付し、沈線による門形・相間区画文構成。側線は凹線。横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
132	深鉢 1.1線部破片 220-530	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/3	波状隆線部欠損。1.1線部に凹線。凹線による1.1線部両面区画文構成。R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
133	深鉢 1.1線部破片 220-530	① 胎：白色粒・輝石 ② 良好	③ 褐色7.5YR6/6	波状突起。波首部下に沈線による門形区画文を配す。横文はR.L.充填施文	加判利EⅡ式	
134	深鉢 1.1線部破片 260-530	① 胎：白色粒・石英・チャート？ ② 良好	③ 褐色5YR6/6	波状突起。波首部下に沈線による両面帯状突起を配す。L.R.横位充填施文	加判利EⅡ式	
135	深鉢 1.1線部一部中位1/3 230-530・220-530・250-540	① 胎：白色粒 ② 良好	③ 浅黄色5YR7/3	上(訂.8). 大柄の4単位波状隆線深鉢。波首部に2条隆線による大柄の両面文を配す。両面文は波線部及び体部下半にも見られ、隆線が逆巻する。側線は横で、R.L.充填施文。内面上半に黒色付着物	加判利EⅡ式	
136	深鉢 1.1線部破片 SK18 2割 No.19	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 浅黄色2.5YR8/3	平字小深。波状突起。2条隆線による両面文を配す。充填文は施文されない	加判利EⅡ式	
137	深鉢 1.1線部破片 220-480・220-470	① 胎：白色粒・石英・輝石少 ② 良好	③ 褐色7.5YR7/6	波状突起。2条隆線による両面文を配す。側線は横で、L.R.充填施文	加判利EⅡ式	
138	深鉢 体部破片 270-500	① 胎：白色粒・輝石 ② 良好	③ 褐色5YR6/6	隆線による体部弧状突起。側線は横で、R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
139	深鉢 体部破片 SK1610	① 胎：白色粒・石英・雲母少 ② 良好	③ 明赤褐色2.5YR5/6	2条の隆線による大柄の両面帯状突起。比較的薄手の器厚	加判利EⅡ式	
140	深鉢 体部のみ 230-530	① 胎：白色粒・雲母 ② 良好	③ 浅黄色5YR8/3	2条隆線による懸垂文構成と大柄の両面文構成。4単位。各隆線を横位に連結する1条の隆線によって上下二帯の構成となる。L.R.充填施文	加判利EⅡ式	
141	深鉢 体部中位破片 230-530	① 胎：白色粒・輝石 ② 良好	③ 浅黄色2.5Y7/4	2条隆線による大柄な両面文構成。側線は横で、R.L.充填施文。内面化粧的付着物	加判利EⅡ式	
142	深鉢 1.1線部破片 270-500	① 胎：白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	波状突起。1.1線部報告隆線以下両面部と両面文部にによる弧状突起を付す。側線は横で、横位R.L.を充填する	加判利EⅡ式	
143	深鉢 1.1線部破片 280-500	① 胎：白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い褐色7.5YR7/4	両面部7.2線文構成による弧状・両面帯状突起か。加飾R.L.充填施文。波首部に横位込みが合う	加判利EⅡ式	
144	深鉢 1.1線部一部上半破片 270-500	① 胎：白色粒・輝石・石英 ② 良好	③ 赤褐色5YR4.6	横位突起下に2条沈線による縦位対弧状突起を配し、中位を垂下沈線で区画する	加判利EⅡ式	
145	深鉢 1.1線部破片 270-500	① 胎：白色粒・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/3	1.1線部下に横位隆線を沿って、側線隆線が横生する。大柄の区画文・両面文か。L.R.充填施文	加判利EⅡ式	
146	深鉢 1.1線部破片 180-420	① 胎：白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	双波状突起か。隆線が横生して区画文を画す。横生状隆線も施される。加飾L.L.充填施文	加判利EⅡ式	
147	深鉢 1.1線部一部上半破片 200-540	① 胎：白色粒・石英 ② 良好	③ 黄い黄褐色10YR7/4	波状隆線。1.1線部凹線以下。体部は沈線による縦位相間区画文を主とした2帯構成か。R.L.充填施文	加判利EⅡ式	
148	深鉢 1.1線部突起 3割	① 胎：白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 浅黄褐色10YR8/3	突出する両面帯状突起。1.1線部に門形突起文と横位沈線を沿って、体部は直字状突起を配す	加判利EⅡ式	

第3章 検出遺構と出土遺物

NO	種類・部位 出土位置	①胎土(2層焼)3色調			文様の特徴等		備考
		①	②	③			
149	深鉢 1層部破片 配石 1・2割%13	① 黒：白色粒・輝石	② 良好	③ 鈍い褐色10YR6/4	2案の沈殿による逆U字状底に配す。底手状痕跡も加ふる。	R L 履位充填文	加判例 E Ⅱ式
150	深鉢 1層部破片 SK10a153	① 黒：白色粒・輝石	② 良好	③ 鈍い褐色10YR6/4	1層部に横位沈線を設け、以下2案沈殿による逆U字状底に配す。	R L 充填文	加判例 E Ⅱ式
151	深鉢 1層部+体部下平破片 220-530	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 鈍い褐色5YR6/4	2案の沈殿による懸架状断面文構成を上半に配す。下半も弧状懸架文か。無断し充填文		加判例 E Ⅱ式
152	深鉢 1層部破片 240-510	① 黒：白色粒・輝石	② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR5/4	波状突起を付す。2案沈殿で画された滑溜部逆U字状底に配す。	R L 充填文	加判例 E Ⅱ式
153	深鉢 1層部破片 表裡	① 黒：白色粒	② 良好	③ 褐色5YR6/6	2案沈殿による弧状底に、逆U字状底が、付加案第1層R L + L 2案を充填する。		加判例 E Ⅱ式
154	深鉢 1層部破片 230-530	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR6/4	1層部内湾。沈殿による逆U字状底に配される。縄文は口唇部縦位。体部縦位 R L		加判例 E Ⅱ式
155	深鉢 1層部破片 260-550	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR7/4	1層部欠損し、突起部底跡を見る。沈殿による逆U字状懸架文か。無断し履位充填文		加判例 E Ⅱ式
156	深鉢 1層部破片 220-530	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 褐色2.5YR6.8	沈殿で画された滑溜部逆U字状底に配される。履位 S 字状沈線も施される。無断し履位充填文		加判例 E Ⅱ式
157	深鉢 1層部破片 230-530	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 鈍い赤褐色5YR5/4	平縁か。1層部縦位沈線より2案の沈殿が重下する。無断し履位充填文。内面褐色付着物		加判例 E Ⅱ式
158	深鉢 1層部破片 80-400	① 黒：白色粒・輝石	② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR6/3	1層部より沈殿2案が重下する懸架文構成。履位 R L 充填文		加判例 E Ⅱ式
159	深鉢 1層部破片 縄文付	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR7/3	見、沈殿による1層部断面文構成。体部は2案沈殿による懸架文構成。R L 充填文		加判例 E Ⅱ式
160	深鉢 1層部+体部下平破片 270-500/280-485	① 黒：白色粒・輝石・石英	② 良好	③ 明赤褐色5YR5/6	1層部に横位沈線を除き、以下縦位による分岐懸架文を配す。履位 R L 充填文		加判例 E IV 式
161	深鉢 1層部破片 270-500	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 明赤褐色2.5YR5/6	1層部に横位沈線を設け、以下縦位・履位 R L が覆う。乱舞な羽状縄文構成		加判例 E Ⅱ式
162	深鉢 1層部破片 SK10a163	① 黒：白色粒	② 良好	③ 褐色7.5YR6.6	1層部に門形明文。以下2案の沈殿による縦位弧状底に配す。無断し充填文		加判例 E Ⅱ式
163	深鉢 1層部破片 180-430	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 鈍い黄褐色5YR5/4	内湾する1層部に横位沈線を設け、履位 R L を施す。以下は履位 R L が覆う		加判例 E Ⅱ式
164	深鉢 1層部破片 260-540	① 黒：白色粒・石英・輝石・雲母少	② 良好	③ 褐色5YR7.6	1層部深く内湾。横位内湾以下。履位 R L と履位 R L が覆う		加判例 E Ⅱ式
165	深鉢 1層部破片 表上	① 黒：白色粒・輝石	② 良好	③ 明赤褐色2.5YR5/6	1層部内湾し横位沈線を設ける。以下、縦沈線による分岐懸架文構成か。R L 充填文		加判例 E IV 式
166	深鉢 1層部破片 260-540	① 黒：白色粒・石英・雲母	② 良好	③ 黄褐色10YR3/2	断面が平な弧状。1層部下に沈線を設け、横位・斜位 R L 文を充填する		加判例 E Ⅱ式
167	深鉢 1層部破片 240-520	① 黒：白色粒	② 良好	③ 褐色5YR7/8	1層部内湾。縦位の無文1層部下に横位沈線を設け、体部に履位密接線施す		加判例 E Ⅱ式
168	深鉢 1層部破片 表裡	① 黒：白色粒・輝石	② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR6/4	1層部下に横位沈線を設け、以下は履位密接線が覆う		加判例 E Ⅱ式
169	深鉢 1層部破片 220-530	① 黒：白色粒・輝石	② 良好	③ 明赤褐色2.5YR5.6	1層部内湾。1層部縦位沈線は平卒ない。体部に履位密接線施す		加判例 E Ⅱ式
170	深鉢 1層部破片 表裡	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 褐色5YR7.6	1層部は斜位。以下は履位密接線を施す		加判例 E Ⅱ式
171	深鉢 1層部破片 110-430・トレ1	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 褐色5YR6/6	履位密接線と波状線を施す		加判例 E Ⅱ式
172	深鉢 1層部+体部下平破片 220-530	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 鈍い赤褐色5YR5/4	1層部内湾。横位沈線を設け、以下横位の密接線を履位に施す。1層部部部部体著しい		加判例 E Ⅱ式
173	深鉢 体部下平破片 220-530	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 褐色7.5YR7.6	6・7案部部の密接線を履位・斜位に施す		加判例 E Ⅱ式
174	深鉢 体部破片 表裡	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 鈍い褐色10YR7/4	2案沈殿による弧状底に、滑巻文か。R L 充填文。隆縁は黄褐色土を使用し色調の差を見る		加判例 E Ⅱ式
175	深鉢 体部破片 表裡	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 褐色7.5YR6.6	内湾する体部。低位隆縁による懸架文構成。無断し履位充填文		加判例 E Ⅱ式
176	深鉢 体部中位破片 210-470	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 褐色7.5YR7.6	重下沈殿による懸架文構成。U字状・逆U字状底に配す。R L R L 履位充填文		加判例 E Ⅱ式
177	深鉢 体部破片 表裡	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 鈍い褐色7.5YR6/3	沈殿による逆U字状懸架文。上位は横位内湾部か。滑溜部に底手状痕跡を配す。R L 充填文		加判例 E Ⅱ式
178	深鉢 体部中位破片 3割	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR7/4	2案沈殿で画された滑溜部懸架文構成。R L 履位充填文。突起部底跡を見る		加判例 E Ⅱ式
179	深鉢 体部中位破片 230-530	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 褐色5YR6/6	沈線によるU字状・逆U字状懸架文を配す体部2帯構成。無断し履位充填文		加判例 E Ⅱ式
180	深鉢 体部下平破片 240-520	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 褐色5YR6/6	重下沈殿による懸架文構成で下部部。縄文部縄文は履位 R L 充填文		加判例 E Ⅱ式
181	深鉢 底部のみ SK2アケ土	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR7/3	底：6.8。重下沈殿2・3案による懸架文構成で下部部。縄文は履位 R L 充填文		加判例 E Ⅱ式
182	深鉢 底部のみ 270-490	① 黒：白色粒・石英	② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR6/3	底：6.2。直立気味に開く体部下平。履位密接線下部部を見る		加判例 E Ⅱ式
183	深鉢 底部のみ SK10b44	① 黒：白色粒・石英多・輝石	② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR7/4	底：5.6。体部下平は強く開く。履位 R L が施される		中間後集
184	深鉢 底部のみ SK10b30・32・34	① 黒：白色粒・輝石	② 良好	③ 鈍い黄褐色10YR7/4	底：6.0。重下沈殿による懸架文構成で下部部。縄文部に縄文が施されるが判然としない		加判例 E Ⅱ式
185	深鉢 体部下平1/1 270-490	① 黒：白色粒・石英・輝石	② 良好	③ 褐色5YR6/6	付着深鉢右部欠損。円形孔を3単位設ける。体部は履位密帯状底に配す。R L 履位充填文		加判例 E Ⅱ式
186	深鉢 体部下平一部1/2 D0-27ケ土	① 黒：白色粒	② 良好	③ 浅黄褐色10YR8/3	底：底。有。キヤリバー状部跡。体部は沈殿による逆U字状懸架文を配す。沈線は沈殿部まで達す。R L 履位充填文		加判例 E Ⅱ式
187	深鉢 底部のみ 1・2区表裡	① 黒：白色粒・石英	② 中々軟質	③ 明赤褐色5YR5/6	底：底。有。あるいは、付着深鉢か。底部の厚層著しい。内面の地味は鈍い		中間後集

第1節 縄文時代の遺構と遺物

NO	種類・部位 出土位置	①胎土(焼成)色調			文様の特徴等	備考
		①	②	③		
188	深鉢 底部のみ 250-530	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/3	底: 5.7. 小径で丸みを帯びた底部。内面形状も両面する。体部下半は無文	灰内1式EⅢ式	
189	ミニチュア 底部破片 表土	① 黒・白色粒 ② 良好	③ 黒い褐色7.5YR5/4	底: 2.5. 深鉢ミニチュアか。体部下半は強く開く。横位LⅠを施す。底部内面内湾。	中期後葉	
190	ミニチュア 底部破片 5D1	① 黒・白色粒・輝石 ② 良好	③ 褐色7.5YR6/6	底: 3.0. 底部は丸みを帯び、体部も凹みある態形で粗線な作り。無文	中期後葉	
191	深鉢 体部下平破片 5D1中層	① 黒・白色粒・石英 ② 良好	③ 褐色5YR6/6	大型の深鉢か。無文で内面凹凸している	中期後葉	
192	深鉢 体部→底部破片 270-500	① 黒・白色粒・輝石 ② 良好	③ 褐色7.5YR6/6	底: 8.2. 底部は突出し、体部下半は強く開く。底部内面は内湾する。器面摩滅	中期後葉	
193	深鉢 上縁部1/2 230-530	① 黒・白色粒 ② 良好	③ 灰褐色5YR5/2	LⅠ: 9.0. 口部厚肉。浅い縦帯線が斜位に施す。器面摩滅。内外面に炭化物付着	灰内1式EⅢ式	
194	深鉢 上縁部破片 4区表土	① 黒・白色粒・石英 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR7/4	横位沈線で画された意匠工端。施文部は横位斜位文を施す。	赤名寺Ⅱ 95と同一個体か	
195	深鉢 体部破片 4区表土	① 黒・白色粒・石英 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/4	浅い沈線で画された意匠工端。施文部は横位斜位文を施す。	赤名寺Ⅱ	
196	深鉢 体部破片 250-470	① 黒・白色粒・石英・片岩粒 ② 良好	③ 灰黄褐色10YR4/2	2葉の内皮沈線が器溝部を画し、斜位意匠文を配す。RⅠ充填無文	赤名寺式	
197	深鉢 体部破片	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR5/4	弧状沈線で画された区画内を貫脱LⅠを充填施す	赤名寺式	
198	深鉢 上縁部破片 3層フタ土	① 黒・白色粒・石英・雲母少・輝石 ② 良好	③ 黒い褐色7.5YR6/4	中に凹孔を設けた環状突起。横線を沈線・凹形刻文が施す。上縁部には横位沈線文を配す	瓶之内1式	
199	深鉢 上縁部破片 表土	① 黒・白色粒・石英・雲母少・輝石 ② 良好	③ 黒い褐色2.5YR5/6	横位突起環状突起・凹形刻文が施す。上縁部に横位沈線文を配す。頸部は斜位輪線が伸びる	瓶之内1式	
200	深鉢 上縁部破片 100-460	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 褐色7.5YR6/6	波節部に凹孔を配す。口部部に凹線が施す。頸部は無文か	瓶之内1式	
201	深鉢 上縁部破片 180-440	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR7/4	頸部は強く外反する。凹形口縁部に凹形刻文を横位に施す。頸部は無文	瓶之内1式	
202	深鉢 上縁部破片 270-470	① 黒・白色粒・石英 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/4	上縁部横位沈線を設け、凹孔を中程に並下沈線が施す。斜位LⅠを施す	瓶之内1式	
203	深鉢 上縁部破片 220-530	① 黄褐色・白色粒 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/4	平縁。口縁部に横位沈線を設け以下斜位沈線による斜格子文構成	瓶之内1式	
204	深鉢 体部下平破片 511No.4・19・フタ土	① 黒・白色・輝石・チャート ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR7/3	横位細沈線で凹下下沈線による帯基文構成。斜位沈線を加えLⅠを充填する	瓶之内1式	
205	深鉢 上縁部破片 3層	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黒い褐色7.5YR7/4	口部内湾。横沈線で画された施文部幾何学文構成。細網文LⅠを充填する	瓶之内2式	
206	深鉢 上縁部破片 260-540	① 黒・白色粒多・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/4	上縁部横位環状線以下横沈線で画された施文部幾何学文構成。無形LⅠを充填する	瓶之内2式	
207	深鉢 上縁部破片 表土	① 黒・白色粒・輝石 ② 良好	③ 黒い褐色7.5YR5/4	上縁部横位環状線に弧状輪線を付す。体部は2葉沈線で画した施文部幾何学文構成か。LⅠを充填する	瓶之内2式	
208	深鉢 体部破片 533カマドフタ土	① 黒・白色粒・石英・雲母少・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR7/2	横沈線で画された充填網文施文部による幾何学文構成。細網文LⅠを充填する	瓶之内2式	
209	深鉢 体部破片 210-480	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR7/3	横沈線で画された施文部による幾何学文構成。三角形区画に細網文LⅠを充填する	瓶之内2式	
210	深鉢 体部中位破片 220-490	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 浅黄色2.5Y7/3	横沈線で画された施文部による弧状突起。LⅠを充填無文	瓶之内2式	
211	深鉢 体部破片 表土	① 黒・白色粒・石英・輝石多・雲母少 ② 良好	③ 黒い褐色7.5YR3/4	斜位沈線2葉に画された施文部施文部。LⅠを充填する	瓶之内2式	
212	深鉢 体部下平破片 240-470	① 黒・白色粒・石英 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/3	体部下半の横位沈線2葉で画された施文部。横位LⅠを充填する	瓶之内2式	
213	深鉢 底部のみ 表土	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/3	底: 11.6. 大型の深鉢か。張り出し底部で体部は強く開く。底部に刺状痕残る	赤生	
214	土師器 完形 220-470	① 黒・白色粒・石英 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR7/4	径: 2.5 重: 5.74g. 深鉢体部破片を使用か。無文で凹み多	中期後葉か	
215	土師器 完形 5D-1	① 黒・白色粒・石英 ② 良好	③ 褐色7.5YR4/3	径: 3.3×3.8. 重: 12.59g. 深鉢体部破片を使用。横位RⅠを施す	諸説あり	
216	ミニチュア 1層→底部破片 層→3層層フタ土	① 黒・白色粒・輝石 ② 良好	③ 黒い褐色10YR5/2	LⅠ: 9.4 底: 一 高: 5.6. 鉢ミニチュアか。口部部は厚り外積する。器面凹凸多。横位沈線や斜位沈線が良縁に施文される	中期後葉か	
217	深鉢? 上縁部破片 100-460	① 黄褐色・白色粒 ② 良好	③ 灰黄褐色10YR6/2	折り返し口縁。口部部は厚り折り返し部は無い	赤生	
218	深鉢 上縁部破片 表土	① 黒・白色粒・石英 ② 良好	③ 灰黄褐色10YR6/2	折り返し口縁。折り返し部に指状圧痕を見る	赤生	
219	深鉢 底部のみ 100-430	① 黒・白色粒・輝石・雲母少 ② 良好	③ 黒い赤褐色7.5YR5/4	底: 5.6. 体部下半は強く開く。底部器厚や平厚手。底部に木葉痕残る	赤生か	
220	深鉢 底部のみ 表土	① 黒・白色粒・石英・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/4	底: 5.8. 体部下半は強く開く。底部に木葉痕残る	赤生か	
221	深鉢? 体部破片 1仕付クラゲ	① 黄褐色・輝石 ② 良好	③ 黒い黄褐色10YR6/4	胴部小片か。内外面とも丁寧な研削を施し、赤色塗彩を加える	赤生	
222	深鉢? 底部破片 1仕付クラゲ	① 黄褐色・白色粒 ② 良好	③ 浅黄褐色10YR8/4	底部に孔を設ける瓶か。小片のため判別しづらい	赤生	
223	深鉢 胴部 表土	① 黄砂粒 ② 良好	③ 灰黄褐色10YR 6/3	外面: 3葉1丁単位の帯基線状施文。内面: 横行。	赤生	
224	深鉢 胴部 表土	① 黄砂粒・粗砂粒 ② 良好	③ 灰黄褐色10YR 7/2	外面: 帯基線施文。内面: 横行。	赤生	

第3章 検出遺構と出土遺物

石器

遺構外出土の石器として剥片系石器 189 点・礫石器類 110 点が、古代住居の覆土や溝から出土している。器種構成(下表)は石斧類・狩猟具類・削器類・製粉具類・呪術具類に大別され、削器類の出土は少ない。区別に出土量を見ると、出土量は遺構分布に比例しており、縄文時代の遺構(埋裏)が確認されている6区(77点25.8%)・7区(113点37.8%)に出土量が多い。区別に見た石器の器種構成については特に大きな差はないようであるが、強いて言えば多孔隙石が6区に、磨石類が7区に偏在する傾向が指摘できそうである。

調査所見では縄文期遺物包含層は欠いたとされるが、1区の低地部は湧水起源の浅い埋没谷の谷頭と見られ、北側に抜けるようなものではないことに注意しておきたい。石器類が古代住居や溝等の覆土から出土していることから明らかに提示資料は部分的であるというべきであり、以下隣接する大道東遺跡の石器組成・石材組成を参照してその概要を解説していきたい。

大道東遺跡の包含層出土石器は、縄文時代中期後半から後期前半のそれが圧倒的多数を占めた。同時期の住居12棟・土坑93基が検出され、調査区外へ集落が広がることが明らかであり、地域の拠点集落と評することもできる規模の遺跡である。石器類には剥片系石器9種と礫石器8種があり、典型的な中・後期の器種組成を示していた。石器石材は20種があり、剥片系石器にはチャート・ホルンフェルス、礫石器類には粗粒輝石安山岩が多用されていた。器種レベルで見た石材の利用状況は打製石斧や削器類にホルンフェルスが、石鏃等の小形石器にチャートが多用されたようであり、在地石材の利用が圧倒していた。流域外の石材

では利根川上流域の黒色頁岩や黒色安山岩・信州産黒曜石、硬質頁岩が少量あり、石鏃や削器など小形石器の石材として利用されたようである。礫石器類には粗粒輝石安山岩の利用が圧倒的に多い。溶結凝灰岩や金山石、花こう岩など周辺域に調沢な石材についてはその利用頻度は意外に低く、石材選択の際の志向性が見て取れる。以上が大道東遺跡にお

調査区	1-2区	3区	4区	6区	7区	8区	表採	不明	総計
打斧	8		4	17	22	12			63
磨斧						1			1
片斧			1						1
石鏃	6		9	13	21	10			59
石鏃				1	1				2
削器				5	2				7
石核		1		9	8	2		1	21
加工痕ある剥片 使用痕ある剥片	4			9	13	2		6	34
石鏃						1			1
凹石	1			5	11	2		12	31
磨石	5			7	22	1	1		36
蔽石				1	4			2	7
石皿	3			3	2	1		1	10
台石	1	1	1		1	1		2	7
多孔石	1		1	7	4	2		1	16
石製品					1				1
石棒					1				1
計	29	2	16	77	113	35	1	26	299

石材	打斧	石核	黒色頁岩	硬質頁岩	硬質頁岩	黒色安山岩	粗粒輝石安山岩	黒曜石	実玄武岩	粗粒輝石安山岩	緑色片岩	角閃石安山岩	流紋岩	計
打斧		57	3	1			1						1	63
磨斧									1					1
片斧		1												1
石鏃	51		1	4				3						59
石鏃	2													2
削器		3	3		1									7
石核	14	2	1		1			2						21
加工痕ある剥片	18	15			1									34
使用痕ある剥片		1												1
石鏃												1		1
凹石										30		1		31
磨石										36				36
蔽石		2	1	1		1				2				7
石皿										10				10
台石										7				7
多孔石										16				16
石製品										1				1
石棒											1			1
計	85	81	9	6	1	3	2	5	1	102	1	1	2	299

ける石器の概要だが、本遺跡出土の石器にはどのような傾向があるだろうか。

本遺跡出土の縄文土器は縄文時代中期後半(加曾利E3・4式)の土器を主体に、早期(野島式)～後期(堀之内式)の土器が出土している。このほか少量だが弥生時代の土器も出土しており、各々に帰属する石器が混在しているのは明らかである。剥片類についてはチャート496点・ホルンフェルス21点・赤碧玉13点・黒色頁岩11点・黒曜石9点・珪質頁岩4点・頁岩3点など計560点がカウントされているが、未集計のホルンフェルス製の剥片類が相当量あり、これらを用いた石器製作も確認されるところである。剥片系石器8種・礫石器9種を確認しており、組成的には大道東と変わるところはない。石器石材は13種を確認した。大道東の24種に比べ半減(在地石材では花こう岩・はんれい岩等の深成岩類・金山石・砂岩・砂質頁岩、流域外の石材では硬質頁岩が欠落)しているとはいえ、チャート・ホルンフェルス・粗粒輝石安山岩を多用、石鎌等の小形石器にはチャートを、石鎌を除く各種石器にホルンフェルスを用いており、器種：石材関係も概ね相似するものとするできよう。以下、個別石器について整理過程で気付いた特徴となるだろう点について記していきたい。

打製石斧(63点が出土)は短冊形27点・楕形4点・分銅形27点・石鎌?6点があり、形態的には短冊形・分銅形の両者が拮抗している。形態的に完成状態にあるものが主体を占めるようであるが、短冊9/27点・分銅4/27点が未製品と見られ、遺跡内で最終的に仕上げる段階で破損したものと考えている。ホルンフェルス製の石斧には磨痕が未発達だが、完成状態にあるものの変形度は高く、遺跡内で頻繁な刃部再生が行われたことを示唆する。短冊タイプには側縁が弱く内湾するもの(225・227)、分銅タイプには側縁を小さく挟り込んでいるもの(245)、上端側に偏り挟れるもの(240・246)などバリエーションがある。大道東遺跡で注目した糸巻き状を呈するそれは1点(248)が出土しただけであり、量的には少ない。楕形としたそれは礫面を大きく残す幅広剥片を用い、側縁を裏面側から加工したものの(235・234)で、片刃石斧(239)の加工に類似、早期的な色彩の強い石斧である。このほか、石鎌?としたもの(235～237)がある。器体中央付近に最大幅を有す本体に幅広の基部が付くタイプで、長さ20cmを超える大形例(237)がある。3点とも刃部再生を受け、刃部は大きく変形している。238は、長さ10cmと小形だが形態的には類似しており、同類の石器として理解すべきものかもしれない。237は重さ1095gを測る大形例であり、仮に、これを縄文期のそれとすれば、弥生期石鎌と見分けることが難しい。

石鎌は、59点が出土した。その内訳は、凹基無茎鎌36点・平基無茎鎌5点・凸基有茎鎌15点・凹基有茎鎌1点・不明2点であり、凹基無茎鎌(61.0%)と凸基有茎鎌(25.4%)が圧倒的多数を占める。完成度で石鎌を見ると完成品43点・未製品16点となり、未製品の占める割合は25%を超えた。石鎌は自前調達した石器であり、その製作地は遺跡内であるはずであるが、形態別の未製品は凹基無茎鎌(10点・27.7%)に偏り、凸基有茎鎌は15点とも完成状態にあるという結果を示した。平基無茎鎌については未製品が5点中3点と未製品が主体となるようだが、これについては製作過程の姿(275)であり、最終的形態を示しているとは限らないという見方も成り立ち、現状ではどちらも判断できない。身の形状が三角形を呈するもの(250～256)と二等辺三角形を呈するもの(258～261など)があり、後者の占める比率が高い。チャートや珪質頁岩など在地石材を用いた石鎌には、重さ2gを超える大形品(254・264・267・268・269・270・271・272)があり、石器石材の豊富な地域における潤沢な石材利用の在り方を示している。こうした非在地石材(黒曜石)の各處的利用と、豊富な在地石材(チャート等)を用いた大形石鎌の共存現象は伊勢崎市清水田遺跡・前期前半の石鎌に見られ、通時的現象とすべきものとして注意しておきたい。

剥片系石器を理解する上で欠かせないのが、剥片類を含む石核類の在り方である。図示したとおり、石核には板状の剥片を用いた小形石核(283～285・286)と、やや大形の部類に属す石核(287～289)がある。両者とも小形剥片を剥離しており、選択的に石鎌や削器の素材とされたであろうが、剥片サイズは前者より後者が大きい。石核形状の多様性については素材形状に即した剥片生産ということで説明が可能であるが、より薄手の剥片を用いた石核(281・282)の中には両極剥離を駆使して石鎌を製作した可能性もあるだろうことを指摘しておきたい。大形削器類についてはホルンフェルス製のそれが多く、加工痕ある剥片とした中にも類似資料があり、器種：石材レベルで言えば、打製石斧の製作に関連させ、理解すべきものである。これに直接関連するものではないが、より定型化した例(278)や風化状態の異なる例(280)があり、図示した。278は、幅広剥片を用い周辺加工したもので、旧石器的要素を有する削器である。

第3章 検出遺構と出土遺物

形態的には掻器様だが、右側縁の加工が丁寧で側刃削器とすべきものかもしれない。280は、左側縁に小剥離痕が連続する削器である。礫面を大きく残す幅広剥片を用いたものであり、右側縁の加工部を除いた全面が磨耗している。

礫石器類では剥片製の円形敲打具(299・300・303や、小口部に打痕・磨耗痕を有する棒状敲打具(329～333)、呪術具としての石製品(341)の存在が特徴的である。凹石を含む磨石類は大道東と同様の傾向にあり、また、石皿・多孔石の在り方も大きく相違しないようである。

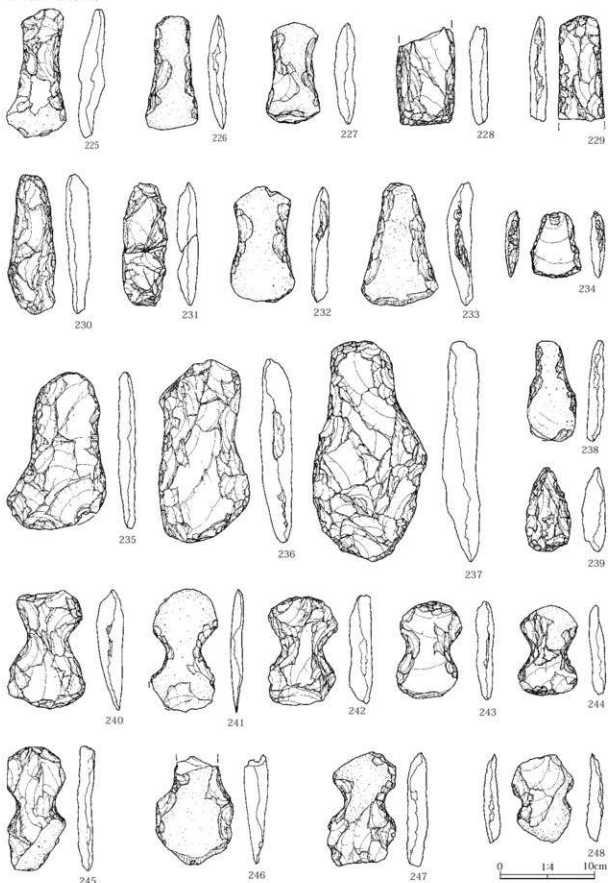
本遺跡の製粉具類には、石皿・磨石類がある。磨石類には凹石を含み、ほぼ拮抗する割合で組成する。磨石類は偏平礫を用いるものが多く、使用面が浅い石皿が主体を占めることと整合する。磨石類には側縁敲打・磨耗するもの(305・311・313・314など)が多く、側縁に稜を持つ例も多く、磨石類の形態的变化は暫時的で、石鏡等の型式認定は意味をなさないものと考えている。7点が出土した台石(342・343・345など)にも磨耗面があり、無縁の石皿として使用されたものを含み、機能的には多義的である。

本遺跡では、敲打痕のみからなる石器製作用敲打具(ハンマー)に加えて、敲打痕と磨耗痕が並存する敲打具2種が出土した。円形敲打具としたものの典型例は303で、長さ10cm程度の大形剥片を粗く加工、エッジに敲打痕・磨耗痕を有するものである。敲打痕・磨耗痕は299・300には明らかでないが、同種石器が大道東にもあり、敲打痕や磨耗痕のないそれについても未使用の敲打具として、これに加えるべきものと考えている。棒状敲打具の先端には石器製作時に生じる打痕に加えて磨耗痕が明らかであり、単なる石器製作用のハンマーとするのは理解が表層的であるというべきだろう。同種敲打具は大道東遺跡の敲打具のほか、渋川市上白井西井熊遺跡にもあり、普遍的に存在したようである。これに類するものとして、小形偏平礫の側面に線状痕の残る石製研磨具がある。これは土器内面整形用のそれとされたものであり、本遺跡出土資料にも小形の偏平礫や円礫があり、線状痕等について分類時から注意して観察した。結論的には線状痕や磨耗痕はなく言及するだけのものはないが、混入物とするだけの根拠がない以上、人為的に持ち込まれたものとするべきであり、その存在には今後とも留意すべきだろう。

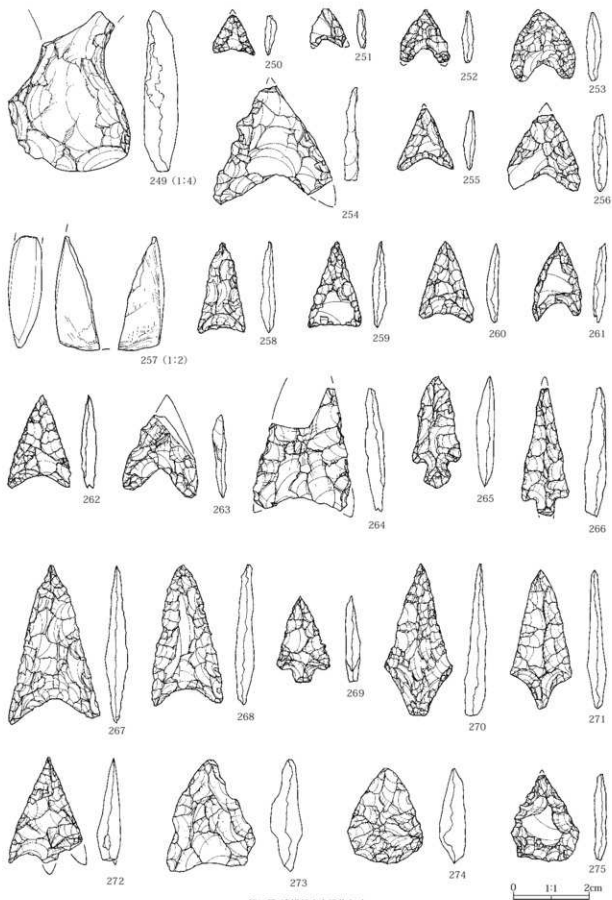
呪術具には、多孔石・石棒等がある。多孔石は16点が出土しており、いずれも粗粒輝石安山岩を用いていた。楕円偏平礫を用いるもの(347)や、断面高の厚い楕円礫を用いるもの(355～357)が多い。大道東遺跡で特徴的であるとされた1穴の多孔石については本遺跡では出土していないが、これは石材観が異なることに由来、同じ粗粒輝石安山岩でも肌理の粗いもの(多孔質?)が孔多数を穿ち、肌理の細かいもの(より硬質)が孔1を穿つ傾向が指摘されるようである。石棒(360)は、側縁整形・打痕を加えたものである。これを未製品とするならば、遺跡内再生の可能性、転用の可能性を示唆するものであり、また、これを完成品とするならば、石棒を簡略して表現したものと評価されることになるだろう。

このほか、注目されるものとして用途不明の石製品(341)や皿状の石製品(361)がある。用途不明の341は、幅5cm前後の溝が周囲に廻る石製品である。溝は幅広く明瞭で、石皿の製作に伴う細いリード線とは異なり、大道東遺跡の不明石製品(第464集、第128図560)と同一のものである。出土資料は破片資料で形状は不明だが、形態的には略「横型」を呈する伊勢崎市下田遺跡のそれに近い。この種の石器は大道東の報告時に注目されたものであり、本例を除きその後の類似資料の存在は確認できていないが、隣接遺跡とはいえ、大道東と同時期の遺跡から類似資料が確認されたことの意義を認識すべきである。それは偶発的であるというようなものではなく、意図的であるというべきで、縄文人の呪術体系に一端を担う呪術具としての性格を有していたことを再確認しておきたい。361は径5cm弱の河床礫を分割、その分割面を敲打して皿状に窪めたもので、口辺を丁寧に整えている。これより大形だが、ミニチュアタイプの石皿(336)に通じる形態的屬性を有しており、その関連性に注目しておきたい。

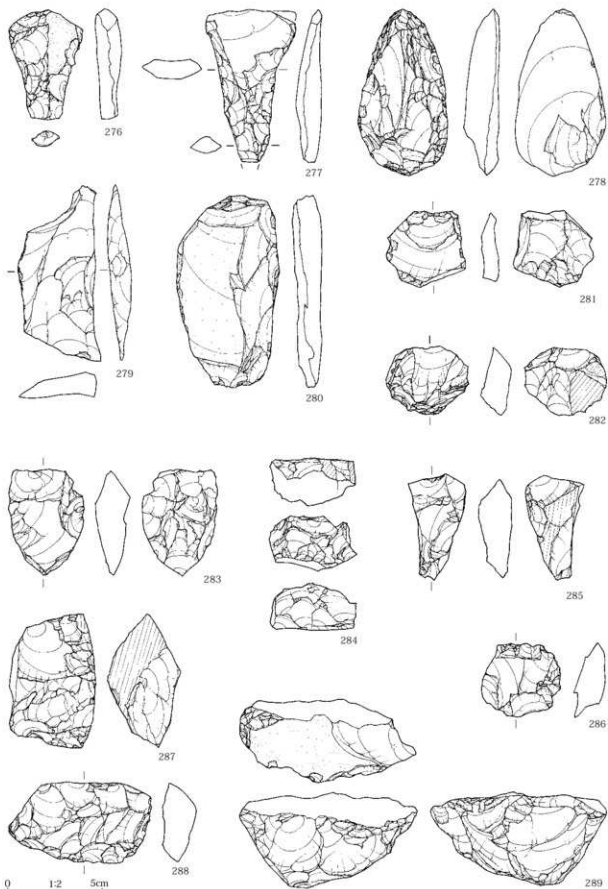
縄文遺構外遺物(石器)



第26図 遺構外出土遺物(10)

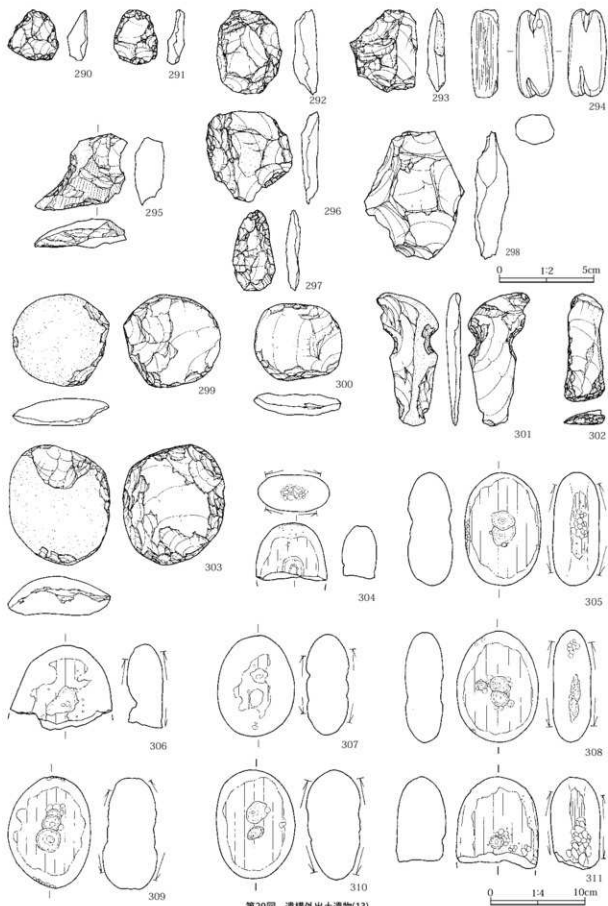


第27図 遺構外出土遺物(11)

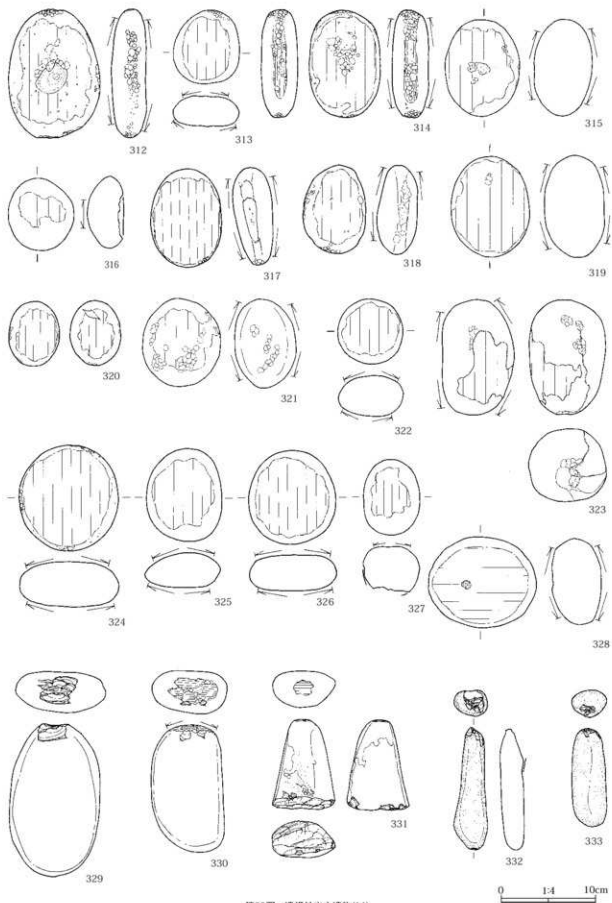


第28図 遺構外出土遺物(12)

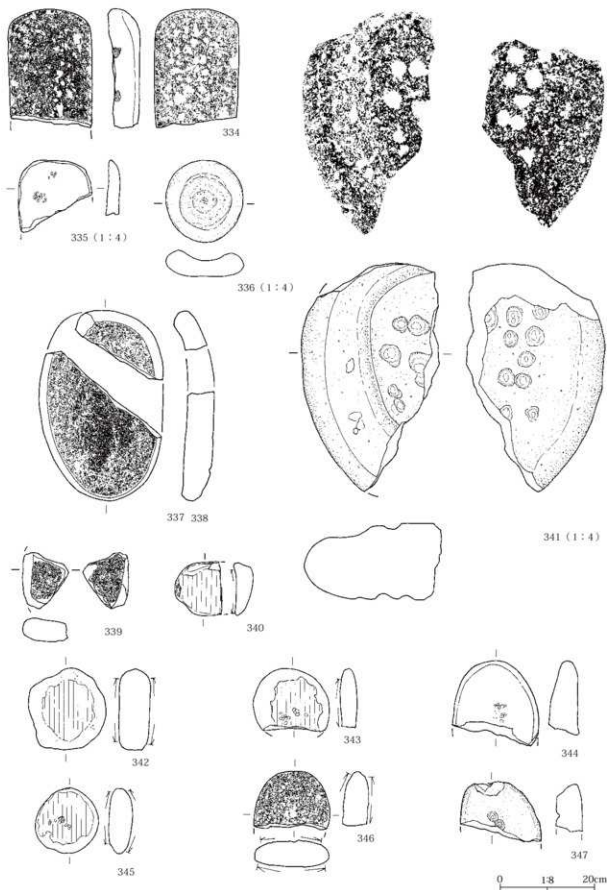
第3章 検出遺構と出土遺物



第29回 遺構外出土遺物(13)

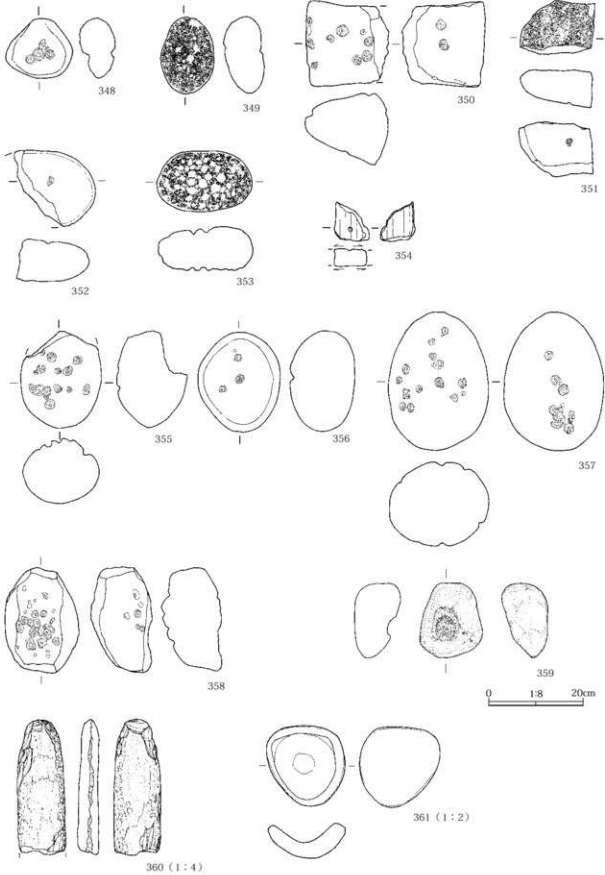


第30図 遺構外出土遺物(14)



第31圖 遺構外出土遺物(15)

第1節 縄文時代の遺構と遺物



第32図 遺構外出土遺物(16)

第3章 検出遺構と出土遺物

縄文遺構外観表

番号	区	遺構種	器種	形態	残存状態	製作状況	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
225	1・2	表採	打製石斧	短冊形	完形	完成	ホルンフェルス	13.5	6.0	2.5	201.7
226	4	4号溝跡	打製石斧	短冊形	完形	完成	ホルンフェルス	12.5	5.5	1.8	132.5
227	6	260-520G	打製石斧	短冊形	完形	完成	ホルンフェルス	10.8	5.8	1.8	159.9
228	6	220-540G	打製石斧	短冊形	上半欠損	完成	ホルンフェルス	10.3	6.2	1.4	178.9
229	7	11号住居跡	打製石斧	短冊形	局部欠損	完成	縞輪輝石砲山岩	11.0	4.8	1.5	151.6
230	1・2	1号溝跡	打製石斧	短冊形	完形	完成	ホルンフェルス	14.8	5.0	2.2	209.6
231	6	1号住居跡	打製石斧	短冊形	完形	未製品	珪質頁岩	13.0	5.0	1.7	165.2
232	4	13号溝跡	打製石斧	分銅形	完形	完成	ホルンフェルス	12.0	6.8	1.6	188.0
233	6	大溝跡	打製石斧	撥形	完形	完成	ホルンフェルス	12.8	8.0	2.7	261.0
234	6	大溝跡	打製石斧	撥形	完形	完成	黒色頁岩	7.0	5.2	1.4	69.8
235	6	260-540G	打製石斧	石鏃?	完形	完成	ホルンフェルス	16.2	10.5	1.6	347.5
236	7	表採	打製石斧	石鏃?	完形	完成	ホルンフェルス	19.1	9.5	3.2	771.5
237	6	5号溝跡	打製石斧	石鏃?	完形	完成	ホルンフェルス	23.3	12.0	3.7	1095.0
238	7	210-470G	打製石斧	短冊形?	完形	完成	ホルンフェルス	10.3	5.2	1.5	104.4
239	4	9号住居跡	片刃石斧	完形	完形	完成	ホルンフェルス	8.8	4.6	2.2	105.4
240	6	大溝跡	打製石斧	分銅形	完形	完成	ホルンフェルス	12.5	8.1	2.6	276.1
241	4	14号溝跡	打製石斧	分銅形	完形	完成	黒色頁岩	13.0	6.7	1.1	109.6
242	1・2	3号井戸跡	打製石斧	分銅形	完形	完成	ホルンフェルス	11.8	7.0	2.4	245.9
243	8	080-460G	打製石斧	分銅形	完形	完成	ホルンフェルス	10.4	6.6	1.8	154.9
244	8	070-470G	打製石斧	分銅形	完形	完成	ホルンフェルス	9.5	6.2	1.4	102.1
245	7	270-490G	打製石斧	分銅形	完形	完成	ホルンフェルス	13.0	6.2	1.5	163.9
246	7	大溝跡	打製石斧	分銅形	上半欠損	?	ホルンフェルス	11.0	8.3	2.2	223.0
247	7	5号住居跡	打製石斧	分銅形	完形	未製品	ホルンフェルス	12.2	7.0	2.0	199.9
248	8	1・2号住居跡	打製石斧	分銅形	完形	完成	ホルンフェルス	9.2	6.5	1.5	106.0
249	8	表採	打製石斧	分銅形	上半欠損	完成	ホルンフェルス	17.5	13.5	3.5	846.9
250	6	260-540G	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	チャート	1.2	1.1	0.3	0.3
251	6	220-500G	石鏃	凹基無茎鏃	返し欠	未製品	珪質頁岩	1.0	1.0	0.2	0.2
252	8	6号住居跡	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	黒曜石	1.5	1.5	0.2	0.4
253	8	表採	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	チャート	1.8	1.7	0.4	1.1
254	6	大溝跡	石鏃	凹基無茎鏃	石刃	未製品	珪質頁岩	3.1	3.0	0.3	2.8
255	1・2	6号住居跡	石鏃	凹基無茎鏃	返し欠	完成	チャート	1.7	1.5	0.3	0.6
256	6	260-540G	石鏃	凹基無茎鏃	先端欠	完成	チャート	2.0	2.0	0.3	1.3
257	8	表採	磨製石斧	破片			変圧武岩	6.2	2.2	1.6	27.1
258	7	8号住居跡	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	チャート	2.4	1.3	0.3	0.9
259	6	200-520G	石鏃	平基無茎鏃	完形	完成	チャート	2.3	1.5	0.3	0.9
260	6	260-530G	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	黒曜石	2.2	1.5	0.3	0.7
261	8	080-420G	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	チャート	2.1	1.3	0.3	0.7
262	7	270-480G	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	チャート	2.5	1.6	0.3	1.1
263	7	220-480G	石鏃	凹基無茎鏃	先端欠	未製品	チャート	2.0	2.0	0.2	1.1
264	7	表採	石鏃	凹基無茎鏃	先端欠	未製品	チャート	3.3	2.5	0.5	3.3
265	7	表採	石鏃	凸基有茎鏃	完形	完成	チャート	3.0	1.4	0.4	1.5
266	6	210-500G	石鏃	凸基有茎鏃	返し欠	完成	珪質頁岩	3.5	1.2	0.5	1.7
267	8	100-470G	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	チャート	4.2	2.5	0.5	3.6
268	7	大溝跡	石鏃	凹基無茎鏃	完形	完成	珪質頁岩	3.7	2.0	0.4	2.8
269	6	220-520G	石鏃	凸基有茎鏃	茎欠	完成	チャート	2.3	1.5	0.3	1.0
270	4	表採	石鏃	凸基有茎鏃	返し欠	完成	チャート	4.0	1.8	0.4	2.5
271	1・2	表採	石鏃	凸基有茎鏃	完形	完成	チャート	3.7	1.6	0.5	2.0
272	4	表採	石鏃	凸基有茎鏃	返し欠	完成	チャート	3.0	2.0	0.5	2.2
273	7	大溝跡	石鏃	凹基無茎鏃	完形	未製品	チャート	3.0	2.5	0.8	4.4
274	7	230-460G	石鏃	凹基無茎鏃	茎欠	未製品	チャート	2.5	2.0	0.7	3.5
275	8	表採	石鏃	平基無茎鏃	完形	未製品	黒曜石	2.3	1.8	0.3	1.1
276	6	表採	石鏃				チャート	2.9	2.0	0.6	3.8
277	7	大溝跡	石鏃		先端欠		チャート	4.0	2.5	0.6	5.2
278	6	200-520G	削部		完形		黒色安山岩	8.9	4.7	1.7	74.5
279	6	210-510G	削部				黒色頁岩	9.5	4.6	1.0	44.6
280	6	2号溝跡	削部				黒色頁岩	10.0	5.5	1.0	96.1
281	8	090-470G	石核		破片		チャート	4.5	4.0	0.9	19.5
282	7	210-440G	石核				チャート	3.6	3.2	1.2	22.0
283	3	表採	石核				黒色安山岩	5.8	4.5	1.6	45.1
284	7	280-500G	石核				チャート	4.4	3.0	1.8	34.5
285	8	表採	石核				チャート	5.6	3.0	1.5	29.9
286	7	表採	石核				赤碧玉	4.1	3.9	2.0	24.4
287	6	表採	石核				チャート	6.8	4.6	3.4	130.9
288	7	2号溝跡	石核				チャート	7.2	4.4	1.6	66.4
289	6	230-240G	石核				硬質武岩	9.2	5.4	3.4	181.8
290	7	表採	加工痕ある剥片				チャート	2.5	2.5	1.0	6.1
291	7	表採	加工痕ある剥片				チャート	2.9	2.4	0.9	5.6
292	7	270-500G	加工痕ある剥片				チャート	4.4	3.5	1.0	23.0
293	6	240-540G	加工痕ある剥片				チャート	4.4	3.5	0.8	15.4

第1節 縄文時代の遺構と遺物

番号	区	遺構種	器種	形態	残存状態	製作状況	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
294	8	100-470G	石罫		完形		流紋岩	4.5	2.1	1.4	16.6
295	6	4号溝跡	加工痕ある割片				チャート	4.1	4.8	1.0	23.7
296	6	220-530G	加工痕ある割片				チャート	4.8	4.8	1.5	19.6
297	7	220-460G	加工痕ある割片				チャート	4.2	2.0	0.7	7.2
298	8	10号土坑跡	加工痕ある割片				チャート	3.4	2.8	0.9	23.5
299	表採	表採	加工痕ある割片				ホルンフェルス	9.6	10.2	2.9	311.4
300	6	3号溝跡	加工痕ある割片		完形		ホルンフェルス	9.3	8.1	2.0	248.4
301	7	大溝跡	加工痕ある割片		破片		ホルンフェルス	14.0	6.7	1.5	116.4
302	1・2	27号住居跡	加工痕ある割片		完形?		ホルンフェルス	11.3	4.3	1.2	8.2
303	表採	表採	加工痕ある割片				ホルンフェルス	12.7	10.7	4.0	695.7
304	7	220-490G	罫石		1/2		粗粒輝石安山岩	7.5	6.4	3.8	246.9
305	7	大溝跡	罫石		完形		粗粒輝石安山岩	11.8	8.2	4.7	665.3
306	8	060-470G	罫石				粗粒輝石安山岩	8.8	10.7	308.0	340.0
307	6	210-530G	罫石		完形		粗粒輝石安山岩	10.6	7.9	4.7	450.0
308	6	5号溝跡	罫石		完形		粗粒輝石安山岩	11.6	8.5	3.8	559.1
309	7	220-490G	罫石		完形		粗粒輝石安山岩	11.5	8.9	5.0	663.1
310	7	18号土坑跡	罫石		完形		粗粒輝石安山岩	11.5	8.5	5.5	749.7
311	6	3号溝跡	罫石		1/2		粗粒輝石安山岩	9.6	8.5	5.0	569.6
312	6	5号溝跡	罫石		完形		粗粒輝石安山岩	13.6	9.7	3.1	624.3
313	7	230-500G	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	8.0	7.0	3.8	321.1
314	6	240-510G	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	11.5	7.5	3.6	527.1
315	1・2	45号住居跡	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	11.5	8.0	6.0	744
316	7	大溝跡	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	7.3	7.0	3.8	247.2
317	6	5号溝跡	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	10.5	7.6	3.9	490.7
318	1・2	3号溝跡	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	9.2	6.7	4.5	336
319	6	3号溝跡	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	10.8	8.6	6.0	827.6
320	6	210-520G	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	7.0	5.3	4.5	188.6
321	7	260-490G	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	9.5	8.5	6.0	589.1
322	7	大溝跡	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	7.0	7.0	4.2	260.9
323	6	大溝跡	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	12.2	8.5	7.5	1059.0
324	6	200-510G	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	11.0	10.5	5.0	838.1
325	7	270-480G	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	10.0	8.0	3.3	448.9
326	7	230-480G	磨石		完形		粗粒輝石安山岩	10.0	9.1	3.7	578.6
327	8	1号溝跡	磨石		一部欠		粗粒輝石安山岩	8.0	6.0	4.5	297.0
328	表採	表採	磨石				粗粒輝石安山岩	11.4	9.6	5.5	770.0
329	7	大溝跡	巖石		ほぼ完形		ホルンフェルス	16.0	10.0	4.0	1016.2
330	7	270-500G	巖石		完形		ホルンフェルス	13.8	7.5	4.3	781.0
331	7	大溝跡	巖石		1/2		珪質頁岩	9.5	7.5	3.7	317.4
332	6	4号溝跡	巖石		完形		粗粒輝石安山岩	12.8	3.5	2.5	168.6
333	7	12号住居跡	巖石		完形		黒色頁岩	10.5	3.6	2.5	156.4
334	7	230-500G	石皿		1/3		粗粒輝石安山岩	25.2	18.0	6.7	3164.0
335	8	表採	台石		1/2		粗粒輝石安山岩	15.3	15.6	3.2	890.0
336	表採	表採	石皿		完形		粗粒輝石安山岩	8.7	8.2	3.0	274.0
337	1・2	表採	石皿		2/3		粗粒輝石安山岩	33.9	23.0	5.5	6108.0
338	1・2	表採	石皿		破片		粗粒輝石安山岩	21.0	19.4	5.5	1618.0
339	8	表採	石皿				粗粒輝石安山岩	11.8	9.7	4.8	800.0
340	7	220-480G	石皿		1/2		粗粒輝石安山岩	11.3	9.8	4.5	689.9
341	1・2	表採	石皿		破片		粗粒輝石安山岩	24.1	14.5	8.0	3100.0
342	表採	表採	台石				粗粒輝石安山岩	17.2	16.5	6.6	3100.0
343	4	1号土坑跡	台石		ほぼ完形		粗粒輝石安山岩	16.3	12.4	3.8	1065
344	1・2	表土	台石		破片		粗粒輝石安山岩	17.8	18.2	6.3	2450.0
345	3	24号住居跡	台石		完形		粗粒輝石安山岩	13.8	13.0	5.4	1104
346	7	流路	台石		1/2		粗粒輝石安山岩	12.2	15.9	5.6	1200.0
347	6	8号土坑	多孔石		1/3		粗粒輝石安山岩	12.7	16.8	5.4	1570.0
348	7	220-470G	多孔石		完形		粗粒輝石安山岩	12.5	14.0	7.5	1005.0
349	1・2	表採	多孔石		完形		粗粒輝石安山岩	16.0	11.2	8.6	1678.0
350	8	080-420C	多孔石				粗粒輝石安山岩	18.0	1405.0	17.5	5580.0
351	7	200-480G	多孔石		破片		粗粒輝石安山岩	15.9	11.3	7.6	1710.0
352	6	1号大溝	多孔石				粗粒輝石安山岩	16.1	17.0	9.0	2650.0
353	6	1号大溝	多孔石		完形		粗粒輝石安山岩	20.0	13.0	9.7	2350.0
354	6	1号大溝	多孔石		破片		粗粒輝石安山岩	8.4	7.3	3.7	300.0
355	6	1号大溝	多孔石				粗粒輝石安山岩	20.4	17.0	15.0	5700.0
356	8	160-480G	多孔石				粗粒輝石安山岩	21.1	17.3	13.5	6.8
357	7	1号大溝	多孔石		完形		粗粒輝石安山岩	29.4	21.2	17.8	13100.0
358	6	210-530G	多孔石		一部欠		粗粒輝石安山岩	22.4	15.8	12.9	5400.0
359	6	表採	多孔石				粗粒輝石安山岩	16.0	13.4	10.0	2880.0
360	7	大溝跡	石棒		2/3		緑色片岩	14.2	5.1	2.1	291.9
361	7	大溝跡	石製品		完形		粗粒輝石安山岩	4.6	4.0	1.9	35.0

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

第1項 1・2・3区の遺構と遺物

1. 調査区の概要

1・2区は遺跡の北側に位置し、北関東自動車道の本線部分に当たる。調査当初は用地の旧筆割りによって西半の1区と東半の2区に別れていたが、実際には両区は連続しているため、調査に当たっては1・2区と称し、同一調査区として扱った。また、北東端に位置し、1・2区とは用水路を境に隣接する3区についても遺構番号等1・2区に続くものとして扱った。

1・2区は北側に用水路を境として、また、3区は西側に地続きで築前遺跡4区と隣接する。築前遺跡4区と本遺跡1～3区は、幸いに調査時期を同じくしたため、遺構確認面や連続する遺構の検出に際し、調査担当間で情報交換を行いながら調査に当たった。実際に検出された遺構の様相をみても、溝跡・畝跡・竪穴住居跡群などその土地利用の変遷は、同一集落であることを物語っている。ただ惜しむらくは、調査時期が冬季であったにもかかわらず、遺構確認面直下の基盤層が渡良瀬川扇状地砂礫層であるため、湧水が激しく、調査区北辺～東辺端に止水のための溝を掘り、南東端部で水中ポンプにて常時排水を行っての調査であった。このため、用水路部分の退避に加えて止水溝設置による遺構調査面の損失を余儀なくされた。以下に調査区の特徴を記す。

〈溝跡〉 この調査区の特徴でもあり、遺跡全体の特徴とも言える8・9号の二条の溝跡が3区より1・2・4・6・7を経て8区へと延長420mほど遺跡内を大きく縦断する。3区～2区にかけて、8号溝跡の大規模な氾濫・決壊跡が検出された。両溝跡は、渡良瀬川取水の古代用水路跡と考えられ、9号溝跡が河川氾濫の影響を受けて埋没後、復旧困難であった為か、隣接して同規模の8号溝跡を新設している。その規模などから遺跡地内の水田域に水を供給するための基幹用水路と推察され、現代も休泊掘用用水路が調査区の東側に溝跡に並行して走る。

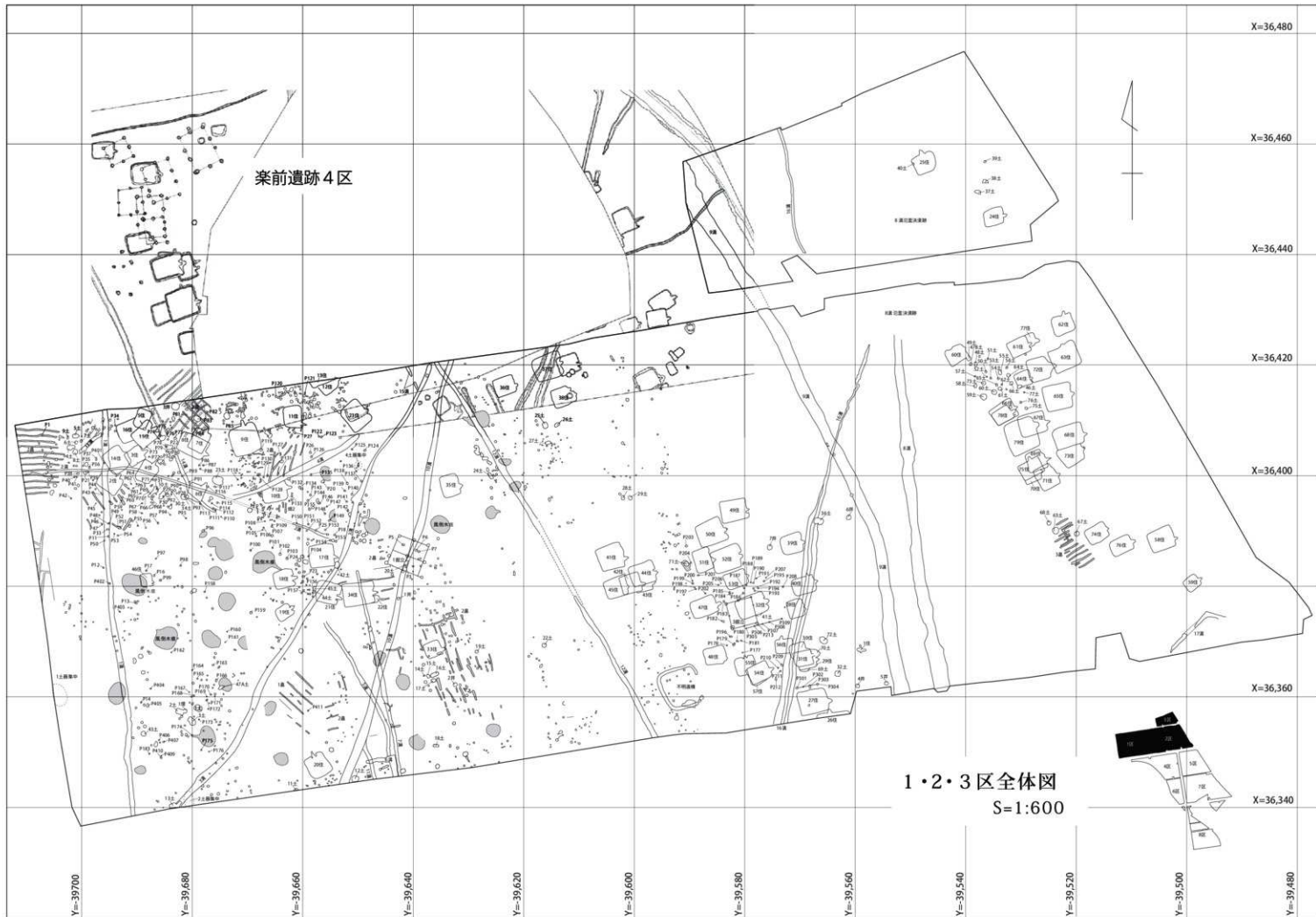
調査区中央付近を南北に貫き4区に連なる16号溝跡は、重複する全ての住居跡より古いもので、集落形成に先行する遺構と判断される。(溝跡については「第6項 溝跡」に記載)

〈住居跡〉 1～3区内の竪穴住居跡は、大きく3群に分かれる。まず西側中央から北西にかけての一群、これは隣接する築前遺跡4区に連なる。次いで調査区中央から南側にかけての一群で、これは4区へと連なり、前記の8・9号溝と一定の距離を開けて沿うように並列する。3群目は3区東端から2区東端にかけての一群で、同じく8・9号溝跡と距離を持って並列する。このように、8・9号溝に近い住居跡群は、溝と重複・近接することなく、いずれも溝跡の存在を意識して構築されたものと考えられる。これは1～3区に限らず、遺跡全体にも共通する。基幹用水路の存在は、集落配置を規制するほどであったと言える。また、集落配置に関しては、この1～3区は必ずしも立地条件が良好であるとは言えず、前記の地山基盤層が渡良瀬川扇状地起因する砂礫層であり、検出された竪穴住居跡の掘り方面には5～15cm大の円礫が露出しており、その為か殆どの住居跡内には良好な柱穴や貯蔵穴が存在していない。この条件は調査区東側ほど悪く、前記の3区東端から2区東端にかけての一群では、床面に礫の露出がみられる程であった。好んでの選地とは思えず、推測の域を出ないものの、他所よりの強制移入である可能性も考えられる。また、特殊な住居跡として、1区東側中央付近にある46号住居跡は、その規模が小さく、他の住居跡群から孤立して存在する。

〈特殊な遺構〉 調査区中央南側に、コの字状に細い溝跡が巡る遺構が検出された。小堂宇的な建物を想定したが、区画内には浅く小さなピットを検出するのみで、柱穴と成り得るようなものは検出できなかった。溝の軸が周囲の竪穴住居跡の軸とほぼ一致し、集落側に入口らしき開口部があることから、集落に伴う小堂宇である可能性も考えられる。

〈出土遺物〉 調査区中央南東よりの8・9号溝跡氾濫埋没土(砂礫層)上面から、獸脚付円面硯が出土している。遺物のものには水流による磨滅が見られないことから、氾濫後に投棄されたものと推察される。また、51号住居跡内より三彩陶器小壺片が、27号住居跡より鉄製帯金具が出土している。このように、1～3区からの出土遺物には、非一般集落的な遺物が多く見受けられ、付近に郡役所・寺院などの公的な施設が存在が推察される。

また、65号住居跡からは、大型の鉄鑿が複数出土している。



第33図 1・2・3区全体図

2、 竪穴住居跡

1・2区1号住居跡 (旧称1・2区5J-1)

位置：X = 36368 Y = -39558 主軸方向：N-96°-E

平面形状：不明 残存深度：不明 埋没土：不明 床面：不明

カマド：東向きカマド。上面を削平された状態で、掘り方の一部のみを検出。

柱穴：不明 貯蔵穴：不明 壁周溝：不明 重複遺構：なし 掘り方：カマドのみに掘り方を持ち、残存深度は19cmほどを測る。

出土遺物：カマド掘り方埋土中より須恵器杯 (No. 1) が出土。

所見：東に向かって下がる緩やかな斜面上に位置する。上面を削平された状態で検出され、カマド掘り方の一部しか確認できず、住居の全容は不明。



第34図 1・2区1号住居跡出土遺物

1・2区1号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 体部下端~底部 破片	口径 - 底径 8.4 器高 -	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 浅黄(2.5/7.3)	ロクロ整形。回転器回り方。 外面：体部回転ナデ。底部へつり。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	

1・2区2号住居跡 (旧称1・2区5J-2)

位置：X = 36399 Y = -39695

主軸方向：N-38°-E 規模：4.3m×3.5m

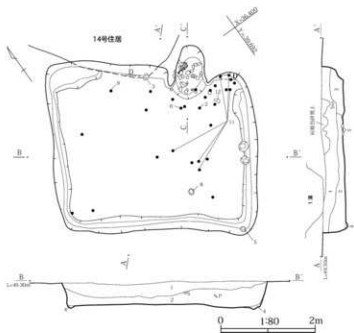
平面形状：隅丸長方形 残存深度：26cm~58cm 埋没土：主に白色軽石を少量含む灰褐色~褐色砂質土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：貼り床は検出されず、地山ローム土を平坦に整形し床面とする。

カマド：北東壁の南東寄りに位置する。両袖には芯材として袖石 (円礫) を用い、粘質土で覆い構築する。煙道端部は傾斜が急峻で、壁より大きく突出しない。柱穴：主柱穴に当たるものは検出されていないが、南東壁際で径16~21cm、深さ7~12cmを測る2穴を検出。出入り口施設と考えられるが、床面の硬化は顕著ではない。貯蔵穴：なし。壁周溝：北東部を除いて幅20~35cm、深さ3~5cmを測る溝が廻る。重複遺構：14号住居跡、1号・2号溝跡と重複する。遺構確認~掘削時の埋土の様相から、本遺構は14号住居跡より新しく、両溝跡より古いものと判断される。

掘り方：カマド部分のみにて深度は9cmほどの掘り方をする。出土遺物：床面直上で



第35図 1・2区1号住居跡カマド平・断面図



- 2号住居 埋土
- 1層 灰黄色砂質土(7.5YR 4/2) 少量の白色軽石(種名ニッ浜軽石+浅間C軽石)・黄土粒子・炭化物を含む
 - 2層 褐色砂質土(7.5YR 4/3) 少量の白色軽石と少量の黄土粒子・炭化物・黒色土ブロック(φ5~50mm)を含む
 - 3層 褐色砂質土(7.5YR 4/3) 少量の白色軽石と少量の黄色砂質ローム粒子・黄土粒子を含む
 - 4層 赤・黄褐色土(10YR 5/3) 少量の黄色砂質ローム粒子・同小ブロック(φ5~15mm)を含む

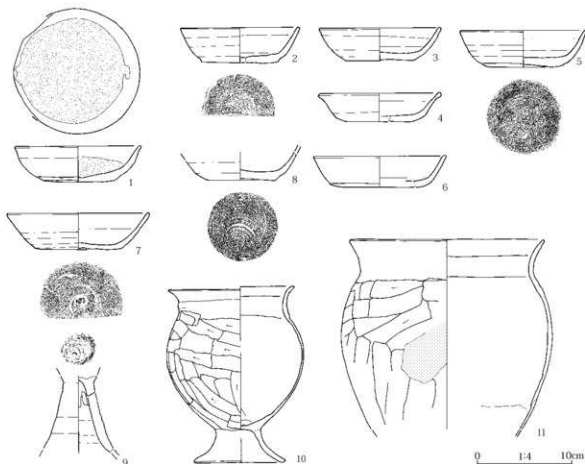
第36図 1・2区2号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

須恵器杯(No. 2)片・須恵器高杯の脚部(No. 9)片などが出土している。また、カマド跡出土の土師器甕(No.10、11)が後記の4号住居跡カマド構築時埋設され、埋土中より出土の蓋破片が、隣接する3号住居跡よりの出土片と接合する。所見：東に向かって下がる緩やかな斜面上に位置する。出土土器の接合関係から、隣接する4号住居跡との共存が推察される。



第37図 2号住居跡掘り方平・断面図



第38図 2号住居跡出土遺物

1・2区2号住居跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	甕埋土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.1 底径 7.3 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ にぶい黄緑(5Y 6/4)	ロクロ整形、回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へう削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。体部下半～底部に削付。	甕付着土層。		
2	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/3	口径 12.4 底径 8.1 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 黒(10BR 2/1)	ロクロ整形。内外面削り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へう削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	調整完成。		
3	須恵器 杯	床面+19cm 口縁部～底部 1/2	口径 12.6 底径 7.3 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄緑(5Y 7/2)	ロクロ整形、回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へう削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
4	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 12.8 底径 6.8 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(6Y)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へう削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内外面に欠損が認められる。		
5	須恵器 杯	床面+30cm 口縁部～底部 1/4	口径 13.2 底径 8.2 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ にぶい黄(5Y 6/3)	ロクロ整形、回転左回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へう削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
6	黒色土器 杯	床面+6cm 口縁部～底部 破片	口径 13.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 内面黒色処理 ③ 稍欠(5Y 6/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。高台削付。 内面：口縁部～底部へう削り。単位不明。			
7	須恵器 杯	甕埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 14.9 底径 9.2 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄緑(5Y 7/2)	ロクロ整形、回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へう削り起し後、底部周辺は回転へう削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
8	須恵器 杯	床面+47cm 体部～底部	口径 — 底径 7.3 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄緑(5Y 7/2)	ロクロ整形、回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へう削り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。			
9	須恵器 高杯	床面直上 頸高 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 青灰(5S 5/1)	ロクロ整形、回転右回り。 外面：頸部回転ナデ。 内面：頸部回転ナデ調整。			
10	土師器 台付甕	甕埋土中 ほぼ完形	口径 13.1 底径 4.7 器高 18.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にぶい黄緑(10Y 6/3)	輪削のみ。 外面：口縁部と台部縁ナデ。胴部上半横へう削り、胴部下半横へう削り。 内面：口縁部と台部縁ナデ。胴部へう削り。	底部に孔痕あり。		
11	土師器 甕	甕埋土中+埋土中 口縁部～胴部 1/2	口径 20.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にぶい黄(10Y 6/4)	輪削のみ。 外面：口縁部縁ナデ。胴部土粒傾。中位斜め、下位縦方向へう削り。 内面：口縁部縁ナデ。胴部へう削り。			

1・2区3号住居跡(旧称1・2区5J-3)

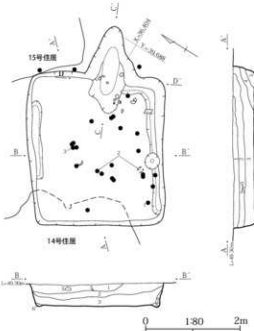
位置：X=36403 Y=-39690 主軸方向：N-60°-E

規模：3.3m×2.9m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：45cm～46cm 埋没土：白色軽石を少量含む黒褐色～暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：貼り床は検出されず、地山ローム土を平坦に整形し床面とする。カマド：北東壁ほぼ中央に位置する。袖部は籾等の芯材を用いず、粘質土のみで構築する。煙道端部は傾斜が緩やかに立ち上がる。柱穴：南東壁際で径34cm、深さ11cmを測る柱穴を一穴のみを確認。貯蔵穴：なし。

壁周溝：一部において幅16～20cm、深さ3～10cmを測る周溝を確認。重複遺構：14号住居跡と重複し、本遺構が14号住居跡のカマドを壊して造られていることから、本遺構の方が新しいものと判断される。掘り方：なし。

出土遺物：カマド周辺に小片が散乱して出土。出土の蓋(No. 1)片は隣接する2号住居跡のものと同接。

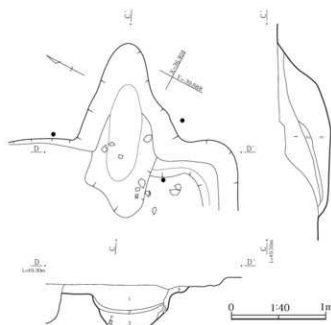


3号住居 埋土

- 1層 黒褐色土 炭化物・軽石土、白色軽石含む
- 2層 暗褐色土 焼土粒含む、炭化物は少量、白色軽石・黄緑ローム土散らぶる
- 3層 暗褐色土 焼土粒・炭化物含む、黄緑ローム土、白色軽石少量散らぶる
- 4層 暗褐色土 焼土粒、白色軽石少量含む
- 5層 暗褐色土 焼土粒・軽石少量含む、白色軽石少量、黄緑ローム土少量散らぶる
- 6層 褐色土 黄緑ローム土少量含む、しまりなし、周溝含む
- 7層 褐色土 黄緑ローム土多量含む

第39図 3号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



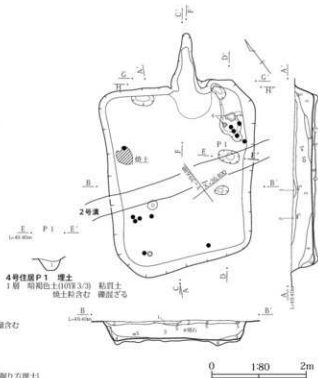
第40図 3号住居跡カマド平・断面図

1・2区3号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土蓋	床面+18cm	口径 19.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化尚 良好	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部横ナデ。天井部回転へつ削り。積み貼付。	隣接する2号住居跡 原土中の土器片と接合。
	杯蓋	天井部～口縁部	幅径 一	③ 内面黒色 処理		
2	須恵器 杯	床面+5cm 口縁部～底部 3/4	口径 12.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロク口整形。回転右回り、口縁部中や外反。	隣接する2号住居跡 原土中の土器片と接合。
			底径 7.7	② 焼化尚 良好	外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転ナデ切り後、底部調整は回転へつ削り。	
3	土製品 鉢	床面+39cm 一部欠損	長さ 4.3	① 細砂粒・粗砂粒	内面：口縁部横ナデ。天井部ナデ後、丁寧へつ磨き。 ロク口整形。回転右回り、口縁部中や外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転ナデ切り後、底部調整は回転へつ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。 上端、下半欠損。外面ナデ。 中心部縦に3mmの穿孔。 重量7g	
			径 1.3	② 焼化尚 良好		
			孔 0.3	③ 明赤褐色(2.5YR 5/9)		

1・2区4号住居跡 (旧称1・2区SJ-4)

位置：X=36401 Y=-39688 軸方向：N-38°
-E 規模：4.0m×3.04m 平面形状：隅丸長方形
残存深度：39cm～53cm 埋没土：白色軽石を含む黒褐色～暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり4cmほどの厚さで褐色土を用いて貼り床を敷設する。カマド：北東壁ほぼ中央に位置する。残存状況は比較的良好。両袖間より3個体の土師器甕が横位に重ね合わせた状態で出土し、焚き口天井部の芯材として用いたものと考えられる。このうちの2個体は、隣接する2号住居跡カマド跡出土の甕と接合する。両袖には芯材として袖石(円礫)を用い、粘質土で覆い



第42図 4号住居跡平・断面図

4号住居 埋土

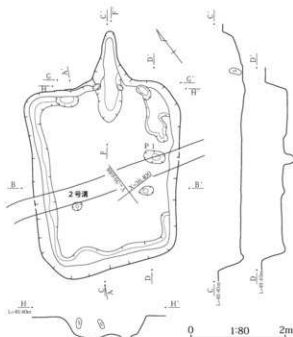
- 1層 砂礫 石目調埋土
- 2層 暗褐色土(10YR 2/3) 白色軽石含む。炭化物・焼土粒少量含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石・炭化物・焼土粒含む
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) 炭化物・焼土粒少量含む
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色ローム土少量混ざる
- 6層 暗褐色土(10YR 3/3) しまりなし
- 7層 暗褐色土(10YR 3/3) ロームアロック
- 8層 褐色土(10YR 4/3) 黄褐色土混ざる 粘質土しまりあり(隅の方確し)

袖部を構築する。煙道端部は緩やかに傾斜し立ち上がる。また、燃焼部中央付近に支脚石の埋設を確認した。

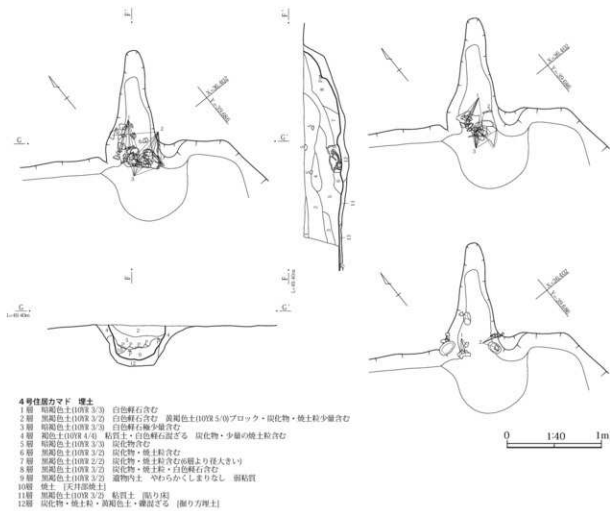
柱穴：掘り方調査時において、径18～47cm、深さ7～23cmを測るビット5穴を検出したが、柱穴に該当するか不明である。貯蔵穴：なし。壁溝溝：床面上においては検出し得なかったが、掘り方調査時において幅30～62cm、深さ3～6cmを測る壁溝が一部を除いて巡ることを確認した。重複遺構：2号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。

掘り方：住居全体を均質に4cmほど掘り窪める。掘り方底面には地山礫層が露出する。**出土遺物：**前記のカマド構築材としての土師器甕(No. 1・2・3)を除き、他の出土遺物は少ない。また、カマド構築材と思われる加工材料(No. 4)が出土する。

所見：前記のカマド構築時に埋設の土器片の接合関係から、隣接の2号住居跡との共有が推察される。



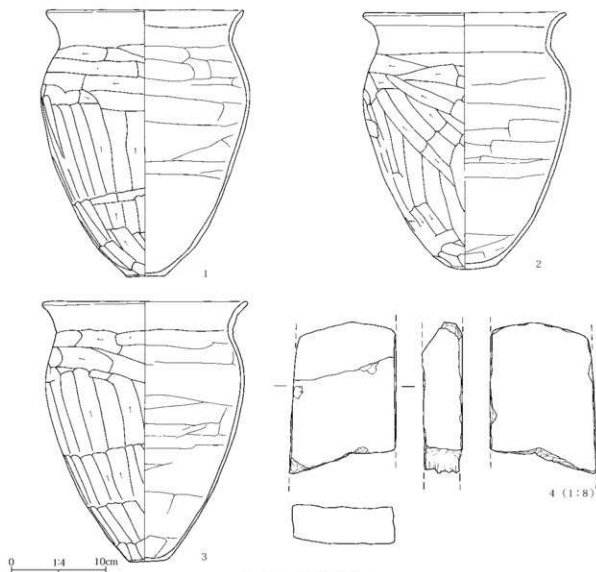
第43図 4号住居跡掘り方・断面図



- 4号住居カマド 埋土
- 1層 黒褐色土(10V3/3) 白色軽石含む
 - 2層 黒褐色土(10V3/2) 白色軽石含む 黒褐色土(10V5/5)ブロック・炭化物・焼土粒少量含む
 - 3層 黒褐色土(10V3/3) 白色軽石少量含む
 - 4層 黒褐色土(10V4/4) 粘質土・白色軽石混ざる 炭化物、少量の焼土粒含む
 - 5層 黒褐色土(10V3/3) 炭化物含む
 - 6層 黒褐色土(10V3/2) 炭化物・焼土粒含む
 - 7層 黒褐色土(10V2/2) 炭化物・焼土粒含む(6層より粒大きい)
 - 8層 黒褐色土(10V3/2) 炭化物・焼土粒・白色軽石含む
 - 9層 黒褐色土(10V3/2) 遺物内土、やわらかくしまりなし 弱粘質
 - 10層 焼土 [天井部焼土]
 - 11層 黒褐色土(10V3/2) 粘質土 掘り方(灰)
 - 12層 炭化物・焼土粒・黒褐色土・礫混ざる [掘り方埋土]

第44図 4号住居跡カマド平・断面図・遺物出土状態

第3章 検出遺構と出土遺物



第45図 4号住居跡出土遺物

1・2区4号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法		備考		
					調整手法				
1	土師器 甕	甕理土中	口径 20.7	① 細砂粒・粗砂粒	輪拵み。 外面：口縁部横ナデ、胴部上位横、中・下位は縦方向、底部へラナデ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部へラナデ。		隣接する2号住居 カマド埋土中の土 断片と接合。		
		ほぼ完形	底径 4.1 器高 28.0	② 酸化焙 良好 ③ 紅・赤(VR 6/4)					
2	土師器 甕	甕理土中	口径 21.0	① 細砂粒・粗砂粒・細糠	輪拵み。 外面：口縁部横ナデ、胴部～底部へラナデ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部へラナデ。		口縁跡。		
		ほぼ完形 損	底径 5.2 器高 27.1	② 酸化焙 良好 ③ 紅・赤(VR 6/4)					
3	土師器 甕	甕理土中	口径 21.4	① 細砂粒・粗砂粒	輪拵み。 外面：口縁部横ナデ、胴部上位横、中・下位は縦方向、底部へラナデ。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部へラナデ。				
		ほぼ完形	底径 4.1 器高 27.5	② 酸化焙 良好 ③ 紅(VR 6/6)					
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
4	石製品	カマド天井		24.2	17.1	6.4	2180	不明	

1・2区5号住居跡 (旧称1・2区SJ-5)

位置：X=36410 Y=-39689 主軸方向：N-25° - E 規模：3.48m×2.5m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：34cm～53cm 埋没土：主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

床面：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり黄褐色土を用いて4cmほどの厚さで貼り床を敷設し、床面は固く締まる。カマド：調査範囲内においては検出し得なかったため、調査区端にかかる北西コーナー部に存在した可能性が考えられる。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：15号・16号住居跡と重複し、遺構確認時の埋

土の状況より本遺構の方が両住居跡より新しいものと判断される。**掘り方**：ほぼ全面にわたり4cmほどの深さで均質に掘り進める。**出土遺物**：床面直上より完形の漆付着土器(No. 2)が出土する。また、埋土中からは埋没中に投げ込まれたと考えられる多量の円礫が出土した。**所見**：この住居跡からはカマドが検出されていないことから、未だカマド構築に至らない構築途中において廃絶された住居である可能性もあるが、床面に貼られ既に硬化していることから、カマドを持たない堅穴建物跡、出土遺物から漆関連の工房跡である可能性も推察される。

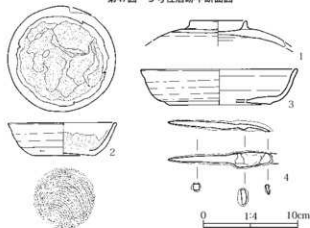


第46図 5号住居跡掘り方・断面図



- 5号住居 埋土
 1層 暗褐色土(IVR 3/0) 褐色土(IVR 5/0) 灰少量含む 白色軽石・焼土粘含む
 2層 暗褐色土(IVR 3/0) 1層より白色軽石少なく、焼土粘程度大きくなる
 3層 暗褐色土(IVR 3/0) 2層より炭化物含む 黄褐色土(IVR 5/0) 粘粒大さい
 4層 黄褐色土(IVR 5/0) 暗褐色土(IVR 3/0) 少量混ざる
 5層 黄褐色土(IVR 5/0) 暗褐色土(IVR 3/0) 粘少混ざる 焼土粘少量含む
 深い(掘り戻)

第47図 5号住居跡断面図



第48図 5号住居跡出土遺物

1・2区5号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考	
								口径
1	須恵器 杯	埋土中 横部～天井部 破片	口径	—	① 粗砂粒・粗砂粒・粗礫	口ク口整形。回転成形。 外面：天井部は回転ヘラ削り。回転糸切り。編み貼付。 内面：天井部は転ナデ。		
			口径	5.8	② 還元焰 良好			
			口径	—	③ 灰色5/0			
2	須恵器 杯	床面直上 完形	口径	11.3	① 粗砂粒・粗砂粒	口ク口整形。回転成形。 外面：1層部～体部は転ナデ。体部下位に1段の回転ヘラ削り。底部は糸切り。 内面：1層部は転ナデ調整。漆紙付着。		
			口径	6.5	② 還元焰 良好			
			口径	3.5	③ 灰白(白.5/7)			
3	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径	14.8	① 粗砂粒・粗砂粒	口ク口整形。 外面：1層部～体部は転ナデ。底部は転ヘラ削り。 内面：1層部～底部は転ナデ調整。		
			口径	9.8	② 還元焰 良好			
			口径	3.4	③ 灰色5/0			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	概要
4	鉄器	鋸	刃部欠損	11.0	1.9	1.1	21.0	踏破しく詳細不明。

1・2区6号住居跡(旧称1・2区SJ-6)

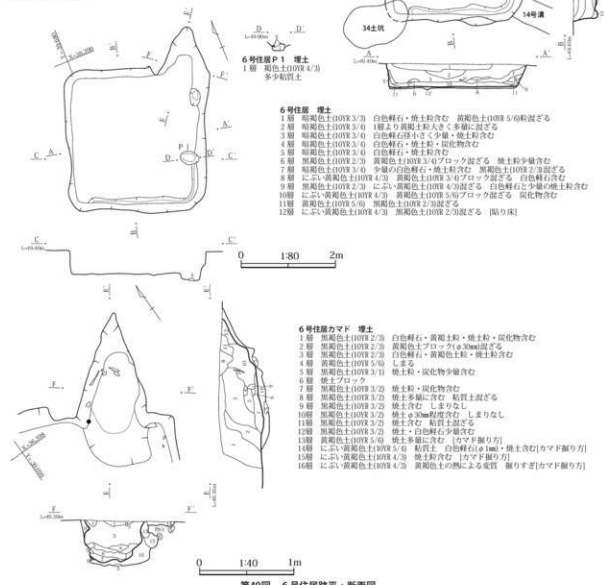
位置：X=36397 Y=-39679 **主軸方向**：N-23°-E **規模**：3.0m×3.0m **平面形状**：隅丸方形
残存深度：47cm～51cm **埋没土**：主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。
床面：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり4cmほどの厚さで褐色土を用いて貼り床を敷設する。
カマド：北東壁の東寄りに位置する。袖部には芯材を用いず、粘質土のみを固めて構築する。煙道端部は急峻に立ち上がり、住居壁よりあまり突出しない。**柱穴**：2基のピットを検出する。南東壁際にあるP1は径30～40cmの楕円形を

第3章 検出遺構と出土遺物

呈し、深さは13cmを測る。貯蔵穴：なし。壁周溝：南壁付近のみに検出。幅は20～34m、深さ4～5cmを測る。

重複遺構：2号・14号溝跡、34号土坑跡と重複する。新旧関係は、遺構検出時の埋土の様相などから、34号土坑跡・2号溝は本遺構よりも新しく、14号溝は本遺構よりも古いものであると判断される。掘り方：全面にわたり4cmほどの深さで均質に掘り窪める。掘り方底面の一部には、地山小円礫層が露出する。

出土遺物：出土遺物は少なく、埋土中からは土師器杯片等が出土するのみである。



1・2区7号住居跡 (旧称1・2区5J-7)

位置：X=36407 Y=-39678 主軸方向：N-32°-E 規模：4.2m×3.2m 平面形状：隅丸長方形
残存深度：65cm～72cm 埋没土：主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。
床面：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり4cmほどの厚さで褐色土を用いて貼り床を敷設する。
カマド：北東壁のほぼ中央に位置する。袖部には円礫等の芯材を用いず、粘質土のみで構築される。煙道部端は急峻に

立ち上がり、住居壁よりあまり突出しない。

柱穴：なし。**貯蔵穴**：なし。**壁周溝**：壁下において、幅10～34cm、深さ9～11cmを測る壁溝を確認。

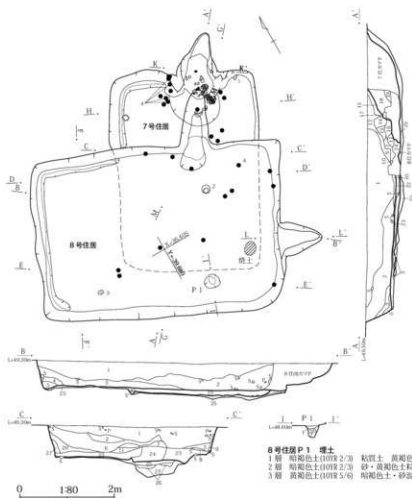
重複遺構：8号住居跡と重複。相互の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。**掘り方**：全面にわたり4cmほどの深さで均質に掘り窪める。掘り方底面の一部には、地山小円礫層が露出する。

出土遺物：全体的に埋土内より小片が散逸して出土。床面直上で須惠器杯(No. 4)が出土する。

1・2区8号住居跡(旧称1・2区5J-8)

位置：X=36405 Y=-39680 **主軸方向**：N-27°-E **規模**：3.6m×5.3m **平面形状**：隅丸長方形

残存深度：47cm～61cm **埋没土**：主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。**床面**：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり1～4cmほどの厚さで褐色土を用いて貼り床を敷設する。**カマド**：2基のカマド跡を検出した。北東壁中央やや東寄りに1基(東カマド)。もう1基は、南東壁中央やや南寄りで(南カマド)検出された。いずれも残存度は悪く、特に南カマドは使用面も確認できないため、このカマドを廃絶した後に東カマドを作り直したと思われる。東カマドの煙道端は緩やかな傾斜で立ち上がる。**柱穴**：3基のピットを検出したが、柱穴と断定できるのは径28cm、深さ37cmを測る1基のみである。**貯蔵穴**：なし。**壁周溝**：北側～東側壁下で幅27～35cm、深さ2～7cmを測る壁溝を検出。**重複遺構**：7号住居跡と重複し、相互の埋土の様相より本遺構の方が新しいものと判断される。**掘り方**：全面にわたり1～4cmほどの深さで均質に掘り窪める。**出土遺物**：全体的に出土量は少なく、埋土中から須惠器杯(No. 1)・椀(No. 2)・壺(No. 3)、土師器杯片が出土するのみである。



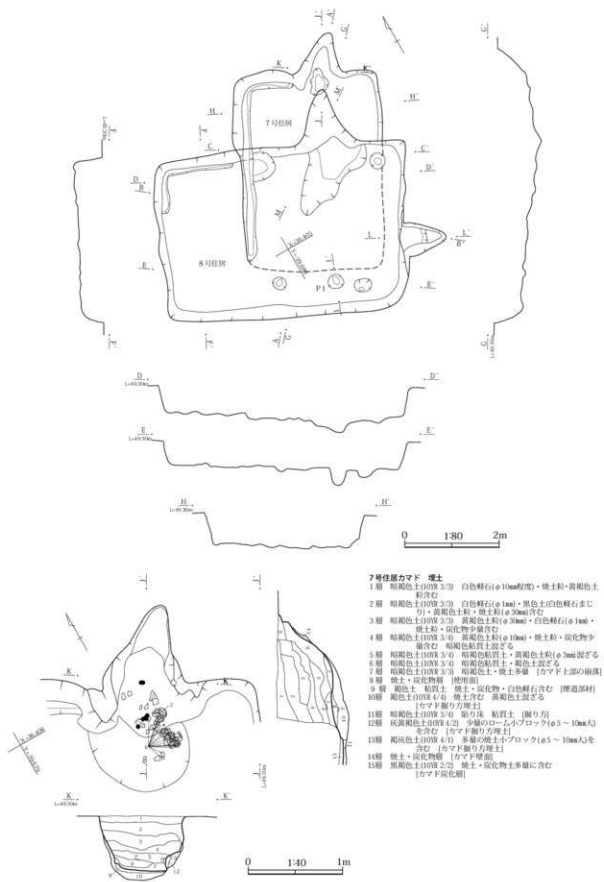
7・8号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土粒(10YR 5/6)・白色軽石(少)混入・粘土粒含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土粒(～φ2cm)・白色軽石・粘土粒(～φ10mm)含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土(10YR 2/2)・白色軽石混ざる
- 4層 褐色土(10YR 4/0) 黄褐色土少混ざる 白色軽石極少量含む
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土混ざる
- 6層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土(10YR 4/0)・白色軽石・粘土粒・炭化物含む
- 7層 黄褐色土(10YR 2/3) 粘土粒(～φ3mm)含む
- 8層 暗褐色土(10YR 2/3) 褐色土粒(10YR 4/0)・粘土粒含む
- 9層 黄褐色土(10YR 3/3) 褐色土(10YR 4/0)少混ざる
- 10層 暗褐色土(10YR 2/3) 褐色土粒(10YR 4/0)・粘土粒少量含む
- 11層 褐色土 炭化物含む (南カマド埋土)
- 12層 暗褐色土(10YR 3/3) 3層に類似 1層より白色軽石たくさん多く
- 13層 暗褐色土(10YR 3/3) 褐色土(10YR 4/0)・粘性土混ざる (カマド土5%混入)
- 14層 暗褐色土(10YR 3/3) 13層に類似 多少褐色土多く混ざる
- 15層 褐色土(10YR 4/0) 粘性土
- 16層 暗褐色土(10YR 3/3) 褐色粘性土混ざる 炭化物含む
- 17層 褐色土(10YR 4/0) 炭化物少量含む
- 18層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘土粒・炭化物含む
- 19層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘土粒・炭化物含む
- 20層 暗褐色土(10YR 3/3) 3層に類似
- 21層 暗褐色土(10YR 3/3) 3層に類似
- 22層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘土・炭化物含む
- 23層 暗褐色土(10YR 2/3) 濃い黄褐色(10YR 6/4)フロッグ土混ざる 粘土粒極少量含む
- 24層 暗褐色土(10YR 2/3) 褐色土混ざる 粘土粒含む (東カマド)
- 25層 褐色土(10YR 4/0) 粘り土 限りなく
- 26層 暗褐色土(10YR 4/0) 粘り土混ざる 粘土粒含む
- 27層 暗褐色土(10YR 4/0) 黄褐色土粒含む

8号住居P1 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 2/3) 粘り土 黄褐色土粒・粘土含む
- 2層 暗褐色土(10YR 2/3) 砂・黄褐色土粒・礫含む
- 3層 黄褐色土(10YR 5/6) 暗褐色土・砂混ざる 小円礫含む

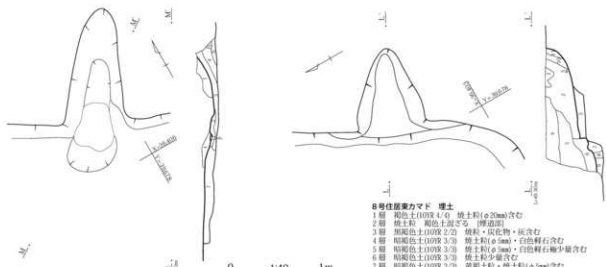
第50図 7・8号住居跡平・断面図



7号住居カマド 壁土

- 1層 黒褐色土(IIIV3/3) 白色軽石(φ10mm程度)・黄土粒・黄褐色土粒を含む
- 2層 黒褐色土(IIIV3/3) 白色軽石(φ1mm)・黒色土(白色軽石まじり)・黄褐色土粒・黄土粒(φ30mm)含む
- 3層 黒褐色土(IIIV3/3) 黄褐色土粒(φ30mm)・白色軽石(φ1mm)・黄土粒・炭化物少量含む
- 4層 黒褐色土(IIIV3/3) 黄褐色土粒(φ10mm)・黄土粒・炭化物少量含む 黒褐色粘質土に混ざる
- 5層 黒褐色土(IIIV3/3) 黒褐色粘質土・黄褐色土粒(φ3mm)混ざる
- 6層 黒褐色土(IIIV3/3) 黒褐色粘質土・褐色土に混ざる
- 7層 黒褐色土(IIIV3/3) 黒褐色土・黄土多量 [カマド上部の根張]
- 8層 黄土・炭化物類 [壁断面]
- 9層 褐色土 粘質土 黄土・炭化物・白色軽石含む [埋没部材]
- 10層 褐色土(IIIV4/4) 黄土多量 黄褐色土に混ざる [カマド振り方壁土]
- 11層 黒褐色土(IIIV3/3) 粘り床 粘質土 [振り方]
- 12層 灰黒褐色土(IIIV4/2) 少量のローム小ブロック(φ5~10mm)を含む [カマド振り方壁土]
- 13層 褐色土(IIIV4/4) 多量の黄土小ブロック(φ5~10mm)を含む [カマド振り方壁土]
- 14層 黄土・炭化物類 [カマド壁面]
- 15層 黒褐色土(IIIV2/2) 黄土・炭化物土多量に含む [カマド炭化層]

第51図 7・8号住居跡掘り方平・断面図、7号住居カマド平・断面図

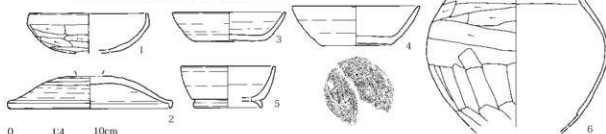


- 8号住居北カマド 埋土**
- 1層 濃い黄褐色土(10YR 5/4) 熱による変質・粘質土 焼土粒・黒色土少量混ざる [天井部の崩壊]
 - 2層 焼土・炭化物層 濃い黄褐色土混ざる
 - 3層 黄褐色土(10YR 2/2) 濃い黄褐色土混ざる 焼土粒・炭化物含む
 - 4層 黄褐色土(10YR 2/2) 黄褐色土ブロック(φ30mm)混ざる 焼土粒・炭化物極少量含む
 - 5層 濃い黄褐色土(10YR 5/4) 1層と同ブロック
 - 6層 黄褐色土(10YR 2/2) 焼土・炭化物少量を含む [柱付カマド炭化層]
 - 7層 黄褐色土(10YR 2/2) 焼土・炭化物含む [掘り方埋土 7柱土上面]

- 8号住居東カマド 埋土**
- 1層 黄褐色土(10YR 4/0) 焼土粒(φ20mm)含む
 - 2層 焼土粒 黄褐色土混ざる [埋土層]
 - 3層 黄褐色土(10YR 2/2) 焼粒・炭化物・灰を含む
 - 4層 黄褐色土(10YR 3/2) 焼土粒(φ5mm)・白磁石少量含む
 - 5層 黄褐色土(10YR 3/2) 焼土粒(φ5mm)・白磁石極少量含む
 - 6層 黄褐色土(10YR 3/2) 焼土粒少量含む
 - 7層 黄褐色土(10YR 3/2) 黄褐色土粒・焼土粒(φ5mm)含む
 - 8層 黄褐色土(10YR 3/2) 粘質土・焼土・炭化物含む
 - 9層 黄褐色土(10YR 3/2) 焼土粒(φ20mm)・炭化物含む
 - 10層 黄褐色土(10YR 3/2) 焼土粒(φ5mm)含む
 - 11層 黄褐色土(10YR 2/2) 白磁石若干含む

第53図 8号住居跡東カマド平・断面図

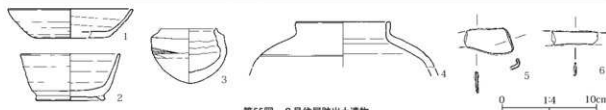
第52図 8号住居跡北カマド平・断面図



第54図 7号住跡出土遺物

1・2区7号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+27cm 口縁部-底部 1/2	口径 12.3 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 濃い・粘(10YR 6/3)	口縁部やや内湾。 外面：口縁部横ナデ、底部～底部手持ちへう割り。 内面：口縁部～底部横ナデ、底部ナデ。	
2	須恵器 杯蓋	遺使用面直上 口縁部～天井部 破片	口径 16.8 口径 — 口径 —	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰(12.5Y 6/2)	口縁部整形。回転右回り。 外面：天井部回転へう割り。口縁部横ナデ。破片略付。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。	
3	須恵器 杯	口縁部-底部 破片	口径 11.7 底径 7.0 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒 良好 ② 還元焰 良好 ③ 灰(10Y 6/1)	口縁部整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面直上 口縁部-底部 1/2	口径 13.5 底径 7.4 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰(12.5Y 7/2)	口縁部整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転部切り。後周辺部回転へう割り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 碗	埋土中 口縁部-底部 破片	口径 9.9 底径 7.0 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰(12.5Y 7/1)	口縁部整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。高台略付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	土師器 甕	遺使用面直上 口縁部～胴部下半 底部欠損	口径 15.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 酸化焰 良好 ③ 粘(10Y 7/0)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半横。下半縦方向へう割り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へう割り。	



第55図 8号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区8号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 L1縁部~底部 破片	口径 13.0 底径 7.0 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(5/0)		ロクロ整形。回転石回り。 外面：L1縁部~底部回転ナデ調整。 内面：L1縁部~底部回転ナデ調整。		
2	須恵器 椀	床面+9cm L1縁部~底部 2/3	口径 10.3 底径 7.2 器高 4.9	① 細砂粒・粗砂粒・細粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 黄灰(2.5/6/1)		ロクロ整形。回転石回りか。 外面：L1縁部~底部回転ナデ調整。高台取付。 内面：L1縁部~底部回転ナデ調整。		
3	須恵器 盃	床面+8cm 胴部~底部 L1縁部欠損	口径 5.9 底径 — 器高 5.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5/4/1)		外面：胴部上半部回転ナデ。胴部下半~底部ナデ調整。 内面：胴部回転ナデ、底部ナデ調整。		
4	須恵器 短頸壺	床面+42cm L1縁部~胴部上半 破片	口径 9.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(10/7.8/2)		外面：L1縁部~胴部回転ナデ。 内面：L1縁部~胴部回転ナデ調整。		
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
5	須恵器	鏝	基部片	5.3	2.9	0.4	13.0	刃部の摩耗大。
6	石器	刀子	牙子中部小叶	4.8	1.7	0.3	3.0	

1・2区9号居跡 (旧称1・2区SJ-9住)

位置：X=36406 Y=-39670

主軸方向：N-15° -W

規模：5.3m×5.3m 平面形状：隅丸方形

残存深度：53cm～54cm 埋没土：主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

床面：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり5cmほどの厚さで、いぶい黄褐色土を用いて貼り床を敷設する。

カマド：北壁中央やや東寄りに位置する。残存状態は比較的良好で、部分的に天井部が遺存する。袖部は礎等の芯材を用いず、褐色粘質土で構築されている。煙道部は短く急峻に立ち上がる。柱穴：掘り方調査の段階で径30～50cm、深さ12～34cmを測る2基のビットを検出した。

貯蔵穴：なし。壁周溝：南壁下において、幅40～50cm、深さ2～6cmを測る壁溝を検出する。重複遺構：なし。

掘り方：住居中央部付近を除き、5cmほどの深さに掘り込む。一部において、地山礫層が露出する。

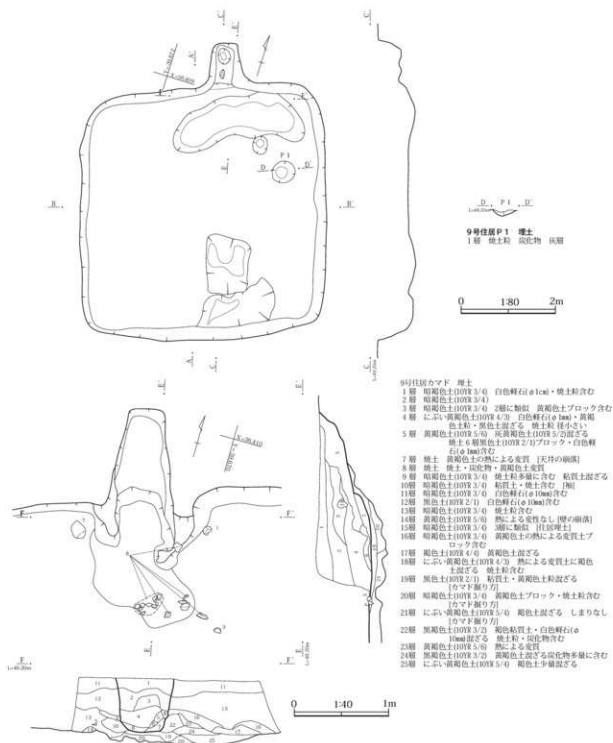
出土遺物：床面直上で略方形の土師器杯(No. 2)・石製紡錘車(No. 9)が出土する。



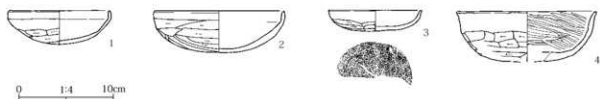
9号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石・黄褐色土・焼土粒・炭化物含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 1層より黄褐色土粒径大きくなり多量。黄褐色土(10YR 2/2)混ざる(白色軽石含む)
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石・黄褐色土粒含む 焼土粒・炭化物少量含む
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) 2層に類似 粗による破片
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) 2層に類似 黄褐色土粒径大きい
- 6層 暗褐色土(10YR 3/4) 黄褐色土(10YR 2/2)ブロック・黄褐色土粒含む 焼土粒・炭化物少量含む
- 7層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土(10YR 2/2)ブロック・黄褐色土(10YR 5/5)ブロック含む
- 8層 褐色土(10YR 4/4) 暗褐色土と黄褐色土の混ざり
- 9層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土粒含む
- 10層 褐色土(10YR 4/4) 礫の混入
- 11層 褐色土(10YR 4/4) 黄褐色土混ざる 焼土粒下部にあり
- 12層 土に5%黄褐色土(10YR 4/3) 黄褐色土ブロック含む
- 13層 褐色土(10YR 4/4) 礫 [地山]
- 14層 いぶい黄褐色土(10YR 5/4) 黄褐色土ブロック含む 褐色土との混ざり [掘り方]

第56図 9号住居跡平・断面図

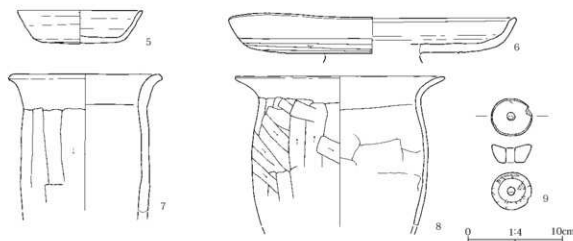


第57図 9号住居跡掘り方平・断面図



第58図 9号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物



第59図 9号住居跡出土遺物

1・2区9号住居跡出土遺物観覧表

番号	類別	器種	出土位置	残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考	
1	土器器	杯	床面直上 口縁部~底部 3/4	口径 10.5 底径 - 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい相(7.5YR 6/4)	外面:口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへラ削り。口縁部やや内湾。 内面:口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。			
2	土器器	杯	床面直上 ほぼ完形 口縁部~一部欠損	口径 13.5 底径 - 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい相(5YR 6/4)	外面:口縁部横ナデ、体部~底部手持ちへラ削り。 内面:口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。			
3	土器器	杯	床面直上 口縁部~底部 破片	口径 9.8 底径 - 器高 2.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 相(5YR 6/6)	外面:口縁部横ナデ、体部~底部手持ちへラ削り。 内面:口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。	底部外面に木葉痕		
4	土器器	杯	埋土中 ほぼ完形 底部~一部欠損	口径 14.5 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 相(2.5YR 6/6)	外面:口縁部横ナデ。体部~底部へラ削り。 内面:底部ナデ。口縁部~体部横ナデ後、密な斜放射状へラ磨き。			
5	須恵器	杯	埋土中 口縁部~底部 破片	口径 13.0 底径 8.0 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5YR 6/7)	口ノコ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転ナデ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。			
6	須恵器	高盤	床面直上 口縁部~底部 1/2	口径 30.0 底径 - 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(2.5Y 5/1)	口ノコ整形。 外面:口縁部横ナデ、体部~底部回転ナデ削り。 内面:口縁部~胴部回転ナデ調整。底部ナデ調整。			
7	土器器	甕	床面直上 口縁部~胴部 破片	口径 15.5 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 褐灰(10YR 4/1)	輪埴み。 外面:口縁部横ナデ。胴部縦方向のへラ削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部へラナデ。			
8	土器器	甕	床面+2cm、埋理土 中 口縁部~胴部 底部欠損	口径 21.9 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい相(7.5Y 4/3)	輪埴み。 外面:口縁部横ナデ。胴部縦と斜め方向のへラ削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部へラナデ。			
番号	類別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
9	石製品	紡錘車	完形	3.9	4.2	1.9	44	滑石	孔径 0.8cm 表面よく使用のため すり減っている。

1・2区10号住居跡 (旧称1・2区SJ-10)

位置: X = 36397 Y = -39665 主軸方向: N-78° - E 規模: 4.6m × 3.7m 平面形状: 隅丸長方形

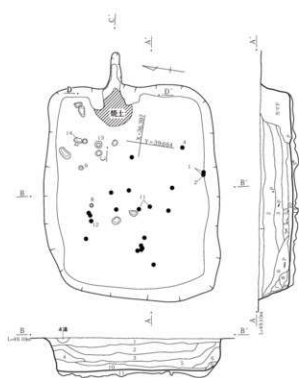
残存深度: 65cm ~ 74cm 埋没土: 主に白色軽石を含む黒褐色~暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり10cmほどの厚さで主ににぶい黄褐色土を用いて貼り床を敷設する。

カマド: 東壁中央やや北寄りに位置し、残存状態は良好。燃焼部と煙道部には比高差があり、煙道部は緩やかに立ち上がる。袖部には芯材を用いず、褐色粘質土で構築されている。柱穴: なし。貯蔵穴: なし。壁間溝: なし。

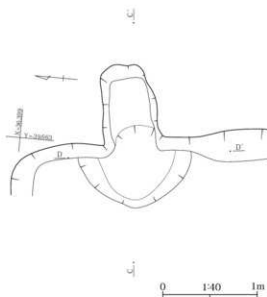
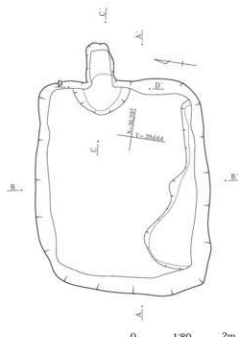
重複遺構: 4号溝跡と重複し、遺構検出時の様相から本遺構の方が古いものと判断される。

掘り方: 全面にわたり10cmほどの深さでほぼ均質に掘り穿め、一部に地山礫層が露出する。出土遺物: 床面直上より完形の須恵器平瓶(No.14)・蓋(No.8)甕(No.13)・土器器杯(No.1・2)・皿(No.4)などが出土する。



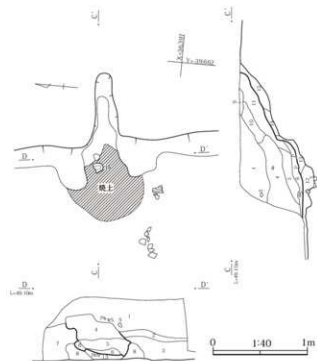
10号住居 埋土

- 1層 黒褐色土(100V 2/3) 白色軽石・焼土粒含む
- 2層 黒褐色土(100V 2/3) 黄褐色土粒・白色軽石・焼土粒・炭化物含む
- 3層 黒褐色土(100V 2/3) 黄褐色土粒軽石多くなり少量含む 白色軽石少
量・焼土粒大きくなり・炭化物も径大きくなる
- 4層 黒褐色土(100V 2/3) 黄褐色土粒少量含む 炭化物径大きくなる
- 5層 黒褐色土(100V 2/3) 黄褐色土粒少量含む 焼土粒少量含む
- 6層 黒褐色土(100V 3/4) 黄褐色土ブロック含む [埋土の崩壊土]
- 7層 黒褐色土(100V 2/3) 黒褐色土粒ざる
- 8層 黒褐色土(100V 2/3) 黒褐色土粒ざる
- 9層 褐色土(100V 4/4) [埋土の崩壊土]
- 10層 黒褐色土(100V 3/4) 黄褐色土粒含む
- 11層 土に、黄褐色土(100V 3/4)褐色土粒ざる [掘り方埋土]



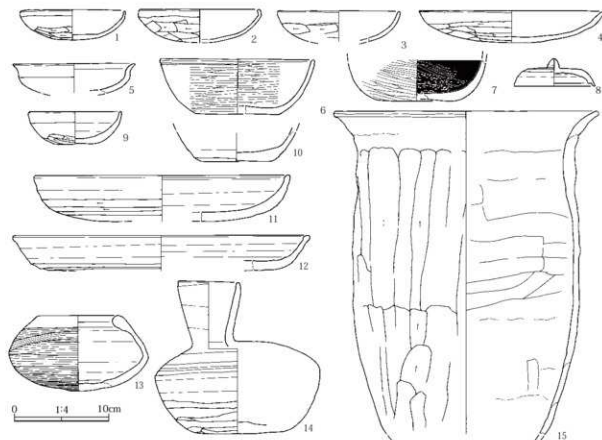
10号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(100V 3/4) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼土粒(φ20mm)含む
- 2層 黒褐色土(100V 3/4) 1層より黄褐色土粒多き多い
- 3層 黒褐色土(100V 3/4) 黄褐色土粒含む 焼土粒少量含む
- 4層 褐色土(100V 4/4) 黄褐色土粒・黒色土ブロック・焼土粒(φ10mm)含む
- 5層 黄褐色土(100V 5/6) 熱による変質 焼土粒(φ30mm)含む
- 6層 焼土 黄褐色変質土粒ざる [天井の崩壊]
- 7層 黒褐色土(100V 3/4) 黄褐色土粒含む
- 8層 土に、黄褐色土(100V 5/4) 黄褐色土褐色土の混ざり
- 9層 褐色土(100V 4/4) 熱による変質土と黒色土の混ざり 焼土粒(φ20mm)含む
- 10層 褐色土(100V 4/4) 1層より黒色土多量混ざる 熱による変質
- 11層 黒褐色土(100V 3/3) 黒色土混ざり跡、焼土粒(φ30mm)まで含む
- 12層 黒褐色土(100V 3/3) 焼土粒・炭化物含む 粘質土 [カマド崩れ方]
- 13層 灰層 焼土・炭化物含む
- 14層 褐色赤褐色土(3R 2/4) 焼土ブロック(φ30mm)含む
- 15層 黒褐色土(100V 3/4) 焼土-φ20mm含む



第60図 1・2区10号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第61図 10号住居跡出土遺物

1・2区10号住居跡出土遺物観覧表

番号	種別 器種	出土位置 残存状況	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色色調		
1	土師器 杯	床面直上	口径 11.0	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 酸化焰 良好 ③ 粘土相(7.5YR 6/4)	外面: L線部横ナデ、体部ナデ。底部手持ちへう削り。 内面: L線部~体部横ナデ。底部ナデ。	底面外面に黒炭 跡あり。		
		L線部~底部	底径 4.5					
2	土師器 杯	床面直上	口径 12.6	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(2.5YR 5/6)	外面: L線部横ナデ。体部上半はナデ、下半から底部手持ちへう削り。L線部やや内湾。 内面: L線部~体部横ナデ。底部ナデ。			
		L線部~底部	底径 1.2					
3	土師器 杯	埋土中	口径 12.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 粘土相(7.5YR 6/4)	外面: L線部横ナデ。体部~底部手持ちへう削り。 内面: L線部~体部横ナデ。底部ナデ。			
		L線部~底部	底径 1.2					
4	土師器 皿	床面+2cm	口径 19.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤(7.5YR 5/6)	外面: L線部横ナデ。底部手持ちへう削り。 内面: L線部~体部横ナデ。底部ナデ。			
		L線部~底部	底径 1.4					
5	黒色土器 杯	埋土中	口径 12.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 粘土相(7.5YR 6/4) 処理	外面: L線部横ナデ。体部へう削り。 内面: L線部横ナデ。体部ナデ。			
		L線部~体部	底径 1.6					
6	黒土器 杯	埋土中	口径 16.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰黄緑(10YR 8/3) 処理	ロク口型部。 外面: L線部~体部へう磨き。底部へう削りか。 内面: L線部~体部回転ナデ。底部ナデ後、へう磨き。			
		L線部~底部	底径 9.0					
7	黒色土器 椀	埋土中	口径 8.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰黄緑(10YR 6/2) 処理	ロク口型部。 外面: 体部は丁寧なへう磨き。底部へう削り。 内面: 体部回転ナデ。底部ナデ後、丁寧なへう磨き。内面磨し。			
		体部~底部	底径 8.0					
8	須恵器 杯蓋	床面直上	口径 8.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 粗青灰(5Y 4/1)	外面: 天井部内縁へう削り。L線部横ナデ。握み貼付。 内面: L線部~天井部回転ナデ。 ロク口型部。口縁右回りか。			
		ほぼ穹形	口径 1.3					
9	須恵器 杯	L線部~底部	口径 9.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	外面: 体部回転ナデ。底部手持ちへう削り。 内面: 体部~底部回転ナデ調整。			
		床面直上	口径 3.2					
10	須恵器 杯	埋土中	口径 7.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロク口型部。回転右回り。 外面: 体部回転ナデ。底部回転へう削り。 内面: 体部~底部回転ナデ調整。			
		体部~底部	口径 7.4					
11	須恵器 壺	床面+2cm	口径 26.6	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.5Y 7/1)	外面: L線部横ナデ。体部~底部回転へう削り。 内面: L線部~底部回転ナデ。			
		L線部~底部	口径 9.6					
12	須恵器 壺	埋土中	口径 31.0	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 青灰(10B5.5/1)	ロク口型部。 外面: L線部横ナデ。底部回転へう削り。 内面: L線部~天井部回転ナデ。			
		L線部~底部	口径 31.0					

1・2区10号住居跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
13	須恵 甕	床面直上 完形	口径 8.1	① 細砂粒・粗砂粒	ロウ口成形。下脚石回りか。底部閉塞。 外面：胴部～底部回転ナデ。胴部へへ削り。胴部カキメ。 内面：胴部～底部回転ナデ調整。	底部中央に孔徑 4.5cmを穿いた痕 あり。
			底径 —	② 還元焼 良好		
14	須恵 平瓶	床面直上 完形	器高 8.0	③ 灰青(10Y 7/2)	分割接合成型法。ロウ口成形。胴部は大升部で閉塞。上縁部は接合。 外面：胴部回転ナデ。胴部下端～底部へ削り。 内面：胴部～底部の回転ナデ調整。	最大径17.5cm。 胴部外面に太さ 2mmの条線が本 底至る。
			口径 6.3	① 細砂粒・粗砂粒		
15	土師器 長脚甕	側方埋土中 上縁部～胴部 1/3	口径 27.6	① 細砂粒・粗砂粒・細糠	輪削み。 外面：上縁部横ナデ。胴部は縦方向への削り。 内面：上縁部横ナデ。胴部へ削りナデ。	
			底径 16.2	② 酸化焼 良好		
			器高 —	③ 赤い・黄緑(10Y 7/3)		

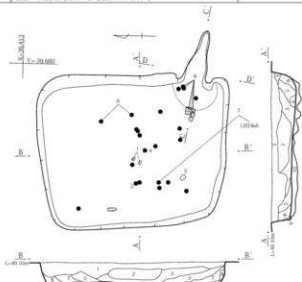
1・2区11号住居跡 (旧称1・2区5J-11)

位置：X = 36411 Y = -39662

主軸方向：N-86° - E 規模：3.3m×4.0m

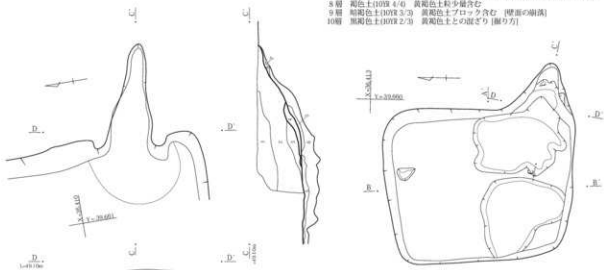
平面形状：隅丸長方形 残存深度：38cm～48cm

埋没土：主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり4～10cmほどの厚さで主に黒褐色土を用いて貼り床を敷設する。カマド：東壁の南寄りに位置し、遺存状態は比較的良好。煙道部は緩やかに立ち上がる。燃焼部では広域にわたり厚い灰層面が確認された。袖部は芯材を用いず、にぶい黄褐色弱粘質土で構築されている。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：全面にわたり4～10cmほどの不規則な起伏を残し、掘り窪める。出土遺物：埋土中より土師器杯(No. 1・2・3・4)・甕(No. 6・7・8)、須恵器蓋(No. 5)の破片等が出土する。



11号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/0) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/0) 白色軽石(φ1mm)・黄褐色土粒含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/0) 白色軽石(φ1mm)・黄褐色土粒・黒色土ブロック含む
- 4層 暗褐色土(10YR 4/0) 黄褐色土ブロック・黒色土ブロック・少量の白色軽石
- 5層 暗褐色土(10YR 3/0) (φ1mm)含む
- 6層 黄褐色土(10YR 5/0) ブロックに褐色土混ざる 少量の焼土粒含む
- 7層 暗褐色土(10YR 3/0) 白色軽石(φ1mm)・黒色土ブロック・黄褐色土粒含む
- 8層 暗褐色土(10YR 4/0) 黄褐色土粒少含む
- 9層 暗褐色土(10YR 3/0) 黄褐色土ブロック含む (壁面の剥落)
- 10層 暗褐色土(10YR 2/0) 黄褐色土との混ざり(掘り方)

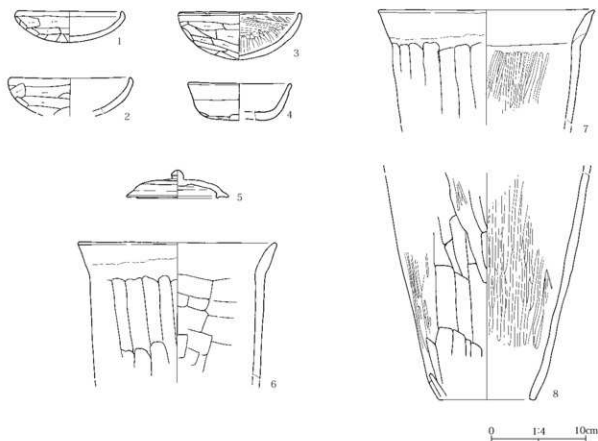


11号住居カマド 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/0) 白色軽石(φ10mm)・焼土粒含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/0) 白色軽石(φ1mm)・黒色土ブロック・焼土粒含む
- 3層 暗褐色土(10YR 4/0) 黄褐色土ブロック・焼土粒・灰化物含む
- 4層 焼土・灰化物・灰層
- 5層 暗褐色土(10YR 2/0) 粘質土 掘り方
- 6層 暗褐色土(10YR 2/0) にぶい黄褐色土ブロック含む (掘り方)
- 7層 にぶい黄褐色土(10YR 5/0) 白色軽石(φ10mm)・黒色土少混ざる 焼土含む (熱による変質)
- 8層 にぶい黄褐色土(10YR 5/0) 少し熱による変質 焼土内部につく
- 9層 褐色土(10YR 4/0) 黄褐色土粒・焼土・灰化物含む (柱脚埋土)
- 10層 にぶい黄褐色土(10YR 5/0) 褐色土混ざる (掘り方)

第62図 11号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第63図 11号住居跡出土遺物

1・2区11号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+13cm 口縁部～底部 2/3	口径 10.9 底径 — 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤(5YR 6/6)	口縁部内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部～底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
2	土師器 杯	床面+12cm 口縁部～底部 1/2	口径 12.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤(5YR 5/3)	口縁部内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部～底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
3	土師器 杯	床面+28cm 口縁部～底部 1/4	口径 12.7 底径 — 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 赤(2.5YR 4/6)	外面：口縁部横ナデ、体部～底部ヘラ削り。 内面：口縁部～底部全面ヘラ書き。	
4	土師器 杯	床面+31cm 口縁部～底部 破片	口径 10.6 底径 — 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤(5YR 5/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ。	
5	須恵器 杯蓋	埋土中 口縁部～天井部 1/2	口径 10.4 口径 1.2 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 7/1)	口縁部整形。 外面：天井部回転ヘラ削り、口縁部横ナデ、横砂粒付。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。	
6	土師器 瓶	体面+25cm 口縁部～胴部 破片	口径 20.5 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 赤(5YR 5/4)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ、胴部縦方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	口縁部から胴部に黒面。 12号住出土と同一個体。
7	土師器 瓶	体面+25cm 口縁部～胴部 破片	口径 22.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 黒(2/2)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ、胴部縦方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。縦方向のヘラ書き。	口縁部から胴部に黒面。 12号住居出土した口縁部片と同一個体。
8	土師器 瓶	体面+25cm 胴部～底部片 破片	口径 — 底径 10.1 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤(2.5YR 5/6)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ、胴部縦方向のヘラ削り。 部分的にヘラ書き。 内面：口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。縦方向のヘラ書き。	口縁部から胴部に黒面。 12号住居出土した口縁部片と同一個体。

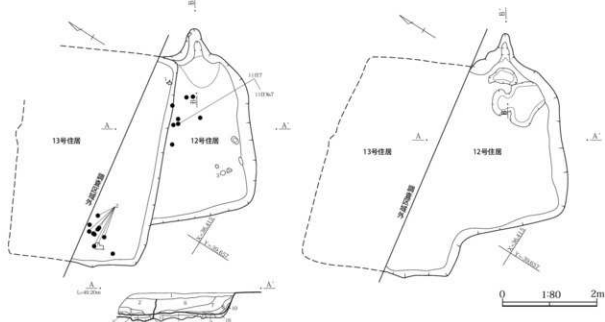
1・2区12号住居跡(旧称1・2区SJ-12)

位置: X=36416 Y=-39655 主軸方向: N-56°-E 規模: 3.3m×不明

平面形状: 調査区北端部にかかるため、全容は不明。 残存深度: 45cm~50cm

埋没土: 主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり4~5cmほどの厚さに黄褐色粘質土を用いて貼り床を敷設する。カマド: 北東壁の南寄りに位置し、左袖部を残すのみで遺存状況は悪い。煙道部は急峻に立ち上がる。柱穴・貯蔵穴: 調査範囲内においては検出されなかった。壁周溝: なし。重複遺構: 13号住居跡と重複する。本遺構は13号住居跡によって壊されているため、本遺構の方が古いものと判断される。掘り方: 全面にわたり4~10cmほどの深さを掘り窪める。

出土遺物: 埋土中からは完形の須恵器蓋(No. 3)他、須恵・土師器片が出土している。



- 12・13号住居 埋土
- 1層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石・焼土粒含む
 - 2層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石(φ5mm)含む
 - 3層 暗褐色土(00R 3/0) 焼土粒・黄褐色土ブロック含む
 - 4層 暗褐色土(00R 3/0) 焼土粒・灰化物・黄褐色土粒含む
 - 5層 黄褐色土(00R 5/0) 焼土粒含む
 - 6層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石・黄褐色土粒・焼土粒含む
 - 7層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石・黄褐色土粒(φ10mm)・焼土粒含む
 - 8層 暗褐色土(00R 3/0) 黄褐色土ブロック含む
 - 9層 褐色土(00R 4/0) 黄褐色土混ざる
 - 10層 黄褐色土(00R 3/0) 褐色土混ざる
 - 11層 褐色土(00R 4/0) 黄褐色土混ざる
- 12層 褐色土(00R 4/0) 黄褐色土の混ざり 焼土粒少量含む
 13層 暗褐色土(00R 3/0) 焼土による変質している部分あり
 14層 焼土・褐色土・黄褐色粘質土の層状にならぶ [掘り戻]
 15層 暗褐色土(00R 5/0) 黒色土・灰化物・焼土の混ざり
 16層 黄褐色土(00R 2/0) 焼土粒含む [両面]
- 41~5層口直 6~10層12住

- 12号住居カマド 埋土
- 1層 褐色土(00R 4/0) 白色軽石・焼土粒含む
 - 2層 黄褐色土(00R 5/0) 熱による変質している部分あり 焼土粒含む黒色土混ざる
 - 3層 黄褐色土(00R 5/0) 焼土(φ20mm)混ざる 黒色土まざり しまりなし
 - 4層 黄褐色土(00R 5/0) 熱による変質
 - 5層 焼土ブロック
 - 6層 黄褐色土(00R 5/0) 焼土粒・灰化物大量を含む
 - 7層 黄褐色土(00R 2/0) 黄褐色土ブロック混ざる 焼土粒・灰化物含む
 - 8層 二色い黄褐色土(00R 4/0) 褐色土混ざる 焼土粒含む
 - 9層 褐色土(00R 4/0) 焼土粒(φ50mm)大量を含む [天井の崩壊]

第64図 12号・13号住居跡平・断面図、掘り方平面図、12号住居跡カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区13号住居跡(旧称1・2区SJ-13)

位置: X=36418 Y=-39656 主軸方向: N-68°-E 規模・平面形状: 調査区北端部にかかるため、全容は不明。

残存深度: 41cm～52cm 埋没土: 主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、褐色粘質土を用いて、5cmほどの厚さで貼り床を敷設する。

カマド・柱穴・貯蔵穴: 調査範囲内においては検出されていない。壁周溝: なし。

重複遺構: 12号住居跡と重複する。本遺構が12号住居跡を壊しているため、本遺構の方が新しいものと判断される。

掘り方: 6cmほどの深さで、全体に掘り窪める。

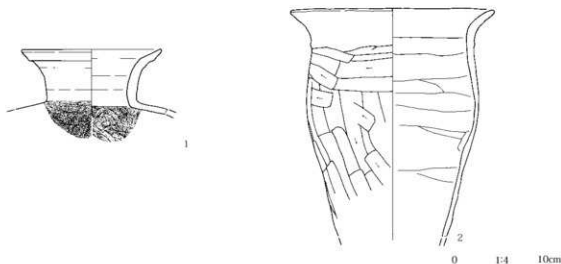
出土遺物: 床面直上から土師器甕(No. 2)、埋土中からは須恵器壺(No. 1)の破片が出土した。



第65図 12号住居跡出土遺物

1・2区12号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 12.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 橙色(YR 6/9)	口縁部やや内湾。 外面: 口縁部横ナデ、体部ナデ、底部へう削り。 内面: 口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 12.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にい・橙(YR 7/3)	外面: 口縁部横ナデ、体部～底部へう削り。 内面: 口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
3	須恵器 蓋	床面+15cm 完形	口径 11.0 胴径 - 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(Y 5/6/1)	口ウロ整形。回転方向。口縁部やや外反。 外面: 口縁部～胴部回転ナデ。天井部回転へう削り。 内面: 口縁部～底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯蓋	埋土中 天井部～口縁部 破片	口径 16.2 胴径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y 7/1)	口ウロ整形。 外面: 天井部上半回転へう削り。天井部下半～口縁部横ナデ。 内面: 口縁部回転ナデ。天井部は見方方向のナデ。	



第66図 13号住居跡出土遺物

1・2区13号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 壺	床面+14cm 口縁部～胴部上端 破片	口径 14.8 胴径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y 6/9)	口ウロ整形。 外面: 口縁部～胴部～胴部回転ナデ。胴部にて胴部と口縁部全取付。 内面: 口縁部横ナデ。胴部横・斜め方向のナデ。胴部アテ貝痕。	
2	土師器 甕	床面直上 口縁部～胴部上半 1/3	口径 21.2 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 橙(YR 6/6)	輪挽み。 外面: 口縁部横ナデ。胴部上位横・中位縦方向へう削り。 内面: 口縁部横ナデ。胴部～底部へうナデ。	

1・2区14号住居跡(旧称1・2区SJ-14)

位置: X=36403 Y=-39694

主軸方向: N-50° - E 規模: 4.5m×4.0m

平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 42cm ~ 55cm

埋没土: 主に白色軽石と黄褐色土粒を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。

床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、粘性のある褐色土を用いて全面にわたり4cmほどの厚さで貼り床を敷設する。カマド: 北東壁のほぼ中央に位置する。南半部が重複する3号住居跡によって壊されており、残存度は悪く、袖部は検出できなかった。

柱穴: 掘り方調査の段階で1基検出された。住居のほぼ中央に位置し、径44cm深38cmを測る。

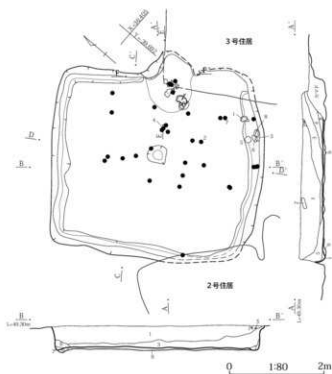
貯蔵穴: なし。壁周溝: 一部を除いて幅11~40cm、深さ5~6cmを測り、全周する。

重複遺構: 2号住居跡および3号住居跡と重複し、本遺構はこの2軒の住居によって壁が壊されているため、本遺構の方が古いものと判断される。

掘り方: 全面にわたり4cmほどの深さで掘り窪める。

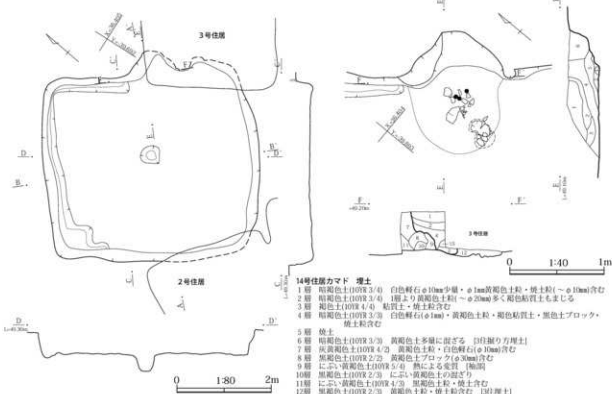
出土遺物: 住居壁際からほぼ完形の土師器杯(No. 1)、須恵器碗(No. 7)が出土。周溝埋土中からは墨

書須恵器杯(No. 5)が出土する



14号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(00R 3/3) 白色軽石(φ10mm)・焼土粒・炭化物含む
- 2層 褐色土(00R 4/3) 褐色粘質土ブロック・焼土粒含む
- 3層 暗褐色土(00R 3/3) 黄褐色土粒(φ20~50mm)・焼土粒(φ10mm)含む
- 4層 暗褐色土(00R 3/3) 黄褐色土粒(φ10mm)含む(層より厚さ少くなる) 焼土粒増える
- 5層 暗褐色土(00R 3/3) 白色軽石(φ10mm)・褐色土ブロック含む
- 6層 黒褐色土(00R 2/3) 白色軽石(φ10mm)含む 粘質
- 7層 褐色土(00R 4/3) 黄褐色土との混ざり [周溝埋土]
- 8層 褐色土(00R 4/3) 黄褐色土の焼成質と褐色土の混ざり 焼土粒多量含む [カマド構造物]
- 9層 褐色土(00R 4/3) 粘質土 粘り質

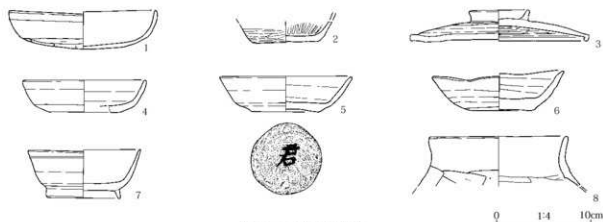


14号住居カマド 埋土

- 1層 暗褐色土(00R 3/3) 白色軽石(φ10mm)少量・φ1mm黄褐色土粒・焼土粒(φ10mm)含む
- 2層 暗褐色土(00R 3/3) 1層より黄褐色土粒(φ20mm)多く褐色粘質土もまじる
- 3層 褐色土(00R 4/3) 粘質土・焼土粒含む
- 4層 暗褐色土(00R 3/3) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・褐色粘質土・黒色土ブロック・焼土粒含む
- 5層 粘土
- 6層 暗褐色土(00R 3/3) 黄褐色土多量に混ざる [住掘り方埋土]
- 7層 灰黄褐色土(00R 4/3) 黄褐色土粒・白色軽石(φ10mm)含む
- 8層 暗褐色土(00R 2/3) 黄褐色土ブロック(φ30mm)含む
- 9層 濃い黄褐色土(00R 5/3) 熱による変質 [焼肉]
- 10層 黒褐色土(00R 2/3) にぶい黄褐色土の混ざり
- 11層 濃い黄褐色土(00R 4/3) 暗褐色土の混ざり
- 12層 黄褐色土(00R 2/3) 黄褐色土・焼土粒含む [埋没土]
- 13層 褐色土(00R 4/3) 粘質土 粘り質含む

第67図 14号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第68図 14号住居跡出土遺物

1・2区14号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 鉢	床面+10cm ほぼ完形 一部欠損	口径 15.4 底径 7.0 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 柄(7.5YR 7/6)	外面:口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面:口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
2	黒色土器 鉢	床面+17cm 体部・底部 破片	口径 7.0 底径 7.0 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 黒色(5Y 2/1)	ロケロ整形。内・外面横し。 外面:体部、底部ヘラ磨き。 内面:体部～底部回転ナデ調整。ヘラ磨き。	
3	須恵器 鉢蓋	周溝埋土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 18.5 口径 6.0 口径 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロケロ整形。 外面:天井部回転ヘラ削り、口縁部横ナデ。横み貼付。 内面:口縁部～天井部回転ナデ。	
4	須恵器 鉢	床面直上 口縁部～底部 破片	口径 12.8 口径 7.3 口径 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロケロ整形。 外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラ削り。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 鉢	周溝埋土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.8 口径 7.3 口径 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰(5Y 4/1)	ロケロ整形。回転右回り。 外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面に「君」の墨書。 胴部と底部内面に墨書。 赤みがある。
6	須恵器 鉢	周溝埋土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.9 口径 6.0 口径 4.2	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロケロ整形。回転右回り。 外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラ削り。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 鉢	埋土中 ほぼ完形	口径 11.9 口径 7.6 口径 5.2	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰(5Y 7/2)	ロケロ整形。回転右回り。 外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。	
8	土師器 鉢	周溝埋土中口縁部～ 胴部上端 口縁部のみ完形	口径 14.4 口径 ー 口径 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に、柄(7.5YR 7/4)	輪轆み。 外面:口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	

1・2区15号住居跡 (旧称1・2区SJ-15)

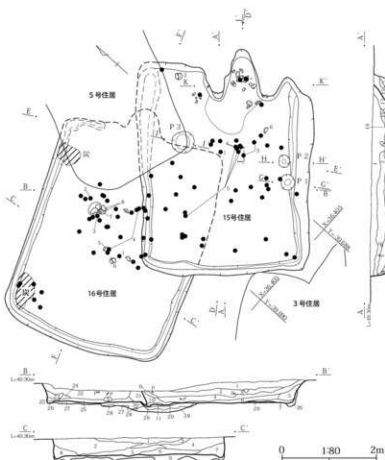
位置: X=36408 Y=-39688 主軸方向: N-48° - E 規模: 4.5m×3.7m

平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 38cm～54cm **埋没土:** 主に白色軽石・黄褐色土粒を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、粘性のある褐色土を用いて全面にわたり2～4cmほどの厚さで貼り床を敷設している。カマド: 北東壁のほぼ中央に位置する。両袖とも残り、残存度は比較的良好。焚き口幅は69cm、長さは178cmほどを測り、煙道部は急峻に立ち上がる。袖は芯材を用いずに褐色土のみで構築されている。また、燃焼部中央の左寄りには支脚石を設置。

柱穴: 床面上において3基を検出する。径22～48cm、深さ17～21cmを測る。P1とP2は南東壁際に位置していることから、出入り口施設に伴うものと考えられる。貯蔵穴: なし。壁周溝: 一部を除いて幅20～50cm、深さ4～8cmを測る溝が全周する。重複遺構: 5号住居跡および16号住居跡と重複し、埋土の様相などから、本道構は5号住居跡より古く、16号住居跡より新しいものと判断される。掘り方: 全面にわたり2～4cmほどの深さで掘り削る。出土遺物: 床面直上で須恵器鉢(No. 4・5)の他、埋土中からは須恵器鉢(No. 3)・黒色土器鉢(No. 2)などが出土している

1・2区16号住居跡(旧称1・2区5J-16)

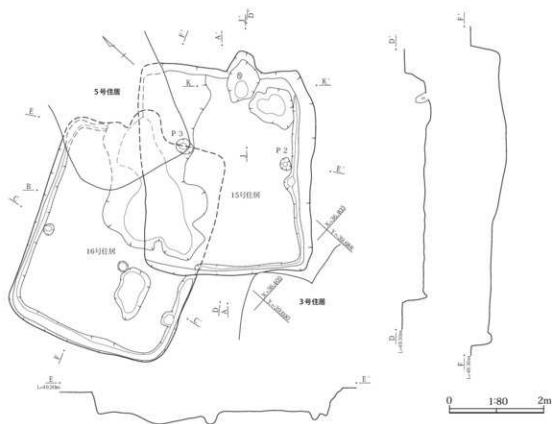
位置：X=36408 Y=-39691 主軸方向：N-67°-E 規模：4.6m×3.6m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：31cm～42cm 埋没土：黄褐色土粒を含む黒褐色土～黄褐色土粒を含む暗褐色粘質土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：地山ローム土を掘り込んだ後、粘性のあるにぶい黄褐色土を用いて全面にわたり2～8cmほどの貼り床を敷設している。カマド：重複する15号住居跡によって壊されており、検出できなかった。
 柱穴：掘り方調査の段階で3基を検出した。径22～25cm、深さ9～11cmを測る。
 貯蔵穴：検出されていない。重複により壊された可能性もあるが、重複住居跡と本遺構の床面とに比高差は少なく、失われたというよりは存在しなかったものと考えられる。壁周溝：幅17～27cm、深さ4～5cmを測る溝が、ほぼ全周する。重複遺構：5号住居跡および15号住居跡と重複する。埋土の様相などから、本遺構は両住居跡によって壊されており、本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：全面にわたり2～8cmほどの深さで掘り窪め、中央部を方形にやや深く掘り窪める。出土遺物：埋土中から土師器杯(No. 1)、須恵器杯(No. 7・8)・蓋(No. 4)、黒色土器椀片などが出土している。



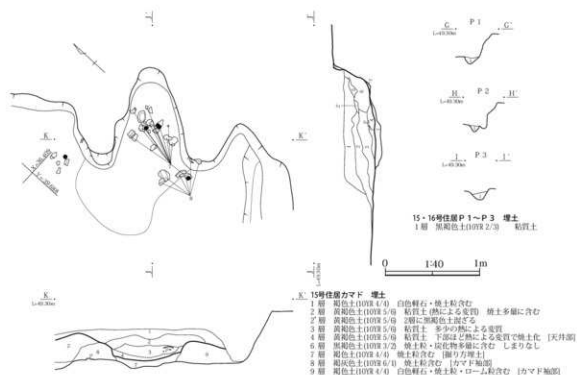
15・16号住居 埋土

- | | | | |
|-----------------------|------------------------------------|--------------------|--------------------------|
| 1層 暗褐色土(10TR 3/3) | 白色輝石(φ10mm)と(φ1mm)・黄褐色土粒・焼土粒・炭化物含む | 17層 暗褐色土(10TR 3/3) | 黄褐色土・白色輝石(φ1mm)混ざる 焼土粒含む |
| 2層 暗褐色土(10TR 3/3) | 1層 黄褐色土粒大さくなる(～φ20mm) | 18層 暗褐色土(10TR 4/6) | 粘質土 熱による変質 焼土粒含む |
| 3層 暗褐色土(10TR 3/2) | 粘質土・焼土粒(～φ10mm)含む | 19層 暗褐色土(10TR 2/3) | 黄褐色土・白色輝石(φ10mm)含む |
| 4層 暗褐色土(10TR 3/3) | 白色輝石(φ10mm)と(φ1mm)・黄褐色土粒含む | 20層 暗褐色土(10TR 2/3) | 黄褐色土・白色輝石(φ10mm)含む |
| 5層 暗褐色土(10TR 3/2) | 白色輝石(φ1mm)・黄褐色土粒・炭化物含む | 21層 暗褐色土(10TR 2/3) | 黄褐色土・白色輝石(φ10mm)含む |
| 6層 暗褐色土(10TR 3/2) | 粘質土混ざる 黄褐色土粒・焼土粒・炭化物含む | 22層 暗褐色土(10TR 2/3) | 黄褐色土(φ10mm)含む |
| 7層 暗褐色土(10TR 3/2) | 粘質土・黄褐色土混ざる | 23層 暗褐色土(10TR 2/3) | 暗褐色土(φ10mm)含む |
| 8層 暗褐色土(10TR 4/6) | 黒褐色土混ざる (厚面の崩れ) | 24層 暗褐色土(10TR 2/3) | 暗褐色土(φ1mm)・黄褐色土粒少量含む |
| 9層 暗褐色土(10TR 3/4) | 黄褐色土混ざる 焼土粒含む | 25層 暗褐色土(10TR 2/3) | 粘質土・黄褐色土(φ30mm)含む |
| 10層 暗褐色土(10TR 3/2) | 黄褐色土混ざる 白色輝石(φ1mm)・焼土粒含む | 26層 暗褐色土(10TR 4/6) | 黄褐色土混ざる (面高) |
| 11層 暗褐色土(10TR 3/2) | 黄褐色土混ざる(～φ30mm) | 27層 暗褐色土(10TR 5/4) | 粘質土 黒色土との混ざり(掘り窪) |
| 12層 暗褐色土(10TR 3/2) | 黄褐色土・フロック・混ざる 焼土粒含む | 28層 暗褐色土(10TR 5/4) | 粘質土 黒色土との混ざり(掘り窪) |
| 13層 暗褐色土(10TR 5/6) | フロック・熱による変質 | 29層 暗褐色土(10TR 4/4) | 粘質土 黄褐色土との混ざり(掘り窪) |
| 14層 にぶい黄褐色土(10TR 5/4) | 褐色土混ざる 焼土粒(～φ20mm)多量に含む | 30層 暗褐色土(10TR 4/4) | 黄褐色土多量に混ざる(掘り窪) |
| 15層 暗褐色土(10TR 4/6) | 白色輝石(φ10mm)・焼土粒含む | | |
| 16層 暗褐色土(10TR 3/4) | 黒色土・白色輝石(φ1mm)含む混ざる 焼土粒含む | | |

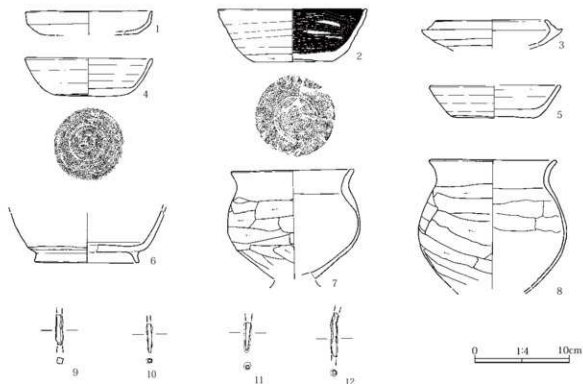
第69図 15・16号住居跡掘り方平・断面図



第70図 15・16号住居跡平・断面図



第71図 15号住居跡カマド平・断面図

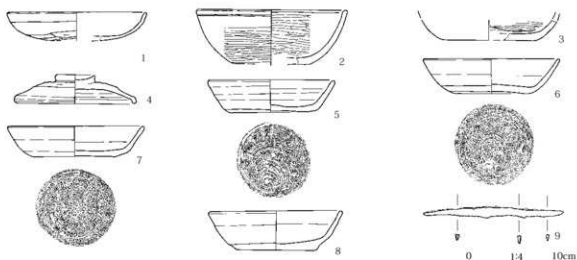


第72図 15号住居跡出土遺物

1・2区15号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	土器 杯	床面+37cm 口縁部-底部 破片	口径 13.3 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 相(2.5YR6/6)	外面：口縁部下平横子、下平子、腰部方向へラ削り、底部を持ちへラ削り。 内面：口縁部横ナデ、腰部へ底部ナデ。			
2	黒色土器 杯	床面+3cm 口縁部-底部 1/2	口径 15.5 底径 8.7 器高 5.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 やや不良 ③ 黒色地膚 ④ 黒(2.5Y3/1)	口クロ整形。回転右回り。 内面：口縁部へ腰部回転ナデ。腰部最下位に1段の回転へラ削り。底部回転糸切り後はほぼ全面を回転へラ削り。 内面：口縁部へ胴部ナデ後横方向のへラ磨き。			
3	須恵器 杯身	床面+19cm 口縁部-天井部端 破片	口径 11.5 口径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ オリーブ灰(5Y6/2)	口クロ整形。 外面：底部回転へラ削り。 内面：口縁部へ天井部回転ナデ。			
4	須恵器 杯	床面直上 口縁部-底部 1/2	口径 13.2 底径 7.6 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(10YR6/2)	口クロ整形。回転右回り。 外面：口縁部へ腰部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部へ底部回転ナデ調整。	重ね焼きの痕跡		
5	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完形 一部欠損	口径 13.6 底径 8.8 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7.5Y5/1)	口クロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部へ腰部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部-底部回転ナデ調整。			
6	須恵器 椀	床面+4cm 体部-底部 破片	口径 12.2 口径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(5.0)	口クロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転へラ削り。高台貼付。 内面：体部へ底部回転ナデ調整。	内面底部に火漕が認められる。		
7	土師器 台付鉢	埋土中 口縁部-胴部下端 底部欠損	口径 12.8 口径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 灰(7.5Y5/1)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上平横。下半斜め方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。			
8	土師器 甕	埋土中 口縁部-胴部下端 胴部-底部欠損	口径 13.2 口径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好 ③ 相(2.5YR6/8)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。			
番号	種別	物種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
9	鉄器	釧	頸部小片	3.3	0.9	6.5	3.0	
10	鉄器	釘	先端部片	3.1	0.6	0.5	1.0	断面長方形から鐵の茎部かも。
11	鉄器	釘	先端部片	3.2	0.8	0.8	2.0	鉄分残存不良。
12	鉄器	釧	頸部小片	4.7	0.7	0.7	3.0	鉄分残り不良。

第3章 検出遺構と出土遺物



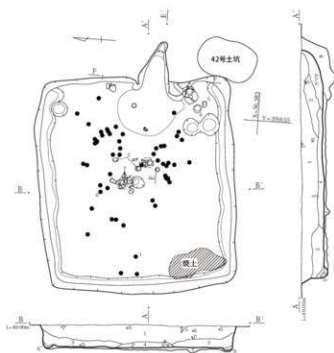
第73図 16号住居跡出土遺物

1・2区16号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	土師器 杯	床面+24cm 口縁部~底部 破片	口径 14.7 底径 — 部高 —	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に近い黄緑(10R 6/3)	外面:口縁部横ナデ。体部ナデ、底部ナデ。 内面:口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。			
2	黒色土器 杯	床面+24cm 口縁部~底部 破片	口径 15.8 底径 8.0 部高 5.8	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に近い黄緑(10R 7/4)	ロクロ整形。 外面:口縁部~体部回転ナデ。口~底部までヘラ磨き。 内面:口縁部~体部ナデ後横方向のヘラ磨き。底部ナデ後 ヘラ磨き。	No.3と同一個体か。		
3	黒色土器 椀	床面+21cm 体部下平~底部 破片	口径 — 底径 10.0 部高 —	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に近い黒(5R 5/3)	ロクロ成・整形。 外面:体部回転ナデ。体部~底部ヘラ磨き単位不鮮明。 内面:体部ナデ後横方向のヘラ磨き。底部ナデ後ヘラ磨き。	No.2と同一個体か。		
4	須恵器 杯蓋	床面+7cm 楕円部~口縁部 1/2	口径 12.8 楕径 4.0 部高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(7 7)	ロクロ整形。回転石回り。 外面:天井部上半回転ヘラ削り。天井部下平~口縁部横ナデ。 内面:天井部~口縁部回転ナデ。			
5	須恵器 杯	床面+32cm 口縁部~底部 一部欠損	口径 13.2 底径 7.8 部高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(7 7)	ロクロ整形。回転石回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転車切り後、回転ヘ ラ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。			
6	須恵器 杯	床面+22cm 口縁部~底部 一部欠損	口径 13.8 底径 8.2 部高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒・細 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(2.5R 8/1)	ロクロ整形。回転石回り。口縁部やや外反り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	器面薄減。		
7	須恵器 杯	床面+21cm 口縁部~底部 1/2	口径 14.1 底径 7.1 部高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細 ② 酸化焼 ③ に近い黄緑(5R 6/4)	ロクロ整形。回転石回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転車切り後縁部と 体部下平を回転ヘラ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。			
8	須恵器 杯	床面+24cm 口縁部~底部 2/3	口径 14.2 底径 8.5 部高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(7.5R 5/2)	ロクロ整形。回転石回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	概要
9	鉄器	刀子	完形	14.9	1.2	0.5	10.0	刃部の使用痕あり。

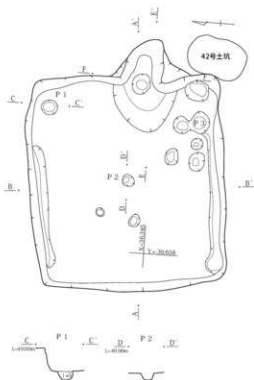
1・2区17号住居跡 (旧称1・2区5J-17)

位置: X=36385 Y=-39656 **主軸方向:** N-86° -E **規模:** 4.6m×4.2m **平面形状:** 隅丸長方形
残存深度: 44cm ~ 55cm **埋没土:** 主に白色軽石と焼土粒を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。
床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、褐色粘質土を用いて全面にわたり2~6cmほどの貼り床を敷設している。
カマド: 東壁中央やや南寄りに位置する。右袖が残存し、焚き口幅54cm、長さ193cmほどを測り、煙道部は急峻に立ち上がる。袖は芯材を用いずに褐色粘質土のみで構築されている。 **柱穴:** 掘り方調査の段階で径25~46cm、深さ13~22cmを測る穴を3基検出した。その他にも窪みはあるものの、形状と深さから柱穴として認められなかった。
貯蔵穴: なし。 **壁周溝:** 東壁を除いて幅22~40cm、深さ3~11cmを測る溝が巡る。
重複遺構: なし。 **掘り方:** 全面にわたり2~6cmほどの深さを掘り窪め、一部に地山標露が露出する。
出土遺物: 床面直上からほぼ完形の須恵器杯(No. 4) 椀(No. 5)が出土。また、埋土中からはほぼ完形の須恵器椀(No. 6)と土師器杯(No. 1)と黒色土器破片が出土している。



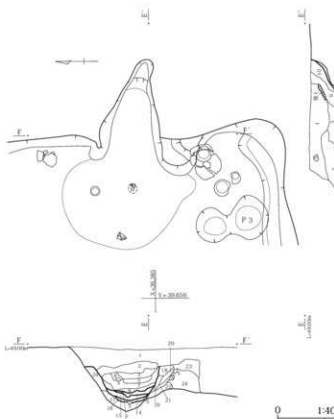
17号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 5/3) 白色軽石(φ10mm)・焼土粒(〜φ10mm)含む 礫入る
- 2層 暗褐色土(10YR 5/3) 1層より焼土粒入る(φ20mm)
- 3層 暗褐色土(10YR 5/3) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒含む 黒色土ブロック少量
- 4層 暗褐色土(10YR 5/3) 黄褐色土粒による変質ブロック・焼土粒(φ20mm)・炭化物を含む
- 5層 暗褐色土(10YR 5/3) 白色軽石(φ10mm)含む
- 6層 褐色土(10YR 4/0) 陶器埋土
- 7層 褐色土(10YR 4/0) 掘り方 貼り床 粘質土
- 8層 暗褐色土(10YR 5/3) 礫混ざる [掘り方埋土]



17号住居P1 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 5/3) 砂混ざる 焼土粒含む



17号住居カマド 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 5/3) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒少量含む 焼土粒(〜φ20mm)・炭化物含む
- 2層 暗褐色土(10YR 5/3) 熱による変質した黄褐色土粒(〜φ30mm)・白色軽石(φ10mm)少量・焼土粒(〜φ10mm)含む
- 3層 におい黄褐色土(10YR 6/4) 熱による変質 黒色土粒少量混ざる
- 4層 褐色土(10YR 1.7/1) 白色軽石(φ10mm)・粘質ブロック含む
- 5層 褐色土(10YR 4/0) におい黄褐色土混ざる
- 6層 暗褐色土(10YR 5/3) 粘質土 熱による変質 礫混ざる
- 7層 におい黄褐色土(10YR 6/4) 熱による変質 焼土粒含む [天井崩壊土]
- 8層 におい黄褐色土(10YR 6/4) 焼土粒・炭化物含む
- 9層 暗褐色土(10YR 5/3) 焼土粒多量に含む しまりなし
- 10層 暗褐色土(10YR 5/3) 焼土粒含む [掘り方]
- 11層 暗褐色土(10YR 5/3) 焼土粒含む [掘り方]
- 12層 におい黄褐色土(10YR 6/4) 熱による変質 焼土粒含む [天井崩壊]
- 13層 暗褐色土(10YR 5/3) 粘質土・焼土粒含む [掘り方]
- 14層 炭化物・灰・焼土粒
- 15層 暗褐色土(10YR 5/3) 焼土粒含む
- 16層 暗褐色土(10YR 5/3) 炭化物・灰多量に含む [以前の使用面]
- 17層 暗褐色土(10YR 5/3) 礫で混ざる [掘り方埋土]
- 18層 におい黄褐色土(10YR 6/4) 粘質土・暗褐色土混ざる 焼土粒含む [地盤の構築材]

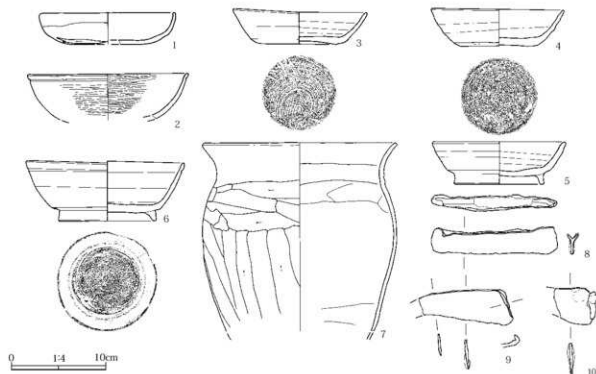
19層

- 19層 埋土
- 20層 暗褐色土(10YR 5/3) 粘質土・焼土粒含む
- 21層 埋土 以前のかまどの地盤
- 22層 暗褐色土(10YR 5/3) 礫混ざる 焼土粒含む 以前のかまど掘り方埋土
- 23層 におい黄褐色土(10YR 6/4) 褐色土・白色軽石(φ10mm)混ざる
- 24層 におい黄褐色土(10YR 6/4) 白色軽石(φ10mm)・褐色土混ざる 焼土粒含む 以前のかまどの地盤



第74図 17号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第75図 17号住居跡出土遺物

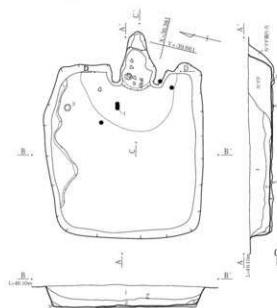
1・2区17号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	土師器 杯	床面+28cm 上縁部~底部 1/3	口径 12.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化塩 良好 ③ にぶい赤褐色(5YR 5/4)	① 細砂粒 ② 酸化塩 良好 ③ にぶい赤褐色(5YR 5/4)	外面:上縁部横ナデ、体部ナデ、底部は手持ちヘラ削り、内面:上縁部横ナデ、体部~底部ナデ、横ナデ。		
2	黒色土器 椀	埋土中 体部~体部 破片	口径 16.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化塩 良好 内面黒色 ③ にぶい赤褐色(5YR 6/4)	① 細砂粒 ② 酸化塩 良好 内面黒色 ③ にぶい赤褐色(5YR 6/4)	外面:上縁部~体部上半回転ナデ、体部下半横方向へラ磨き、内面:上縁部~体部ナデ後縁方向のへラ磨き。		
3	須恵器 杯	床面+3cm 上縁部~底部 3/4	口径 13.9 底径 8.0 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(10YR 7/1)	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(10YR 7/1)	ロク口整形。回転左回り。外面:上縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。内面:上縁部~底部回転ナデ調整。		
4	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完全形 上縁部一部欠損	口径 13.8 底径 8.2 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(10YR 7/1)	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(10YR 7/1)	ロク口整形。回転右回り。外面:上縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部と体部最下位は回転へラ削り、内面:上縁部~体部回転ナデ調整。		
5	須恵器 椀	床面直上 上縁部~底部 上縁部一部欠損	口径 13.8 底径 10.9 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 還元(10YR 4/1)	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 還元(10YR 4/1)	ロク口整形。回転右回り。外面:上縁部~体部回転ナデ。底部回転へラ削り。高台削付、内面:上縁部~底部回転ナデ調整。		底部外面中央にへラ記号「×」
6	須恵器 椀	床面直上 ほぼ完全形 上縁部一部欠損	口径 16.5 底径 12.0 器高 6.3	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 酸化塩 良好 ③ にぶい、黄褐色(10YR 6/3)	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 酸化塩 良好 ③ にぶい、黄褐色(10YR 6/3)	ロク口整形。回転右回り。外面:上縁部~体部回転ナデ。底部回転へラ削り。高台削付、内面:上縁部~底部回転ナデ調整。		
7	土師器 鉢	床面直上 胴部下半~胴部上半 胴部下半一部欠損	口径 20.1 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 酸化塩 良好 ③ にぶい、褐色(7.5YR 5/4)	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 酸化塩 良好 ③ にぶい、褐色(7.5YR 5/4)	筒輪み。外面:上縁部横ナデ。胴部上位横方向のへラ削り、胴部中位縦方向のへラ削り、内面:上縁部横ナデ、胴部~底部へラナデ。		
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	概要
8	鉄器	鍔先	ほぼ完全形	13.3	2.8	1.6	49.0	錆化の進みが激しい。
9	鉄器	鎌	基部と刃部の一部	10.0	3.3	0.7	23.0	基部は錆化が進んでいる。
10	鉄器	鎌	基部片	4.7	3.7	0.7	11.0	表面錆化が激しい。

1・2区18号住居跡 (旧称1・2区5J-18)

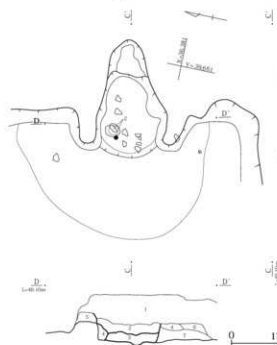
位置: X=36381 Y=-39663 規模: 3.6m×3.3m 平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 41cm~45cm
埋没土: 少量の白色軽石と焼土粒などを含む褐色~黄褐色土により埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。
床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、にぶい黄褐色土を用いて全面にわたり2~6cmほどの貼り床を敷設している。
カマド: 東壁中央やや南寄りに位置する。両袖ともに残り、残存度は比較的良好。焚き口幅は60cm、長さは120cmほどを測り、煙道部は急峻に立ち上がる。燃焼部には焼土と炭化物が厚く堆積しており、その直上の天井部材が崩落した様子が見える。袖は芯材を用いず樹脂粘質土のみで構築されており、焚き口付近は被熱で焼土化が著しい。

柱穴：なし。 貯蔵穴：なし。 壁溝溝：なし。 重複遺構：なし。 掘り方：全面にわたり2～6cmほどの深さを掘り窪め、一部に地山礫層が露出する。 出土遺物：全体的に出土量は少ないが、埋土中からほぼ完形の須恵器杯(No. 3)や土師器杯(No. 1) 1片が出土している。

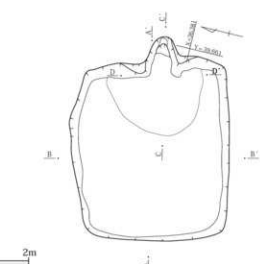


18号住居 埋土

- 1層 期色土(10R 4/0) 少量の白色軽石(径概二つ倍+浅間・黒色土ブロック(φ10～30mm)と微量の焼土粒子・小片(φ5～20mm)を含む)
- 2層 濃い黄褐色土(10R 4/0) 少量の白色軽石・黒色土ブロック(φ10～30mm)と微量の中等礫を含む(層土に類似)
- 3層 期色土(10R 4/0) 多量の黄色砂質土に土粒子を含む
- 4層 期色土(10R 3/3)と濃い黄褐色土(10R 3/0)互層状堆積(掘り面)

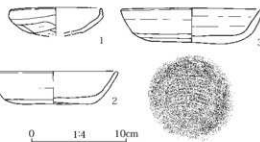


第76図 18号住居跡平・断面図



18号住居カマド 埋土

- 1層 期色土(10R 3/3) 白色軽石(φ10mm)・焼土粒(φ10mm)・灰化物含む
- 2層 黄褐色土(10R 2/2) 粘質土に期色土混ざる 焼土(φ30mm)・灰化物含む(土質部類似)
- 3層 焼土・灰化物層(使用面)
- 4層 期赤褐色土(2.5R 2/2) 粘質土(地部の焼土粒)
- 5層 期褐色土(2.5R 3/3) 粘質土(地部)
- 6層 期褐色土(2.5R 3/3) 1層に黒色土混ざる
- 7層 期褐色土(2.5R 3/2) 6層に焼土粒・灰化物含む
- 8層 焼土・灰化物・黄褐色土の混ざり(掘り面)
- 9層 8層に類似 焼土の崩壊



第77図 18号住居跡出土遺物

1・2区18号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+40cm 口縁部～体部 破片	口径 9.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼化端 良好 ③ 濃い黄褐色(10R 6/3)	土師器や空内溝。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、体部手持ちへう削り。 内面：口縁部横ナデ、体部ナデ。	
2	須恵器 杯	掘埋土中 口縁部～底部 一部欠損	口径 13.3 底径 7.6 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼化端 ③ 濃い黄褐色(10R 7/3)	ロウロ型。石打ち。 外面：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面厚減。
3	須恵器 杯	床面+14cm ほぼ完形	口径 14.8 底径 8.8 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元端 良好 ③ 黄灰(2.5R 6/1)	ロウロ型。回転石打ち。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部静止糸糸切り後、回転へう削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区19号住居跡(旧称1・2区SJ-19)

位置: X=36375 Y=-39663 主軸方向: N-57°-E

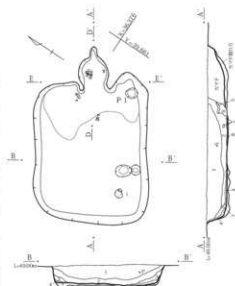
規模: 2.9m×2.4m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 34cm~43cm 埋没土: 白色軽石・黒褐色ブロック・焼土粒などを含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

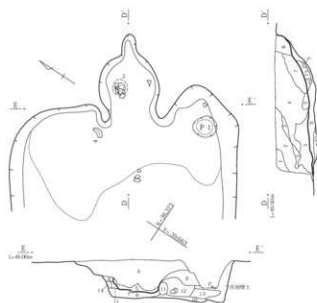
床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、にぶい黄褐色土を用いて全面にわたり2~6cmほどの貼り床を敷設している。

カマド: 北東壁の中央に位置する。両袖とも残り、残存度は比較的良好。焚き口幅は40cm、長さは150cmほどを測り、煙道は緩やかに立ち上がる。燃焼部は焼土と炭化物が厚く堆積しており、その直上の天井部材が崩落した様子が伺える。袖は芯材を用いず粘質褐色土で構築されており、焚き口付近は被熱で焼土化が著しい。土師器台付甕の台部片が出土している。柱穴: 掘り方調査の段階で径23~25cm、深さは14cmを測るピットを1基検出した。貯蔵穴: なし。壁周溝: なし。

重複遺構: なし。掘り方: 全面にわたり2~6cmほどの深さを掘り窪め、一部に地山礫層が露出する。出土遺物: カマドの焚き口付近で土師器甕の破片が多く出土した。埋土中からは土師器杯(No. 1)・台付甕(No. 2)の破片が出土している。



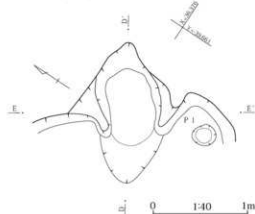
- 19号住居 埋土
- 1層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石(φ10mm)・焼土粒・炭化物含む
 - 2層 暗褐色土(00R 3/0) 黒褐色ブロック・焼土粒・炭化物含む
 - 3層 暗褐色土(00R 3/0) 黒褐色土ブロック・黄褐色土粒含む
 - 4層 暗褐色土(00R 4/0) 壁部の崩壊土
 - 5層 黒土ブロック 炭化物・焼土多量に含む [カマド上部の崩壊]
 - 6層 暗褐色土(00R 4/0) 焼土・炭化物多量に含む
 - 7層 にぶい黄褐色土(00R 5/0) 暗褐色土粒多量に含む [掘り方埋土]
 - 8層 焼土・炭化物



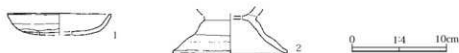
- 19号住居カマド 埋土
- 1層 黄褐色土(00R 2/3) 白色軽石(φ10mm)・焼土粒(φ10mm)含む
 - 2層 暗褐色土(00R 2/3) 白色軽石(φ10mm)・やや大きい焼土粒を含む
 - 3層 暗褐色土(00R 4/0) 粘質土・焼土含む [天井の崩壊]
 - 4層 暗褐色土(00R 2/3) 白色軽石(φ10mm)細少量、白色軽石(φ10mm)・焼土粒含む
 - 5層 暗褐色土(00R 4/0) 粘質土・焼土粒(φ10mm)・炭化物含む [燻部の崩壊土]
 - 6層 暗褐色土(00R 2/3) 暗褐色粘質土ブロック含む
 - 7層 暗褐色土(00R 4/0) 粘質土・暗褐色土粒多量 焼土多量に含む [カマド天井部の崩壊]
 - 8層 暗褐色土(00R 3/0) 焼土(φ10mm)含む
 - 9層 炭化物・焼土粒層
 - 10層 暗褐色土(00R 4/0) 住居掘り方埋土
 - 11層 にぶい黄褐色土(00R 5/0) 焼土による変質 [掘] 焼土中層付着
 - 12層 暗褐色土(00R 4/0) 黄褐色土粒少量含む
 - 13層 炭化物・焼土粒
 - 14層 暗褐色土(00R 2/3) にぶい黄褐色土粒多量 焼土含む
 - 15層 焼土



- 19号住居P1 埋土
- 1層 暗褐色土(00R 2/3)



第78図 19号住居跡平・断面図



第79図 19号住居跡出土遺物

1・2区19号住居跡出土遺物調査表

番号	器種	出土位置	残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部	破片	口径 10.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼成良好 ③ ほぼ黒(5YR 7/4)	外面：口縁部横ナデ、底部へラ削り。 内面：口縁部横ナデ、底部へラ削り。	
2	土師器 台付甕	埋土中 台部 一部欠損	破片	口径 — 底径 5.5 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成良好 ③ 灰褐色(5YR 5/2)	台部貼付。 外面：台部上半は横ナデ、輪筋のみ。台部下半は横ナデ。 内面：台部上半は輪筋のみ。台部下半は横ナデ。	

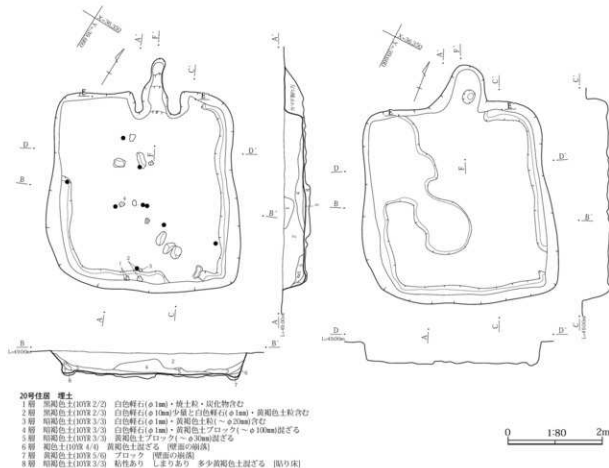
1・2区20号住居跡(旧称1・2区5J-20)

位置：X=36347 Y=-39657 主軸方向：N-30°-W 規模：4.2m×3.8m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：34cm～51cm 埋没土：白色軽石・黄褐色土粒・同ブロックなどを含む黒褐色土～暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：地山ローム土を掘り込んだ後、暗褐色粘質土を用いて全面にわたり4～6cmほどの貼り床を敷設している。カマド：北西壁の中央に位置する。両袖とも残り、残存度は比較的良好。焚き口幅は40cmほどを測り、煙道部は急峻に立ち上がる。燃焼部には焼土や炭化物・灰が堆積する。袖は芯材を用いず、褐色粘質土のみで構築されている。燃焼面からは土師器裏の破片が出土している。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：一部途切れるものの、幅3～5cm、深さ2～8cmを測る溝が廻る。

重複遺構：なし。掘り方：全面にわたり4～6cmほどの深さを掘り穿る。

出土遺物：周溝の底面よりほぼ完形の土師器杯(No. 1)が出土する。

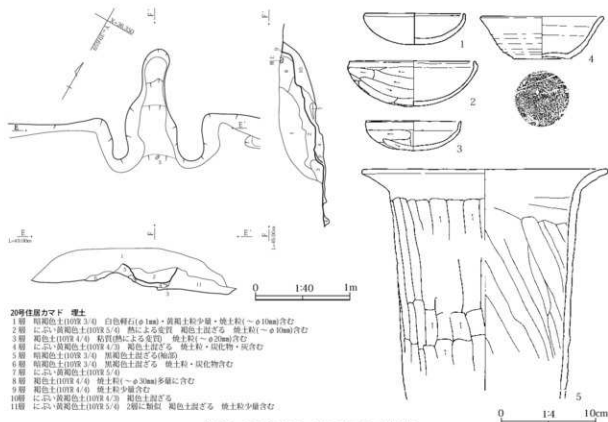


20号住居 埋土

- 1層 黄褐色土(10YR 2/2) 白色軽石(φ1cm)・焼土粒・炭化物含む
- 2層 黄褐色土(10YR 2/3) 白色軽石(φ10cm)少量と白色軽石(φ1cm)・黄褐色土粒含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石(φ1cm)・黄褐色土粒(φ20mm)含む
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石(φ1cm)・黄褐色土ブロック(φ100mm)散在
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土ブロック(φ200mm)散在
- 6層 黄褐色土(10YR 4/4) 黄褐色土粒と炭化物(壁面の剥離)
- 7層 黄褐色土(10YR 5/6) ブロック(壁面の剥離)
- 8層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘性あり しまりあり 多少黄褐色土粒と炭化物(周溝)

第80図 20号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



20号住居カマド 埋土

- 1層 粗褐色土(100% 3/4) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒少量・焼土粒(〜φ10mm)含む
 2層 赤い・黄褐色土(100% 5/4) 熱による変質 褐色土混ざる 焼土粒(〜φ30mm)含む
 3層 褐色土(100% 4/4) 粘質物による変質 褐色土混ざる 焼土粒(〜φ20mm)含む
 4層 赤い・黄褐色土(100% 4/4) 褐色土混ざる 焼土粒・炭化物・灰を含む
 5層 粗褐色土(100% 3/4) 黄褐色土混ざる(稀部)
 6層 粗褐色土(100% 3/4) 黄褐色土混ざる 焼土粒・炭化物を含む
 7層 赤い・黄褐色土(100% 5/4) 黄褐色土混ざる
 8層 褐色土(100% 4/4) 焼土粒(〜φ30mm)多量に含む
 9層 褐色土(100% 4/4) 焼土粒少量含む
 10層 赤い・黄褐色土(100% 4/4) 褐色土混ざる
 11層 赤い・黄褐色土(100% 5/4) 2層に類似 褐色土混ざる 焼土粒少量含む

第81図 20号住居跡カマド平・断面図、出土遺物

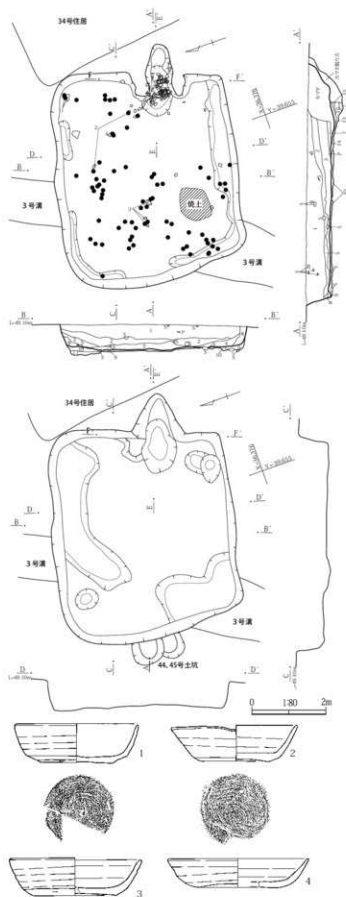
1・2区20号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	周溝底面直上 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 10.4 底径 - 器高 3.3	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 橙白(5.6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部〜底部へラ削り。器面厚肉のため単位不割明。口縁部内湾。 内面：口縁部横ナデ、体部〜底部ナデ。	周溝付出土品。
2	土師器 杯	床面直上 口縁部〜底部 一部欠損	口径 13.2 底径 - 器高 4.2	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 橙白(6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部〜底部ナデ後、へラ削り。 内面：口縁部〜体部横ナデ、底部ナデ。	
3	土師器 杯	床面+7cm 口縁部〜底部	口径 10.0 底径 - 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒・中礫 ② 酸化焼 良好 ③ 橙(7.5/6.6)	外面：口縁部横ナデ、体部〜底部手持ちへラ削り。 内面：口縁部〜体部横ナデ、底部ナデ。	
4	須恵器 杯	床面+34cm 口縁部〜底部	口径 12.6 底径 6.0 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.9/7.2)	口クロ整形。回転石回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部〜体部回転ナデ。底部回転未切り。 内面：口縁部〜底部回転ナデ調整。	
5	土師器 長頸瓶	龍使川面直上 口縁部〜胴部 破片	口径 25.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好 ③ 橙(2.5/6.6)	輪切み。 外面：口縁部横ナデ、体部、底部手持ちへラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部へラナデ。	

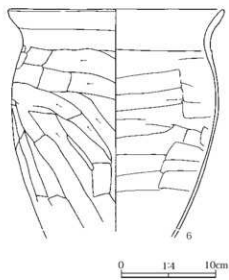
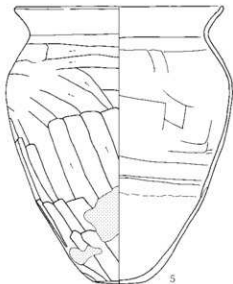
1・2区21号住居跡 (旧称 1・2区SJ-21)

位置：X=36379 Y=-39655 主軸方向：N-109° - E 規模：4.6m×3.9m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：34cm〜43cm 埋没土：白色軽石・黄褐色土粒などを含む黒褐色〜暗褐色土で埋没し、その堆積は自然堆積の様相を呈する。また、埋没の途上において人為的に礫が投げ込まれている。床面：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり褐色土を用いて2〜4cmほど貼り床を敷設する。カマド：南東壁中央やや南寄りに位置する。両袖とも残り、残存度は比較的良好。焚き口幅は50cm、長さは50cmほどを測り、煙道部は急峻に立ち上がる。燃焼部は灰が厚く堆積しており、焼土と炭化物も多く認められる。袖は芯材を用いずに褐色粘質土をもって構築されており、焚き口付近は被熱で焼土化が著しい。出土遺物として2個体の土師器製の破片が出土している。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：一部において幅14〜54cm、深さ1〜30cmの壁溝を検出した。重複遺構：3号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相から、本遺構の方が新しいと判断される。掘り方：全面にわたり2〜4cmほどのほぼ均質に掘り窪められ、西半部では地山礫層が露出する。出土遺物：全体的に出土量は少ないが、カマドの焚き口付近で土師器製(No. 5・6)が出土し、床面直上からは須恵器杯(No. 2・3)が出土している。

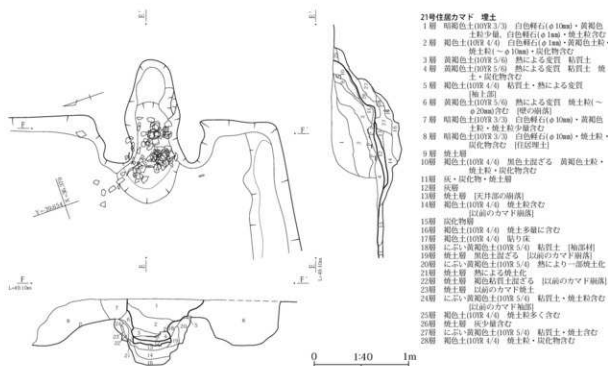


- 21号住居 礎土
- 1層 黒褐色土(10PR 2/3) 白色軽石(φ10mm)少量・(φ1mm)・焼土粒・炭化物含む
 - 2層 黒褐色土(10PR 2/3) 黒色土ブロック・白色軽石(φ1mm)・焼土粒含む
 - 3層 黒褐色土(10PR 3/3) 黒色土ブロック・黄褐色土粒・白色軽石(φ1mm)・焼土粒・(φ1mm)含む
 - 4層 黒色土(10PR 2/1) 褐色土土粒少量・焼土粒・炭化物含む
 - 5層 黒色土(10PR 2/1) 褐色土土粒少量・焼土粒・炭化物含む
 - 6層 黄褐色土(10PR 3/4) 雑多層を含む
 - 7層 褐色土(10PR 4/0) 礫による重質 [カマド土部の崩壊]
 - 8層 褐色土(10PR 4/0) 壁面の崩壊土
 - 9層 褐色土(10PR 4/0) 燻煙層上
 - 10層 褐色土(10PR 4/0) 土層
 - 11層 褐色土(10PR 4/0) 黄褐色土との混ざり 焼土粒含む
 - 12層 褐色土(10PR 4/0) 黄褐色土との混ざり
 - 13層 灰層
 - 14層 灰化物層
 - 15層 焼土層 [天月部の崩壊]
 - 16層 褐色土(10PR 4/0) 焼土粒含む
 - 17層 褐色土(10PR 4/0) 焼土多量を含む



第82図 21号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物



第83図 21号住居跡カマド平・断面図

1・2区21号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	壁面直下	口径 12.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	コクロ型形。回転右回り。	器面厚減。
		口縁部～底部	底径 7.4	② 還元焰 やや不良	外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。	
			器高 4.1	③ 淡黄(5)8/3	内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面直上	口径 13.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	コクロ型形。回転右回り。口縁部やや外反。	器面厚減。
		口縁部～底部 (片1)	底径 7.2	② 還元焰 良好	外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転条切り。	
			器高 3.9	③ 灰青(5)0	内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面直上	口径 13.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	コクロ型形。回転右回り。	器面厚減。
		口縁部～底部	底径 8.9	② 還元焰 やや不良	外面：口縁部～体部上半回転ナデ。体部下半～底部回転ヘラ削り。	
			器高 4.0	③ 灰(7.5)5/1	内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面+29cm	口径 14.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	コクロ型形。回転右回り。	器面厚減。
		口縁部～底部	底径 9.0	② 還元焰 良好	外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。	
			器高 3.0	③ 灰灰(10)5/1	内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	土師器 甕	埋理土中	口径 21.8	① 細砂粒・粗砂粒	輪組み。	器面厚減。
		口縁部～底部	底径 6.0	② 還元焰 良好	外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。	
			器高 29.3	③ 明赤系(5)5/5	内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	土師器 甕	埋理土中	口径 22.4	① 細砂粒・粗砂粒	輪組み。	器面厚減。
		口縁部～胴部	底径 7.3	② 還元焰 良好	外面：口縁部～体部回転ナデ。胴部上半側方向のヘラ削り。胴部中央側方向のヘラ削り。	
			器高 一	③ 明赤系(5)5/5	内面：口縁部～底部回転ナデ。胴部ヘラナデ。	

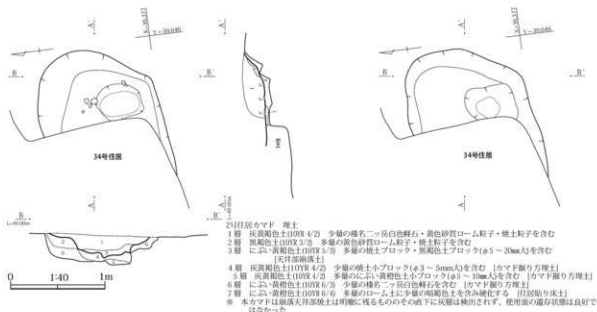
1・2区22号住居跡 (旧称 1・2区5J-22)

位置：X=36377 Y=-39646 主軸方向：不明。規模：不明。平面形状：不明。残存深度：33cm。

埋没土：少量の白色軽石・黄色砂質ローム粒子を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

床面：5～6cmほどの厚さで硬化した。にぶい黄褐色土を用いた貼り床を確認する。カマド：不明。柱穴：不明。

貯蔵穴：南東コーナー部において、径37～48cm深さ11cmを測る楕円形の掘り込みを検出するものの、貯蔵穴とは断定出来ない。壁周溝：不明。重複遺構：34号住居跡と重複し、34号住居跡のカマドの存在からこれより新しくない事は明らかである。掘り方：不明。出土遺物：埋土中より少量の遺物を出土するのみ。所見：34号住居跡南東コーナー部に接して検出され、34号住居跡により壊された遺構との判断で調査を行ったものの、重複する住居跡である確認はつかず、34号住居跡と南側壁を同じくすることから34号住居跡の張り出し状態である可能性も高い。



第84図 22号住居跡カマド平・断面図、カマド掘り方平面図

1・2区23号住居跡 (旧称1・2区5J-23)

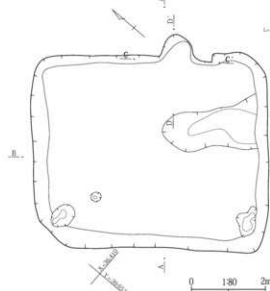
位置：X=36411 Y=-39650

主軸方向：N-50°-E 規模：4.1m×5.0m

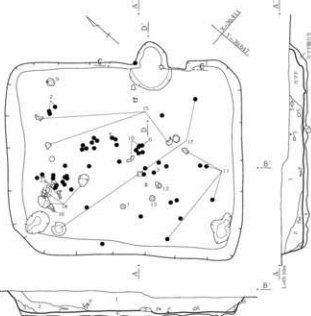
平面形状：隅丸長方形 残存深度：45cm～51cm

埋没土：白色軽石・焼土粒を含む黒褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中より出土の礫は、埋没途上において人為的に投げ込まれたものと思われる。床面：地山ローム面を掘り込んだ後、全面にわたり褐色粘質土を用いて2～10cmほどの貼り床を敷設する。

カマド：北東壁中央やや東寄りに位置する。遺存状態は悪く、灰層もなく使用面がはっきりしない



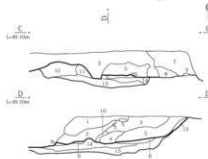
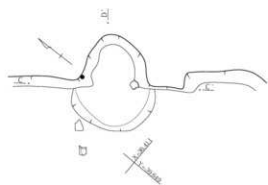
第85図 23号住居跡平・断面図、掘り方平面図



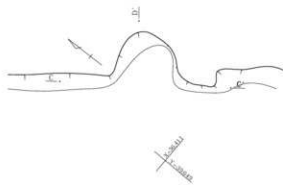
- 23号住居 埋土
- 1層 灰褐色土(10YR 2/3) 白色軽石(φ10cm)・(φ1m)・燻多量・焼土粒・炭化物含む
 - 2層 暗褐色土(10YR 3/0) 黄褐色土ブロック・黒色土ブロック少量・炭化物含む
 - 3層 褐色土(10YR 4/0) 褐色土少量・埋没の高嶺
 - 4層 暗褐色土(10YR 3/0) 掘り方・粘質土・隅り床

いことから、住居廃棄時に人為的に破壊したものと考えられる。柱穴：掘り方調査時において住居南及び西コーナー部より検出された2穴のピットが柱穴となるものと思われる。壁溝満：なし。重複遺構：なし。掘り方：全面にわたり2～10cmほどの深さで掘り穿め、一部に地山礫層が露出する。出土遺物：床面直上で土師器甕(No.13)、須恵器甕(No.15・17)・高盤(No.11)の破片が出土した他、埋土中から完形の土師器杯(No.1)や墨書のある須恵器高盤(No.12)、須恵器杯・甕・盤、土師器杯の破片が出土する。

第3章 検出遺構と出土遺物

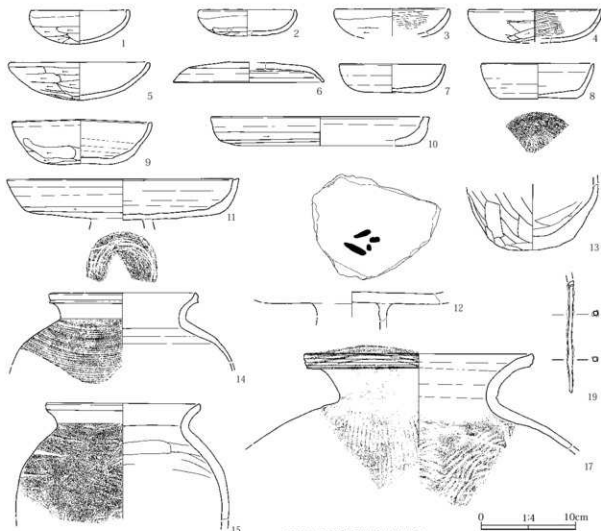


第86図 23号住居跡カド平・断面図

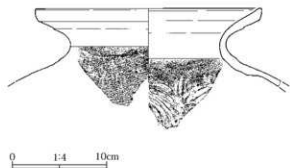


第87図 23号住居跡カド掘り方

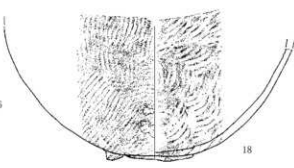
- 23号住居カド 埋土
- 1層 黄褐色土(100R 3/20)
 - 2層 黄褐色土(100R 3/20)
 - 3層 黄褐色土(100R 3/20)
 - 4層 黄褐色土(100R 3/20)
 - 5層 黄褐色土(100R 3/20)
 - 6層 黄褐色土(100R 4/0)
 - 7層 黄褐色土(100R 2/3)
 - 8層 黄褐色土(100R 3/20)
 - 9層 灰化物質
 - 10層 黄褐色土(100R 5/0)
 - 11層 黄褐色土(100R 5/0)
 - 12層 黄褐色土(100R 4/0)
 - 13層 黄褐色土(100R 4/0)
 - 14層 黄褐色土(100R 4/0)
 - 15層 黄褐色土(100R 4/0)
- 白色輝石(φ10mm)・磁・焼土粒含む
 白色輝石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼含む 焼土粒(〜φ10mm)大きくなる
 白色輝石(φ10mm)・黄褐色土粒多量・小石・焼土粒(〜φ5mm)含む
 焼土粒(〜φ20mm)・灰化物質含む
 焼による先質 焼土粒含む 黄褐色土混ざる [天井の崩落]
 灰化物・焼土粒含む
 白色輝石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼多量に・焼土粒含む
 白色輝石(φ10mm)・小石・焼土粒含む(焼土粒混)
 ほとんど混ざりなし
 焼による先質 [焼面] 焼土粒少量含む
 黄褐色土混ざる
 焼土粒含む 焼混ざり
 少量の焼土粒を含む [掘り方埋土]
 粘質土 [掘り方埋土]



第88図 23号住居跡出土遺物(1)



16



18

第9図 23号住居跡出土遺物(2)

1・2区23号住居跡出土遺物観察表

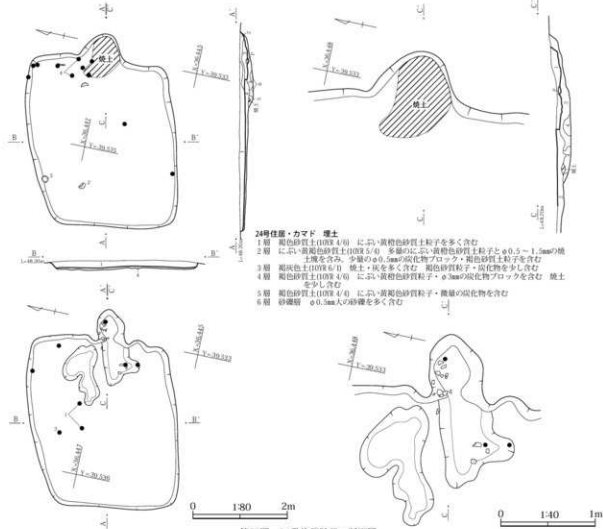
番号	種別	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
					①胎土	②焼成	③色調		
1	土師器	杯	口縁+5cm	口径 10.0	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	外面：口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半～底部手持ちへう割り。口縁部内溝。 内面：口縁部横ナデ、体部～底部ナデ調整。	
			底径 -	底径 -	② 酸化焰 良好	② 酸化焰	② 赤褐色		
2	土師器	杯	口縁部一部欠損	口径 10.0	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口縁部平や9割。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへう割り。 内面：口縁部～底部横ナデ。	
			体面+10cm	口径 10.0	② 酸化焰 良好	② 酸化焰	② 赤褐色		
3	土師器	杯	体面+5cm	口径 12.0	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	外面：口縁部横ナデ、体部へう割り。 内面：口縁部～体部横ナデ後、横と一部斜め方向のへう磨き。	
			口縁部～体部	口径 12.0	② 酸化焰 良好	② 酸化焰	② 赤褐色		
4	土師器	杯	体面+9cm	口径 13.8	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	外面：口縁部横ナデ、体部へう割り。 内面：口縁部～底部横ナデ後、横と一部斜め方向のへう磨き。	No.5と同一個体。
			口縁部～底部	口径 13.8	② 酸化焰 良好	② 酸化焰	② 赤褐色		
5	土師器	杯	埋土中	口径 14.6	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	外面：口縁部横ナデ、口縁部～底部手持ちへう割り。 内面：口縁部横ナデ、体部～底部ナデ調整。	
			口縁部～底部	口径 14.6	② 酸化焰 良好	② 酸化焰	② 赤褐色		
6	須恵器	杯蓋	体面+23cm	口径 4.0	① 細砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：天井部上半回転へう割り、天井部下半～口縁部横ナデ。 内面：天井部～口縁部回転ナデ。	
			口縁部～天井部	口径 4.0	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 6/1		
7	須恵器	For 器	体面+8cm	口径 10.9	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。回転石回り。 外面：口縁部～体部横ナデ、底部回転へう割り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
			口縁部～底部	口径 10.9	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 5/1		
8	須恵器	杯	埋土中	口径 11.8	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転赤切り後、回転へう割り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
			口縁部～底部	口径 11.8	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 5/1		
9	須恵器	杯	体面+3cm	口径 14.6	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：口縁部～体部上半回転ナデ、体部下半～底部手持ちへう割り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
			口縁部～底部	口径 14.6	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 5/1		
10	須恵器	盤	体面+8cm	口径 23.0	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：口縁部～体部上半横ナデ、体部下半～底部回転へう割り。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整、底部ナデ調整。	内・外面に自然釉付着。
			口縁部～底部	口径 23.0	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 4/0		
11	須恵器	高盤	体面直上	口径 24.3	① 細砂粒・粗砂粒・雜糠	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：体部～底部回転へう割り、脚部は貼付。 内面：底部ナデ調整、口縁部回転ナデ調整。	
			口縁部～底部	口径 24.3	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 6/1		
12	須恵器	高盤	体面+42cm	口径 8.2	① 細砂粒・粗砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。回転石回り。 外面：底部へう割り、脚部貼付。 内面：天井部ナデ調整。	内面に黒着。
			口縁部～底部	口径 8.2	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 4/1		
13	土師器	甕	体面直上	口径 -	① 細砂粒・粗砂粒・雜糠	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：胴部ナデ後、腹方向のへう割り、底部へう割り。 内面：胴部～底部ナデ調整。	
			胴部下半～底部	口径 -	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 赤(白) 5/6		
14	須恵器	甕	体面+8cm	口径 15.2	① 細砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部方キメ。 内面：口縁部～胴部回転ナデ調整。	
			口縁部～胴部	口径 15.2	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 8/0		
15	須恵器	甕	体面直上	口径 16.1	① 細砂粒・粗砂粒・雜糠	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部腹方向のナデ。 内面：口縁部回転ナデ、胴部～胴部ナデ調整、胴部直あり。	
			口縁部～胴部	口径 16.1	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 7/3		
16	須恵器	甕	体面直上	口径 23.6	① 細砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部格子叩き目。 内面：口縁部～胴部回転ナデ調整、胴部ナデ直。	
			口縁部～胴部上半	口径 23.6	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 5/0		
17	須恵器	甕	体面直上	口径 23.9	① 細砂粒・粗砂粒・雜糠	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。 外面：口縁部横ナデ、胴部腹方向のキ目ナデ、横ナデ。胴部格子叩き目。 内面：口縁部～胴部回転ナデ調整、胴部同心円状ナデ直。	
			口縁部のみ完形	口径 23.9	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 灰(白) 5/8		
18	須恵器	甕	体面直上	口径 -	① 細砂粒	① 細砂粒	① 赤褐色	口ウ口整形。底部丸底。 外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部平行叩き目が残る。 内面：口縁部～胴部回転ナデ調整、胴部ナデ直。	胴部外面に窯体の砂が付着。
			胴部～底部	口径 -	② 還元焰 良好	② 還元焰	② 黒(白) 2/0		

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
19	鉄器	鏝	胴部～底部片	11.9	8.5	0.7	7.0	

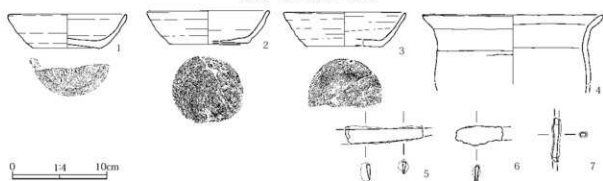
3区24号住居跡 (旧称3区5J-24)

位置：X=36447 Y=-39535 主軸方向：N-74°-E 規模：3.6m×3.1m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：6～10cm 埋没土：溝跡氾濫に由来するにふい黄褐色砂質土が埋土中に堆積する。床面：地山をそのまま整形し床面としている。カマド：東壁の中央やや南寄りに位置する。遺存状態は不良。想定される焚き口の幅は40cmを測る。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：カマド前の一部に掘り方が認められる。出土遺物：埋土中から土師器甕(No. 4)、黒色土器杯の破片、磨石(台石)(No. 5)など少量の遺物が出土している。所見：本遺構は8号溝跡の氾濫決壊部付近に位置する。住居埋土中に氾濫由来土も多く混入するものの、氾濫の影響を直接的に受けたか否かは明らかではない。隣接する1・2区の東部に展開する一集落に属するものと思われる。



第90図 24号住居跡平・断面図



第91図 24号住居跡出土遺物

3区24号住居跡出土遺物観察表

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①土質 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+6cm	口径 12.4	① 細砂粒・粗砂粒・細糠 ② 還元焰 やや不良 ③ 濃黄(5YR 8/3)	口クロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～体部@転ナデ。底部@転糸切り。 内面：口縁部～底部@転ナデ調整。	器面厚減。
		口縁部-底部 1/3	底径 7.4 器高 3.6			
2	須恵器 杯	床面+6cm	口径 12.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(5Y 6/1)	口クロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～体部@転ナデ。底部@転糸切り。 内面：口縁部～底部@転ナデ調整。	
		口縁部-底部 1/2	底径 8.3 器高 3.5			
3	須恵器 杯	床面+5cm	口径 12.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(5Y 6/1)	口クロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部@転ナデ。底部@転糸切り後、底部周 辺は回転へつ割り。 内面：口縁部～底部@転ナデ調整。 輪結び。	
		口縁部-底部 破片	口径 8.0 器高 3.6			
4	土師器 甕	床面+3cm	口径 18.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ にぶい相(7.5YR 5/4)	外面：口縁部@ナデ。胴部横方向のへら割り。 内面：口縁部@ナデ。胴部へらナデ。	
		口縁部-胴部上端 破片	底径 - 器高 -			

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
5	鉄器	刀子	刃部片	8.2	1.9	1.0	19.0	酸化激しい。
6	鉄器	刀子	刃部片	5.1	2.0	0.8	6.0	酸化。腐食激しい。
7	鉄器	鏝	刃部片	4.7	0.9	0.8	4.0	酸化。腐食激しい。

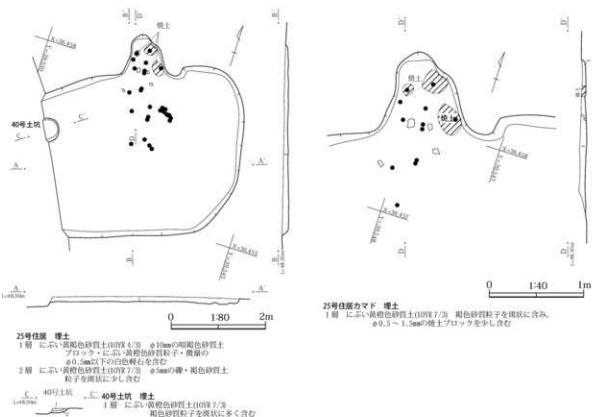
3区25号住居跡 (旧称3区SJ-25)

位置：X=36456 Y=-39547 規模：3.4m×不明 主軸方向：N-20°-W 平面形状：隅丸長方形

残存深度：1～11cm 埋没土：8号溝跡の氾濫に由来するにぶい黄褐色砂質土が堆積する。

床面：地山を整形し、そのまま床面としている。カマド：北壁のはぼ中央に位置するものと思われる。遺存状態は不良のため規模・構造共に不明である。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：40号土坑跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：なし。

出土遺物：カマドのその前庭部で土師器杯・甕、須恵器甕の破片が数点出土したのみである。所見：本遺構は24号住居跡と同様に、8号溝跡の氾濫決壊部付近に位置する。住居埋土中に氾濫由来土も多く混入するものの、氾濫の影響を直接的に受けたか否かは明らかではない。隣接する1・2区の東部に展開する一集落に属するものと思われる。



第92図 25号住居跡平・断面図、カマド掘り方平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区26号住居跡 (旧称1・2区SJ-26)

位置: X=36356 Y=-39563

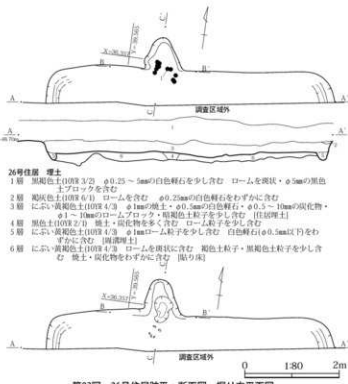
主軸方向: N-7°-W 規模: 不明×6.1m

平面形状: 不明。 残存深度: 38cm~50cm

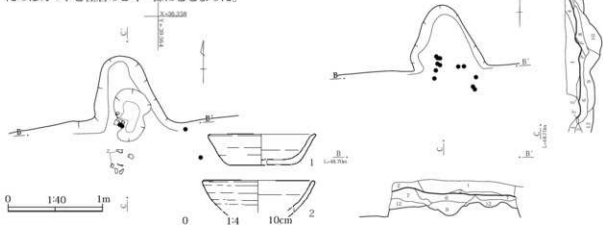
埋没土: 白色軽石・焼土粒を含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたりにぶい黄褐色土を用いて5~15cmほどの貼り床を敷設している。

カマド: 北壁中央やや西寄りに位置する。残存度は悪く、想定される焚き口の幅は50cmほどである。灰層面が一部残り、煙道部は緩やかに立ち上がる。柱穴: 不明。貯蔵穴: 不明。壁間溝: 東および西壁面において検出され、幅15~18cm、深さ15~16cmを測る。

重複遺構: 不明。掘り方: 調査区壁面に残る住居跡断面から、5~15cmほどの深さの掘り方が認められる。出土遺物: 掘り方埋土中から須恵器杯 (No. 2) の破片が出土する。 所見: 住居の大半は調査区域外になるため、検出できたのはカマドと住居のごく一部にとどまった。



第93図 26号住居跡平・断面図、掘り方平面図



第94図 26号住居跡カマド、カマド掘り方平・断面図、出土遺物

26号住居カマド 埋土

- | | | | | |
|-----|---|------|--|------------|
| 1 層 | にぶい黄褐色土(01R 4/3) φ0.5mmの白色軽石・φ0.25mmのローム粒子・炭化物をわずかに含む | 7 層 | にぶい黄褐色土(01R 4/3) 焼土・炭化物をわずかに含む | ローム粒子を少し含む |
| 2 層 | にぶい黄褐色土(01R 4/3) 炭化物・焼土・ローム粒子を多く含む | 8 層 | 黄褐色土(01R 4/1) 灰を多く含む・φ1~3mmの焼土ブロックを多く含む | 炭化物を含む |
| 3 層 | にぶい黄褐色土(01R 4/3) ローム粒子を少し含む | 9 層 | 黄褐色土(01R 4/1) φ1~5mmの焼土ブロック・灰を多く含む | 炭化物を含む |
| 4 層 | 灰黄褐色土(01R 4/3) φ0.25mmの焼土を少し含む・φ1~2mmの焼土ブロックを多く含む | 10 層 | にぶい黄褐色土(01R 4/3) φ1mmの焼土ブロック・炭化物・褐色土粒子・灰黄褐色土(01R 4/2) にぶい黄褐色土粒子を少し含む | |
| 5 層 | 褐色土(01R 4/4) 白色軽石をわずかに含む・φ0.5mmの焼土ブロック・褐色土粒子をわずかに含むにぶい黄褐色土粒子を少し含む | 11 層 | にぶい黄褐色土(01R 4/3) ロームを多く含む | 住居・掘り方埋土 |
| 6 層 | にぶい黄褐色土(01R 4/3) φ0.5~1mmの焼土ブロック・炭化物・ロームブロック(φ1~3mm)を少し含む | | | |

1・2区26号住居跡出土遺物観察表

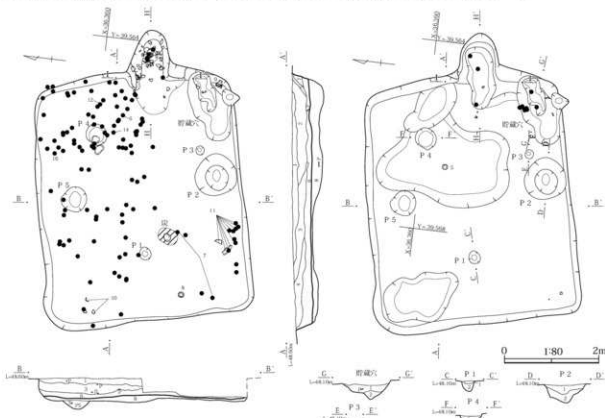
番号	種別	出土位置	残存状態	計測値 cm	① 胎土 ② 構成 ③ 色調			成形手法 調整手法	備考
					① 胎土	② 構成	③ 色調		
1	須恵器 杯	埋没土中	I層部~底部	I層 11.2	① 細砂粒・粗砂粒	コケ口整型。I層部やや外反。			
				底径 6.8	② 還元層 不良	外面: I層部~底部回転ナデ調整。			
2	須恵器 杯	床面~6cm	I層部~底部 破片	底径 3.3	③ 灰(赤5層)	内面: I層部~底部回転ナデ調整。			
				I層 11.7	① 細砂粒・粗砂粒	外面: I層部~底部回転ナデ調整。			
				底径 -	② 還元層 良好	内面: I層部~底部回転ナデ調整。			
				深さ -	③ 灰(7.5Y 6/1)				

1・2区27号住居跡(旧称1・2区5J-27)

位置：X=36359 Y=-39567 主軸方向：N-78°-E 規模：5.3m×4.3m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：34cm～40cm 埋没土：白色軽石と黄粘土粒などを含むぶい黄褐色土～灰黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたりぶい黄褐色土を用いて3～30cmほどの貼り床を敷設している。カマド：東壁中央やや南寄りに位置する。焚き口幅は50cmを測り、煙道部は急峻に立ち上がる。焚き口部から煙道部に向かって灰が堆積しており、焼土と炭化物も多く認められる。袖は芯材を用いず葺灰粘質土で構築され、一部に焼土とローム粒子を含むことから、補修・再構築が想定される。

柱穴：掘り方調査の段階で径19～89cm、深さ10～41cmを測る5基のピットを検出した。また、住居外北側に住居壁と並行に等間隔で並ぶ4穴のピット(P1301～304)を検出するが、対応する南側に調査区域外となるため、屋蓋柱穴とは断定し得ない。貯蔵穴：カマドの南側、住居南東コーナー部において検出。長軸155cm、短軸80cmの楕円形を呈し、深さは30cmを測る。壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：カマド前底部を除き3～30cmほどの深さで掘り窪める。出土遺物：全体的に出土量は多く、南東コーナーの壁直下にてほぼ完形の台付甕(No. 9)が出土したほか、床面直上で土師器台付甕(No. 10)・甕(No. 11)、須恵器杯(No. 6・7)・椀(No. 8)などが出土している。カマド埋土中からは、ほぼ完形の土師器杯(No. 2)などが出土。その他には土錘(No. 12・13)や砥石(No. 14)などが出土している。



27号住居 埋土

- 1層 ぶい黄褐色土(00R 5/3) φ1mmの白色軽石・φ1～2mmの焼土ブロック・黒色土粒子・褐色土粒子(φ1mm以下)を少し含む。炭化物をわずかに含む。
- 2層 ぶい黄褐色土(00R 5/3) φ0.5～10mmの焼土ブロックを多く含む。φ0.5mmの土粒子を少し含む。炭化物をわずかに含む。
- 3層 ぶい黄褐色土(00R 5/3) φ0.5mmの焼土ブロック・φ0.5mmの白色軽石・炭化物・褐色土粒子を少し含む。
- 4層 灰黄褐色土(00R 4/2) 焼土(φ0.5mm以下)・φ0.25mmの白色軽石をわずかに含む。φ0.5mmの褐色土粒子・褐色土粒子を少し含む。
- 5層 ぶい黄褐色土(00R 5/3) 褐色土粒子を混状に含む。褐色土粒子を少し含む。粘質性をもち。
- 6層 灰黄褐色土(00R 4/2) φ0.5mmの焼土・黒褐色土粒子・φ0.25mmの白色軽石をわずかに含む。ローム粒子・褐色土粒子を少し含む。
- 7層 黒褐色土(00R 3/1) 褐色土粒子を少し含む。
- 8層 ぶい黄褐色土(00R 4/3) 焼土・ローム粒子・白色軽石を少し含む(隅り限)

27号住居貯蔵穴 埋土

- 1層 ぶい黄褐色土(00R 4/3) 焼土・炭化物・φ2mmのロームブロック・φ2mmの褐色土ブロックを少し含む。
- 2層 ぶい黄褐色土(00R 4/3) φ1mmの炭化物を少し含む。φ0.5mmのロームブロックをわずかに含む。

27号住居P1 埋土

- 1層 ぶい黄褐色土(00R 4/3) 白色軽石・φ0.5mmの黒褐色土ブロックを少し含む。
- 2層 ぶい黄褐色土(00R 4/3) φ0.5mmのロームブロックを少し含む。

27号住居P2 埋土

- 1層 ぶい黄褐色土(00R 4/3) 白色軽石・粘質性を少し持つ黒褐色土粒子を少し含む。
- 2層 黒褐色土(00R 3/1) 白色軽石を少し含む。焼土・炭化物をわずかに含む。

27号住居P3 埋土

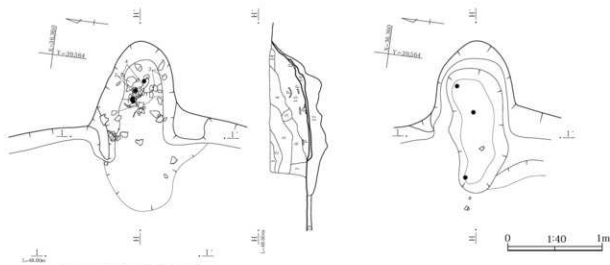
- 1層 ぶい黄褐色土(00R 4/3) 焼土をわずかに含む。

27号住居P4 埋土

- 1層 黒褐色土(00R 3/1) ローム粒子をわずかに含む。

第95図 27号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

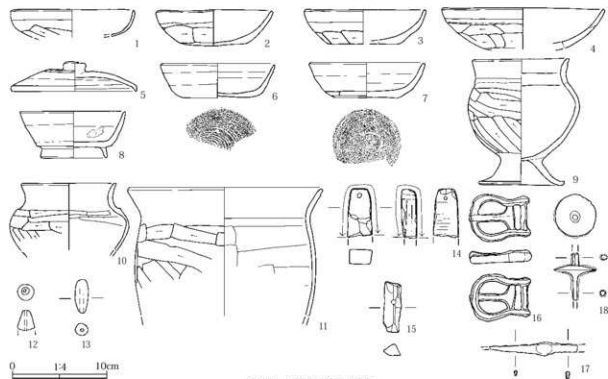


27号住居カマド 埋土

- 1層 におい・黄褐色土(0005/3) ϕ 0.5mmの白色軽石・ ϕ 0.5mmの焼土・ ϕ 0.5mmの礫をわずかに含む 黒褐色土粒子を少し含む
- 2層 黒褐色土(0005/3) ϕ 0.5mmの白色軽石・ ϕ 1mmの焼土・炭化物をわずかに含む におい・黄褐色土 粒子を少し含む
- 3層 黒褐色土(0005/3) ϕ 1~5mmの焼土・ ϕ 0.5mmの白色軽石を少し含む ϕ 1mmの褐色土粒子を含む ϕ 1mmの炭化物をわずかに含む
- 4層 黒褐色土(0005/3) ローム粒子・ ϕ 1mmの褐色土粒子を少し含む 焼土・白色軽石をわずかに含む
- 5層 焼土粒子・白色軽石をわずかに含む
- 6層 黒褐色土(0005/3) ϕ 1~5mmの焼土・におい・黄褐色土粒子・褐色土粒子・ ϕ 0.25mmの黒褐色土ブロックを少し含む ϕ 0.5mmの白色軽石をわずかに含む
- 7層 黒褐色土(0005/3) におい・黄褐色土粒子・褐色土粒子を含む ϕ 0.5mmの焼土・ ϕ 0.5mm以下の白色軽石をわずかに含む ϕ 0.25mmの黒褐色土ブロックを少し含む
- 8層 黒褐色土(0005/3) ロームを少し含む 炭化物をわずかに含む
- 9層 黒褐色土(0005/3) ロームを多く含む 焼土・ ϕ 0.25mmの黒褐色土ブロックを少し含む
- 10層 黒褐色土(0005/3) ロームを少し含む 焼土をわずかに含む

- 11層 黒褐色土(0005/4) 褐色土粒子・ローム粒子をわずかに含む
- 12層 黒褐色土(0005/3) におい・黄褐色土粒子を含む ϕ 0.5mmの焼土・ ϕ 1mmの褐色土粒子をわずかに含む ϕ 0.5mmの焼土を少し含む [カマド跡面]
- 13層 におい・黄褐色土(0005/4) ロームを多く含む ϕ 0.5mmの焼土・炭化物・ ϕ 1mmの褐色土ブロックを少し含む 黒褐色土ブロック(ϕ 1~10mm)を散見に含む
- 14層 におい・黄褐色土(0005/4) ϕ 2mmの焼土を多く含む ϕ 1mmの黒褐色土ブロックを少し含む 白色軽石をわずかに含む
- 15層 におい・黒褐色土(0005/3) 焼土・ローム粒子・褐色土粒子をわずかに含む 炭化物を少し含む [カマド遺跡面]
- 16層 黒褐色土(0005/3) 灰を多く含む 炭化物を含む 焼土を少し含む [カマドの埋土面]
- 17層 におい・黄褐色土(0005/3) ϕ 1mmの焼土を多く含む 炭化物を少し含む
- 18層 黒褐色土(0005/3) 焼土・ロームを少し含む [カマドの堀]
- 19層 黒褐色土(0005/4) 焼土をわずかに含む [カマドの堀]
- 20層 におい・黄褐色土(0005/3) ϕ 0.5mmのローム粒子・褐色土粒子を少し含む [27号50m]
- 21層 におい・黄褐色土(0005/3) 焼土・炭化物・ローム粒子を少し含む [11号の堀り堀]

第96図 27号住居跡カマド平・断面図



第97図 27号住居跡出土遺物

1・2区27号住居跡出土遺物整理表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	① 胎土 ② 焼成 ③ 色調			成形手法 調整手法		備考
				① 胎土	② 焼成	③ 色調	成形手法	調整手法	
1	土師器 杯	前庭穴、平埋土中 口縁部~底部 破片	口径 12.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ 明褐色(2.5YR 7/2)	外面:口縁部横ナデ、体部平ナデ、底部へう割り。 内面:口縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。				
2	土師器 杯	埋土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.0 底径 7.2 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ 褐色(6.5)	外面:口縁部横ナデ、体部横、底部手持ちへう割り。 内面:口縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。				
3	土師器 杯	埋土中 口縁部~底部 2/3	口径 12.6 底径 8.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ 褐色(6.5)	外面:口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半斜方向へう割り。 内面:口縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。				
4	土師器 杯	埋土中 口縁部~体部 底部欠損	口径 17.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細焼 ② 焼化焙 良好 ③ 褐色(6.5)	外面:口縁部横ナデ、体部へう割り。 内面:口縁部~体部横ナデ。				
5	須恵器 杯蓋	床面+15cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.1 横径 2.0 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒・細焼 ② 還元焙 良好 ③ 灰白(7.0)	ロケ口整形。 外面:天井部上半へう割り。天井部下半~口縁部横ナデ、側部取付。 内面:天井部~口縁部横ナデ。		蓋みあり。		
6	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/4	口径 11.9 底径 8.2 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焙 良好 ③ 灰白(7.0)	ロケ口整形。回転石回り。 外面:口縁部~体部横ナデ、底部回転車切り。 内面:口縁部~底部横ナデ調整。				
7	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/3	口径 12.0 底径 6.7 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細焼 ② 還元焙 良好 ③ 褐色(10YR 6/1)	ロケ口整形。回転石回り。 外面:口縁部~体部横ナデ、底部へう割り。 内面:口縁部~底部横ナデ調整。				
8	須恵器 椀	床面直上 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 11.0 底径 8.0 器高 4.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焙 やや不良 ③ 黄灰(2.5Y 4/1)	ロケ口整形。回転石回り。 外面:口縁部~体部横ナデ、底部へう割り。高台取付。 内面:口縁部~底部横ナデ調整。		蓋付蓋土器。		
9	土師器 台付椀	埋土直下 ほぼ完形 一部欠損	口径 10.0 底径 8.9 器高 13.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ 灰褐(7.5YR 4/2)	輪組み、右部取付。 外面:口縁部と台部横ナデ。側部上半横方向のへう割り。 側部下半斜方向のへう割り。 内面:口縁部~底部横ナデ、側部ナデ。				
10	土師器 台付椀	床面直上 口縁部~側部上半 側部下半~台部欠損	口径 9.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ 明褐色(7.5YR 3/1)	輪組み、右部取付。 外面:口縁部と台部横ナデ。側部上半横方向のへう割り。 内面:口縁部と台部横ナデ、側部ナデ。				
11	土師器 甕	床面直上 口縁部~側部上半 1/3	口径 20.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ 濃い褐色(5YR 7/4)	輪組み。 外面:口縁部横ナデ。側部上位横方向、中位斜方向のへう割り。 内面:口縁部横ナデ。側部ヘラナデ。				
12	土製品 鉢	床面+24cm 破片	長さ 2.1 径 1.8 孔 0.3	① 細砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ 灰黄褐色(10YR 6/2)	下4欠損。上端部平坦面あり。外面ナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量:5g				
13	土製品 鉢	埋土中 完形	長さ 3.55 径 1.4 孔 0.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ 濃い褐色(5YR 7/4)	両端部とも深溝ついている。外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量:5g				

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	概要
14	石製品	砥石	下部欠損	4.2	2.6	1.6	34	砥石石	孔径0.4cm表・裏、両側面、頂部とも使用されている。
15	石製品	砥石	完形	11.3	4.3	1.2	82	砥石石	
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	概要	
16	鉄製品	絞鉄	完形	6.4	5.0	1.4	28.0	幅幅2.7cmか、残存状態。	
17	鉄器	刀子	柄~刃部片	9.3	1.4	0.7	7.0	刃部分の錆が強い。	
18	鉄器	紡錘車	弾み車部	5.0	4.6	0.8	21.0	輪径0.5cm	

1・2区28号住居跡 (旧称1・2区SJ-28)

位置: X=36376 Y=39570 主軸方向: N-77° - E 規模: 3.0m×3.3m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 27cm~35cm 埋没土: 白色軽石などを含むに濃い黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

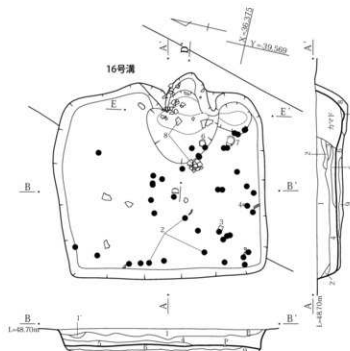
床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、全面にわたり灰黄褐色土を用いて5~14cmほどの貼り床を敷設している。

カマド: 北東壁中央やや南寄りに位置する。焚き口幅は75cmを測り、焚き口部から煙道部に向かって灰が堆積し、焼土も多く認められる。袖は芯材を用いず褐色灰粘質土で構築され、一部に焼土とローム粒子を含むことから、補修・再構築が想定される。柱穴: なし。貯蔵穴: カマドの南側に検出され、円形を呈し、径40cm深さは12cmを測る。

壁周溝: なし。重複遺構: 16号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相から、溝跡の方が古いものと判断される。

掘り方: 全面にわたり5~14cmほどの深さで掘り進められる。出土遺物: 床面付近から土師器杯(No. 1)、須恵器杯(No. 5)が出土する。

第3章 検出遺構と出土遺物



28号住居カマド 埋土

- 1層 におい黄褐色土(00R 5/3) 焼土粒子・ローム粒子・ $\phi 1\text{mm}$ の焼土・褐色土を少し含む
- 2層 灰黄褐色土(00R 5/3) $\phi 1\text{mm}$ の褐色土粒子・ $\phi 0.5\text{mm}$ の白色軽石を含む $\phi 1\text{mm}$ のロームブロック・ $\phi 1\text{mm}$ の焼土を少し含む $\phi 1\text{mm}$ の灰化物をわずかに含む
- 3層 灰黄褐色土(00R 4/2) 白色軽石・焼土・ $\phi 1\text{mm}$ のロームブロックをわずかに含む $\phi 2 \sim 10\text{mm}$ の焼土を多く含む $\phi 0.5\text{mm}$ の白色軽石をわずかに含む
- 4層 灰黄褐色土(00R 4/2) 褐色土粒子を少し含む 焼土($\phi 0.2\text{mm}$ 以下)をわずかに含む
- 5層 灰黄褐色土(00R 4/2) 白色軽石・焼土・ $\phi 1\text{mm}$ のロームブロックをわずかに含む $\phi 1\text{mm}$ の褐色土粒子・ $\phi 0.2\text{mm}$ の黒褐色土ブロックを少し含む
- 6層 灰黄褐色土(00R 4/2) 焼土・ $\phi 0.5\text{mm}$ の白色軽石をわずかに含む $\phi 1\text{mm}$ の褐色土粒子を少し含む $\phi 20\text{mm}$ の黒褐色土ブロックを少し含む
- 7層 灰黄褐色土(00R 4/2) ロームを塊状に多く含む 焼土・ $\phi 1\text{mm}$ の褐色土粒子を少し含む $\phi 1\text{mm}$ の黒褐色土ブロックを含む
- 8層 灰黄褐色土(00R 5/3) $\phi 1 \sim 10\text{mm}$ の焼土・褐色土粒子を少し含む 白色軽石・ローム粒子をわずかに含む
- 9層 灰黄褐色土(00R 4/2) 褐色土粒子を多く含む $\phi 1\text{mm}$ の灰化物・ $\phi 1\text{mm}$ の焼土・ローム粒子を少し含む
- 10層 灰黄褐色土(00R 4/2) $\phi 1 \sim 5\text{mm}$ の焼土を多く含む
- 11層 灰黄褐色土(00R 4/2) $\phi 1 \sim 20\text{mm}$ の焼土を含む 黒褐色土粒子を少し含む
- 12層 灰黄褐色土(00R 4/2) 白色軽石・黒褐色土ブロックをわずかに含む 焼土($\phi 3\text{mm}$ をローム粒子を少し含む)

28号住居 埋土

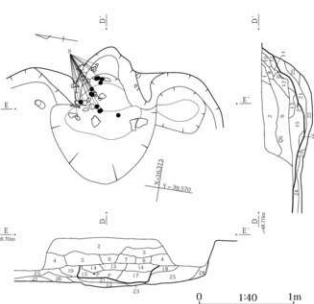
- 1層 におい黄褐色土(00R 4/3) $\phi 0.5\text{mm}$ の白色軽石・ローム粒子を少し含む 焼土・灰化物・褐色土粒子を含む
- 2層 におい黄褐色土(00R 4/3) 褐色土粒子を少し含む
- 3層 におい黄褐色土(00R 4/3) 白色軽石をわずかに含む ローム粒子・褐色土粒子を少し含む
- 4層 におい黄褐色土(00R 4/3) 焼土をわずかに含む 焼土粒子を少し含む
- 5層 におい黄褐色土(00R 4/3) 褐色土をわずかに含む 褐色土のローム粒子を少し含む 粘質性
- 6層 灰黄褐色土(00R 5/3) 白色軽石・焼土を少し含む 黒褐色土粒子・ローム($\phi 2\text{mm}$ を塊状に含む)の方理土
- 7層 におい黄褐色土(00R 6/2) 灰を多く含む 焼土を少し含む
- 8層 褐灰色土(00R 4/7) ローム粒子を少し含む
- 9層 灰黄褐色土(00R 6/2) 褐色土粒子を少し含む ローム粒子を多く含む 濡り方理土

貯蔵穴



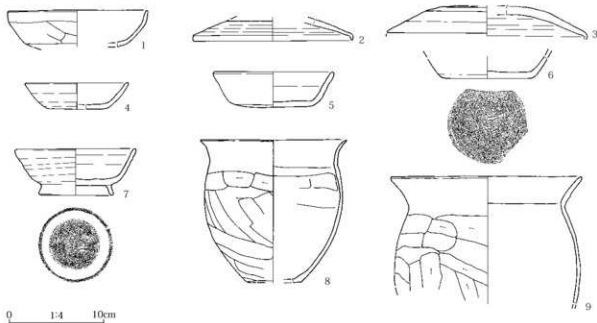
28号住居貯蔵穴 埋土

- 1層 黒褐色土(00R 5/7) 少量のにおい黄褐色土小ブロック($\phi 5 \sim 10\text{mm}$)・灰化物・焼土小ブロック($\phi 5 \sim 20\text{mm}$)を含む



- 13層 灰黄褐色土(00R 5/2) ロームを多く含む $\phi 1\text{mm}$ の焼土・ $\phi 0.5\text{mm}$ 以下の焼土粒子・褐色土粒子を少し含む
- 14層 灰黄褐色土(00R 4/2) $\phi 1\text{mm}$ の白色軽石・焼土・ $\phi 1\text{mm}$ のローム粒子をわずかに含む
- 15層 灰黄褐色土(00R 4/2) 白色軽石をわずかに含む 灰化物・ $\phi 1\text{mm}$ のロームブロックを少し含む
- 16層 におい黄褐色土(00R 7/3) 褐色土粒子をわずかに含む
- 17層 灰黄褐色土(00R 4/2) ローム・黒褐色土粒子をわずかに含む 焼土を少し含む
- 18層 におい黄褐色土(00R 5/3) $\phi 0.5 \sim 1\text{mm}$ の白色軽石・褐色土粒子・ $\phi 0.5\text{mm}$ の礫を少し含む
- 19層 褐色土(00R 5/1) ローム粒子を塊状に含む 白色軽石をわずかに含む $\phi 5\text{mm}$ の焼土を少し含む (カマドの裾)
- 20層 灰黄褐色土(00R 4/2) 焼土を少し含む
- 21層 褐色土(00R 5/1) 灰を多く含む 焼土を含む
- 22層 におい黄褐色土(00R 5/3) 褐色土粒子を多く含む 焼土を含む
- 23層 におい黄褐色土(00R 5/4) $\phi 1\text{mm}$ の褐色土ブロックを少し含む
- 24層 灰黄褐色土(00R 6/2) ローム・ $\phi 1\text{mm}$ の黄褐色土ブロック・焼土を塊状に含む (00R寄り底)
- 25層 におい黄褐色土(00R 6/2) 褐色土粒子・褐色土粒子を含む
- 26層 灰黄褐色土(00R 6/2) ローム粒子・黒褐色土を含む
- 27層 褐色土(00R 4/1) におい黄褐色土粒子を少し含む・白色軽石をわずかに含む
- 28層 褐色土(00R 5/1) 濡り方理土

第98図 28号住居跡平・断面図



第99図 28号住居跡出土遺物

1・2区28号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+2cm 口縁部～底部 破片	口径 14.4 底径 10.9 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ 焼付・5YR 6/6	外面：口縁部横ナデ、胴部へラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ調整。	
2	須恵器 杯蓋	床面+5cm 口縁部～天井部 破片	口径 16.7 口径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焙 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクゴ型形。 外面：天井部上位回転へラ削り、中～下位口縁部横ナデ。 内面：天井部～口縁部回転ナデ。	
3	須恵器 杯蓋	床面+6cm 口縁部～天井部 破片	口径 — 口径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焙 良好 ③ オリーブ灰(2.5Y 6/1)	ロクゴ型形。 外面：天井部上半回転へラ削り。天井部下～口縁部横ナデ、揃み削付。 内面：天井部～口縁部回転ナデ。	
4	須恵器 杯	床面+4cm 口縁部～底部 破片	口径 10.8 底径 6.0 器高 2.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焙 良好 ③ 灰地(5Y 4/2)	ロクゴ型形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/2	口径 12.4 底径 8.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焙 ③ 赤い黄粉(10YR 6/2)	ロクゴ型形。口縁部平や外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面厚減。
6	須恵器 杯	床面+12cm 底部 破片	口径 — 底径 9.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焙 良好 ③ 灰黄褐色(10YR 6/2)	ロクゴ型形。回転石回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：底部回転ナデ調整。	底部外面中央口 へラ記号「二」
7	須恵器 椀	床面+7cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.6 底径 7.5 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焙 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクゴ型形。回転石回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。周辺部は ナデ。高台削付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	基みあり。
8	土師器 甕	床面+7cm 口縁部～底部 1/2	口径 15.5 底径 5.8 器高 15.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焙 良好 ③ 焼付・5YR 6/6	幅狭み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦、下位斜め方向 へラ削り。底部へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。	口縁部～胴部口 黒度あり。
9	土師器 甕	埋理土中、埋理方埋 土中 口縁部～胴部上半 1/3	口径 20.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ 焼付・5YR 6/6	幅狭み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

1・2区29号住居跡 (旧称1・2区5J-29)

位置：X=36366 Y=-39568 主軸方向：N-77° - E 規模：3.4m×3.0m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：22cm～30cm 埋没土：白色軽石と黒色粘質土を少量含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：地山・ローム面を掘り込んだ後、粘性のあるにぶい黄褐色土みを用いて全面にわたり5～10cmほど貼り床を敷設している。カマド：北東壁中央やや南寄りに位置する。右側袖が残り、残存度は比較的良好。焚き口幅は77cmを測り、燃焼部は灰が厚く堆積しており、焼土と炭化物も多く認められる。特に煙道部先端部では地山の焼土化が

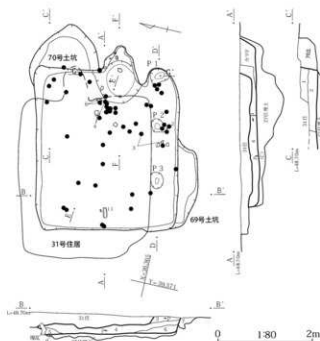
第3章 検出遺構と出土遺物

顕著に認められる。袖部は地山を掘り残し形で構築されている。**柱穴**：掘り方調査で、3基のビットを検出した。住居の南壁に沿って規則的に並んでおり、径26～36cm深さ15～20cmを測り、柱穴跡に相当するものと思われる。**貯蔵穴**：掘り方調査の段階で検出されたP1は、位置的に貯蔵穴となる可能性がある。

壁周溝：なし。**重複遺構**：16号溝跡および30・31号住居跡と重複する。それぞれ遺構確認時～掘削時における埋土の様相より、16号溝・30号住居跡および69・70号土坑跡は本遺構よりも古く、31号住居跡は本遺構より新しいものと判断される。

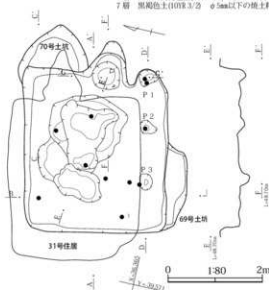
掘り方：全体に深さ5～10cmほどを掘り窪め、住居の中央部からやや北寄りの位置に220cm×160cm、深さ52cmを測る土坑状の掘り込みを有する。

出土遺物：床面付近から土師器甕(No. 6)・須恵器杯(No. 4)などが出土する。

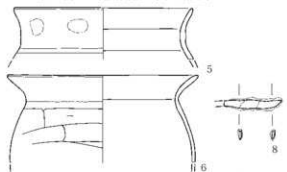


29号住居 埋土

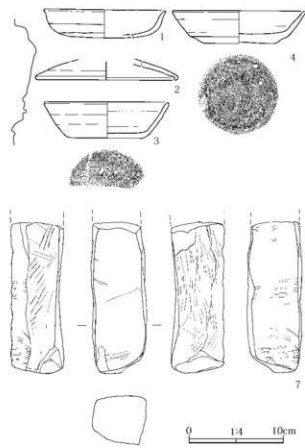
- 1層 黒褐色土(0.5R 3/2) 粘性なし。しまりややあり。φ10cm程のハミス・焼土粒・炭粒を微量含む。黒色土粒(φ10mm)少量含む。
- 2層 黒褐色土(0.5R 3/2) 1層よりやや粘性が強い。粘性なし。しまりややあり。オリーブ褐色土(0.5R 4/3)アロック(φ25mm)少量含む。
- 3層 黒褐色土(0.5R 3/2) 粘性なし。しまりあり。φ5mm以下の焼土粒・炭粒(φ1mm以下のハミス)を微量含む。
- 4層 3層に類似の黒褐色土(0.5R 2/2)粘質土粒(φ10mm)以下少量含む。
- 5層 4層に類似の黒褐色土(0.5R 4/3) φ10mm以下の焼土粒・炭粒・地山の黒褐色土粒をやや多量含む。
- 6層 同上。黒褐色土(0.5R 4/3) φ10mm以下の焼土粒・炭粒・地山の黒褐色土粒をやや多量含む。
- 7層 黒褐色土(0.5R 3/2) φ5mm以下の焼土粒・炭粒・φ10mm程の黒色粘質土粒を微量含む土埋埋没土。



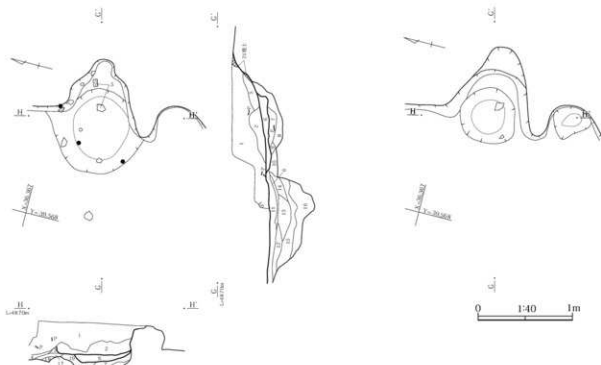
第101図 29号住居跡掘り方平・断面図



第100図 29号住居跡平・断面図



第102図 29号住居跡出土遺物



第103図 29号住居跡カマド平・断面図、カマド掘り方平面図

29号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 3/4) 粘性なし。しまりあり 礫(φ50mm以下)・焼土粒(φ5mm以下)・パミスを微量含む
- 2層 黒褐色土(10YR 3/4) 粘性なし。しまりあり φ10mm以下の焼土粒を少量・φ5mm以下のパミスを微量含む
- 3層 暗オリーブ褐色土(2.5YR 3/3) 粘性なし。しまりややあり 暗褐色土・焼土粒・灰粒(φ10mm以下)を微量含む左端部
- 4層 3層が埋まって残った土
- 5層 1層より黒味が強く含有物が少ない 色同じ
- 6層 灰層 焼土粒(φ10mm以下)を少量含む
- 7層 黒褐色土(10YR 3/3) 粘性なし。しまり弱い 焼土粒(φ10mm以下)を少量含む
- 8層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし。しまりやや弱い 焼土粒(φ10mm以下)を少量含む
- 9層 灰褐色土(10YR 4/2) 粘性なし。しまりややあり 焼土粒(φ10mm以下)・パミス(φ10mm)を微量含む
- 10層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし。しまりあり 灰褐色土(10YR 4/2)・土粒(φ10mm以下)を少量含む

- 11層 灰褐色土(10YR 4/2) 粘性なし。しまりややあり 焼土粒(φ5mm)・パミス(φ10mm)を微量含む
- 12層 濃い黄褐色土(10YR 4/3) 粘性なし。しまりややあり 焼土粒(φ5mm)を微量含む
- 13層 12層の土をベースに焼土粒(φ10mm以下)・黒色粘質土(2.5YR 2/1)ブロック(φ5mm以下)やや多量含む
- 14層 黒褐色土(7.5YR 3/2) 粘性なし。しまりやや弱い 焼土粒・地山の黒色粘質土粒(φ10mm)を少量含む
- 15層 黒褐色土(7.5YR 3/2) 粘性なし。しまりやや弱い 焼土ブロック(φ20mm) 地山の黒色粘質土ブロック(φ20mm)を微量含む
- 16層 黒褐色土(7.5YR 2/1) 粘性なし。しまりややあり 焼土粒(φ10mm)を少量 地山の黒色粘質土ブロック(φ20mm)を微量含む
- 17層 黒褐色土(2.5YR 2/1) しまりあり 黄褐色土(2.5YR 5/4)ブロック(φ30mm以下)多量含む
- 18層 黄褐色土(2.5YR 5/4) 粘性なし。しまりあり 17・18層は左端の土台
- 19層 褐色土(10YR 4/0) 粘性なし。しまりやや弱い 焼土粒(φ10mm以下)を少量 黒色粘質土粒(φ10mm以下)を微量含む
- 20層 1・6層の下部に焼土層でも少量
- 21層 地山 黒褐色土(2.5YR 3/0) 粘性なし。しまりあり 焼土粒

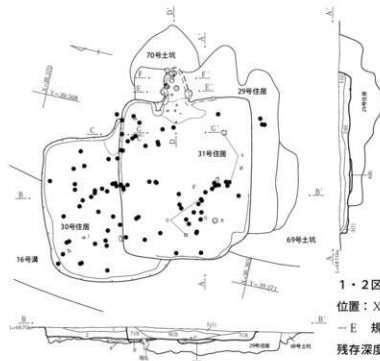
1・2区29号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調			成形手法 調整手法	備考	
				残存状態					
1	土師器 椀	床面-4cm 口縁部-底部 破片	L径 12.8 底径 - 器高 2.9	① 細砂粒	② 酸化焰 良好	③ 橙YR 6/0	口縁部やや外反。 外面：口縁部横ナデ、底部ナデ、底部へう削り。 内面：口縁部横ナデ、底部-底部ナデ調整。		
				③ 灰白(Y7/2)					
2	須恵器 杯蓋	床面+6cm 口縁部-縁部 破片	L径 14.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・粗礫	② 還元焰 やや不良	③ 灰白(Y7/2)	口缘部整形。 外面：天井部へ転へう削りか、口縁部横ナデ。 内面：口縁部-天井部へ転ナデ。		
				③ 焼灰(10YR 4/1)					
3	須恵器 杯	床面+5cm 口縁部-底部 1/3 破片	L径 13.0 底径 7.6 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・粗礫	② 還元焰 やや不良	③ 焼灰(10YR 4/1)	口缘部整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部-底部へ転ナデ。底部へ転系切り後、底部を回転へう削り。 内面：口縁部-底部へ転ナデ調整。		
				③ 焼灰(10YR 4/1)					
4	須恵器 杯	床面直上 口縁部-底部 1/3 破片	L径 13.7 底径 7.3 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・粗礫	② 還元焰 やや不良	③ 焼灰(10YR 4/1)	口缘部整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部-底部へ転ナデ。底部へ転系切り後、底部を回転へう削り。 内面：口縁部-底部へ転ナデ調整。		
				③ 焼灰(10YR 4/1)					
5	土師器 甕	埋土中 口縁部-縁部 破片	L径 18.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焰 良好	③ 明赤褐(5YR 5/0)	輪郭のみ。 外面：口縁部横ナデ。胴部へう削り。 内面：口縁部横ナデ。	31号住居カマド埋土中出土破片と接合。	
				③ 明赤褐(5YR 5/0)					
6	土師器 甕	床面+25cm 口縁部-胴部上半 破片	L径 19.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焰 良好	③ 明赤褐(5YR 5/0)	輪郭のみ。 外面：口縁部横ナデ。胴部縦方向のへう削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へう削り。		
				③ 明赤褐(5YR 5/0)					
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	概要
7	石製品	砥石	2/3残存	15.8	5.7	5.6	(700)	変質デザイント	床面直上
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)		概要
8	鉄器	刀子	刃部先端部片	6.2	1.2	0.5	9.0		酸化が強い。

1・2区30号住居跡(旧称1・2区SJ-30)

位置: X=36368 Y=-39570 主軸方向: N-77°-E 規模: 3.1m×不明 平面形状: 不明

残存深度: 18cm~23cm 埋没土: 白色軽石などを含む暗褐色土で埋没するが、重複住居による破壊のため、埋没状況は不明である。床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、黒褐色土を用いて全面にわたり4~12cmほどの貼り床を敷設している。カマド: 北東壁に位置するが、重複する31号住居跡によって半分以上が壊されているため、遺存状態は良くない。使用面に近いところには焼土が多く認められた。柱穴: なし。貯蔵穴: なし。壁周溝: なし。重複遺構: 16号溝跡、29・31・56号住居跡と重複する。それぞれ遺構確認時~掘削時の埋土の様相より、16号溝跡と56号住居跡は本遺構よりも古く、29・31号住居跡は本遺構より新しいものと判断される。掘り方: 全体に4~12cmほどの深さの掘り方を有する。出土遺物: 埋土中からは須恵器蓋(No. 1)片の他、黒色土器片が出土する。



- 30号住居 埋土
- 1 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 粘性なし しまりやあり 焼土粒 ϕ 5mm以下・ ϕ 1mm程の白色ハミスを微量含む [埋土]
 - 2 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 粘性なし しまりやあり 焼土粒 ϕ 10mm以下を微量だが層より多く ϕ 1mm程のハミスを微量含む [埋土]
 - 3 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 粘性なし しまりやあり ϕ 5mm以下の焼土粒・ ϕ 1mm程のハミスを微量含む 黄褐色土粒 ϕ 10mm程を少量含む [掘り方]
 - 4 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 粘性なし しまりやあり 含有物は3層に同じで他に応粒 ϕ 5mm程を微量含む 3層より赤味が強い [掘り方]

- 31号住居 埋土
- 5 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 粘性なし しまりやあり ϕ 5mm以下の白色ハミス・焼土粒を微量含む [埋土]
 - 6 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 粘性なし しまりやあり ϕ 5mm以下の焼土粒を少量 ϕ 5mm以下のハミスを微量含む [埋土]
 - 7 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 6層に赤味が強い29号埋土を掘り込んで平らに整え床面とする 部分的に8層の掘り方がある [埋土]
 - 8 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 粘性なし しまりやあり ϕ 5mm以下の焼土粒・灰粒・地石の黄褐色土粒をやや多量含む [掘り方]
 - 9 層 黒褐色土(0.05R 3/3) 粘性なし しまりやあり ϕ 5mm以下の焼土粒・灰粒・地石の黄褐色土粒を少量含む [掘り方]

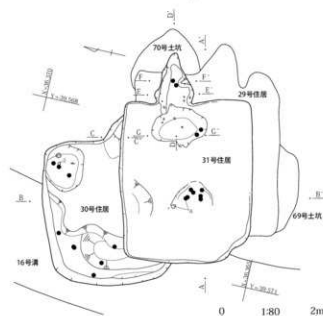
1・2区31号住居跡(旧称1・2区SJ-31)

位置: X=36367 Y=-39568 主軸方向: N-77°-E 規模: 3.4m×2.8m 平面形状: 隅丸長方形

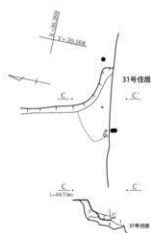
残存深度: 16cm~24cm 埋没土: 白色軽石などを含む暗褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面: 地山ローム土を掘り込んだ後、4~10cmほどの厚さで貼り床を敷設する。

カマド: 北東壁中央やや北寄りに位置する。両袖部内には長さ20~25cm程の礎を芯材として据えて構築されており、また中心軸からやや北にずれた位置に支脚石を埋設している。焼き口幅は45cm程を測り、燃焼部には崩落焼土が多く認められる。柱穴: なし。

貯蔵穴: なし。壁周溝: なし。重複遺構: 16号溝跡、29・30号住居跡、70号土坑跡と重複する。それぞれ遺構確認時~掘削時における埋土の様相より、16号溝跡と70号土坑跡は本遺構よりも古く、29・30号住居跡は本遺構より新しいものと判断される。掘り方: 深さ4~10cmを測る掘り方を有する。出土遺物: 埋土中から須恵器杯(No. 1・2・3・5)・椀(No. 7)、黒色土器杯・椀の破片が出土する。



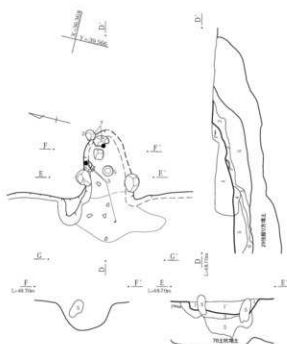
第104図 30・31号住居跡平・断面図、掘り方平面図



第105図 30号住居跡 カマド平・断面図

30号住居カマド 埋土

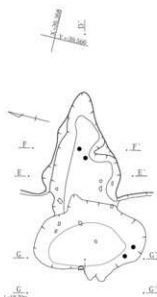
- 1層 黄褐色土(10R5/3) 焼土(φ1mm)を少量含む・褐色土粒子を含む [3] (埋土)
- 2層 黄褐色土(10R5/3) 焼土を多量含む 褐色土粒子(φ1mm)を少量含む
- 3層 濃い黄褐色土(10R5/4) 粘性なし しまりあり 4層の埋土・焼土粒(φ0.5mm)を少量含む [掘り方]
- 4層 黄褐色土(10R5/3) 粘性なし しまりあり 焼土粒(φ0.5mm)粒・炭粒を少量含む [掘り方]



第106図 31号住居跡 カマド平・断面図

31号住居カマド 埋土

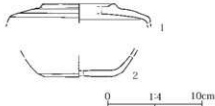
- 1層 灰黄褐色土(10R5/2) 白色軽石(φ1-2mm)・焼土(φ1.5mm) 褐色土粒子を少量含む
- 1'層 灰黄褐色土(10R5/2) 含有物が多い
- 2層 濃い黄褐色土(10R5/3) 焼土(φ1.5mm)を多く含む 褐色土粒子を少量含む [カマド構造面]
- 3層 灰黄褐色土(10R5/2) 焼土をやや多量含むロームブロック(φ1mm)・炭化物を少量含む
- 4層 焼土粒(φ0.5mm)・黄褐色土粒(φ0.5mm)を少量含む
- 5層 3層の焼土粒を少量含む
- 6層 明黄褐色土(10R7/0) 粘性なし しまりやや粗 3-5層の土で少し汚れるが焼土などはほとんど含まない。201埋土を掘り戻しに焼土を入れた後に6層を敷きさらし土を入れて整える



第107図 31号住居跡カマド掘り方平・断面図

31号住居カマド掘り方 埋土(G-G)

- 1層 黄褐色土(10R2/3) 粘性なし しまりややあり 焼土・黄褐色土粒(φ10mm以下)・白色ハリスφ2.5mm以下を少量含む カマド掘りを物えた土 [3] (埋土)
- 2層 濃い黄褐色土(10R5/4) 粘性なし しまりやや粗 焼土粒・白色軽石(φ1mm以下)を少量含む [3] (埋土)

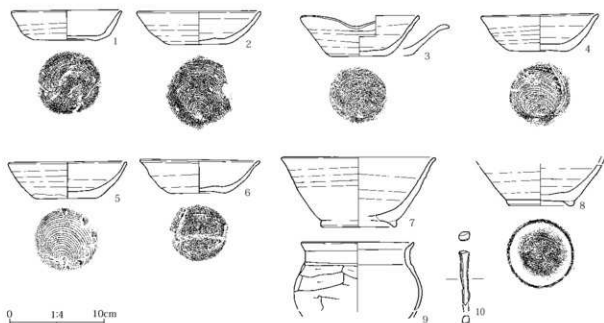


第108図 30号住居跡出土遺物

1・2区30号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	須恵器 杯蓋	床面+12cm 口縁部~縁部 破片	口径— 幅径 7.8 器高—	① 細砂粒	② 還元焼 良好	③ 灰白(SY 6/1)	口ケ口整形。 外面：天井部回転へラ削り。口縁部横ナデ。掘り戻付。 内面：口縁部~天井部回転ナデ。	
				① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焼 良好	③ 黄褐色(SY 5/3)	口ケ口整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面~10cm 胴部~底部 破片	口径— 底径 7.2 器高—	① 細砂粒	② 還元焼 良好	③ 灰白(SY 6/1)	口ケ口整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	透け着土層か。
				① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焼 良好	③ 黄褐色(SY 5/3)	口ケ口整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物



第109図 31号住居跡出土遺物

1・2区31号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	須恵器 杯	遺理方埋土中 口縁部～底部 2/3	口径 11.4 底径 6.6 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(SY 7/1)	口ク口整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面厚減。		
2	須恵器 杯	口縁部～底部 1/3	口径 12.9 底径 6.6 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(B2.5Y 7/1)	口ク口整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
3	須恵器 杯 (片口)	遺理土中 完形	口径 12.4 底径 6.0 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄 4/0	口ク口整形。回転右回り。口縁部は外反し、一部は大きく外反する。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
4	須恵器 杯	床面+16cm 口縁部～底部 4/5	口径 12.1 底径 5.0 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(SY 7/1)	口ク口整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
5	須恵器 杯	遺理土中 ほぼ完形 口縁部の一部欠損	口径 12.3 底径 6.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(B1.5Y 7/1)	口ク口整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
6	須恵器 杯	床面+5cm 口縁部～底部 2/3	口径 12.5 底径 6.0 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 黄灰(B2.5Y 6/1)	口ク口整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面厚減。		
7	須恵器 碗	遺理土中 口縁部～底部 1/2	口径 16.0 底径 8.0 器高 7.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好 ③ 赤・黄褐色(OYR 6/3)	口ク口整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
8	須恵器 碗	床面+3cm 体部下～底部 口縁部～体部上半欠	口径 7.3 底径 7.3 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(SY 7/1)	口ク口整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。			
9	土師器 小型碗	床面+3cm 口縁部～胴部上半 破片	口径 11.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 赤・赤褐色(YR 4/3)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半横方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
10	鉄器	釘	1/2	5.7	1.1	0.8	7.0	錆化、腐食激しい。

1・2区32号住居跡 (旧称 1・2区S1-32)

位置：X=36376 Y=-39578 主軸方向：N-71°-E 規模：5.5m×3.7m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：16cm～31cm 埋没土：白色軽石などを少量含むにぶい黄褐色土で埋没し、住居中央部付近の埋土下層には炭化物の堆積が認められることから、埋没途上の窪地にて焚き火を行ったものと推察される。

床面：地山ローム土を掘り込んだ後、15～30cmの厚さで貼り床を敷設する。

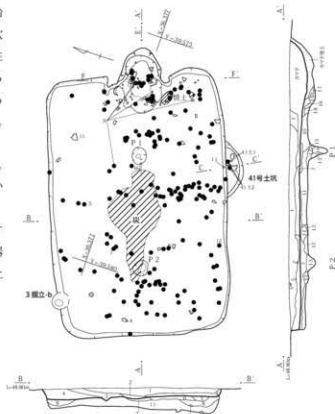
カマド：北東壁のほぼ中央に位置する。遺存状態は悪く、地山を掘り残した両袖部が辛うじて確認できた。焚き口幅は60cmほどを測り、焚き口部から煙道部にかけて焼土を含んだ灰層面と一部に天井部材の崩落も認められた。

柱穴：掘り方調査の段階で、住居中央長軸線上に沿うように、径31～36cm、深さ18～36cmを測る2穴が検出された。**貯蔵穴：**カマドからやや離れた住居南壁付近で検出され、長軸70cm、短軸52cmを測る楕円形を呈する。埋土内に灰が帯状に堆積していることから、貯蔵目的の施設ではない可能性も有る。壁周溝：確認できなかった。

重複遺構：41号土坑跡、3号掘立柱建物跡と重複する。いずれも遺構確認時～掘削時における埋土の様相から、本遺構が新しいものと判断される。

掘り方：全面にわたり15～30cmほどの掘り方を有する。**出土遺物：**掘り方埋土中から略完形の須恵器杯(No. 3)、土師器裏(No. 6)が、床面直上で黒色土器杯(No. 1)が出土している。

0 180 2m



第110図 32号住居跡平・断面図



第111図 32号住居跡掘り方・断面図

32号住居 埋土

- 1層 上より黄褐色土(10YR 5/3) 灰化物・φ1.5mmの埋土をわずかに含むφ2mmの黒褐色土を少量含む
- 1'層 上より黄褐色土(10YR 5/3) φ2～5mmの塊土・φ2mmの白色軽石を少量含む 灰化物をわずかに含む φ2mmの黒褐色土粒子を含む 上部より黄褐色土(10YR 5/3) 灰化物を帯状に含む 褐色土粒子(φ2mm)を少量含む
- 2層 上より黄褐色土(10YR 5/3) 灰化物を少量含む 塊土をわずかに含む
- 3層 上より黄褐色土(10YR 5/3) 灰化物を帯状に含む 塊土・白色軽石をわずかに含む
- 4層 灰褐色土(10YR 5/2) 褐色土粒子を少量含む 白色軽石・塊土をわずかに含む
- 5層 黒褐色土(10YR 5/1) 塊土をわずかに含む φ1.5～20mmの白・黄褐色土ブロックを塊状に含む φ1.5mmの褐色土粒子を含む
- 6層 灰褐色土(10YR 5/1) 灰土・灰化物・φ1.5mmの褐色土粒子・白色軽石を少量含む
- 7層 黒褐色土(10YR 4/1) 白色軽石・φ10mmの黒褐色土ブロック・φ1mmのロームブロックを少量含む
- 8層 灰褐色土(10YR 5/2) 白色軽石をわずかに含む φ1.5mmの黒褐色土ブロック・ローム粒子を少量含む
- 9層 上より黄褐色土(10YR 6/4) ブロック 黒褐色土粒子をわずかに含む
- 10層 黒褐色土(10YR 4/1) 褐色土粒子を少量含む
- 11層 上より黄褐色土(10YR 5/3) 褐色土粒子を少量含む
- 12層 黒褐色土(10YR 4/1) 塊土・φ1.5mmのロームブロックを少量含む
- 13層 黒褐色土(10YR 4/1) ロームブロック(φ1mm)を少量含む
- 14層 黒褐色土(10YR 4/1) ローム粒子を多く含む
- 15層 黄色緑ロームブロック φ5mmの上より黄褐色土ブロックを少量含む
- 16層 上より黄褐色土(10YR 7/2) φ1～10mmの黒褐色土ブロックを含む 白色軽石を少量含む [カマド掘り方]
- 17層 上より黄褐色土(10YR 7/2) φ2mmの黒褐色土ブロックを多く含む [カマド掘り方]
- 18層 上より黄褐色土(10YR 7/2) φ0.5～15mmの黒褐色土ブロックを多く含む [カマド掘り方]
- 19層 黒褐色土(10YR 3/1) 塊状に上より黄褐色土粒子をわずかに含む [カマド掘り方]

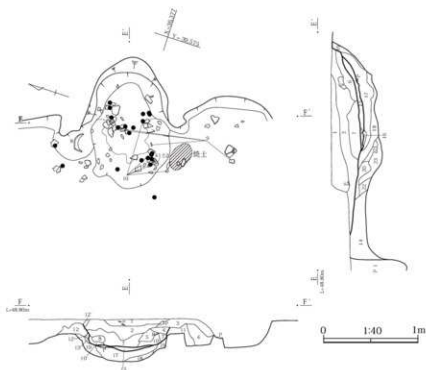
41号土坑 埋土

- 1層 上より黄褐色土(10YR 6/3) 少量の白色軽石(須恵器杯石・様石)を少量含む
- 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 少量の白・黄褐色土ブロックと微量の白色軽石を含む
- 4層 上より黄褐色土(10YR 5/3) 少量の白色軽石と褐色土粒子を含む

32号住居貯蔵穴 埋土

- 1層 上より黄褐色土(10YR 4/3) 灰を帯状に含む
- 2層 灰黄 暗黄褐色土(10YR 4/1) 塊土を少量含む
- 3層 上より黄褐色土(10YR 4/3) 塊土・φ1.5mmのローム粒子を少量含む
- 4層 灰黄 暗黄褐色土(10YR 4/1) 塊土をわずかに含む φ0.25mmのローム粒子を含む
- 5層 上より黄褐色土(10YR 5/3) 塊土・φ3mmの上より黄褐色土粒子を少量含む
- 6層 上より黄褐色土(10YR 5/3) φ10mmの上より黄褐色土ブロックを少量含む
- 7層 黒褐色土(10YR 3/3) ローム粒子を少量含む

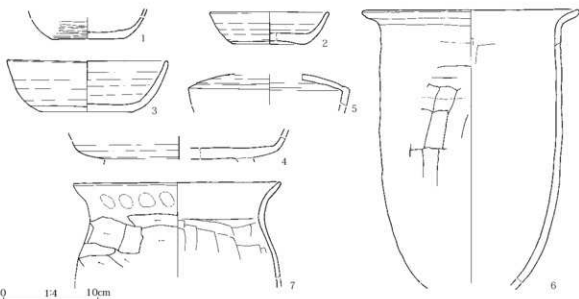
第3章 検出遺構と出土遺物



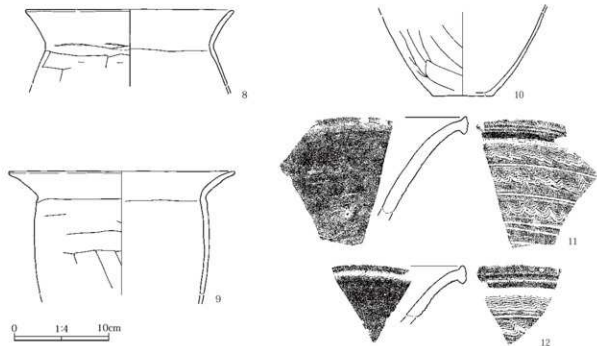
32号住居カマド 遺土

- | | |
|---|---|
| 1層 灰黄褐色土(01R 4/2) $\phi 1 \sim 5\text{mm}$ の焼土・ $\phi 1\text{mm}$ の黒褐色ブロックを少量含む 白色軽石をわずかに含む | 12層 黒褐色土(01R 3/1) ブロック・灰黄褐色土粒子を含む |
| 2層 灰黄褐色土(01R 4/2) $\phi 1 \sim 3\text{mm}$ の焼土・ $\phi 1 \sim 5\text{mm}$ の黒褐色ブロックを多く含む 褐色土粒子を含む | 13層 灰黄褐色土(01R 5/2) 黒褐色土ブロック($\phi 25\text{mm}$)を少量含む |
| 3層 褐色土(01R 5/1) 焼土・白色軽石をわずかに含む褐色土粒子を含むローム粒子を少量含む | 14層 濃い黄褐色土(01R 4/3) 住居の床面 |
| 4層 灰黄褐色土(01R 4/2) 焼土をわずかに含む 黒褐色土ブロック($\phi 25\text{mm}$)を含む | 15層 灰褐色(5) 焼土を少量含む [カマド使用面] |
| 5層 灰黄褐色土(01R 4/2) 焼土・褐色土粒子を少量含む | 16層 濃い黄褐色土(01R 3/1) 灰を多く含む 焼土を少量含む |
| 6層 褐色土(01R 5/1) 焼土を多く含む 炭化物を含む [カマドの構造部] | 17層 褐色土(01R 4/1) 炭化物を少量含む 焼土を多く含む 灰を含む |
| 7層 灰黄褐色土(01R 4/2) $\phi 10\text{mm}$ の焼土ブロックを多く含む $\phi 1 \sim 2\text{mm}$ 焼土を少量含む | 18層 灰黄褐色土(01R 3/2) 焼土・ $\phi 1\text{mm}$ の褐色土粒子を少量含む |
| 8層 灰黄褐色土(01R 4/2) 焼土ブロックを多く含む [カマドの天井構造部] | 19層 褐色土(01R 4/1) ローム粒子をわずかに含む |
| 9層 灰黄褐色土(01R 4/2) 焼土を多く含む [カマドの天井構造部] | 20層 濃い黄褐色土(01R 7/2) $\phi 2\text{mm}$ の灰褐色土粒子を多く含む |
| 10層 濃い黄褐色土(01R 4/3) $\phi 0.5\text{mm}$ の褐色土粒子を少量含む | 21層 濃い黄褐色土(01R 7/2) $\phi 2\text{mm}$ の灰褐色土粒子を多く含む |
| 11層 灰黄褐色土(01R 6/2) $\phi 1\text{mm}$ の褐色土粒子を少量含む 薄い「カマドの袖」 | 22層 濃い黄褐色土(01R 7/1) $\phi 0.5 \sim 1\text{mm}$ の黒褐色土粒子を多く含む |
| 12層 黒褐色土(01R 3/1) カマドの袖 | 23層 黒褐色土(01R 3/1) 褐色土に濃い黄褐色土粒子をわずかに含む |

第112図 32号住居跡カマド平・断面図



第113図 32号住居跡出土遺物(1)



第114図 32号住居跡出土遺物(2)

1・2区32号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯	床面直上 底部 破片	口径 — 底径 7.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 色相埋 ③ 灰白(Y 4/1)	内・外面無し。 外面: 体部ナデ後へラつき。 内面: 体部ナデ後へラつき。単位不詳明。	
2	須恵器 杯	床面+6cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.4 底径 7.6 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y 5/1)	口コロ整形。回転石回り。口縁部やや外反。 外面: 口縁部~体部回転ナデ。底部回転後切り後、周辺部回転へラ削り。 内面: 口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面+6cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 16.8 底径 9.7 器高 5.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y 5/6/1)	口コロ整形。回転石回り。 外面: 口縁部~体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面: 口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 高台付盤	床面+15cm 口縁部~底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 明赤焼(Y 3/6)	口コロ整形。 外面: 口縁部~体部上半縁ナデ。体部下半~底部回転へラ削り。高台取付。 内面: 口縁部~体部回転ナデ調整。底部ナデ調整。	
5	須恵器 長条壺	床面+6cm 胴部 破片	口径 — 口径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y 7/6)	口コロ整形。 外面: 回転ナデ。 内面: 横ナデ。	
6	土師器 甕	床面+13cm 口縁部~胴部 破片	口径 22.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤白(Y 5/6)	輪組み。 外面: 口縁部横ナデ。胴部縦方向のへラ削り。 内面: 口縁部横ナデ。胴部へラナデ。	
7	土師器 甕	床面+15cm 口縁部~胴部上端 破片	口径 21.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 明赤焼(Y 5/6/5)	輪組み。 外面: 口縁部横ナデ。胴部縦方向のへラ削り。口縁部に指頭痕が残る。 内面: 口縁部横ナデ。胴部へラナデ。	
8	土師器 甕	埋土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 21.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤濁(YR 4/6)	輪組み。 外面: 口縁部横ナデ。胴部縦方向のへラ削り。 内面: 口縁部横ナデ。胴部へラナデ。	
9	土師器 甕	埋土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 23.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤(YR 6/6)	輪組み。 外面: 口縁部横ナデ。胴部へラ削り。 内面: 口縁部横ナデ。胴部へラナデ。	
10	土師器 甕	埋土中 胴部下半~底部 破片	口径 — 底径 6.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤(YR 7/6)	輪組み。 外面: 胴部縦方向のへラ削り~底部へラ削り。 内面: 胴部~底部へラナデ。	
11	須恵器 甕	床面+15cm 口縁部 破片	口径 42.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y 8/1)	口コロ整形。 外面: 凹縁による区画。区画内に波状文を3段施文。 内面: 口縁部~胴部横ナデ調整。指頭痕あり。	
12	須恵器 甕	床面+6cm 口縁部 破片	口径 35.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y 8/1)	口コロ整形。 外面: 凹縁による区画。区画内に波状文。 内面: 口縁部~胴部横ナデ調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区33号住居跡(旧称1・2区5J-33)

位置: X=36368 Y=-39636 主軸方向: N-74°-E

規模: 3.0m×2.8m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 48cm~56cm 埋没土: 主に白色軽石を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面: 掘り方をローム土を主体とした黄褐色土で埋め戻した後、上面の一部に厚さ3cmほどの粘質黒褐色土で貼り床が敷設されている。カマド: 北東壁の南寄りに位置する。残存状況は不良。焚き口幅は50cmほどを測り、焚き口部から煙道部にかけて一部であるが灰層面が確認できた。

柱穴: 南側コーナー付近の壁際で1基検出されるもの、深度17cmほどしかなく、柱穴には成り得ない。

貯蔵穴: カマド脇、住居東コーナー部において検出される。長軸93cm、短軸33cmの楕円形を呈し、埋土に焼土と炭化物が堆積している状況が伺え、廃絶時にカマド部材が混入したものと考えられる。壁周溝: なし。重複遺構: なし。

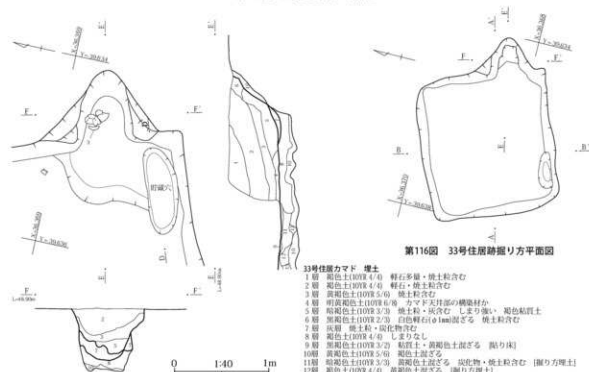
掘り方: 全体に地山ローム土を9~20cmほど掘り窪める。

出土遺物: 埋土中からは、土師器小型甕(No. 3)や須恵器杯(No. 2)・蓋(No. 1)の他、黒色土器杯の破片が出土している。



- 33号住居 埋土**
- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粘着する 焼土粒含む
 - 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石(φ1mm)・黒色土・褐色土混ざる 焼土粒含む
 - 4層 黄褐色土(10YR 3/3) 白色軽石(φ1mm)・褐色土混ざる 焼土粒含む
 - 5層 黄褐色土(10YR 3/3) 白色軽石(φ1mm)・砂混ざる
 - 6層 黄褐色土(10YR 3/2) 白色軽石(φ1mm)・砂混ざる
 - 7層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘質土・白色軽石(φ1mm)混ざる 焼土粒含む(掘り床)
 - 8層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色土粘着する(掘り方埋土)
 - 9層 黄褐色土(10YR 5/6) 褐色土混ざる(掘り方埋土)
 - 10層 黄褐色土(10YR 5/6) 黄褐色土混ざる(掘り方埋土)
 - 11層 黒褐色土(10YR 2/2) 掘り方埋土
 - 12層 黄褐色土(10YR 2/2) 黄褐色土混ざる(掘り方埋土)
 - 13層 黄褐色土(10YR 5/6) 褐色土混ざる(掘り方埋土)
 - 14層 灰層 焼土粒・炭化物含む [カマド7層土と同じ]
 - 15層 褐色土(10YR 4/4) 黄褐色土粘着する 焼土粒含む
- 33号住居貯蔵穴 埋土**
- 1層 焼土・炭化物層
 - 2層 焼土・炭化物層 粘質土混ざる しまりあり
 - 3層 褐色土(10YR 4/0) 掘り方埋土

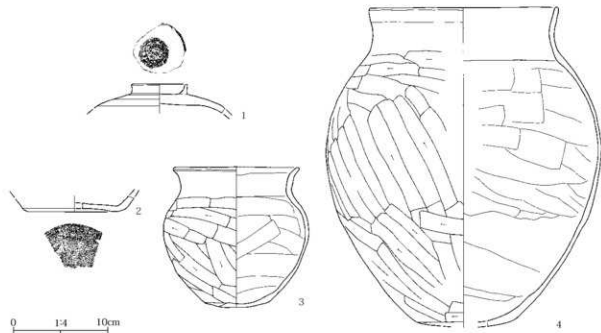
第115図 33号住居跡平・断面図



第116図 33号住居跡掘り方平面図

- 33号住居カマド 埋土**
- 1層 褐色土(10YR 4/4) 軽石多量・焼土粒含む
 - 2層 褐色土(10YR 4/6) 焼土・焼土粒含む
 - 3層 黄褐色土(10YR 5/6) 焼土粒含む
 - 4層 明黄褐色土(10YR 6/6) カマド天井部の構造物か
 - 5層 黄褐色土(10YR 5/3) 焼土粒・炭含む しまり強い 褐色粘質土
 - 6層 黒褐色土(10YR 2/3) 白色軽石(φ1mm)混ざる 焼土粒含む
 - 7層 灰層 焼土粒・炭化物含む
 - 8層 褐色土(10YR 4/6) しまりなし
 - 9層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘質土・黄褐色土混ざる(掘り床)
 - 10層 黄褐色土(10YR 5/6) 褐色土混ざる
 - 11層 褐色土(10YR 3/3) 黄褐色土混ざる 炭化物・焼土粒含む(掘り方埋土)
 - 12層 褐色土(10YR 4/6) 黄褐色土混ざる(掘り方埋土)
 - 13層 褐色土(10YR 4/6) 黄褐色土混ざる(掘り方埋土)

第117図 33号住居跡カマド平・断面図



第118図 33号住居跡出土遺物

1・2区33号住居跡出土遺物観察表

番号	類別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	床面+36cm 天井部~胴部 破片	口径 — 胴径 5.8 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰色(5/0)	コクロ整形。 外面：天井部回転ヘラ削り、胴み削付。 内面：天井部回転ナデ。	
2	須恵器 杯	床面+52cm 体部下端~底部 破片	口径 — 底径 9.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5T 5/1)	コクロ整形。 外面：体部回転ナデ、底部回転切り後、周辺部は回転ヘラ削り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	
3	土師器 小空甕	埋理土中 口縁部~底部 2/3	口径 13.0 底径 6.8 器高 14.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 赤い(赤YR 4/3)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ、胴部上半部方向へラ削り、胴部下半部方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部~底部ヘラナデ。	
4	土師器 甕	床面+17cm 口縁部~底部 1/3	口径 19.6 底径 10.0 器高 33.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 赤い(赤7.5YR 5/3)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ、胴部~上位横、中位・下位斜め方向へラ削り。底部へラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部~底部ヘラナデ。	

1・2区34号住居跡(旧称1・2区5J-34)

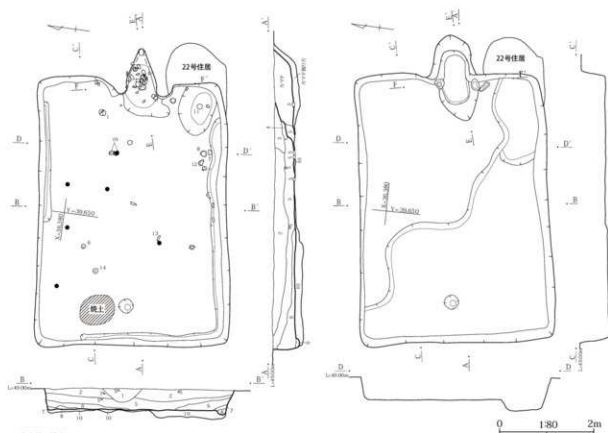
位置：X=36378 Y=-39650 主軸方向：N-82°-E 規模：5.7m×4.0m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：42cm~50cm 埋没土：白色軽石と黄褐色土粒・礫を含む暗褐色~黒褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方を黄褐色土で埋め戻した後、上面に薄く粘質土を用いた貼り床を敷設している。

カマド：東壁のほぼ中央に位置する。両袖部共に遺存状態は比較的良好。焚き口幅は60cmほどを測り、煙道部は長く緩やかに立ち上がる。煙道部先端は崩落焼土があり、煙突部をふさいだ状況で検出される。焚き口部から煙道部にかけて灰が厚く堆積しており、焼土と炭化物も多く認められる。両袖部には芯材として袖石を据え、その周囲を粘質褐色土で構築している。柱穴：掘り方調査時において検出された住居中心軸西壁寄りの一穴が、位置的に柱穴と成るものと考えられる。貯蔵穴：カマド脇の住居南東コーナー部に検出される。長軸103cm、短軸75cmの楕円形で、深さ8cmを測る。埋土中からは、ほぼ完形の墨書須恵器椀(No.11)が出土している。

壁周溝：カマドのある東壁と住居北西コーナー部を除く壁際において、幅20~40cm、深さ2~10cmを測る壁溝が検出される。重複遺構：22号住居跡・7号溝跡と重複する。遺構確認~掘削時の埋土の様相から、本遺構は22号住居跡より新しく、7号溝跡より古いものと判断される。掘り方：やや起伏を持ち、全面にわたって2~15cmほどの深さで掘り窪める。出土遺物：全体的に出土量は少ない。床面直上から土師器杯(No.1)、ほぼ完形の須恵器杯(No.7・10)・椀(No.13)、埋土中からは土師器杯(No.2・3・4)、須恵器蓋(No.6)、黒色土器杯(No.5)の破片が出土している。

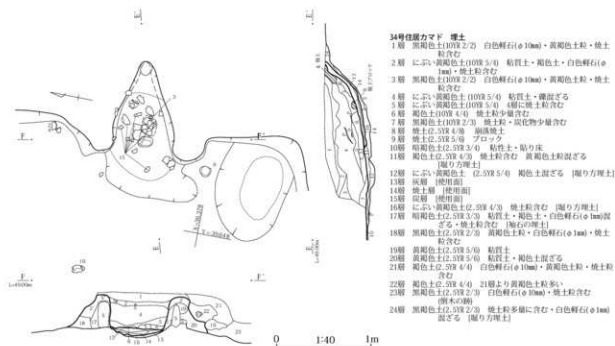
第3章 検出遺構と出土遺物



- 34号住居 埋土
- 1層 褐色土(10Ⅺ 3/0) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒(φ30mm)・礫・焼土粒を含む
 - 2層 褐色土(10Ⅺ 3/4) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・礫・焼土粒を含む
 - 3層 褐色土(10Ⅺ 4/0) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼土粒・少量の炭化物を含む
 - 4層 黄褐色土(10Ⅺ 5/0) 粘質土層による変質(褐色)土層なる 焼土粒を含む
 - 5層 黄褐色土(10Ⅺ 2/3) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼土粒を含む
 - 6層 黒褐色土(10Ⅺ 2/3) 白色軽石(φ10mm)・黒色土ブロック・黄褐色土粒・焼土粒・炭化物を含む

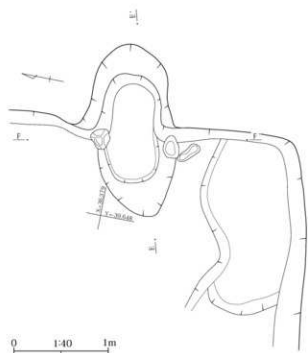
- 7層 黒褐色土(10Ⅺ 2/3) 焼土粒を含む
- 8層 焼土・炭化物
- 9層 褐色土(10Ⅺ 4/0) 埋没層土
- 10層 黄褐色土(10Ⅺ 2/3) 黄褐色土ブロック状なる [掘り方埋土] 細砂の粘質土上部に成る [掘り方]

第119図 34号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図

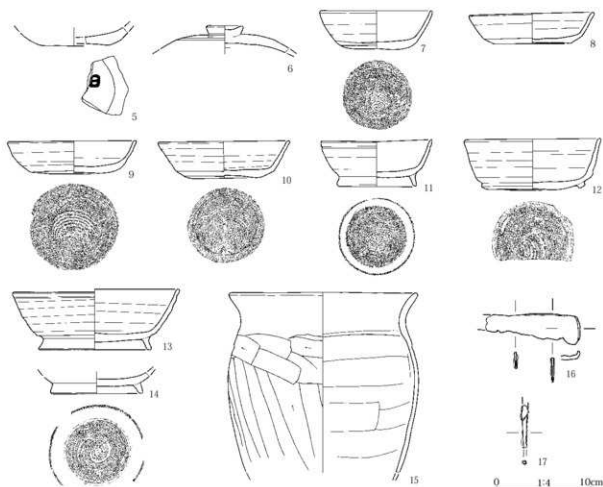
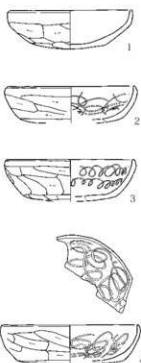


- 34号住居跡カマド 埋土
- 1層 黒褐色土(10Ⅺ 2/2) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼土粒を含む
 - 2層 濃い黄褐色土(10Ⅺ 5/4) 粘質土・褐色土・白色軽石(φ10mm)・焼土粒を含む
 - 3層 黄褐色土(10Ⅺ 2/3) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼土粒を含む
 - 4層 濃い黄褐色土(10Ⅺ 5/4) 粘質土・雑質なる
 - 5層 濃い黄褐色土(10Ⅺ 5/4) 礫に焼土粒を含む
 - 6層 褐色土(10Ⅺ 4/0) 焼土粒少量を含む
 - 7層 黄褐色土(10Ⅺ 2/3) 焼土粒・炭化物少量を含む
 - 8層 焼土(12.5Ⅺ 4/0) 細砂焼土
 - 9層 焼土(12.5Ⅺ 5/0) ブロック
 - 10層 暗褐色土(12.5Ⅺ 3/0) 粘質土・貼り床
 - 11層 褐色土(12.5Ⅺ 4/3) 焼土粒を含む 黄褐色土粒混ざる [掘り方埋土]
 - 12層 濃い黄褐色土(12.5Ⅺ 5/0) 褐色土混ざる [掘り方埋土]
 - 13層 灰層 [埋没面]
 - 14層 焼土層 [埋没面]
 - 15層 灰層 [埋没面]
 - 16層 濃い黄褐色土(12.5Ⅺ 4/3) 焼土粒を含む [掘り方埋土]
 - 17層 暗褐色土(12.5Ⅺ 3/3) 粘質土・褐色土・白色軽石(φ10mm)混ざる 焼土粒を含む [掘り方埋土]
 - 18層 黄褐色土(12.5Ⅺ 2/3) 黄褐色土粒・白色軽石(φ10mm)・焼土粒を含む
 - 19層 黄褐色土(12.5Ⅺ 5/0) 粘質土
 - 20層 黄褐色土(12.5Ⅺ 5/0) 粘質土・褐色土混ざる
 - 21層 褐色土(12.5Ⅺ 4/4) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼土粒を含む
 - 22層 褐色土(12.5Ⅺ 4/4) 21層より黄褐色土粒多し
 - 23層 黄褐色土(12.5Ⅺ 2/3) 白色軽石(φ10mm)・焼土粒を含む [掘り方埋土]
 - 24層 黄褐色土(12.5Ⅺ 2/3) 焼土粒多量を含む 白色軽石(φ10mm)混ざる [掘り方埋土]

第120図 34号住居跡カマド平・断面図



第121回 34号住居跡カマド掘り方平面図



第122回 34号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区34号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 観察手法	備考	
1	土加器	杯	床面直上 口縁部~底部 踏高 2/3	口径 13.0 底径 — 踏高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤い・黄緑(YR 5/6)	外面：口縁部横ナデ、体部縦方向、底部手持へラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。		
2	土加器	杯	床面直上 口縁部~底部 破片	口径 13.2 底径 — 踏高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤い・黄緑(YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部~底部へラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ、底部に縦炭状文。	No.2・3と同一個体か。	
3	土加器	杯	埋土中 口縁部~底部 1/3	口径 13.4 底径 8.0 踏高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤(YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部縦方向、底部手持へラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。口縁部に2段の縦炭状文。	No.3・4と同一個体か。	
4	土加器	杯	床面直上 口縁部~底部 破片	口径 14.4 底径 — 踏高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤(YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部~底部へラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。底部から口縁部に向けて縦方向に縦炭状文。	No.2・4と同一個体か。	
5	黒色土器	杯	埋土中 体部下端~底部 破片	口径 8.0 底径 — 踏高 —	① 細砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 赤い・黄緑(YR 7/3)	外面：口縁部横ナデ、底部ナデ調整。 内面：体部~底部ナデへラ削り。	底部外面に「田？」の墨書。	
6	須恵器	杯蓋	床面直上 天井部~横部 破片	口径 — 横径 3.7 踏高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y.5/7/1)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：天井部回転ナデへ削り。横み貼付。 内面：天井部回転ナデ。		
7	須恵器	杯	床面直上 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 11.8 底径 7.3 踏高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 良好 ③ 灰(Y.6/1)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り後、回転へラ削り調整。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	内外面に火傷が認められる。	
8	須恵器	杯	床面直上 口縁部~底部 4/5	口径 13.0 底径 8.1 踏高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 やや不良 ③ 赤い・黄緑(YR 7/2)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ、底部回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	蓋みあり。	
9	須恵器	杯	床面直上 口縁部~底部 1/2	口径 13.2 底径 9.3 踏高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(Y.5/7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り後、回転へラ削り調整。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。		
10	須恵器	杯	床面直上 ほぼ完形 一部欠損	口径 13.6 底径 6.6 踏高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(Y.5/6/1)	ロクロ整形。回転石回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り後、底部周辺回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。		
11	須恵器	検	町蔵穴埋土中 ほぼ完形 一部欠損	口径 11.5 底径 8.0 踏高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄(Y.5/6/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り後、破辺部を回転へラ削り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。		
12	須恵器	検	床面直上 口縁部~底部 1/3	口径 14.0 底径 10.8 踏高 5.4	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y.5/7/1)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り後、回転へラ削り調整。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。		
13	須恵器	検	床面直上 口縁部~底部 4/5	口径 17.3 底径 12.4 踏高 6.4	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焼 良好 ③ 灰(Y.6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り後、回転へラ削り調整。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	口縁部内面に調理と火傷が認められる。	
14	須恵器	検	床面直上 底部 破片	口径 — 底径 9.5 踏高 —	① 細砂粒・粗砂粒・繊維・中硬 ② 還元焼 良好 ③ 灰(Y.5/6)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ、底部回転へラ削り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	転用等の可能性あり。	
15	土加器	甕	埋土中 口縁部~胴部 1/2	口径 19.2 底径 — 踏高 —	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 焼化焼 良好 ③ 埋赤褐色(YR 5/6)	輪びね。 外面：口縁部横ナデ、胴部直上位横、中位縦方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部へラ削り。		
番号	種別	器種	状態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	概要
16	鉄器	鎌	基部側 2/3	9.9	3.3	0.5	20	内面の欠損が激しい
17	鉄器	鏝	頭部片	4.7	0.5	0.5	2.0	頭の上位で折れたか。

1・2区35号住居跡 (旧称1・2区5J-35)

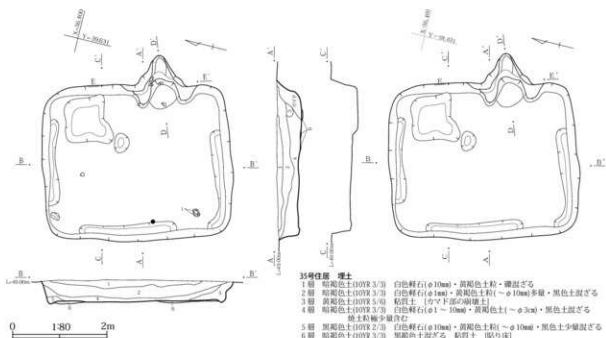
位置：X = 36398 Y = -39633 主軸方向：N-72°-E 規模：3.3m×4.0m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：36cm ~ 54cm 埋没土：白色軽石・礫を多少含む暗褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。

床面：地山ローム土を整形し床面とするが、一部に黄褐色土で埋め戻した上に、粘質暗褐色土を用いて貼り床が敷設されている。カマド：北東壁の南寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。使用面直上にある焼土化した天井部崩落土が堆積し、直下に灰層も検出された。両袖部は礫等の芯材を用いずに暗褐色粘質土で構築される。

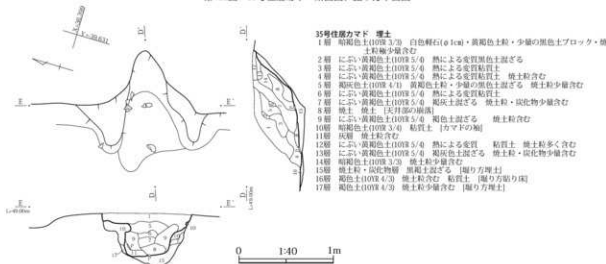
柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁間溝：カマドを有する東壁を除く各壁において、一部途切れながら幅28 ~ 40cm、深さ2 ~ 5cmを測る壁溝が検出される。重複遺構：なし。

出土遺物：床面直上から略完形の須恵器杯(No. 1)が出土する。



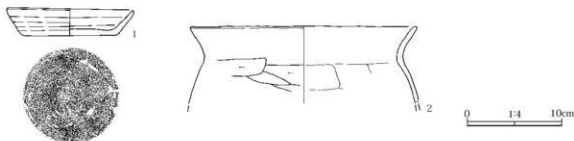
第123図 35号住居跡平・断面図、掘り方平面図

- 35号住居 埋土
- 1層 黒褐色土(09YR 3/3) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・織混ざる
 - 2層 黒褐色土(09YR 3/3) 白色軽石(φ1mm)・黄褐色土粒(〜φ10mm)多量・黒色土混ざる
 - 3層 黒褐色土(09YR 5/6) 粘質土 [カマ下の腐葉土]
 - 4層 黒褐色土(09YR 3/3) 白色軽石(φ1〜10mm)・黄褐色土粒(〜φ3cm)・黒色土混ざる
 - 5層 黄土粒少量含む
 - 6層 黒褐色土(09YR 2/3) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒(〜φ10mm)・黒色土少量混ざる
 - 7層 黒褐色土(09YR 3/3) 黄褐色土混ざる 粘質土 [掘り床]



第124図 35号住居跡カマド平・断面図

- 35号住居カマド 埋土
- 1層 黒褐色土(09YR 3/3) 白色軽石(φ1cm)・黄褐色土粒・少量の黒色土ブロック・焼土粒少量含む
 - 2層 ①に②・黄褐色土(09YR 5/6) 熱による変質黒色土混ざる
 - 3層 ①に②・黄褐色土(09YR 5/6) 熱による変質粘質土
 - 4層 ①に②・黄褐色土(09YR 5/6) 熱による変質粘質土 焼土粒含む
 - 5層 黒褐色土(09YR 4/1) 黄褐色土粒・少量の黒色土混ざる 焼土粒少量含む
 - 6層 ①に②・黄褐色土(09YR 5/6) 熱による変質粘質土
 - 7層 ①に②・黄褐色土(09YR 5/6) 焼土混ざる 焼土粒・炭化物少量含む
 - 8層 焼土 黄土粒少量含む
 - 9層 ①に②・黄褐色土(09YR 5/6) 黄褐色土混ざる 焼土粒含む
 - 10層 黒褐色土(09YR 3/4) 粘質土 [カマドの底]
 - 11層 灰層 焼土粒含む
 - 12層 ①に②・黄褐色土(09YR 5/6) 熱による変質 粘質土 焼土粒多く含む
 - 13層 ①に②・黄褐色土(09YR 5/6) 黄褐色土混ざる 焼土粒・炭化物少量含む
 - 14層 黒褐色土(09YR 3/3) 焼土粒少量含む
 - 15層 焼土粒・炭化物層 黒褐色土混ざる [掘り方埋土]
 - 16層 黒褐色土(09YR 4/3) 焼土粒含む 粘質土 [掘り方埋土]
 - 17層 黒褐色土(09YR 4/3) 焼土粒少量含む [掘り方埋土]



第125図 35号住居跡出土遺物

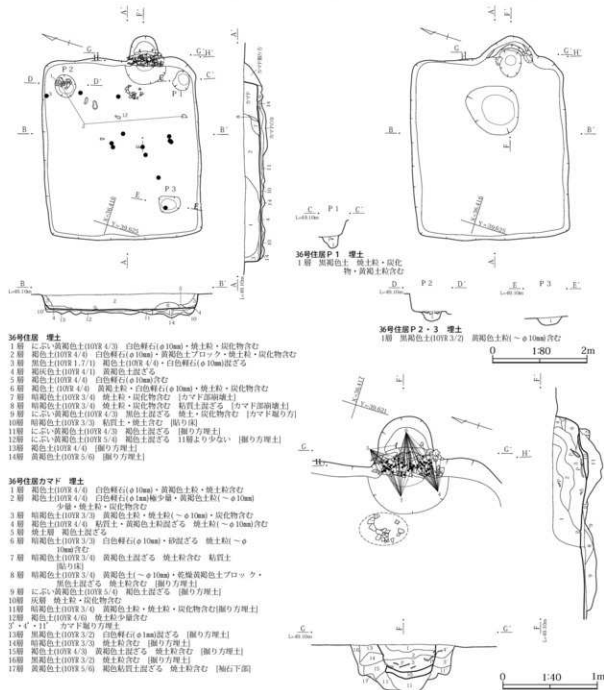
1・2区35号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 鉢	床面直上 ほぼ完整 上縁部一部欠損	L径 13.3 底径 10.0 器高 3.0	① 織紗粒・粗砂粒 ② 焼化場 ③ 灰黄(2.5)6/2	口クロ整形。 外面：体部①転ナデ。底面②転ナデ。底面③転ナデ調整。 内面：体部一底部③転ナデ調整。	器面厚減。
2	土師器 甕	甕使用面直上 口縁部～胴部上端 破片	L径 23.8 底径 — 器高 —	① 織紗粒・粗砂粒 ② 焼化場 良好 ③ ①に②・粗砂粒6/4	輪びら。 外面：口縁部横ナデ。胴部縦方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

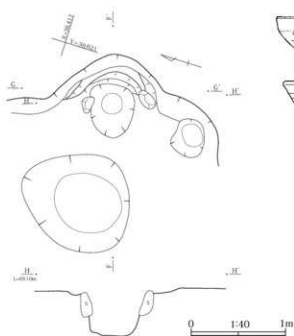
第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区36号住居跡(旧称1・2区5J-36)

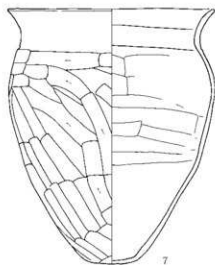
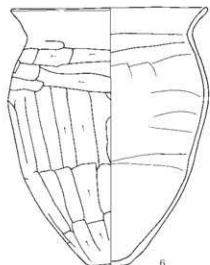
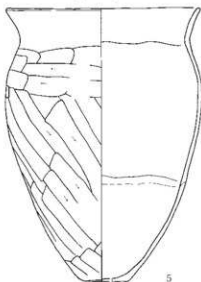
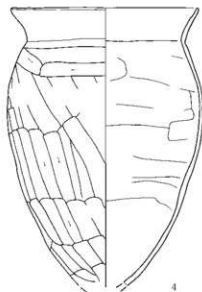
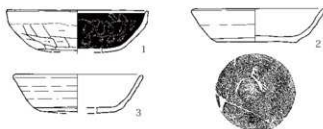
位置：X=36416 Y=-39623 主軸方向：N-73°-E 規模：3.8m×3.3m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：28cm～34cm 埋没土：主に白色軽石・黄褐色土ブロックなど含む褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：薄く黄褐色土と暗褐色粘質土で貼り床が敷設される。カマド：北東壁の南寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。両袖部には芯材として礎を埋設し、この礎にかかるように天井部芯材として4個体の土師器甕が横位に連ねた状態で検出された。また、崩落天井部の直下には灰層面が検出される。煙道部は短く、急峻に立ち上がる。柱穴：北西壁コーナー部を除く各住居のコーナー部付近より径32～48cm、深さ14～22cmを測る3基のビットを検出した。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：細かな凹凸を残し、地山ローム土を掘り窪める。出土遺物：カマド部構築材としての土師器甕(No. 4・5・6・7)のほか、床面直上から須恵器杯(No. 3)が出土する。



第126図 35号住居跡平・断面図



第127図 35号住居跡カマド掘り方平・断面図



第128図 36号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区36号住居跡出土遺物調査表

番号	種別	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器	杯	P 1埋土中 L1線部~底部 1/4	L径 14.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(SY 6/4)	L1線部下に輪郭面が残存。 外面: L1線部横ナデ。底部~底辺はへう割り。 内面: L1線部~底部ナデ後部に3段の螺旋切取文。	
2	須恵器	杯	P 2埋土中 L1線部~底部 2/3	L径 13.5 底径 8.4 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(SY 5/1)	ロウ口整形。L1線部やや外反。 外面: L1線部~底部に横ナデ。底部に転承切り後、10段へう割り調整。 内面: L1線部~底部に横ナデ調整。	
3	須恵器	杯	床面直上 L1線部~底部 破片	L径 13.5 底径 8.0 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰面(SY 6/2)	ロウ口整形。L1線部やや外反。 外面: L1線部~底部に横ナデ。底部に横へう割り。 内面: L1線部~底部に横ナデ調整。	
4	土師器	甕	埋土中 L1線部~胴部 底部欠損	L径 19.5 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 明赤褐色(YR 5/5)	輪郭のみ。 外面: L1線部横ナデ。胴部上位横方向のへう割り。胴部中~下位斜め方向のへう割り。 内面: L1線部横ナデ。胴部へう割りナデ。	
5	土師器	甕	埋土中 ほぼ完形	L径 20.2 底径 4.8 器高 28.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 相(SYR 6/8)	輪郭のみ。 外面: L1線部横ナデ。胴部上位横方向のへう割り。胴部中~下位斜め方向のへう割り。 内面: L1線部横ナデ。胴部へう割りナデ。	
6	土師器	甕	埋土中 ほぼ完形 一部欠損	L径 20.4 底径 4.3 器高 27.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ にぶい赤褐色(YR 4/4)	輪郭のみ。 外面: L1線部横ナデ。胴部上位横方向のへう割り。胴部中~下位斜め方向のへう割り。 内面: L1線部横ナデ。胴部へう割りナデ。	胴部下半~底部に黒斑あり。
7	土師器	甕	埋土中 ほぼ完形	L径 21.6 底径 5.7 器高 27.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 相(SYR 6/6)	輪郭のみ。 外面: L1線部横ナデ。胴部上位横方向のへう割り。胴部中~下位斜め方向のへう割り。 内面: L1線部横ナデ。胴部へう割りナデ。	底部外面に輪状彫り痕あり。胴部下半~底部に黒斑あり。

番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	構築
8	石製品	砥石	完形	11.8	4.4	4.7	300	砥沢石	床面+1cm
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	構築	
9	鉄器	刀子	柄~対基部片	5.6	1.2	0.7	5.0	鋼	腐食が激しい。

1・2区37号住居跡 (旧称1・2区SJ-37)

位置: X=36420 Y=-39615

主軸方向: N-70° - E 規模: 5.4m×4.6m

平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 23cm~40cm

埋没土: 主に白色軽石等を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。

床面: 浅い掘り方の上に、暗褐色粘質土を用いて厚さ4cmほどの貼り床を敷設する。カマド: 北東壁のやや南寄りに位置する。煙道部は短く急峻に立ち上がる。天井部崩落土下の使用面灰層は顕著ではない。掘り方埋土内に焼土・炭化物が多く混在していることから、修復・作り直しがあったものと推察される。

柱穴: 掘り方調査時において径30~36cm、深さ20cmを測る1穴を検出する。貯蔵穴: なし。

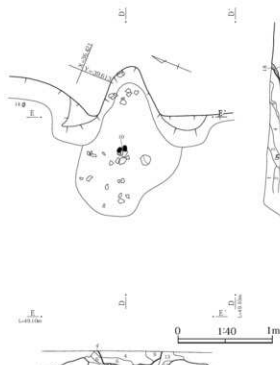
壁周溝: 掘り方調査時において南東壁下の方に幅34~44cm、深さ6cmを測る壁溝を検出する。

重複遺構: なし。掘り方: 地山ローム土を浅く凹凸に掘り窪める。また、カマド掘り方底面には地山礫層が露出する。出土遺物: 床面直上からは須恵器杯(No. 6)・蓋(No. 2)の破片が、また、埋土中からは土師器杯(No. 1)・甕(No. 9・10・11)、須恵器杯(No. 4・5)・椀(No. 7)・蓋(No. 3)・短頸甕(No. 8)・甕(No. 12)、土鍾(No. 13・14)などが出土している。



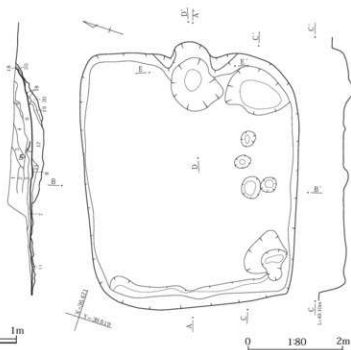
- 37号住居 埋土
- 1層 黒褐色土(OYR 2/2) 白色軽石(φ10mm)・焼土粒を含む
 - 2層 黒褐色土(OYR 3/2) 白色軽石(φ10mm)・黒褐色土粒・砂少量混ざる 焼土粒を含む
 - 3層 黒褐色土(OYR 3/2) 白色軽石(φ10mm)・黒褐色土粒・黒褐色土ブロック混ざる 焼土粒(φ10mm)多量に含む
 - 4層 黒褐色土(OYR 2/2) 白色軽石(φ10mm)少量・焼土粒を含む
 - 5層 炭化物・焼土和層 黒褐色土少量混ざる
 - 6層 黒褐色土(OYR 5/0) 壁の破片
 - 7層 黒褐色土(OYR 3/4) 粘質土・黒褐色土混ざる [掘り方埋土]
 - 8層 黒褐色土(OYR 3/4) 黒褐色土混ざる [掘り方埋土] [カマド掘り方]
 - 9層 にぶい黒褐色土 粘質土混ざる 炭化物・焼土多量を含む [カマド掘り方]
 - 10層 黒褐色土(OYR 3/0) 焼土粒・炭化物多量を含む

第129図 37号住居跡平・断面図



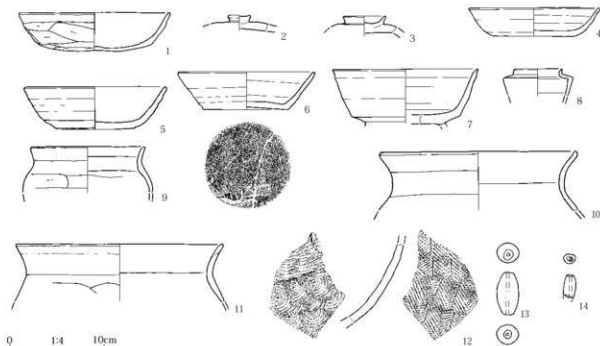
- 37号住居カマド 礎土
- 1層 黄褐色土(00R 4/6) 白色軽石(φ10mm)・黒色土・黄褐色土粘着さる 炭化物・焼土粘着む
 - 2層 黒色土(00R 2/1) 粘質土・ブロック 白色軽石(φ10mm)混ざる
 - 3層 黄褐色土(00R 4/6) 1層より黄褐色土粘多し
 - 4層 明黄褐色土(00R 6/0) 白色軽石(φ10mm)・褐色土混ざる 焼土粘・炭化物含む 粘質土
 - 4層 明黄褐色土(00R 6/0) 4層より褐色土多量混ざる
 - 5層 明黄褐色土(00R 6/0) 黒色土粒・白色軽石(φ10mm)・焼土粒(φ30mm)・炭化物含む
 - 6層 焼土層 (天井部破損)
 - 6層 焼土層 6層に黒色土混ざる

第130図 37号住居跡カマド平・断面図



- 7層 明黄褐色土(00R 6/0) 粘質土 白色軽石(φ10mm)・黒色土混ざる 焼土粒・炭化物含む
- 8層 炭化物層
- 9層 明黄褐色土(00R 6/0) 粘質土
- 10層 明黄褐色土(00R 6/0) ブロック
- 11層 褐色土(00R 4/6) 粘質土・焼土粘着む粘り床
- 12層 褐色土(00R 4/6) 13層より焼土多量含む(廻り方埋土)
- 13層 褐色土(00R 2/3) 焼土粘含む
- 14層 黄褐色土(00R 5/6) ブロック
- 15層 黄褐色土(00R 5/6) 褐色粘質土混ざる
- 16層 黄褐色土(00R 5/6) 褐色粘質土混ざる
- 17層 褐色土(00R 4/6) 焼土多量に含む
- 18層 黄褐色土(00R 5/6) 焼土粘含む
- 19層 黄褐色土(00R 5/6) 焼土粘少量含む
- 20層 焼土粘 黄褐色土ブロック混に混ざる

第131図 37号住居跡掘り方平・断面図



第132図 37号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区37号住居跡出土遺物調査表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 I1線部~底部 1/4	I径 15.8 底径 11.6 高さ 4.1	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に、赤、褐色(7/6)	外面：I1線部横ナデ、体部縦方向、底部すそ持ちへう割り。 内面：I1線部~体部横ナデ、底部ナデ調整。			
2	須恵器 杯蓋	床面直上 破片	I径 2.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰青(5/7)	ロウ口整形。 外面：横み貼付。 内面：天井部回転ナデ。			
3	須恵器 杯蓋	埋土中 破片	I径 4.3 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 青灰(10B 5/1)	ロウ口整形。 外面：天井部土位回転へう割り、横み貼付。 内面：天井部回転ナデ。			
4	須恵器 杯	床面+4cm 破片	I径 13.6 底径 8.4 高さ 3.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄(2/7)	ロウ口整形。回転右回り。 外面：I1線部~体部回転ナデ、底部回転へう割り。			
5	須恵器 杯	埋土中 破片	I径 13.5 底径 8.0 高さ 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(7/9)	ロウ口整形。回転右回り。 外面：I1線部~体部上半回転ナデ、体部下半~底部回転系切り後、回転へう割り調整。 内面：I1線部~底部回転ナデ調整。			
6	須恵器 杯	床面直上、埋土中 I1線部~底部 1/2	I径 14.4 底径 9.0 高さ 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(2、5) 8/2)	ロウ口整形。回転右回り。I1線部外反。 外面：I1線部~体部回転ナデ、底部回転系切り。 内面：I1線部~底部回転ナデ調整。		器面摩滅。	
7	須恵器 椀	床面+33cm I1線部~底部 1/6	I径 15.3 底径 — 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰青(5/1)	ロウ口整形。I1線部やや外反。 外面：I1線部~体部回転ナデ、底部ナデ。高台貼付。 内面：I1線部~底部回転ナデ調整。			
8	須恵器 短須恵	埋土中 I1線部~胴部上半 破片	I径 5.0 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7、5) 4/1)	外面：I1線部~胴部回転ナデ。 内面：I1線部~胴部回転ナデ調整。			
9	土師器 甕	床面+10cm I1線部~胴部上端 破片	I径 12.0 底径 — 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に、赤、褐色(5) 6/4)	輪組み。 外面：I1線部横ナデ、胴部横方向のへう割り。 内面：I1線部横ナデ、胴部へうナデ。			
10	土師器 甕	埋土中 I1線部~胴部上端 破片	I径 18.8 底径 — 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に、赤、褐色(5) 6/4)	輪組み。 外面：I1線部横ナデ、胴部横方向のへう割り。 内面：I1線部横ナデ、胴部へうナデ。			
11	土師器 甕	床面+23cm I1線部~胴部上端 破片	I径 21.8 底径 — 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に、赤、褐色(5) 5/4)	輪組み。 外面：I1線部横ナデ、胴部横方向のへう割り。 内面：I1線部横ナデ、胴部へうナデ。			
12	須恵器 甕	埋土中 破片	I径 — 底径 — 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7、5) 4/1)	外面：胴部縁移取の叩き目。 内面：胴部中心凹状ナデ具。			
13	土師器 鉢	床面+7cm 完形	長さ 4.5 径 2.3 孔 0.4	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 粉(7、5) 7/6)	I1線部平面をつくる。外面横面ナデ、端部へうナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量：22g			
14	土師器 鉢	埋土中 破片	長さ 2.6 径 1.5 孔 0.3	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ に、赤、黄褐色(10) 7/3)	I1線部平面をつくる。外面横面ナデ、端部へうナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：2g			

1・2区38号住居跡 (旧称 1・2区5J-38)

位置：X=36414 Y=-39613

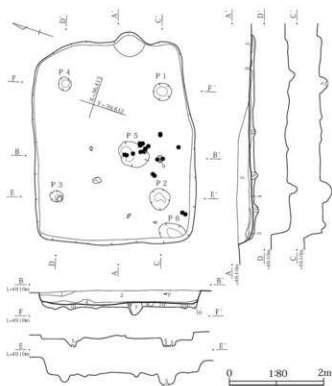
主軸方向：N-72° - E

規模：4.3m×3.4m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：22cm ~ 24cm 埋設土：主に白色軽石を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：黄褐色土で埋め戻した上面に、厚さ3cmほどの褐色粘質土で貼り床を敷設する。カマド：北東壁のやや南寄りに位置するが、遺存状態は悪く、掘り方がわずかに確認できた程度である。

柱穴：掘り方調査時において6基のピットを検出

- 採得地層 埋土
- 1層 黒褐色土(10) 3/2 黒色土(0.7/1)、白色軽石(φ10mm)混ざる粘土粘含む
 - 2層 暗褐色土(10) 3/2 黄褐色土粘・白色軽石(φ10mm)粘土粘・酸化粘含む
 - 3層 黒褐色土(10) 3/2 黄褐色土粘・白色軽石(φ10mm)含む
 - 4層 に、赤、黄褐色土(10) 5/6 褐色土混ざる
 - 5層 褐色土(10) 4/4 粘質土・粘土粘含む [カマド掘り方埋土]
 - 6層 褐色土(10) 4/4 粘質土 (掘り方)
 - 7層 に、赤、黄褐色土(10) 5/3 黄褐色土粘含む
 - 8層 に、赤、黄褐色土(10) 5/3 褐色土混ざる
 - 9層 褐色土(10) 4/4 粘質土粘含む
 - 10層 黄褐色土(10) 5/3 褐色土混ざる

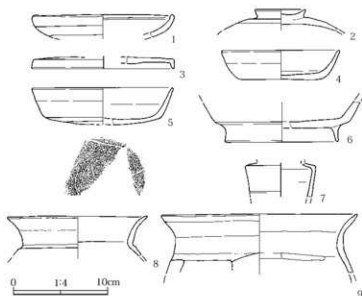


第133図 38号住居跡平・断面図

した。P1からP4の4基は径25～46cm、深さ24～27cmを測り、その位置関係より主柱穴と考えられる。

貯蔵穴：なし。 壁周溝：不明。

重複遺構：なし。 掘り方：地山ローム土を浅く掘り窪める。 出土遺物：床面直上からは須恵器蓋（No. 2）の破片が出土しており、埋土中からは土師器杯（No. 1）・甕（No. 8, 9）、須恵器杯（No. 4・5）・椀（No. 6）・短頸壺（No. 7）、灰軸陶器蓋（No. 3）、黒色土器杯の破片が数点出土している。



第134図 38号住居跡出土遺物

1・2区38号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	L径 14.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化腐 良好 ③ 粘土(5.9/6.6)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへう削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。	
2	須恵器 杯蓋	床面直上 天井部～胴部 破片	L径 — 口径 5.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(5.7/2)	口縁部横ナデ。 外面：天井部(口縁部)へう削り。高台削付。 内面：天井部(口縁部)ナデ。	
3	灰軸陶器 蓋	埋土中 体部 破片	L径 14.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ オリーブ灰(10.0/6.2)	口縁部横ナデ。 外面：口縁部(口縁部)ナデ。 内面：口縁部～天井部(口縁部)ナデ。	
4	須恵器 杯	床面+14cm 口縁部～底部 1/3	L径 12.3 底径 9.0 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(5.7/1)	口縁部横ナデ。 外面：口縁部～体部(口縁部)ナデ、底部(口縁部)へう削りか。 内面：口縁部～底部(口縁部)ナデ調整。	
5	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	L径 14.8 底径 9.0 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(8.8/8)	口縁部横ナデ。 外面：口縁部～体部(口縁部)ナデ、底部(口縁部)へう削り。 内面：口縁部～底部(口縁部)ナデ調整。	
6	須恵器 椀	埋土中 体部下端～底部 破片	L径 — 口径 12.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5/7.2)	口縁部横ナデ。 外面：体部(口縁部)ナデ、底部(口縁部)へう削り。高台削付。 内面：体部～底部(口縁部)ナデ調整。	
7	須恵器 短頸壺	埋土中 胴部 破片	L径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5/4.1)	口縁部横ナデ。 外面：胴部(口縁部)ナデ。 内面：胴部(口縁部)ナデ調整。	
8	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部 破片	L径 14.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化腐 良好 ③ 粘土(6.9/6.6)	口縁部横ナデ。 外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部へう削り。 内面：口縁部～胴部横ナデ、胴部へう削り。	
9	土師器 甕	床面+14cm 口縁部～胴部 破片	L径 20.5 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化腐 良好 ③ 明赤(6.9/5.6)	口縁部横ナデ。 外面：口縁部横ナデ、胴部(口縁部)へう削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部へう削り。	

1・2区39号住居跡 (旧称1・2区5J-39)

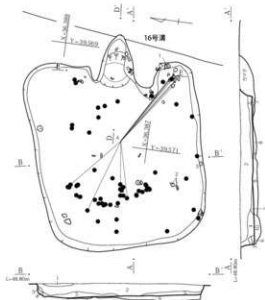
位置：X=36387 Y=-39571 主軸方向：N-79° - E 規模：3.9m×3.5m 平面形状：隅丸長方形
残存深度：22cm～28cm 埋没土：主に白色軽石を含むふい黄褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。 床面：掘り方埋土であるロームブロックを含む黒褐色土を固めて床面としている。

カマド：北東壁のやや南寄りに位置し、焚き口から煙道にかけて灰が多量に層が厚く堆積している。袖部は芯材を用いず黒褐色土で構築され、煙道は緩やかに立ち上がる。 貯蔵穴：なし。 壁周溝：なし。

重複遺構：16号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より本住居跡の方が新しいものと判断される。

掘り方：地山ローム土を10cmほど掘り窪める。また、住居西壁際で長軸80cm、短軸60cm、深さ16cmを測る床下土坑を1基検出した。 出土遺物：南壁際では須恵器杯の底部を転用した鉢釜車（No. 5）が出土する。また、床面直上からは土師器甕（No. 3）、須恵器杯（No. 2）の破片が出土しており、埋土中からは須恵器甕（No. 4）や黒色土器杯の破片が出土している。

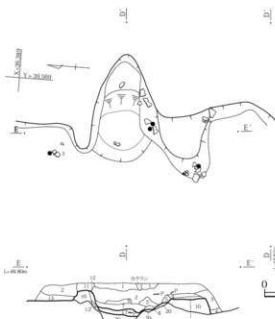
第3章 検出遺構と出土遺物



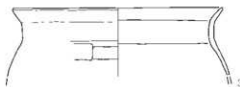
39号住居 埋土

- 1層 深い黄褐色土(00R 5/6) 少量の黄褐色砂質ローム土・白色軽石(或明礬礫石)を含む
- 2層 深い黄褐色土(00R 5/6) 多量の黒褐色土(φ5～10mm)と少量の白色軽石・焼土小ブロックを含む
- 3層 深い黄褐色砂質土(00R 6/6) 少量の白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む
- 4層 深い黄褐色土(00R 5/6) 少量の白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む
- 5層 深い黄褐色土(00R 5/6) 多量の黒褐色土ブロック(φ5～10mm)と少量の白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む
- 6層 黒褐色土(00R 3/3) φ10mmの黒褐色土ブロックを少し含む φ5mmのロームブロックを少し含む [掘り方]
- 7層 黒褐色土(00R 3/3) ロームを多く含む [掘り方]
- 8層 黒褐色土(00R 3/3) ロームを多く含む [掘り方]
- 9層 黒褐色土(00R 3/3) ロームを多く含む [掘り方]

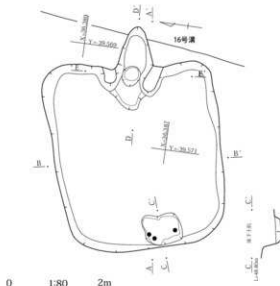
第135図 39号住居跡平・断面図



第137図 39号住居跡カマド平・断面図



第138図 39号住居跡出土遺物(1)



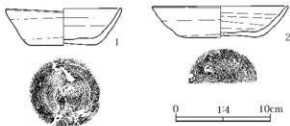
39号住居跡下土 埋土

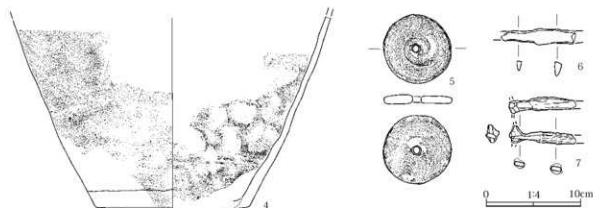
- 1層 深い黄褐色土(00R 6/6) しまりやや有灰白色土ブロックφ50mm以下を中々多量、灰(0.5mm以下)・焼土粒φ10mm以下を少量含む

第136図 39号住居跡掘り方平・断面図

39号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(00R 4/4) 粘性なし、しまりあり 明黄褐色土粒(00R 7/6)φ5mm、焼土粒・灰をφ2mmの中々多量含む
- 2層 深い黄褐色土(00R 4/5) 粘性なし、しまりあり φ10mm以下の焼土粒・φ1mm程度のハミス・明黄褐色土を中々多量、細のブロックφ50mm以下を少量含む
- 3層 深い黄褐色土(00R 5/6) 2層土に類似した黄や明な
- 4層 灰層 焼土粒、明黄褐色土粒φ5mm以下を少量含む
- 5層 黒褐色土(00R 2/1) 粘性なし、しまりあり
- 6層 焼土粒・明黄褐色土粒φ5mm以下を少量含む
- 7層 明黄褐色土粒が0層で多く汚れる [天井面]
- 8層 黒褐色土(00R 3/3) 粘性なし、しまりあり 明黄褐色土粒φ10mmを中々多量、この土でつくられるφ3mm以下の焼土粒を少量含む
- 9層 黄褐色土(00R 5/6) 粘性なし、しまりあり 焼土粒φ10mm以下を少量含む [天井面]
- 10層 黒褐色土(00R 3/3) 粘性なし、しまりあり φ1mm程度の焼土粒・ハミスを少量、3層の上ブロックφ10～50mmを少量含む この黒褐色土は水平方向のびており、人の踏み跡と考える
- 11層 黄褐色土(00R 5/6) 粘性なし、しまりややあり 全体に黒褐色土が混じり、焼土粒・白色ハミスφ5mm以下を少量含む [土上]
- 12層 黒褐色土(00R 3/3) 粘性なし、しまりややあり 焼土粒φ10mm以下を多量含む
- 13層 焼土なし、どちらも土内
- 14層 明黄褐色土(00R 6/6) 粘性なし、しまりあり φ10mm以下の焼土粒を少量、φ1mm程度の白色ハミスを少量含む
- 15層 明黄褐色土(00R 6/6) 粘性なし、しまりあり φ10mm以下の黒褐色土粒(00R 2/1)を中々多量に、φ10mm以下の焼土粒を少量、φ1mm程度のハミスを少量含む
- 16層 明黄褐色土(00R 6/6) 炭化物を含む [天井面]
- 17層 深い黄褐色土(00R 5/6) 灰を多く含む 焼土を含む [カマドの使用面]
- 18層 深い黄褐色土(00R 4/5) 黒褐色土粒子を少し含む 焼土を含む [カマドの使用面]
- 19層 灰褐色土(00R 4/2) 焼土を含む、φ2mmの黒褐色土ブロックを少し含む [天井面]
- 20層 黒褐色土(00R 5/1) φ5mmのロームブロック・φ5～10mmの黒褐色土・炭化物を塊状に含む [カマド掘り方]
- 21層 黒褐色土(00R 2/1) φ1.5mmのローム粒子を含む





第139図 39号住居跡出土遺物(2)

1・2区39号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+14cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.0 底径 7.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰G5Y/1	口縁口整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/2	口径 14.2 底径 7.0 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰G7.5Y6/1	口縁口整形。回転右回り。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	土師器 甕	床面直上 口縁部~胴部上端 小破片	口径 22.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 赤褐(YE4/8)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
4	須恵器 甕	床面+6cm 胴部下半	口径 - 底径 16.0 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰G5Y/1	口縁口整形。 外面：胴部横ナデ調整。胴部下ヘラ削り。底部ヘラ削り。 内面：胴部横ナデ調整。アテ貝痕が残る。	
5	須恵器 紡輪車	床面+8cm	長径 7.2 短径 7.1 厚さ 1.0	① 黒丸 (YR5/8)	表面回転糸切り。 孔径 0.8cm 周辺部丁寧に磨り込まれ、形を調整している。	須恵器底部転用。

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
6	鉄器	刀子	柄~刃部片	8.0	1.8	0.8	20.0	刃部の錆化が激しい。
7	鉄製品	焼印	柄~焼印基部片	7.1	1.4	1.8	9.0	柄部分に本貫が残る。

1・2区40号住居跡 (旧称 1・2区5J-40)

位置：X=36380 Y=-39568 主軸方向：N-75° - E 規模 4.3m×3.0m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：19cm～28cm 埋没土：主に白色軽石を含む灰黄褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土である灰黄褐色土を固めて床面する。カマド：北東壁中央やや北寄りに1基(東カマド)と、北西壁北寄りにもう1基(北カマド)が検出された。北カマドは良好な状態で残っているのに対し、東カマドは袖部も無く遺存状態が悪いことから、東カマドの廃棄後に北カマドに作り替え使用していた可能性が高い。東カマドの焼き口幅は40cmほどを測り、煙道端は急峻に立ち上がる。使用面の灰層は顕著ではない。北カマドは焼き口幅60cmほどを測り、焼き口から煙道部にかけて灰を多く含んだ層が厚く堆積している。袖は地山の土を掘り残すことで構築されている煙道端は緩やかに立ち上がる。

柱穴：掘り方調査時において検出された、住居長軸中心線上の2穴が、柱穴と考えられる。

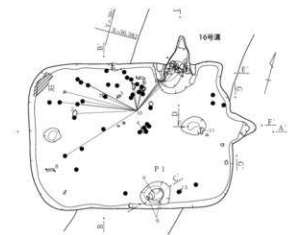
貯蔵穴：南東壁際より長軸66cm、短軸50cmの楕円形で、深さ22cmを測る土坑が、完形の須恵器甕の下半部が露出した状態で検出された。埋土は住居埋没土と同じであることから、住居廃絶時には開口していたものと推察される。

壁周溝：なし。重複遺構：16号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相から本住居跡の方が新しいものと判断される。

掘り方：地山ローム土を15cmほど掘り込み、西壁側および南東コーナー付近を土坑状に掘り窪める。

出土遺物：床面直上から土師器甕(No.11)や須恵器杯(No.3・4・7)・蓋(No.2)の破片、貯蔵穴と考えられる土坑内より須恵器広口壺(No.9)・坏(No.6)が出土している。

第3章 検出遺構と出土遺物



第140図 40号住居跡平・断面図

40号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10VE 4/2) 少量の白色輝石(礫名ニツ品+茂園C)・焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色土(10VE 5/1) 微量の白色輝石・炭化物を含む
- 3層 暗灰色土(10VE 5/1) 微量の白色輝石・焼土粒子・炭化物を含む
- 4層 灰黄褐色土(10VE 4/2) 多量の淡黄色シルト小ブロック(φ5~5mm)と黒色粘土ブロック(φ1~3mm)・焼土粒子・炭化物を含む

16号溝 埋土

- 4層 灰黄褐色土(10VE 4/2) 多量の焼土粒子・炭化物を含む
- 5層 黒褐色土(10VE 3/1) 少量の淡黄色シルト小ブロック(φ2~5mm)を含む
- 6層 深い黄褐色土(10VE 5/3) 多量の淡黄色シルト小ブロック(φ2~5mm)を含む
- 7層 深い黄褐色土(10VE 5/3) 多量の黒褐色土大ブロック(φ10~50mm)と、淡黄色シルト小ブロックを含む
- 7層 深い黄褐色土(10VE 4/3) 多量の淡黄色シルト小ブロック(φ2~5mm)を含む

40号住居P1 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10VE 5/3) 微量の白色輝石(礫名ニツ品+茂園C)を含む

0 180 2m

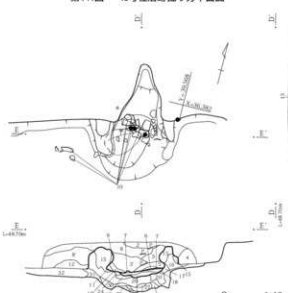


第141図 40号住居跡掘り方平面図

40号住居北カマド 埋土

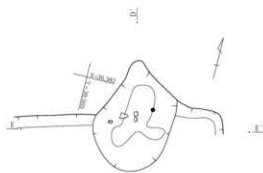
- 1層 灰黄褐色土(10VE 4/2) 微量の白色輝石(礫名ニツ品)・焼土粒子を含む
- 2層 灰黄褐色土(10VE 5/2) 微量の白色輝石(礫名ニツ品)・焼土粒子を含む
- 3層 深い黄褐色土(10VE 6/3) 微量の白色輝石と少量の焼土小ブロック(φ5~10mm)を含む [天开部埋没]
- 3層 ニシ・黄褐色土(10VE 4/2) 微量の白色輝石と少量の焼土小ブロック(φ5~10mm)・炭化物を含む
- 5層 深い黄褐色土(10VE 5/3) 少量の焼土小ブロック(φ5~10mm)を含む [天开部埋没]
- 6層 赤色土(焼土) [天开部埋没]
- 7層 灰黒 黄褐色の焼土粒子を含む [埋用]
- 8層 暗赤褐色土(10VE 6/3) φ5mm以下のハミス・φ10mm以下の焼土・炭粒を少量含む [天开部埋没]
- 8層 深い黄褐色土(10VE 6/3) 粘性なし 灰褐色が強い
- 9層 深い黄褐色土(10VE 5/3) 粘性なし φ5mm以下の焼土をやや多量含む [埋用内埋]
- 10層 深い黄褐色土(10VE 5/3) 粘性なし しまりなし φ5mm以下の焼土をやや多量含む [埋用の埋]
- 11層 ニシ・黄褐色土(10VE 5/3) 焼土が少な [埋用の埋]
- 12層 黒褐色土(10VE 3/1) 粘性なし しまりややあり 黄褐色土(カマド埋没材料)φ10mm程をやや多量含む
- 13層 ニシ・黄褐色土(10VE 6/3) 粘性なし しまりややあり φ5mm以下の焼土粒をやや多量含む [天开部埋没]
- 14層 黒色粘土(10VE 2/1) しまりややあり 焼土粒φ5mm程少量含む
- 15層 暗褐色土(10VE 6/3) 粘性なし しまりややあり
- 16層 暗褐色土(10VE 3/3) 粘性なし しまりややあり
- 17層 暗褐色土(10VE 3/3) 16層に焼土粒・黄褐色土粒φ5mm程を多量含む
- 18層 灰黒 黒色土(10VE 2/1) 粘性なし しまりなし 焼土粒φ5mm以下を少量含む 1層より多。
- 19層 灰黒 18層に焼土粒φ5mm以下をやや多量含む
- 20層 暗褐色土(10VE 3/3) 粘性なし しまりややあり 黄褐色土粒φ10mm以下をやや多量含む 18層を多量含む
- 20層 暗褐色土(10VE 3/3) 20層に焼土で全体に汚れる
- 21層 暗褐色土(10VE 3/3) 粘性なし しまりややあり 黄褐色土粒φ10mm以下をやや多量 黒色粘土粒φ10mm以下少量黄褐色土(カマド埋没材料)φ5mm程を少量含む
- 22層 黒色土(10VE 1/1) 粘性なし しまりややあり 黄褐色土で全体に汚れる 焼土粒φ10mm以下少量含む
- 23層 暗褐色土(10VE 3/3) 20層に焼土粒微量が埋め強い
- 24層 黒色粘土(10VE 2/1) しまりややあり
- 25層 暗褐色土(10VE 3/3) 粘性なし しまりややあり 黄褐色土で全体に汚れる 黄褐色土粒φ5mm以下少量含む
- 26層 黒色土(10VE 2/1) 27層に黄褐色土で全体に汚れる 焼土粒φ10mm程少量含む
- 27層 黒色土(10VE 2/1) 粘性ややあり しまりややあり 細砂を多量含む φ1mm程のハミス少量含む
- 28層 オリーブ褐色土(10VE 3/3) 粘性なし しまりややあり
- 29層 赤・27層の埋
- 30層 暗褐色土(10VE 3/3) 20層より埋めが強い
- 31層 暗オリーブ褐色土(10VE 3/3) 粘性なし しまりあり 黄褐色土と黒色土の混土と同様に1mm程のハミス少量含む
- 32層 黒色粘土(10VE 2/1) φ5mm程のハミス少量含む
- 33層 暗灰褐色土(10VE 4/2) 粘性なし しまりややあり 焼土小ブロックφ3mm以下を多量含む [埋用]
- 34層 暗灰褐色土(10VE 4/1) 粘性なし しまりややあり 灰の混土に焼土粒φ10mm以下少量含む 同様に10mm以下を少量含む

0 180 2m

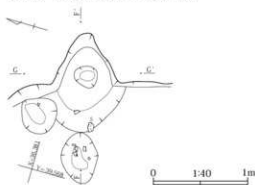


第142図 40号住居跡北カマド平・断面図

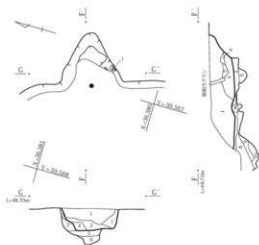
0 140 1m



第143図 40号住居跡北カマド掘り方平面図



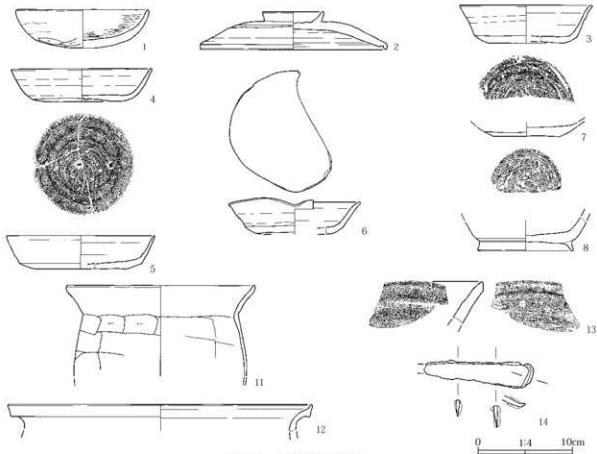
第144図 40号住居跡東カマド掘り方平面図



第145図 40号住居跡東カマド平・断面図

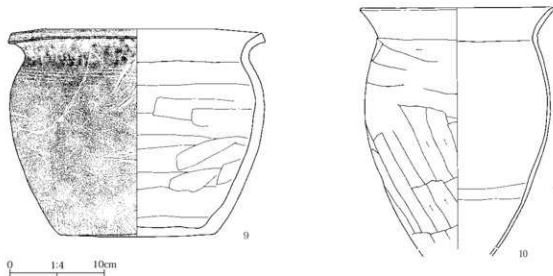
40号住居東カマド 埋土

- 1層 近い黄褐色土(10取 5/3) 少量の白色輝石(輝石二ツ房+浅間C)、焼土粒子を含む
- 2層 近い黄褐色土(10取 5/3) 微量の白色輝石・焼土粒子を含む
- 3層 近い黄褐色土(10取 5/3) 少量の焼土小ブロック(φ5-10mm)、暗褐色土小ブロック(φ10-15mm大)を含む
- 4層 近い黄褐色土(10取 5/3) 微量の白色輝石を含む
- 5層 近い黄褐色土(10取 5/3) 少量の淡黄色砂質ローム粒子・焼土粒子を含む
- 6層 近い黄褐色土(10取 5/3) 多量の淡黄色砂質ローム粒子・暗褐色土ブロック(φ10-20mm大)、少量の焼土粒子を含む含有物が少ない
- 7層 黒褐色土(10取 2/2) 粘性あり しまりややあり 焼土粒φ10mm以下をやや多量含む
- 8層 黒褐色土(10取 2/2) 粘性なし しまりあり 黒褐色粘質土ブロックφ30mm以下・焼土粒φ10mm以下少量 パミス(1mm程)の遺構を含む
- 9層 黒褐色土(10取 2/2) 粘性なし しまりあり 焼土粒φ10mm程少量 φ1mm程のバミスを含量含む
- 10層 黒褐色土(10取 2/2) 9層より黒味が強い



第146図 40号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出遺構と出土遺物



第147図 40号住居跡出土遺物(2)

1・2区40号住居跡出土遺物観察表

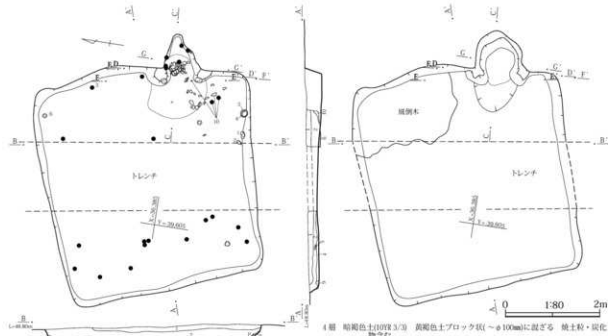
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	土師器 杯	東遺埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 13.8 底径 — 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 土色・黄褐色(10B7/3)	外面に輪筋が残る。 外面：口縁部～底部横ナデか。底部手持ちへ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
2	須恵器 杯蓋	床面直上 口縁部～横部 1/3	口径 19.6 底径 6.1 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(10Y 5/1)	ロクロ整形。右回りか。 外面：天井部回転へ削り。口縁部横ナデ。横み貼付。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。	内面二次使用か (転用説)		
3	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/2	口径 13.8 底径 8.2 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(10Y 8/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺をへ削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
4	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 口縁部と胴部の一部 欠損	口径 14.7 底径 8.2 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(10Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
5	須恵器 杯	北遺埋方埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 15.5 底径 9.8 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 ③ 土色・黄褐色(10Y 7/4)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部へ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面厚減。		
6	須恵器 杯 (片口)	住居内土坑埋土中 口縁部～体部 破片	口径 13.8 底径 — 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(10Y 7/0)	ロクロ整形。口縁部はやや外反。一部は大きく外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。最下位は、1段の回転へ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	歪みあり。		
7	須恵器 杯	床面直上 底部 破片	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：底部回転へ削り。 内面：底部回転ナデ調整。			
8	須恵器 碗	床面+8cm 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 9.7 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ オリーブ(4B2.5G 5/1)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転へ削り。高台部付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。			
9	須恵器 広口壺	住居内土坑埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 26.4 底径 16.2 器高 22.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ。前面に押し盛りが見える。胴部は全面的にナデで消されている。底部へ削りか。 内面：口縁部～胴部横ナデ。底部ナデ調整。			
10	土師器 甕	住居埋土+北遺埋土 中 口縁部～胴部 1/3	口径 20.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 明赤褐色(5Y 5/0)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横・中・下位は斜め方向へ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へ削りナデ。			
11	土師器 甕	床面直上 口縁部～胴部上半 破片	口径 19.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 相付.5Y 7/0	輪組み。 外面：口縁部ナデ。胴部横方向へ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へ削りナデ。			
12	須恵器 甕	床面+6cm 口縁部 破片	口径 31.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ調整。	器面厚減。		
13	須恵器 甕	床面+22cm 口縁部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(6Y 6/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ調整。	外面に自然釉が若干付着。		
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	概要
14	鉄器	鎌	先端部欠損	11.5	2.8	1.0	31.0	

1・2区41号住居跡(旧称1・2区5J-41)

位置：X=36385 Y=-39604 主軸方向：N-78°-E 規模：4.8m×4.2m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：17cm～27cm 埋没土：主に白色軽石や黄褐色土粒焼土粒を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるローム土を主体とした暗褐色土で埋め固め床面としている。

カマド：東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。焚き口幅は50cmを測り、煙道部緩やかに立ち上がる。燃焼部使用面には灰が厚く堆積し、中心線からやや左側にはずれた位置に支脚石が据えられている。両袖部には芯材として礎を使用し構築されており、礎のすぐ奥側には同じく芯材として土師器甕が逆位に埋設されていることから、手前側の礎を使用した部分の袖は、改修によるものとも考えられる。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁溝溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：全体に地山ローム土浅く掘り窪める。出土遺物：壁際の床付近より完形の須恵器杯(No.1・4・5)が出土したほか、埋土中から須恵器椀を転用した硯(No.6)、捉砥石(No.11)などが出土している。



41号住居 埋土

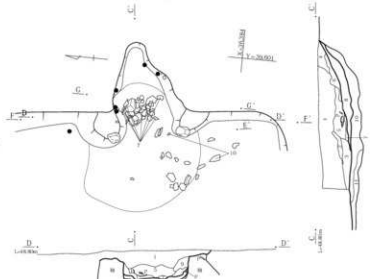
- 1層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・砂粒混る 焼土粒・炭化物含む
- 2層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石(φ10mm・1mm混在)・黄褐色土粒(φ30mm)・焼土粒(φ30mm)・炭化物含む
- 3層 明黄褐色土(00R 6/0) 褐色粘質土少混ざる ブロック

- 4層 暗褐色土(00R 3/0) 黄褐色土ブロック状(φ100mm)に混ざる 焼土粒・炭化物含む

- 5層 暗褐色土(00R 3/0) 粘質土(掘り方)
- 6層 暗褐色土(00R 3/0) 黄褐色土粒混る 焼土粒含む(掘り方埋土)
- 7層 黄色土(00R 2/1) 白色軽石(φ1mm)混ざる
- 8層 暗褐色土(00R 3/0) 黄褐色土粒混る(掘り方埋土)
- 9層 明黄褐色土(00R 6/0) ブロック状(樹カ炭)
- 10層 暗褐色土(00R 3/0) 褐色粘質土・黄褐色土粒混ざる 焼土粒含む

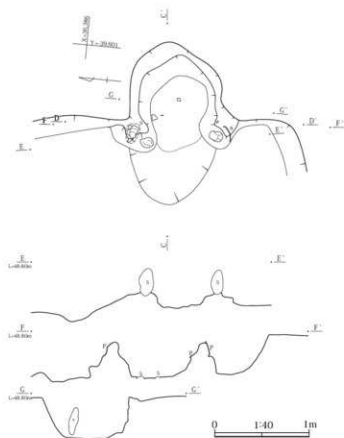
41号住居カマド 埋土

- 1層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石・焼土をφ0.5mmのロームブロック・φ0.5mmの黒土粒・炭化物含む
- 2層 暗褐色土(00R 3/0) ロームブロックを多く含む 褐色土粒子を少し含む
- 3層 暗褐色土(00R 5/0) 焼土・炭化物を少し含む φ0.25～1mmのロームブロックを含む
- 4層 濃い黄褐色土(00R 4/0) 焼土・褐色土を少し含む φ2.5～5mmのロームブロックを少し含む
- 5層 暗褐色土(00R 3/0) 白色軽石をわずかに含む 焼土・炭化物・φ2.5～5mmのロームブロックを少し含む
- 6層 暗褐色土(00R 5/0) 焼土を含む φ1mmのローム粒子・φ0.5mmの褐色土ブロックを少し含む
- 7層 暗褐色土(00R 4/0) 焼土を帯状に多く含む
- 8層 暗褐色土(00R 4/0) 灰を多く含む 炭化物・焼土を少し含む(灰層)
- 9層 暗褐色土(00R 4/0) φ1mmのロームブロックを少し含む 焼土をわずかに含む
- 10層 濃い黄褐色土(00R 5/0) 焼土・φ1.5mmの黄褐色土ブロック・下にロームブロック(φ5～10mm)を少し含む(カマド囲り方)
- 11層 黄色砂質ローム 灰黄褐色土を少し含む

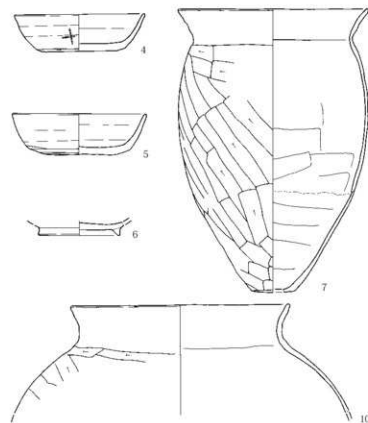


第148図 41号住居跡平・断面図

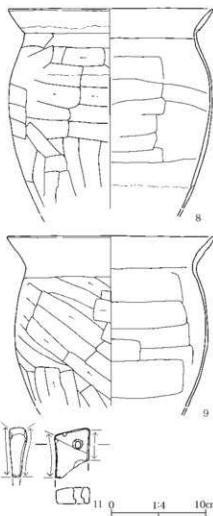
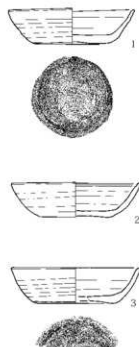
第3章 検出遺構と出土遺物



第149図 41号住居跡カマド掘り方平・断面図



第150図 41号住居跡出土遺物



1・2区41号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①土質 ②焼成 ③色調	成形手法		備考	
						成形手法	調整手法		
1	須恵器	杯	床面+7cm	口径 13.2	① 細砂粒・粗砂粒・繊維	口コロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転後、底部周辺は回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
			ほぼ完形	底径 7.4	② 還元焼 良好				
2	須恵器	杯	床面+5cm	口径 13.4	① 細砂粒・粗砂粒・繊維	口コロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転後、底部周辺は回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
			口縁部～底部	底径 7.6	② 還元焼 良好				
3	須恵器	杯	床面+7cm	口径 13.4	① 細砂粒・粗砂粒	口コロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転後、底部周辺は回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
			口縁部～底部	底径 8.0	② 還元焼 良好				
4	須恵器	杯	床面+3cm	口径 13.6	① 細砂粒・粗砂粒	口コロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転後、底部周辺は回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		胴部外面にへら印「+」No.5と重なるようにして出土。	
			完形	底径 7.8	② 還元焼 良好				
5	須恵器	杯	床面+4cm	口径 14.0	① 細砂粒・粗砂粒・繊維	口コロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転後、底部周辺は回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		No.4と重なるようにして出土。	
			ほぼ完形	底径 8.7	② 還元焼 中々不良				
6	須恵器	椀	床面+12cm	口径 11.8	① 細砂粒・粗砂粒・繊維	口コロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ調整。高台取付。 内面：底部回転ナデ調整。縦使用によって壊れている。			
			底部のみ完形	底径 8.6	② 還元焼 良好				
7	土師器	甕	埋理土中	口径 19.8	① 細砂粒・粗砂粒	輪挽み。 外面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。			
			口縁部～底部	底径 4.5	② 酸化焼 良好				
8	土師器	甕	龍右袖部中	口径 21.5	① 細砂粒・粗砂粒・繊維	輪挽み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上平焼。下半縦方向へラナデ。 内面：口縁部横ナデ。胴部上平ナデ。			
			口縁部～胴部	底径 4.4	② 還元焼 良好				
9	土師器	甕	龍左袖部中	口径 21.6	① 細砂粒・粗砂粒	輪挽み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上平斜め。下半縦方向へラナデ。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。			
			口縁部～胴部	底径 4.5	② 酸化焼 良好				
10	土師器	甕	床面+10cm、埋理土中	口径 22.8	① 細砂粒・粗砂粒	輪挽み。 外面：口縁部横ナデ。胴部縦方向へラナデ。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。			
			口縁部～胴部上端	底径 4.2	② 酸化焼 良好				
			破片	口径 7.0	③ 粗(7.5/8/7.0)				
				口径 7.0	③ 粗(7.5/8/7.0)				
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
11	石製品	砥石	下半欠損	5.2	3.7	1.7	39	風沢石	孔径1.0cm表裏、両側面を使用している。穿孔は両面よりおこなわれているためズレを生じている。

1・2区42号住居跡 (旧称1・2区SJ-42)

位置：X=36380 Y=39600 主軸方向：N-73°-E

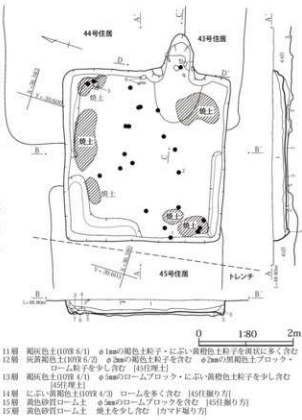
規模：3.6m×3.4m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：23cm～34cm 埋没土：主に白色軽石を含む灰黄褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。また、床面直上には多量の焼土を含むいぶい黄褐色土が点在する。床面：掘り方土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固めて床面としている。

カマド：北東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態は悪く、地山を掘り残した袖部が僅かに残る程度である。焚き口幅は55cmを測り、煙道部端は急峻に立ち上がる。燃焼部使用面には灰層があり、その上には天井部材が崩落した状態で堆積していた。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。

42号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) ●2mmの褐色土粒子を含む・白色軽石・焼土を含む
●1.5mmのロームブロックを少し含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 焼土を含む ●1mmの褐色土粒子を少し含む [42住床面]
- 3層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) ●1mmの褐色土粒子を少し含む
- 4層 期灰土(10YR 4/1) 焼土を多く含む
- 5層 灰黄褐色土(10YR 4/2) ロームを多く含む [埋理土] 42住埋土]
- 6層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 焼土を多く含む
- 7層 期灰土(10YR 3/2) 焼土・白色軽石 ●1.5mmのロームブロックを少し含む [42住埋り方]
- 8層 期灰土(10YR 4/1) ●5mmのロームブロックを含む 焼土・0.1-1mmの褐色土粒子を少し含む [42住埋り方]
- 9層 灰黄褐色土(10YR 4/2) ロームブロックを少し含む [42住埋り方]
- 10層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 白色軽石 ●1-10mmの黒褐色土ブロックを少し含む ●1-5mmのロームブロックを含む 焼土をわずかに含む [42住埋土]

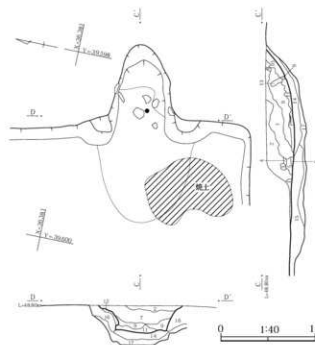


第151図 42号住居跡平・断面図

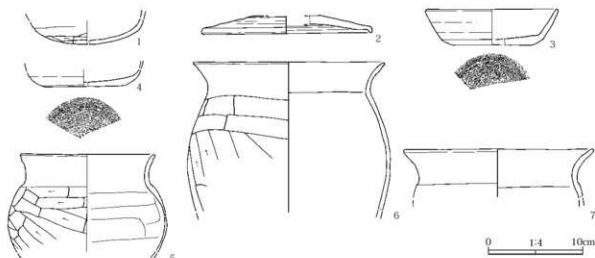
第3章 検出遺構と出土遺物

壁周溝：カマド周辺と西壁南半を除き、幅20～50cm、深さ2～10cmを測る壁溝が巡る。重複遺構：43・44・45号住居跡と重複する。遺構確認時の埋土の様相より、本遺構はいずれの住居跡よりも新しいものと判断される。

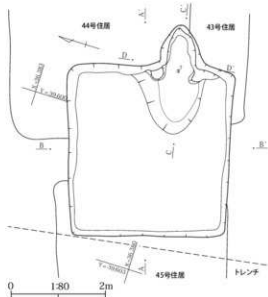
掘り方：深さは4～10cmと全体に地山ローム土を浅く掘り窪める。出土遺物：床面直上から甕(No. 5・6)、須恵器蓋(No. 2)が出土している。また、付近から土師器杯(No. 1)が出土する。



第152図 42号住居跡カマド平・断面図



第154図 42号住居跡出土遺物



第153図 42号住居跡掘り方平面図

42号住カマド 埋土

- 1層 灰褐色土(00R 5/1) 焼土を多く含む 炭化物・ロームを少し含む [埋土層]
- 2層 灰褐色土(00R 5/1) 焼土・ $\phi 1.5\text{mm}$ の褐色土粒子・白色軽石・ $\phi 0.5\text{mm}$ のロームブロックを少し含む
- 3層 黄色砂質ロームブロック 褐色土ブロック($\phi 1\text{cm}$)を少し含む
- 4層 濃い褐色土(00R 6/3) ブロックになっている 炭化物を少し含む 硬い
- 5層 黄色砂質ロームブロック $\phi 1\text{cm}$ の褐色土ブロックを少し含む 硬い [カマド構築材]
- 6層 灰褐色土(00R 5/1) 焼土・ $\phi 1\text{mm}$ のロームブロックを少し含む
- 7層 灰褐色土(00R 5/1) ロームを多く含む 焼土を含む 炭化物を少し含む
- 8層 灰褐色土(00R 4/2) ロームを多く含む 焼土を多く含む
- 9層 黄色砂質ローム土 焼土を少し含む $\phi 1\text{cm}$ の褐色土ブロックを含む [カマド構築材]
- 10層 灰褐色土(00R 4/2) 焼土を含む ローム・ $\phi 1\text{mm}$ の暗褐色土ブロックを少し含む[カマド天上面]
- 11層 灰黄褐色土(00R 6/2) 焼土・炭化物・ロームを含む [カマド天上面]
- 12層 黄色砂質ローム土 $\phi 1\text{mm}$ の灰褐色土ブロックを少し含む 焼土をわずかに含む[カマド層]
- 13層 灰黄褐色土(00R 5/2) $\phi 2\text{mm}$ のロームブロックを少し含む
- 14層 灰黄褐色土(00R 4/2) 焼土・ロームを含む $\phi 1\text{mm}$ の褐色土ブロックを少し含む 上面に灰層を含む [カマド使用面]
- 15層 灰黄褐色土(00R 4/2) 焼土・白色軽石を少し含む [カマド掘り方] $\phi 1.5\sim 2.5\text{mm}$ のロームブロックを含む $\phi 3\text{mm}$ の黒褐色土ブロックを少し含む [H区・掘り方]
- 17層 灰黄褐色土(00R 4/2) ロームを多く含む 焼土を少し含む(右側S-41・左側S-41のツケ土の上に土層を伴っている)
- 16層 濃い黄褐色土(00R 7/3) $\phi 2\text{mm}$ の黄褐色土粒子を多く含む $\phi 30\text{mm}$ の褐色土ブロックを1つ含む [カマド掘面]

1・2区42号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 埋存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 修整手法	備考
1	土師器 椀	床面+20cm 体部~底部 破片	L径 ー 底径 ー 器高 ー	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 焼化尚 良好 ③ 近い、物7.5YR 6/4	外面:口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面:体部横ナデ、底部ナデ。	
2	須恵器 杯蓋	床面上 口縁部~天井部 破片	L径 17.8 底径 ー 器高 ー	① 粗砂粒・粗砂粒・細砂 ② 還元尚 良好 ③ オリーブ色(2.5Y 5/1)	口縁部整形。 外面:天井部上半ヘラ削り、天井部下半~口縁部横ナデ。 内面:天井部~口縁部回転ナデ。 口縁部整形。	
3	須恵器 椀	埋土中 口縁部~底部 破片	L径 13.8 底径 9.0 器高 3.8	① 粗砂粒・粗砂粒・細砂 ② 還元尚 良好 ③ 近い、物(2.5Y 7/2)	口縁部整形。 外面:口縁部~体部回転ナデ、底部回転ヘラ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 椀	埋土中 体部下端~底部 破片	L径 ー 底径 7.8 器高 ー	① 粗砂粒・粗砂粒・細砂 ② 焼化尚 良好 ③ 近い、物(10YR 7/4)	口縁部整形。 外面:体部回転ナデ、底部回転糸切り後、回転ヘラ削り。 内面:体部~底部回転ナデ調整。	
5	土師器 小笠	床面上 口縁部~胴部 破片	L径 14.0 底径 ー 器高 ー	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 焼化尚 良好 ③ 近い、物(5YR 6/6)	輪びら。 外面:口縁部横ナデ、胴部上位横、中位斜め方向のヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	胴部に黒煙あり。
6	土師器 甕	床面上 口縁部~胴部 破片	L径 20.0 底径 ー 器高 ー	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 焼化尚 良好 ③ 近い、物(5YR 6/6)	輪びら。 外面:口縁部横ナデ、胴部上位横、中位斜め方向のヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	器面厚減。
7	土師器 甕	遺留方埋土中 口縁部~胴部上端 破片	L径 19.8 底径 ー 器高 ー	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 焼化尚 良好 ③ 近い、物(5YR 6/6)	輪びら。 外面:口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	

1・2区43号住居跡 (旧称1・2区SJ-43)

位置: X=36380 Y=-39598 主軸方向: N-78°-E

規模: 3.1m×不明 平面形状: 不明 残存深度: 17cm~23cm 埋没土: 主に白色軽石と褐色土粒子を含む灰黄褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。

床面: ロームを主体とした暗褐色土で埋戻して床面としている。カマド: 北東壁の中央南寄りに位置する。カマドの左半分が重複する44号住居跡によって壊されているため、遺存状態は悪い。燃焼部使用面には灰と焼土を多く含んだ層が広がり、煙道部は緩やかに立ち上がる。柱穴: 重複する42



第155図 43号住居跡平・断面図・掘り方・断面図

43号住居カマド 埋土

- 1層 近い黄褐色土(10YR 4/3) 白色軽石・焼土・黒灰色土粒子・φ1mmのローム粒子を少し含む
- 2層 近い黄褐色土(10YR 4/3) 焼土を含む φ2mmの黒褐色土粒子・白色軽石を少し含む
- 3層 近い黄褐色土(10YR 4/3) φ5~10mmのロームブロック・黒褐色土粒子を少し含む
- 4層 近い黄褐色土(10YR 4/3) 焼土を多く含む φ10mmのロームブロックを含む
- 5層 近い黄褐色土(10YR 4/3) 灰を多く含む 焼土を含む
- 6層 近い黄褐色土(10YR 5/4) 焼土・ローム・灰を少し含む
- 7層 黒灰色土(10YR 4/1) 炭化物を含む φ1mmのロームブロックを少し含む
- 8層 黒灰色土(10YR 4/1) φ3~10mmのロームブロックを含む 焼土を少し含む
- 9層 黒灰色土(10YR 4/1) φ1mmのロームブロックを含む

第156図 43号住居跡カマド平・断面図

住居跡に壊された部分より、径30~36cmの楕円形を呈し、深さ31cmを測るビット1基を検出し、その位置より本住居跡の柱穴と考えられる。貯蔵穴: 不明。壁周溝: 残存部分においてはなし。重複遺構: 42・44号住居跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構はいずれの住居跡よりも古いものと判断される。掘り方: 地山ローム土を深さ4~10cmほど深く掘り穿る。出土遺物: 床面上で土師器表(No.1)の口縁部片が出土している。

第3章 検出遺構と出土遺物



第157図 43号住居跡出土遺物

1・2区43号住居跡出土遺物観察表

番号	類別 器種	出土位置 残存状況	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	床面直上 口縁部 破片	口径 23.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化場 良好 ③ 相(IVR 6/8)	輪組み。 外面：I.細部横ナデ。 内面：I.細部横ナデ。	

1・2区44号住居跡 (旧称1・2区5J-44)

位置：X=36382 Y=-39598

主軸方向：N-72° - E

規模：4.7m×3.8m 平面形状：隅丸長方形
残存深度：25cm～26cm 埋没土：主に少量の
白色軽石を含む灰黄褐色土で埋没し、その堆
積状況は自然埋没の様相を呈する。

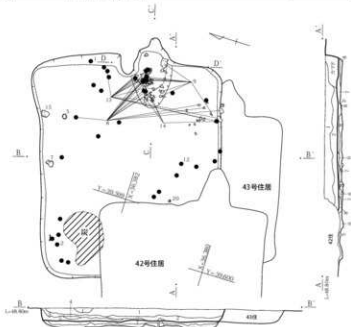
床面：掘り方埋土であるロームを主体とした
暗褐色土で埋め固め、床面としている。

カマド：北東壁中央やや南寄りに位置する。
遺存状態は比較的良い。焚き口幅は55cmを測
り、煙道部は短いが緩やかに立ち上がる。燃
焼部使用面には焼土を含んだ灰が厚く堆積す
る。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。

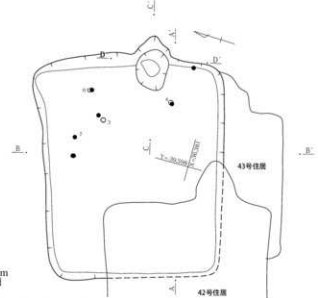
壁周溝：なし。重複遺構：42・43号住居跡と
重複する。遺構確認時の埋土の様相より、本
遺構は43号住居跡より新しく、42号住居跡
よりも古いものと判断される。

掘り方：全体に地山ローム土を6～16cmほど
掘り窪める。また、掘り方調査によって重複
住居に壊された住居南西部コーナーの残存が
僅かに確認された。

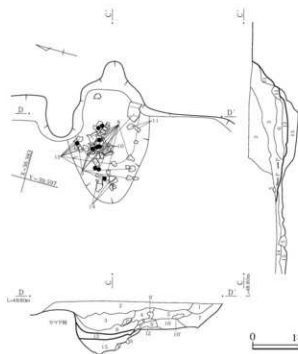
出土遺物：床面直上からは土師器杯(No. 1)
台付甕(No. 7)の他、埋土中からは須恵器甕
(No.16)、土鍾(No.17)が出土している。また、
掘り方埋土内より須恵器椀(No.5・6)と転
用碗と思われる円盤状須恵器片(No.3・4)
が出土している。



- 44号住居 埋土**
- 1層 灰黄褐色土(IVR 6/2) φ2.5mmの褐色土粒子を多く含む 白色軽石・ロームブロック (φ1mm)・炭化物を少し含む
 - 1層 灰黄褐色土(IVR 6/2) 1層より焼土を多く含む
 - 2層 灰黄褐色土(IVR 6/2) φ2.5mmの褐色土粒子・φ0.5mmの褐色土粒子・炭化物を少し含む焼土をわずかに含む
 - 3層 黒褐色土(IVR 3/1) φ1～5mmのロームブロックを塊状に含む
 - 4層 濃い黄褐色土(IVR 7/2) 褐色土粒子を少し含む 白色軽石をわずかに含む
 - 5層 褐色土(IVR 4/3) φ2mmのロームブロックを少し含む
 - 6層 黒褐色土(IVR 3/1) 焼土・炭化物・褐色土粒子を少し含む
 - 7層 濃い黄褐色土(IVR 4/3) 焼土・白色軽石をわずかに含む φ3mmのロームブロックを少し含む
 - 8層 濃い黄褐色土(IVR 5/3) ロームを多く含む



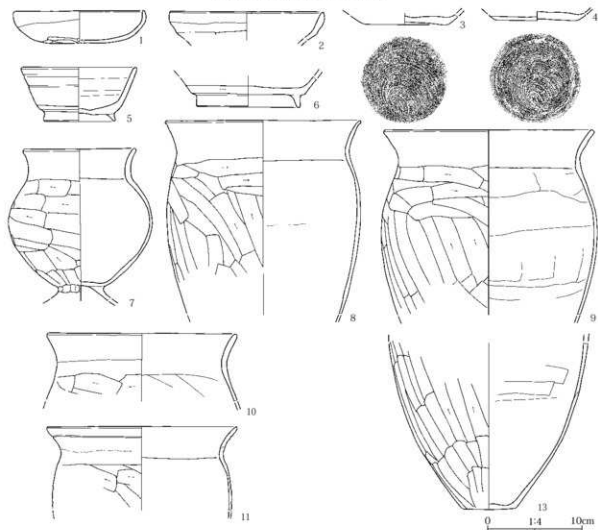
第158図 44号住居跡平・断面図、掘り方平面図



44号住居カマド 埋土

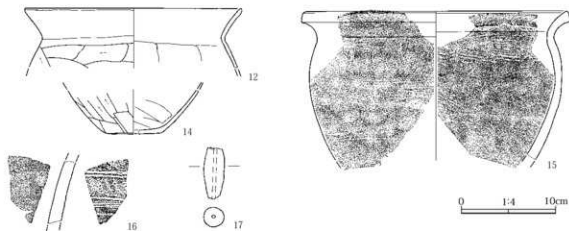
- 1層 黒褐色土(IVR 3/2) 白色軽石・焼土・ $\phi 0.25\text{mm}$ のロームブロックを少し含む
- 2層 灰黄褐色土(IVR 4/2) $\phi 2\text{mm}$ の黒色土粒子を多く含む 焼土をわずかに含む
白色軽石を少し含む
- 3層 におい黄褐色土(IVR 7/3) $\phi 1\text{mm}$ の暗褐色土ブロック・焼土を少し含む $\phi 1.5\text{mm}$ のロームブロックを含む
- 4層 褐色土(IVR 5/1) $\phi 0.1\text{mm}$ のロームブロック・ $\phi 1.5\text{mm}$ の褐色土粒子を少し含む 焼土をわずかに含む
- 5層 褐色土(IVR 5/1) $\phi 0.5 \sim 2\text{mm}$ のロームブロックを含む $\phi 1\text{mm}$ の褐色土粒子を少し含む
- 6層 におい黄褐色土(IVR 7/3) 焼土を多く含む 灰・濃縮暗褐色土粒子を少し含む
- 7層 におい黄褐色土(IVR 4/3) 白色軽石をわずかに含む
- 8層 におい黄褐色土(IVR 5/3) ロームをわずかに含む
- 9層 褐色土(IVR 5/1) 焼土を含む $\phi 2 \sim 3\text{mm}$ のロームブロックを腐状に・灰を少し含む
- 10層 褐色土(IVR 6/1) $\phi 2\text{mm}$ のローム粒子を多く含む 褐色土粒子を少し含む
[カマドの構築材]
- 10層 褐色土(IVR 6/1) ブロックになっている [カマドの構築材]
- 11層 褐色土(IVR 4/1) 灰化物・焼土・におい黄褐色土粒子を少し含む
- 12層 灰色砂質ローム 褐色土粒子を少し含む [カマドの脚]
- 13層 灰層 焼土を少し含む $\phi 5\text{mm}$ の黒褐色土ブロックを腐状に少し含む [カマドの焼室面]
- 14層 褐色土(IVR 4/1) 焼土・灰化物・ $\phi 1\text{mm}$ の暗褐色土粒子を少し含む
- 15層 におい黄褐色土(IVR 5/3) 焼土・ $\phi 1\text{mm}$ の暗褐色土ブロック・ロームを少し含む

第159図 44号住居跡カマド平・断面図



第160図 44号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出遺構と出土遺物



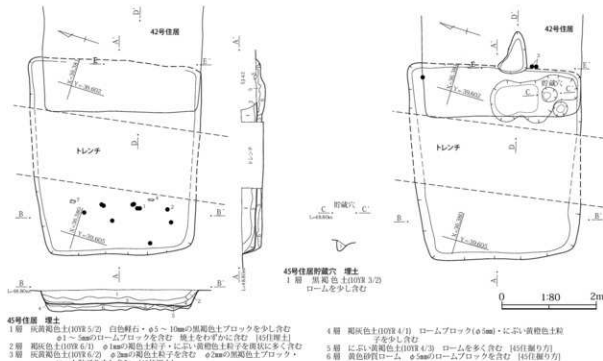
第161図 44号住居跡出土遺物(2)

1・2区44号住居跡出土遺物調査表

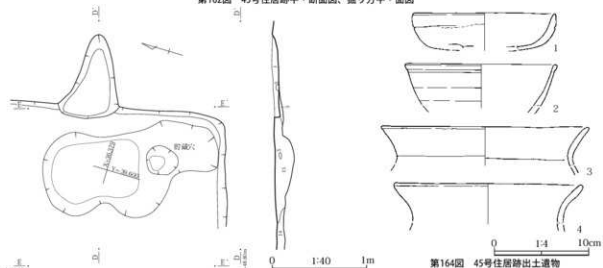
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 修整手法	備考
1	土師器 杯	床面+3cm 口縁部~底部 1/4	口径 13.6 底径 - 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y 4/1)	外面:口縁部横ナデ、体部子デ、底部手持ちへう削り。 内面:口縁部~体部横ナデ、底部子デ調整。	
2	土師器 杯	床面+11cm 口縁部~体部 破片	口径 15.9 底径 - 器高 -	① 細砂粒 良好 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい相(5Y 6/4)	外面:口縁部横ナデ、体部へう削り。 内面:口縁部~体部横ナデ。	
3	須恵器 転用硯か	床面~6cm 底部 底部のみ定形	口径 - 底径 8.6 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	口ウ口整形。回転右回り。 内面:底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 転用硯か	床面~5cm 底部 底部のみ定形	口径 - 底径 8.8 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7.5Y 4/1)	口ウ口整形。回転左回り。 外面:底部回転ナデ削り。周辺部回転へう削り。 内面:底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 硯	床面~6cm 口縁部~底部 1/3	口径 11.7 底径 7.3 器高 5.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	口ウ口整形。回転右回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転ナデ削り。高台焼付。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	内外面に火傷が認められる。
6	須恵器 硯	床面~12cm 体部下端~底部 破片	口径 10.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	口ウ口整形。回転へう削り。 外面:体部回転ナデ。底部回転へう削り。高台焼付。 内面:体部~底部回転ナデ調整。	
7	土師器 台付甕	床面直上、体面~4cm 口縁部~底部 1/2	口径 11.6 底径 5.2 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 4/4)	輪組み。台形台付。 外面:口縁部横ナデ。胴部上半横。下半縦方向へう削り。 脚部横ナデ。 内面:口縁部横ナデ、胴部~底部ナデ。	
8	土師器 甕	甕理土中、床面直上 口縁部~胴部 2/3	口径 20.5 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 相付(5YR 6/6)	外面:口縁部横ナデ。胴部横から斜め方向へう削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	
9	土師器 甕	甕理土中 口縁部~胴部 2/3	口径 21.9 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好 ③ 明赤褐(2.5YR 5/6)	輪組み。 外面:口縁部横ナデ。胴部上半横。中~下位縦方向へう削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	
10	土師器 甕	甕理土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 19.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ③ にぶい相付(5YR 6/3)	輪組み。 外面:口縁部横ナデ。胴部へう削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	
11	土師器 甕	甕理土中、甕理方 理土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 19.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 相付(5YR 7/6)	輪組み。 外面:口縁部横ナデ。胴部上位横と斜め方向へう削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	
12	土師器 甕	甕理土中、甕理方 理土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 22.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい相付(5YR 6/4)	輪組み。 外面:口縁部横ナデ。胴部上位横方向へう削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	
13	土師器 甕	甕理土中、甕理方 理土中 口縁部~胴部上半 欠損	口径 - 底径 5.7 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい相付(7.5YR 6/4)	輪組み。 外面:口縁部横ナデ。胴部縦方向へう削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	
14	土師器 甕	甕理土中、床面+7cm 胴部下端~底部 破片	口径 - 底径 6.0 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 赤褐(5YR 4/6)	輪組み。 外面:胴部縦方向、底部不定方向へう削り。 内面:胴部~底部へうナデ。	
15	須恵器 甕	床面~14cm 口縁部~胴部 破片	口径 27.5 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(7/0)	口ウ口整形。 外面:口縁部回転ナデ。胴部ナデ。平行引き直がくす方に 残る。 内面:口縁部~胴部へうナデ調整。同心円アテ残りがくす かに残る。	
16	須恵器 甕	理土中 口縁部小片 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y 8/1)	口ウ口整形。 外面:凹縁区画と波状文。 内面:胴部区画ナデ調整。	
17	土製品 鉢	床面+10cm 一部欠損	長さ 5.5 径 2.2 孔 0.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 黒褐色(10YR 3/1)	両端欠損。外面ナデ。 中心欠損に径3mmの穿孔。 重量21g	

1・2区45号住居跡 (旧称1・2区5J-45)

位置：X=36380 Y=-39603 主軸方向：N-72°-E 規模：4.1m×3.5m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：24cm～34cm 埋没土：主に白色軽石・ロームブロック・ローム粒子を含む灰黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体としたふい黄褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁の中央南寄り位置する。重複する42号住居跡によって大部分が壊されており、遺存状態は悪く、下面に残る若干の焼土や灰、炭化物を確認できたのみである。柱穴：なし。貯蔵穴：カマドの右側の住居南東コーナー付近で径33cmの円形を呈し、深さ30cmを測る土坑が検出された。壁周溝：なし。重複遺構：42号住居跡と重複する。遺構確認→掘削時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：全体に地山ローム土を15cmほど掘り窪める。出土遺物：床面直上から磨石(No. 7)が出土する。



第162図 45号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図



第163図 45号住居跡カマド平・断面図

1・2区45号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+16cm 口縁部~底部 破片	口径 14.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化倫 良好 ③ 暗灰黄(2.5Y 4/2)	外面に輪模様が残る。 外面：口縁部横ナデ、底部ナデ、底部へう割り。 内面：口縁部~底部横ナデ、底部ナデ調整。 口ウロ成形。	
2	須恵器 杯	床面+10cm 口縁部~底部 破片	口径 15.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元倫 良好 ③ 灰黄(5Y 6/1)	外面：口縁部~底部回転ナデ。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。 口ウロ成形。	
3	土師器 甕	床面-5cm 口縁部 破片	口径 21.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化倫 良好 ③ 暗灰黄(5Y 6/2)	外面：口縁部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ。	
4	土師器 甕	床面+12cm 口縁部 破片	口径 19.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化倫 良好 ③ 暗灰黄(5Y 7/6)	外面：口縁部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ。	

1・2区46号住居跡 (旧称 1・2区5J-46)

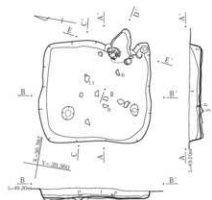
位置：X=36,381 Y=-396,88 主軸方向：N-80°-E

規模：2.1m×2.3m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：18cm~21cm 埋没土：主に白色軽石と少量のローム粒子・ロームブロックを含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：北東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。焚き口幅は35cmを測り、煙道は短く急峻に立ち上がる。両袖部には芯材として礫が据えられている。

柱穴：掘り方調査で3基のピットが検出され、深度は浅いものの、その位置関係より柱穴跡と考えられる。貯蔵穴：なし。

壁間溝：南壁東半部を除き、幅18~30cm、深さ2~6cmを測る壁溝が巡る。重複遺構：なし。掘り方：全体に地山ローム土を2~5cmほど掘り穿める。出土遺物：カマド袖部付近ではほぼ円形の土師器杯(No.3)と須恵器杯(No.7・8)が重なって出土している。そのうち土師器杯には漆が付着していた。また、同所付近から土師器甕(No.10)も出土する。所見：一边が2m程の極めて規模の小さい住居跡である。規模は小さいものの、カマドを含めて住居構造は他と同じく恒久的な建物の様相を呈するが、周囲に隣接する他の住居跡はなく、孤立して存在するため、集落内でも特別の存在である可能性が高い。

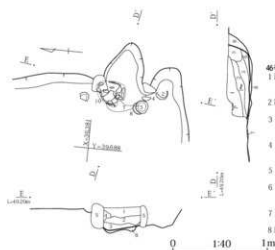


46号住居 埋土
1層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石・褐色土粒を少し含む
1mmのローム粒子を少し含む
2層 暗褐色土(10YR 3/3) φ0.5~2mmのローム・ブロックを少し含む
3層 暗褐色土(10YR 4/3) 掘り方埋土

第165図 46号住居跡平・断面図

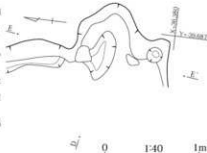


第166図 45号住居跡掘り方平・断面図

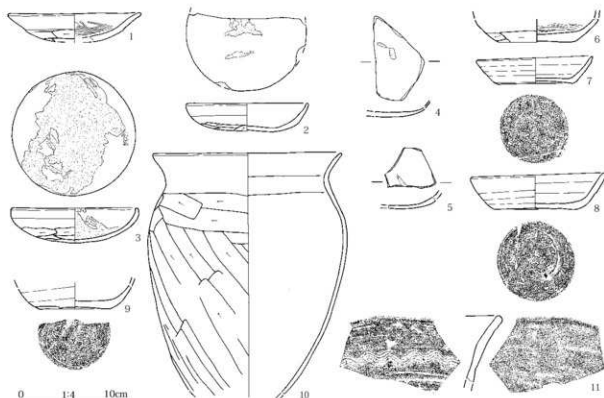


第167図 46号住居跡カマド平・断面図

46号住居カマド 埋土
1層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石(φ0mm)・黄褐色土粒(φ~φ30mm)・焼土粒を含む
2層 暗褐色土(10YR 3/3) 1層より黄褐色土粒と多量に含む
3層 暗褐色土(10YR 2/3) 白色軽石(φ0.5mm)少量・黄褐色土粒少量・焼土粒を含む
4層 暗褐色土(10YR 3/3) 1層にふくまれる暗褐色土(10YR 6/3)ブロック状になる
5層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 黄褐色土粒・焼土粒・炭化物を含む
6層 黒褐色土(10YR 2/3) 黄褐色土粒少量含む 焼土粒・炭化物を含む
7層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘り土 掘り方埋土
8層 暗褐色土(10YR 4/3) 掘り方埋土



第168図 46号住居跡カマド掘り方平面図



第169図 46号住居跡出土遺物

1・2区46号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土加蓋 高杯か	埋土中 口縁部~底部 1/4	口径 13.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 内面黒色処理 器高 - ③ にぶい黄緑(10YR 6/3)	外面:口縁部回転ナデ。胴部ナデ。底部ヘラナデ。 内面:口縁部~胴部回転ナデ。底部ナデ後へラ磨き。	
2	土加蓋 杯	床面直上 口縁部~底部 器高 1/2	口径 12.7 底径 - 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい黄(5YR 6/4)	外面:口縁部横ナデ。体部はナデ。底部は手持ちヘラ削り。 内面:口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。	漆付着王肌。
3	土加蓋 杯	床面直上 口縁部 口縁部一部欠損	口径 13.0 底径 - 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 明焼(7.5YR 5/6)	口縁部やや内湾。 外面:口縁部横ナデ。体部ナデ。底部は手持ちヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ。体部~底部ナデ。漆紙付着。	漆付着王肌。 No. 7の遺物と重な って出土
4	土加蓋 杯	床面+8cm 底部 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい赤黒(5YR 5/4)	外面:底部ヘラ削り。 内面:底部回転ナデ。底部の一部に漆紙付着。	漆付着王肌。
5	土加蓋 杯	埋土中 底部 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 明赤黒(5YR 5/6)	外面:底部ヘラ削り。 内面:底部ナデ。底部の一部に漆紙付着。	漆付着王肌。
6	黒色土器 椀	床面+6cm 体部下位~底部 1/2	口径 8.0 底径 8.0 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好 内面黒色処理 器高 - ③ にぶい黄(7.5YR 7/4)	回転右回り。 外面:体部下位回転ヘラ削り。底部は回転ヘラ切り。 内面:体部~底部ナデ。体部に3段の椀底状凸文。	
7	須恵器 杯	床面+4cm 口縁部 口縁部一部欠損	口径 12.2 底径 7.5 器高 2.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	口縁部整形。回転右回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、ヘラ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	
8	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 口縁部一部欠損	口径 13.8 底径 8.6 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	口縁部整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転ヘラ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	No.1の遺物と重な って出土
9	須恵器 杯	床面+5cm 体部~底部 破片	口径 - 底径 7.5 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	口縁部整形。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転ヘラ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	
10	土加蓋 甕	電埋土中 口縁部~胴部 底部欠損	口径 19.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 粉(2.5YR 6/6)	輪削り。 外面:口縁部横ナデ。胴部上位横、中~下位斜めヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	胴部下平型底あ り。裾面剥落部分 が多い。
11	須恵器 甕	床面+16cm 口縁部~胴部上 端 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白 5/6	口縁部整形。 外面:口縁部~胴部回転ナデ。口縁部凹線による凹区。 区画内に成文文。 内面:口縁部~胴部回転ナデ調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物

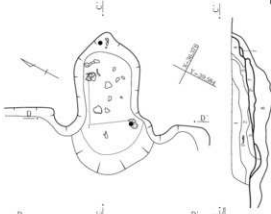
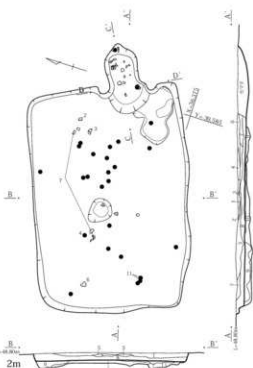
1・2区47号住居跡(旧称1・2区5J-47)

位置: X=36376 Y=-39587 主軸方向: N-68°-E

規模: 4.7m×3.3m 平面形状: 隅丸長方形

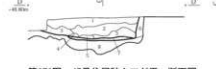
残存深度: 13cm~27cm 埋没土: 主に白色軽石を含む黒褐~黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面: 掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固め、床面とする。カマド: 北東壁の中央南寄りに位置する。焚き口幅は50cmを測り、煙道部は緩やかに立ち上がる。袖は多少残存しており、地山を掘り残す形で構築される。燃焼部使用面に於いては焼土と炭化物を含んだ灰層面が確認された。柱穴: 掘り方調査時において中央部に1穴のヒットを検出し、その位置より柱穴跡と考えられる。貯蔵穴: 掘り方調査時において、住居南東コーナー部に土坑を検出し、その位置より貯蔵穴と考えられる。壁周溝: なし。重複遺構: なし。掘り方: 全体に地山ローム土を4~15cmほど掘り窪める。出土遺物: 埋土中より土師器杯(No. 1)や須恵器杯(No. 5・6)・蓋(No. 3)・短頸壺(No. 7)、砥石(No. 8)などが出土している。



- 47号住居 埋土
- 1層 褐色土(00YR 4/0) 粘りなし しまりあり 焼土粒φ5mm程度含む 炭層0.5~1.0mm程度含む
 - 2層 炭層 1層の上で汚れる。φ5mm程度の焼土・φ1mm程度のハミスを微量含む
 - 3層 黒褐色土(00YR 2/0) 粘りなし しまりあり 焼土粒・ハミスφ5mm以下少量含む
 - 4層 黒褐色土(00YR 2/0) 粘りなし しまりあり 焼土粒φ10mm程度少量含む 明黄褐色土粒(00YR 6/0)φ10mm以下・ハミスφ10mm程度少量含む
 - 5層 2層に近い状態の上の層が大きい
 - 6層 黒褐色土(00YR 3/0) 粘りなし しまりあり 全体に黄褐色土(00YR 6/0)で汚れる 焼土粒φ10mm程度・ハミスφ1mm程度少量含む
 - 7層 灰黄褐色土(00YR 4/0) 粘りなし しまりあり φ10mm程度の焼土粒・φ1mm程度のハミスを微量含む
 - 8層 ①黄褐色土(00YR 4/0) 粘りなし しまりややあり ②黄褐色土(00YR 6/0)のロームブロックを黄褐色土で埋め固めた土(掘り方埋土) φ10mm程度のハミス・焼土粒・炭粒を微量含む
 - 9層 灰黄褐色土(00YR 5/0) 白色軽石をわずかに含む φ10mmの黒色土ブロックとφ5mmのロームブロックを黄褐色土で埋め固めた土(掘り方埋土)
 - 10層 ①黄褐色土(00YR 6/0) 褐色土粒子を少し含む 掘り方埋土
 - 11層 黄褐色土(00YR 5/1) φ10~25mmのロームブロック・φ5mmの黒褐色土ブロックを少し含む 掘り方埋土

第170図 47号住居跡平・断面図



第171図 47号住居跡カマド平・断面図

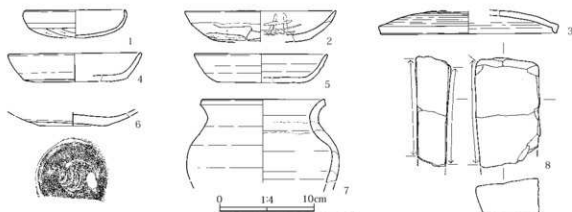


第172図 47号住居跡カマド掘り方平面図



第173図 47号住居跡掘り方平面図

- 47号住居カマド 埋土
- 1層 灰黄褐色土(00YR 5/0) 白色軽石を含む焼土・φ1mmのロームブロック・褐色土粒を少し含む 炭化物をわずかに含む
 - 2層 灰黄褐色土(00YR 5/0) 白色軽石・炭化物をわずかに含む 掘り方埋土
 - 3層 灰黄褐色土(00YR 5/0) 焼土・炭化物を少し含む φ1mmのロームブロックをわずかに含む
 - 4層 灰黄褐色土(00YR 5/0) 焼土を多く含む
 - 5層 灰黄褐色土(00YR 5/0) 少量の焼土・灰と炭化物を含む
 - 6層 黄褐色土(00YR 4/1) 褐色土粒子を少し含む (10ヶ所)
 - 7層 灰層 焼土を少し含む 炭化物を含む
 - 8層 黄褐色土(00YR 5/1) φ5~10mmの黒褐色土ブロック・ロームを黄褐色土で埋め固めた土(掘り方埋土)
 - 9層 黄褐色土(00YR 5/1) 褐色土粒子を少し含む (住居跡)



第174図 47号住居跡出土遺物

1・2区47号住居跡出土遺物調査表

番号	器種	出土位置	残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法	調整手法	備考	
1	土師器 杯	埋土中	口縁部~底部 1/5	口径 10.5 底径 — 器高 3.0	① 細砂粒 ② 焼成 良好 ③ 焼色 黄緑(6/2)	土師器やや内流。	口縁部平や内流。		
2	土師器 杯	床面+7cm	口縁部~底部 破片	口径 15.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成 良好 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	外面：口縁部~胴部横ナデ。底部ナデ調整。 内面：口縁部~胴部横ナデ。底部ナデ調整。		内面に格子状に施なへら磨きによる記号。	
3	須恵器 杯	床面+14cm	口縁部~天井部 破片	口径 18.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	口縁部平。	外面：天井部上半へら削り。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：口縁部~胴部横ナデ。		
4	須恵器 杯	床面+14cm	口縁部~底部 破片	口径 13.9 底径 8.0 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元 良好 ③ にぶ・粗(5YR 7/4)	口縁部平。	外面：口縁部~胴部横ナデ。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：口縁部~胴部横ナデ。		
5	須恵器 杯	埋土中	口縁部~底部 破片	口径 13.9 底径 9.4 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	口縁部平。	外面：口縁部~胴部横ナデ。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：口縁部~胴部横ナデ。	全体的に厚流。	
6	須恵器 杯	埋土中	体部下端~底部 破片	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	口縁部平。	外面：口縁部~胴部横ナデ。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：口縁部~胴部横ナデ。	底部外面中央に「一」の線刻あり。底部外面に指節あり。	
7	須恵器 短頸壺	床面+10cm	口縁部~胴部上半 破片	口径 12.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元 良好 ③ 灰白(4.0)	口縁部平。	外面：口縁部~胴部横ナデ。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：口縁部~胴部横ナデ。		
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	摘要
8	石製品	砥石	下部欠損	11.7	6.7	4.4	581	変質安山石	表裏、左側面を使用している。 断面、右側面は加工時のままか。

1・2区48号住居跡 (旧称1・2区SJ-48)

位置：X=36367 Y=-39585 主軸方向：N-76°-E

規模：3.9m×3.2m 平面形状：隅丸長方形 残存深度：30cm

~38cm 埋没土：主に白色軽石と褐色土粒子を含む灰黄褐色

にぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈

する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で

埋め固め、床面としている。カマド：北東壁の南東コーナー

寄りに位置する。遺存状態は比較的良好で、袖部は地山を彫り

残す形で構築される。両袖部先端には径16cmほどの窪みが検出

され、袖石を据えていた痕跡と考えられる。燃焼部使用面には



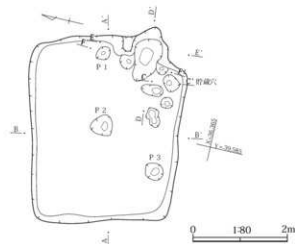
第175図 48号住居跡平・断面図

48号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 白色軽石・褐色土粒子・黒褐色土ブロック(φ2mm)を少し含む φ0.3~5mmのロームブロックを含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 白色軽石・φ0.5mmのロームブロック・褐色土粒子を少し含む φ1~5mmのロームブロックを含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 白色軽石をわずかに含む φ1~5mmのロームブロックを含む 褐色土粒子・褐色土粒子を少し含む
- 4層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ5~10mmのロームブロック・φ5~15mmの黒褐色土ブロックを含む 褐色土粒子を少し含む
- 5層 にぶ・黄褐色土(10YR 5/3) 粘土・炭化物・φ0.5mmのローム粒子・褐色土粒子を少し含む
- 6層 黒褐色土ブロック(10YR 2/2)
- 7層 にぶ・黄褐色土(10YR 5/3) 粘土を多く含む
- 8層 黒褐色土(10YR 3/1) φ15mm褐色土粒子を多く含む やわらかい
- 9層 灰黄褐色土(10YR 6/2) φ5~10mmのロームブロックを少し含む [旧3区別方]

第3章 検出遺構と出土遺物

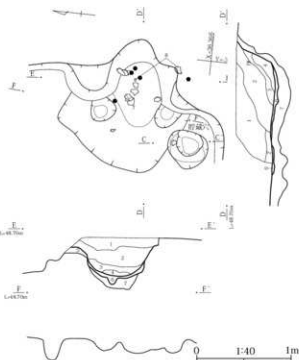
焼土を含んだ灰層面が確認され、灰層面直上には焼土化した天井部材の崩落も確認された。柱穴：掘り方調査時において3穴のビットを検出し、そのうち位置関係より東壁際のP1および住居中央付近のP2が柱穴あたると考えられる貯蔵穴：カマド右側で検出され、径43cm深さ27cmを測る。壁間溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：全体に地山ローム土を4～10cmほど掘り留める。出土遺物：床面直上からは土師器杯(No. 1)や漆の付着した完形の須恵器杯(No. 5)が、また、埋土中からは砥石(No. 9)などが出土している。



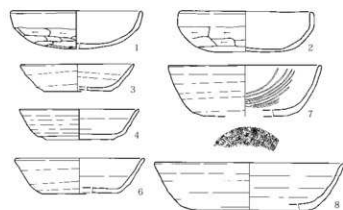
48号住居カマド 埋土

- 1層 におい黄褐色土(00YR 5/3) 焼土・白色軽石・1mmの褐色土粒子を少し含む。φ1～5mmのロームブロックを含む。
- 2層 におい黄褐色土(00YR 4/3) 焼土・φ3mmのロームブロックを・φ1mmの褐色土粒子をわずかに含む。
- 2層 におい黄褐色土(00YR 4/3) φ1mmの褐色土粒子を少し含む。
- 3層 におい黄褐色土(00YR 4/3) 焼土を含む。
- 4層 におい黄褐色土(00YR 4/3) 焼土を多く含む。[カマドの天井面]
- 5層 におい黄褐色土(00YR 4/3) 褐色土粒子を少し含む。[カマドの底]
- 6層 黄褐色土(00YR 3/4) 灰層(厚1.7/1) 灰を多く含む。焼土を少し含む。[カマド使用面]
- 7層 におい黄褐色土(00YR 5/3) ロームを多く含む。黄褐色土を少し含む。[カマド掘り方]

第176図 48号住居跡掘り方平面図



第177図 48号住居跡カマド平・断面図



第178図 48号住居跡出土遺物

1・2区48号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+3cm 口縁部～底部 1/4	口径 13.6 底径 — 器高 4.0	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ におい物(5YR 6/4)	外面：口縁部横ナデ、体部～底部手持ちへう削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ調整。	
2	土師器 杯	床面+20cm 口縁部～底部 1/4	口径 13.7 底径 10.5 器高 4.3	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ におい物(5YR 6/4)	外面：口縁部横ナデ、体部～底部手持ちへう削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面+25cm 口縁部～底部 1/4	口径 11.8 底径 7.0 器高 2.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰色5/0	ロクロ成形。 外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転へう削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面+21cm 口縁部～底部 2/3	口径 12.3 底径 7.1 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰色6/0	ロクロ成形。回転石回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転へう削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

1・2区48号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考			
							口径	底径	器高
5	須恵器 杯	体面直上 完形	口径 13.1 底径 8.3 器高 3.2	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焼 良好 ③黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～胴部横ナデ。底部回転ヘラナデ調整。漆が 塗られた痕跡あり。 内面：口縁部～底部横ナデ。漆紙付着。	漆付着玉照。			
6	須恵器 杯	床面+2cm 口縁～底部 破片	口径 13.4 底径 8.0 器高 3.7	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焼 ③粗(5YR 6/0)	ロクロ整形。口縁部やや外反。回転右回りか。 外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。				
7	須恵器 椀	埋土直上 口縁部～底部 破片	口径 16.0 底径 9.2 器高 5.5	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焼 やや不良 ③黄灰(10YR 4/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ。斜め方向のヘラ磨き？	底部外面に線刻			
8	須恵器 椀	埋土直上 口縁部～底部 破片	口径 19.7 底径 11.4 器高 5.0	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焼 ③粗(7.5YR 6/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内外面に火焼が認められる。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
9	石製品	砥石	完形	8.4	6.5	2.5	66	二ツ岳軽石	

1・2区49号住居跡 (旧称1・2区5J-49)

位置：X=36393 Y=-39582 主軸方向：N-77°-E

規模：4.8m×3.8m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：3cm～4cm 埋没土：上面を削平された状態で、床面直上に堆積するロームを含む灰黄褐色土のみで、埋没の様相は明らかではない。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固め、床面としている。

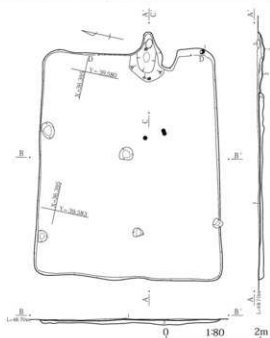
カマド：北東壁の中央やや南寄りに位置する。遺存状態は悪く、僅かに残る右袖部から、袖部は地山を彫り残す形で構築されていたものと考えられる。煙道部は緩やかに立ち上がり、埋土中より礫が出土するが、カマド構築に伴うものか否かは不明である。柱穴：掘り方調査の段階ピットが数基検出され、住居壁際の3穴と住居中央部の2穴が柱穴と成るものと思われる。

貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：なし。

掘り方：全体に地山ローム土を4～8cmほど掘り窪める。

出土遺物：出土量はごく僅かである。床面直上で須恵器皿(No.

1)の底部片が出土している。

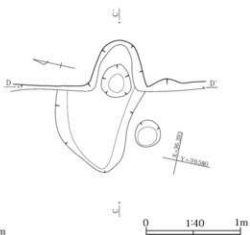


49号住居 埋土
1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) ロームを多く含む 黒褐色土粒
子を少し含む (住居使用面)
2層 黒褐色土(10YR 3/1) ロームを多く含む 礫土を含む
3層 黄褐色土(10YR 4/1) ロームを多く含む
(住居掘り方)

第179図 49号住居跡削平・断面図

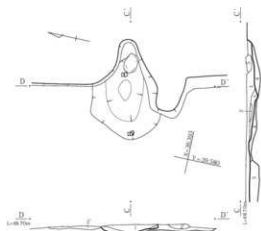


第180図 49号住居跡掘り方平面図



第181図 49号住居跡カマド掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



49号住居カマド 埴土

- 1層 黄褐色土(0YR 5/3) 焼土・炭化物・φ0.5mmの黒褐色土ブロックを少し含む。白色軽石をわずかに含む。
- 2層 灰黒褐色土(10YR 4/2) ロームを多く含む。
- 3層 灰黒褐色土(10YR 4/2) 白色軽石を少し含む。
- 4層 黒褐色土(10YR 3/2) 焼土を含む。ローム粒子・白色軽石・φ1mmの褐色土ブロックを少し含む。
- 5層 黒褐色土(10YR 3/2) ロームを多く含む。
- 6層 黄色砂質ローム土 黒褐色土粒子を少し含む。[旧図録16]



0 1/4 10cm

第182図 49号住居跡カマド平・断面図、出土遺物

1・2区49号住居跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 皿	床面上 口縁部～底部 破片	L径 10.4 底径 8.0 高さ 1.9	①細砂粒・粗粒粒 ②酸化焙 ③明赤色(5YR 5/6)	外面：底部回転糸切り後、回転へら削り。 内面：底部ナデカ。	断面厚減。

1・2区50号住居跡 (旧称1・2区5J-50)

位置：X=36390 Y=-39586

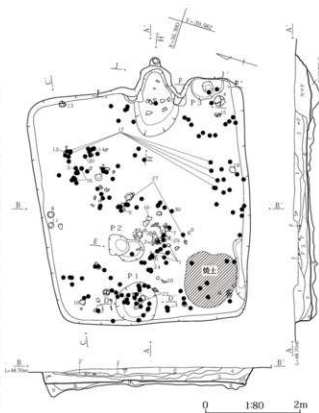
主軸方向：N-68° -E 規模：4.9m×4.5m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：23cm～39cm

埋没土：主に少量の白色軽石を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：北東壁の中央やや南寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。焚き口幅は65cmを測り、燃焼部使用面には焼土を含んだ灰が堆積し、その上に崩落した天井部が認められる。袖は地山を掘り残す形で構築される。また、使用面下にも炭化物を含んだ灰層面が残り、古い段階での使用面と考えられる。柱穴：3基確認したが、柱穴に相当すると思われるものはP2の1穴であり、P3はその位置から貯蔵穴の可能性が高く、P1は掘り方段階で検出されたP4と同じく、掘り方に伴う土坑状の掘り込みと考えられる。貯蔵穴：P3は、68×40cm、深さ18cmで、焼土と炭化物を含んだ黄褐色土で埋没する。壁周溝：南壁コーナー付近で幅22cm、深さ5cmを測る壁溝が一部検出されたのみである。

重複遺構：なし。掘り方：全体に地山ローム土を浅く掘り込み、一部を土坑状に掘り窪める。出土遺物：埋土中よりの出土量は比較的多い。壁際の床面付近からは完形の須恵器杯(No.11)、土師器杯(No.1・2)、須恵器杯(No.8・12)・黒色土器蓋(No.4)、黒書土器(No.21)、などが出土する。



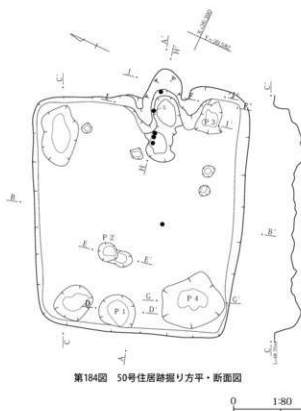
0 1/80 2m

50号住居 埴土

- 1層 黒色土(10YR 2/1) 白色軽石・炭化物を少し含む。φ1～2.5mmの焼土を含む。
- 2層 黄褐色土(10YR 7/3) 焼土を多く含む。炭化物を少し含む。
- 3層 黒褐色土(10YR 3/1) 焼土を含む。φ1.5mmの黒褐色土ブロック・φ0.5mmの黒色土ブロックを少し含む。
- 4層 黒褐色土(10YR 4/1) φ0.25mmの褐色土粒子・φ1.5mmのロームブロック・焼土を少し含む。φ0.25mmの褐色土ブロックを少し含む。
- 5層 黒褐色土(10YR 4/1) φ1mmの褐色土粒子を多く含む。白色軽石・焼土・炭化物を少し含む。φ1mmのロームブロックを少し含む。
- 6層 黒褐色土(10YR 4/1) φ1mmの褐色土粒子・白色軽石を少し含む。焼土・炭化物φ1mmのロームブロックをわずかに含む。
- 7層 黒褐色土(10YR 3/2) 焼土・炭化物・φ5～20mmのロームブロックを含む。[旧図録17]
- 8層 灰黒褐色土(10YR 4/2) ロームを多く含む。[旧図録17]
- 9層 明褐色土(10YR 7/6) φ2mmの褐色土粒子を含む。[旧図録17]

第183図 50号住居跡平・断面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



第184図 50号住居跡掘り方平・断面図

P 1
1. 掘り出し
2. 土

50号住居 P 1 埋土

- 1層 黒褐色土(10R 2/2) 白色軽石をわずかに含む焼土を少し含む
②5mmの不規則土ブロックを散見し含む
- 2層 黒褐色土(10R 2/2) ロームを少し含む 白色軽石をわずかに含む
- 3層 黒褐色土(10R 2/2) ロームを少し含む
- 4層 灰黄褐色土(10R 4/2) 散見物を含む
- 5層 灰黄褐色土(10R 4/2) ①1.5mmのローム粒子を含む
- 6層 黒褐色土(10R 3/2) 細かい黄褐色土粒子を少し含む

P 2
1. 掘り出し
2. 土

50号住居 P 2 埋土

- 1層 黒褐色土(10R 3/1) 焼土をわずかに含む
- 2層 細かい褐色土(10R 6/6) 黒褐色土ブロックを散見し含む
- 3層 黒褐色土(10R 3/1) 焼土・炭化物・ロームブロック(①1.5mm)を少し含む
- 4層 細かい黄褐色土(10R 4/3) ②5mmのロームブロックをわずかに含む
- 5層 黒褐色土(10R 4/1) 炭化物を多く含む
- 6層 黄色砂質ローム ②3mmの黒褐色土ブロックを少し含む

P 3
1. 掘り出し
2. 土

50号住居 P 3 埋土

- 1層 細かい黄褐色土(10R 3/3) 焼土・②1mmの褐色土粒子を少し含む
炭化物をわずかに含む ①1~10mmのロームブロックを含む (御蔵の)

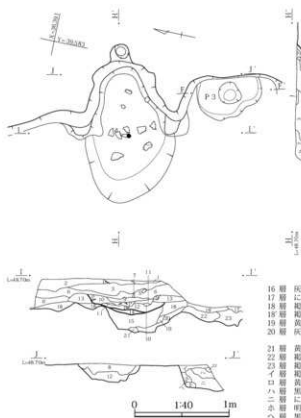
P 4
1. 掘り出し
2. 土

50号住居 P 4 埋土

- 1層 黒褐色土(10R 3/1) 焼土を多く含む ②3mmのロームブロックを少し含む
- 2層 黒褐色土(10R 4/1) ①5~30mmの黒褐色土ブロックを散見し、ロームを多く含む

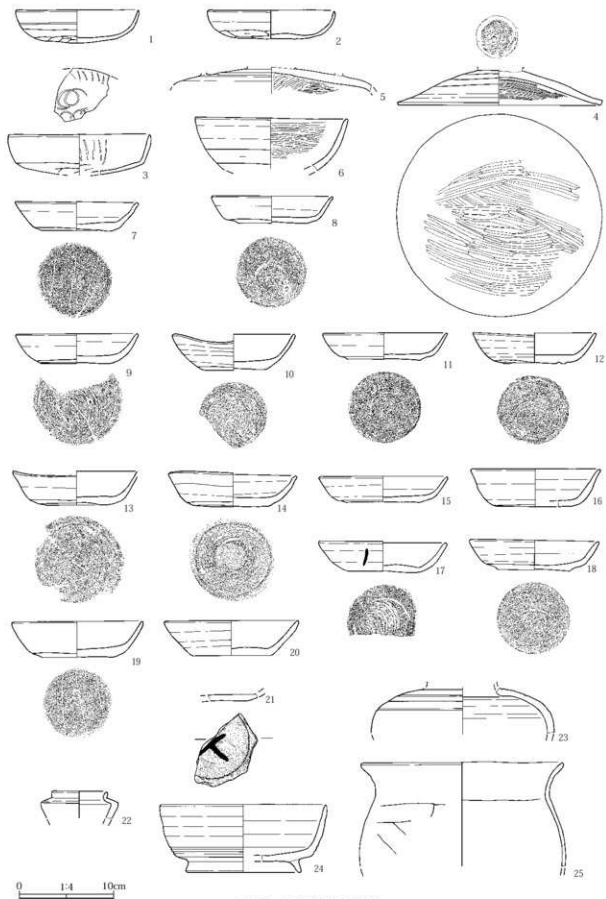
50号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(10R 4/1) 白色軽石をわずかに含む ①0.5mmの褐色土粒子を少し含む
- 2層 黒褐色土(10R 5/1) 白色軽石を、焼土・炭化物・①0.5mmのローム粒子を含む
- 3層 細かい黄褐色土(10R 5/3) 焼土・炭化物・褐色土・ローム粒子(①0.25mm)・①0.25mmの褐色土ブロックを少し含む
- 4層 黒褐色土(10R 5/1) 黒褐色土ブロック(①10mm)、白色軽石を含む 焼土を少し含む
- 5層 細かい黄褐色土(10R 6/3) ①0.1mmの褐色土粒子・①1.5mmのロームブロックを少し含む
- 6層 黒褐色土(10R 4/1) ①0.3~30mmの黒褐色土ブロックを多く含む 白色軽石・焼土をわずかに含む
- 7層 黒褐色土(10R 4/1) ①0.3~30mmの黒褐色土ブロックを多く含む 白色軽石・焼土をわずかに含むロームブロック(①1.5mm)を少し含む
- 8層 黒褐色土(10R 4/1) ①0.1mmの褐色土粒子・炭化物を含む焼土を多く含む
- 9層 黒褐色土(10R 5/1) 焼土を多く含む
- 10層 黄色砂質ローム土 ②3mmの褐色土粒子を少し含む
[カマド天井崩壊土]
- 11層 灰黄褐色土(10R 5/2) 焼土を含む 炭を多く含む
- 12層 褐色土(10R 7/7) 焼土層 ①1mmの黒褐色土ブロックを少し含む
- 13層 神造部の焼土ブロック
- 14層 灰黄砂質ローム土 ①0.5mmの褐色土粒子・褐色土(①0.5mm)を少し含む
- 15層 灰黄砂質ローム土 ①0.5mmの褐色土粒子・褐色土(①0.5mm)を少し含む
- 16層 灰黄砂質ローム土 ①0.5mmの褐色土粒子・褐色土(①0.5mm)を少し含む
- 17層 細かい黄褐色土(10R 5/3) 焼土を少し含む 炭化物を散見し含む ロームを散見し含む
- 18層 黒褐色土(10R 4/1) ②2mmのロームブロックを含む 焼土を少し含む
- 19層 黒褐色土(10R 4/1) ①0.5~10mmのロームブロック、焼土を少し含む
- 20層 黄色砂質ローム土、ブロック 散見
- 21層 灰黄褐色土(10R 6/2) ①1mmの黒褐色土ブロック、焼土、ロームブロック(①~5mm)を少し含む
- 22層 黄色砂質ローム土 褐色土粒子を少し含む
- 23層 黒褐色土(10R 4/1) ①1~10mmのロームブロックを含む 炭化物・焼土をわずかに含む
- 24層 黒褐色土(10R 4/1) ロームを多く含む
- 25層 黒褐色土(10R 5/1) 黒褐色土粒子・①1.5mmのロームブロック、焼土を少し含む
- 26層 黄色砂質ローム土 褐色土粒子を少し含む
- 27層 黒褐色土(10R 3/1) 焼土・炭化物・①1.5mmのロームブロックを少し含む
- 28層 細かい黄褐色土(10R 7/2) ①0.5~1mmのロームブロックを含む 焼土・炭化物を少し含む
- 29層 黒褐色土(10R 3/1) 褐色土粒子(①3mm)を少し含む
- 30層 黒褐色土(10R 2/1) ブロック
- 31層 黄色砂質ローム土 褐色土粒子を少し含む

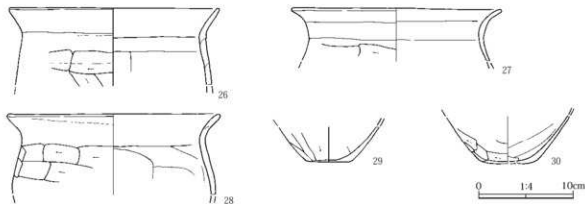


第185図 50号住居跡カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第186図 50号住居跡出土遺物(8)



第187図 50号住居跡出土遺物(2)

1・2区50号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+7cm 口縁部~底部 1/2	口径 12.8 底径 — 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 雫化端 良好 ③ にふい赤褐色(YR 5/4)	外面:口縁部横ナデ。底部は周辺回転ナデ。中央部手持ちへう削り。 内面:口縁部横ナデ。底部~底部回転ナデ調整。	
2	土師器 杯	床面+12cm 口縁部~底部 1/2	口径 13.4 底径 — 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 雫化端 良好 ③ 褐色(YR 6/6)	外面:口縁部横ナデ。底部ナデ。底部手持ちへう削り。 内面:口縁部横ナデ。底部~底部回転ナデ調整。	
3	土師器 杯	床面+22cm 口縁部~底部 破片	口径 14.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 雫化端 良好 ③ 明赤褐色(YR 5/6)	外面:口縁部~底部横ナデ。底部手持ちへう削り。 内面:口縁部~底部横ナデ。底部ナデ調整。	
4	黒色土器 杯蓋	床面直上 ほぼ完全形 一部欠損	口径 21.7 口径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 雫化端 内面黒色処理 ③ 褐色(YR 7/6)	口コク整形。 外面:天井部上半へう削り。天井部下半~口縁部横ナデ。縁のみ貼付。 内面:天井部~口縁部回転ナデ。	外面に大溝
5	黒色土器 杯蓋	床面+15cm 体部~天井部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 雫化端 内面黒色処理 ③ にふい褐色(YR 7/4)	口コク整形。回転右回り。 外面:天井部回転へう削り。縁のみ、凸帯が貼付か。 内面:天井部へう書き調整。	
6	黒色土器 椀	床面直上 口縁部~体部下半 破片	口径 15.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 雫化端 良好 内面黒色 ③ にふい黄褐色(YR 6/3)	口コク整形。 外面:口縁部~体部回転ナデ。体部下段2位の回転へう削り。 内面:口縁部~体部下半へう書き。	
7	須恵器 杯	床面+12cm 口縁部~底部 1/2	口径 12.7 底径 7.6 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元端 やや不良 ③ にふい黄褐色(YR 6/4)	口コク整形。回転右回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転へう削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。底部 外面にへう記号 「三」
8	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 一部欠損	口径 12.8 底径 7.3 器高 2.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元端 良好 ③ 灰白(Y 7/1)	口コク整形。回転右回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部周 辺は回転へう削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	
9	須恵器 杯	床面+20cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.8 底径 7.3 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元端 やや不良 ③ 灰(Y 4/1)	口コク整形。回転右回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。後周辺部 回転へう削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。
10	須恵器 杯	床面+8cm 口縁部~底部 1/4	口径 12.8 底径 6.8 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元端 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	口コク整形。回転右回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。体部下段と底部回転系切り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	内面底部中央部 に漆付着。
11	須恵器 碗形	床面直上 完全形	口径 13.0 底径 7.7 器高 2.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元端 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/6)	口コク整形。回転左回りか。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転へう削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。
12	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/3	口径 13.0 底径 8.8 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 雫化端 ③ にふい褐色(YR 6/3)	口コク整形。回転右回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り後、底部周 辺は回転へう削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	
13	須恵器 杯	床面+20cm 口縁部~底部 2/3	口径 13.2 底径 5.8 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元端 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 7/3)	口コク整形。回転右回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り後、底部周 辺は回転へう削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。
14	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 2/3	口径 13.3 底径 8.1 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元端 良好 ③ 黄灰(2.5Y 5/1)	口コク整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り後、底部周 辺は回転へう削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	
15	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/2	口径 13.4 底径 7.8 器高 2.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元端 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	口コク整形。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転へう削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
16	須恵器 杯	床面直上 I:縁部~底部 1/2	I径 13.4 底径 8.4 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(6/0)	ロクロ整形。回転右回り。I:縁部やや外反。 外面: I:縁部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面: I:縁部~底部回転ナデ調整。	
17	須恵器 杯	床面直上 I:縁部~底部 1/2	I径 13.5 底径 7.4 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5/7)	ロクロ整形。回転右回り。 外面: I:縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、周辺は回転へう割り。 内面: I:縁部~底部回転ナデ調整。	胴部外面に「ノ」の墨書。
18	須恵器 杯	床面直上 I:縁部~底部 2/3	I径 13.5 底径 7.6 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面: I:縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へう割り。 内面: I:縁部~底部回転ナデ調整。	
19	須恵器 杯	床面+11cm I:縁部~底部 2/3	I径 13.6 底径 7.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(10YR 7/1)	ロクロ整形。 外面: I:縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へう割り。 内面: I:縁部~底部回転ナデ調整。	表面厚減。底部周面にへう記号「三」。
20	須恵器 杯	床面直上 I:縁部~底部 1/3	I径 14.0 底径 8.4 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(10YR 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面: I:縁部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面: I:縁部~底部回転ナデ調整。	
21	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	I径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面: 底部回転糸切り。後回転へう割り。 内面: 底部回転ナデ調整。	底部外面にの墨書。
22	須恵器 短頸壺	埋土中 I:縁部~胴部上平 破片	I径 5.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5/1)	外面: I:縁部~胴部回転ナデ。 内面: I:縁部~胴部回転ナデ調整。	
23	須恵器 長頸壺	床面+15cm 胴部 破片	I径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(6/0)	外面: 胴部回転ナデ。 内面: 胴部回転ナデ調整。	
24	須恵器 椀	床面+13cm I:縁部~底部 破片	I径 17.3 底径 11.5 器高 7.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(10YR 5/1)	ロクロ整形。 外面: I:縁部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。高台貼付。 内面: I:縁部~底部回転ナデ調整。	
25	土師器 甕	遊歩方埋土中 I:縁部~胴部上端 破片	I径 21.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 赤(5YR 6/8)	輪組み。 外面: I:縁部横ナデ。胴部横方向のへう割り。 内面: I:縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
26	土師器 甕	床面+9cm I:縁部~胴部上端 破片	I径 22.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 還元焼 良好 ③ 赤(5YR 6/8)	輪組み。 外面: I:縁部横ナデ。胴部横~縦方向のへう割り。 内面: I:縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
27	土師器 甕	床面+6cm I:縁部~胴部上端 破片	I径 22.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 赤(5YR 5/4)	輪組み。 外面: I:縁部横ナデ。胴部横方向のへう割り。 内面: I:縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
28	土師器 甕	床面+11cm I:縁部~胴部上端 破片	I径 22.3 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 明赤(5YR 5/6)	輪組み。 外面: I:縁部横ナデ。胴部横方向のへう割り。 内面: I:縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
29	土師器 甕	床面+11cm 胴部下端~底部 破片	I径 - 底径 4.6 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 赤(5YR 5/4)	輪組み。 外面: 胴部~底部へう割り。 内面: 胴部~底部ヘラナデ。	
30	土師器 甕	床面+14cm 胴部下端~底部 破片	I径 - 底径 6.0 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 赤(5YR 4/3)	輪組み。 外面: 胴部~底部へう割り。 内面: 胴部~底部ヘラナデ。	

1・2区51号住居跡 (旧称1・2区5J-1)

位置: X=36385 Y=-39587 主軸方向: N-74° -E 規模: 3.2m×4.1m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 12cm ~ 23cm 埋没土: 上面が削平された状態であるため埋没過程は明らかではないが、僅かに残る埋土の堆積状態は、自然埋没の様相を呈する。

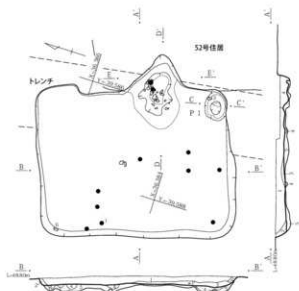
床面: 掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固め、床面としている。

カマド: 北東壁中央やや南寄りに位置する。袖部は試掘トレンチにより削平されているが、残存部より地山を掘り残す形で構築されていたものと考えられる。燃焼部使用面には焼土を含んだ灰の堆積が認められた。

柱穴・貯蔵穴: 南東コーナー部において径 60 × 44cm、深さ 54cm を測る断面形状が柱穴状のピットを1基礎認するが、位置的に貯蔵穴である可能性もある。壁溝溝: なし。

重複遺構: 52号住居跡と重複する。遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が新しいものと判断される。

掘り方: 主に住居壁際の地山ローム土を14cmほど掘り留める。出土遺物: 出土した遺物量はごく僅かではあるが、床面付近から三彩陶器の小型短頸壺(茶壺)片(No. 1)が出土している。



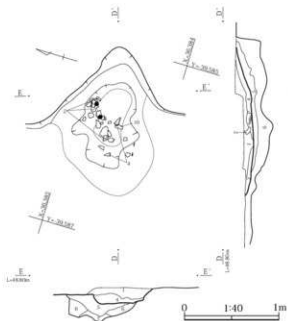
- 51号住層 埋土**
- 1層 灰黄褐色土(10R 5/2) 白色軽石・焼土・炭化物・ ϕ 1mmの褐色土粒子を含む ϕ 2mmのロームブロックを少し含む
 - 2層 にぶい黄褐色土(10R 4/2) ϕ 5mmのロームブロックを含む
 - 3層 灰黄褐色土(10R 5/2) 白色軽石・焼土・炭化物をわずかに含む ローム粒子を少し含む
 - 4層 暗褐色土(10R 3/3) 焼土・ローム粒子を少し含む
 - 5層 黄色砂質ローム土 ϕ 5mmの褐色土ブロックを少し含む

第188図 51号住層跡平・断面図



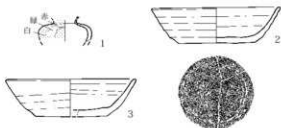
- 51号住層P1 埋土**
- 1層 にぶい黄褐色土(10R 5/3) 白色軽石・ ϕ 1mmのロームブロックをわずかに含む
 - 2層 にぶい黄褐色土(10R 5/3) ロームを多く含む
 - 3層 にぶい黄褐色土(10R 5/3) ϕ 1mmのロームブロックを少し含む

第189図 51号住層跡掘り方平面図



第190図 50号住層跡カマド平・断面図

- 51号住層カマド 埋土**
- 1層 灰黄褐色土(10R 4/2) 白色軽石・焼土・ ϕ 1mmのロームブロック・ ϕ 1mmの褐色土粒子を少し含む
 - 2層 灰黄褐色土(10R 4/2) 焼土を少し含む 灰を多く含む
 - 3層 灰黄褐色土(10R 4/2) 焼土・ ϕ 1.5mmのロームブロックを少し含む
 - 4層 灰黄褐色土(10R 4/2) 焼土を多く含む ϕ 1mmの褐色土粒子を少し含む
 - 5層 にぶい黄褐色土(10R 4/3) 灰を多く含む 焼土を少し含む [カマド使用面]
 - 6層 にぶい黄褐色土(10R 4/3) 焼土を含む ϕ 2.5mmのロームブロックを少し含む [カマド扉面]
 - 7層 黄色砂質ローム土 ϕ 10mmのにぶい黄褐色土ブロックを含む



第191図 51号住層跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区51号住居跡出土遺物調査表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	三彩陶器 小型短頸壺	床面+8cm 口縁部-胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 やや軟質 ③ 浅黄(2.8)黄(2)	ロクロ整形。 胴部に三彩の黄緑色・赤褐色透明釉の輪帯を施す。	
2	須恵器 杯	電埋土中 口縁部-底部 2/3	口径 13.4 底径 7.8 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(5Y 8/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	電埋土中 口縁部-底部 1/4	口径 13.6 底径 7.6 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 焼灰(10YR 4/1)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	電使用面直上 口縁部-底部 1/4	口径 13.7 底径 7.6 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 明褐色(10YR 7/1)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。
5	須恵器 杯	埋土中 体部 破片	口径 13.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	胴部外面に「サ = 20」の文字 の墨書。
6	土師器 甕	床面+8cm 口縁部-胴部上端 破片	口径 13.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にぶい・黄褐(10YR 7/3)	輪埴み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
7	土師器 甕	電使用面直上 口縁部-胴部 破片	口径 23.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にぶい・橙(7.5YR 6/4)	輪埴み。 外面：口縁部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

1・2区52号住居跡 (旧称1・2区5J-52)

位置：X=36385 Y=-39583

主軸方向：N-70° - E 規模：5.6m×4.2m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：12cm～23cm

埋没土：主に褐色土粒子等を含む灰黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固めて、床面としている。

カマド：北東壁中央やや南寄りに位置する。袖部は地山を彫り残す形で構築され、右袖部に至っては袖部端へ東壁へ住居南東コーナーへと続くプランを呈する。そのため煙道部は壁ラインよりあまり突出せず、カマド燃焼部も住居内に入り込む。燃焼部使用面及びカマド前部にかけて灰層の堆積が認められた。

柱穴：掘り方調査の段階で検出された、住居中央部の一穴と南壁際南西コーナー寄りの一穴が、位置的に柱穴となる可能性をもつ。貯蔵穴：南東壁コーナー付近において、径70×52cmの隅丸形状を呈し、深さは38cmを測る土坑を検出し、貯蔵穴跡と考えられる。

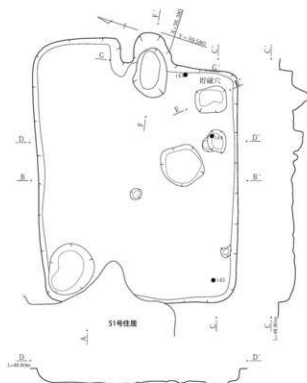
壁周溝：なし。重複遺構：51号住居跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：全体に地山ローム土を4～10cmほど掘り穿める。出土遺物：出土量は比較的多く、埋土中から土師器甕(No.9・10)、須恵器杯(No.4・5・6)・椀(No.7)、灰釉陶器片、土錘(No.11)、石製紡錘車(No.12)などが出土している。



52号住居 埋土

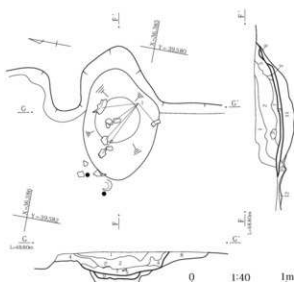
- 1層 灰褐色土(10YR 4/1) φ2.5mmの褐色土粒子・炭化物を含む φ2mmのロームブロック・粘土・灰褐色土粒子を少し含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ2.5mmの褐色土粒子・炭化物を少し含む φ2mmのロームブロック・粘土を含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ1mmの褐色土粒子・粘土・炭化物を少し含む φ2mmのロームブロックを含む
- 4層 灰褐色土(10YR 4/1) φ10～30mmのロームブロックを多く含む 粘土を少し含む(旧図参照)
- 5層 黄色砂質ローム土 φ3mmの褐色土ブロックを少し含む

第192図 52号住居跡平・断面図



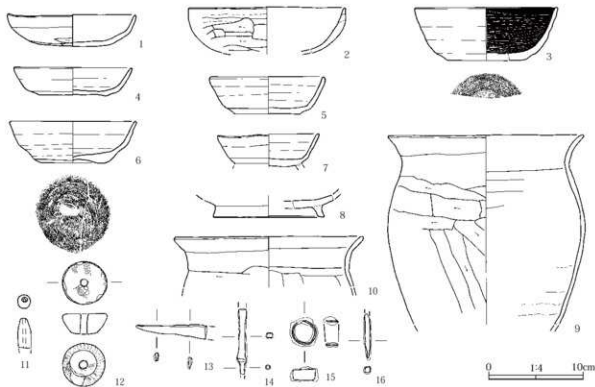
- 52号住居貯蔵穴 埋土
- 1層 暗褐色土(00R 3/1) 焼土・炭化物・白色軽石・φ2mのロームを少し含む
 - 2層 黒褐色土(00R 3/1) φ10~30mmのロームブロック・炭化物を少し含む
 - 3層 黒褐色土(00R 3/1) φ5~10mmのロームブロックを少し含む

第193図 52号住居跡掘り方平・断面図



- 52号住居カマド 埋土
- 1層 暗褐色土(00R 3/1) 焼土・炭化物を少し含む φ1mmの褐色土粒子を含む
 - 2層 黄色砂質ローム土 褐色土粒子(φ1~3mm)・φ1mmの黒褐色土ブロックを含む 焼土をわずかに含む [天井部崩落]
 - 3層 黒色土(00R 2/1) 褐色土粒を少し含む
 - 4層 暗褐色土(00R 3/1) 焼土を少し含む
 - 5層 焼土層(2.3R 5/4) 塊が大きい
 - 6層 灰層 焼土を少し含む
 - 7層 焼土層(2.3R 5/4) 灰を含む 炭化物を少し含む
 - 8層 土質不明褐色土(00R 3/4) 褐色土粒子を少し含む [柱跡間]
 - 9層 灰層 焼土を少し含む [カマド発掘面]
 - 10層 暗褐色土(00R 4/1) 焼土・ロームを少し含む 帯状に炭化物を含む
 - 11層 暗褐色土(00R 4/1) 灰・焼土を含む φ1mmの暗褐色土ブロック・ロームを少し含む
 - 12層 黄色砂質ローム土 褐色土粒子を少し含む

第194図 52号住居跡カマド平・断面図



第195図 52号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区52号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面直上 L1線部~底部 1/2	L径 13.5 底径 7.1 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5Y 6/3)	外面：L1線部横ナデ、底部ナデ、底部手持ちへラ削り。 内面：L1線部~底部横ナデ、底部ナデ調整。	
2	土師器 杯	床面+23cm L1線部~体部 破片	L径 16.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5Y 5/2)	外面：L1線部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへラ削り。 内面：L1線部~体部横ナデ、底部ナデ調整。	
3	黒色土器 杯	床面+17cm L1線部~底部 1/3	L径 14.9 底径 8.5 器高 5.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 内面黒色 ③ 赤黒(7.5YR 6/3)	外面：L1線部~体部横ナデ、底部回転糸切り。 内面：L1線部~体部横ナデ後へラ磨き。底部ナデ後へラ磨き。	
4	須恵器 杯	床面+7cm L1線部~底部 1/2	L径 12.4 底径 7.3 器高 2.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	外面：L1線部~体部横ナデ、底部回転糸切り。 内面：L1線部~底部横ナデ調整。	
5	須恵器 杯	床面+17cm L1線部~底部 2/3	L径 11.9 底径 7.0 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(6/3)	外面：L1線部~体部横ナデ、底部回転糸切り。 内面：L1線部~底部横ナデ調整。	
6	須恵器 杯	床面+6cm L1線部~底部 1/3	L径 13.2 底径 8.2 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	外面：L1線部~体部横ナデ、底部回転糸切り後、底部周辺は回転糸切り。 内面：L1線部~底部横ナデ調整。	
7	須恵器 碗	床面+4cm L1線部~底部 1/3	L径 10.7 底径 7.1 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰青(5/6)	外面：L1線部~体部横ナデ、底部回転糸切り。高台貼付。 内面：L1線部~底部横ナデ調整。	
8	須恵器 碗	床面直上 底部 破片	L径 — 底径 11.3 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰青(5/6)	外面：L1線部~体部横ナデ、高台貼付。 内面：L1線部~底部横ナデ調整。	
9	土師器 甕	庭裡土中、掘削方井 土中 L1線部~胴部上端 破片	L径 20.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 明赤(2.5YR 5/6)	輪轆み。 外面：L1線部横ナデ、胴部上端、中位縦方向へラ削り。 内面：L1線部横ナデ、胴部へラナデ。	
10	土師器 甕	床面+7cm L1線部~胴部上端 破片	L径 19.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 赤い(7.5YR 6/4)	輪轆み。 外面：L1線部横ナデ、胴部縦方向へラ削り。 内面：L1線部横ナデ、胴部へラナデ。	
11	土製品 鉢	床面+23cm 1/2	長さ 3.2 径 1.4 孔 0.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 明赤(2.5YR 5/6)	下半部縦、外面ナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：6g	

1・2区53号住居跡 (旧称 1・2区51-53)

位置：X=36381 Y=-39581 主軸方向：N-69° - E

規模：4.0m×2.9m 平面形状：隅丸長方形

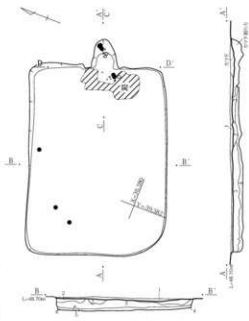
残存深度：3cm～6cm 埋没土：上面を削平された状態で検出となり、埋土も床面直上に僅か残るだけで、埋没の過程も明らかではない。床面：掘り方埋土であるローム土を主体とした褐色土で埋め込み、床面としている。

カマド：北東壁中央やや南寄りに位置する。焼き口幅は40cm程を測り、燃焼部使用面には焼土と炭化物を含んだ灰の堆積が認められた。また、カマド前面には5cmほど炭が広がっている。袖部の

53号住居 埋土

- 1層 灰黒褐色土(10YR 5/2) φ3～40mmの黒褐色土ブロック・φ2mmの黒灰色土ブロック・褐色土粒子を少し含む 白色軽石をわずかに含む
- 2層 赤い・黄褐色土(10YR 5/3) 褐色土粒子を少し含む φ10mmの黒褐色土ブロックを塊状に含む [圧痕有り]
- 3層 灰黒褐色土(10YR 5/2) 塊層 φ0.5mmの褐色土粒子を少し含む [圧痕有り]
- 4層 赤い・黄褐色土(10YR 5/4) φ0.5mmの褐色土粒子・ロームを少し含む [圧痕有り]
- 5層 赤い・黄褐色土(10YR 5/4) φ1.5mmの黒褐色土粒子を少し含む [圧痕有り]

0 180 2m

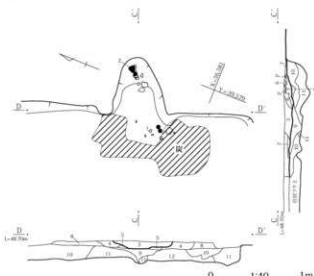


第196図 53号住居跡平・断面図

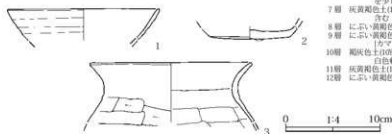
残りは悪いが、地山を掘り残す形で構築されたものと推察される。

柱穴：なし。 貯蔵穴：なし。 壁周溝：なし。

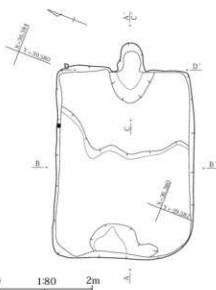
重複遺構：なし。 掘り方：全体に地山ローム土を20cmほど掘り留める。 出土遺物：出土量は僅かだが、埋土中から土師器撰(No. 3)・須恵器杯(No. 1)の破片が出土している。



第197図 53号住居跡カマド平・断面図



第199図 53号住居跡出土遺物



第198図 53号住居跡掘り方平面図

53号住居カマド 埋土

- 1層 褐色土(0YR 3/1) 焼土をわずかに含む 白色軽石・φ0.5mmの褐色土粒子を少し含む φ180mmのロームブロックを含む
- 2層 褐色土(0YR 3/1) 褐色土ブロック(φ0.25-1m)・φ180mmのロームブロックを少し含む
- 3層 褐色土(0YR 3/1) 焼土・φ20mmの黒褐色土ブロック・φ0.5mmの褐色土粒子を少し含む
- 4層 濃い黄褐色土(0YR 5/3) 白色軽石をわずかに含む φ0.5-10mmの褐色土ブロック・φ0.5mmの褐色土粒子を少し含む
- 5層 褐色土(0YR 4/1) 焼土・褐色土・灰を含む
- 6層 灰黄褐色土(0YR 5/2) 焼土を多く含む 灰化物・φ0.5mmの褐色土粒子を少し含む
- 7層 灰黄褐色土(0YR 5/2) 焼土を少し含む φ20mmのロームブロックを1つ含む 灰を多く含む
- 8層 濃い黄褐色土(0YR 5/3) 濃い黄褐色土粒子を少し含む
- 9層 濃い黄褐色土(0YR 4/1) 焼土・灰化物を含む 灰を多く含む [カマド使用面]
- 10層 褐色土(0YR 4/1) 濃い黄褐色土粒子・φ0.5mmの黒褐色土ブロック・白色軽石を少し含む
- 11層 灰黄褐色土(0YR 5/2) 褐色土粒子を少し含む
- 12層 濃い黄褐色土(0YR 5/3) ローム・褐色土粒子を少し含む

1・2区53号住居跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 L線部～体部 破片	L径 15.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 柄(5YR 6/6)	口縁整形。 外面：L線部～体部回転ナデ。 内面：L線部～体部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	L径 — 底径 8.5 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 濃い赤褐色(5YR 5/4)	口縁整形。回転ナデ。 外面：底部回転ナデ。 内面：底部回転ナデ調整。	
3	土師器 甕	埋土中 L線部～胴部上端 破片	L径 17.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 柄(5YR 6/6)	輪組み。 外面：L線部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：L線部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

1・2区54号住居跡 (旧称1・2区5J-54)

位置：X=36364 Y=-39577 主軸方向：N-68°-E 規模：3.9m×3.2m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：28cm～47cm 埋没土：主に少量の白色軽石などを含む暗褐色土～黒色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固め、床面としている。

カマド：北東壁中央南寄りに位置する。焚き口幅は55cmほどを測り、燃焼部使用面には一面に灰の堆積が認められ、この灰層面直上には焼土化した天井部材の崩落が認められた。煙道部は燃焼部より段差を設け、緩やかに立ち上がる。袖部の遺存状態は悪いものの、右袖部端には袖石を据えた痕跡の窪みが認められ、隣接する貯蔵穴より礎の出土もことから、芯材に礎を用いていたものと考えられる。

第3章 検出遺構と出土遺物

柱穴：掘り方調査で南壁際に径32～28cm深さは21cmを測る1穴と、南東コーナー部に1穴が検出され、共に柱穴跡と考えられる。**貯蔵穴：**カマドの右側にあたる住居南東コーナー付近で長軸44cm、短軸35cmの楕円形を呈し、深さは15cmを測る。埋土中よりカマド袖部構築材と思われる細長い礫が出土する。**壁周溝：**なし。

重複遺構：55号・57号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、いずれの住居よりも本遺構の方が新しいものと判断された。**掘り方：**全体に地山ルーム土を4～12cmほど掘り窪める。

出土遺物：床面直上より、ほぼ円形の須恵器杯(No. 2)、埋土中からは、須恵器蓋(No. 1)や土師器杯・蓋・盤の破片、砥石(No. 5)などが出土している。また、床面直上で被熱した凝灰岩が2箇所で出土するもの、本住居跡のカマドに伴う構築材であるか否かは明らかではない。

1・2区57号住居跡(旧称1・2区5J-57)

位置：X=36362 Y=-39577

主軸方向：N-62°-E **規模：**2.8m×3.4m

平面形状：隅丸長方形 **残存深度：**30cm

埋没土：重複する54号住居跡により、僅かに南壁と西壁の半分を残すのみであり、埋没過程の詳細は明らかではない。**床面：**掘り方埋土であるルームを主体とした褐色土で埋め固め、床面としているものと思われる。

カマド：重複により消失したものと考えられる。

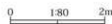
柱穴：不明。**貯蔵穴：**不明。**壁周溝：**残存する壁際においては検出されなかった。

重複遺構：54・55号住居跡と重複し、遺構確認時～掘削時の埋土の様相から、本遺構は54号住居跡より古く、55号住居跡より新しいものと判断される。**掘り方：**地山ルーム土を6cmほど掘り窪める。



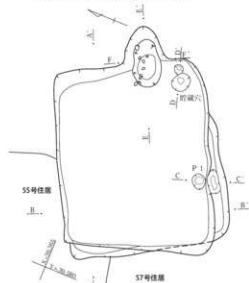
54号住居跡貯蔵穴 埋土

- 1層 黒褐色土(010R 3/3) 粘性なし、しまりややあり、 $\phi 5\text{mm}$ 以下の焼土粒・灰粒を少量含む
- 2層 黄褐色土(010R 4/3) 黄色粘質土のブロック状土(1層掘り方)



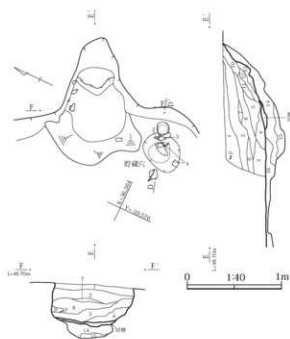
54・57号住居 埋土

- 1～8層 54付
1層 黒褐色土(010R 3/3) 粘性なし、しまりあり、 $\phi 5\text{mm}$ 程の焼土粒・パミス・黒色粘土粒(0.5R 2/1) $\phi 10\text{mm}$ 以下・ $\phi 1\text{mm}$ 程の黒色土粒(010R 4/3) $\phi 10\text{mm}$ 以下を少量含む
- 2層 黒褐色土(010R 3/3) 1層のパミスのみ濃縮 他同じ
- 3層 黒褐色土(010R 3/3) 2層の土が濃い・黄褐色土で全体に弱く汚れる しまりやや弱い
- 4層 黒褐色土(010R 3/3) 2層の土に厚く $\phi 5\text{mm}$ 以下濃縮含む しまりやや弱い
- 5層 黒褐色土(010R 3/3) 4層の土に $\phi 5\text{mm}$ 以下少量含む しまりやや弱い
- 6層 黒褐色土(010R 3/3) 4層の土に黒褐色粘土粒やや多量含む しまりややあり
- 7層 黒色粘質土(5.5R 2/1) 黄褐色土ブロック $\phi 20\text{mm}$ 以上多量含む しまりややあり
- 8層 黒褐色土(010R 2/3) 粘性なし、しまりやや弱い、含有物は層に同じ
- 9～16層 57付
9層 黒褐色土(010R 3/3) 粘性なし、しまりややあり、 $\phi 1\text{mm}$ 程のパミス・焼土粒濃縮含む、 $\phi 10\text{mm}$ 程の黒色粘土粒少量含む
- 10層 9層にパミス・焼土がより少ない
- 11層 10層に濃い・黄褐色土で全体に強く汚れる
- 12層 黒褐色土(010R 3/3) 粘性なし、しまりやや弱い、パミス $\phi 1\text{mm}$ 程・黒色粘土粒 $\phi 10\text{mm}$ 以下濃縮含む
- 13層 黒色粘質土(5.5R 2/1) 7層に同じ
- 14層 黒褐色土(010R 3/3) 2層に似ているが黄味が強い
- 15層 黒褐色土(0.5R 3/3) 粘性なし、しまりややあり、パミス・焼土粒 $\phi 1\text{mm}$ 程濃縮含む
- 16層 黒褐色土(010R 3/3) 粘性なし、しまりやや弱い、パミス・灰粒 $\phi 1\text{mm}$ 程濃縮含む
- 17層 黒色粘土にその上層の黒褐色土ブロック $\phi 30\text{mm}$ 以下少量含む、 $\phi 1\text{mm}$ 程のパミスを微量含む (57住居り方)
- 18層 黒色粘土にその上層の黒褐色土ブロック $\phi 30\text{mm}$ 以下をやや多量含む、 $\phi 1\text{mm}$ 程のパミス・焼土粒を微量含む (57住居り方)

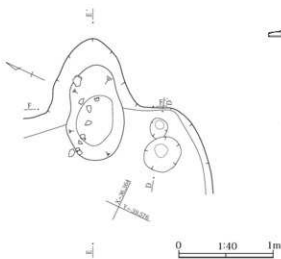


第200図 54・57号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



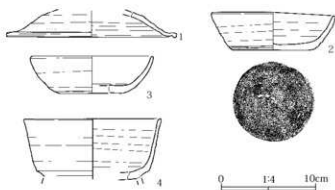
第201図 54号住居跡カマド平・断面図



第202図 54号住居跡カマド廻り方面図

54号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(7.5YR 2/1) 粘性なし しまりあり φ10cm以下のパミス・焼土・炭を少量含む
- 2層 黒褐色土(7.5YR 2/1) 粘性なし しまりあり φ5cm以下のパミス・焼土・炭を少量含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘性なし しまりややあり φ10cm以下の焼土・炭・にぶい黄褐色土粒(10YR 4/3)を少量含む
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) 3層の含有物やや多量含む
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 粘性なし しまりあり φ5cm以下の焼土粒・パミス微量含む φ10cm以下のパミスを微量含む
- 6層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりややあり φ10cm以下のパミス・焼土粒を微量含む
- 7層 黒褐色土(7.5YR 2/1) 粘性なし しまりやや強い φ5cm程の焼土粒を少量含む 全体に焼土でうすく覆れる φ10cm程のパミス粒を散ら含む
- 8層 黒褐色土(7.5YR 2/1) 粘性なし しまりややあり φ5cm以下の焼土粒・パミス微量含む にぶい黄褐色土粒(10YR 4/3)を少量含む
- 9層 黒褐色土(7.5YR 2/1) 粘性なし しまりやや強い φ10cm程の焼土粒を多量含む
- 10層 黒褐色土(7.5YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ10cm以下の焼土粒を少量含む 全体に焼土でうすく覆れる φ10cm程のパミス粒を散ら含む
- 11層 灰褐色土(7.5YR 3/2) 粘性なし しまりやや強い 全体にうすく焼土で覆れる
- 12層 黄褐色土(10YR 5/6) 粘性なし しまりややあり 上半を中心にφ5cm程の焼土を少量含む 全体にうすく焼土で覆れる(片貝歯面)
- 13層 黄褐色土(10YR 5/6) 12層のカマド焼土がほぼ全体に焼土化
- 14層 褐色土(10YR 4/4) 粘性なし しまりやや強い 黒粘土・焼土粒・焼土粒φ10cm以下をやや多量含む
- 15層 褐色土を主体に褐色土粒・焼土粒を少量含む しまりやや強い
- 16層 黒褐色土を主体に褐色土ブロックφ5cm以下をやや多量含む パミスφ10cmを微量含む しまりあり 上層10cm程に硬化



第203図 54号住居跡出土遺物

1・2区54号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	床面+19cm 口縁部～天井部 破片	口径 17.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロク口整形。 外面：天井部上半へラ削り。天井部下半～口縁部横ナデ。 内面：天井部～口縁部回転ナデ。	
2	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.8 底径 8.6 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(6/0)	ロク口整形。 外面：口縁部～底部へラ削り。底部最下位～底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	貯蔵穴埋土中 口縁部～底部 破片	口径 12.8 底径 6.8 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(6/0)	ロク口整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内外面に火傷が認められる。
4	須恵器 椀	貯蔵穴埋土中 口縁部～底部 破片	口径 14.4 底径 — 器高 6.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7.5Y 5/1)	ロク口整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区55号住居跡 (旧称1・2区SJ-55)

位置: X=36366 Y=-39574

主軸方向: N-17° -W 規模: 3.2m×3.7m

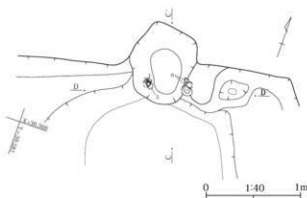
平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 15cm~24cm

埋没土: 主に白色軽石などを含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

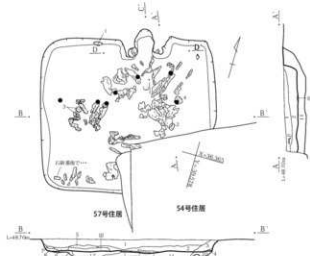
床面: 掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固めて床面とし、一部において黒色粘質土を用いて貼り床が敷設される。カマド: 北西壁の中央やや北寄りに位置する。焚き口幅は30cmを測り、煙道部は短く急峻に立ち上がる。燃焼部使用面には一面に灰の堆積と灰層面直上に焼土化した天井部材の崩落が認められた。また、崩落天井部に伴い、袖部には両袖石間をつなぐ様に土師器甕が横位に2個体連なった状態で出土した。袖部は地山を掘り残し、先端部に腰を埋設しその上部に前記の土師器甕を橋上に乗けて粘質土で覆い構築されたものと考えられる。柱穴: なし。貯蔵穴: なし。

壁周溝: なし。重複遺構: 54・57号住居跡と重複する。遺構確認時の埋土の様相より本道構の方が古いものと判断される。掘り方: 住居中央部を残し、壁際を20cmほど掘り窪める。出土遺物: 床面直上で、ほぼ方形の須恵器椀 (No. 3) と高台付壺 (No. 4) が、埋土中からは完形の須恵器蓋 (No. 1) や杯 (No. 2)、砥石 (No. 8)、磨石 (台石) (No. 7) などが出土している。

所見: 住居中央部に放射状に炭化した茅材が検出され、その遺存状態を見ると、中心部はほぼ床面に接するものの、周縁部は床面との間に埋土の堆積がみられることから、本住居廃絶後の浅く掘り鉢状に埋没した時点での焼き火跡と推察される。

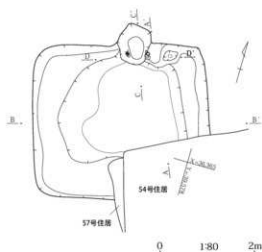


第205図 55号住居跡カマド掘り方平面図

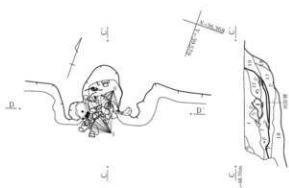


55号住居 埋土

- 1層 黒褐色土(100R 2/2) 粘性なし、しまりあり φ5mm以下の焼土粒・パミス・φ2mm以下の黒色粘質土ブロック少量含む
- 2層 黒褐色土(100R 2/2) 1層の含有物・灰粒φ5mm以下微量含む
- 3層 黒褐色土(100R 2/2) 2層の砂礫 粗砂(100R 3/3)少量なし
- 4層 黒色粘質土(5/2) 地山土の崩壊
- 5層 黒褐色土(100R 2/2) 1層で下層の灰粒φ10mm以下・焼土粒φ10mm以下をやや多量含む
- 6層 黒褐色土(100R 2/2) 3層で焼土粒なし 灰粒φ20mm以下
- 7層 黒褐色土(5/3) 粘性なし、しまりやや強い オリーブ褐色土(5/5)層
- 8層 黒褐色土(5/3) 7層の含有物なし 7・8層は地山の崩壊
- 9層 黒褐色土(5/3) 粘性なし、しまりあり 黒色粘質土粒φ10mm以下多量含む オリーブ褐色土粒φ10mm以下多量含む 珪り砂
- 10層 黒褐色土(5/2) 粘性あり、しまりあり 黒色粘質土に黄褐色土ブロック(5/5)φ8mm以下多量含む 焼土粒・パミスφ5mm以下少量含む
- 11層 黄褐色土(5/5) 粘性なし、しまりあり φ5mm以下の黒灰ブロック・φ1mm以下のパミス・φ5mm以下の焼土粒をやや多量含む
- 12層 φ10mm以下の黒灰と黄褐色土ブロックの混土・φ1mm以下のパミス少量含む
- 13層 黄褐色土(5/5) 粘性なし、しまりあり φ1mm以下のパミス微量含む



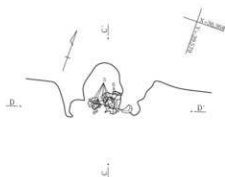
第204図 55号住居跡平・断面図、掘り方平面図



第206図 55号住居跡カマド平・断面図(1)

55号住居カマド 埋土

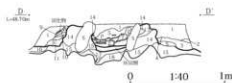
- 1層 黒褐色土(01YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ5cm以下のパミス・焼土粒を少量含む φ5cm以下の灰粒を微量含む
- 2層 黒色粘質土ブロック
- 3層 黒褐色土(01YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ20cm以下の黒褐色土粒・5Y 5/4(焼)粒をやや多量含む φ5cm以下のパミス・φ5cm以下の黒色粘質土ブロックを多量含む
- 4層 地材のブロックと黒褐色土(01YR 3/2)の混土
- 5層 オリーブ褐色土(5YR 4/3) 粘性なし しまりあり 焼土ブロックφ20cm以下をやや多量含む(カマド焼土材の堆積)
- 6層 黒褐色土(01YR 3/2) 粘性なし しまりあり 黒褐色土粒・5Y 5/4φ10cm以下を多量 φ5cm以下パミスを微量含む
- 7層 黒褐色土(01YR 3/2) 粘性なし しまりややあり 地山の黒褐色粘質土粒を少量含む 焼土粒 φ10cm以下を多量含む
- 8層 ぶいぶい黄褐色土(01YR 5/6) 粘性なし しまりあり φ5cm以下の焼土粒を少量含む 地材の堆積
- 9層 黒褐色土(01YR 3/2) 1層に灰化材を含む 厚10cm しまりややあり
- 10層 灰化材
- 11層 ぶいぶい黄褐色土(01YR 5/6) 粘性なし しまりややあり 1層の黒褐色土が地材でつくられる φ5cm以下の焼土粒・灰粒を微量含む
- 12層 黒褐色土(5Y 3/1) 粘性なし しまりややあり φ10cm以下の灰粒・焼土粒を少量含む
- 13層 黒褐色土(01YR 2/2) 粘性なし しまりあり 焼土粒φ10cm以下をやや多量含む
- 14層 ぶいぶい黄褐色土(01YR 2/2) 粘性なし しまりあり φ10cm以下の焼土粒を微量含む
- 15層 黒褐色土(01YR 2/3) 粘性なし しまりややあり φ10cm以下の焼土粒を微量含む
- 16層 黒褐色土(01YR 2/1) 粘性なし しまりややあり φ10cm以下の焼土粒を微量含む
- 17層 黒褐色土(01YR 5/6) しまりややあり φ10cm以下の焼土粒を少量含む
- 18層 黒褐色土(01YR 2/2) 粘性なし しまりやや強い 同レベル地山を掘削してそのまま埋戻した土φ20cm以下の焼土ブロック・17層の黄褐色土ブロック粒を少量含む



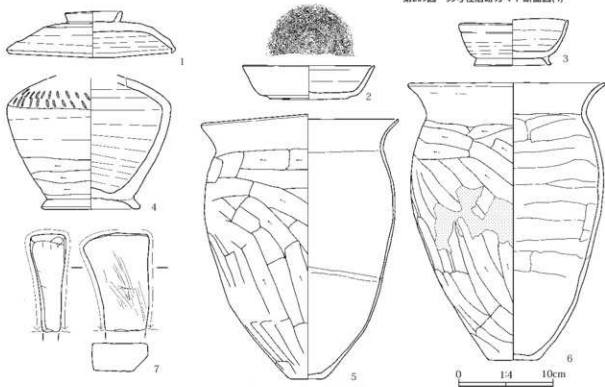
第207図 55号住居跡カマド平面図(2)



第208図 55号住居跡カマド平面図(3)



第209図 55号住居跡カマド断面図(4)



第210 55号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区55号住居跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考	
				①胎土	②焼成	③色調			
1	須恵器 杯蓋	床面+6cm 完形	口径 17.1	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰白 6/0	コケ口筒形。回転石回り。 外面：天井部上半へ方削り。 内面：天井部へ口縁部回転ナデ。				
			口径 5.9						
			器高 4.9						
2	須恵器 杯	床面+14cm 口縁部~底部 1/2	口径 13.7	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 ③地灰(7.5YR 4/1)	コケ口筒形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転へ方削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。		底部内面に線刻あり。		
			口径 8.4						
			器高 3.6						
3	須恵器 椀	床面直上 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 11.4	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰白 5/0	コケ口筒形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転半切り。高台附付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。		灰化した素材面上から出土。 内外面に火傷が認められる。		
			口径 7.8						
			器高 4.9						
4	須恵器 長頸壺 (高台付)	床面+3cm 胴部~頸部欠損	口径 9.4	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰白 5/0	コケ口筒形。 外面：胴部下半回転へ方削り。肩部に2段の朝突文が流る。				
			口径 9.4						
			器高 1.1						
5	土加器 甕	甕理土中 ほぼ完形 一部欠損	口径 20.7	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③相(YR 7/0)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位斜め、下位縦方向。 底部へ方削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部~底部へ方削り。				
			口径 4.3						
			器高 28.0						
6	土加器 甕	甕理土中 ほぼ完形 一部欠損	口径 20.7	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③相(YR 7/0)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位、下位斜め方向へ方削り。底部へ方削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部~底部へ方削り。				
			口径 5.0						
			器高 29.3						
番号	種類	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	概要
7	石製品	砥石	下部欠損	10.4	7.0	3.7	287	砥石片	表裏、両側高。頂部とも使用されている。頂部の使用は他の面より少ないようである。

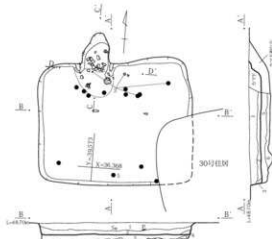
1・2区56号住居跡 (旧称 1・2区5J-56)

位置：X=36369 Y=-39572 主軸方向：N-5°-W

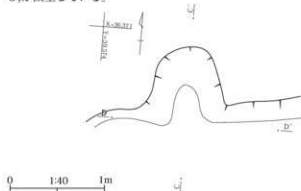
規模：2.6m×3.3m 平面形状：隅丸長方形 残存深度：21cm～28cm 埋没土：主に白色軽石を含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土である黒褐色土で埋め固め、床面とする。
カマド：北壁中央やや西寄りに位置する。両袖とも残り、遺存状態は比較的良好。焚き口幅は48cmを測り。焚き口部から煙道部にかけての燃焼部使用面には、多量の焼土と灰が検出され、その直上には崩落した天井部材の厚い堆積が認められ、長期にわたり使用した状況が伺える。両袖部は褐色粘質土で構築されている。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁間溝：なし。

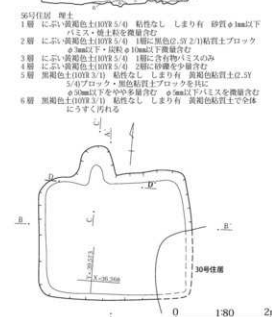
重複遺構：16号溝跡、30号住居跡と重複する。遺構確認時の埋土の様相より、本遺構は、30号住居跡より古く、16号溝跡より新しいものと判断される。掘り方：全体にローム土を7～24cmほど掘り窪める。出土遺物：埋土中から円盤状石製品(No. 8)が出土している。



- 56号住居 埋土
- 1層 泥い黄褐色土(10YR 5/0) 粘性なし しまり有 砂質φ10m以下
パミス・粘土粒を微量含む
 - 2層 泥い黄褐色土(10YR 5/0) 1層に黒色0.5/2粘質土ブロック
φ3m以下・灰粒φ10m以下微量含む
 - 3層 泥い黄褐色土(10YR 5/0) 1層に含有物パミスのみ
 - 4層 泥い黄褐色土(10YR 5/0) 2層に砂礫を少量含む
 - 5層 黒褐色土(10YR 3/1) 粘性なし しまり有 黄褐色粘質土0.5Y
5/0ブロック・黒色粘質土ブロックを主に
φ20m以下の中層を含む φ10m以下パミスも微量含む
 - 6層 黒褐色土(10YR 3/1) 粘性なし しまり有 黄褐色粘質土で全体
にうつく浮れる

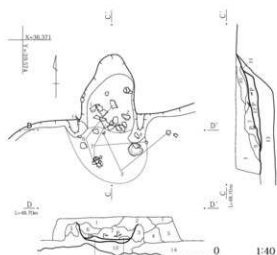


第212図 56号住居跡カマド掘り方平面図

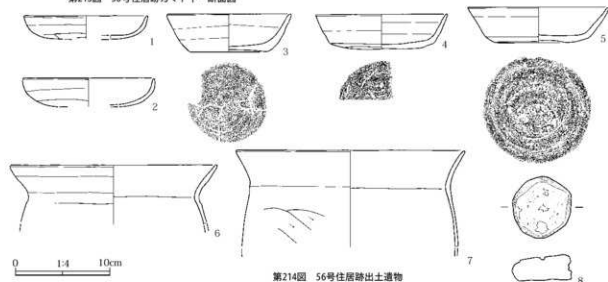


第211図 56号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



第213図 56号住居跡カド平・断面図



第214図 56号住居跡出土遺物

56号住居のマド廻り方 埴土

- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ1cm程度のハミス・焼土粒・φ5mm程度の黒土粒子を微量含む
- 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ10mm以下の褐色土粒をやや多量含む φ10mm以下の焼土粒を少量含む φ1mm程度のハミスを微量含む
- 3層 褐色土(10YR 4/4) 粘性なし しまりあり (10~)を伴った加積層材
- 4層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ20~30mm程度の褐色土粒を少量含む φ1mm程度のハミスを微量含む
- 5層 黒褐色土(10YR 3/2) 4層の褐色土粒・ハミスを微量含む
- 6層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ30mm以下の焼土ブロック・φ10mm以下の褐色土粒をやや含む φ1mm程度のハミスを微量含む
- 7層 褐色土(10YR 4/4) 粘性なし しまりあり 黒褐色土(2)と土粒φ10mm以下、φ10mm以下の焼土粒を少量含む φ10mm以下の炭粒を微量含む (天の崩れ土)
- 8層 褐色土(10YR 4/4) 7層の褐色土化したもの
- 9層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ10mm以下の焼土粒粘土ブロックや多量含む φ30mm以下の炭粒を微量含む
- 10層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ10mm以下の焼土ブロックをやや多量含む
- 11層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりあり φ20mm以下の焼土ブロックをやや多量含む
- 12層 灰褐色土(7.5Y 4/2) 粘性なし しまりやや強い φ30mm以下の焼土を多量含む 灰と崩落天井の土で全体に強く汚れる
- 13層 細かい黄褐色土(10YR 5/3) 粘性なし しまりややあり φ1mm程度のハミス・φ5mm程度の黒土粒を微量含む φ30mm以下の褐色粘土ブロックをやや多量含む (カドマド廻り方)
- 14層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 粘性なし しまりあり φ1mm程度のハミス・1層にのみ黄褐色土ブロックφ30mm以下、φ10mm以下の褐色粘土土粒を少量含む (巨匠廻り方)

1・2区56号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	出土位置	残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考	
1	土加器	杯	甕埋土中	口縁部・底部破片	口径 12.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化端 良好 ③ 灰白(7.5YR 7/4)	外面: 口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへう削り。 内面: 口縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。		
2	土加器	杯	甕埋土中	口縁部・底部破片	口径 13.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼化端 良好 ③ 粉(5YR 7/6)	外面: 口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへう削り。 内面: 口縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。		
3	須恵器	杯	甕埋土中	口縁部・底部破片	口径 13.0 底径 8.0 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細焼 ② 焼化端 ③ 灰白(7.5YR 7/4)	ロクロ整形。 外面: 口縁部~体部@転ナデ、底部@転糸切り後、底部周辺をへう削り。 内面: 口縁部~底部@転ナデ調整。		
4	須恵器	杯	甕埋土中	口縁部・底部破片	口径 13.7 底径 9.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細焼 ② 還元端 良好 ③ 灰白(7.5Y 8/2)	ロクロ整形。 外面: 口縁部~体部@転ナデ、底部@転糸切り後、底部周辺をへう削り。 内面: 口縁部~底部@転ナデ調整。		
5	須恵器	杯	甕埋土中	口縁部・底部破片	口径 14.8 底径 10.1 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細焼 ② 還元端 良好 ③ 灰白(10YR 7/1)	ロクロ整形。回転回り方。 外面: 口縁部~体部@転ナデ、底部@転糸切り後周辺部を回転へう削り。 内面: 口縁部~底部@転ナデ調整。	器面厚減。	
6	土加器	甕	甕埋土中	口縁部・胴部土塊破片	口径 21.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化端 良好 ③ 粉(5YR 6/6)	輪組み。 外面: 口縁部横ナデ、胴部横方向へう削り。 内面: 口縁部横ナデ、胴部へうナデ。		
7	土加器	甕	甕埋土中	口縁部・胴部土塊破片	口径 21.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化端 良好 ③ 粉(5YR 6/6)	輪組み。 外面: 口縁部横ナデ、胴部へう削り。 内面: 口縁部横ナデ、胴部へうナデ。		
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
8	石製品	円盤状石製品	一部欠	3.2	3.2	1.4	8	二ッ岳軽石	

第3章 検出遺構と出土遺物

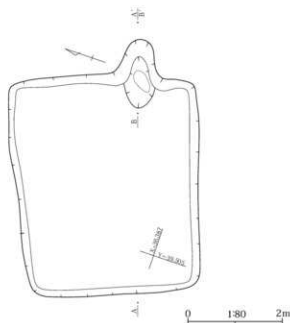
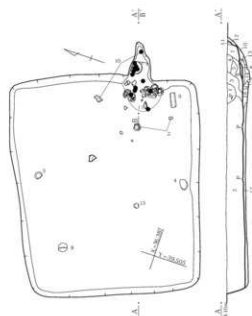
1・2区58号住居跡(旧称1・2区SJ-58)

位置：X=36388 Y=-39503 主軸方向：N-66°-E 規模：4.7m×3.9m 平面形状：隅丸長方形

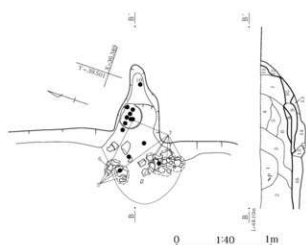
残存深度：30～43cm 埋没土：白色軽石を含む単一の暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体としたふい黄褐色土で埋め固めて床面としている。

カマド：北東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態は悪く、袖部も失われている。燃焼部使用面において灰の良好な堆積が認められた。煙道部は燃焼納段差をもち、緩やかに立ち上がる。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：全体に地山ローム土を3～8cmほど掘り窪める。出土遺物：床面直上でほぼ完形の平瓦(No. 9)、埋土中から完形の須恵器の高台付盤(No. 4) 須恵器裏の底部を転用した硯(No. 8)などが出土した。

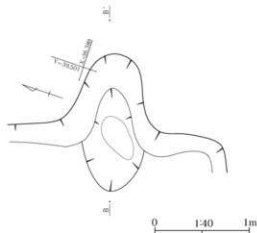


第215図 58号住居跡平・断面図、掘り方平面図

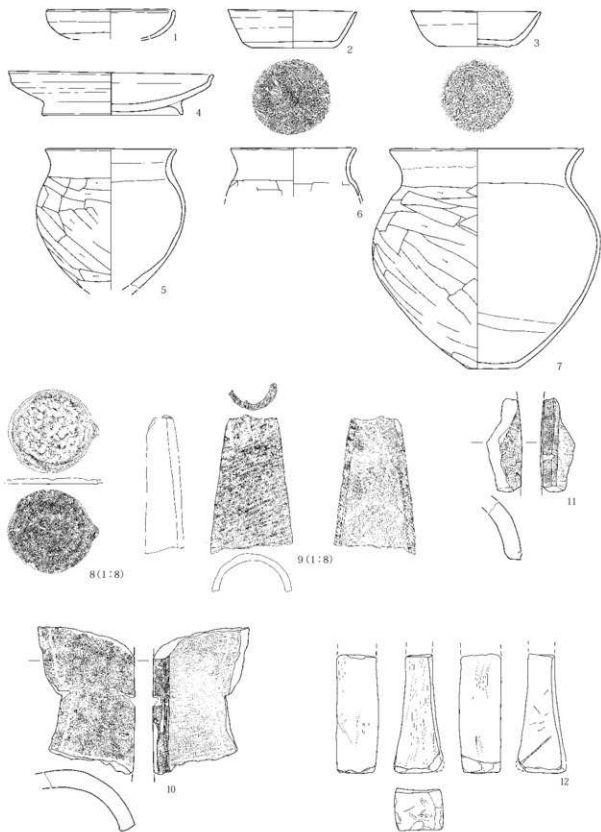


- 58号住居・カマド 埋土
- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 砂・白色軽石(φ 1mm)・焼土粒含む
 - 2層 暗褐色土(10YR 3/4) 砂・焼・白色軽石(φ 1mm)・灰化物含む
 - 3層 褐色土(10YR 4/3) 砂・白色軽石(φ 1mm)・焼土粒含む
 - 4層 黄褐色土(10YR 5/3) 粘質土・白色軽石(φ 1mm)含む
 - 5層 褐色土(10YR 4/3) 砂・焼土粒含む
 - 6層 暗褐色土(10YR 3/4) 砂・褐色土混ざる 焼土粒含む
 - 7層 暗褐色土(10YR 3/4) 砂・焼土粒含む
 - 8層 灰層
 - 9層 灰化物・焼土層
 - 10層 灰化物・焼土層 暗褐色砂質土混ざる
 - 11層 焼土ブロック 暗褐色砂質土混ざる
 - 12層 にくい黄褐色土(10YR 4/3) 砂・焼土粒含む [掘り方]
 - 13層 灰黄褐色土(10YR 4/3) 砂・焼土粒少量含む [掘り方]
 - 14層 暗褐色土(10YR 3/3) 砂・焼・焼土粒含む [掘り方]
 - 15層 灰黄褐色土(10YR 4/3) 砂・焼土粒含む [掘り方]
 - 16層 暗褐色土(10YR 3/4) 砂・焼土粒含む [掘り方]
 - 17層 にくい黄褐色土(10YR 4/3) 砂・焼含む 少量の焼土粒含む [掘り方]

第216図 58号住居跡カマド平・断面図



第217図 58号住居跡カマド掘り方平面図



0 1:4 10cm

第218図 58号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区58号住居跡出土遺物観察表

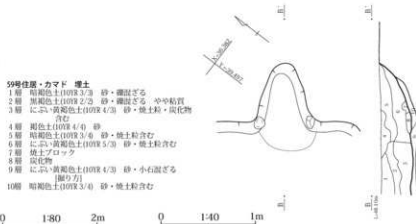
番号	種別	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①粘土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
								①粘土 ②焼成 ③色調	
1	土師器	杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 13.4 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒 ② 焼成 良好 ③ 焼色(Y 6/6)	口縁部内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部へラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。 ロクロ整形。回転削ナデ。			
2	須恵器	杯	床面直上 口縁部～底部 4/5	口径 13.4 底径 8.0 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(Y 7.5/7.1)	ロクロ整形。回転削ナデ。 外面：口縁部～体部回転削ナデ。底部回転削ナデ。 内面：口縁部～底部回転削ナデ調整。			
3	須恵器	杯	床面+6cm 口縁部～底部 4/5	口径 13.7 底径 7.0 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(Y 5.8/7.1)	ロクロ整形。回転削ナデ。 外面：口縁部～体部回転削ナデ。底部回転削ナデ。 内面：口縁部～底部回転削ナデ調整。	断面厚減。		
4	須恵器	高台付壺	埋理土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 21.4 底径 14.6 器高 4.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y 7.5/7.1)	ロクロ整形。回転削ナデ。 外面：口縁部～胴部回転削ナデ。底部回転削ナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転削ナデ調整。	断面厚減。		
5	土師器	小型甕	埋理土中 口縁部～胴部 底部欠損	口径 13.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成 良好 ③ 焼色(Y 6/6)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位置。中へ下位斜め方向のへラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	底部は径3.8cmの孔がある。各部貼付か。		
6	土師器	小型甕	埋理土中 口縁部～胴部上端	口径 13.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成 良好 ③ 焼色(Y 5.8/5.6)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部斜め方向のへラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
7	土師器	甕	埋理土中 口縁部～底部 1/2	口径 20.2 底径 5.3 器高 23.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼成 良好 ③ 灰褐(Y 5.9/4.2)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上平横。下半斜め方向へラ削り、底部へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。			
8	須恵器	甕	床面+6cm 底部 底部完形	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：底部回転削ナデ。挿れている。 内面：底部ナデ。指頭痕あり。			
9	土製品	丸瓦	床面直上 ほぼ完形 ①端上と狭端欠損あり	通巾 17.8 厚 10.1 側面長 29.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼成 ③ 灰白(Y 6/7.4)	表面へラナデ。 表面は布目と目肌粗あり。			
10	土製品	丸瓦	埋理土中、床面+27cm 破片	通巾 — 厚 — 側面長 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼成 ③ 灰(Y 5.6/6.1)	縁倉作り。厚さ1.8cm 表面へラナデ。 表面は布目あり。			
11	土製品	丸瓦	床面+19cm 破片	通巾 — 厚 — 側面長 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼成 ③ 灰黄(Y 5.9/6.2)	厚さ1.8cm 表面へラナデ。 表面は布目と目肌粗あり。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	概要
12	石製品	砥石	2/3残存	12.5	5.1	4.4	(400)	砥石目	床面+1cm

1・2区59号住居跡 (旧称1・2区5J-59)

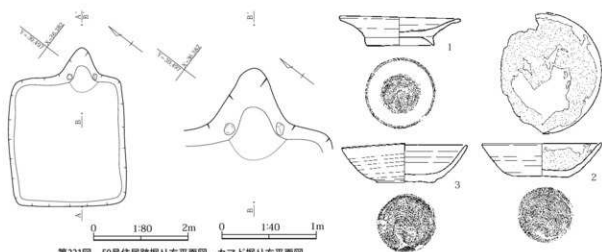
位置：X=36380 Y=-39498 主軸方向：N-51°-E 規模：2.8m×2.4m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：25～32cm 埋没土：主に砂と礫を含む暗褐色～にぶい黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。なお、埋土中に含まれる砂礫は、遺構周辺の地山に見られるものである。床面：掘り方埋土であるロームを主体としたにぶい黄褐色土で埋め固めて床面としている。カマド：北東壁の中央南寄りに位置する。袖部は住居内に突出せず、両袖には壁に接して石が据えられている燃焼部使用面は煙道に向けて緩やかな傾斜をもち、煙道端は急峻に立ち上がる。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁溝溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：全体に地山ローム土を4～12cmほど掘り窪める。出土遺物：床面直上で完形の須恵器杯(黒書土器 (No. 5))や、高台付皿(No. 1)、埋土中からほぼ完形の須恵器杯(No. 3)や高台付短頸壺(No. 7)などが出土した。



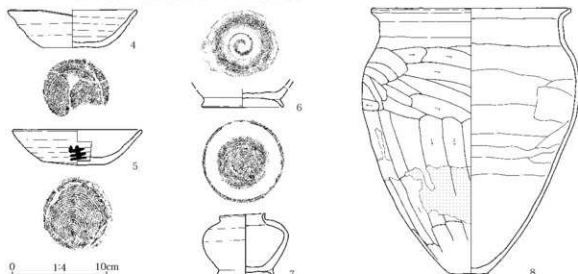
第219図 59号住居跡平・新断面



第220図 59号住居跡カマド平・新断面



第221図 59号住居跡掘り方平面図、カマド掘り方平面図



第222図 59号住居跡出土遺物

1・2区59号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 埋存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 修整手法	備考
1	須恵器 高台付皿	床面直上 宍形	口径 12.5 底径 7.2 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部ナデ調整小。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面に垂焼痕
2	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/2	口径 12.6 底径 5.8 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 赤黄緑(10YR 6/3)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	漆付着土層。
3	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/2	口径 13.2 底径 6.0 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	口縁部内部に漆 埋付着。
4	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 2/3	口径 13.5 底径 6.5 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面厚膜。
5	須恵器 杯	床面直上 宍形	口径 13.6 底径 6.9 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	体部外部に 「生」の遺痕。
6	須恵器 椀	床面直上 底部 破片	口径 — 底径 8.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 横化焰 ③ 赤い赤黄(5Y 5/4)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：底部回転系切り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 短須弥 (高台付)	床面直上 台部一部欠損	口径 4.7 底径 5.7 器高 6.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。底部回転へう削り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
8	土師器 甕	床面直上 口縁部～底部 一部欠損	口径 20.9 底径 4.1 器高 28.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 横化焰 良好 ③ 灰黄緑(10YR 4/2)	輪埴み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半横～斜め方向のへら削り。 胴部下半横方向のへら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部へらナデ。	

第3章 検出遺構と出土遺物

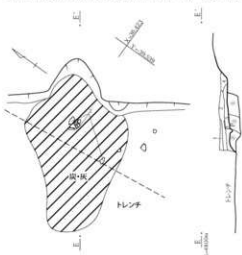
1・2区60号住居跡(旧称1・2区5J-60)

位置：X=36422 Y=-39541 主軸方向：N-57° E

規模：3.7m×不明 平面形状：隅丸長方形か 残存深度：15～21cm
埋没土：試掘トレンチが横断し遺存状態も悪いが、僅かに残る埋土は、主に白色軽石と砂を含む褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体としたにぶい黄褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：北東壁の中央やや南寄りに位置する。遺存状態は悪く、袖等の構築方法は明らかではないが、僅かに使用面の灰・炭化物が認められた。掘り方面において煙道部は、燃焼面と段差をもち、緩やかに立ち上がる。

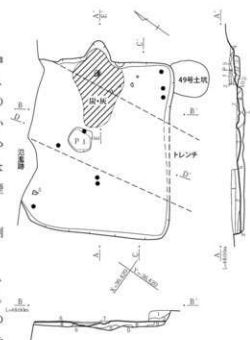
柱穴：掘り方調査の段階で、住居中央部付近に径52cm深さ30cmを測るピットが1穴検出され、柱穴に当たるものと考えられる。

貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：49号土坑と重複し、遺構確認時の埋土の様相から、本遺構の方が新しいものと判断される。また、重複遺構ではないが、本住居跡の北西壁は、別記の8号溝跡の汜濫・決壊によって大きく抉られ欠失する。掘り方：地山ローム土を4～15cmほど掘り窪める。出土遺物：少量であるが、埋土中から土師器甕(No.5)、須恵器杯(No.2)・甕の破片が出土している。



- 60号住居カマド 埋土
- 1層 褐色土(10VR 3/4) 砂・白色軽石(φ1cm)を含む
 - 2層 褐色土(10VR 3/4) 砂を含む
 - 3層 褐色土(10VR 3/4) 砂を含む
 - 4層 褐色土(10VR 3/4) 砂・焼土粒・炭化物を含む
 - 5層 褐色土(10VR 3/4) 砂・焼土粒を含む
 - 6層 褐色土(10VR 3/4) 砂・2層より焼土粒多量
 - 7層 褐色土(10VR 3/4) 焼土粒多量
 - 8層 褐色土(10VR 3/4) 焼土粒多量

第224図 60号住居跡カマド平・断面図、カマド掘り方平面図

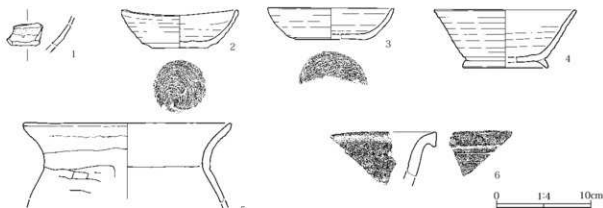


- 60号住居 埋土
- 1層 褐色土(10VR 3/4) 砂・白色軽石(φ1cm)を含む
 - 2層 褐色土(10VR 3/4) 砂を含む
 - 3層 褐色土(10VR 3/4) 砂を含む
 - 4層 褐色土(10VR 3/4) 砂・焼土粒・炭化物を含む
 - 5層 炭化物層 褐色砂混ざる・焼土粒を含む
 - 6層 にぶい黄褐色土 (10VR 5/3) 砂・焼土粒を含む
 - 7層 炭化物・焼土・粘質土の層状堆積
 - 8層 褐色土(10VR 4/4) 砂・白色軽石(φ1cm)・焼土粒を含む
[掘り方埋土]
 - 9層 にぶい黄褐色土(10VR 5/3) 砂 [掘り方埋土]
 - 10層 にぶい黄褐色土(10VR 5/3) 砂・炭化物・焼土粒を含む
[カマド掘り方埋土]

第223図 60号住居跡平・断面図



第225図 60号住居跡掘り方平・断面図



第226図 60号住居跡出土遺物

1・2区60号住居跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②構成	③色調		
1	土師器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 良好 ③ 明赤褐色(YR 5/4)	外面：不明 内面：体部ナデ調整。漆紙一部付着。		漆付着土器。	
2	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 2/3	口径 12.0 底径 5.6 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰青(6/1)	ロクロ成形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
3	須恵器 杯	床面～4cm 口縁部～底部 破片	口径 13.2 底径 7.4 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰青(6/6)	ロクロ成形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。体部最下位回転へら削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
4	須恵器 碗	床面～5cm 口縁部～底部 破片	口径 13.3 底径 8.0 器高 5.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰青(5/6)	ロクロ成形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。高台付着。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
5	土師器 甕	床面～3cm 口縁部～胴部上端 破片	口径 19.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 橙2.5(YR 6/6)	輪削み。 外面：口縁部扁平ナデ。胴部上半斜め方向のへら削り。胴部下半縦方向のへら削り。 内面：口縁部扁平ナデ。			
6	須恵器 甕	床面～16cm 口縁部 破片	口径 14.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰青(6/6)	ロクロ成形。 外面：口縁部回転ナデ。 内面：口縁部回転ナデ調整。			

1・2区61号住居跡 (旧称1・2区5J-61)

位置：X=36423 Y=-39530 主軸方向：N-66°-E

規模：3.9m×3.0m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：10～20cm 埋没土：主に砂と焼土粒を含む褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土である粘性のある褐色土で埋め固め、床面とする。カマド：北東壁の中央やや南寄りに位置する。燃焼部使用面は緩やかな傾斜をもち、煙道へ続き、炭化物を含む灰層の堆積が認められる。また、燃焼部にはカマドの長軸からやや左にずれたところに支脚石が据えられている。柱穴：なし。

貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。

重複遺構：77号住居跡と重複する。遺構確認時の埋土の様相から、本遺構の方が新しいものと判断される。掘り方：全体に地山口～ム土を4～12cmほど浅く掘り穿める。掘り方底面の一部は地山砂礫層に達し、礫が露出する。

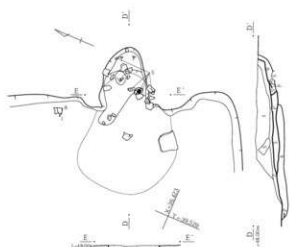
出土遺物：出土量は比較的多く、床面直上で土師器杯(No. 1)・甕(No. 8)・台付甕(No. 4)などが出土する。



- 61号住居 埋土
1 褐色土(10YR 4/6) 砂・焼土粒を含む
2 褐色土(10YR 4/6) 砂・焼土粒・炭化物を含む
3 炭化物・褐色粘質土層 (腐り土)
4 褐色土(10YR 4/6) 砂・焼土を含む (掘り方埋土)
5 褐色土(10YR 4/6) 砂・焼土粒・礫を含む

第227図 61号住居跡平面・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

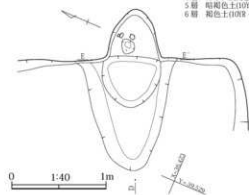


61号住居カマド 埋土

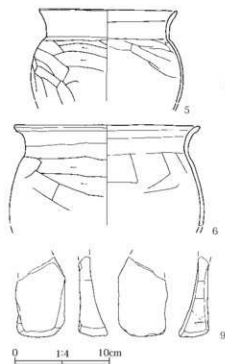
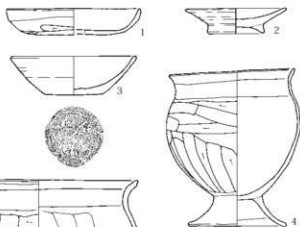
- 1層 紅褐色土(10R 4/3) 砂・焼土粒を含む
- 2層 紅褐色土(10R 4/3) 焼土粒・灰砂・炭化物多量に含む
- 3層 炭化物・灰砂 (使用面)
- 4層 紅褐色土(10R 4/3) 砂・焼土粒・炭化物を含む (掘り方埋土)
- 5層 紅褐色土(10R 3/3) 砂・粘質土・焼土粒を含む (3面石 掘り方)
- 6層 紅褐色土(10R 4/4) 砂・焼土粒を含む (掘り方)



第228図 61号住居跡掘り方平・断面図



第229図 61号住居跡カマド平・断面図、カマド掘り方平面図



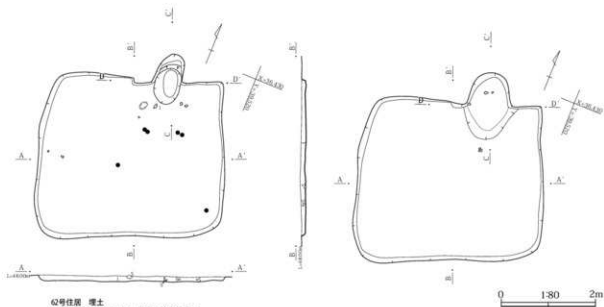
第230図 61号住居跡出土遺物

1・2区61号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考			
1	土師器 杯	カマド下使用面直上 口縁部~底部 1/2	口径 14.0 底径 7.2 器高 2.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤灰(2.5YR 5/1)	外面:口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、体部~底部ナデ調整。				
2	須恵器 椀	床面+12cm 口縁部~底部 1/3	口径 10.4 底径 6.1 器高 2.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 赤灰(2.5Y 4/1)	口ウロ整形。 外面:口縁部~体部@転ナデ、底部@転糸切りカ、高台貼付。 内面:口縁部~底部@転ナデ調整。				
3	須恵器 杯	床面~3cm 口縁部~底部 1/3	口径 13.0 底径 6.0 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 赤灰(2.5Y 4/1)	口ウロ整形。回転石研り。 外面:口縁部~体部@転ナデ、底部@転糸切り。 内面:口縁部~底部@転ナデ調整。				
4	土師器 台付甕	床面直上 底径 5.2 器高 16.6	口径 13.2 底径 5.2 器高 16.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤灰(7.5YR 4/1)	輪組み、台高貼付。 外面:口縁部横ナデ、胴部上半横ヘラ削り、胴部下半縦ヘラ削り、台部横ナデ。 内面:口縁部横ナデ、胴部~底部ナデ。				
5	土師器 甕	甕埋土中 口縁部~胴部上半 破片	口径 14.2 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐色YR 4/3	輪組み。 外面:口縁部横ナデ、胴部上段横、中位斜め方向のヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。				
6	土師器 甕	床面+11cm 口縁部~胴部上半 破片	口径 19.4 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 黒褐色7.5YR 3/2	輪組み。 外面:口縁部横ナデ、胴部上段横、中位斜め方向のヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。				
7	土師器 甕	甕埋土中 口縁部~胴部上半 破片	口径 20.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐色YR 4/0	輪組み。 外面:口縁部横ナデ、胴部上位横~斜め方向のヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。				
8	土師器 甕	床面直上 口縁部~胴部 破片	口径 22.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 赤黒色5.5YR 2/1	輪組み。 外面:口縁部横ナデ、胴部上半横、下半斜め方向ヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。				
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
9	石製品	砥石	1/2残存	8.5	5.1	3.0	(150)	砥沢石	床面+5cm

1・2区62号住居跡 (旧称 1・2区5J-62)

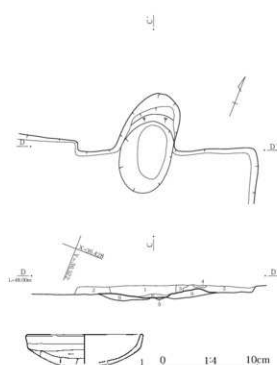
位置: X=36428 Y=-39522 主軸方向: N-10°-W 規模: 3.4m×3.9m 平面形状: 隅丸長方形
 残存深度: 6~13cm 埋没土: 上面を削平された状態での遺構検出となり、埋土も僅かに砂礫・焼土粒を含む褐色土が残るのみで、その堆積は自然埋没によるものと思われる。床面: 掘り方を持たず、地山をそのまま床面とし、一部に地山礫層が露出する。カマド: 北西壁中央北寄りに位置する。遺存状態は悪く、僅かに残る焼土粒により使用面が判明する程度である。柱穴: なし。貯蔵穴: なし。壁溝溝: なし。重畳構造: なし。
 掘り方: カマド部のみに掘り方を有する。出土遺物: 微量の土師器杯(No. 1)片が出土するのみである。



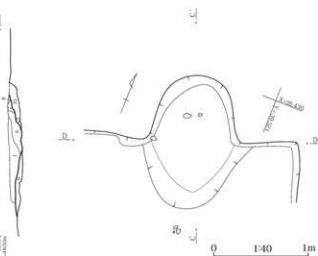
62号住居 埋土
 1層 褐色土(10YR 4/0) 砂礫・焼土粒含む

第231図 62号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第233図 62号住居跡出土遺物



62号住居カマド 埋土

- 1層 褐色土(10YR 4/6) 砂・塵・焼土粒を含む
- 2層 褐色土(10YR 4/6) 砂・塵を含む
- 3層 灰褐色土(10YR 4/2) 砂・焼土粒を含む
- 4層 灰褐色土(10YR 4/2) 粘土質
- 5層 灰褐色土(10YR 5/4) 砂・塵を含む
- 6層 褐色土(10YR 4/6) 砂・焼土粒(φ0.30mm)を含む
- 7層 褐色土(10YR 4/6) 砂を含む
- 8層 褐色土(10YR 4/6) 砂・焼土を含む
- 9層 褐色土(10YR 4/6) 砂・焼土粒・小石を含む (掘り方埋土)
- 10層 濃い黄褐色土(10YR 5/6) 砂・焼土粒を含む (掘り方埋土)

第232図 62号住居跡カマド平・断面図・カマド掘り方

1・2区62号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土器類 杯	床面+25cm 口縁部-底部 1/3	口径 12.1 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 糖化焙 良好 ③ 濃い黄褐色(10YR 6/4)	外面：口縁部縁ナデ、底部ナデ 内面：口縁部-底部縁ナデ、底部ナデ。	

1・2区63号住居跡 (旧称1・2区SJ-63)

位置：X=36422 Y=-39521

主軸方向：N-24°-W 規模：4.2m×5.2m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：0～24cm

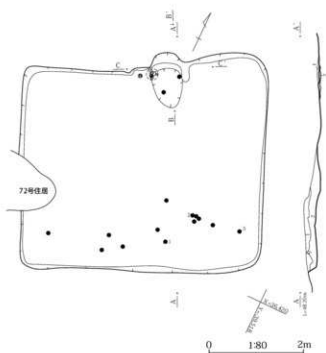
埋没土：上面を削平された状態、特に東半部は床面が露出する状態での遺構検出となり、埋土も西半部に僅かに砂礫・白色軽石・焼土粒を含むに濃い黄褐色土が残るのみで、その堆積は自然埋没によるものと思われる。

床面：掘り方を持たず、地山をそのまま床面とし、一部に地山礫層が露出する。カマド：北西壁中央やや北寄りに位置する。遺存状態は悪く、僅かに残る焼土粒により使用面が判明する程度である。

柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。

重複遺構：72号住居跡のカマド部と重複し、遺構確認時の埋土の様相から、本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：なし。

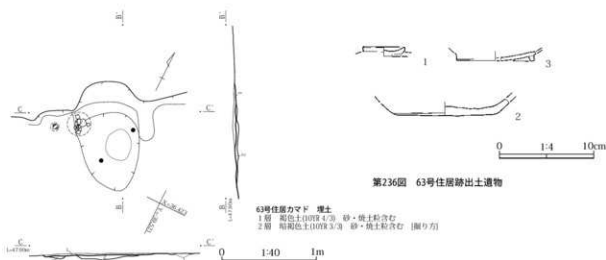
出土遺物：埋土中から少量の須恵器杯(No. 2)・椀(No. 3)・蓋(No. 1)の破片が出土している。



63号住居 埋土

- 1層 濃い黄褐色土(10YR 5/4) 砂礫・白色軽石(φ1mm)を含む
- 2層 濃い黄褐色土(10YR 5/3) 砂礫・白色軽石(φ1mm)・焼土粒を含む

第234図 63号住居跡平・断面図



第236図 63号住居跡出土遺物

63号住居カマド 埋土
1層 褐色土(00R4/3) 砂・焼土粒含む
2層 暗褐色土(00R3/3) 砂・焼土粒含む (掘り方)

第235図 63号住居跡カマド掘り方平・断面図

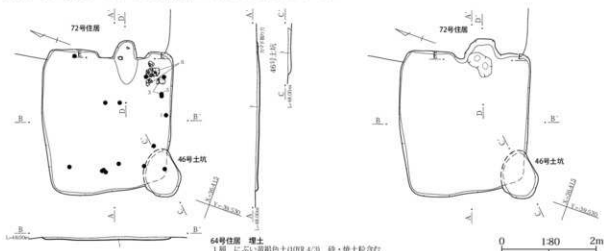
1・2区63号住居跡出土遺物調査表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	床面+5cm 残部	口径 - 幅径 4.3 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好	ロクロ整形。 外面：張り貼付。	
2	須恵器 杯	床面+12cm 底部 破片	口径 - 底径 10.2 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好	ロクロ整形。回転右回り。 外面：底部回転へう削り。 内面：底部回転・ナズ調整。	底部外面中央に へう記号「一」
3	須恵器 椀	床面+7cm 底部 破片	口径 - 底径 8.2 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好	ロクロ整形。 外面：底部回転へう削り。高台貼付。 内面：底部回転・ナズ調整。	

1・2区64号住居跡 (旧称1・2区SJ-64)

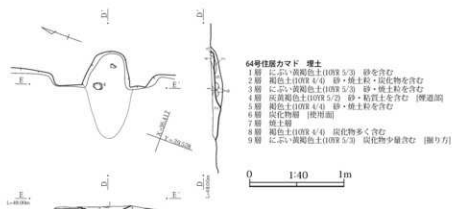
位置：X=36418 Y=-39529 主軸方向：N-71°-E 規模：3.0m×2.7m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：1～5cm 埋没土：上面を削平された状態での遺構検出となり、埋土も僅かに砂と焼土粒を含むにふい黄褐色土が残るのみで、その堆積は自然埋没によるものと思われる。床面：掘り方・貼り床を持たず、地山をそのまま床面とする。カマド：北東壁中央やや東寄りに位置する。遺存状態は悪く、僅かに残る焼土粒により使用面が判明する程度である。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：72号住居跡および46号土坑跡と重複する。72号住居跡との新旧関係は相互の埋土の様相より本遺構の方が新しいものと判断される。46号土坑跡の新旧関係については、埋土が近似し、深度も同じであることから、新旧関係は不明である。掘り方：カマド部のみ掘り方を持ち、深さ15cmほど地山ローム土を掘り込んでいる。出土遺物：出土量は少ないが、カマド脇の床面直上より土師器甕(No.6)、内面に漆の付着がみられる須恵器椀(No.3)などが出土している。



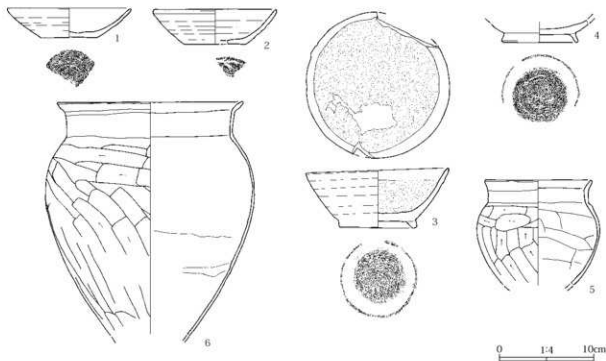
第237図 64号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



- 64号住居カマド 埋土**
- 1層 にぶい黄褐色土(00R 5/3) 砂を含む
 - 2層 褐色土(00R 4/4) 砂・焼土粒・炭化物を含む
 - 3層 にぶい黄褐色土(00R 5/3) 砂・焼土粒を含む
 - 4層 黄褐色土(00R 5/2) 砂・粘質土を含む (埋土間)
 - 5層 褐色土(00R 4/4) 砂・焼土粒を含む
 - 6層 炭化物層 (使用面)
 - 7層 焼土層
 - 8層 褐色土(00R 4/4) 炭化物多く含む
 - 9層 にぶい黄褐色土(00R 5/3) 炭化物少量含む (掘り方)

第238図 64号住居跡カマド平・断面図



第239図 64号住居跡出土遺物

1・2区64号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	計測値			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/4	口径 13.0 底径 6.2 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ にぶい黄(2.5Y 6/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	器由厚減。		
2	須恵器 杯	埋土中 口縁部~底部 破片	口径 12.9 底径 6.5 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。			
3	須恵器 椀	床面直上 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 15.0 底径 8.2 器高 6.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 ③ にぶい赤褐(5YR 5/4)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：口縁部~胴部回転ナデ。底部回転系切り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。漆紙付着。	漆付着土器。底 部一部剥離。		
4	須恵器 椀	埋土中 底部 破片	口径 - 底径 7.6 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ にぶい黄褐(00R 7/3)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：底部ナデ。			
5	土加器 小皿	埋土中 口縁部~胴部 1/3	口径 11.1 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 暗褐(00R 3/4)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦、下位斜め方向 ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
6	土加器 甕	床面直上 口縁部~胴部 1/3	口径 19.4 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 褐(5YR 4/3)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上から横→斜め→縦方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			

1・2区65号住居跡(旧称1・2区SJ-65)

位置: X=36414 Y=-39522

主軸方向: N-76°-E 規模: 3.0m×2.7m

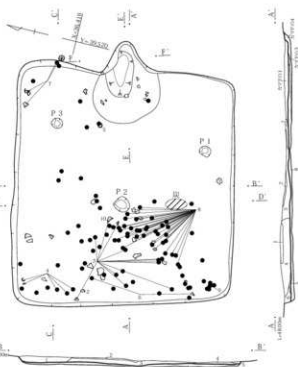
平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 4~15cm

埋没土: 上面を削平された状態での遺構検出となり、特に南東コーナー付近は埋土も僅かに残されていないが、主に白色軽石・砂・焼土粒を含む褐色~にぶい黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没によるものと思われる。

床面: 掘り方埋土でもある黄褐色粘質土で埋め固め、床面を敷設している。カマド: 北東壁ほぼ中央に位置する。遺存状態は悪く、僅かに残る焼土粒により使用面が判明する程度である。柱穴: 掘り方調査の段階で3基のピットを検出した。P1、P2、P3は、確認面において径22cm~34cm、深さ11cm~13cmを測る。

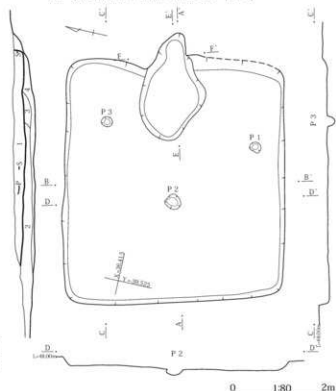
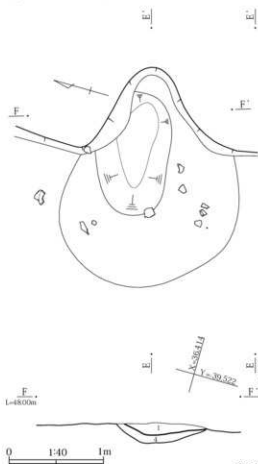
貯蔵穴: なし。壁周溝: なし。重複遺構: なし。

掘り方: 全体に地山ローム土を3~7cmほど浅く掘り窪める。出土遺物: 床面直上で土製紡錘車(No.11)・灰釉陶器(No.3)片が、埋土中から土師器(No.9・10)、須恵器杯(No.1・2)・壺(No.7・8)、灰釉陶器片(No.4)が出土している。



65号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色土(010R 5/2) 砂・焼土粒・炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色土(010R 5/2) 砂を含む
- 3層 にぶい黄褐色土(010R 4/3) 砂・焼土粒・多数の炭化物を含む
- 4層 にぶい黄褐色土(010R 5/3) 砂・焼土粒を含む
- 5層 灰黄褐色土(010R 5/2) 砂・少量の炭化物を含む
- 6層 灰黄褐色土(010R 5/2) 砂・炭化物を含む
- 7層 灰黄褐色土(010R 5/2) 砂・焼土粒(φ10mm)を含む
- 8層 黄褐色土(010R 5/4) 粘質土・焼土粒を含む(掘り戻)

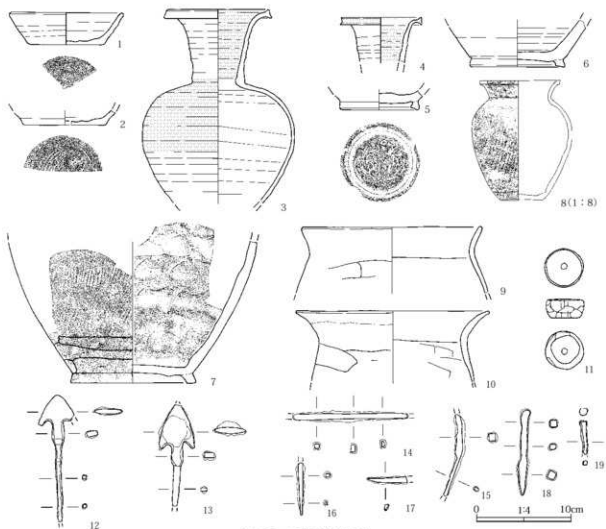


65号住居カマド 埋土

- 1層 黄褐色土(010R 5/4) 砂・粘質土・焼土粒・炭化物を含む
- 2層 黄褐色土(010R 5/4) 粘質土・焼土粒・炭化物を含む(掘り戻)
- 3層 炭化物層 褐色砂・焼土粒を含む(掘り方埋土)
- 4層 黄褐色土(010R 5/4) 砂・焼土粒を含む(掘り方埋土)

第240図 65号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第241図 65号住居跡出土遺物

1・2区65号住居跡出土遺物観察表

遺構名 遺物番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①土質 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	層7中 口縁部~底部 1/3	口径 11.6 底径 7.6 器高 3.3	① 粗砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄5/0	ロク口整形。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転へら削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面+19cm 底部 1/3	口径 - 底径 8.6 器高 -	① 粗砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(SY 5/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：口縁部~底部回転ナデ。 内面：底部回転ナデ調整。	
3	灰輪陶器 長頸壺	床面+2cm 口縁部~胴部 破片	口径 10.8 底径 - 器高 -	① 粗砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(白.5YR 5/3)	ロク口整形。 外面：口縁部~胴部回転ナデ。胴部貼付。胴部回転ナデ。 内面：口縁部~胴部回転ナデ調整。	片ヶ丹 78 号築式期~第14号築式期。
4	灰輪陶器 長頸壺	床面+7cm 口縁部~胴部 破片	口径 8.3 底径 - 器高 -	① 微細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(白.5Y 7/1)	ロク口整形。 外面：口縁部~胴部回転ナデ。 内面：口縁部~胴部回転ナデ調整。	築構方法不明。
5	須恵器 長頸壺	床面直上 底部 破片	口径 8.2 底径 8.2 器高 -	① 粗砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 焼灰(10YR 6/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：底部回転へら削り。高台貼付。 内面：底部ナデ。	底部外面中央にへら記号「+」
6	須恵器 短頸or 長頸壺	床面+13cm 胴部下端~底部 破片	口径 - 底径 9.6 器高 -	① 粗砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(SY 6/3)	ロク口整形。 外面：胴部回転ナデ。底部へら削りか。高台貼付。 内面：胴部回転ナデ。底部ナデ。	底部外面にへら記号「-」
7	須恵器 急か (高台付)	床面直上 胴部~底部 破片	口径 12.6 底径 - 器高 -	① 粗砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(赤 6/0)	ロク口整形。回転石回り。 外面：胴部ナデ。胴部下端回転へら削り。底部ナデ。高台貼付後、ナデ調整。胴部の一部に平行印き目痕あり。 内面：胴部へらナデ。底部回転ナデ。	胴部外面に直線輪付。
8	須恵器 壺	床面+4cm 口縁部~底部 1/3	口径 16.8 底径 8.7 器高 25.2	① 粗砂粒・粗砂粒・細礫 ② 中硬 ③ 還元焼 良好 灰黄5/0	ロク口整形。 外面：口縁部横ナデ。胴部平行印き痕がかすかに残り。最下位に1段の回転へら削り。底部へら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部~底部ナデ。	

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
9	土師器 甕	床面+10cm L線部-胴部上端 破片	L径 18.8 底径 - 器高 -	①細砂粒・粗砂粒 ②焼化焼 良好 ③橙褐色(6/5)	輪結み。 外面:L線部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面:L線部横ナデ。胴部へラナデ。	器面厚薄。 No.10と同一個体か。
10	土師器 甕	床面+9cm L線部-胴部上端 破片	L径 20.2 底径 - 器高 -	①細砂粒・粗砂粒 ②焼化焼 良好 ③にふい物(3/5)(6/4)	輪結み。 外面:L線部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面:L線部横ナデ。胴部へラナデ。	No.9と同一個体か。
11	土製品 結線車	床面直上 完形	径径 3.7 相径 3.1 厚さ 2.0	①細砂粒 ②焼化焼 良好 ③灰褐色(10/5/1)	輪結み。 外面:L線部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面:L線部横ナデ。胴部へラナデ。 孔径:6cm 重量:43g	

番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
12	鉄器	鏝	ほぼ完形	13.5	3.8	0.9	19.0	有須葉状鏝。刃部の錆化が激しい。
13	鉄器	鏝	基部の一部欠損	10.6	1.8	1.7	34.0	有須葉状鏝。刃部の錆化が激しい。
14	鉄器	棒状品	ほぼ完形	12.3	1.1	0.8	18.0	錆化。腐食激しい。
15	鉄器	鏝柄	頭部~基部片	8.6	1.1	1.5	12.0	錆化が進んでいる。
16	鉄器	釘	先端部片	5.6	0.8	0.8	4.0	錆化が激しい。
17	鉄器	釘	柄部片	4.3	0.7	0.5	2.0	腐食が激しい。
18	鉄器	釘	完形	9.2	1.3	1.8	16.0	錆化が激しい。
19	鉄器	釘	先端部欠損	3.6	0.8	0.7	2.0	錆化。腐食が激しい。

1・2区66号住居跡(旧称1・2区SJ-66)

位置: X=36413 Y=-39532

主軸方向: N-58°-E 規模: 4.5m×3.6m

平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 18~26cm

埋没土: 主に白色軽石・細粒砂を含む褐色~にふい黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

床面: 住居の中央部において炭化物を含むにふい黄褐色粘質土を用いて4cmほどの貼り床を敷設する。

カマド: 北東壁中央やや南よりに位置する。燃焼部使用面は、住居床面よりやや高い位置にあり、煙道部にかけて緩やかに傾斜し、煙道端は急峻に立ち上がる。

柱穴: 2基のピットを検出し、P1は径26×28cm深さ18cm、P2は径49×55cm深さ36cmを測る。

貯蔵穴: なし。壁周溝: なし。

重複遺構: 78号住居跡と重複する。本遺構は78号住居跡の直上に築かれており、本遺構の方が新しいものと判断される。また、78号住居跡とは南コーナー部と南東・南西壁の大半を共有しているため、本住居跡は78号住居跡の拡張である可能性があるが、単純な床面積拡張ではなく、78号住居跡を埋め戻し、床面のレベルを上げ、カマドを新設しての拡張に疑問も残る。掘り方: カマドのみ掘り方をもち、掘り方土内にも灰や粘土が混入するため、使用用途における改修が推察される。

出土遺物: 床面直上で土師器甕(No.4)の破片が、埋土中からほぼ完形の須恵器杯(No.2)などが出土している。



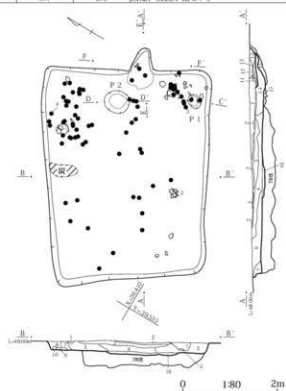
66号住居 P1 埋土

1層 黒褐色土(10/2/3) しまり強・砂
完全体を含む須恵器の灰層径φ
20mm以下・焼土粒φ30mm以下
を少量含む



66号住居 P2 埋土

1層 黒褐色土(10/2/3) 砂・白色軽石(φ10mm)・炭質土粒・焼土粒・炭化物含む
2層 黒褐色土(10/2/3) 砂・白色軽石(φ10mm)・炭質土粒・炭化物含む
3層 黒褐色土(10/2/3) 砂・少量の焼土粒・炭化物含む
4層 黒褐色土(10/2/3) 砂・白色軽石(φ10mm)・炭質土粒・焼土粒・炭化物含む

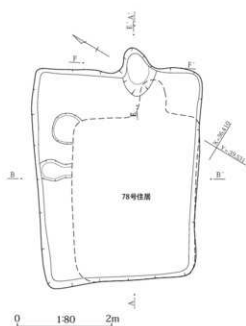


66号住居 埋土

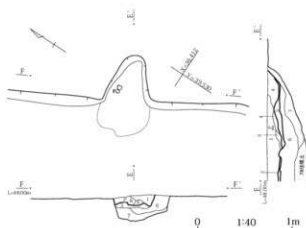
- 1層 黒褐色土(10/2/3/4) 砂・白色軽石(φ10mm)・黄褐色土粒・焼土粒・炭化物含む
- 2層 炭化物・灰層 砂・粘質土を含む(上面は住居の床面)
- 3層 黒褐色土(10/2/3/4) 砂・黄褐色土粒・焼土粒・炭化物含む 3層と4層の間に洪に砂をふる
- 4層 にふい黄褐色土(10/2/3/4) 砂・炭化物・焼土粒含む
- 5層 黒褐色土(10/2/3/4) 砂・白色軽石(φ10mm)・焼土粒・炭化物含む
- 6層 黒褐色土(10/2/3/4) 砂・少量の焼土粒・炭質土粒・炭化物少量含む
- 7層 にふい黄褐色土(10/2/3/4) 砂を含む
- 8層 にふい黄褐色土(10/2/3/4) 砂を含む
- 9層 にふい黄褐色土(10/2/3/4) 砂・炭化物・焼土粒含む
- 10層 にふい黄褐色土(10/2/3/4) 砂・炭化物含む
- 12層 褐色土(10/2/4) 砂・焼土含む
- 13層 炭化物層
- 14層 にふい黄褐色土(10/2/3/4) 粘質土・砂・焼土粒・炭化物含む
- 15層 にふい黄褐色土(10/2/3/4) 砂・焼土粒含む
- 16層 にふい黄褐色土(10/2/3/4) 砂・焼土粒・炭化物含む やや粘質土混ざる
- 17層 にふい黄褐色土(10/2/6) 粘質土・焼土粒・炭化物含む (78号埋土)

第242図 66号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

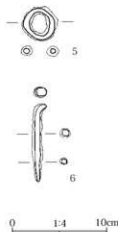
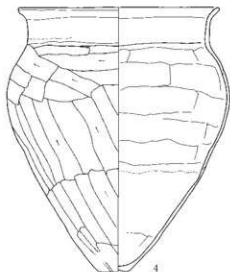
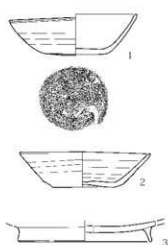


第243図 66号住居跡掘り方平面図



66号住居方マド 埋土
 1層 粘褐色土(00R 3/0) 砂・白色軽石(φ1mm)・黄褐色土粒・焼土粒・炭化物含む
 2層 炭化物・灰層 砂・粘質土を含む [上部住居の床面]
 3層 焼土
 4層 褐色土(00R 4/0) 砂・焼土含む
 5層 炭化物層
 6層 濃い黄褐色土(00R 5/0) 粘質土・砂・焼土粒・炭化物含む
 7層 濃い黄褐色土(00R 5/0) 砂・焼土粒含む
 8層 褐色土(00R 4/0) 砂と灰の混土+10cm以下の焼土粒をやや多量 同図粒を混雑含む(しまりやや弱)

第244図 66号住居跡方マド平・断面図



第245図 66号住居跡出土遺物

1・2区66号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考	
1	須恵器	杯	方マド掘方埋土中 口縁部～底部	口径 13.3 底径 7.1 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒・細漚 ② 焼化強 ③ 褐色(6色)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ネ切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
2	須恵器	杯	床面+16cm ほぼ完整 口縁部一部欠損	口径 13.6 底径 6.6 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細漚 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄(4色)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ネ切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	歪みあり。	
3	須恵器	盤	床面+4cm 底部	口径 14.0 器高 一	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄(00R 6/0)	ロク口整形。 外面：底部回転ヘラ削り。高台削付。 内面：底部回転ナデ調整。		
4	土器器	甕	床面直上 口縁部～底部	口径 21.0 底径 3.1 器高 27.9	① 細砂粒・粗砂粒・細漚 ② 焼化強 良好 ③ 明赤(02.5YR 5/0)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横方向のヘラ削り。胴部中位・下位横方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。		
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
5	鉄製品	環状	完整	3.6	3.8	1.1	18.0	錆化が激しい。
6	鉄器	釘	完整	8.2	1.1	1.2	16.0	錆化が激しい。

1・2区67号住居跡(旧称1・2区5J-67)

位置: X=36409 Y=-39527

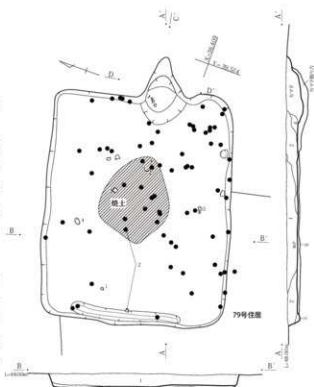
軸方向: N-72°-E 規模: 4.8m×3.9m

平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 17~29cm

埋没土: 白色軽石と細粒砂を含む褐色~にぶい黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

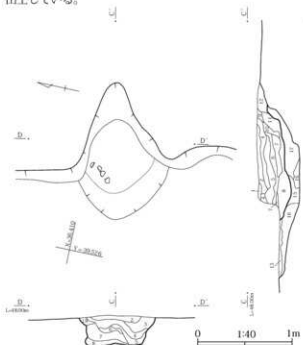
床面: 浅い掘り方をにぶい黄褐色粘質土を用いて埋め固め、床面とする。カマド: 北東壁中央やや南寄りに位置する。遺存状況は比較的良好。燃焼部使用面には炭化物層が堆積し、その直上には焼土化した天井材が崩落認められた。煙道部は燃焼部より一段高く、端部は緩やかに立ち上がる。柱穴: なし。貯蔵穴: なし。

壁周溝: 住居の南西壁の一部で、幅22cm、深さ4cmを測る壁溝を検出する。重複遺構: 79号住居跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より本遺構の方が新しいものと判断される。掘り方: 全体に深さ4~6cmと浅く掘り穿める。出土遺物: 床面直上で須恵器杯(No. 2)が出土している。



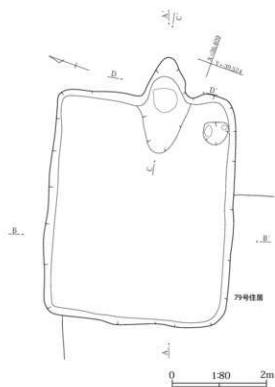
67号住居 埋土

- 1層 褐色土(D07R 4/4) 砂・白色軽石(φ10mm)・焼土粒(φ10mm)・炭化物含む
- 2層 にぶい黄褐色土(D07R 5/4) 砂・焼土粒・少量の炭化物含む
- 3層 にぶい黄褐色土(D07R 5/4) 砂・黄褐色土・焼土粒含む
- 4層 褐色土(D07R 4/4) 砂・褐色粘質土・焼土粒(φ50mm)・炭化物含む
- 5層 灰黄褐色土(D07R 5/2) 砂・炭化物含む [両溝埋土]
- 6層 にぶい黄褐色粘質土 [住居掘り方埋土]



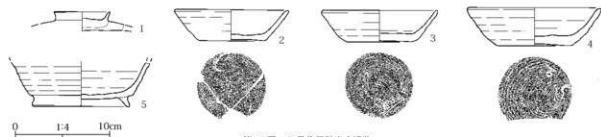
67号住居カマド 埋土

- 1層 灰褐色土(D07R 3/3) 砂・焼土粒・燻含む
- 2層 褐色土(D07R 4/4) 砂・焼土粒含む
- 3層 灰褐色土(D07R 3/3) 焼土粒・炭化物含む
- 4層 褐色土(D07R 4/4) 砂・黄褐色土・焼土粒・炭化物含む
- 5層 灰褐色土(D07R 3/3) 焼土粒・炭化物含む
- 6層 炭化物層 砂含む
- 7層 灰褐色土(D07R 3/3) 砂・焼土粒含む
- 8層 炭化物層 [使用面]
- 9層 灰黄褐色土(D07R 5/2) 砂・焼土粒含む
- 10層 にぶい黄褐色土(D07R 4/2) 砂・焼土粒少量含む
- 11層 焼土ブロック 褐色砂含む
- 12層 褐色土(D07R 4/4) 砂・焼土粒・炭化物含む
- 13層 灰黄褐色土(D07R 4/2) 粘質土・灰・焼土粒・炭化物含む [掘り方]
- 14層 褐色土(D07R 4/4) 砂・黄褐色粘質土・焼土粒・炭化物含む [掘り方]
- 15層 灰褐色土(D07R 2/3) 砂・炭化物含む [掘り方]
- 16層 にぶい黄褐色土(D07R 4/3) 砂・焼土粒含む [掘り方]
- 17層 灰褐色土(D07R 3/4) 砂・乾燥焼土ブロック含む [掘り方]
- 18層 にぶい黄褐色土(D07R 6/3) 粘質土・焼土粒含む



第246図 67号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第247図 67号住居跡出土遺物

1・2区67号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	床面+15cm 胴部~天井部 破片	口径 — 口径 5.8 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロク口整形。回転右回り。 外面：天井部へつ割り。揃み貼付。 内面：天井部回転ナデ。	
2	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 2/3	口径 11.8 口径 7.0 高さ 3.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰(7.5Y 5/1)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部回転車切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面+8cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.0 口径 7.0 高さ 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(10Y 5/1)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部回転車切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面+15cm 口縁部~底部 1/4	口径 12.5 口径 7.0 高さ 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(5Y 5/0)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部~底部回転車切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 椀	床面+24cm 体部~底部 破片	口径 — 口径 9.1 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転へつ割り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	

1・2区68号住居跡 (旧称1・2区5J-68)

位置：X = 36407 Y = -39520

主軸方向：N-75° - E 規模：5.5m×3.9m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：3~15cm

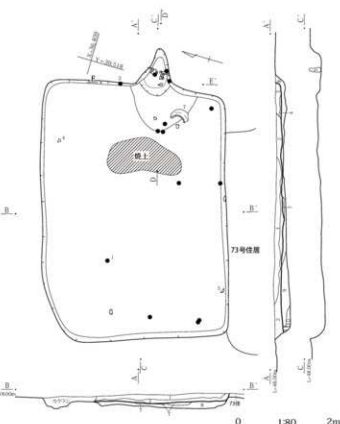
埋没土：主に白色軽石・砂・焼土粒を含む褐色にぶい黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没によるものと思われる。

床面：掘り方埋土であるにぶい黄褐色粘質土を用いて、貼り床を敷設する。

カマド：北東壁中央東寄りに位置する。出土遺物も比較的多く出土し、遺存状態は比較的良好。焚き口幅は45cmを測り、煙道部端は急峻に立ち上がる。中心軸からやや左にずれたところに支脚石が残る。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：73号住居跡と重複する。遺構確認一掘削時の埋土の様相より、本遺構の方が新しい。

掘り方：地山砂質土を2~18cm掘り窪める。

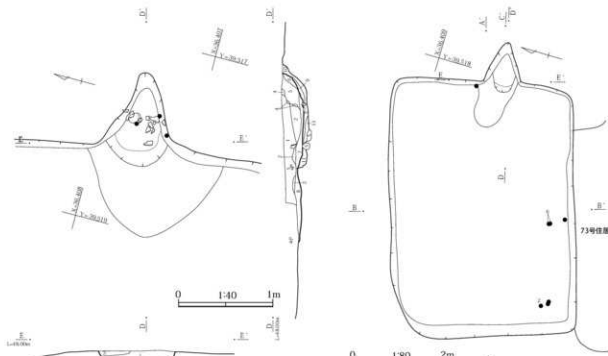
出土遺物：全体的に出土量は少ないが、床面直上で土師器杯(No. 1)、須恵器椀(No. 4)が出土している。



68号住居 埋土

- 1層 褐色土(10YR 4/0) 砂・白色軽石(φ1mm)・焼土粒を含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 4/0) 砂・焼土粒・炭化物・燻を含む
- 3層 褐色土(10YR 3/0) 砂・焼土粒を含む
- 4層 炭化物 粘質土層
- 5層 砂層
- 6層 燻 燻を含む
- 7層 にぶい黄褐色土(10YR 5/0) 粘質土・砂を含む (隅内)
- 8層 褐色土(10YR 4/0) 砂を含む
- 9層 にぶい黄褐色土(10YR 3/0) 砂・炭化物・焼土粒を含む
- 10層 にぶい黄褐色土(10YR 5/0) 砂を含む
- 11層 灰白土(10YR 7/1) 砂を含む

第248図 68号住居跡平・平面図



68号住居カマド 埋土

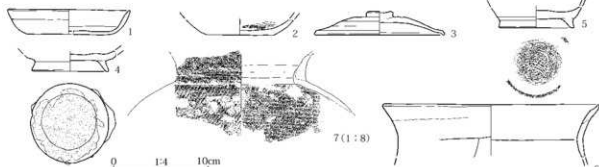
- 1層 相模色土(10R 3/3) 砂・焼土粒含む 粘質土
- 2層 相模色土(10R 3/3) 砂・焼土粒・炭化物含む 粘質土
- 3層 にごい黄褐色土(10R 4/3) 砂・焼土粒含む 粘質土
- 4層 焼土・ブロンクを含む
- 5層 相模色土(10R 3/3) 砂・焼土粒・炭化物含む 粘質土

第249図 68号住居跡カマド平・断面図

6層 相模色土(10R 3/3) 砂・褐色土・焼土粒含む

- 7層 相模色土(7.5R 2/3) しどろや中や 褐色灰色砂を主体とし、焼土粒φ5mm前後を少量含む
- 8層 褐色灰色砂 焼土粒φ5mm前後を少量含む しどろ有り
- 9層 焼土層 黒褐色土を含む
- 10層 相模色土(10R 3/3) 焼土粒含む [掘り方埋土]
- 11層 相模色土(10R 3/4) 焼土粒含む [掘り方埋土]

第250図 68号住居跡掘り方平面図



第251図 68号住居跡出土遺物

1・2区68号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	土師器 杯	床面直上	口径 12.8	① 細砂粒 ② 焼化場 良好 ③ にごい黄(7.5R 7/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへら削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。			
		土師部～底部 破片	口径 10.0 底径 10.0 器高 2.6					
2	黒色土器 杯	床面-17cm	口径 -	① 細砂粒 ② 焼化場 中や不良 色処理 ③ にごい黄(10R 7/3)	外面：体部回転へら削り。底部回転へら削り。 内面：体部～底部ナデ後底部磨製状明文、体部へら磨き。			
		体部下半～底部 破片	口径 7.0 底径 7.0 器高 -					
3	須恵器 杯蓋	床面+5cm	口径 13.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 中や不良 ③ にごい黄(7.5R 6/3)	ロウ口整形。 外面：口縁部横ナデ、天井部回転へら削り。横み貼付。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。			
		横部～天井部～口縁部 1/4	口径 2.4 横径 2.4 器高 2.5					
4	須恵器 椀	床面直上	口径 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化場 良好 ③ 相模色土	ロウ口整形。回転右回り。 外面：底部回転へら削り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。			
		底部 破片	口径 7.5 底径 7.5 器高 -					
5	須恵器 椀	床面直上	口径 -	① 細砂粒・粗砂粒・細砂 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.5R 8/1)	ロウ口整形。回転右回り。 外面：底部回転率切り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。			
		底部 破片	口径 8.2 底径 8.2 器高 -					
6	土師器 甕	床面-13cm	口径 22.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化場 良好 ③ 相模色土	輪組み。 外面：口縁部横ナデ、胴部へら削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部へらナデ。			
		土師部～底部 1/4	口径 - 底径 - 器高 -					
7	須恵器 大甕	床面+3cm	口径 -	① 細砂粒・粗砂粒・細砂 ② 還元焰 良好 ③ 灰(10R 5/1)	ロウ口整形。 外面：口縁部横ナデ、胴部半円/叩き面が残る。 内面：口縁部回転ナデ調整。胴部アテ貝痕がつかすかに残る。			
		土師部～胴部 破片	口径 - 底径 - 器高 -					

1・2区69号住居跡

(旧称1・2区5J-69)

位置：X=36402 Y=-39526

主軸方向：N-72°-E

規模：3.4m×3.6m

平面形状：隅丸長方形

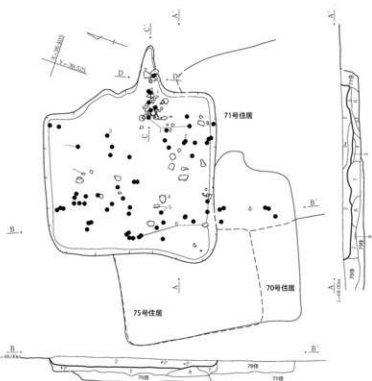
残存深度：17～18cm

埋没土：少量の白色軽石などを含む暗灰黄色砂質土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土である灰黄褐色砂質土で埋め固め、床面とする。カマド：北東壁中央東寄り位置する。遺存状態は比較的良好。焚き口幅は40cmを測り、煙道部は緩やかに立ち上がる。燃焼部使用面には良好な灰層が認められた。

柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁間溝：なし。

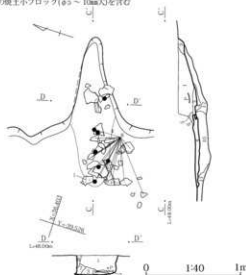
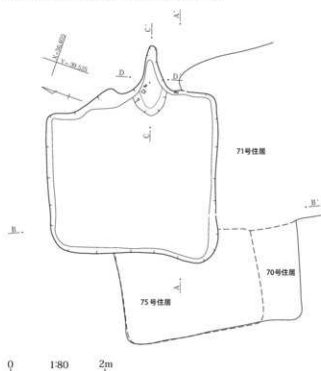
重複遺構：70・71・75号住居跡と重複する。

遺構確認～掘削時の埋土の様相から、本遺構がこれの中では最も新しいものと判断される。掘り方：地山の灰黄褐色砂質土を8～26cm掘り込めめる。出土遺物：床面直上で須恵器紡錘車(No.9・10)が埋土中から土鍾(No.11・12)出土した他、カマドより略完形の土師器甕(No.8)が出土している。



69号住居 埋土

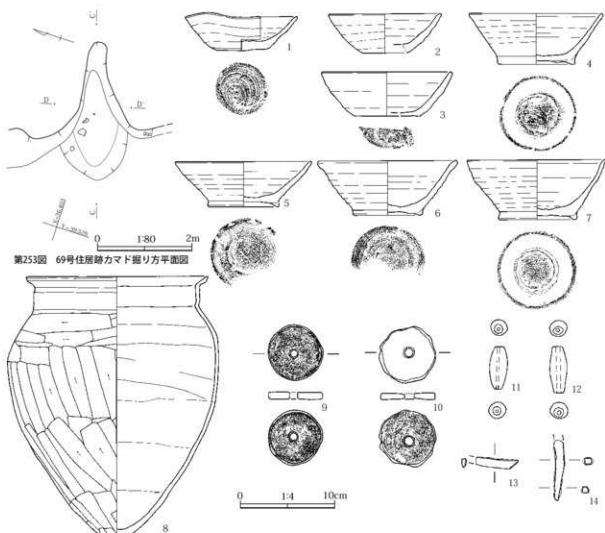
- 1層 黄褐色砂質土(2.5XR 5/3) 少量の褐色二つ房白色軽石・炭層の焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 暗灰黄色砂質土(2.5XR 5/2) 少量の褐色二つ房白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む
- 3層 暗灰黄色砂質土(2.5XR 5/2) 少量の褐色二つ房白色軽石・焼土粒子・多量の炭化物(φ5～25mm)を含む
- 4層 暗灰黄色砂質土(2.5XR 5/2) 2層に同じ
- 5層 暗灰黄色砂質土(2.5XR 5/2) 少量の焼土粒子・多量の炭化物(φ10～40mm)を含む
- 6層 暗灰黄色砂質土(2.5XR 5/2) 少量の焼土粒子・炭化物(φ5～30mm)を含む
- 7層 灰黄褐色砂質土(2.5XR 6/2) 少量の焼土粒子・炭化物と多量の黄褐色砂質土を含有
- 8層 灰黄褐色砂質土(2.5XR 6/2) 少量の焼土粒子・炭化物と多量の黄褐色砂質土を含有
- 9層 灰黄褐色砂質土(2.5XR 7/4) 少量の焼土粒子・炭化物と多量の黄褐色砂質土を含有



69号住居カマド 埋土

- 1層 黄灰色土(2.5XR 5/1) 砂と暗褐色(3.5XR 3/3)砂の混土 焼土粒・炭粒φ10mm程度を散見含む
- 2層 黄灰色土(2.5XR 5/1) 含有物が少ない [面識住居埋没土]
- 3層 黄灰色土(2.5XR 5/1) 1層に焼土を多量に含む 須恵器土(3XR 5/5)を示すし、より下に赤い黄褐色土(3XR 6/3)を全体に含む 構築材の可能性
- 4層 灰層 しまり筋。
- 5層 黄灰色土(2.5XR 5/1) 1層に炭粒φ10mm前後を少量含む
- 6層 暗灰黄色土(2.5XR 5/2) しまり有 焼土を多く含む
- 7層 灰黄褐色土(10XR 4/2) 砂・焼土粒・炭化物含む
- 8層 暗褐色土(10XR 3/4) 砂・焼土粒含む
- 9層 土に赤い黄褐色土(10XR 5/3) 粘を含む
- 10層 土に赤い黄褐色土(10XR 5/3) 砂・焼土粒・炭化物含む [掘り方埋土]
- 11層 土に赤い黄褐色土(10XR 6/3) 粘質土 掘り筋
- 12層 土に赤い黄褐色土(10XR 5/3) 砂・焼土粒含む

第252図 69号住居跡平・断面図



第253図 69号住居跡力マド廻り方平面図

第254図 69号住居跡出土遺物

1・2区69号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	須恵器 杯 (片)	床面上、遺埋土中	口径 11.7	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	口ク口型。回転右回り。	
		1.縁部～底部	底径 5.4	② 還元焼 良好			外面：1.縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面～14cm	口径 11.7	① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焼 良好		口ク口型。	
		1.縁部～体部 破片	底径 4.7	② 還元焼 良好			外面：1.縁部～体部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面+15cm	口径 13.6	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	口ク口型。回転右回り。	
		1.縁部～底部 破片	底径 7.0	② 還元焼 良好			外面：1.縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 椀	床面+8cm	口径 13.9	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	口ク口型。回転右回り。	
		1.縁部～底部 破片	底径 8.4	② 還元焼			外面：1.縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 椀	床面+11cm	口径 14.3	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	口ク口型。回転右回り。1.縁部やや外反。	
		1.縁部～底部 破片	底径 7.4	② 還元焼			外面：1.縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 椀	床面+8cm	口径 14.5	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	口ク口型。1.縁部やや外反。	底部内面は割断。
		1.縁部～底部 破片	底径 7.5	② 還元焼			外面：1.縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 椀	床面+7cm	口径 14.5	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	口ク口型。回転右回り。	
		1.縁部～底部 破片	底径 8.0	② 還元焼			外面：1.縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ調整。	
8	土師器 甕	遺埋土中 ほぼ円形	口径 19.0	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	輪郭のみ。	
		破片	底径 3.7	② 還元焼 良好			外面：1.縁部破片ナデ。胴部上位横、中～下位縦方向へ割付。	
9	須恵器 紡錘車	床面+7cm	長さ 5.8	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	表面側面ともよく磨られている。	須恵器底部転用。
			短径 5.8	重量：33g			孔径：0.8cm	
10	須恵器 紡錘車	床面直上	長さ 6.0	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	両辺部打子欠き。裏面回転系切り。	須恵器底部転用。
			短径 6.0	重量：27g			孔径：1.0cm	
11	土師器 鉢	床面+15cm 完形	長さ 4.5	① 細砂粒・粗砂粒・細織	② 還元焼	③ 良好	両端平ら面をつくる。外面側面ナデ、端部ヘラナデ。	一部にスズ付着。
			径 1.9	② 還元焼 良好			中心部に径3mmの穿孔。	
			孔 0.3	③ 明赤褐色、5YR 5/5		重量：14g		

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
12	土製品 鉢	床面+13cm 宍形	長さ 4.9 口径 1.8 底径 1.0 高さ 0.4	① 細砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ 赤い黄褐色(10R7/4)	両端平ら面をつくる。外面側面ナデ、端部ヘラナデ。 中心部に径1mmの穿孔。 重量:15g	部に又ス着着		
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
13	鉄器	鉄	刃部片	4.5	1.0	0.6	4.0	酸化が強い。
14	鉄器	釘	頭部欠損	6.4	1.1	0.8	9.0	酸化が強い。

1・2区70号住居跡(旧称1・2区5J-70)

位置: X=36401 Y=-39527

主軸方向: N-68°-E 規模: 3.5m×3.8m

平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 15~25cm

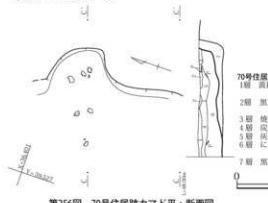
埋没土: 上位は厚さ3~5mm程の灰・ローム・焼土が互層堆積しており、下位は少量の焼土粒、炭化物、ロームブロックを含む灰黄褐色砂質土が堆積している。床面: 下面にある重複住居の埋土をもって、床面とする カマド: 北東壁中央東寄り位置する。遺存状態は悪く、灰と焼土層が一部に確認されたのみである。柱穴・貯蔵穴・壁周溝: 残存部分においては検出されていない。重複遺構: 69・71・75号住居跡と重複する。遺構確認-掘削時の埋土の様相より、本遺構は71・75号住居跡より新しく、69号住居跡よりも古いものと判断される

掘り方: カマド部分のみに掘り方を有する。

出土遺物: 出土量はごく僅かであるが、床面直上から須恵器杯(No. 3)の破片が、埋土中から土鏡(No. 4)等が出土している。



- 70号住居 埋土
- 1層 灰黄褐色砂質土(10R5/2) 少量の焼土粒子・多量の浅黄色砂質ロームブロック(φ10~30mm)を含む
 - 2層 灰黄褐色砂質土(10R5/2) 厚さ3~5mm程の灰層・黄色ローム土層・焼土の互層堆積土
 - 3層 灰黄褐色砂質土(10R5/2) 少量の焼土粒子・炭化物・浅黄色砂質ロームブロック(φ10~20mm)を含む
 - 4層 赤い黄褐色土(10R7/4) 多量の浅黄色砂質ローム粒子・同ブロック(φ5~30mm)を含む(掘り方埋土)



- 70号住居カマド 埋土
- 1層 黄褐色土(10R5/6) 砂質土・白色軽石(φ10mm)・焼土粒含む
 - 2層 黒褐色土(10R3/2) 砂・黄褐色土・焼土粒・灰を含む
 - 3層 焼土 黒炭粒を含む
 - 4層 炭化物・焼土粒層
 - 5層 灰・焼土粒層
 - 6層 赤い黄褐色土(10R7/4) 砂・黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物を含む
 - 7層 黒褐色土(10R3/2) 焼土粒・炭化物を含む

1・2区70号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土加器 杯	床面+15cm 口縁部~底部	口径 11.0 底径 7.0 高さ 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ 赤い黄褐色(3R4/6)	外面: 口縁部横ナデ、体部ナデ、底部持ちヘラ削り。 内面: 口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。	
2	須恵器 甗使用面直上 破片	口縁部~底部	口径 12.0 底径 6.8 高さ 3.1	① 細砂粒・粗砂粒・細炭 ② 還元焙 やや不良 ③ 浅黄(5Y7/3)	口クラ調整。 外面: 口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面: 口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部	口径 12.6 底径 7.4 高さ 2.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焙 良好 ③ 灰(6Y6/2)	口クラ調整。口縁部やや外反。 外面: 口縁部~体部回転ナデ。底部へ削り。 内面: 口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	土製品 鉢	床面+18cm 宍形	長さ 3.9 口径 1.9 底径 1.0 高さ 0.25	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ 赤褐色(6R)	両端平ら面をつくる。外面側面ナデ、両端ヘラナデ。 中心部に径2.5mmの穿孔。 重量:13g	

1・2区71号住居跡

旧称1・2区S1-71)

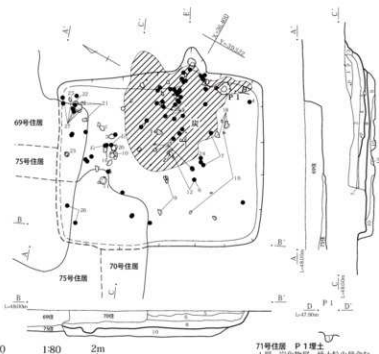
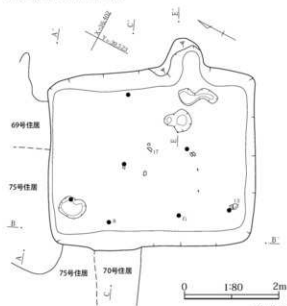
位置：X=36400 Y=-39525

主軸方向：N-63°-E

規模：3.7m×4.3m 平面形状：隅丸長方形 残存深度：35～45cm 埋没土：主に白色軽石などを含む灰黄褐色砂質土～にぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるにぶい黄褐色土で埋め固め、床面とする。カマド：北東壁中央東寄りに位置する。袖前はほとんど残らず、燃焼部の一部で灰層面が確認できた。焚き口幅は45cmを測り、煙道端部は緩やかに立ち上がる。柱穴・貯蔵穴：カマドの右側に径28cm深さ16cmを測る円形の土坑を1基検出した。位置的に貯蔵穴の可能性もある。

壁周溝：なし。重複遺構：69・70・75号住居跡と重複する。遺構確認～掘削時の埋土の様相から、本遺構は69・70号住居跡より古く、75号住居跡よりも新しいものと判断される。掘り方：地山の砂質土を18cm

ほど掘り窪める。出土遺物：比較的多く出土している。床面直上で完形の須恵器杯(No.9)・小型短頸壺(薬壺)(No.23)の他、土師器杯(No.2・4)・甕(No.27)、須恵器杯(No.11)・椀(No.22)・黒色土器蓋(No.5)・長頸壺(No.24)、土鉢(No.28・29・30・31・32)、砥石(No.34)などが出土した。



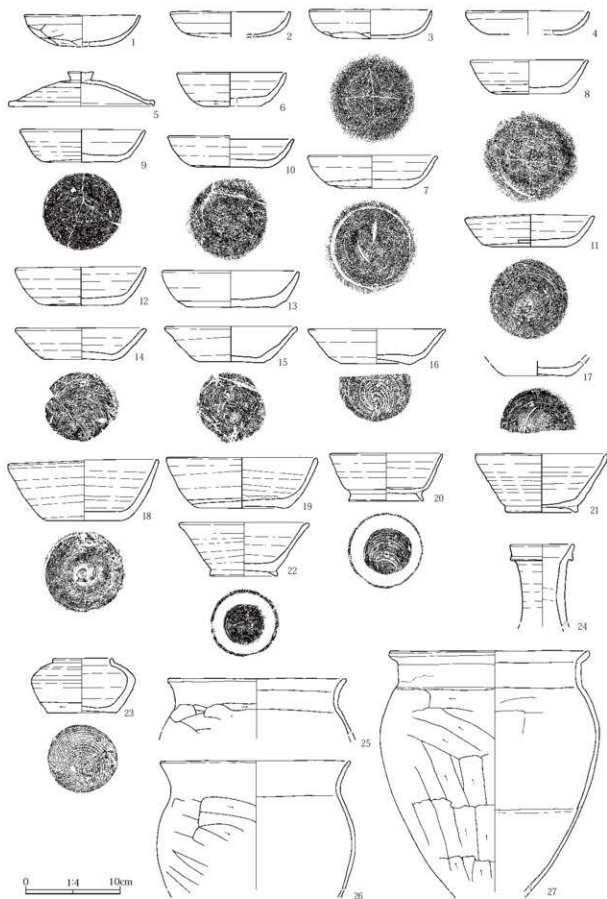
- 71号住居 埋土
- 1層 灰褐色土(010V 2/2) 砂・白色軽石(φ10mm)・黄褐色ブロック・焼土粒・炭化物含む
 - 2層 にぶい黄褐色土(010V 5/4) 砂・焼土粒・炭化物含む
 - 3層 灰褐色土(010V 2/2) 砂・白色軽石(φ1mm)・焼土粒・炭化物含む
 - 4層 炭化物層 灰・焼土含む
 - 5層 灰黄褐色砂質土(010V 5/2) 少量の種々二つ折白色軽石・微量の焼土粒子・炭化物を含む
 - 6層 灰黄褐色砂質土(010V 6/2) 微量の焼土粒子・炭化物・灰黄色砂質ローム粒子を含む
 - 7層 黒褐色土(010V 2/2) 砂・炭化物含む
 - 8層 にぶい黄褐色土(010V 4/3) 砂・焼土粒・炭化物含む
 - 9層 にぶい黄褐色土(010V 4/2) 砂・焼土粒・炭化物含む [掘り方]
 - 10層 にぶい黄褐色土(010V 3/3) 砂・焼土粒・炭化物含む [掘り方]
- 41～6層間 71～75号11住埋土



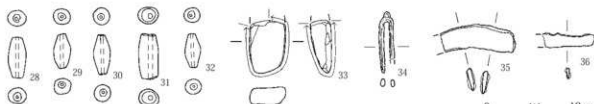
- 71号住居のカマド 埋土
- 1層 灰褐色土(010V 3/3) 砂・白色軽石(φ1mm)・焼土粒含む
 - 2層 褐色土(010V 4/4) 砂・白色軽石(φ1mm)・黄褐色土粒・焼土粒含む
 - 3層 炭化物層
 - 4層 にぶい黄褐色土(010V 4/3) 焼土粒含む
 - 5層 褐色土(010V 4/4) 焼土ブロック含む
 - 6層 灰層
 - 7層 炭化物層
 - 8層 褐色土(010V 4/4) 砂を含み、2層に類似し、やや焼土少ない [掘り方]
 - 9層 褐色土(010V 4/4) 砂を含み、5層に類似し、やや焼土少ない [掘り方]
 - 10層 にぶい黄褐色土(010V 3/3) 砂・炭化物・焼土粒含む
 - 11層 炭化物
 - 12層 灰黄褐色土(010V 6/2) 砂・炭化物・焼土粒含む

第258図 71号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第259図 71号住居跡出土遺物(1)



第260図 71号住居跡出土遺物(2)

1・2区71号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考	
				①胎土	②焼成	③色調			
1	土師器 杯	床面+31cm 口縁部~底部 破片	口径 12.0 底径 4.2 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焰	良好	外面：口縁部横ナデ、底部へラ削り。 内面：口縁部~底部横ナデ、底部ナデ。		
2	土師器 杯	床面直上 口縁部~底部 破片	口径 12.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焰	良好	外面：口縁部横ナデ、底部ナデ、底部へラ削り。 内面：口縁部~底部横ナデ。		
3	土師器 杯	床面+23cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焰	良好	外面：口縁部横ナデ、底部ナデ、底部不持ちへラ削り。 内面：口縁部~底部横ナデ、底部ナデ。		
4	土師器 杯	床面+17cm 口縁部~底部 破片	口径 12.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焰	良好	外面：口縁部横ナデ、底部ナデ、底部へラ削り。 内面：口縁部~底部横ナデ、底部ナデ。		
5	黒色土器 杯蓋	床面直上 口縁部~天月部 1/4	口径 15.2 口径 2.6 口径 7.6 口径 6.0	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焰	内面黒色処理	③ 積石YR 6/0	ロクロ整形。 外面：天月部へラ削り、口縁部横ナデ。蓋口縁付。 内面：天月部へラ磨き、単位不明。口縁部回転ナデ調整。	
6	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 破片	口径 11.3 底径 6.3 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 還元焰	やや不良	③ 灰黄(2.5YR 6/2)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部から体部下位は回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	器面薄減。
7	須恵器 杯	床面+25cm 口縁部~底部 4/5	口径 13.5 口径 7.6 口径 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 還元焰	良好	③ 黄灰(2.5YR 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転へラ削り調整。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	底部内面中央にへラ記号「十」
8	須恵器 杯	床面+19cm 口縁部~底部 3/4	口径 12.2 底径 8.4 口径 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 還元焰	やや不良	③ 灰黄(4/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部~体部下回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
9	須恵器 杯	床面直上 完形	口径 13.2 底径 8.1 口径 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 還元焰	良好	③ 灰(7.5YR 6/1)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部回転糸切り後、下平を回転へラ削り調整。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
10	須恵器 杯	床面+15cm 口縁部~底部 4/5	口径 13.2 底径 8.2 口径 3.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 酸化焰	良好	③ 赤褐(YR 4/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺を回転へラ削り調整。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
11	須恵器 杯	床面+10cm ほぼ完形 口縁部~底部欠	口径 13.5 底径 8.0 口径 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 酸化焰	良好	③ 赤灰(10YR 4/1)	ロクロ整形。回転左回り。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	底部内面中央にへラ記号「十」
12	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 2/3	口径 13.8 底径 8.6 口径 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 酸化焰	良好	③ 積石(YR 6/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部~体部下回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	底部内面に又文字付着。
13	須恵器 杯	床面+9cm 口縁部~底部 2/3	口径 14.3 底径 9.1 口径 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 酸化焰	良好	③ 積石(YR 6/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
14	須恵器 杯	床面+4cm 口縁部~底部 2/3	口径 13.5 底径 7.0 口径 3.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 還元焰	やや軟質	③ 灰(6.5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
15	須恵器 杯	床面+10cm 口縁部~底部 1/3	口径 13.7 底径 10.7 口径 4.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 還元焰	やや不良	③ 淡黄(5Y 8/3)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
16	須恵器 杯	床面+25cm 口縁部~底部 1/3	口径 14.7 底径 7.7 口径 3.6	① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焰	やや不良	③ 赤い黄積石(10YR 7/3)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	底部内面中央にへラ記号「十」
17	須恵器 杯	床面+5cm 底部 破片	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焰	やや不良	③ 灰黄(10YR 6/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：底部回転糸切り後、底部周辺を回転へラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	底部に「十」のへラ磨き。
18	須恵器 輪	床面直上 口縁部~底部 4/5	口径 15.7 底径 8.2 口径 6.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	② 還元焰	良好	③ 灰黄(6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部下回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	口縁部外部の一部に輪軸付着。

第3章 検出遺構と出土遺物

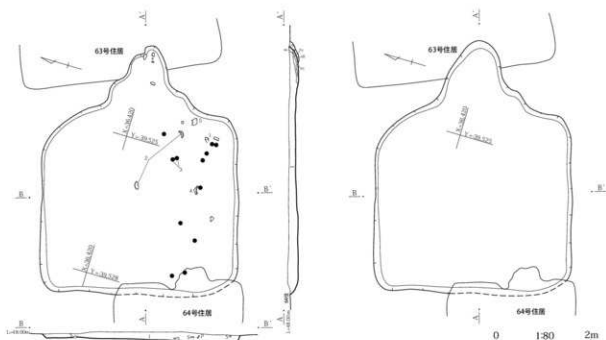
1・2区71号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
19	須恵器 杯	床面+4cm L縁部~底部 2/3	L径 15.8 底径 9.2 器高 5.3	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②還元焼 やや不良 ③灰黄(2.5Y 7/2)	ロウロ整形。回転石回り。 外面：L縁部~体部の回転ナデ。体部最下位と底部の回転ヘラ削り。 内面：L縁部~底部の回転ナデ調整。		遺付着土層か。	
20	須恵器 椀	床面+2cm L縁部~底部 2/3	L径 11.7 底径 7.6 器高 5.0	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②還元焼 良好 ③灰白(7.5Y 8/1)	ロウロ整形。回転石回り。 外面：L縁部~体部の回転ナデ。底部回転糸切り。高台敷付。 内面：L縁部~底部の回転ナデ調整。			
21	須恵器 椀	床面+3cm L縁部~底部	L径 13.8 底径 7.6 器高 6.1	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②酸化焼 ③にぶ・焼(7.5Y 5/3)	ロウロ整形。回転石回り。 外面：L縁部~体部の回転ナデ。底部回転糸切り。高台敷付。 内面：L縁部~底部の回転ナデ調整。			
22	須恵器 椀	床面直上 L縁部~底部 2/3	L径 13.4 底径 6.9 器高 5.6	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②還元焼 良好 ③灰白(5Y 8/1)	ロウロ整形。回転石回り。L縁部外反。 外面：L縁部~体部の回転ナデ。底部回転糸切り。高台敷付。 内面：L縁部~底部の回転ナデ調整。			
23	須恵器 小型短頸瓶	床面直上 口縁完形 胴部一部欠損	L径 6.1 底径 7.3 器高 5.7	①細砂粒 ②還元焼 良好 ③灰(5Y 6/1)	ロウロ整形。回転石回り。 外面：L縁部~胴部の回転ナデ。最下位に1段の回転ヘラ削り。 底部の回転糸切り。 内面：胴部~底部の回転ナデ調整。		最大径1cm。	
24	須恵器 長頸壺	床面直上 L縁部~頸部 胴部下欠損	L径 6.7 頸径 4.5 器高 —	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②還元焼 良好 ③灰白6/0	ロウロ整形。 外面：L縁部~胴部の回転ナデ。 内面：L縁部~頸部の回転ナデ調整。			
25	土師器 甕	床面+4cm L縁部 破片	L径 18.6 底径 7.1 器高 —	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②酸化焼 良好 ③にぶ・焼(7.5Y 6/4)	輪埴み。 外面：L縁部横ナデ。胴部横方向ヘラ削り。 内面：L縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
26	土師器 甕	床面+12cm L縁部~胴部 破片	L径 20.0 底径 — 器高 —	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②酸化焼 良好 ③粗(5Y 6/0)	輪埴み。 外面：L縁部横ナデ。胴部横~斜め方向ヘラ削り。 内面：L縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
27	土師器 甕	床面直上 L縁部~胴部 破片	L径 20.5 底径 7.1 器高 —	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②酸化焼 良好 ③明焼(7.5Y 5/6)	輪埴み。 外面：L縁部横ナデ。胴部上位上半斜め、下半斜め、中位・下位縦方向のヘラ削り。 内面：L縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
28	土製品 罐	床面直上 宛形	長さ 4.4 径 2.0 口径 0.3	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②酸化焼 良好 ③粗(5Y 6/8)	内端平面をつくる。外面無面ナデ。端部ヘラナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：15g		縦方向の縦線があり。	
29	土製品 罐	床面+7cm 宛形	長さ 3.6 径 1.8 口径 0.3	①細砂粒・粗砂粒 ②酸化焼 良好 ③にぶ・黄褐(10YR 7/4)	内端平面をつくる。外面無面ナデ。端部ヘラナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：9g		縦方向の縦線が複数あり。	
30	土製品 罐	床面直上 宛形	長さ 4.2 径 1.8 口径 0.3	①細砂粒・粗砂粒・粗礫 ②酸化焼 良好 ③にぶ・焼(7.5Y 5/4)	内端平面をつくる。外面無面ナデ。端部ヘラナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：12g		一部に又字付着。	
31	土製品 罐	床面+10cm 宛形	長さ 4.7 径 2.1 口径 0.5	①細砂粒・粗砂粒 ②酸化焼 良好 ③明赤焼(2.5Y 5/6)	内端平面をつくる。外面無面ナデ。端部ヘラナデ。 中心部縦に径5mmの穿孔。 重量：22g			
32	土製品 罐	床面+16cm 宛形	長さ 3.6 径 1.8 口径 0.3	①細砂粒 ②酸化焼 良好 ③明赤焼(2.5Y 5/6)	内端平面をつくる。外面無面ナデ。端部ヘラナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：8g			

番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	概要
33	石製品	砥石	不明	5.6	3.8	2.2	60	砥沢石	表裏、両側面ともよく使用されている。欠損部も一部使用。
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)		概要
34	鉄器	毛又針	右1/5欠	6.5	1.7	0.5	6.0		錆、直食が進んでいる。
35	鉄器	鎌	1/2	7.8	2.4	0.8	23.0		錆化が激しく、詳細不明。
36	鉄器	刀子	刃部片	5.5	1.6	0.5	7.0		錆化が激しい。

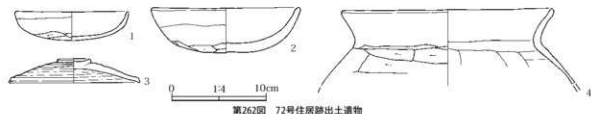
1・2区72号住居跡(旧称1・2区5J-72)

位置：X=36420 Y=-39526 主軸方向：N-75° - E 規模：3.9m×4.1m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：4~16cm 埋没土：砂礫・焼土粒・炭化物を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。
 床面：掘り方・貼り床を持たず、地山をそのまま床面とする。カマド：北東壁中央やや東寄りに位置する。遺存状態は悪く、形状・構築方法は不明であるが、燃焼部と思われる場所には、多量の炭化物が認められた。
 柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：63・64号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構は63号住居跡より新しく、64号住居跡より古いものと判断される。掘り方：カマド部分のみ掘り方を有する。出土遺物：出土遺物はごく僅かで、埋土中から土師器杯(No.1・2)・甕(No.4)、須恵器蓋(No.3)の破片が出土するのみである。



- 72号住居 埋土
 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 砂・炭・焼土・炭化物を含む
 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 砂・多量の炭化物を含む
 3層 炭化物層
 4層 焼土
 5層 暗褐色土(10YR 3/0) 砂・焼土粒・多量に含む [掘り方]
 6層 黒褐色土(10YR 2/0) 砂・炭化物を含む [掘り方]

第261図 72号住居跡平・断面図、掘り方平面図



第262図 72号住居跡出土遺物

1・2区72号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+18cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.0 底径 — 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化論 良好 ③ 灰白・橙7.5YR 6/0	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部へう削り。 内面：口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 杯	床面+10cm 口縁部~底部 3/4	口径 15.6 底径 — 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼化論 やや不良 ③ 橙6YR 6/0	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。	
3	須恵器 杯蓋	床面+8cm 胴部~胴部上端 1/4	口径 13.7 胴径 3.5 器高 2.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：天井部上半へう削り。天井部下半~口縁部横ナデ。握み貼付。 内面：天井部~口縁部へう削り。	
4	土師器 甕	床面+8cm 口縁部~胴部上端 破片	口径 22.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化論 良好 ③ 橙6YR 7/0	輪箱み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向のへう削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	

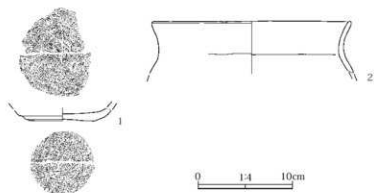
1・2区73号住居跡 (旧称1・2区SJ-73)

位置：X=36404 Y=-39520 主軸方向：N-57°-E 規模：4.7m×約3.8m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：7~14cm 埋没土：上面を削平された状態での遺構検出となり、住居掘り方を残すのみである。
 床面：削平により消失。カマド：北東壁中央やや東寄り位置する。遺存状態は悪く、焼土と掘り方が確認できたのみである。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：不明。重複遺構：68号住居跡と重複し、遺構確認~掘削時の埋土の様相から本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：全体を7~14cmほど掘り窪める。
 出土遺物：ごく少量の土師器甕(No. 2)、須恵器杯(No. 1)の破片が掘り方埋土中から出土するのみである。

第3章 検出遺構と出土遺物



第263図 73号住居跡平・断面図、掘り方平面図



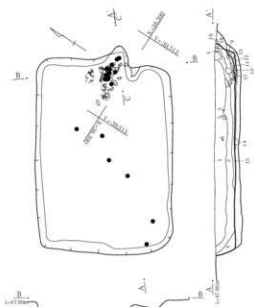
第264図 73号住居跡出土遺物

1・2区73号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	掘り方埋土中 底部	口径 — 底径 6.8 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(Y5/1)	ロケロ整形。回転左回り。 外面：底部が転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：底部が転子調整。	底部内面に焼直後のヘラ記号「×」
2	土師器 甕	掘り方埋土中 口縁部～胴部上端 破片	口径 20.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 粗(YR6/6)	外面：口縁部横子で、胴部縦方向のヘラ削り。 内面：口縁部横子で、胴部ヘラナデ。	内面に炭付着。

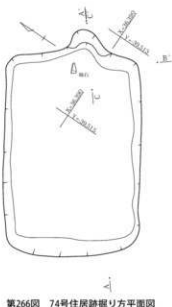
1・2区74号住居跡 (旧称1・2区SJ-74)

位置：X=36390 Y=-39515 主軸方向：N-55°-E 規模：4.1m×約3.0m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：40～45cm 埋没土：砂礫・焼土粒・炭化物を含んだにぶい黄褐色～暗褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：一部において、にぶい黄褐色粘質土を用いた貼り床の敷設が確認された。
 カマド：北東壁中央やや東寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。燃焼部使用面には灰の厚い堆積が認められ、その直上には焼土化した天井部の崩落が認められた。袖部は右側のみ残り、左側には埋没された袖石のみが残る。燃焼部は緩やかな傾斜をもち、煙道部端は急峻に立ち上がる。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。
 重複遺構：なし。掘り方：深さは8～16cmである。出土遺物：カマド内よりほぼ完形の土師器甕 (No. 1) が出土している。

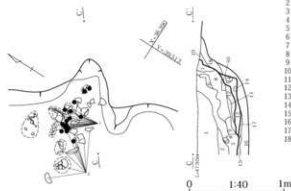


第265図 74号住居跡平・断面図

0 1:80 2m

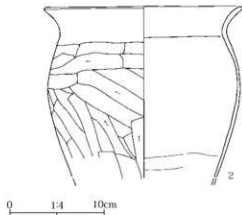


第266図 74号住居跡掘り方平面図



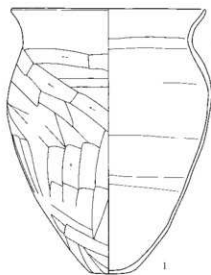
第267図 74号住居跡カマド平・断面図

0 1:40 1m



0 1:4 10cm

- 74号住居・カマド 礎土
- 1層 二色い須臾色土(0YR 4/3) 砂・礫含む
 - 2層 暗褐色土(0YR 3/3) 砂・焼土粒・炭化物含む
 - 3層 灰黄褐色土(0YR 5/2) 砂・シルト質
 - 4層 褐色土(0YR 4/4) 砂・炭分を含む
 - 5層 黄褐色土(0YR 5/6) 砂に灰黄質土混ざる焼土粒含む
 - 6層 焼土 褐色砂混ざる
 - 7層 黒褐色土(0YR 2/3) 砂・焼土粒・炭化物含む
 - 8層 褐色土(0YR 4/4) 粘質土・焼土粒含む
 - 9層 暗褐色土(0YR 3/3) 砂・焼土粒含む
 - 10層 褐色土(0YR 4/4) 粘質土・焼土粒含む
 - 11層 焼土層 (埋戻し上の崩壊)
 - 12層 灰層 炭化物含む
 - 13層 焼土ブロック (埋戻し上の崩壊)
 - 14層 二色い須臾色土(0YR 4/3) 砂・粘質土混ざる 掘り跡
 - 15層 二色い須臾色土 (0YR 4/3) 砂 (掘り方層土)
 - 16層 炭化物層
 - 17層 暗褐色土(0YR 3/4) 砂・焼土粒含む
 - 18層 暗褐色土(0YR 3/4) 砂・焼土を17層より多く含む



第268図 74号住居跡出土遺物

1・2区74号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土加器 甕	甕埋土中	口径 20.2	① 細砂粒・粗砂粒	輪埴み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半斜め方向のへら削り、胴部下半縦方向のへら削り。底部へら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部へらナデ。	
		ほぼ完形	底径 4.6	② 酸化焰 良好		
		一部欠損	器高 28.0	③ 相(2.5YR 6/6)		
2	土加器 甕	甕埋土中	口径 20.6	① 細砂粒・粗砂粒	輪埴み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半縦、下半斜め方向へら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へらナデ。	
		口縁部～胴部	底径 -	② 酸化焰 良好		
		1/4	器高 -	③ にふい相(5YR 7/4)		

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区75号住居跡 (旧称1・2区SJ-75)

位置：X=36401 Y=-39528

主軸方向：N-30°-W 規模：2.9m×4.2m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：30～42cm

埋没土：上面を重複する複数の遺構により削平され、掘り方を残すのみである。

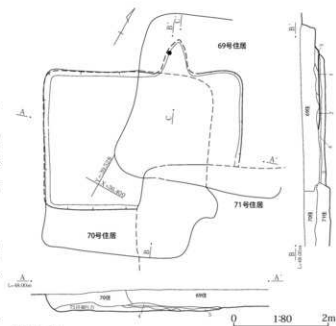
床面：不明。カマド：北西壁の中央北寄りに位置する。重複する69号住居跡によってカマドの1/3が壊され、灰褐色面がわずかに確認できたものの詳細は不明である。柱穴：なし。

壁周溝：確認できなかった。

重複遺構：69・70・71号住居跡と重複し、埋土の様相から本遺構は重複するいずれの住居跡よりも古いものと判断される。

掘り方：全体に地山の砂層面を14cmほど掘り窪める。

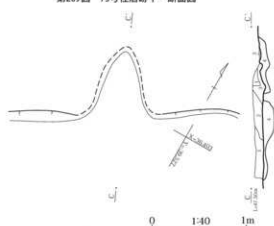
出土遺物：ごく僅かな出土状況である。



75号住居 埋土

- 1層 灰褐色砂質土(00R 6/2) 多量の灰・焼土粒子・焼土ブロック(φ5～10mm)を含む [カマド埋土]
- 2層 灰褐色砂質土(00R 6/2) 少量の浅褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)と焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 3層 灰褐色 [カマド使用面]
- 4層 浅黄色砂質土(2-3R 7/4) 浅黄色砂質ローム土に少量の灰褐色砂質土を混入 [掘り方]
- 5層 灰褐色土(00R 5/2) 砂・焼土粒 豊富含む [掘り方]

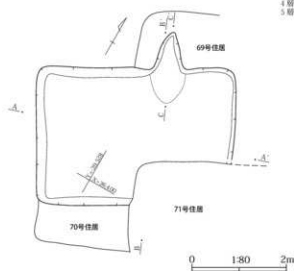
第269図 75号住居跡平・断面図



75号住居カマド 埋土

- 1層 黄褐色土(00R 3/2) 砂・黄褐色粘質土・白色軽石(φ10m)・焼土粒を含む
- 2層 黄褐色土(00R 5/6) 粘質土・焼土粒・灰化物を含む
- 3層 灰褐色
- 4層 濃い黄褐色土(00R 5/4) 砂・白色軽石(φ10m)・焼土粒を含む

第271図 75号住居跡カマド平・断面図



第270図 75号住居跡掘り方平面図

1・2区76号住居跡 (旧称1・2区SJ-76)

位置：X=36387 Y=-39511

主軸方向：N-30°-W 規模：4.0m×2.9m 平面形状：隅丸長方形

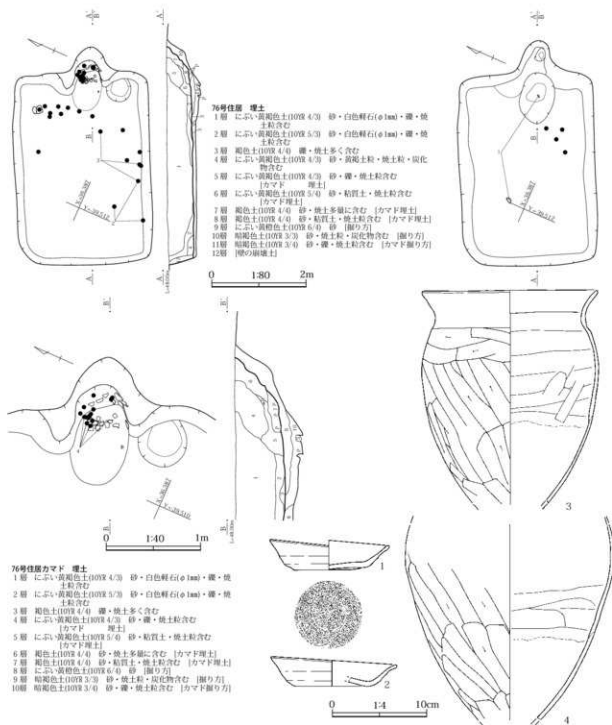
残存深度：49～55cm 埋没土：主に白色軽石・焼土粒を含んだにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体としたにぶい黄褐色土で埋め固め、床面としている。

カマド：北東壁中央やや東寄りに位置する。袖は一部が残存し、地山を掘り残した上に粘質土を盛って造られているものと思われる。煙道部は短く、急峻に立ち上がる。

柱穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：なし。

掘り方：全体に地山砂質土を8cmほど掘り窪める。出土遺物：カマド内での遺物出土が多く、カマド掘り方内よりほぼ完形の須恵器杯(No. 1)が出土している。また、床面直上で土師器甕(No. 3)、須恵器杯(No. 2)の破片の出土がみられる。



第272図 76号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図、出土遺物

1・2区76号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 砂種	出土位置 残存状況	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面—4cm、遺跡方 埋土中	口径 12.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロクロ成形。回転回リ。口縁部外反。	歪みあり。
		はびき形	底径 7.3	② 還元焰 良好	外面：口縁部へ体部回転ナデ。底部回転ヘラ削リ。	
		口縁部一帯欠損	器高 3.2	③ 緑灰(00C 6/1)	内面：口縁部へ体部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面直上	口径 13.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロクロ成形。口縁部外反。	歪みあり。
		口縁部へ底部 破片	底径 7.5	② 還元焰 良好	外面：口縁部へ体部回転ナデ。底部回転ヘラ削リ。	
			器高 3.1	③ 灰青(6/0)	内面：口縁部へ体部回転ナデ調整。	
3	土加器 甕	床面直上	口径 18.3	① 細砂粒・粗砂粒	輪削み	外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位・下位斜め方向のヘラ削リ。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。
		口縁部へ胴部 1/2	底径 —	② 還元焰 良好		
			器高 —	③ におい相(7.5R 6/4)		
4	土加器 甕	遺跡土中	口径 —	① 細砂粒・粗砂粒	輪削み	外面：胴部斜め方向ヘラ削リ。 内面：胴部ヘラナデ。
		胴部	底径 —	② 還元焰 良好		
		破片	器高 —	③ 粗砂(6/0)		

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区77号住居跡(旧称1・2区SJ-77)

位置: X=36425 Y=-395228 主軸方向: N-68°-E

規模: 不明×2.3m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 14~20cm 埋没土: 住居南西部を重複住居により欠失した状態での検出で、埋土も僅かに細砂粒・焼土粒を含む黒褐色土が残るのみであるが、その堆積は自然埋没によるものと思われる。

床面: 掘り方埋土である暗褐色土で埋め固め、床面としている。

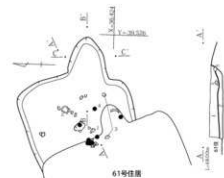
カマド: 北東壁中央南寄りに位置する。遺存状態は悪く、袖部も残らない。焚き口幅は約50cmを測り、煙道部は緩やかに立ち上がる。

柱穴: 残存部においては検出されていない。

貯蔵穴: なし。 壁周溝: 残存部においては検出されていない。

重複遺構: 61号住居跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相や重複住居のカマド跡の遺存状態から、本遺構の方が古いものと判断される。

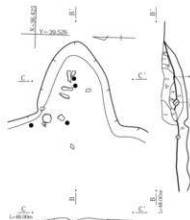
掘り方: 地山砂質土を12cmほど掘り窪め、底面には地山砂礫層が露出する。 出土遺物: 床面直上で須臾器の小型壺(No. 3)の破片が、また埋土中から土師器杯(No. 1・2)や須臾器壺(No. 4)の破片が出土するのみである。



77号住居 埋土
1層 黒褐色土(10YR 4/0) 砂・焼土粒・炭粒を含む
2層 暗褐色土(10YR 3/0) 砂・礫・焼土粒を含む [カマド掘り方]

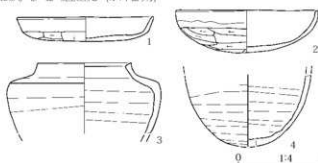


第273図 77号住居跡平・断面図・掘り方平面図



77号住居カマド 埋土
1層 黒褐色土(10YR 5/0) 砂・焼土粒・炭化物を含む
2層 ① 黄褐色土(10YR 5/0) 粘質土に砂・白色輝石(φ10mm)少量を含む
② ①にぶい相(5YR 5/0) 2層よりも焼土粒少量を含む
3層 ① 黄褐色土(10YR 4/0) 砂・粘質土・焼土粒を含む
4層 黒褐色土(10YR 3/0) 砂・礫・焼土粒を含む
5層 黒褐色土(10YR 3/0) 砂・礫・焼土粒を含む
6層 暗褐色土(10YR 3/0) 砂・礫・焼土粒を含む
7層 埋土
8層 暗褐色土(10YR 4/0) 粘質土・焼土粒を含む
9層 暗褐色土(10YR 3/0) 砂・礫・焼土粒を含む [カマド掘り方]

第274図 77号住居跡カマド平・断面図



第275図 77号住居跡出土遺物

1・2区77号住居跡出土遺物観察表

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+4cm	口径 14.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焔 良好 ③ 灰(7.5YR 6/0)	外面: 口縁部横ナデ、底部手持ちへつ削り。 内面: 口縁部~体部横ナデ。	
		口縁部~底部 1/2	底径 - 器高 2.6			
2	土師器 杯	床面+5cm	口径 14.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焔 良好 ③ ①にぶい相(5YR 6/0)	外面: 口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半~底部手持ちへつ削り。 内面: 口縁部~体部横ナデ、底部ナデ。	
		口縁部~底部 一部欠損	底径 - 器高 4.5			
3	須臾器 短頸壺	床面直上	口径 9.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焔 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	口コロ整形。 外面: 口縁部~胴部回転ナデ。 内面: 胴部~底部回転ナデ調整。	
		口縁部~胴部 破片	底径 - 器高 -			
4	須臾器 壺	床面+5cm	口径 -	① 細砂粒 ② 還元焔 ③ 灰(6/0)	口コロ整形。 胴部下半~底部は回転へつ削り。	
		胴部~底部 破片	底径 - 器高 -			

1・2区78号住居跡 (旧称1・2区5J-78)

位置: X=36411 Y=-39532 主軸方向: N-60° - E

規模: 3.4m×2.6m 平面形状: 隅丸長方形

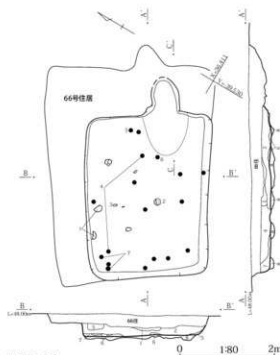
残存深度: 18~44cm 埋没土: 主に白色軽石・細粒砂を含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状態は人為的な埋め戻しの可能性もあるが、埋土は周辺の他住居跡のそれと変わりが無い。床面: 掘り方埋土である褐色粘質土で埋め固め、床面とする。カマド: 北東壁中央南寄りに位置する。遺存状態は悪く、特に煙道端部は重複する66号住居跡により壊されて欠失する。

柱穴: なし。貯蔵穴: なし。壁周溝: なし。

重複遺構: 66号住居跡と重複し、本遺構は66号住居跡床面上において検出されているため、本遺構の方が古いものと判断される。また、66号住居跡との関係については、南コーナー部および南東・南西壁の大半を共有していることから、66号住居跡は本住居跡の拡張である可能性が高いものと考えられる。

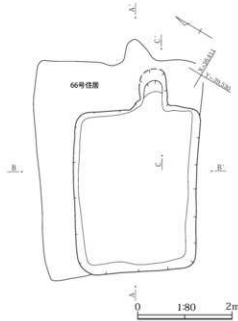
掘り方: 全体に地山ローム土を4~8cmほど掘り窪める。

出土遺物: 出土量は全体的に少ないが、床面直上で土師器の台付裏(No. 7)と小型甕(No. 6)の破片が出土した他、床面近くでほぼ完形の須恵器杯(No. 2)などが出土している。

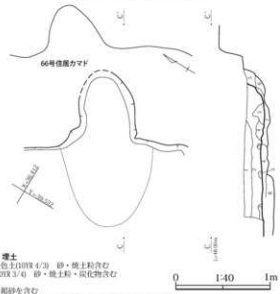


78号住居 埋土	
1層	にぶい黄褐色土(00R 4/3) 砂・焼土(陶器)多く含む
2層	にぶい黄褐色土(00R 4/3) 砂・焼土・炭化物含む
3層	にぶい黄褐色土(00R 4/3) 砂を含む
4層	にぶい黄褐色土(00R 4/3) 砂・白色軽石(φ 1mm)・炭化物含む
5層	砂層 水性珪酸(砂)
6層	炭化物
7層	にぶい黄褐色土(00R 4/3) 砂・白色軽石(φ 1mm)・黄褐色粘質土含む
8層	にぶい黄褐色土(00R 4/3) 砂・少量の粘質土 (掘り床)

第276図 78号住居跡平・断面図

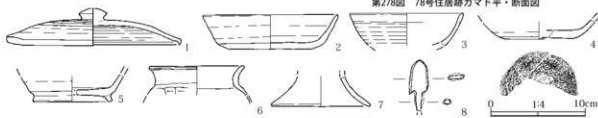


第277図 78号住居跡掘り方平面図



78号住居カマド 埋土	
1層	にぶい黄褐色土(00R 4/3) 砂・焼土を含む
2層	黄褐色土(00R 3/4) 砂・焼土・炭化物含む
3層	炭化物層
4層	焼土層 珪酸砂を含む
5層	にぶい黄褐色土(00R 5/4) 粘質土・焼土を含む (66住居掘り方)
6層	砂層 (66住居掘り方)
7層	にぶい黄褐色土(00R 5/3) 粘質土・焼土を含む (掘り方埋土)
8層	にぶい黄褐色土(00R 5/3) 砂・焼土(少量)含む (掘り方埋土)

第278図 78号住居跡カマド平・断面図



第279図 78号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区78号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	① 胎土 ② 焼成 ③ 色調			成形手法 調整手法	備考
				① 胎土	② 焼成	③ 色調		
1	須恵器 杯蓋	床面+4cm	口径 18.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロウ口型形、回転右回り。	外面：天井部上半へう割り。天井部下半へ口縁部横ナデ。組み貼付。 内面：天井部へ口縁部回転ナデ。	外面に尖溝が認められる。	
		ほぼ完成形 一部欠損	横径 3.0 器高 3.9	② 還元焼 良好 ③ 灰白(SY 7/1)				
2	須恵器 杯	床面+3cm	口径 14.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロウ口型形、回転右回り。	外面：口縁部へ一部回転ナデ、底部へう割り調整。 内面：口縁部へ底部回転ナデ調整。	外面に尖溝が認められる。	
		ほぼ完成形 一部欠損	底径 8.8 器高 3.7	② 還元焼 ③ 灰白(SY 6/4)				
3	須恵器 杯	床面直上	口径 11.8	① 細砂粒・粗砂粒	ロウ口型形。	外面：口縁部へ一部回転ナデ。 内面：口縁部へ一部回転ナデ調整。	外面に尖溝が認められる。	
		口縁部へ一部 破片	底径 — 器高 —	② 還元焼 良好 ③ 灰白(SY 6/1)				
4	須恵器 杯	床面+3cm	口径 —	① 細砂粒・粗砂粒	ロウ口型形。	外面：底部回転系切り後、回転へう割り。 内面：底部回転ナデ調整。		
		底部 破片	底径 7.0 器高 —	② 還元焼 不良(生地付) ③ 灰白(SY 6/1)				
5	須恵器 椀	床面直上	口径 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロウ口型形、回転右回り。	外面：口縁部へ一部回転ナデ、底部回転系切り。高台貼付。 内面：口縁部へ底部回転ナデ調整。		
		体部下端へ一部 破片	底径 8.1 器高 —	② 還元焼 良好 ③ 灰白(SY 7/1)				
6	土師器 小空甕	床面直上	口径 9.8	① 細砂粒	輪削み。	外面：口縁部横ナデ、胴部へう割り。 内面：口縁部横ナデ、胴部へう割り。		
		口縁部へ胴部上端 破片	底径 — 器高 —	② 還元焼 良好 ③ 灰白(SY 6/4)				
7	土師器 台付甕	床面直上	口径 —	① 細砂粒・粗砂粒	台部貼付か。	外面：台部横ナデ。 内面：台部横ナデ。		
		台部 破片	底径 — 器高 —	② 還元焼 良好 ③ 灰白赤褐色(SY 5/4)				

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
8	鉄器	鏃	刃部	5.3	2.0	0.7	9.0	長頭、錐状三角形鏃。

1・2区79号住居跡

(旧称 1・2区SJ-79)

位置：X = 36407 Y = -39529

主軸方向：N-67°-E

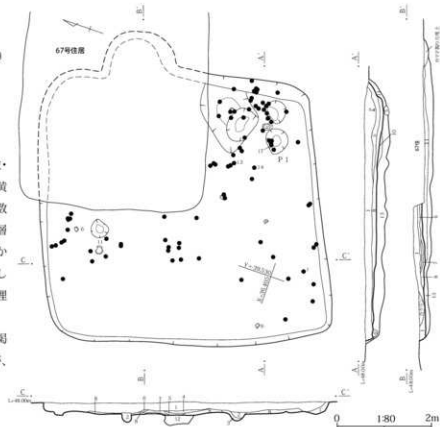
規模：5.6m×5.9m

平面形状：隅丸長方形

残存深度：18～39cm

埋没土：上位は白色軽石・黄土粒・ロームブロックなどを含む灰黄褐色砂質土で埋没し、下位は数層にわたり焼土・灰・炭化物層が互層状に堆積していることから、埋没途上において繰り返し焚火がなされ、その後は自然埋没したものと考えられる。

床面：掘り方埋土である灰黄褐色砂質土を固め、床面とするが、一部において凹凸が見られる。



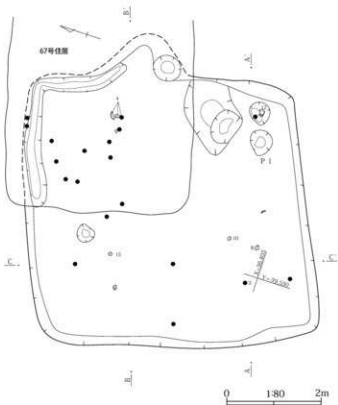
79号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の種名ニッ色白色軽石・黄色砂質ロームブロック(φ10～20mm)・黄土粒・炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の種名ニッ色白色軽石・炭化物を含む
- 3層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の黄色砂質ロームブロック(φ5～10mm)・炭化物を含む
- 4層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の炭化物を含む
- 5層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の炭・黄土粒・淡黄色砂質ローム、小ブロック(φ5～10mm)が相互に層状堆積
- 6層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の種名ニッ色白色軽石・黄色砂質ロームブロック(φ10～20mm)・黄土粒・炭化物を含む
- 7層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の炭・黄土粒・炭化物を含む
- 8層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の炭・黄土粒・炭化物を含む
- 9層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の黄土粒を含む
- 10層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の炭・炭化物・淡黄色砂質ローム土が相互に層状堆積(掘り方)
- 11層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の炭化物を含む(掘り方)
- 12層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm)・炭化物と少量の黄土粒を含む(掘り方)
- 13層 灰黄褐色砂質土(100R 4/2) 少量の炭・黄土粒・炭化物・黄土粒を含む(掘り方)

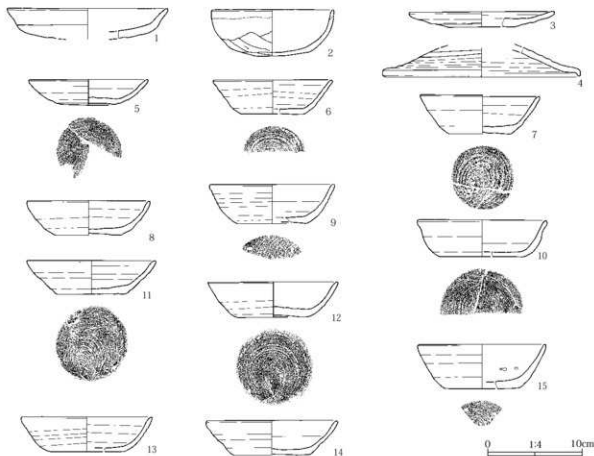
第280図 79号住居跡平・断面図

カマド：北東壁中央北寄りに位置するものと思われるが、重複する67号住居跡により欠失し、掘り方の一部を検出したのみである。

柱穴：掘り方調査時に検出された数基のピットのうち、P1がその形状・規模より柱穴となるものと思われる。**貯蔵穴**：掘り方調査時にカマド右脇で検出された土坑が貯蔵穴となる可能性がある。**壁周溝**：掘り方調査時に、住居の北東コーナー付近で一部を確認し、幅23～37cm、深さ1～7cmを測る。**重複遺構**：67号住居跡と重複し、これにより本住居の北東コーナー部が欠失していることから、本遺構の方が古いものと判断される。**掘り方**：全体に地山砂質土を20cmほど掘り穿める**出土遺物**：床面直上ではほぼ完形の須恵器杯(No. 7)のほか、埋土中からは須恵器双耳杯(No. 16)片などが出土している。

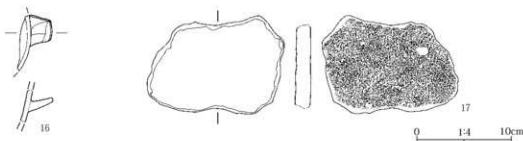


第281図 79号住居跡掘り方平面図



第282図 79号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出遺構と出土遺物



第283図 79号住居跡出土遺物(2)

1・2区79号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法	備考
				調整	調整	調整	調整手法	
1	土器器 杯	床面+19cm 口縁部~底部 破片	口径 16.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にふい粉(7.5YR 6/4)	外面: L縁部横ナデ、底部へう削り。 内面: L縁部~体部横ナデ、底部ナデ。	器面厚減		
2	土器器 杯	床面+10cm ほぼ完成形 →破片	口径 12.8 底径 - 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 灰黄(5YR 4/2)	外面: L縁部横ナデ、胴部~底部へう削り、L口部横ナデ、L縁部~体部上半ナデ、下半~底部手持ちへう削り。 内面: L縁部~体部横ナデ、底部ナデ。	器面厚減。 外面全体にスス付着。		
3	須恵器 皿	床面-10cm L縁部~底部 破片	口径 15.2 底径 7.0 器高 1.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/2)	口コ口整形。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転へう削り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。			
4	須恵器 杯蓋	床面-9cm 天井部~L縁部 破片	口径 20.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	口コ口整形。 外面: 天井部上半回転へう削り、下半~L縁部横ナデ。 内面: 天井部~L縁部回転ナデ。			
5	須恵器 杯	埋土中、掘方埋土中 L縁部~底部 1/3	口径 12.4 底径 7.0 器高 2.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	口コ口整形。回転右回りか。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。		重層する67号から出土した破片と接合。	
6	須恵器 杯	床面+12cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.4 底径 6.6 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	口コ口整形。回転右回り。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。			
7	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完成形 一部欠損	口径 12.5 底径 6.5 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰(5Y 6/1)	口コ口整形。回転右回り。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。		
8	須恵器 杯	床面-6cm L縁部~底部 1/4	口径 12.8 底径 7.0 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	口コ口整形。回転右回り。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転へう削り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。			
9	須恵器 杯	床面+3cm L縁部~底部 破片	口径 13.0 底径 8.0 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/0)	口コ口整形。回転右回り。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。			
10	須恵器 杯	床面-3cm L縁部~底部 破片	口径 13.4 底径 9.0 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	口コ口整形。回転右回り?。L縁部外反。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り後、底部周辺を回転へう削りか。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。		
11	須恵器 杯	床面+12cm L縁部~底部 2/3	口径 13.4 底径 7.4 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(6Y 6/0)	口コ口整形。回転右回り。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。		
12	須恵器 杯	床下土埋埋土中 L縁部~底部 2/3	口径 13.5 底径 7.4 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(7.5Y 7/1)	口コ口整形。回転右回り。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。		
13	須恵器 杯	床面+2cm L縁部~底部 破片	口径 13.6 底径 8.0 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ にふい粉(7.5YR 6/4)	口コ口整形。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部周辺を回転へう削りか。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。			
14	須恵器 杯	床面直上 L縁部~底部 破片	口径 13.7 底径 8.4 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ にふい粉(7.5YR 6/4)	口コ口整形。回転右回り。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り後、底部周辺を回転へう削り調整。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。			
15	須恵器 杯	床面-12cm L縁部~底部 破片	口径 13.3 底径 8.0 器高 4.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	口コ口整形。 外面: L縁部~体部回転ナデ、底部回転糸切り。 内面: L縁部~底部回転ナデ調整。	漆付着土着か。		
16	須恵器 双耳杯	埋土中 耳部 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(10Y 6/1)	口コ口整形。 外面: 胴部回転ナデ。耳部貼付。耳部はへう削り。 内面: 胴部回転ナデ調整。			
17	須恵器 甕	床面+3cm 胴部 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(6Y 6/0)	外面: 胴部叩き目直あり。 内面: 胴部ナデ。	内外面とも断面がみられる。炭石に転用か。		

3 掘立柱建物跡

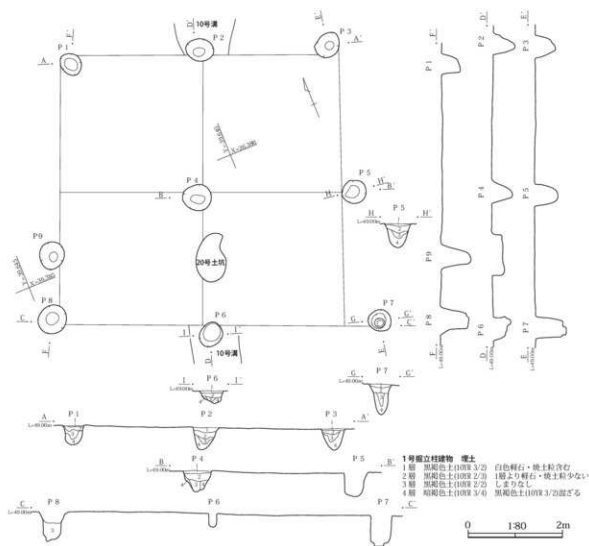
1・2区1号掘立柱建物跡(旧称1・2区58-1)

位置：X=36385 Y=-39640 主軸方向：N-108°-E(北辺) 規模：2間×2間 竪柱建物。

北辺5.9m、南辺6.0m、東辺5.8m、西辺5.6m 面積：33.92㎡ 柱穴径・深度：P1=径25×22cm 深度48cm、P2=径28×24cm 深度48cm、P3=径29×25cm 深度43cm、P4=径30×28cm 深度45cm、P5=径26×25cm 深度51cm、P6=径28×23cm 深度28cm、P7=径25×23cm 深度66cm、P8=径32×29cm 深度58cm

重複遺構：10号溝跡重複し、埋土の様相から本建物跡の方が新しいものと判断される。また、20号土坑跡と重複するが、直接的な切り合いがないため、新旧関係は不明である。

出土遺物：P2とP4の埋土中から土師甕の破片が出土している。



第284図 1・2区1号掘立柱建物跡平・断面図

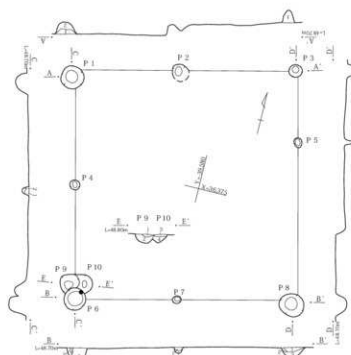
1・2区3号掘立柱建物跡(旧称1・2区S8-3)

位置: X=36375 Y=-39580 主軸方向: 北辺がN-104°-W 規模: 2間×2間, 北辺(P3、P2、P1) 4.7m, 南辺(P6、P7、P8) 4.7m, 東辺(P8、P5、P3) 4.8m, 西辺(P1、P4、P9、P6) 4.8m

面積: 22.56㎡ 柱穴径・深度: P1=径48×47cm 深さ24cm, P2=径38×34cm 深さ22cm, P3=径28×27cm 深さ28cm, P4=径21×21cm 深さ13cm, P5=径21×17cm 深さ16cm, P6=径48×45cm 深さ38cm, P7=径19×16cm 深さ13cm, P8=径53×47cm 深さ23cm, P9=径40×不明 深さ26cm, P10=径不明 深さ32cm

重複遺構: 32号住居跡と重複し、相互の埋土の様相より、本井戸跡の方が古いものと判断される。

出土遺物: P6の埋土中より土師製の破片が出土している。



第285図 1・2区3号掘立柱建物跡平・断面図

2号掘立柱建物P1・P3 埋土

1層 褐色土(10YR 6/1) 白色軽石・黄土をわずかに含む 褐色粘子・黒褐色砂質土粒子・φ1mmのローム粒子を少し含む

2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 黄褐色土粒子を少し含む

P4 埋土

1層 褐色土(10YR 6/1) 白色軽石・黄土をわずかに含む 褐色粘子・黒褐色砂質土粒子・φ1mmのローム粒子を少し含む

2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 黒褐色土粒子を少し含む

P6 埋土

1層 褐色土(10YR 6/1) 白色軽石・黄土をわずかに含む 褐色粘子・黒褐色砂質土粒子・φ1mmのローム粒子を少し含む

2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 黄褐色土粒子を少し含む

3層 褐色土(10YR 6/1) 褐色粘子・黒褐色砂質土粒子・φ2mmのロームブロックを少し含む 白色軽石をわずかに含む

P7 埋土

1層 灰黄褐色土(10YR 6/2) 黄土をわずかに含む φ30mmのふいふい黄褐色砂質土ブロック・褐色土粒子を含む

2層 にくい黄褐色土(10YR 4/3) φ30mmの黒褐色土ブロックを少し含む

P8 埋土

1層 にくい黄褐色土(10YR 5/3) 白色軽石・黄土・炭化物をわずかに含む 褐色土粒子を少し含む

2層 褐色土(10YR 6/1) 灰黄褐色土粒子を少し含む 黄土をわずかに含む

3層 褐色土(10YR 4/1) 褐色土粒子を少し含む

P9・P10 埋土

1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 白色軽石・φ25mmの黒褐色土ブロックを少し含む にくい黄褐色土を帯状に含む

2層 灰黄褐色土(10YR 6/2) φ10mm-20mmの黒褐色土ブロック・φ1mmの褐色土粒子を少し含む φ1mmのロームブロックをわずかに含む

3層 褐色土(10YR 5/1) 白色軽石を少し含む 褐色土粒子を含む

4層 褐色土(10YR 5/1) 褐色土粒子・黒褐色土粒子を少し含む

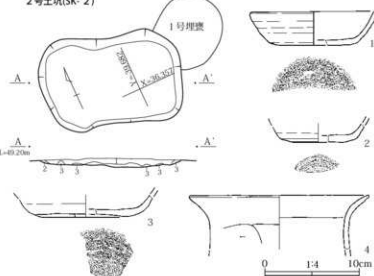
4 土坑跡・Pit 跡

1号土坑(SK-1)



1・2号土坑 埋土
1層 褐色土(10YR 1.7/1) 炭化物を含む
2層 炭化物
3層 青褐色土(10YR 3/3)

2号土坑(SK-2)



第286図 1・2区1・2号土坑跡平・断面図、2号土坑跡出土遺物

1・2区2号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部	口径 13.1 底径 8.0 器高 3.6	①細砂粒・粗砂粒・麗輝 ②還元焼 良好 ③灰(17.5/7.1)	口夕口整形。 外面：口縁部～底部の転ナデ。底部切り離し技法不鮮明。 内面：口縁部～底部の転ナデ調整。	器面厚減。
2	須恵器 杯	埋土中 体部～底部	口径 — 底径 6.0 器高 —	①細砂粒・粗砂粒・麗輝 ②還元焼 良好 ③灰(7.5/7.2)	口夕口整形。 外面：体部の転ナデ。底部の転ナデ切り。 内面：体部～底部の転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	埋土中 体部～底部	口径 — 底径 9.0 器高 —	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焼 良好 ③灰(7.5/6.1)	口夕口整形。 外面：体部の転ナデ。底部の転ナデ切り。 内面：体部～底部の転ナデ調整。	
4	土師器 甕	埋土中 口縁部 口縁部のみ残存	口径 19.0 底径 — 器高 —	①細砂粒・粗砂粒 ②酸化焼 良好 ③に灰・黄緑(10/8.5/4)	輪埴み。 外面：口縁部積ナデ。胴部積方向のヘラ削り。 内面：口縁部積ナデ。	

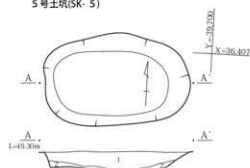
3号土坑(SK-3)



3号土坑 埋土

- 1層 黒色土(10R 1.7/1) 炭化物含む
- 2層 灰白色土
- 3層 黄褐色土(10R 3/3)

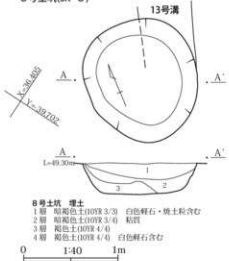
5号土坑(SK-5)



4・5号土坑 埋土

- 1層 暗褐色土(10R 3/3) 白色輝石・焼土粒含む
- 2層 暗褐色土(10R 3/4) 粘質
- 3層 褐色土(10R 4/4)
- 4層 褐色土(10R 4/4) 白色輝石含む

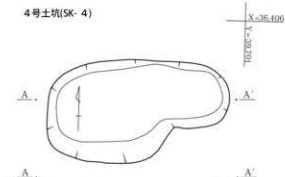
8号土坑(SK-8)



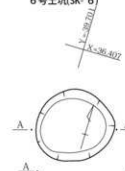
8号土坑 埋土

- 1層 暗褐色土(10R 3/3) 白色輝石・焼土粒含む
- 2層 暗褐色土(10R 3/4) 粘質
- 3層 褐色土(10R 4/4)
- 4層 褐色土(10R 4/4) 白色輝石含む

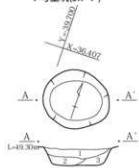
4号土坑(SK-4)



6号土坑(SK-6)



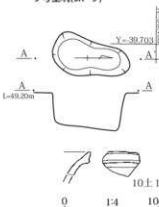
7号土坑(SK-7)



6・7号土坑 埋土

- 1層 暗褐色土(10R 3/3) 白色輝石・焼土粒含む
- 2層 暗褐色土(10R 3/4) 粘質
- 3層 褐色土(10R 4/4)
- 4層 褐色土(10R 4/4) 白色輝石含む

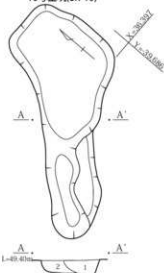
9号土坑(SK-9)



10号土坑 埋土

- 1層 暗褐色土(10R 2/3) 白色輝石含む
- 2層 黒褐色土(10R 3/2) 少量の白色輝石含む

10号土坑(SK-10)

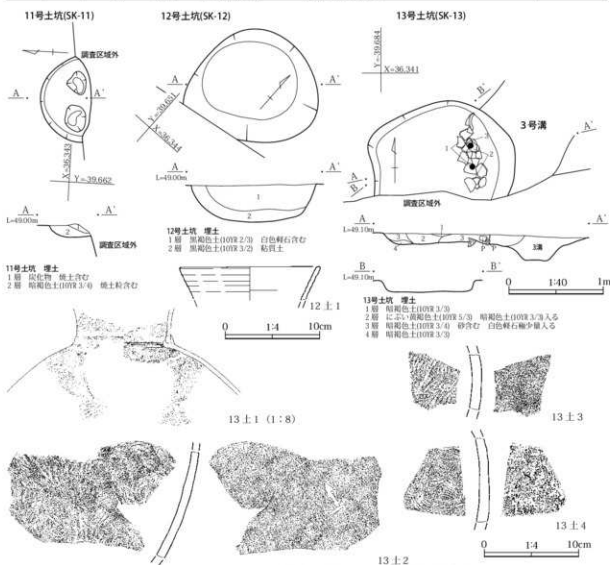


第287図 1・2区3～10号土坑跡平・断面図、10号土坑跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区10号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 甕	埋土中 L1線部 破片	L径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(Y7/2)	ロクロ整形。 外面：L1線部横ナデ。 内面：L1線部横ナデ。	

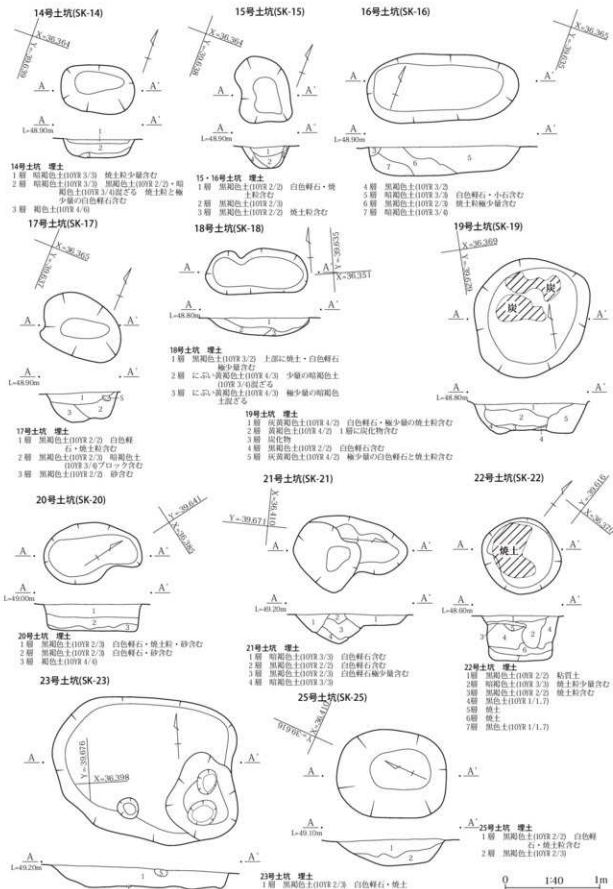


1・2区12号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 L1線部～胴部 破片	L径 14.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焼 ③ 土赤い・赤褐色(Y5R 5/4)	ロクロ整形。 外面：胴部横ナデ、胴部へラナデ。胴部に補強帯貼付されているが、角が押しつぶされている。 内面：胴部同心円状アテ具痕。	

1・2区13号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 甕	埋土中 胴部	L径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰青 6/0	ロクロ整形。 外面：胴部平行叩き目。 内面：胴部同心円状アテ具痕。	
2	須恵器 甕	埋土中 胴部	L径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・細砂粒 ② 酸化焼 ③ 相(7.5YR 6/6)	ロクロ整形。 外面：胴部平行叩き目。 内面：胴部同心円状アテ具痕。	
3	須恵器 甕	埋土中 胴部	L径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 暗オリーブ(Y4/4)	ロクロ整形。 外面：胴部自然軸付着。 内面：胴部同心円状アテ具痕。	



第289図 1・2区14～23・25号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

24号土坑(SK-24)

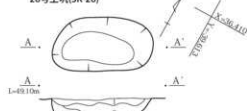


第290図 1・2区24号土坑跡平・断面図、出土遺物

1・2区24号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 種類	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	埋土中 1.1線部~胴部上端 破片	口径 19.7 底径 - 底径 - 底径 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 良好 ③ 褐色色 6/0	外面：1.1線部横ナデ、胴部ヘラナデ。 内面：1.1線部横ナデ。	
2	土師器 甕	埋土中 1.1線部~胴部上端 破片	口径 23.8 底径 - 底径 - 底径 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 良好 ③ 濃い褐色色 6/0	外面：1.1線部横ナデ、胴部前方ヘラナテ。 内面：1.1線部横ナデ、胴部ヘラナテ。	

26号土坑(SK-26)



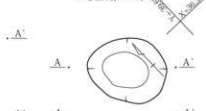
26号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 白色軽石・焼土粒含む
 2層 黒褐色土(10YR 2/2)
 3層 黒褐色土(10YR 3/2)

27号土坑(SK-27)



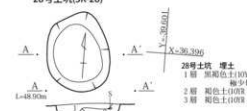
27号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 白色軽石・焼土粒含む
 2層 黒褐色土(10YR 3/2)
 3層 暗褐色土(10YR 3/3) しまりなし
 4層 暗褐色土(10YR 2/2)
 5層 黒褐色土(10YR 2/2)

29号土坑(SK-29)



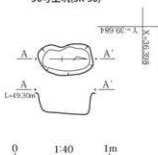
29号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10YR 2/2)
 2層 黒褐色土(10YR 2/2) 黄褐色土10YR
 5/0プロック含む
 3層 黒褐色土(10YR 5/0)

28号土坑(SK-28)



28号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 焼土粒・白色軽石
 極少量含む
 2層 褐色土(10YR 4/0) 黒褐色土混ざる
 3層 褐色土(10YR 4/0)

30号土坑(SK-30)



30号土坑 埋土
 1層 濃い黄褐色土(10YR 4/3) 褐色土粒子を少量含む
 2層 濃い黄褐色土(10YR 4/3) 微量の白色軽石を含む
 ① 2mm程度の褐色色土プロックを含む
 3層 濃い黄褐色土(10YR 4/3) ① 2mm程度の褐色色土プロック・濃い黄褐色土粒子を含む
 4層 濃い黄褐色土(10YR 4/3) ① 2mm程度の褐色色土プロックを含む
 5層 黄色砂質ローム、褐色土粒子を含む
 6層 褐色土(10YR 4/1) 黄色砂質ローム粒子・① 1mm程度の黄色砂質ロームブロックを少量含む

32号土坑(SK-32)

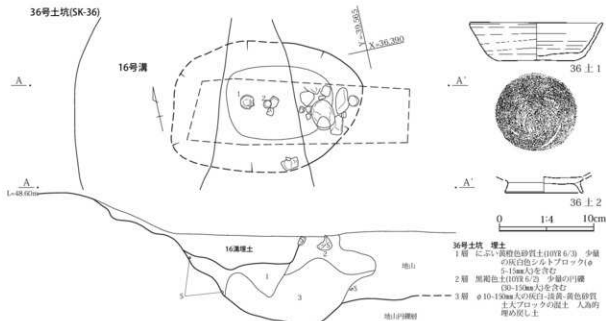


34号土坑(SK-34)



34号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石含む
 2層 濃い黄褐色土(10YR 4/3) 白色軽石・焼土粒含む
 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土粒少量含む
 4層 暗褐色土(10YR 3/4)

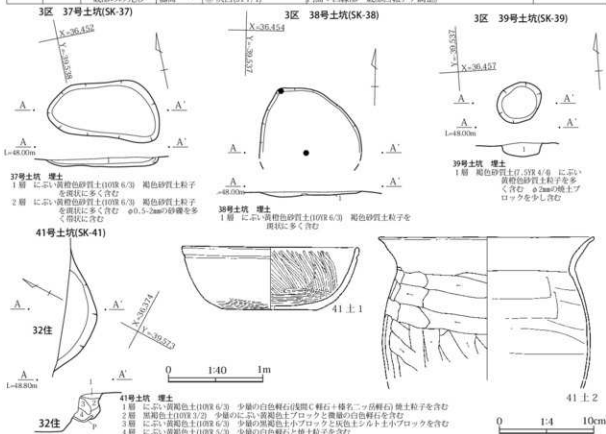
第291図 1・2区26~30・32・34号土坑跡平・断面図



第292図 1・2区36号土坑跡平・断面図、出土遺物

1・2区36号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置	計測値	①胎土	②焼成	③色調	成形手法	備考
1	須恵器 椀	底面直上 底面直上 土縁部一部欠損	1層径 13.8 底径 8.0 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焼	良好	コクロ型形。回転右回り。 外面：土縁部～体部回転ナズ。底部回転切り後、回転ナズ削り。 内面：土縁部～底部回転ナズ調整。	外面に鉄分付着。
2	須恵器 椀	底面+10cm 底部 底部のみ欠形	1層径 一 底径 7.6 器高 一	① 細砂粒・粗砂粒	② 還元焼	良好	コクロ型形。回転右回り。 外面：土縁部～体部回転ナズ。底部回転へつ削りか。高台削付。 内面：土縁部～底部回転ナズ調整。	



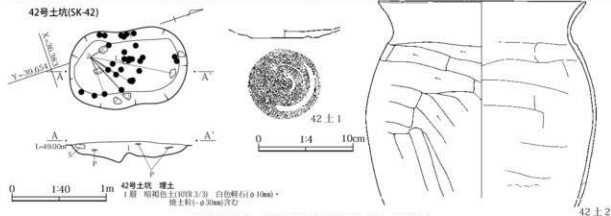
第293図 1・2区37～39・41号土坑跡平・断面図、41号土坑跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区41号土坑跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯	底面直上 L1緑部-底部 1/4	L径 18.4 底径 9.8 器高 6.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 良好 色処理 ③ 相5(YR 6/6)	口ノコ整形。 外面：L1緑部へ体部回転ナデ。底部へラ調整。全面へラ磨き。器面磨削のため不明。 内面：L1緑部へ体部回転ナデ調整。底部ナデ調整。口へ体部回転ナデ。底部横方白へラ磨き。 輪組み。	重複する32号住居埋土の土器と接合。L1緑部に太さ2.5mmの条線が通る。
2	土師器 甕	底面+4cm、32号住居下方埋土中 L1緑部-胴部上半 破片	L径 22.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化塩 良好 ③ 赤黒(YR 4/6)	外面：L1緑部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向へラ削り。 内面：L1緑部横ナデ。胴部へラナデ。	32号住居下方埋土中の土器と接合。

42号土坑(SK-42)

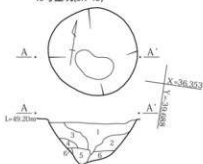


第294図 1・2区42号土坑跡平・断面図、出土遺物

1・2区42号土坑跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 転用碗	底面+9cm 転用碗 底部のみ残存	L径 7.2 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元塩 やや不良 ③ 灰(10Y 4/1)	口ノコ整形。回転ナデ。 外面：底部回転へラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	須恵器杯底部を転用。底部内面は一部磨かれている。
2	土師器 甕	底面+10cm L1緑部-胴部 破片	L径 21.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 良好 ③ 明赤黒(YR 5/6)	外面：L1緑部横ナデ。胴部上位横、中位斜め方向へラ削り。 内面：L1緑部横ナデ。胴部へラナデ。	

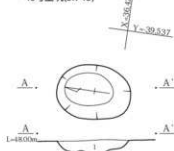
43号土坑(SK-43)



43号土坑 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 3/3) 黒褐色土(φ20mm)含む
- 2層 黒褐色土(10YR 3/4) 黒褐色土含む
- 3層 褐色土(10YR 4/6) 2層より黒褐色土多量に含む
- 4層 黄褐色土(10YR 5/8) 暗褐色土を含む
- 5層 上記に黄褐色土(10YR 4/3) しまりなし
- 6層 黄褐色土(10Y 5/8) 少量の黒褐色土を含む

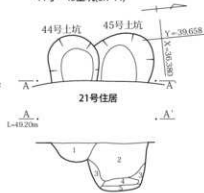
48号土坑(SK-48)



48号土坑 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 3/3) 砂・白色軽石(φ1mm)・焼土・炭化物含む 褐色土混ざる

44号・45号土坑(SK-44)



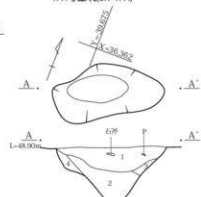
44号土坑 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 2/3) 白色軽石(φ1mm)・炭化物含む

45号土坑 埋土

- 2層 黒褐色土(10YR 2/3) 白色軽石(φ1mm)・焼土・軽石含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/6) 黒色土まざる
- 4層 焼土 黒褐色土まざる
- 5層 焼土・炭化物物

47A号土坑(SK-47A)

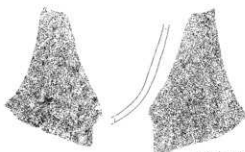
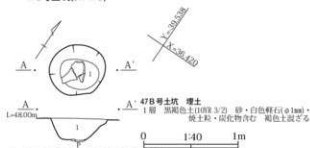


47A号土坑 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし、しまりやや強い。に黄褐色土ブロックφ50mm以下少量含む
- 2層 褐色土(10YR 4/6) 粘性なし、しまりやや強い。1層の黒褐色土で全体にうすく汚れる
- 3層 2層に褐色土ブロック(10YR 4/6)φ30mm程度多量含む
- 4層 黄褐色土(10YR 5/8) 粘性なし、しまりやや強い。1層の黒褐色土で全体にうすく汚れる

第295図 1・2区43～45・47A・48号土坑跡平・断面図

47B号土坑(SK-47B)

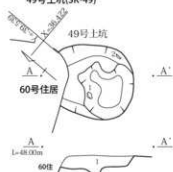


47B土1 (1:8)

1・2区47号-B土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 甕	底面直上 胴部~底部 破片	口径 一 底径 一 器高 一	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 青灰(10B5/1)	口ケロ整形。 外面：胴部ヘラナデ。平行印き痕がわずかに残る。 内面：胴部ナデ。	

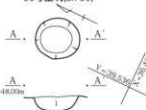
49号土坑(SK-49)



49号土坑 埋土
1層 黒褐色土(10層3/2) 焼土・炭化物含む



50号土坑(SK-50)



50号土坑 埋土
1層 黒褐色土(10層3/2) 砂・白色軽石(φ1mm)・
焼土粒・炭化物含む 褐色土混ざる

53号土坑(SK-53)

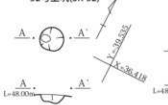


53号土坑 埋土
1層 黒褐色土(10層3/2) 砂・白色軽石(φ1mm)・
焼土粒・炭化物含む 褐色土混ざる

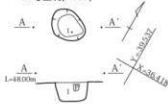
1・2区53号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	底面+13cm 底部 底部のみ残存	口径 一 底径 6.0 器高 一	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄土(DY 6/2)	口ケロ整形。回転右回り。 外面：底部回転糸切り。 内面：底部回転ナデ。	

52号土坑(SK-52)



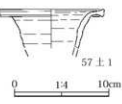
57号土坑(SK-57)



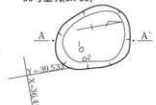
54号土坑(SK-54)



57号土坑 埋土



55号土坑(SK-55)



52・54~57号土坑 埋土
1層 黒褐色土(10層3/2) 砂・白色軽石(φ1mm)・
焼土粒・炭化物含む 褐色土混ざる

2層 褐色土(10層4/0) 砂・白色軽石(φ1mm)・
焼土粒・炭化物含む
3層 灰褐色土(10層3/2) 砂・白色軽石(φ1mm)・
炭化物含む

56号土坑(SK-56)

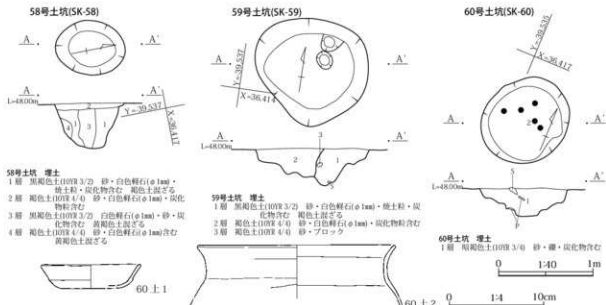


第296図 1・2区47B・49~57号土坑跡平・断面図、47B・53・57号土坑跡出土遺物

1・2区57号土坑跡出土遺物観察表

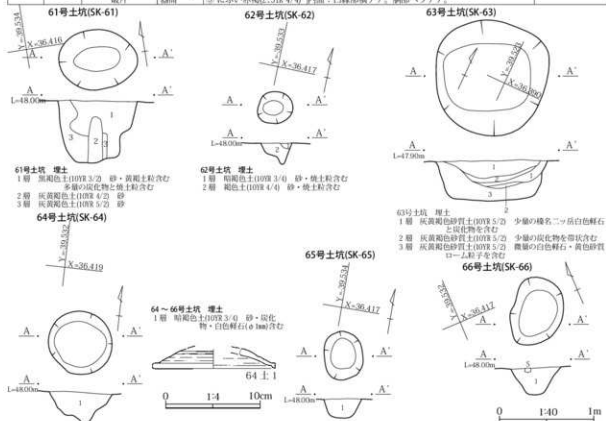
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 長頸甕	底面+14cm 口縁部~胴部 破片	口径 10.9 胴径 一 器高 一	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄土(7/0)	口ケロ整形。 外面：口縁部~胴部回転ナデ。 内面：口縁部~胴部回転ナデ調整。	外面に自然輪付着。

第3章 検出遺構と出土遺物



1・2区60号土坑跡出土遺物観察表

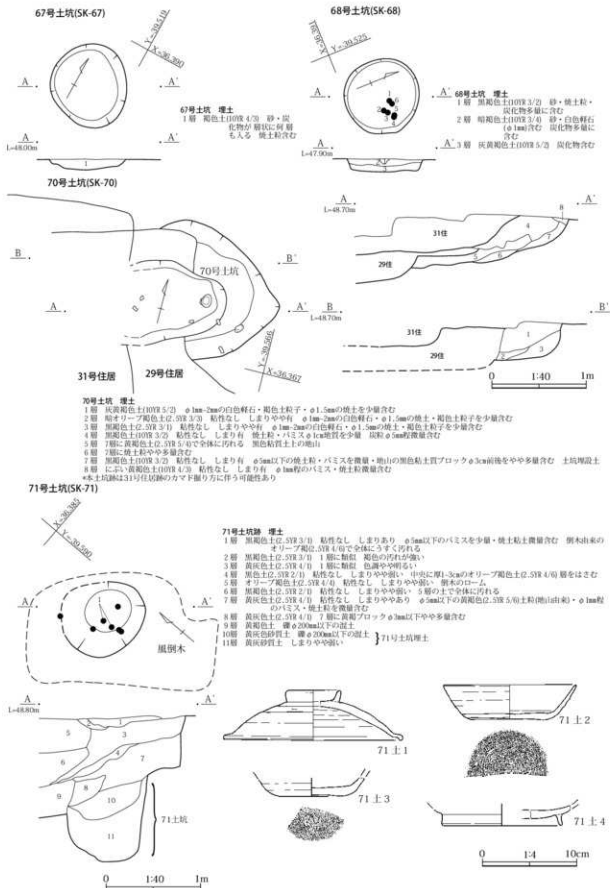
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 L1緑部～体部 破片	L径 30.4 底径 — 器高 2.5	① 細砂粒 ② 酸化場 良好 ③ 粉(5)径 6/6	外面:L1緑部横ナデ、体部ナデ。 内面:L1緑部～体部横ナデ。	
2	土師器 鉢	底面+5cm L1緑部～胴部上端 破片	L径 20.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化場 良好 ③ に赤い赤褐色、5径 4/4	輪組み。 外面:L1緑部横ナデ、胴部へラ削り。 内面:L1緑部横ナデ、胴部へラナデ。	



第297図 1・2区58～66号土坑跡平・断面図、60・64号土坑跡出土遺物

1・2区64号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	天井部～L1緑部 破片	L径 12.9 横径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元場 良好 ③ 灰(長 6/6)	口クロ形。 調整手法 外面:天井部へラ削り、L1緑部横ナデ。 内面:天井部～L1緑部横ナデ。	



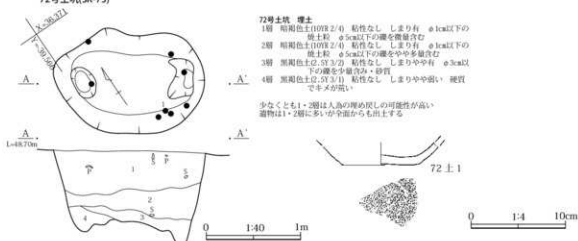
第298図 1・2区67・68・70・71号土坑跡平・断面図、71号土坑跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区71号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杆蓋	底面+6cm 天井部~口縁部 1/2	口径 18.7 口径 5.6 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白 (5Y 7/1)	口ウロ整形。回転右回り。 外面：天井部上半はへう削り。口縁部嵌ナデ。 内面：天井部~口縁部嵌ナデ。	
2	須恵器 杆	底面+66cm 口縁部~底部 1/3	口径 13.9 口径 8.0 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白 (10Y 7/1)	口ウロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部上半回転ナデ。底部・体部下半回転へう削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	底部外部中央にへう記号「+」
3	須恵器 杆	底面+61cm 底径 破片	口径 — 底径 6.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	口ウロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転染切り。周辺部回転へう削り。 内面：底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 椀	底面+49cm 底部 破片	口径 — 底径 12.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白 (7.5Y 7/1)	口ウロ整形。 外面：底部回転へう削り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	

72号土坑(SK-73)



1・2区72号土坑跡出土遺物観察表

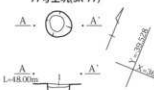
番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杆	底面+21cm 体部下端~底部 破片	口径 — 底径 8.1 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y 6/2)	口ウロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転へう削りか。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。

73号土坑(SK-73)



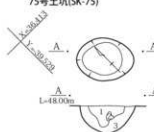
73号土坑 埋土
1層 暗褐色土(10YR 3/4) 砂・炭化物・白色軽石
(φ1mm)含む

77号土坑(SK-77)



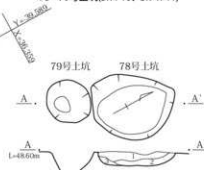
77号土坑 埋土
1層 暗褐色土(10YR 3/3) 砂・塊土粒・炭化物含む
2層 暗褐色土(10YR 3/4) 砂・塊土粒・炭化物含む

75号土坑(SK-75)

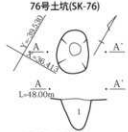


75号土坑 埋土
1層 暗褐色土(10YR 3/3) 砂・塊土粒・炭化物含む
2層 暗褐色土(10YR 5/4) 粘質土ブロック
3層 暗褐色土(10YR 3/4) 砂・塊土粒・炭化物含む

78・79号土坑(SK-P10、SK-1P11)



76号土坑(SK-76)



76号土坑 埋土
1層 暗褐色土(10YR 3/3) 砂・塊土
粒・炭化物含む

78号土坑 埋土

1層 暗褐色土(10YR 4/1) 粘性 しまり
少中部。白色ハニ又φ1mm
程度含む
2層 1層より厚味が強い
3層 1層または2層と地10の黄褐色土
(5.2Y 5/4)の混土

第299図 1・2区72・73・75~79号土坑跡平・断面図、72号土坑跡出土遺物

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

1・2区 土坑跡一覧表

測 計測値の()は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
1号土坑跡	X = 36.358 Y = 39.779	150 × 110cm	17cm	楕円長方形	逆台形	土師器甕	灰化物を含む黒色土。	
2号土坑跡	X = 36.357 Y = 39.682	150 × 90cm	7cm	楕円長方形	逆台形	土師器鉢、須恵器杯・蓋	灰化物を含む黒色土。	1号埋土と重複するが直接切り合っていない。
3号土坑跡	X = 36.355 Y = 39.680	160 × 110cm	8cm	楕円長方形	逆台形	なし	灰化物を含む黒色土。	
4号土坑跡	X = 36.405 Y = 39.702	195 × 110cm	29cm	楕円長方形	逆台形	土師器甕、須恵器杯、須恵器杯(黒色土器)	白色輝石と焼土粒を含む暗褐色土。	
5号土坑跡	X = 36.408 Y = 39.701	150 × 95cm	23cm	楕円長方形	逆台形	なし	白色輝石と焼土粒を含む暗褐色土。	
6号土坑跡	X = 36.406 Y = 39.701	82 × 75cm	20cm	楕円形	半円形	なし	白色輝石と焼土粒を含む暗褐色土。	
7号土坑跡	X = 36.406 Y = 39.700	70 × 60cm	19cm	楕円形	逆台形	土師器甕	白色輝石と焼土粒を含む暗褐色土。	
8号土坑跡	X = 36.404 Y = 39.701	130 × 120cm	35cm	楕円形	逆台形	なし	白色輝石と焼土粒を含む暗褐色土。	13号溝より古い。
9号土坑跡	X = 36.407 Y = 39.703	80 × 40cm	39cm	楕円形	逆台形	土師器甕	埋土不明。	
10号土坑跡	X = 36.397 Y = 39.687	250 × 60cm	20cm	不定形	逆台形	須恵器甕	白色輝石を含む暗褐色土。	
11号土坑跡	X = 36.343 Y = 39.661	不明	30cm	不明	逆台形	なし	焼土粒を含む暗褐色土。	南側に調査区域外。
12号土坑跡	X = 36.345 Y = 39.650	140 × 120cm	40cm	楕円形	逆台形	須恵器杯	白色輝石を含む黒褐色土。	
13号土坑跡	X = 36.340 Y = 39.683	150cm × 不明	14cm	不定形	逆台形	須恵器甕	白色輝石を含む暗褐色土。	3号溝より新しい。
14号土坑跡	X = 36.364 Y = 39.638	80 × 50cm	30cm	楕円形	逆台形	土師器甕	白色輝石を含む暗褐色土。	
15号土坑跡	X = 36.364 Y = 39.637	70 × 50cm	29cm	不定形	逆台形	土師器甕	白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。	
16号土坑跡	X = 36.364 Y = 39.636	160 × 70cm	30cm	楕円長方形	逆台形	なし	焼土粒を含む黒褐色土。	須原木の影響を大きく受ける。
17号土坑跡	X = 36.363 Y = 39.636	90 × 60cm	33cm	不定形	逆台形	土師器甕口縁部、土師器破片	白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。	
18号土坑跡	X = 36.351 Y = 39.636	110 × 45cm	15cm	不定形	逆台形	なし	少量の白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。	
19号土坑跡	X = 36.368 Y = 39.628	140 × 120cm	35cm	楕円形	逆台形	なし	白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。底面に灰化物あり。	
20号土坑跡	X = 36.384 Y = 39.641	103 × 62cm	25cm	不定形	逆台形	なし	白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。	10号溝と重複。1号竪穴柱礎とは不明。
21号土坑跡	X = 36.411 Y = 39.671	120 × 80cm	33cm	不定形	U字形	なし	白色輝石を含む黒褐色土。	
22号土坑跡	X = 36.369 Y = 39.616	85 × 80cm	48cm	円形	逆台形	なし	焼土を多く含む黒褐色土。	
23号土坑跡	X = 36.398 Y = 39.675	210 × 150cm	26cm	楕円形	逆台形	土師器甕	白色輝石と焼土粒、灰化物を含む黒褐色土。	
24号土坑跡	X = 36.409 Y = 39.626	135 × 60cm	42cm	楕円形	逆台形	土師器杯・甕、須恵器杯	白色輝石と焼土粒を含む暗褐色土。	
25号土坑跡	X = 36.409 Y = 39.616	115 × 95cm	28cm	楕円形	半円形	土師器甕	白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。	
26号土坑跡	X = 36.409 Y = 39.614	105 × 55cm	21cm	楕円形	逆台形	土師器甕	白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。	
27号土坑跡	X = 36.406 Y = 39.615	105 × 60cm	18cm	楕円長方形	逆台形	なし	白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。	
28号土坑跡	X = 36.396 Y = 39.602	80 × 65cm	20cm	楕円形	逆台形	なし	白色輝石と焼土粒を含む黒褐色土。	
29号土坑跡	X = 36.396 Y = 39.602	85 × 70cm	16cm	楕円形	逆台形	なし	白色輝石なしの黒色土。	
30号土坑跡	X = 36.397 Y = 39.684	60 × 30cm	22cm	楕円形	逆台形	なし	埋土は不明。	
32号土坑跡	X = 36.364 Y = 39.563	100 × 100cm	39cm	楕円方形	逆台形	なし	白色輝石と、少量の黄褐色土粒を含む。黄褐色土。	
34号土坑跡	X = 36.396 Y = 39.681	140 × 80cm	25cm	不定形	逆台形	土師器杯・甕、須恵器甕	白色輝石と焼土粒を含む。黄褐色土。	6号住居と重複。
36号土坑跡	X = 36.392 Y = 39.566	200 × 140cm	97cm	不定形	逆台形	須恵器杯・椀	灰白、淡黄、黄色砂粒大ブロックの混入。	16号溝と重複。
41号土坑跡	X = 36.375 Y = 39.577	123 × 80cm	28cm	楕円形	不明	土師器杯(黒色土器)	少量の白色輝石と焼土粒を含む。黄褐色土。	32号住居と重複。
42号土坑跡	X = 36.384 Y = 39.654	120 × 80cm	20cm	楕円長方形	逆台形	土師器甕	白色輝石と焼土粒を含む暗褐色土。	3号溝と重複。
43号土坑跡	X = 36.353 Y = 39.689	95 × 90cm	50cm	円形	U字形	なし	黄褐色土粒を含む暗褐色土。	21号住居、45号土坑と重複。
44号土坑跡	X = 36.379 Y = 39.658	不明	19cm	不明	逆台形	土師器甕	白色輝石と灰化物を含む黒褐色土。	
45号土坑跡	X = 36.418 Y = 39.654	不明	50cm	不明	逆台形	なし	白色輝石と灰化物を含む暗褐色土。砂と焼土粒を含む。黄褐色土。	21号住居、44号土坑と重複。底面に焼土と灰化物が見られる。
46号土坑跡	X = 36.362 Y = 39.530	100 × 75cm	9cm	楕円形	逆台形	土師器甕	白色輝石と焼土粒を含む暗褐色土。	64号住居との新旧関係は不明。
47号土坑跡	X = 36.420 Y = 39.539	60 × 54cm	28cm	楕円形	半円形	打製石斧、土師器破片	黒色土ブロックの混入した黒褐色土。	須原木の影響を受ける。

第3章 検出遺構と出土遺物

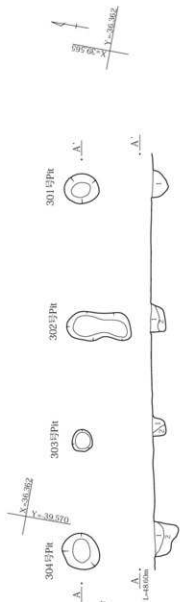
遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
48号土坑跡	X = 36.420 Y = -39.537	径 80 × 60cm	15cm	楕円形	逆台形	なし	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
49号土坑跡	X = 36.420 Y = -39.538	不明 × 75cm	24cm	楕円形	逆台形	土師器残、須恵器杯	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	6号住居と重複。
50号土坑跡	X = 36.419 Y = -39.536	46 × 43cm	15cm	楕円形	逆台形	なし	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
51号土坑跡	X = 36.421 Y = -39.535	35 × 35cm	16cm	円形	平円形	なし	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
52号土坑跡	X = 36.418 Y = -39.536	25 × 25cm	11cm	円形	逆台形	なし	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
53号土坑跡	X = 36.418 Y = -39.535	40 × 40cm	20cm	円形	逆台形	須恵器杯	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
54号土坑跡	X = 36.418 Y = -39.533	50 × 42cm	18cm	楕円形	平円形	なし	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
55号土坑跡	X = 36.419 Y = -39.533	84 × 53cm	25cm	楕円形	逆台形	土師器残	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
56号土坑跡	X = 36.420 Y = -39.532	45 × 40cm	28cm	楕円形	逆台形	なし	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
57号土坑跡	X = 36.418 Y = -39.538	40 × 30cm	21cm	不定形	逆台形	須恵器片・土師器片	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
58号土坑跡	X = 36.416 Y = -39.538	75 × 57cm	47cm	楕円形	逆台形	土師器残	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
59号土坑跡	X = 36.414 Y = -39.536	125 × 105cm	50cm	不定形	逆台形	土師器杯、須恵器残	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
60号土坑跡	X = 36.415 Y = -39.534	100 × 85cm	30cm	楕円形	逆台形	土師器杯・甕	砂、礫、炭化物を含む暗褐色土。	
61号土坑跡	X = 36.416 Y = -39.533	85 × 60cm	66cm	楕円形	逆台形	なし	多量の炭化物と焼土粒を含む黒褐色土。	
62号土坑跡	X = 36.417 Y = -39.533	38 × 34cm	20cm	楕円形	U字形	なし	砂と焼土粒を含む暗褐色土。	
63号土坑跡	X = 36.390 Y = -39.523	120 × 120cm	44cm	隅丸正方形	逆台形	土師器杯・甕	少量の白色軽石と炭化物を含む黄褐色砂質土。中層に炭化物の塊が帯状に認められる。	
64号土坑跡	X = 36.418 Y = -39.532	65 × 65cm	40cm	円形	U字形	土師器杯・甕、須恵器砂、炭化物	白色軽石を含む暗褐色土。	
65号土坑跡	X = 36.417 Y = -39.534	50 × 40cm	18cm	楕円形	逆台形	なし	砂、炭化物、白色軽石を含む暗褐色土。	
66号土坑跡	X = 36.417 Y = -39.531	75 × 60cm	30cm	不定形	U字形	土師器杯・甕、須恵器砂、炭化物	白色軽石を含む暗褐色土。	
67号土坑跡	X = 36.389 Y = -39.519	90 × 80cm	13cm	楕円形	逆台形	土師器杯・甕	砂と炭化物が層状に堆積する。	
68号土坑跡	X = 36.391 Y = -39.524	80 × 80cm	13cm	円形	逆台形	土師器残	砂と白色軽石と多量の炭化物を含む暗褐色土。	
69号土坑跡	X = 36.365 Y = -39.569	不明	23cm	不明	不明	土師器残、須恵器杯	白色軽石と焼土粒を含む黒褐色土。	29号住居と重複。
70号土坑跡	X = 36.368 Y = -39.567	不明	40cm	不明	逆台形	土師器杯・甕	白色軽石と少量の焼土粒と炭化物を含む黒褐色土。	住主と同一層は遺構外。
71号土坑跡	X = 36.383 Y = -39.590	不明	154cm	円形	U字形	土師器杯・甕、須恵器杯・蓋・杵	下層は礫を含む黄灰色砂質土。	井戸と思われる。風倒木によって上面が崩壊を受けている。
72号土坑跡	X = 36.370 Y = -39.565	160 × 105cm	84cm	楕円形	逆台形	土師器杯・甕、須恵器杯	焼土粒と礫を含む暗褐色土。	
73号土坑跡	X = 36.417 Y = -39.536	80 × 65cm	31cm	楕円形	逆台形	土師器杯	砂と炭化物、白色軽石を含む暗褐色土。	
75号土坑跡	X = 36.412 Y = -39.528	60 × 45cm	30cm	楕円形	逆台形	なし	砂と焼土粒、炭化物を含む暗褐色土。	
76号土坑跡	X = 36.413 Y = -39.529	45 × 40cm	35cm	楕円形	U字形	土師器残	砂と焼土粒、炭化物を含む暗褐色土。	
77号土坑跡	X = 36.415 Y = -39.529	30 × 27cm	26cm	楕円形	U字形	なし	砂と炭化物、白色軽石を含む暗褐色土。	
78号土坑跡	X = 36.360 Y = -39.588	85 × 68cm	14cm	楕円形	逆台形	なし	白色軽石を含む暗褐色土。	1号不明遺構と重複。
79号土坑跡	X = 36.359 Y = -39.588	50 × 46cm	26cm	楕円形	U字形	なし	埋土は不明。	1号不明遺構と重複。

3区 土坑跡一覧表

(注) 計測値の()は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
37号土坑跡	X = 36.451 Y = -39.538	120 × 60cm	11cm	不定形	逆台形	なし	砂礫を帯状に含む白っぽい黄褐色砂質土。	河川の氾濫の影響を受けて壁高が低くなっている。
38号土坑跡	X = 36.453 Y = -39.536	不明	7cm	不明	逆台形	土師器残	砂礫を帯状に含む白っぽい黄褐色砂質土。	河川の氾濫の影響を受けて壁高が低くなっている。
39号土坑跡	X = 36.457 Y = -39.536	50 × 40cm	16cm	楕円形	逆台形	なし	白っぽい黄褐色砂質土粒子と礫を少量含む暗褐色砂質土。	河川の氾濫の影響を受けて壁高が低くなっている。
40号土坑跡	X = 36.456 Y = -39.549	不明	10cm	不明	逆台形	なし	少量の礫と褐色砂質土粒子を含む白っぽい黄褐色砂質土。	河川の氾濫の影響を受けて壁高が低くなっている。

301-304号Pit



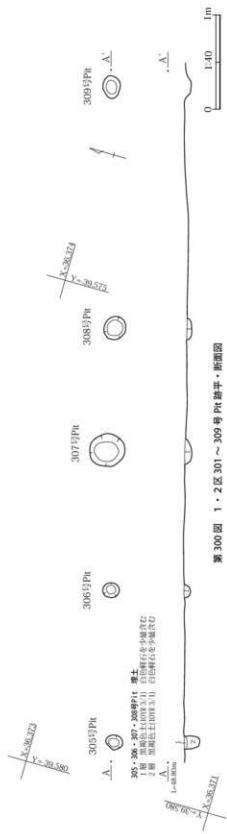
304号Pit 竊土
1層 灰赤褐色土(100% S.7) 褐色土粒・白色輝石を少量含む
2層 灰赤褐色土(100% S.7) 褐色土粒・白色輝石を少量含む

303号Pit 竊土
1層 灰赤褐色土(100% S.7) 白色輝石を少量含む
2層 灰赤褐色土(100% S.7) 褐色土粒を少量含む

302号Pit 竊土
1層 灰赤褐色土(100% S.7) 白色輝石・黒土・砂・土粒を少量含む
2層 灰赤褐色土(100% S.7) 褐色土粒を少量含む

301号Pit 竊土
1層 灰赤褐色土(100% S.7) 白色輝石・砂・土粒を少量含む

305-309号Pit

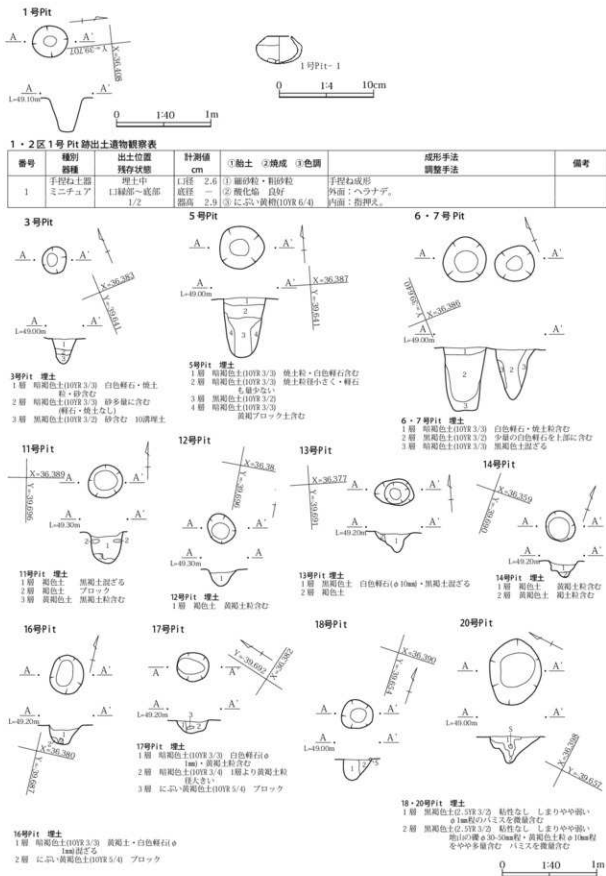


305・306・307・308号Pit 竊土
1層 灰赤褐色土(100% S.7) 白色輝石を少量含む
2層 灰赤褐色土(100% S.7) 白色輝石を少量含む

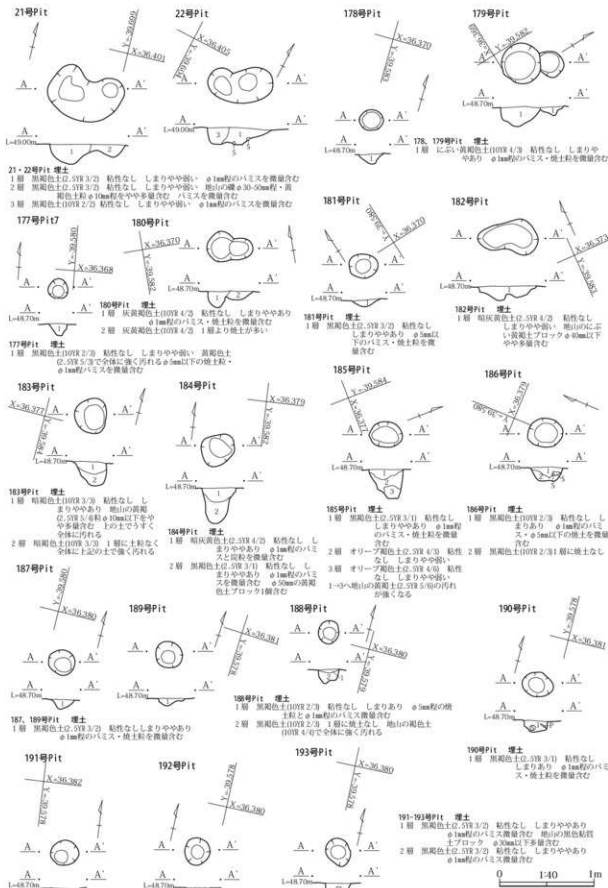
第300図 1・2区301-309号Pit跡平・断面図



第3章 検出遺構と出土遺物

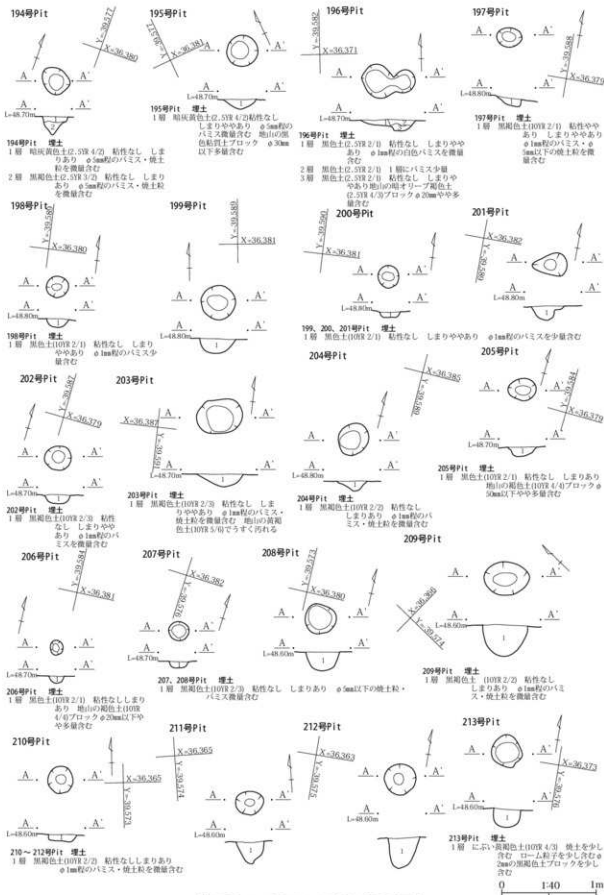


第301図 1・2区1・3・5~7・11~14・16~18・20号Pit跡平・断面図、1号Pit跡出土遺物



第302図 1・2区21・22・178～193号Pit 横平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第303図 1・2区 194~213号Pit 跡平・断面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

1・2区 Pit跡一覧表

(注) 計測値の〔 〕は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1号 Pit跡	X = 36407 Y = -39707	37 × 34cm	35cm	ほぼ円形	土師器甕、ミニチュア土器、こも履み石	埋土は不明。	
3号 Pit跡	X = 36383 Y = -39644	30 × 26cm	28cm	円形	土師器甕、灰釉陶器椀	白色軽石を含む。	1号層立柱建物の中にある。
5号 Pit跡	X = 36387 Y = -39642	52 × 43cm	64cm	円形	なし	白色軽石を含む。	1号層立柱建物の中にある。
6号 Pit跡	X = 36386 Y = -39639	48 × 43cm	70cm	円形	なし	白色軽石を含む。	1号層立柱建物の中にある。
7号 Pit跡	X = 36386 Y = -39639	43 × 36cm	55cm	円形	土師器甕	白色軽石を含む。	1号層立柱建物の中にある。
11号 Pit跡	X = 36389 Y = -39695	38 × 34cm	38cm	円形	なし		
12号 Pit跡	X = 36383 Y = -39696	32 × 26cm	20cm	楕円形	なし		
13号 Pit跡	X = 36377 Y = -39690	42 × 28cm	30cm	楕円形	なし		
14号 Pit跡	X = 36359 Y = -39689	33 × 32cm	18cm	円形	なし		
16号 Pit跡	X = 36382 Y = -39687	42 × 35cm	25cm	楕円形	なし	白色軽石を含む。	
17号 Pit跡	X = 36383 Y = -39688	34 × 30cm	19cm	楕円形	なし	白色軽石を含む。	
18号 Pit跡	X = 36389 Y = -39654	33 × 31cm	23cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
20号 Pit跡	X = 36399 Y = -39656	70 × 52cm	30cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
21号 Pit跡	X = 36400 Y = -39699	83 × 55cm	23cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
22号 Pit跡	X = 36405 Y = -39683	69 × 36cm	22cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
23号 Pit跡	X = 36382 Y = -39660	54 × 42cm	23cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
24号 Pit跡	X = 36383 Y = -39661	39 × 31cm	36cm	ほぼ円形	須恵器の杯	埋土は不明。	
25号 Pit跡	X = 36390 Y = -39658	34 × 30cm	25cm	楕円形	土師器の甕	埋土は不明。	
26号 Pit跡	X = 36404 Y = -39658	42 × 42cm	20cm	円形	土師器の甕	埋土は不明。	
27号 Pit跡	X = 36408 Y = -39661	45 × 40cm	19cm	楕円形	土師器の甕	埋土は不明。	
28号 Pit跡	X = 36397 Y = -39682	30 × 30cm	19cm	円形	土師器の甕、須恵器の杯	埋土は不明。	
29号 Pit跡	X = 36397 Y = -39685	47 × 33cm	16cm	楕円形	縄文土器の小片	埋土は不明。	
30号 Pit跡	X = 36396 Y = -39685	22 × 22cm	7cm	円形	土師器の甕	埋土は不明。	
31号 Pit跡	X = 36397 Y = -39686	31 × 29cm	16cm	ほぼ円形	土師器の甕	埋土は不明。	
32号 Pit跡	X = 36402 Y = -39685	120 × 77cm	17cm	楕丸長方形	縄文土器の小片	埋土は不明。	
33号 Pit跡	X = 36390 Y = -39695	42 × 30cm	21cm	不定形	なし	埋土は不明。	
34号 Pit跡	X = 36409 Y = -39694	26 × 24cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
35号 Pit跡	X = 36402 Y = -39700	24 × 20cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
36号 Pit跡	X = 36401 Y = -39699	30 × 24cm	13cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
37号 Pit跡	X = 36403 Y = -39697	57 × 30cm	30cm	不定形	なし	埋土は不明。	
38号 Pit跡	X = 36400 Y = -39700	50 × 40cm	30cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
39号 Pit跡	X = 36400 Y = -39699	23 × 23cm	15cm	円形	なし	埋土は不明。	
40号 Pit跡	X = 36400 Y = -39701	34 × 33cm	21cm	円形	なし	埋土は不明。	
41号 Pit跡	X = 36400 Y = -39701	34 × 20cm	25cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
42号 Pit跡	X = 36396 Y = -39702	31 × 25cm	16cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
43号 Pit跡	X = 36396 Y = -39696	23 × 23cm	16cm	円形	なし	埋土は不明。	
44号 Pit跡	X = 36397 Y = -39696	27 × 23cm	31cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
45号 Pit跡	X = 36395 Y = -39697	18 × 17cm	15cm	円形	なし	埋土は不明。	
46号 Pit跡	X = 36391 Y = -39696	23 × 22cm	11cm	円形	なし	埋土は不明。	
47号 Pit跡	X = 36391 Y = -39696	19 × 16cm	11cm	円形	なし	埋土は不明。	
48号 Pit跡	X = 36391 Y = -39695	(24) × 23cm	9cm	円形	なし	埋土は不明。	
49号 Pit跡	X = 36391 Y = -39696	31 × 30cm	17cm	円形	なし	埋土は不明。	
50号 Pit跡	X = 36388 Y = -39696	28 × 23cm	20cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
51号 Pit跡	X = 36391 Y = -39693	50 × 42cm	25cm	不定形	なし	埋土は不明。	
52号 Pit跡	X = 36391 Y = -39693	(不明) × 34cm	28cm	楕円形か	なし	埋土は不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
53号 Pit 跡	X = 36389 Y = 39994	25 × 25cm	15cm	円形	なし	埋土は不明。	
54号 Pit 跡	X = 36389 Y = 39993	32 × 28cm	24cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
55号 Pit 跡	X = 36391 Y = 39990	30 × 28cm	17cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
56号 Pit 跡	X = 36390 Y = 39988	25 × 23cm	15cm	円形	なし	埋土は不明。	
57号 Pit 跡	X = 36391 Y = 39986	40 × 32cm	22cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
58号 Pit 跡	X = 36389 Y = 39989	30 × 27cm	23cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
59号 Pit 跡	X = 36395 Y = 39983	23 × 23cm	18cm	円形	なし	埋土は不明。	
60号 Pit 跡	X = 36396 Y = 39994	32 × 27cm	12cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
61号 Pit 跡	X = 36397 Y = 39991	29 × 23cm	25cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
62号 Pit 跡	X = 36399 Y = 39991	25 × 20cm	13cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
63号 Pit 跡	X = 36397 Y = 39990	27 × 25cm	12cm	円形	なし	埋土は不明。	
64号 Pit 跡	X = 36399 Y = 39990	27 × 22cm	12cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
65号 Pit 跡	X = 36397 Y = 39989	27 × 23cm	16cm	円形	なし	埋土は不明。	
66号 Pit 跡	X = 36396 Y = 39988	19 × 19cm	15cm	円形	なし	埋土は不明。	
67号 Pit 跡	X = 36395 Y = 39989	29 × 26cm	19cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
68号 Pit 跡	X = 36396 Y = 39987	26 × 23cm	26cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
69号 Pit 跡	X = 36397 Y = 39988	25 × 25cm	13cm	円形	なし	埋土は不明。	
70号 Pit 跡	X = 36397 Y = 39988	23 × 20cm	13cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
71号 Pit 跡	X = 36399 Y = 39987	38 × 35cm	16cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
72号 Pit 跡	X = 36403 Y = 39988	30 × 25cm	17cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
73号 Pit 跡	X = 36405 Y = 39988	30 × 27cm	13cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
74号 Pit 跡	X = 36407 Y = 39989	30 × 29cm	16cm	円形	なし	埋土は不明。	
75号 Pit 跡	X = 36407 Y = 39986	30 × 24cm	21cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
76号 Pit 跡	X = 36406 Y = 39985	34 × 27cm	16cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
77号 Pit 跡	X = 36406 Y = 39983	63 × 42cm	12cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
78号 Pit 跡	X = 36405 Y = 39985	37 × 30cm	18cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
79号 Pit 跡	X = 36405 Y = 39985	53 × 39cm	30cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
80号 Pit 跡	X = 36405 Y = 39983	61 × 40cm	24cm	不定形	なし	埋土は不明。	
81号 Pit 跡	X = 36411 Y = 39981	30 × 27cm	15cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
82号 Pit 跡	X = 36411 Y = 39977	30 × 30cm	18cm	円形	なし	埋土は不明。	
83号 Pit 跡	X = 36410 Y = 39979	130 × 89cm	16cm	楕円長方形	なし	埋土は不明。	
84号 Pit 跡	X = 36409 Y = 39980	35 × 31cm	14cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
85号 Pit 跡	X = 36409 Y = 39971	25 × 22cm	19cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
86号 Pit 跡	X = 36402 Y = 39979	33 × 32cm	18cm	円形	なし	埋土は不明。	
87号 Pit 跡	X = 36402 Y = 39978	40 × 27cm	17cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
88号 Pit 跡	X = 36401 Y = 39979	32 × 26cm	16cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
89号 Pit 跡	X = 36400 Y = 39983	17 × 17cm	10cm	円形	なし	埋土は不明。	
90号 Pit 跡	X = 36398 Y = 39982	24 × 22cm	24cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
91号 Pit 跡	X = 36399 Y = 39980	28 × 24cm	25cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
92号 Pit 跡	X = 36396 Y = 39984	33 × 28cm	13cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
93号 Pit 跡	X = 36396 Y = 39981	32 × 30cm	26cm	不定形	なし	埋土は不明。	
94号 Pit 跡	X = 36393 Y = 39984	24 × 19cm	14cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
95号 Pit 跡	X = 36392 Y = 39981	27 × 24cm	15cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
96号 Pit 跡	X = 36390 Y = 39978	60 × 44cm	21cm	不定形	なし	埋土は不明。	
97号 Pit 跡	X = 36389 Y = 39986	25 × 23cm	12cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
98号 Pit 跡	X = 36384 Y = 39982	35 × 35cm	18cm	楕円形	なし	埋土は不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
99号Pa跡	X = 36381 Y = 39686	45 × 40cm	21cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
100号Pa跡	X = 36386 Y = 39669	41 × 30cm	21cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
101号Pa跡	X = 36387 Y = 39665	32 × 26cm	17cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
102号Pa跡	X = 36386 Y = 39664	50 × 45cm	23cm	不定形	なし	埋土は不明。	
103号Pa跡	X = 36385 Y = 39663	48 × 48cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
104号Pa跡	X = 36385 Y = 39659	33 × 26cm	20cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
105号Pa跡	X = 36390 Y = 39667	27 × 24cm	32cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
106号Pa跡	X = 36391 Y = 39667	26 × 24cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
107号Pa跡	X = 36391 Y = 39665	30 × 27cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
108号Pa跡	X = 36392 Y = 39667	22 × 18cm	14cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
109号Pa跡	X = 36391 Y = 39665	25 × 17cm	12cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
110号Pa跡	X = 36392 Y = 39675	19 × 16cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
111号Pa跡	X = 36394 Y = 39676	29 × 26cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
112号Pa跡	X = 36394 Y = 39676	33 × 30cm	19cm	楕円正方形	なし	埋土は不明。	
113号Pa跡	X = 36395 Y = 39679	31 × 27cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
114号Pa跡	X = 36395 Y = 39676	30 × 30cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
115号Pa跡	X = 36395 Y = 39675	34 × 32cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
116号Pa跡	X = 36398 Y = 39677	48 × 34cm	13cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
117号Pa跡	X = 36398 Y = 39676	49 × 30cm	15cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
118号Pa跡	X = 36399 Y = 39672	29 × 27cm	14cm	円形	なし	埋土は不明。	
119号Pa跡	X = 36405 Y = 39667	23 × 23cm	10cm	円形	なし	埋土は不明。	
120号Pa跡	X = 36414 Y = 39665	35 × 33cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
121号Pa跡	X = 36414 Y = 39660	45 × 40cm	21cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
122号Pa跡	X = 36407 Y = 39657	30 × 28cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
123号Pa跡	X = 36407 Y = 39656	39 × 37cm	53cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
124号Pa跡	X = 36405 Y = 39649	51 × 39cm	23cm	不定形	なし	埋土は不明。	
125号Pa跡	X = 36405 Y = 39651	39 × 32cm	17cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
126号Pa跡	X = 36403 Y = 39658	39 × 38cm	18cm	不定形	なし	埋土は不明。	
127号Pa跡	X = 36403 Y = 39664	67 × 52cm	15cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
128号Pa跡	X = 36400 Y = 39658	28 × 19cm	18cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
129号Pa跡	X = 36400 Y = 39667	31 × 26cm	13cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
130号Pa跡	X = 36400 Y = 39666	43 × 32cm	17cm	不定形	なし	埋土は不明。	
131号Pa跡	X = 36400 Y = 39664	34 × 34cm	15cm	不定形	なし	埋土は不明。	
132号Pa跡	X = 36399 Y = 39662	54 × 46cm	17cm	不定形	なし	埋土は不明。	
133号Pa跡	X = 36396 Y = 39662	40 × 35cm	22cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
134号Pa跡	X = 36398 Y = 39660	58 × 38cm	30cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
135号Pa跡	X = 36400 Y = 39658	40 × 37cm	25cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
136号Pa跡	X = 36401 Y = 39650	33 × 30cm	26cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
137号Pa跡	X = 36399 Y = 39649	36 × 36cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
138号Pa跡	X = 36399 Y = 39652	48 × 42cm	10cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
139号Pa跡	X = 36397 Y = 39652	36 × 32cm	18cm	不定形	なし	埋土は不明。	
140号Pa跡	X = 36396 Y = 39651	43 × 36cm	14cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
141号Pa跡	X = 36395 Y = 39652	33 × 30cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
142号Pa跡	X = 36394 Y = 39652	29 × 27cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
143号Pa跡	X = 36396 Y = 39658	38 × 35cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
144号Pa跡	X = 36395 Y = 39659	43 × 41cm	39cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
145号Pa跡	X = 36394 Y = 39659	48 × 43cm	40cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
146号Pa跡	X = 36395 Y = 39657	38 × 34cm	27cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
147号Pa跡	X = 36394 Y = 39656	27 × 26cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
148号Pa跡	X = 36393 Y = 39656	36 × 32cm	24cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
149号Pa跡	X = 36392 Y = 39655	40 × 37cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
150号Pa跡	X = 36391 Y = 39661	25 × 20cm	19cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
151号Pa跡	X = 36391 Y = 39659	38 × 32cm	24cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
152号Pa跡	X = 36390 Y = 39659	23 × 20cm	20cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
153号Pa跡	X = 36390 Y = 39656	34 × 30cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
154号Pa跡	X = 36388 Y = 39655	36 × 33cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
155号Pa跡	X = 36388 Y = 39654	39 × 33cm	19cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
156号Pa跡	X = 36379 Y = 39658	35 × 27cm	23cm	不定形	なし	埋土は不明。	
157号Pa跡	X = 36379 Y = 39659	37 × 34cm	23cm	不定形	なし	埋土は不明。	
158号Pa跡	X = 36379 Y = 39678	32 × 27cm	20cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
159号Pa跡	X = 36375 Y = 39669	50 × 46cm	28cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
160号Pa跡	X = 36372 Y = 39674	21 × 19cm	13cm	円形	なし	埋土は不明。	
161号Pa跡	X = 36370 Y = 39674	19 × 17cm	20cm	円形	なし	埋土は不明。	
162号Pa跡	X = 36369 Y = 39684	20 × 18cm	15cm	円形	なし	埋土は不明。	
163号Pa跡	X = 36366 Y = 39676	37 × 33cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
164号Pa跡	X = 36363 Y = 39680	28 × 23cm	16cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
165号Pa跡	X = 36363 Y = 39679	29 × 22cm	19cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
166号Pa跡	X = 36363 Y = 39676	55 × 43cm	22cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
167号Pa跡	X = 36361 Y = 39681	22 × 19cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
168号Pa跡	X = 36360 Y = 39680	35 × 35cm	26cm	円形	なし	埋土は不明。	
169号Pa跡	X = 36360 Y = 39677	23 × 21cm	17cm	円形	なし	埋土は不明。	
170号Pa跡	X = 36360 Y = 39676	36 × 29cm	23cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
171号Pa跡	X = 36360 Y = 39676	24 × 19cm	25cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
172号Pa跡	X = 36359 Y = 39677	21 × 20cm	15cm	円形	なし	埋土は不明。	
173号Pa跡	X = 36356 Y = 39679	25 × 23cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土は不明。	
174号Pa跡	X = 36353 Y = 39680	35 × 27cm	24cm	楕円形	なし	埋土は不明。	
175号Pa跡	X = 36350 Y = 39678	27 × 27cm	21cm	不定形	須恵路の杯	埋土は不明。	
176号Pa跡	X = 36350 Y = 39677	22 × 22cm	18cm	円形	なし	埋土は不明。	
177号Pa跡	X = 36368 Y = 39580	22 × 21cm	11cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
178号Pa跡	X = 36369 Y = 39583	26 × 23cm	15cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
179号Pa跡	X = 36369 Y = 39582	43 × 41cm	21cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
180号Pa跡	X = 36370 Y = 39581	50 × 30cm	17cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
181号Pa跡	X = 36370 Y = 39580	30 × 26cm	9cm	円形	土師器の裏	微量の白色軽石を含む。	
182号Pa跡	X = 36373 Y = 39583	65 × 35cm	16cm	不定形	なし		
183号Pa跡	X = 36371 Y = 39583	35 × 35cm	25cm	円形	なし		
184号Pa跡	X = 36378 Y = 39582	36 × 34cm	39cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
185号Pa跡	X = 36378 Y = 39582	36 × 28cm	30cm	楕円形	縄文土器の小片	微量の白色軽石を含む。	
186号Pa跡	X = 36379 Y = 39580	38 × 30cm	15cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
187号Pa跡	X = 36380 Y = 39580	30 × 25cm	9cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
188号Pa跡	X = 36380 Y = 39579	30 × 28cm	20cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
189号Pa跡	X = 36380 Y = 39579	30 × 28cm	20cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
190号Pa跡	X=36380 Y=39578	33×26cm	14cm	楕円形	須恵器の甕		微量の白色軽石を含む。
191号Pa跡	X=36381 Y=39577	30×26cm	15cm	円形	なし		微量の白色軽石を含む。
192号Pa跡	X=36379 Y=39578	29×28cm	9cm	円形	なし		微量の白色軽石を含む。
193号Pa跡	X=36379 Y=39578	30×26cm	17cm	楕円形	調文土器の小片		微量の白色軽石を含む。
194号Pa跡	X=36380 Y=39577	32×26cm	21cm	楕円形	なし		微量の白色軽石を含む。
195号Pa跡	X=36381 Y=39576	34×33cm	12cm	円形	刷片(チャート)		微量の白色軽石を含む。
196号Pa跡	X=36381 Y=39582	57×35cm	12cm	不定形	なし		微量の白色軽石を含む。
197号Pa跡	X=36379 Y=39589	28×21cm	9cm	楕円形	なし		微量の白色軽石を含む。
198号Pa跡	X=36379 Y=39590	24×24cm	10cm	円形	なし		少量の白色軽石を含む。
199号Pa跡	X=36380 Y=39589	38×35cm	16cm	円形	なし		少量の白色軽石を含む。
200号Pa跡	X=36381 Y=39589	24×22cm	12cm	円形	なし		少量の白色軽石を含む。
201号Pa跡	X=36382 Y=39588	43×24cm	16cm	不定形	なし		少量の白色軽石を含む。
202号Pa跡	X=36379 Y=39587	30×26cm	9cm	円形	なし		微量の白色軽石を含む。
203号Pa跡	X=36387 Y=39590	50×38cm	13cm	不定形	なし		微量の白色軽石を含む。
204号Pa跡	X=36384 Y=39590	35×31cm	12cm	楕円形	なし		微量の白色軽石を含む。
205号Pa跡	X=36380 Y=39584	30×23cm	12cm	楕円形	なし		
206号Pa跡	X=36380 Y=39589	15×14cm	9cm	円形	なし		
207号Pa跡	X=36381 Y=39576	23×20cm	7cm	円形	なし		微量の白色軽石を含む。
208号Pa跡	X=36380 Y=39573	35×32cm	20cm	不定形	なし		微量の白色軽石を含む。
209号Pa跡	X=36365 Y=39573	48×36cm	32cm	楕円形	なし		微量の白色軽石を含む。
210号Pa跡	X=36365 Y=39574	28×27cm	10cm	円形	なし		微量の白色軽石を含む。
211号Pa跡	X=36364 Y=39573	31×25cm	26cm	楕円形	なし		微量の白色軽石を含む。
212号Pa跡	X=36363 Y=39574	34×33cm	32cm	円形	なし		微量の白色軽石を含む。
213号Pa跡	X=36373 Y=39576	33×32cm	21cm	円形	土師器の甕、須恵器の甕		
214～300号Paまで欠番							
301号Pa跡	X=36362 Y=39566	37×35cm	23cm	楕円形	なし		少量の白色軽石を含む。 27号住居に穿う屋外柱穴の可能性が ある。
302号Pa跡	X=36362 Y=39568	70×35cm	24cm	不定形	なし		少量の白色軽石を含む。 27号住居に穿う屋外柱穴の可能性が ある。
303号Pa跡	X=36362 Y=39569	36×35cm	15cm	円形	なし		少量の白色軽石を含む。 27号住居に穿う屋外柱穴の可能性が ある。
304号Pa跡	X=36361 Y=39570	42×39cm	23cm	円形	なし		白色軽石を含む。 27号住居に穿う屋外柱穴の可能性が ある。
305号Pa跡	X=36372 Y=39580	18×16cm	17cm	円形	なし		少量の白色軽石を含む。柱穴列の可能性が ある。
306号Pa跡	X=36373 Y=39578	18×16cm	8cm	円形	なし		少量の白色軽石を含む。柱穴列の可能性が ある。
307号Pa跡	X=36373 Y=39577	38×35cm	7cm	楕円形	なし		少量の白色軽石を含む。柱穴列の可能性が ある。
308号Pa跡	X=36373 Y=39575	25×24cm	6cm	円形	なし		少量の白色軽石を含む。柱穴列の可能性が ある。
309号Pa跡	X=36374 Y=39573	25×19cm	8cm	楕円形	なし		埋土は不明。
310～400号Paまで欠番							
401号Pa跡	X=36402 Y=39696	27×22cm	23cm	楕円形	なし		埋土は不明。
402号Pa跡	X=36380 Y=39695	39×33cm	47cm	楕円形	なし		埋土は不明。
403号Pa跡	X=36375 Y=39693	31×23cm	14cm	楕円形	なし		埋土は不明。
404号Pa跡	X=36361 Y=39687	30×23cm	21cm	不定形	なし		埋土は不明。
405号Pa跡	X=36358 Y=39688	71×48cm	28cm	不定形	なし		埋土は不明。
406号Pa跡	X=36362 Y=39686	25×24cm	20cm	円形	なし		埋土は不明。
407号Pa跡	X=36352 Y=39685	40×32cm	18cm	楕円形	なし		埋土は不明。
408号Pa跡	X=36350 Y=39688	31×25cm	18cm	楕円形	なし		埋土は不明。
409号Pa跡	X=36349 Y=39685	20×17cm	24cm	楕円形	なし		埋土は不明。
410号Pa跡	X=36349 Y=39685	43×31cm	30cm	楕円形	なし		埋土は不明。
411号Pa跡	X=36357 Y=39659	29×26cm	37cm	ほぼ円形	なし		埋土は不明。

第3章 検出遺構と出土遺物

5 井戸跡

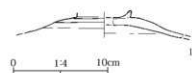
1・2区1号井戸跡(旧称1・2区SE-1)

位置: X=36378 Y=-39642 規模: 105×102cm 深度: 113cm

形状: 平面形は円形、断面形状はフラスコ状を呈する。

重複遺構: 10号溝跡と重複し、相互の埋土の様より溝跡の方が古いものと判断される。出土遺物: 埋土中より須恵器蓋の小片、須恵器甕の小片、須恵器杯の小片、土師器杯の小片が出土している。

所見: 断面形状から察して、井戸枠を持たない素掘り井戸と考えられる。



1号井戸 埋土
1層 濃い黄褐色土(00R 4/0) 微量の白色軽石
(粒径20mm・埋土中に含まれず多い)
2層 暗褐色土(10R 3/0) 少量の黄色砂質ローム小ブ
ロック(φ5-15mm)を含む

第304図 1・2区1号井戸跡平・断面図、出土遺物

1・2区1号井戸跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	埋土中 天井部 破片	口径 - 柄径 5.5 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細糠 ② 還元焼 良好 ③ 灰(EY 6/1)	ロクロ成形。 内面: 天井部上半へう割り、天井部下半横ナデ、揃み貼付。 内面: 天井部回転ナデ。	

1・2区2号井戸跡(旧称1・2区SE-2)

位置: X=36362 Y=-39633 規模: 158×141cm

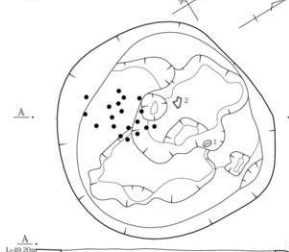
深度: 113cm 形状: 平面形状は隅丸方形、断面形状は筒状を呈

する。重複遺構: なし 出土遺物: なし

所見: 平面形状が方形を呈し、断面にも挟れがみられないことから、木組みの井戸枠が設置されていた可能性が高い。

3号井戸(SE-3)

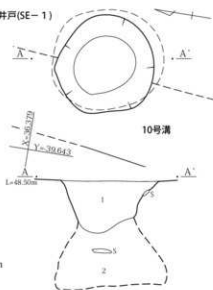
1面



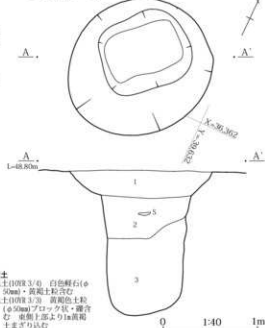
3号井戸 埋土
1層 黒褐色土(10R 3/0) 白色軽石(φ
10mm)・焼土粒含む 礫・小石多数

第305図 1・2区2・3号井戸跡平・断面図

1号井戸(SE-1)



2号井戸(SE-2)



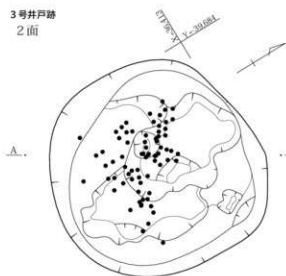
2号井戸 埋土
1層 暗褐色土(10R 3/0) 白色軽石(φ
50mm)・黄褐色土粒含む
2層 暗褐色土(10R 3/0) 黄褐色土粒
(φ50mm)ブロック状・礫含む
木組上部より1m黄褐色
土まじり込む

1・2区3号井戸跡(旧称1・2区SE-3)

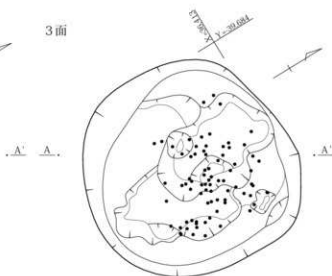
位置: X=36412 Y=-39683 規模: 242×230cm

深度: 136cm 形状: 平面形状は円形、断面形状は搦り

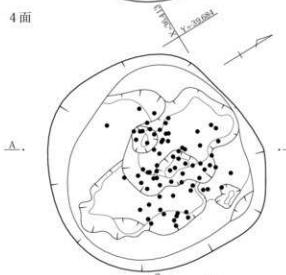
鉢状を呈する。重複遺構: なし 出土遺物: 須恵器杯と須恵器甕の小片が出土している。所見: 埋土中には多量の円礫が含まれていることから、崩落が著しく形状の復元が難しいが、石組みの井戸枠が存在していた可能性が高い。

3号井戸跡
2面

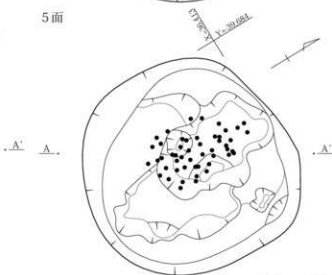
3面



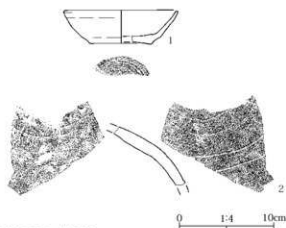
4面



5面



6面



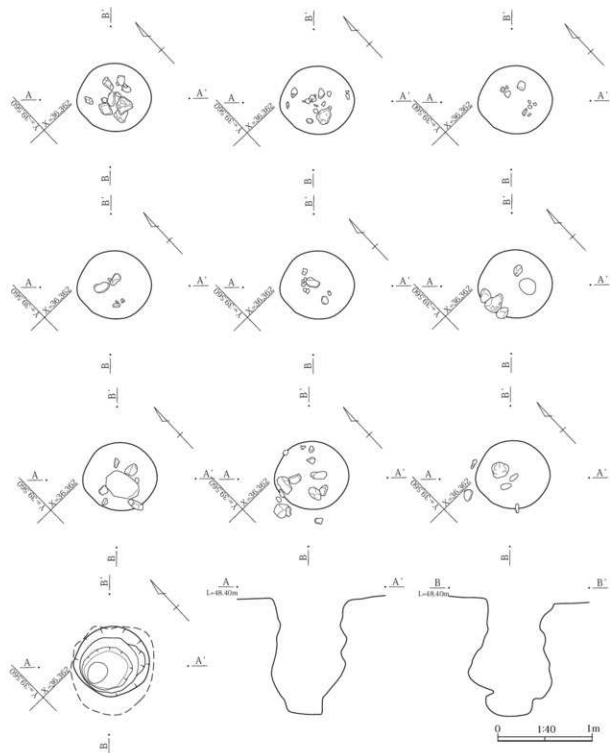
第306図 1・2区3号井戸跡平面図、出土遺物

1・2区3号井戸跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	底面+85cm L1脚部~底部 破片	L径 11.8 底径 6.5 淵高 3.5	①粗砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③灰(7.5Y 6/1)	口ケ口整形。 外面:L1脚部~底部に転子。底部に転糸切り。 内面:L1脚部~底部に転子調整。	
2	須恵器 瓶	底面+73cm 胴部 破片	L径 - 底径 - 淵高 -	①粗砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③灰(8.4/0)	外面:胴部に転子。 内面:胴部に転子調整。	

1・2区4号井戸跡 (旧称1・2区SK-31)

位置：X=36362 Y=-39559 規模：80×73.5cm 深度：126cm 形状：平面形状は円形、断面形状は不定形を呈する。
 重複遺構：なし 出土遺物：埋土中より須恵器杯・甕片が出土している。また、黒色土器壺は付近にある27号住居跡
 カマドから出土した破片と接合する。 所見：埋土中に小円礫が含まれ石組みの井戸枠も想定されるが、礫の量が少なく、井戸断面の各所が抉れていることから、素掘り井戸であったと考えられる。



第307図 1・2区4号井戸跡平・断面図



第308図 1・2区4号井戸跡出土遺物

1・2区4号井戸跡出土遺物観察表

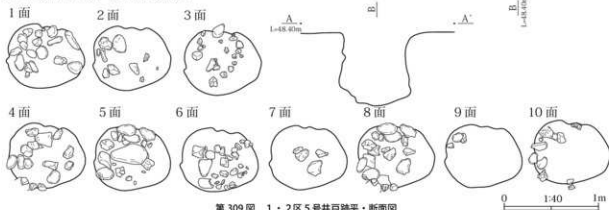
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 9.0 器高 —	① 粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰オリーブ(GY 5/2)	ロクロ成形。 外面：底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナツ調整。	
2	須恵器 長頸瓶	埋土中 胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 暗灰青(3/3)	ロクロ成形。 外面：胴部回転ナツ。 内面：胴部回転ナツ調整。	
3	黒色土器 壺	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 粗砂粒 ② 機化焼 良好 内面黒色 ③ 赤い槽(7.5/7.3)	外面：底部回転ナツ。高台取付。 内面：底部ナツ調整。ヘラ磨き。内面燻し。	27号付方マ下埋土の土層と接合。

1・2区5号井戸跡 (旧称1・2区SK-33)

位置：X=36362 Y=-39554

規模：87×66cm 深度：79cm 形状：平面形状は円形、断面形状は不定形を呈する。重複遺構：なし
出土遺物：土師器製の小片が出土している。

所見：埋土中には多量の円礫が含まれていることから、崩落が著しく形状の復元が難しいが、石組みの井戸枠が存在していた可能性が高い。

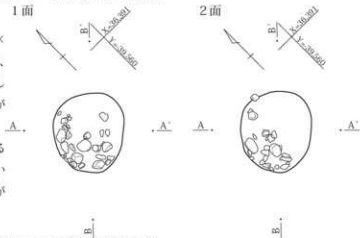


第309図 1・2区5号井戸跡・平面図

1・2区6号井戸跡 (旧称1・2区SK-35)

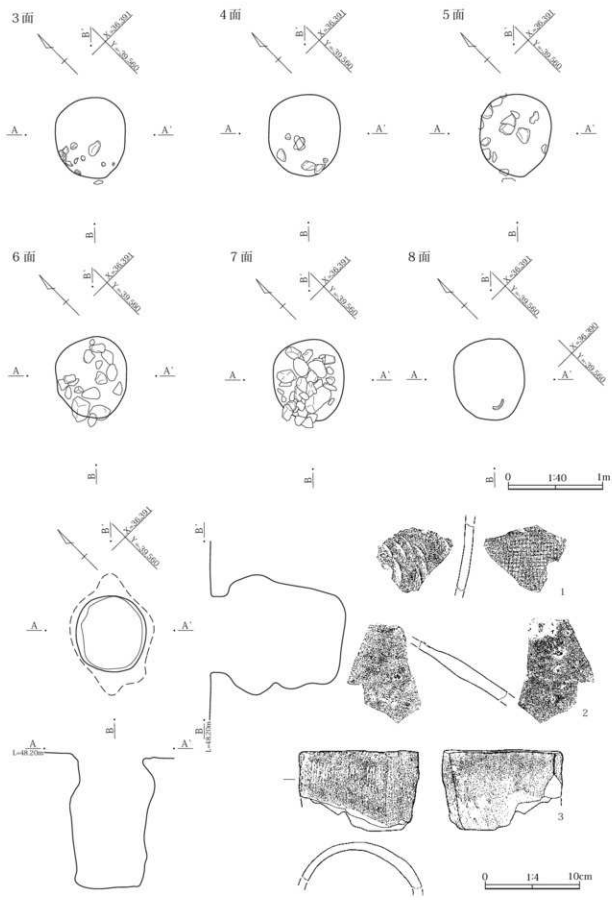
位置：X=36390 Y=-39561 規模：80×75cm 深度：143cm 形状：平面形状は楕円形、断面形状は不定形を呈する。重複遺構：なし
出土遺物：平瓦、須恵器製片、土師器小片が出土している。

所見：埋土中には多量の円礫が含まれていることから、崩落が著しく形状の復元が難しいが、石組みの井戸枠が存在していた可能性が高い。



第310図 1・2区6号井戸跡平面図(1)

第3章 検出遺構と出土遺物



第311図 1・2区6号井戸跡平・断面図(2)、出土遺物

1・2区6号井戸跡出土遺物観察表

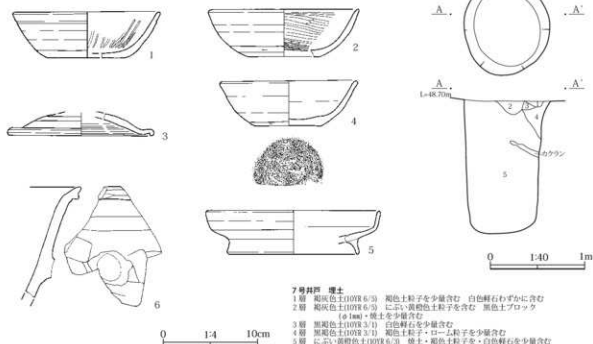
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 甕	埋土中 胴部 底径— 口径— 器高—	口径— 底径— 器高—	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(10Y 5/1)	ロウ口整形。 外面：胴部格子印き目。 内面：胴部ア字歯。	
2	須恵器 甕	埋土中 胴部 底径— 口径— 器高—	口径— 底径— 器高—	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ オリーブ黄(5Y 6/3)	ロウ口整形。 外面：胴部自然釉付着。 内面：ア字歯がわずかに残る。	胴部外面に自然 釉付着。
3	土製品 丸瓦	底面直上 胴中 瓦中 破片 側面長—	胴中 瓦中 破片 側面長—	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 焼締 ③ 黒(2.5Y 2/1)	内外面へラ削り。 厚さ1.7cm	

1・2区7号井戸跡 (旧称1・2区SK-74)

位置：X=36387 Y=-39575 規模：100×90cm 深度：141cm

形状：平面形状は楕円形、断面形状は筒状を呈する。重複遺構：なし

出土遺物：土師器杯・甕片、須恵器・蓋・甕・高台付盤片などが出土している。



7号井戸 埋土

- 1層 褐色土(10YR 6/3) 褐色土粒子を少量含む 白色軽石わずかに含む
 2層 褐色土(10YR 6/3) 細かい黄褐色土粒子を含む 黒色土ブロック
 (6.1mm) 黄土を少量含む
 3層 黒褐色土(10YR 3/1) 白色軽石を少量含む
 4層 褐色土(10YR 3/1) 褐色土粒子・ローム粒子を少量含む
 5層 赤い黄褐色土(10YR 6/3) 黄土・褐色土粒子を少量含む

第312図 1・2区7号井戸跡平・断面図、出土遺物

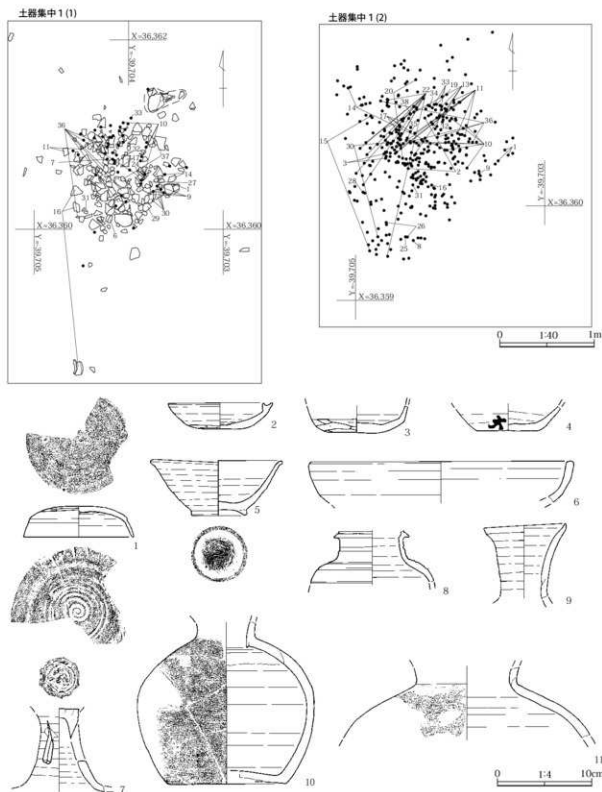
1・2区7号井戸跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯	埋土中 口縁部~底部 口径— 底径— 器高—	口径 15.4 底径 8.0 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色処理 ③ 灰黄(10YR 6/2)	外面：口縁部~体部回転ナデ調整後、へう巻き。内面焼し。 体部に斜紋刷毛文。	
2	黒色土器 椀	埋土中 口縁部~底部 口径— 底径— 器高—	口径 15.7 底径 7.4 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色処理 ③ 灰黄(10YR 6/2)	外面：口縁部~体部回転ナデ調整後、へう巻き。内面焼し。 内面：口縁部~体部回転ナデ調整後、へう巻き。内面焼し。	
3	須恵器 鉢蓋	埋土中 口縁部~天井部 破片 口径— 器高—	口径— 器高—	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロウ口整形。 外面：天井部上半へラ削り、天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：天井部~口縁部回転ナデ。	
4	須恵器 杯	埋土中 口縁部~底部 口径— 底径— 器高—	口径 14.2 底径 7.0 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロウ口整形。回転右回り。口縁部やや内反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 高台付盤	埋土中 口縁部~底部 破片 口径— 器高—	口径 18.2 底径 13.7 器高—	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロウ口整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。高台付着。 内面：口縁部~体部回転ナデ調整。	
6	須恵器 甕	埋土中 口縁部~胴部 口径— 底径— 器高—	口径— 底径— 器高—	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(10Y 5Y 7/1)	ロウ口整形。 外面：口縁部~胴部回転ナデ。胴部に把手貼付。 内面：口縁部~胴部回転ナデ調整。	把手貼付。

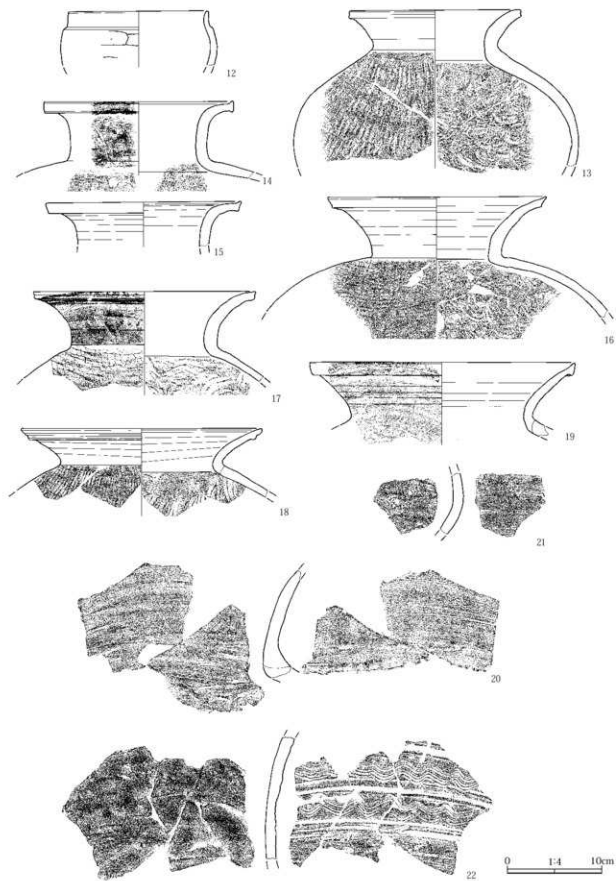
第3章 検出遺構と出土遺物

6 その他の遺構

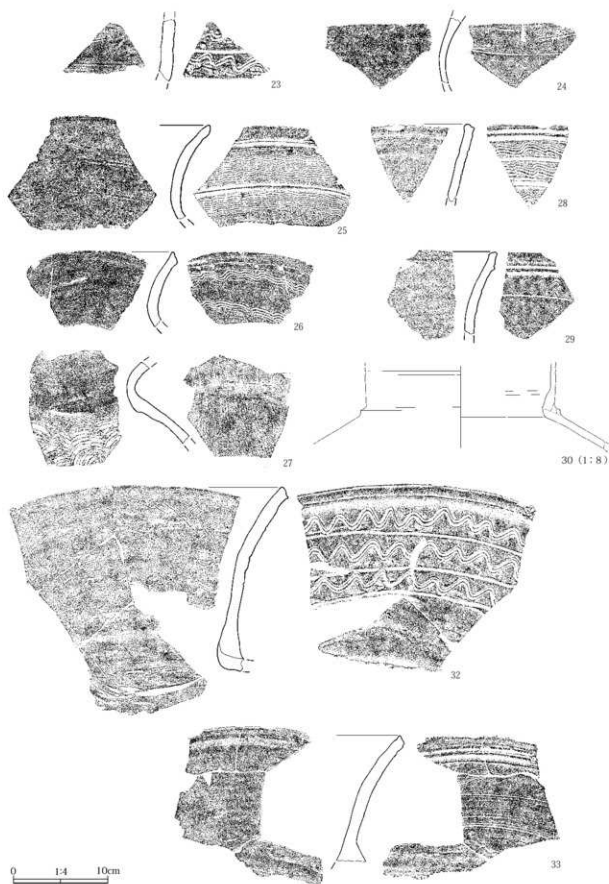
1・2区1号土器集中 位置：X=36360 Y=-39704 重複遺構：なし 出土遺物・所見：掘り込みを伴わず、他の遺構確認面よりやや高い標高約49.50mの面の1.5m四方ほどの範囲で、659点の遺物が集中して出土する。出土遺物の中には室内で溶着し歪んだ須恵器大甕片も多く含まれ、祭祀献上遺物とは考えにくい。



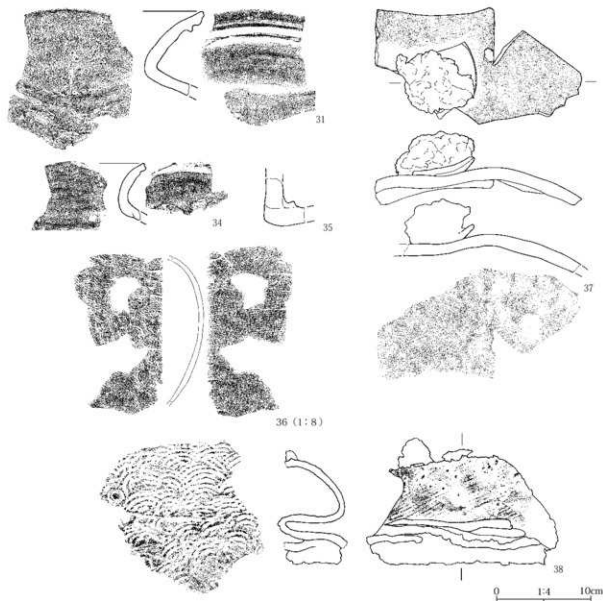
第313図 1・2区1号土器集中平面図、出土遺物(1)



第314図 1・2区1号土器集中出土遺物(2)



第315図 1・2区1号土器集中出土遺物(3)



第316図 1・2区1号土器集中出土遺物(4)

1・2区1号土器集中出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	口縁部～天井部 2/3	口径 11.5 底径 — 器高 3.25	① 細砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(10Y 6/1)	ロクロ整形、回転右回り。 外面：天井部上半は回転へつ割り。天井部周辺部に凹線が1条走る。 内面：天井部から口縁部はナデ。	
2	須恵器 杯身	口縁部～底部 1/4	口径 11.0 底径 — 器高 2.7	① 細砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(白灰8/0)	ロクロ整形、回転右回り。 外面：口縁部から体部はナデ、底部は回転へつ割り。 内面：ナデ。口縁部に蓋受けが貼付。	
3	須恵器 杯	底部 3/4	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(10Y 6/1)	ロクロ整形、回転右回りか。 外面：体部ナデ、底部は特ちへつ割り。 内面：体部・底部ともナデ。	
4	須恵器 杯	体部下端～底部 破片	口径 — 底径 6.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形、回転右回り。 外面：口縁部～体部の回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部の回転ナデ調整。	胴部外面に墨書。
5	須恵器 碗	口縁部～底部 1/2	口径 13.6 底径 5.8 器高 5.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(白灰 3/7)	ロクロ整形、回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部の回転ナデ、底部の回転ナデ調整。高台貼付。 内面：口縁部～底部の回転ナデ調整。	
6	須恵器 盤	口縁部 破片	口径 27.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 墨灰(2.5Y 3/1)	ロクロ整形、内面に陶灰付着 外面：脚部ナデ 内面：脚部ナデ	
7	須恵器 高杯	脚部 上半	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(灰 5/0)	ロクロ整形、杯身は貼付。脚部上半に3面透かし。 外面：脚部ナデ 内面：脚部ナデ	

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区1号土器集中出土土器観察表

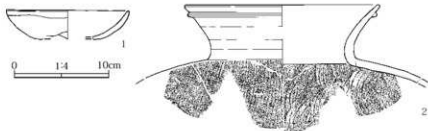
番号	種類 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	土質			成形手法 成形手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
8	須恵器 甕	頸部～胴部上半 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 青黒(SB 2/1)		ロクロ整形、回転方向不明。 外面：胴部に小凸帯、胴部から胴部に5本の凹線が走る。 内面：胴部から胴部ナデ。 ロクロ整形、内面に降灰が付着		
9	須恵器 長頸瓶	胴部～頸部 破片	口径 8.7 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒 ② 還元焼 ③ 青黒(SB 1.7/1)		外面：胴部ナデ 内面：胴部ナデ ロクロ整形、回転石回りか。内面に輪積み痕が残る。頸部で胴部を転付。 外面：胴部は下部は回転へつ削り、その上から頸部まではカキ目。底部は器面剥離。 内面：胴部はナデ。		
10	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 12.4 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 5/1)		ロクロ整形。 外面：胴部はカキ目。 内面：胴部はナデ。		
11	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 14.6 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(SY 7/1)		外面：胴部横ナデ。胴部へつ削り。 内面：胴部はナデ。		
12	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 17.8 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 明石焼(SY 3/2)		胴部輪積み、胴部ロクロ整形。 外面：胴部横ナデ。胴部平打り。 内面：胴部横ナデ。胴部同心円状アテ具痕が残る。		
13	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 19.8 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 浅黄(D.SY 7/3)		胴部ロクロ整形。 外面：胴部ナデ。胴部は回転によるカキ目か 内面：胴部ナデ。胴部は縦方向カキ目か		
14	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 20.7 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 粉(SY 6/6)		ロクロ整形。 外面：胴部下半に縦方向カキ目が残る。カキ目後ナデ。 内面：胴部ナデ。		
15	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 23.0 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(T.SY 6/1)		胴部ロクロ整形、胴部輪積み 外面：胴部平打り。甲き痕後ナデ。 内面：胴部ナデ。胴部は同心円状アテ具痕が残る。		
16	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 23.4 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 1/6)		胴部ロクロ整形、胴部輪積み 外面：胴部ナデ。胴部は格子目状甲き後、ナデ。甲き痕はかすかに残る。 内面：胴部ナデ。胴部は同心円状アテ具痕が残る。		
17	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 25.4 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 粉(SY 6/6)		ロクロ整形、胴部は輪積みか。頸部で胴部を転付。 外面：胴部ナデ。胴部は平打り。甲き痕が残る。 内面：胴部ナデ。胴部は同心円状アテ具痕が残る。		
18	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 27.9 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 黄緑(D.SY 5/6)		ロクロ整形、胴部で胴部を転付。 外面：胴部下半に縦方向カキ目が残る。カキ目後ナデ。 内面：胴部ナデ。		
19	須恵器 甕	頸部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 6/3)		ロクロ整形、胴部で胴部を転付。 外面：凹線区画内2段の波状文。 内面：胴部ナデ。		
20	須恵器 甕	頸部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 6/3)		ロクロ整形。 外面：カキ目。 内面：胴部ナデ。		
21	須恵器 甕	頸部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 5/1)		ロクロ整形。 外面：胴部上半凹線による区画、区画内に波状文 内面：胴部ナデ。		
22	須恵器 甕	頸部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 4/4)		ロクロ整形。 外面：胴部上半凹線による区画、区画内に波状文 内面：胴部ナデ。		
23	須恵器 甕	頸部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 明灰(SY 3/3)		外面：凹線による区画とその間に波状文を施す。 内面：胴部ナデ。		
24	須恵器 甕	頸部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 青黒(SB 1.7/1)		ロクロ整形 外面：胴部上半凹線による区画、区画内に波状文 内面：胴部ナデ。		
25	須恵器 甕	胴部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 明青黒(SB 3/1)		胴部ロクロ整形 外面：凹線と小凸帯による区画、区画内に波状文 内面：胴部ナデ。		
26	須恵器 甕	胴部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 5/1)		ロクロ整形 外面：胴部2段の波状文 内面：胴部ナデ。		
27	須恵器 甕	頸部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 5/5)		胴部ロクロ整形、胴部輪積み 外面：胴部には波状文、胴部は降灰が付着し、整形不明。 内面：胴部はナデ。胴部は同心円状アテ具痕が残る。		
28	須恵器 甕	胴部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 青灰(SY 5/1)		ロクロ整形、胴部は頸部で転付。 外面：胴部凹線によって区画され、3段の波状文。 内面：胴部はナデ。		
29	須恵器 甕	胴部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 明灰(SY 3/3)		ロクロ整形、胴部は頸部で転付。 外面：胴部凹線によって区画され、3段の波状文。 内面：胴部はナデ。		
30	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 明灰(SY 3/1)		胴部と胴部は頸部で転付後輪積みを送らす。 外面：胴部はナデ。胴部は平打り。甲き痕がくすかに残る。 内面：胴部はナデ。胴部はナデ。		
31	須恵器 甕	胴部～胴部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 明灰(SY 3/3)		胴部ロクロ整形 外面：胴部ナデ。胴部は降灰が付着のため整形不明。 内面：胴部ナデ。胴部はアテ具痕が残る。		
32	須恵器 甕	胴部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 明灰(SY 3/3)		ロクロ整形、胴部は頸部で転付。 外面：胴部上半は3本の凹線によって区画され、3段の波状文、下半はナデ。 内面：胴部はナデ。		
33	須恵器 甕	胴部 破片	口径 ー 底径 ー 器高 ー	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰(SY 6/3)		ロクロ整形、胴部と胴部は頸部で転付。 外面：上半は凹線による区画、区画内に波状文。 内面：胴部はナデ。		

1・2区1号土器集中出土遺物観察表

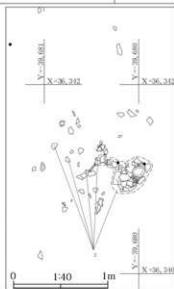
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
34	須恵器 甕	口縁部 破片	口径 — ① 細砂粒・粗砂粒 底径 — ② 還元焼 器高 — ③ 灰白(8.0)		ロクロ整形 外面：口縁部ナデ 内面：口縁部ナデ	
35	須恵器 甕	頸部 破片	口径 — ① 細砂粒・粗砂粒 底径 — ② 還元焼 器高 — ③ オリープ重(50Y 2/1)		胴部と口縁部は胴部で接合後袖強帯を貼付。 外面：降灰が厚く付着。 内面：口・胴部ともナデ	
36	須恵器 甕	胴部 破片	口径 — ① 粗砂粒 底径 — ② 還元焼 器高 — ③ 灰白(5.0)			
37	須恵器 甕	胴部 破片	口径 — ① 粗砂粒 底径 — ② 還元焼 器高 — ③ 灰白(5.0)			
38	須恵器 甕	胴部 破片	口径 — ① 粗砂粒 底径 — ② 還元焼 器高 — ③ 灰白(6.0)			

1・2区2号土器集中

位置：X=36341 Y=-39680 重複遺構：3号溝跡と重複するが、遺構確認時の様相から溝跡の方が古いものと判断される。出土遺物・所見：土師器杯3点、須恵器杯1点、須恵器甕53点、土師器甕10点などが1.5m四方の範囲で出土しており、1号土器集中と同時期のものと考えられる。



第317図 1・2区2号土器集中平面図、出土遺物



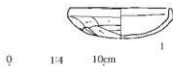
1・2区2号土器集中出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	口縁部~底部 破片	口径 12.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 良好 ② 還元焼 ③ 黄(10Y 7/6)	外面：口縁部横ナデ、体部~底部へう削り。 内面：口縁部~体部横ナデ、底部ナデ。	
2	須恵器 甕	口縁部~胴部上位 破片	口径 20.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 ③ に赤い黄緑(10Y 6/4)	口縁部はロクロ整形、胴部とは胴部で貼付。 外面：口縁部はナデ、胴部は平打叩き痕が残る。 内面：口縁部はナデ、胴部は同心の凹状ナデ具痕が残る。	

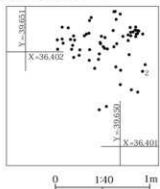
1・2区4号土器集中

位置：X=36402 Y=-39650

重複遺構：なし。出土遺物・所見：土師器杯16点、土師器甕267点、須恵器杯4点、須恵器甕11点が出土している。他の遺構確認面よりやや高い標高約49.20mの面よりの出土で、1・2号土器集中と同時期のものと考えられる。



第318図 1・2区4号土器集中平面図、出土遺物



1・2区4号土器集中出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	口縁部~底部 1/4	口径 10.6 底径 — 器高 3.2	① 細砂粒 良好 ② 還元焼 ③ 黄(10Y 6/9)	外面：口縁部横ナデ、体部~底部へう削り。 内面：口縁部~体部横ナデ、底部持ちナデ。	
2	須恵器 不明	台部の一部のみ残存	口径 — 脚径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄(2.5Y 6/2)	表面：縦方向のへう削り。	

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区1号不明遺構(旧称=1・2区SX-01)

位置：X=36362 Y=-39591 主軸方向：N-24°-W 規模：7.6m×7.6m 形状：隅丸正方形

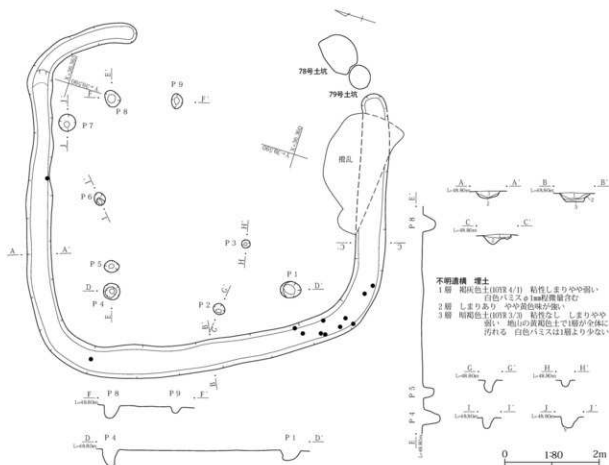
柱穴：溝に沿って並ぶ9基のピットが検出され、径は18cm～43cm、深さは15cm～40cmを測る。P1、P4、P8がL字状等間隔に並ぶ。

周溝：東面を除き幅40cm～70cm、深さ13cm～19cmを測る溝が方形に巡る。

重複遺構：78・79号土坑と重複はするものの、直接的な切合い関係はない。単独土坑ではなく本遺構周溝の一部である可能性が高い。

出土遺物：須恵器検片。

所見：調査区中央部の南寄りに位置する。周辺の住居跡群や3号掘立柱建物跡と軸をほぼ同じくし、また、周溝・柱穴の埋土がそれらと類似することから、周辺集落に付随する施設跡と考えられる。遺構の性格としては、周囲を溝で囲まれた1間×1間の掘立柱建物跡で東正面を入口とする小堂宇・小社が推定され、溝・柱穴の深度より考えて、上面が削平された状態での検出で、旧態は周囲よりやや高い盛り土状に作られていた可能性が高い。



第319図 1・2区1号不明遺構平・断面図

第2項 4区の遺構と遺物

1. 調査区の概要

4区は遺跡の中央に位置し、農道を境に北は1・2区、東は5区に接し、用水路を境に南は6区に接する。調査工程は、南西隣接水田への用水確保のため、西半部のみ収穫季後まで調査を待たねばならず、2工程に分けての調査となった。

以下に調査区の特徴を記す。

〈道路状遺構〉 調査区南西端部において、東山道駅路跡と推察される道路状遺構の北側側溝の一部(14・15号溝跡)が検出された。道路状遺構についての詳細は、第4項にて記す。

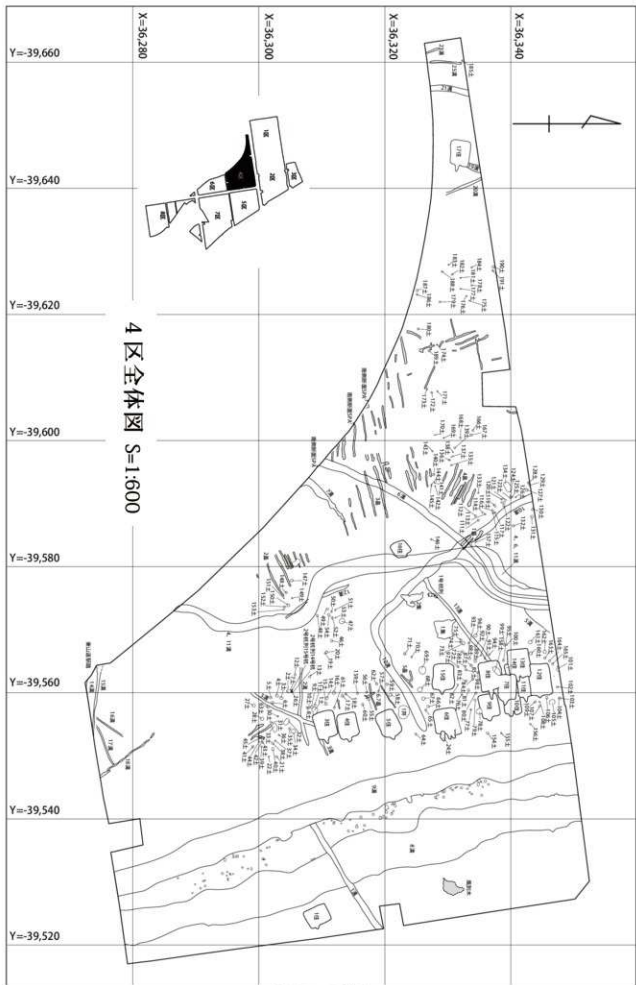
〈溝跡〉 調査区東側において、隣接の1・2区より延長の8・9号溝跡がほぼ並行して検出された。1・2区概要でも触れたように、溝跡は遺跡全体を420mほどにわたり縦走る。溝跡は渡良瀬川取水の古代基幹用水路と考えられ、先行する9号溝跡が河川氾濫の影響を受けて埋没後、復旧困難との判断か、隣接して同規模の8号溝が新設されるが、8号溝跡も同様の河川氾濫の直撃に合い埋没する。溝跡の側～底面はこの時のものか水流によるポッド状の窪みが随所に見られる。1号溝跡は、9号溝跡に接続する形で検出され、この接続部分において何らかの方法で水嵩を上げて1号溝跡に分水したものと考えられる。10号溝跡は、用途は不明なれど、北に1・2区12号溝跡に接続するものと考えられる。4・6・11号溝跡は、北の1・2区16号溝跡に接続し、重複関係から集落に先行する水路跡と考えられる。

(溝跡については、「第6項 溝跡」に記載)

〈住居跡〉 検出された竪穴住居跡は、その位置関係より大きくは三分される。まずは、調査区中央北半の一群で、8・9号溝跡と一定距離を開けてきれいに並列する。この一群は北の1・2区中央の一群へと連なる。これとは距離を置いて、東端5区寄りに1軒、西端部に1軒の竪穴住居跡が検出され、それぞれ東・南方向に集落が展開するものと思われるが、調査区外の様相がつかまず、明らかではない。また、1・2区でも見られたように、住居群からやや離れた位置に孤立する小規模住居跡(16号住居跡)が検出されている。

〈特殊な遺構〉 調査区中央北寄りにおいて、2基の集石遺構が検出された。両遺構からは祭祀を性格付ける遺物の出土はないが、1号集石遺構からは青銅製帯金具(陀尾)が出土している。





2. 竪穴住居跡

4区1号住居跡(旧称4区5J-1)

位置: X=36309 Y=-39524 主軸方向: N-63°-E

規模: 3.0m×3.8m 平面形状: 隅丸長方形

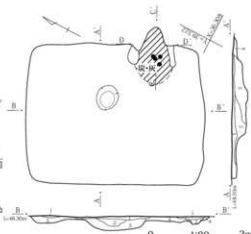
残存深度: 0cm~5cm 埋没土: 上面を削平され、ほぼ床面が露出した状態での検出であり、埋没の状況については明らかではない。

床面: 黒褐色粘質土を用いて3~10cmほどの貼り床を敷設している。カマド: 北東壁南東寄りに位置する。遺存状態は悪く、燃焼部使用面に炭化物・灰が僅かに認められる程度である。

柱穴: 掘り方調査時において、住居中央より検出された円形の落ち込みが、その位置より柱穴となる可能性がある。

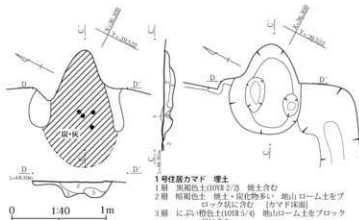
貯蔵穴: なし。壁周溝: 不明。重複遺構: なし。

掘り方: 住居中央部および各コーナー部付近の地山ローム土を10~32cmほど土坑状に掘り窪める。遺物: カマド埋土内で土器片が僅かに出土したのみである。所見: 調査区の東端に、他の竪穴住居跡の一群とは溝跡を隔てて単独で位置し、平面形状などもやや異なることから、別群に属するものと推察される。



1号住居 埋土
 1層 黒褐色土(10TR 2/2) 粘質土・白色軽石・焼土粒を含む(掘り床)
 2層 黒褐色土(10TR 2/2) 褐色土(0TR 4/4)ブロック・白色軽石を含む
 3層 黒褐色土(10TR 2/2) 2層より褐色土混入多い 白色軽石少量
 4層 黒褐色土(10TR 4/4) 少量の黒褐色土(10TR 2/2)を含む 白色軽石なし

第331図 4区1号住居跡平・断面図



第332図 4区1号住居跡掘り方平面図

4区3号住居跡(旧称4区5J-3)

位置: X=36310 Y=-39555 主軸方向: N-77°-E

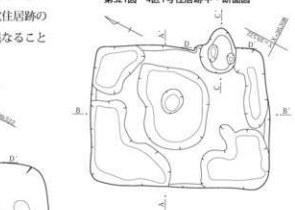
規模: 4.2m×3.2m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 32cm~54cm 埋没土: 少量の白色軽石とローム粒を含む灰黄褐色へに深い黄褐色砂質土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。床面: 掘り方埋土であるローム土を含む黒褐色土で埋め固め、床面とする。

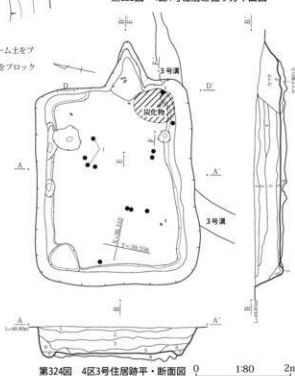
カマド: 北東壁中央やや南東寄りに位置する。燃焼部使用

3号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(10TR 4/2) 少量の白色軽石(0TR C1+標名二つ高)を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土(10TR 4/2) 少量の白色軽石とローム粒を含む
- 3層 灰黄褐色砂質土(10TR 4/2) 少量の白色軽石とローム粒(ローム)小ブロック(φ 5~10mm)を石と多量のロームブロック(φ 5~20mm)を含む
- 4層 深い、灰黄褐色砂質土(10TR 4/2) 微量の白色軽石と多量のローム小ブロック(φ 5~10mm)を含む
- 5層 灰黄褐色砂質土(10TR 4/2) 微量の白色軽石と多量の黒褐色土ブロック(φ 10~30mm)を含む
- 6層 黒褐色土(10TR 3/2) 粘質土 しまりやや強い。ローム粒を20mm以下をやや多量含む 全体にロームで汚れる 8層より黒味が強い
- 8層 深い、灰黄褐色土(10TR 4/3) しまりが強く ローム粒φ 20mmを多く含む



第332図 4区1号住居跡掘り方平面図



第334図 4区3号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

面の一部で灰層が認められた。遺存状態は悪く、袖部は殆ど残らない。煙道部は緩やかに立ち上がる

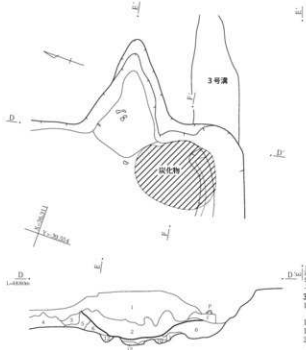
柱穴：掘り方調査で5穴が検出された。貯蔵穴：なし。

壁周溝：幅32～58cm、深3～9cmを測る溝が、ほぼ全周する。

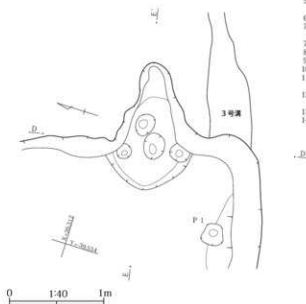
重複遺構：1号土坑跡及び3号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より本遺構は1号土坑よりも古く、3号溝より新しいものと判断された。

掘り方：地山ローム土を全体に4～20cmほど掘り窪める。

出土遺物：出土量はわずかであるが、壁際で土師器小型甕（No. 3）の破片が出土した他、埋土中から石製紡錘車（No. 4）などが出土している。



第325図 4区3号住居跡カマド平・断面図



第327図 4区3号住居跡カマド掘り方平面図

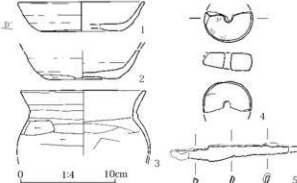


第326図 4区3号住居跡掘り方平面図



3号住居 カマド埋土(F-F)
 1層 灰黄褐色砂質土(0.0R 5/0) やや粘質 しまり強いロームと2層の埋土と土を混雑含む
 2層 黒色土(0.0R 2/1) 粘性なし しまり強 表面がやや凹凸、灰粉・焼土粉を15%ほど含む
 3層 黒色土(0.0R 2/1) 灰黄褐色土(0.0R 4/3)・焼土粉を3%含む

3号住居 カマド埋土
 1層 灰黄褐色砂質土(0.0R 4/2) 多量の白色軽石(洗関中+極名二ヶ所)を含む 砂質ローム粒子を含む
 1層 灰黄褐色砂質土(0.0R 4/2) 多量の白色軽石と砂質ローム粒子を含む
 1層 灰黄褐色砂質土(0.0R 4/2) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロックを含む
 2層 明黄褐色土(0.0R 6/6) 明黄褐色砂質ローム土に少量の埋土小ブロックを含む [カマド天井部埋土]
 3層 暗褐色土(0.0R 3/3) ロームブロックφ20mm程20%含むハミスなし 1・2層よりやや粘質
 4層 ローム地山
 5層 灰黄褐色砂質土(0.0R 4/2) 1層土ブロックとロームブロックφ30mm程の埋土 粘土は含まない 粘土は砂の増減少
 6層 灰色(7.5R 3/1) ロームにφ20mm程の粘土を20%含む
 7層 灰黄褐色土(0.0R 4/2) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロックと少量の焼土小ブロックを含む
 7層 灰黄褐色土(0.0R 4/2) 7層からローム小ブロックの混入少
 8層 明黄褐色砂質ローム土(0.0R 6/6)
 9層 灰層 少量の焼土ブロック・明黄褐色砂質ローム小ブロックを含む
 10層 暗オリーブ褐色土(2.5R 4/3) ロームと黒色土の粘性あり しまりやや強い
 11層 黒褐色土(0.0R 2/2) 粘性なし しまりやや強い φ20mm以下のローム小ブロック 混雑含む φ5mm以下の焼土粉を少量含む
 12層 灰黄褐色土(0.0R 5/3) 多量の砂質ローム粒子と少量の焼土粉を含む [カマド掘り方埋土]
 13層 黒褐色土(0.0R 3/2) より黒味が強い埋土土だがしまりがやや強く臭味も強い
 14層 黒褐色土(0.0R 3/2) 13層にφ5mm以下の焼土粉を少量含む



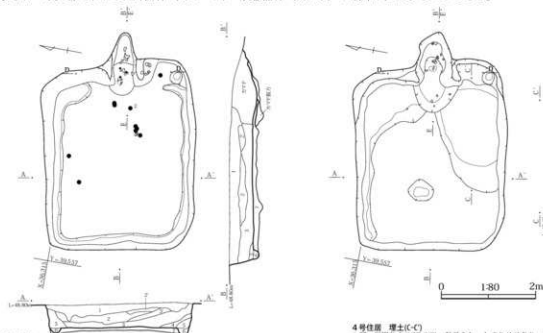
第328図 4区3号住居跡出土遺物

4区3号住居跡遺物観察表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法		備考
				①胎土	②焼成	③色調	成形手法	調整手法	
1	須恵器 杯	床面+6cm	L径 13.2	① 粗砂粒	—	—	ロウコ型形。口縁部やや外反。	外周：口縁部～体部回転ナデ。底部回転車切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。 口ロウ型形。回転左回り。	
		口縁部～底部	底径 8.2	② 還元焰	良好	—	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
		破片	高さ 3.1	③ 灰(0YR 5/1)	—	—	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
2	須恵器 杯	埋土中	L径 —	① 粗砂粒・粗砂粒	—	—	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
		体部～底部	底径 7.4	② 還元焰	良好	—	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
		破片	高さ —	③ 灰黄(2.5YR 5/1)	—	—	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
3	土師器 小壺	壁際直下	L径 13.0	① 粗砂粒	—	—	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
		口縁部～胴部上端	底径 —	② 還元焰	良好	—	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
		破片	高さ —	③ 赤い焼(7.5YR 6/4)	—	—	外周：口縁部～体部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		

4区4号住居跡(旧称4区S1-4)

位置：X = 36314 Y = -39554 主軸方向：N-77° - E 規模：3.8m×3.2m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：44cm～49cm 埋没土：上位は少量の白色軽石とローム粒を含む灰黄褐色砂質土が自然堆積するが、中位に堆積する赤い黄褐色砂質土は、20mm大のロームブロック・黒褐色土ブロックを多量に含み、その堆積状態が住居南側から流入したような様相を呈することから、埋没途上に人為的に投げ込まれた可能性がある。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした褐色土で埋め固め、床面とする。カマド：北東壁中央やや南東寄りに位置する。両袖とも残り、遺存状況は比較的良好。柱穴：住居南東コーナー部の壁溝と壁との間で、径28cm深さ28cmを測るビットを検出し、位置的に柱穴の一穴と考えられる。貯蔵穴：なし。壁周溝：カマド付近を除いて幅24～44cm、深さ3～18cmを測る溝が巡る。重複遺構：なし。掘り方：深度は6～10cmを測り、住居中央部を高く、壁際を深く掘り窪める。また、中央部には径45～55cm深さ15cmを測る土坑状の窪みを有する。出土遺物：出土量が少なく、床面直上で土師器の台付裏(No. 4)、埋土中から土師器杯(No.1・2)・須恵器杯(No. 3)の破片が出土するのみである。



4号住居 埋土

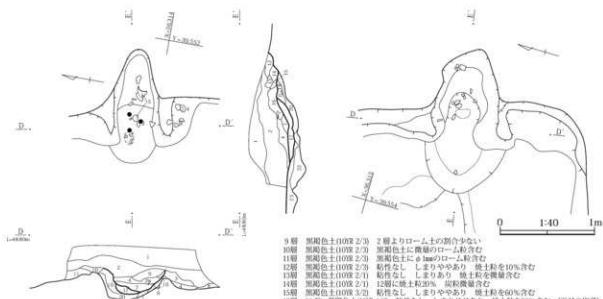
- 1層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 多量の白色軽石(既述・種名不詳)を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 微量の白色軽石と少量のローム粒を含む
- 3層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 微量の白色軽石と少量のローム粒を含む
- 4層 赤い黄褐色砂質土(10YR 4/3) 微量の白色軽石と少量のロームブロック(φ5～20mmA)・黒褐色土ブロック(φ5～20mmA)を含む
- 5層 黒褐色土(10YR 3/2) 少量のロームブロック(φ5～20mmA)を含む
- 6層 赤い黄褐色砂質土(10YR 4/3) 少量のロームブロック(φ5～20mmA)を含む
- 7層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし、しまりやや、1層よりやや多量含む。全体にロームが浮く
- 7層 黒褐色土(10YR 3/2) より黒味が強い・腐殖埋土だがしまりが6層よりやや強く黄味が強い

4号住居 埋土(C)

- 1層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし、しまりややあり、ローム粒φ20mm以下を少量、焼土粒φ10mm以下を微量含む
- 2層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし、しまりややあり、ロームブロックφ30mm以下を少量含む
- 3層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし、しまりやや、1層よりやや多量で層より少量含む [人為埋設]

第329図 4区4号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



4号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(10R 2/3) ローム粒 ϕ 10mm以下を10%含む パリスを少量含む 粘性なししりやあり
- 2層 黒褐色土(10R 2/3) 1層と同じ土色でパリスなく ロームブロック ϕ 20mm以下を含む 粘土粒層を含む \times 2層埋土
- 3層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし しりやあり 粘土粒 ϕ 10mm以下20%含む ローム粒で全体の中やめれる
- 4層 黒褐色土(10R 2/3) 3層の土色にローム粒で全体に強くめれる ロームブロック ϕ 30mm・粘土粒 ϕ 10mm以下20%・灰粒 ϕ 10mmを2粒含む [区 7層直上]
- 5層 ローム 粘性ややあり しりやあり
- 6層 ローム 粘性あり しりやなし カマド床面を整えた土 5層の土色に粘土粒 ϕ 0.5mm以下10%含む
- 7層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし しりやあり 粘土粒 ϕ 10mm以下40%含む
- 8層 ロームブロック・黒褐色土(10R 2/3)ブロック ϕ 30mm以下の粘土 旧段階の崩壊土

第330図 4区4号住居カマド平・断面図



第332図 4区4号住居出土遺物

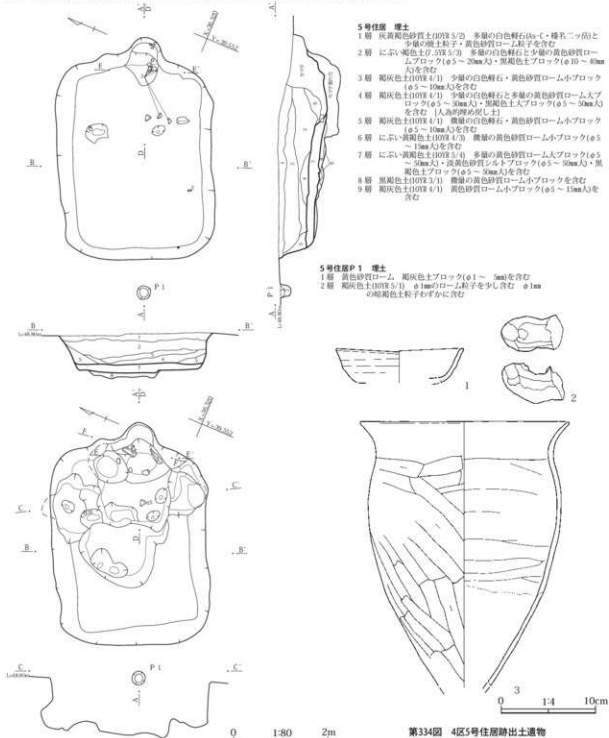
4区4号住居跡遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯	埋土中 底部	口径 7.0 底径 7.0 高さ 3.0(5R 6/6)	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 内面黒色地埋	口口型形か。 外面：底部回転ヘラ削り。 内面：底部削り後ヘラ磨き。	
2	須恵器 杯	床面直上 1層部-1体部	口径 - 底径 - 高さ -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 耐火(10R 4/1)	口口型形。 外面：1層部-1体部回転ナデ。 内面：1層部-1体部回転ナデ調整、漆付着。	漆付着土器。
3	須恵器 杯	埋土中 底部	口径 - 底径 8.0 高さ -	① 細砂粒 ② 酸化焼 ③ にふい-焼(7.5R 6/4)	口口型形。回転削り。 外面：底部回転削り切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	
4	土師器 台付皿	床面直上 台部	口径 8.4 底径 - 高さ -	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 灰黄黒(10R 6/2)	台形残存。 外面：台部傾ナデ。 内面：台部傾ナデ。	
5	土師器 甕	カマド埋土中 1層部-1胴部	口径 20.4 底径 - 高さ -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にふい-焼(5R 6/4)	輪削み。 外面：1層部傾ナデ。胴部上位傾、中・下位斜め方向ヘラ削り。 内面：1層部傾ナデ。胴部ヘラナデ。	

4区5号住居跡(旧称4区J-5)

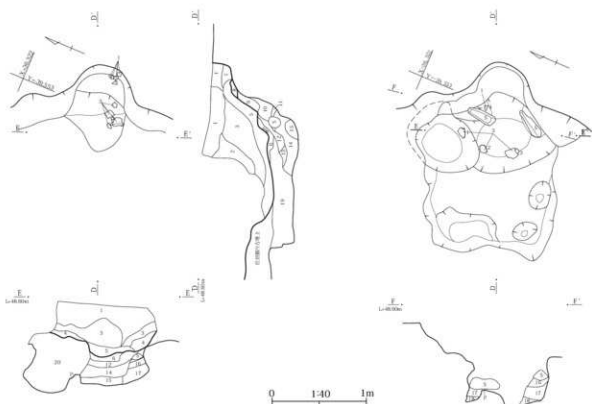
位置：X=36320 Y=-39555 主軸方向：N-67°-E 規模：4.2m \times 3.2m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：62cm～65cm 埋没土：多量の白色軽石などを含む灰黄褐色砂質土～多量のローム・黒褐色土ブロックを含む褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：埋土の状況から7層上を床面として調査を行ったが、カマド使用面との比高差が生じるなどの違和感があり、15cmほど下の7層下を床面とした場合はカマドとの比

高差はなくなるため、本住居跡は新旧2面の床面をもつものと考えられる。カマド：北東壁中央やや南東寄りに位置する。使用面灰層はごく一部でしか確認できず、遺存状態は悪い。掘り方調査時に袖石が2個倒れた状態で確認された。右袖部に有ったと思われる袖石は、一部に被熱による変色が見られるため、使用時に露出に近い状態であったものと思われる。柱穴：床面上においては検出し得なかったが、掘り方調査時に検出されたピットの内の2穴が柱穴となる可能性がある。貯蔵穴：不明。壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：住居北東半のカマド周辺に31cmほどを測る深い掘り方を有する。出土遺物：カマドの他は出土量が少ない。所見：本住居跡は、床面およびカマド使用面が不明瞭で、使用痕跡が顕著にみられないため、改修直後の廃絶が想定される。



第333図 4区5号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



5号住居 カマド遺土

- 1層 におい黄褐色土(010R 5/3) 少量の白色軽石(A5c・種名ニツ)と多量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 1層 におい黄褐色土(010R 5/3) 1層土に少量の焼土粒子を含む [埋道埋土]
- 2層 におい黄褐色土(010R 5/3) 少量の黄色砂質ロームブロック(φ10～60mm)・黒色土ブロック(φ10～80mm)を含む
- 3層 褐色土(010R 4/4) 少量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)・多量の黒色土ブロック(φ10～60mm)を含む
- 3層 におい黄褐色土(010R 5/3) 多量の黄色砂質ローム粒子を含む
- 3層 におい黄褐色土(010R 5/3) 多量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)を含む [天井部 焼土]
- 6層 灰褐色土(010R 5/2) 多量の黄色砂質ローム粒子と焼土小ブロックを含む
- 7層 におい黄褐色土(010R 5/3) 多量の焼土粒子と少量の灰褐色土を含む
- 8層 灰褐色 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)と少量のローム粒子を含む
- 9層 におい黄褐色土(010R 5/3) 多量のローム粒子と少量の焼土小ブロックを含む [カマド振り方壁土]
- 10層 におい黄褐色土(010R 5/3) 少量の焼土を含む 褐色色の粒子を少し含む [カマド振り方壁土]
- 11層 褐色土(010R 4/4) 微量の褐色色の粒子を含む [カマド振り方壁土]
- 12層 におい黄褐色土(010R 5/4) 微量の焼土を含む 褐色色の小ブロックを含む [カマド振り方壁土]

第336図 4区5号住居跡カマド掘り方平・断面図

- 13層 黒褐色土(010R 2/2) 少量の黄色砂質ロームを含む [カマド掘り方壁土]
- 14層 黒褐色土(010R 2/2) 少量の焼土を含む 黄色砂質ローム粒子を少し含む
- 15層 におい黄褐色土(010R 5/4) 少量の黄色砂質ローム小ブロックを含む
- 16層 灰褐色土(010R 5/2) 多量の黄色砂質ローム粒子・小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 17層 黒褐色土(010R 2/2) 少量の黄色砂質ローム粒子・小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 18層 におい黄褐色土(010R 5/4) 少量の白色軽石を含む
- 21層 黒褐色土(010R 2/2) 少量の黄色砂質ロームブロック(φ10～20mm)を含む
- 19層 黒褐色土(010R 2/2) 少量の黄色砂質ロームブロック(φ10～20mm)・焼土・灰化物を含む
- 20層 灰褐色土(010R 4/4) 黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)を含む

第335図 4区5号住居跡カマド平・断面図

4区5号住居跡遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須臾器 杯	遺埋土中、遺埋方壁土中	口径 13.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	口口整形。	歪みあり。
		口径部・体部 底面のみ欠損	底径 —	② 還元焰 良好	外面：口縁部～体部回転ナデ。	
2	須臾器 不明	床面+3cm 把手部欠	口径 —	① 細砂粒・粗砂粒	把手部付。把手の長さ7.0cm、中3.6cm、高さ3.1cm。	把手部付か、破か。
			底径 —	② 還元焰 良好		
3	土師器 甕	床面直上、遺埋土中、 遺埋方壁土中 口縁部～胴部 1/4	口径 21.8	① 細砂粒・粗砂粒	輪削み。	歪みあり。
			底径 —	② 還元焰 良好		
			器高 —	③ 粉7.5YR7/6	外面：口縁部横ナデ。胴部縦上位横。その他斜め方向ヘラ削り。	
					内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

4区6号住居跡(旧称 4区SJ-6)

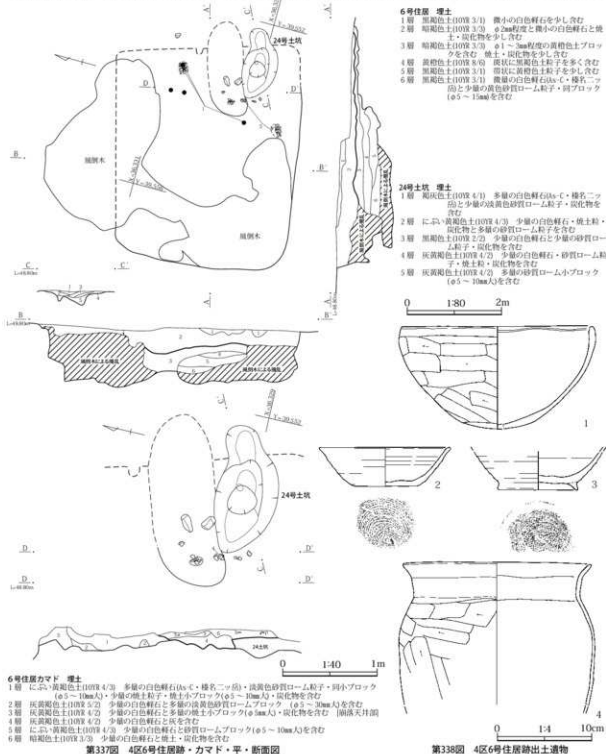
位置：X=36330 Y=-39555 軸方向：N-75°-E 規模：4.6m×3.8m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：4cm～52cm 埋没土：白色軽石などを含む黒褐色～暗褐色土が埋没し、遺存状態がわるいものそのもの堆積自然埋没の様相を呈するものと思われる。床面：掘り方壁土であるロームを主体とした黒褐色土で埋め戻り、床面としている。カマド：北東壁の中央南東寄りに位置する。住居北東壁は遺存状況が悪いものの、灰を含む使用面直上に天井部が崩落している状況は確認できた。袖石は2個出土したが、埋土中において現位置を留めていない。

柱穴：確認できなかった。

貯蔵穴：調査時に24号土坑として検出した遺構が、埋土に焼土粒と炭化物を含んでおり、位置的に本住居の貯蔵穴となるものと思われる。**壁周溝：**確認できなかった。**重複遺構：**なし。**掘り方：**住居中央の残存部分において深度25～48cmを測る掘り方が確認された。**出土遺物：**全体に遺存状態が悪く、出土量も少ないが、床面直上で土師器器鉢(No. 1)の破片が出土した他、埋土中から須恵器杯(No. 2)・碗(No. 3)の破片が数点出土している。また、隣接する15号住居跡P1埋土中から出土の土師器杯(漆附着)と、本住居埋土中のものと接合された。

所見：倒木による攪乱によって住居の多くが壊されており、住居南東部からカマドおよび北西部が残っているのみである。住居中央部の一部に床面が確認されるものの、その下部にも樹木痕が入り込んでおり、床面も隆起した状態である。



第3章 検出遺構と出土遺物

4区6号住居跡遺物観察表

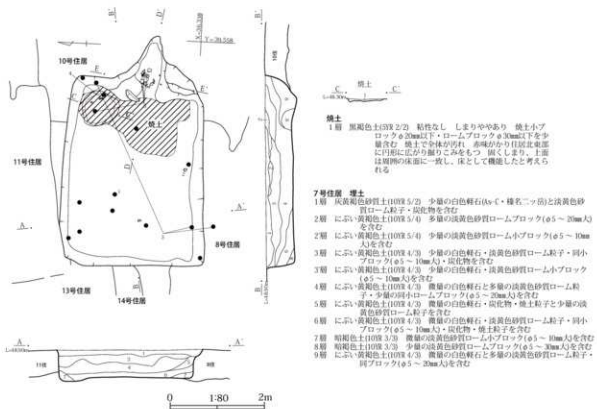
番号	種類 器種	出土位置	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 修整手法	備考
1	土師器 鉢	床面直上 口縁部～底部 1/4	口径 20.0 底径 - 器高 10.8	①細砂粒・粗砂粒 ②酸化腐 良好 ③橙(2.5YR 6/6)	輪削み。 外面：L線部横ナデ。体部上半横方向の下半斜め方向へウレリ。底部へウレリ。 内面：L線部横ナデ。体部～底部ヘラナデ。	鉄鉢丸。
2	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/6	口径 13.6 底径 6.6 器高 4.1	①細砂粒・粗砂粒 中硬 ②還元腐 やや不良 ③灰(2.5Y 7/2)	ロク口型。回転石回り。L線部外反。 外面：L線部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 椀	埋土中 床面直上～底部 破片	口径 8.3 底径 - 器高 -	①細砂粒・粗砂粒 ②還元腐 やや不良 ③灰(2.5Y 7/1)	ロク口型。回転石回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台縁付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
4	土師器 甕	床面直上・埋埋土中 口縁部～胴部上半 破片	口径 19.7 底径 - 器高 -	①細砂粒・粗砂粒 ②酸化腐 良好 ③にぶい和(7.5Y 5/4)	輪削み。 外面：L線部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向へウレリ。 内面：L線部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

4区7号住居跡(旧称4区S1-7)

位置：X=36339 Y=-39561 軸方向：N-95°-E 規模：4.0m×3.0m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：46cm～60cm 埋没土：白色軽石とロームブロックを含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方を持たず、地山ローム土をそのまま床面とする。カマド：南東壁の中央やや南寄り位置する。両袖部は残らず、燃焼部使用面から煙道部にかけて薄い灰層面が確認できた。この灰層面直上には焼土化した天井部の崩落が認められる。カマドの中心軸よりやや左にずれ所に支脚石が据えられ、最大幅19cm高さ19cmの自然石で使用面より12cm程埋め込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。柱穴：なし。貯蔵穴：住居北東コーナー部に80×72cmの楕円形で、深さ7cmを測る浅い土坑が1基検出され、貯蔵穴となる可能性もある。壁周溝：なし。重複遺構：8号・10号・11号・13号14号住居跡と重複する。遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構はいずれの重複住居跡よりも新しいものと判断された。

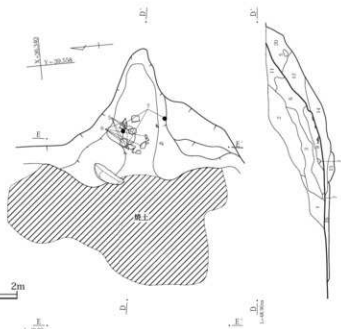
掘り方：カマドのみに掘り方を有する。出土遺物：埋土中から須恵器杯 (No. 3・4)・蓋 (No. 1・2) などの破片が出土している。



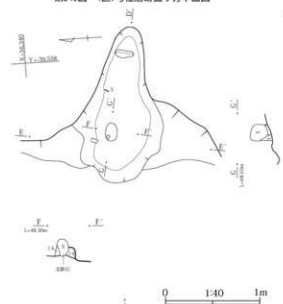
第339図 4区7号住居跡平・断面図



第340図 4区7号住居跡掘り方平面図

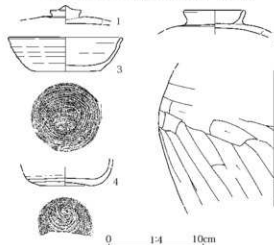


第341図 4区7号住居跡カマド平・断面図



第342図 4区7号住居跡カマド掘り方平・断面図

- 7号住居カマド・地土
- 1層 黒炭色土(10VR 2/3) 粘性なし。しまりあり。ローム粒 ϕ 30mm程度・焼土粒 ϕ 10mm程度を含む。
 - 2層 黒褐色土(10VR 2/3) 粘性なし。しまりあり。ローム粒 ϕ 2mm以下を少量・焼土粒 ϕ 5mm程度を含む。
 - 3層 暗褐色土(10VR 3/3) 粘性なし。しまりあり。ローム粒 ϕ 30mm以下をやや多量・焼土粒・灰粒 ϕ 5mm程度を微量含む。
 - 4層 黒色土(10VR 2/3) 粘性なし。しまりややあり。ローム粒 ϕ 30mm程度少量を含む。
 - 5層 黒色土(10VR 2/3) ローム・ブロック。
 - 6層 黒褐色土(10VR 2/3) 粘性なし。しまりややあり。ローム粒 ϕ 10mm 7層 灰色砂(10IR 4/1) 地土等含まない。他の層には含まれない。
 - 8層 近い・黄褐色土(10IR 3/4) ローム土。粘性なし。しまり強い。破面に部分的に焼土粒 ϕ 10mm程度を含む。
 - 9層 黒色土(7, 5IR 2/2) 粘性なし。しまり強い。ローム粒 ϕ 10mm以下少量を含む。
 - 10層 黄褐色土(10IR 3/3) 粘性なし。しまり強い。
 - 11層 近い・黄褐色土(10IR 6/4) 粘性なし。しまりややあり。黒褐色土でうす全体を含む。ローム土 [カマド構築材の崩壊]。
 - 12層 黒褐色土(10VR 2/3) 粘性なし。しまりやや強い。焼土粒 ϕ 5mm以下少量を含む。掘り方。
 - 13層 灰黄褐色土(10VR 5/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒を含む。下方に多量の焼土ブロック(ϕ 5 ~ 30mm)を含む。[天井部崩壊土]。
 - 14層 近い・黄褐色土(10IR 4/2) 上面に薄く灰層。多量の焼土粒・灰化物・淡黄色砂質ローム土粒子を含む。[焼灰層]。
 - 15層 灰黄褐色土(10VR 5/2) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(ϕ 5 ~ 10mm)を含む。[カマド掘り方層土]。
 - 16層 暗褐色土(10VR 3/4) 少量の焼土粒子・灰化物・ローム小ブロックを含む。[掘り床面]。
 - 17層 黒褐色土(10VR 3/2) 粘性なし。しまりやや強い。焼土粒 ϕ 2mm程度を含む。
 - 18層 暗褐色土(10VR 3/3) 粘性なし。しまりやや強い。焼土粒 ϕ 10mm以下微量を含む。
 - 19層 オリーブ褐色土(23R 4/2) 粘性なし。しまりやや強い。ロームを主体に黒褐色土を含む。
 - 20層 黒褐色土(10VR 3/2) 粘性なし。しまりやや強い。 ϕ 5mm以下の焼土粒を微量含む。



第343図 4区7号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

4区7号住居跡遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 製器手法	備考
1	須恵器 杯蓋	底面+9cm 横部+天井部 破片	口径 — 横径 3.3 器高 —	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ におい・糟色 7/4	ロウ口整形。 外面：天井部回転ヘラ削り。端み取付。 内面：天井部回転ナデ。	
2	須恵器 杯蓋	床面+13cm 底部 破片	口径 — 横径 6.2 器高 —	① 羅砂粒 ② 還元焰 ③ におい・糟色 10/12(7/2)	ロウ口整形。回転石削り。 外面：底部回転ヘラ削りか。端み取付。 内面：底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面+17cm 口縁部+底部 1/2	口径 11.8 底径 7.6 器高 3.6	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰0.0(7/1)	ロウ口整形。回転石削り。口縁部やや外反。 外面：口縁部+底部回転ナデ。底部回転糸切り。後、底部 周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部+底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面+15cm 体部下端+底部 破片	口径 — 底径 5.5 器高 —	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰0.7・3(6/1)	ロウ口整形。回転石削り。 外面：底部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺+体部 下にかけて回転ヘラ削り。 内面：体部+底部回転ナデ調整。	
5	土師器 甕	甕理土中、甕側方埋 土中 口縁部+胴部上半 破片	口径 19.2 底径 — 器高 —	① 羅砂粒・粗砂粒・細 砂 ② 酸化焰 良好 ③ におい・糟色 7/4	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位斜め方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	No. 6、7と同一 個体。
6	土師器 甕	甕理土中 胴部	口径 — 底径 — 器高 —	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ におい・糟色 5/3	輪組み。 外面：胴部上位横、中位斜め方向ヘラ削り。 内面：胴部ヘラナデ。	No. 5、7と同一 個体。
7	土師器 甕	甕理土中 胴部下半+底部 破片	口径 — 底径 4.0 器高 —	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ におい・糟色 6/4	輪組み。 外面：胴部+底部ヘラ削り。 内面：胴部+底部ヘラナデ。	No. 5、6と同一 個体。

4区8号住居跡(旧称4区J-8)

位置：X=36336 Y=-38662 主軸方向：N-82°-E

規模：4.6m×3.4m 平面形状：隅丸長方形

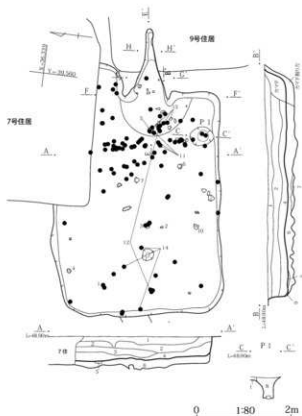
残存深度：40cm～52cm 埋没土：少量の白色軽石、焼
土粒、炭化物、ロームブロックを含むにぶい黄褐色土で
埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。

床面：床の大半を掘り方埋土であるロームを主体とした
褐色土で埋め固めて床面とし、一部に4cm程の厚さにて
ぶい黄褐色土を用いた貼り床が敷設されている。

カマド：東壁中央やや南寄りに位置する。遺存状態は比
較的良好。両袖部共に残り、地山を掘り残す形で構築さ
れている。燃焼部使用面には広く灰が堆積し、焚き口中央
部には径15cm深さ10cmを測る灰落しピットも検出され
た。煙道部は長く緩やかに立ち上がる。柱穴：住居中
央西寄りと南東部壁際に検出され、南東部壁際の柱穴は、
径52×38cm、深さ44cmを測り、底面には径9cm程の円礫
が据えられていた。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。

重複遺構：7号・9号住居跡と重複し、遺構確認～掘
削時の埋土の様相より、本遺構は7号住居跡より古く、
9号住居跡より新しいものと判断される。(【新】7号
住-8号住-9号住【旧】) また、掘り方調査時に中央
北西寄りに検出された土坑(158号土坑)については、
埋土が住居掘り方埋土とは異質であることから、住居よ
りも古い遺構と判断される。掘り方：全体に地山ローム
土を15cm程掘り窪め、一部を土坑状に掘り窪める。

出土遺物：埋土中からは土師器の小型甕 (No.11・13)、
黒書須恵器杯 (No.6・8)・蓋 (No.2)・椀 (No.7) の他、
漆の付着した須恵器杯の破片も出土している。

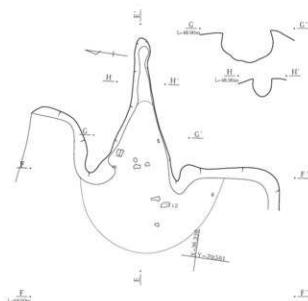


8号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(019 5/2) 多量の白色軽石(5~10種各二つ)と少量の炭化物・焼
土粒を含む
- 2層 黒褐色土(019 3/2) 多量の白色軽石と少量の炭化物・焼土粒子を含む
- 3層 におい・黄褐色土(019 4/3) 少量の白色軽石・炭化物・焼土粒子・淡黄色砂質ローム・
小「ワラ」(φ5～10mm)を含む
- 4層 におい・黄褐色土(019 4/3) 少量の炭化物・焼土粒子・淡黄色砂質ロームブロック(φ
5～20mm)を含む
- 5層 におい・黄褐色土(019 4/3) 淡黄色砂質ローム粒子を含む 掘り跡
- 6層 褐色土(019 4/4) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～20mm)と少量の炭化物
を含む (住居掘り方埋土)
- 7層 褐色土(019 4/4) 多量の炭化物と少量の焼土小ブロック(φ3～5mm)を含む
- 8層 におい・黄褐色土(019 4/3) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む
住居掘り方埋土を切っている為 体面上から見られた1層で形成された面は門礫が
覆われていることから柱状と考えられるが応答する他の柱が無く 位置的にカマド
などから推察する可能性もある
- 9層 黒褐色土(019 2/2) 粘性なし しまりややあり φ10mm以下の白色バミスとφ10mm
以下のローム粒を少量含む

第344図 4区8号住居跡平・断面図

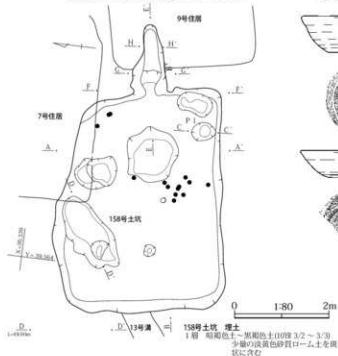
第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



8号住居 カマド埋土

- 1層 黒色土(10R 2/3) 粘性なし。しまりややあり。白色パミス(φ5mm以下)・砂礫(中)中にローム粒φ10mm以下少量・焼土粒φ5mm以下散在含む
- 1層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし。しまりやや強い。砂礫・白色パミスφ5mm以下少量含む
- 1層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし。しまりややあり。白色パミス濃量含み。下層1/4はローム・麻屑層土。堀上・一部地回り残しを中心に形成
- 2層 暗褐色土(10R 3/3) 粘性なし。しまりあり。焼土粒φ10mm以下少量・パミスφ5mm以下少量含む
- 3層 暗褐色土(10R 2/3) 粘性なし。しまりやや強い。焼土粒φ10mm以下・パミスφ5mm以下少量含む
- 4層 暗褐色土(10R 2/3) 粘性なし。しまりやや強い。φ3mm以下のパミス濃量・φ10mm以下の焼土粒少量で層より多く含む
- 5層 暗褐色土(10R 2/3) 粘性なし。しまりやや強い。6層の底を全体にやや多量・焼土粒φ10mm以下を少量含む
- 6層 灰層(10R 2/1) しまり強い
- 7層 暗褐色土(10R 2/3) 粘性なし。しまりやや強い。焼土・ローム粒φ10mm以下を少量に含む。堀の一部
- 8層 濃い黄褐色土(10R 5/3) 粘性なし。しまりあり。下層1~3cmは暗赤褐色土。5R 3/3で全体が焼土化。[カマド天井部]
- 9層 灰層。多量の灰化物・焼土小ブロッカ(φ3~15mm大)を含む
- 10層 濃い黄褐色土(10R 4/3) 少量の黄色砂質ローム小ブロッカ(φ3~10mm大)・少量の焼土粒子を含む。[下層埋方土]
- 11層 濃い黄褐色土(10R 4/3) 多量の黄色砂質ロームブロッカ(φ3~30mm大)を含む
- 12層 濃い黄褐色土(10R 4/3) 少量の黄色砂質ローム粒子と数箇所の白色解石を含む。カマド埋り方埋土

第345図 4区8号住居跡カマド平・断面図



第346図 4区8号住居跡掘り方平・断面図



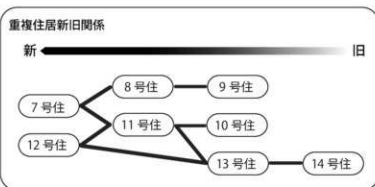
第347図 4区8号住居跡出土遺物



第3章 検出遺構と出土遺物

4区8号住居跡出土遺物観察表

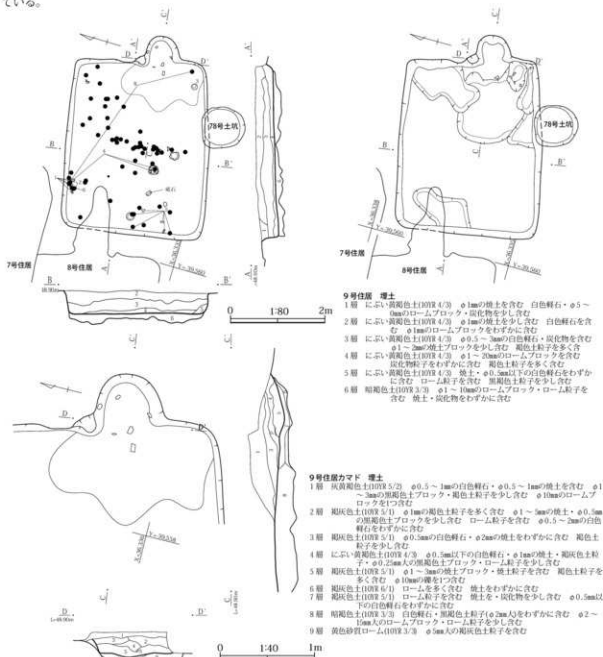
番号	種別 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				長	幅	厚		
1	黒色土器 杯	床面+34cm 底部～底部 1/2	口径 15.3 底径 — 器高 5.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化塩 良好 内面黒色 ③ にぶい釉付, 5YR 7/4	口コウ整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部ナデ後口縁部、底部とも全面へラ磨き。 内面：口縁部～底部ナデ後全面へラ磨き。			
2	須恵器 杯蓋	床面直上 天井部～口縁部 破片	口径 16.6 口径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元塩 良好 ③ 灰白(6/1)	口コウ整形。 外面：天井部上半部回転へラ削り。天井部下半～口縁部横ナデ。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。			
3	須恵器 杯蓋	床面+13cm 口縁部～天井部 破片	口径 17.8 口径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元塩 良好 ③ 灰黄緑(10YR 6/2)	口コウ整形。 外面：天井部回転へラ削り、周辺部ナデ。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。			
4	須恵器 杯	床面+18cm 口縁部～底部 1/5	口径 12.7 底径 7.6 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 ③ にぶい黄緑(10YR 5/2)	口コウ整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
5	須恵器 杯	床面+18cm 口縁部～底部 1/3	口径 12.9 底径 7.8 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 ③ にぶい黄緑, 5YR 5/3	口コウ整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
6	須恵器 杯	床面+5cm 口縁部～底部 1/4	口径 13.1 底径 6.5 器高 2.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元塩 良好 ③ 灰白(5Y 7/2)	口コウ整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		口縁部内面に「タ」の墨書。	
7	須恵器 椀	床面+18cm 口縁部～底部 1/4	口径 12.8 底径 9.4 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 ③ にぶい釉付, 5YR 7/4	口コウ整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転へラ削り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
8	土師器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 ③ にぶい、釉付, 5YR 6/3	口コウ整形。 口縁部横ナデ。底部ナデ。 内面：底部回転ナデ調整。		胴部外面に墨書。	
9	須恵器 短甕	床面+4cm 胴部下半～底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元塩 良好 ③ 灰黄(5/0)	口コウ整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。下位に2段の回転へラ削り。 底部回転へラ削り。高台剥落。 内面：口縁部～底部回転ナデ。			
10	黒色土器 鉢	口縁部～底部 破片	口径 26.6 口径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化塩 内面黒色処理 ③ にぶい釉付, 5YR 7/4	口コウ整形。 外面：口縁部～底部ナデ。 内面：口縁部ナデ。底部ナデ後、雑なへラ磨き。			
11	土師器 小型甕	床面+19cm 口縁部～胴部上端 破片	口径 12.0 口径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化塩 良好 ③ 橙白(5R 6/6)	縮詰み。回転右回り。 外面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。		No.12と同一個体。	
12	土師器 甕	床面+13cm、埋理土 中 口縁部～胴部上端 破片	口径 23.2 口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化塩 良好 ③ にぶい赤褐色(5YR 5/4)	縮詰み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位は縦方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。			
13	土師器 小型甕	床面+19cm 胴部～底部 破片	口径 — 底径 3.2 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化塩 良好 ③ 黒黒(7, 5YR 3/1)	縮詰み。 外面：胴部下位は縦方向へラ削り、底部へラ削り。 内面：胴部～底部へラナデ。		No.11と同一個体。	
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
14	鉄製品	碇状	完形	3.3	3.4	0.5	9.0	比較的良好。



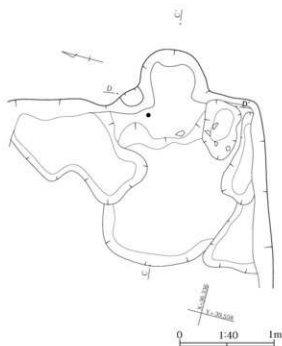
348図 7～14号住居跡新旧関係

4区9号住居跡(旧称4区5J-9)

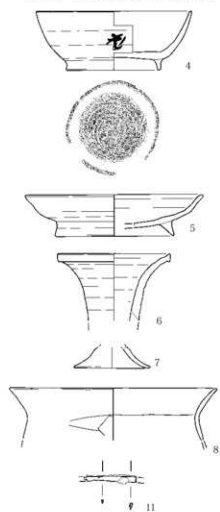
位置：X=36336 Y=-39557 主軸方向：N-78°-E 規模：3.7m×3.0m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：14cm～46cm 埋没土：主に白色軽石、焼土粒、ロームブロックを含むふい黄褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固めて床面としている。カマド：北東壁の中央南東寄り位置する。遺存状態は悪く、袖部は残らず灰層面の確認もできなかった。煙道部は緩やかに立ち上がる。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：8号住居跡および78号土坑跡と重複する。本遺構は8号住居跡カマド下部によって西壁の一部が壊されている点など遺構確認時の埋土の様相により、両重複遺構よりも本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：住居壁際及びカマド周辺を深度2～17cmほど掘り窪める。出土遺物：床面直上でほぼ完形の須恵器杯(No. 3)が、埋土中からはほぼ完形の土師器杯(No. 1)などが出土している。また、埋土中から出土の須恵器大型甕(No. 9)片が、6区の7号・9号溝から出土の破片と接合されている。



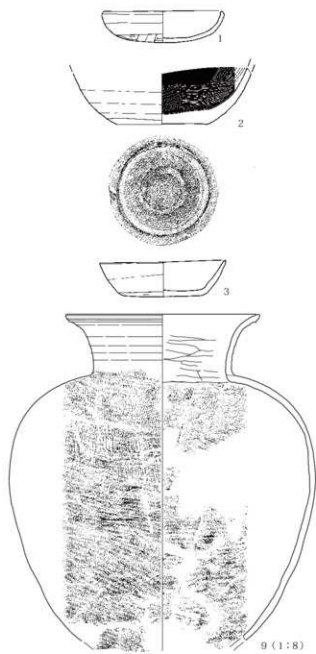
第349図 4区9号住居跡平・断面図、カマド平・断面図



第350図 4区9号住居跡カマド廻り方平面図



第351図 4区9号住居跡出土遺物



4区9号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器	杯	床面+4cm ほぼ完形 一部欠損	口径 12.5 柄径 - 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ ①に、赤い物(5YR 6/4)	外面：口縁部横ナデ。体部ナデ、底部は手持ちへう削り。 内面：口縁部～底部横ナデ。	
2	黒色土器	椀	床面+12cm 体部下半～底部	口径 - 底径 9.6 器高 1.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 内面黒色 ③ ①に、赤い物(5YR 7/3)	口縁口整形。回転石削り、体部最下部は高台落後削って い志のか。 外面：体部④転ナデ。底部④転へう切り。 内面：体部～底部ナデ後へう削り。内面横し。	
3	須恵器	杯	床面直上 口縁部一部欠損	口径 13.1 底径 8.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰(7.5YR 6/1)	口縁口整形。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転へう削り。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。	内面厚薄。
4	須恵器	椀	床面+7cm 口縁部～底部 一部欠損	口径 16.4 底径 10.3 器高 6.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 中礫 ③ 還元焼 やや不良 ④ 灰黄(2.5Y 7/2)	口縁口整形。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り後、回転へ う削り調整。高台付付。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。	体部外面に黒 溝。
5	須恵器	高台付盤	床面+8cm 口縁部～底部 破片	口径 18.6 底径 12.5 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(5/9)	口縁口整形。 外面：口縁部～体部横ナデ。底部④転へう削りか。高台附付。 内面：口縁部～体部④転ナデ調整。底部ナデ調整。	
6	須恵器	長頸壺	床面+29cm 口縁部～頸部 破片	口径 11.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(7/1)	外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り後、回転へ う削り調整。高台付付。 内面：口縁部～頸部横ナデ。	
7	土師器	台付甕	床面+29cm 台座 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 焼(7.5YR 4/4)	外面：台座横ナデ。 内面：台座横ナデ。	
8	土師器	甕	床面～20cm 口縁部～胴部 破片	口径 21.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 相(7.5YR 6/6)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部縦方向へのへう削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へう削りナデ。	
9	須恵器	大甕	埋土中 口縁部～胴部 1/4	口径 40.6 底径 - 器高 1/4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰黄粒(10YR 8/4)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部平(叩き目)。 内面：口縁部横ナデ調整。胴部同心円当て貝組。	最大寸の1割測 出土遺物と接合。 胴部最大径62cm

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
10	石製品	砥石	一部欠損	11.8	6.1	4.5	426.9	砥沢石	

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
11	鉄器	刀子	柄片	5.6	0.6	0.6	2.0	鋼食が混入している。

4区10号住居跡(旧称4区5J-10)

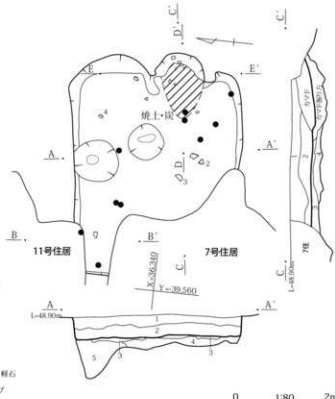
位置：X=36340 Y=-39558

主軸方向：N-84° -E 規模：不明×2.7m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：24cm～41cm

埋没土：微量の白色軽石、焼土粒を含む暗褐色土で埋没し、その堆積は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、一部に黒褐色土を用いた貼り床を敷設する。カマド：東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態はあまり良くないが、地山を掘り残す形の両袖部を一部検出した。また、燃焼部使用面には若干灰層が残る。



10号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 2/2) 粘性なし しまりややあり φ5mm以下の焼土粒・軽石を微量含む
- 2層 暗褐色土(10YR 2/2) 粘性なし しまりややあり φ30mm以下のロームブロックを微量含む
- 3層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし 部分中に含まれる ローム約φ30mm以下 土ややや多量含む φ5mm程度のハリスを微量含む
- 4層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし しまりがやや強い ロームブロックφ300×100mm・φ100mm程度のロームを多量含む φ5mm程度のハリスを微量含む
- 5層 黒褐色土(10YR 2/1) 粘性なし しまり強い 鋼木混入

第352図 4区10号住居跡平・断面図

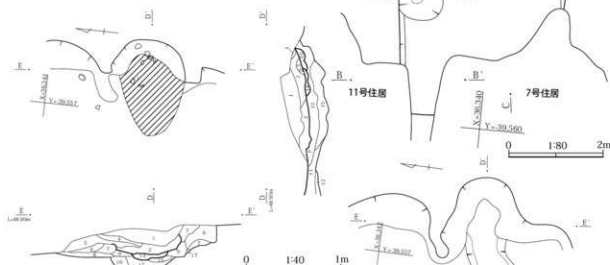
第3章 検出遺構と出土遺物

柱穴：掘り方調査段階において検出された

貯蔵穴・壁周溝：残存部分においては確認できなかった。

重複遺構：7号・11号住居跡と重複し、遺構確認時～掘削時の埋土の様相より、両住居跡より本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：全体に8～20cm程を掘り窪める。

出土遺物：床面直上で須恵器杯(No. 3)・蓋(No.1・2)の他、石製紡錘車(No. 4)が出土している。

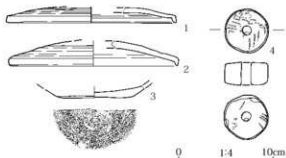


第353図 4区10号住居跡カマド平・断面図

10号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(10R 3/4) 粘性なし φ30mm以下のローム粒・φ10mm以下の焼土を少量含むφ1mm以下の小石を多数含む
- 2層 黒褐色土(10R 3/2) 粘性なし カマド土に構成土ロームで全体が汚れるφ30mm以下の焼土粒やや多数含む
- 3層 近い黄褐色土(10R 3/4) 粘性なし 下層を中心に焼土粒φ10mm以下少含む
- 4層 黒褐色土(10R 4/1) 粘質土・ローム・微細～φ1mmの白色軽石を少量・φ1mmの褐色土ブロックを少し含む
- 5層 黒褐色土(10R 4/1) 粘質土・微細～φ2mmのローム粒子・微小の白色軽石を少量・φ1mm程 塵の焼土をわずかに含む
- 6層 黒褐色土(10R 4/1) 粘質土・ロームをわずかに φ1mm程度の黒褐色土ブロックを少し・微細の焼土をわずかに含む
- 7層 黒褐色土(10R 4/1) 粘質土・ローム・φ2mmの黒褐色土ブロックを多く含む 微小の白色軽石を少量含む [カマドの裏]
- 8層 近い黄褐色土(10R 5/3) 褐色土上粒子を含む
- 9層 灰黄褐色土(10R 4/2) ローム・φ1mm程度の焼土と灰化物をわずかに含む
- 10層 黒褐色土(10R 4/1) φ1mm程度のローム粒子・灰・φ2mm程度の焼土・φ2mm程度の灰化物を含む
- 11層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし しまりやや有 ロームブロックφ30mm以下を多数含む
- 12層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし しまり強い ロームブロックφ20mm以下をやや多数含む
- 13層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし ややしまり強い ローム・焼土粒φ10mm以下を複数含む
- 14層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし しまり強い 焼土粒φ10mm以下・灰φ30mm以下をやや多数含む
- 15層 黒褐色土(10R 2/3) 粘性なし ややしまり強い ロームφ100mm以下をやや多数含む
- 16層 黒褐色土(10R 4/1) ローム土上で黒褐色土(10R 2/3)φ30mm以下をやや多数含む
- 17層 黒褐色土(10R 4/1) 7層に焼土粒φ10mm以下を少量含む

第354図 4区10号住居跡掘り方・カマド掘り方平面図



第355図 4区10号住居跡出土遺物

4区10号住居跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	床面+15cm L1縁部～天井部 破片	L径 17.8 縦径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰色(Y 6/1)	口口型成形。 外面：天井部上半へラ削り、天井部下半～L1縁部横ナデ。 内面：L1縁部～天井部回転ナデ。	
	須恵器 杯蓋	床面直上 L1縁部～天井部 破片	L径 17.6 縦径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰色(Y 7/1)	口口型成形。 外面：天井部上半へラ削り、天井部下半～L1縁部横ナデ。 内面：天井部～L1縁部回転ナデ。	
3	須恵器 杯	床面+3cm 底部 破片	L径 — 底径 6.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細塵 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰色(Y 8/2)	口口型成形。 外面：底部回転糸切り後、底部周辺は回転へラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	
	石製品 紡錘車	床面直上 穴形	上径 4.5 底径 4.5 高さ 2.5	① 石材：滑石 ② 重量：85g	孔径0.75cm	

4区11号住居跡(旧称4区S1-11)

位置：X=36342 Y=-39568

主軸方向：N-82°-E 規模：4.0m×不明

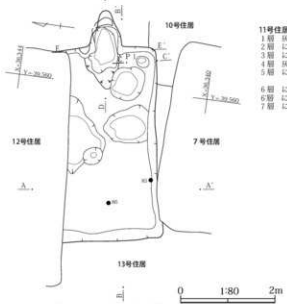
平面形状：隅丸長方形 残存深度：26cm～36cm

埋没土：主に少量の白色軽石と多量のロームブロックを含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体としたにぶい黄褐色土で埋め固め、床面としている。

カマド：東壁の中央南寄りに位置するものと思われる。両袖とも残り、遺存状況は比較的良好。燃焼部使用面には炭化物と焼土を含んだ灰が厚く堆積し、この灰層面直上には焼土化した天井部が崩落している。煙道は緩やかに傾斜し、煙道端は急峻に立ち上がる 柱穴：南東コーナー部に於いて1基検出した。径29×24cm、深さ34cmを測り、位置的には貯蔵穴の可能性もある 貯蔵穴：残存範囲内には存在しない。壁周溝：残存部分においては検出されていない。重複遺構：7号・10号・12号・13号住居跡と重複する。遺構確認→掘削時の埋土の様相より、本遺構は7号住居跡及び12号住居跡より古く、10号住居跡及び13号住居跡



11号住居 P1 埋土
1層 黒褐色土(00R 3/2) 少量の黄褐色ロームブロック(φ5～10mm)を含む
2層 にぶい黄褐色土(00R 4/3) 多量の黄褐色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む [ローム掘り方埋土]

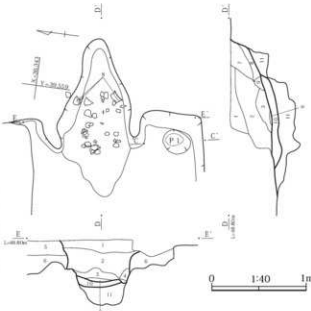


第357図 4区11号住居跡掘り方平面図

- 11号住居カマド 埋土
- 1層 黒褐色土(00R 3/0) 粘性なし しまりあり ロームで全体が固め 焼土粒φ5mm以下・白色パミスφ1mm程を微量含む
 - 2層 暗褐色土(00R 3/0) 1層に焼土粒φ5mm以下を少量含む 袖の構造に使用した小灰皿(00R 2/1)・灰質土粒φ10mm以下を微量含む
 - 3層 暗褐色土(00R 3/0) 1層に焼土粒φ10mm以下をやや多量含む しまりやや弱い
 - 4層 黒褐色土(00R 3/0) 粘性なし しまりやや強い 焼土粒φ20mm以下を少量含む
 - 5層 黒褐色土(00R 2/0) 粘性なし しまりあり 粗砂を全体に含む 砂質 [ローム掘り方埋土]
 - 6層 黒褐色土(00R 2/0) 5層の砂とパミスなし 下層1cm程はローム層残留
 - 7層 黒褐色土(00R 4/0) 2層より色調明るく 微量の白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む
 - 8層 灰褐色土(00R 4/0) 微量の白色軽石・ローム粒子を含む
 - 9層 灰褐色土(00R 4/0) 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [天井部崩落]
 - 10層 灰褐色 多量の炭化物と少量の焼土小ブロック(φ3～5mm)を含む [天井部崩落]
 - 11層 にぶい黄褐色土(00R 4/3) 多量の黄褐色砂質ローム粒子・同ブロック(φ5～40mm)を含む [カマド掘り方埋土]

- 11号住居 埋土
- 1層 灰褐色砂質土(00R 5/0) 多量の白色軽石(φ<4種名ニツ房)と少量の焼土粒子・炭化物を含む
 - 2層 にぶい黄褐色土(00R 5/0) 少量の白色軽石と多量の黒褐色土ブロック・炭化物を含む
 - 3層 にぶい黄褐色土(00R 6/0) 少量の白色軽石と多量の淡黄色ロームブロック(φ5～10mm)を含む
 - 4層 灰褐色土(00R 5/0) 少量の白色軽石・砂質ローム粒・焼土粒子・炭化物を含む
 - 5層 にぶい黄褐色土(00R 6/0) 微量の白色軽石・炭化物と少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～10mm)を含む
 - 6層 にぶい黄褐色土(00R 4/0) 多量の淡黄色砂質ロームブロックを含む
 - 7層 にぶい黄褐色土(00R 4/0) 少量の淡黄色砂質ロームブロック・少量の焼土・炭化物を含む ロームブロックを多く・微量の焼土と炭化物を含む

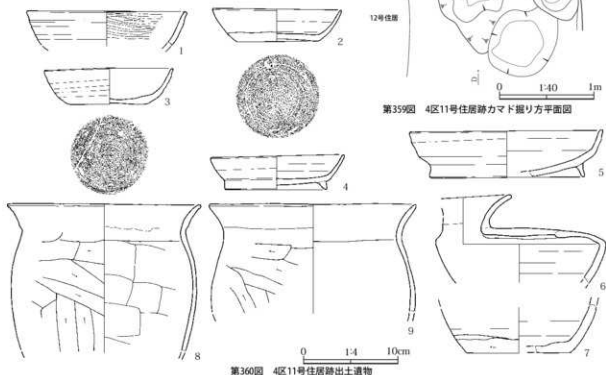
第356図 4区11号住居跡平・断面図



第358図 4区11号住居跡カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

より新しいものと判断される。掘り方：住居中央部を残し、壁隙を2～14cm程掘り窪める。カマドについては、燃焼部に当たる部分を皿状に浅く掘り窪める。出土遺物：埋土中からほぼ完形の須恵器杯（No. 2・3）、土師器杯（No. 1）・甕（No. 8・9）、須恵器・碗（No. 4）・平瓶（No. 6・7）・高台杯盤（No. 5）の破片、鉄滓などが出土している。

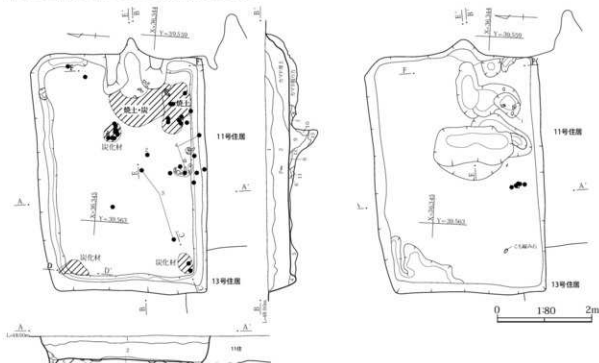


4区11号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	碗	床面+15cm 口縁部～体部	口径 16.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細糠 ② 焼化焙 良好 内面黒色 処理 ③ 濃い黄褐色(10YR 6/3)	ロク口器形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ後、へら磨き。内面焼し。	
2	須恵器 杯	床面+33cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.5 底径 8.7 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・細糠 ② 還元焙 やや不良 ③ 灰(5Y 6/3)	ロク口器形。回転石回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部磨 ②は回転へら削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面やや厚減。
3	須恵器 杯	床面+25cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.5 底径 8.1 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細糠・ 中糠 ② 還元焙 やや不良 ③ 灰(2.5Y 7/2)	ロク口器形。回転石回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転へ ら削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面やや厚減。
4	須恵器 碗	床面+19cm 口縁部～底部 1/2	口径 14.0 底径 10.7 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細糠 ② 還元焙 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロク口器形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へら削り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 高台付盤	床面+38cm 口縁部～底部 1/3	口径 20.1 底径 16.1 器高 4.9	① 細砂粒 ② 還元焙 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロク口器形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 平瓶	床面+18cm、9号溝 埋土中 胴部～胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焙 良好 ③ 紫灰(5RP 6/1)	ロク口器形。 外面：胴部回転ナデ。頸部は水後き後、磨付。 内面：胴部回転ナデ調整。	
7	須恵器 瓶	床面+23cm、8号住 居床面+22cm 胴部～底部 破片	口径 — 底径 11.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焙 良好 ③ 紫灰(5RP 6/1)	ロク口器形。 外面：胴部上半回転ナデ、胴部下半～底部へら削り。 内面：胴部～底部回転ナデ調整。	
8	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部上半	口径 20.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ にい・黄(5YR 6/4)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向へら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へらナデ。	
9	土師器 甕	床面+10cm 口縁部～胴部上半 破片	口径 21.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ にい赤褐色(5YR 5/3)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部へら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へらナデ。	

4区12号住居跡(旧称4区S1-12)

位置：X=36344 Y=-39562 主軸方向：N-85°-E 規模：5.0m×3.6m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：46cm～55cm 埋没土：主に微量の白色軽石・ローム粒・ロームブロックなどを含む灰黄褐色砂質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、住居北西・南西のコーナー部埋土中より炭化材が検出され、埋没の初期段階において投げ込まれたものと思われる。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした黒褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁中央やや南寄りに位置する。両袖とも残り、遺存状況は比較的良好。燃焼部使用面には多量の炭化物和焼土粒を含んだ灰が堆積する。袖は締まりのある黒褐色弱粘質土で構築されている。カマド前面には焼土と灰が床面上に広がる。柱穴：なし。貯蔵穴：掘り方調査段階において、カマド右脇部より土坑状の掘り込みが検出され、貯蔵穴となる可能性がある。壁周溝：カマド部を除いて全周する。重複遺構：11号・13号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、いずれの重複住居跡より本遺構の方が新しいものと判断される。
 掘り方：住居中央部を残し壁際を2～15cm程掘り窪め、住居中央部には土坑状の深い掘り込みを有する。
 出土遺物：床面直上で須恵器杯(No. 3)の破片が、埋土中からほぼ完形の須恵器杯(No. 4)が出土している。また、掘り方埋土中からはこも編み石が出土している。



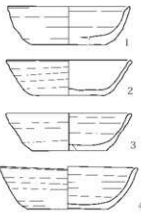
第361図 4区21号住居跡平・断面図、掘り方平面図

12号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(010R 5/2) 微量の白色軽石(α<4種各二ヶ所)を含む
- 2層 灰黄褐色土(010R 5/2) 少量の白色軽石・灰黄褐色ローム粒・角小ブロック(φ5～10mm)・焼土粒・炭化物を含む
- 3層 ①に黒褐色土(010R 4/3) 多量の砂質ロームブロック(φ5～30mm)を含む
- 4層 暗褐色土(010R 2/2) 粘性なし しまりややあり ローム上で全体に汚れる
- 5層 黒褐色土(010R 2/2) 粘性なし しまりややあり ロームブロックφ10mm以下多量埋土粒φ20mm程を微量含む

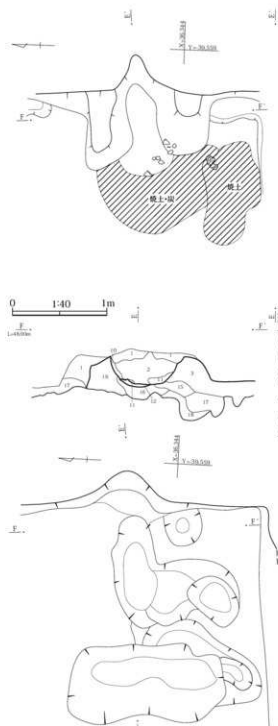
12号住居 腐木土

- 6層 黒褐色土(010R 2/2) 粘性なし しまりあり ローム粒φ10mm以下を少量含む
 - 7層 黒褐色土(010R 2/2) 粘性なし しまりややあり ロームブロックφ30mm以下・焼土粒φ10mm以下を少量含む 腐木φ3mm程を微量含む
 - 8層 黒褐色土(010R 2/2) 粘性なし しまりややあり ロームブロックφ50mm程の混土
 - 9層 黒褐色土(010R 2/2) 粘性なし しまりややあり ロームブロックφ30mm以下を少量含む ロームで全体にうすく汚れる
 - 10層 ①に黒褐色土(010R 5/4) 粘性なし しまりやや強い ローム・黒褐色土で全体にうすく汚れる
 - 11層 黒褐色土(010R 2/2) 粘性なし しまりややあり ロームブロックφ30mm以下をやや多量含む
 - 12層 黒褐色土(010R 2/2) 粘性なし しまり強い 下層を中心にロームブロックφ20mm以下を少量含む
 - 13層 黒褐色土(010R 2/2) 7層にロームブロックφ15mm以下をやや多量含む
- 4・5層は植物によるカク土



第362図 4区12号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物



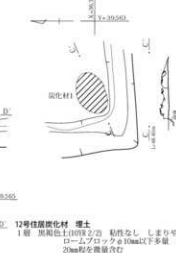
第363図 4区12号住居跡カマド平・断面図・掘り方平面図

4区12号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面~7cm 1/4	口径 12.8 底径 8.0 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄褐色(SY 5/1)	口コウ整形。口縁部平や外反。 外面：口縁部~体部回転ナズ調整。 内面：口縁部~底部回転ナズ調整。	内面に油埋付着。
2	須恵器 杯	床面+11cm 口縁部~底部 1/2	口径 13.0 底径 7.8 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 平や不良 ③ におい黄褐色(OVER 6/4)	口コウ整形。回転石回りか。口縁部平や外反。 外面：口縁部~体部回転ナズ。底部へ外反り調整。 内面：口縁部~底部回転ナズ調整。	器面厚膜。
3	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/3	口径 13.0 底径 8.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ におい赤褐色(SYR 5/4)	口コウ整形。回転石回りか。 外面：口縁部~体部回転ナズ。底部回転へ外反り。 内面：口縁部~底部回転ナズ調整。	
4	須恵器 杯	床面+7cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 14.3 底径 8.7 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 酸化焼 ③ 褐色(SYR 4/1)	口コウ整形。回転石回りか。 外面：口縁部~体部回転ナズ。底部回転へ外反り。 内面：口縁部~底部回転ナズ調整。	

12号住居カマド 埴土

- 1層 黒褐色土(0)の2/3 粘性なし しまりあり ロームブロックφ30mm程を少量含む 埴土粒φ5mm程を微量含む
- 2層 におい黄褐色土(0)の3/4 粘性なし しまりあり カマド構築材と混りあがるロームに埴土粒φ30mm以下を中量含む。回転φ10mm程を微量含む 間はカマド付近の床面に多量に分布
- 3層 黒褐色土(0)の2/3 粘性なし しまりややあり 埴土粒φ5mm程を少量含む。回転φ10mm以下を微量含む 部位位置から 高層の可能性あり
- 4層 におい黄褐色土(0)の6/4 粘性なし しまりあり カマド構築材と混りあがるロームに黒褐色土(0)の3/3のブロックφ30mm程を5%程含む 上部に多い 下部は一部埴土粒で汚れる
- 5層 黒褐色土(0)の3/3 粘性なし しまりややあり 全体に黒褐色土にローム粒で汚れる
- 6層 黒褐色土(0)の3/3 粘性なし しまりあり ロームブロックφ50mmを1つ含む 埴土粒φ5mm程を少量含む
- 7層 黒褐色土(0)の2/3 粘性なし しまりやや強い 埴土粒φ3mm程を少量含む
- 8層 黒褐色土(0)の3/3 粘性なし しまりやや強い 埴土粒φ10mm以下をやや多量含むローム土で全体に汚れる
- 9層 黒褐色土(0)の3/3 粘性なし しまりややあり 下部は埴土粒φ10mm以下を少量含む 微量の埴土粒とロームで全体に汚れる
- 10層 黒褐色土(0)の3/3 粘性なし しまりやや強い 埴土粒φ5mm程を微量含む 陶器破片土
- 11層 黄褐色土(0)の3/4 粘性なし しまり強い 埴土粒(天月部厚膜土)
- 12層 におい黄褐色土(0)の5/3 多量の炭化物(φ3~10mm)と埴土粒子を含む (埋面)
- 13層 褐色土(0)の2/4 少量の白砂粒と多量の砂質ローム。粘土
- 14層 灰黒褐色土(0)の2/3 多量の砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)と埴土ブロック(φ5~20mm)を含む
- 15層 におい黄褐色土(0)の5/3 多量の砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)・砂質ローム粘土・少量の埴土ブロック(φ5~10mm)を含む (埋面)
- 16層 におい黄褐色土(0)の4/3 ロームブロックφ20mm以下を多量含む 埴土粒φ10mm以下を少量含む しまりやや強い 粘性なし
- 17層 におい黄褐色土(0)の4/3 1層が埴土化
- 18層 褐色ローム(0)の4/4 粘性なし しまりやや強い 覆り返したロームを埋め戻した土やや全体に黒褐色土で汚れる
- 19層 におい黄褐色土(0)の5/3 粘性なし しまりやや強い 3層のような黒褐色土とロームの混土でロームブロックφ30mm以下を少量含む (左側)
- 20層 黒褐色土(0)の3/3 粘性なし しまりやや強い φ20mm以下の埴土粒をやや多量含む



第364図 炭化材出土平・断面図

4区13号住居跡(旧称4区SJ-13)

位置: X=36341 Y=-39565

軸方向: N-84° - E 規模: 4.0m×3.4m

平面形状: 隅丸長方形 残存深度: 43cm ~ 55cm

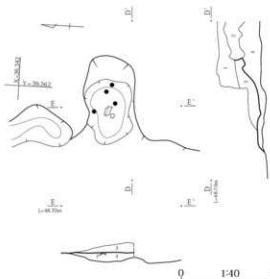
埋没土: 微量の白色軽石・焼土粒・炭化物を含む暗灰黄色~灰黄褐色砂質土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。

床面: 掘り方埋土であるロームを主体としたにぶい黄褐色土で埋め固めて床面とし、一部に2~8cmほどの貼り床が敷設されている。

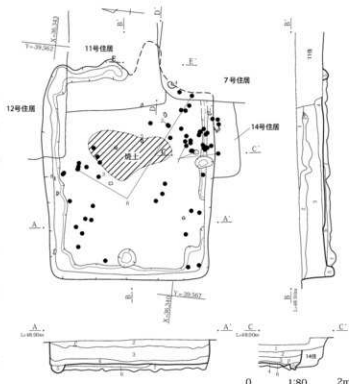
カマド: 東壁の中央南寄りに位置する。重複する住居跡によって壊され、掘り方の一部が残るのみである。柱穴: 掘り方調査時において、西壁と南壁の中央部より柱穴跡と思われるピットが2穴検出された。貯蔵穴: なし。

壁周溝: 南東コーナー部の重複による欠失を除き、幅26~40cm、深さ2~7cmを測る壁溝が、ほぼ全周する。重複遺構: 7号・11号・12号・14号住居跡と重複し、遺構確認~掘削時の埋土の様相より、本遺構は14号住居跡より新しく、他の住居跡より古いものと判断された。

掘り方: 全体に地山ローム土を6~20cmほど掘り留める。出土遺物: 住居南東部コーナー付近でややまとまって出土した。壁際直下で土師器杯(No. 1)の破片が、埋土中から黒色土器杯(No. 3)、須恵器杯(No. 6・7・8)・蓋(No. 4・5)片などが出土している。

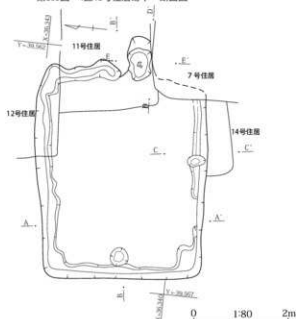


第366図 4区13号住居跡カマド平・断面図



- 13号住居 埋土
- 1層 灰黄褐色砂質土(010R 4/2) 少量の白色軽石(種名ニッ石)を含む
 - 2層 灰黄褐色砂質土(010R 4/2) 少量の白色軽石(種名ニッ石・浅間C)と微量の焼土粒子を含む
 - 3層 にぶい黄褐色土(010R 5/3) 少量の白色軽石(種名ニッ石・浅間C)と少量の焼土粒子・炭化物を含む
 - 4層 灰黄褐色土(010R 5/2) 少量の白色軽石と多量の炭化物を含む
 - 5層 にぶい黄褐色土(010R 4/3) 少量の灰黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大粒)と焼土粒子を含む (埋方埋土)
 - 6層 にぶい黄褐色土(010R 4/3) 多量の灰黄褐色砂質ロームブロック(φ10~30mm大)を含み固化する (掘り方埋土 貼り床)
 - 7層 (掘り方埋土)

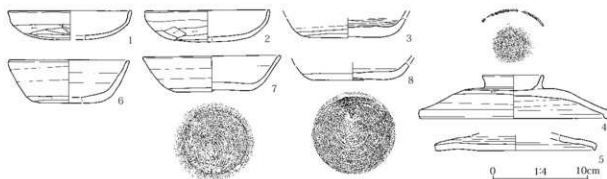
第365図 4区13号住居跡平・断面図



第367図 4区13号住居跡掘り方平面図

- 13号住居カマド 埋土
- 1層 にぶい黄褐色土(010R 5/3) φ0.5mm~1mmのロームブロックを含む φ5mmの白色軽石・φ0.5mmの黒褐色土ブロック・焼土粒子を少し含む
 - 2層 にぶい黄褐色土(010R 4/3) 白色軽石をわずかに含む 黒褐色土粒子を多く含む 焼土粒子を少し含む
 - 3層 にぶい黄褐色土(010R 5/3) 炭化物・φ0.5mm~1.5mmの焼土を含む ローム粒子を少し含む 焼土粒子をわずかに含む (埋没遺構)
 - 4層 にぶい黄褐色土(010R 5/4) 黒褐色土を含む ロームを多く含む 焼土・白色軽石をわずかに含む

第3章 検出遺構と出土遺物



第368図 4区13号住居跡出土遺物

4区13号住居跡出土遺物観察表

遺構名 遺物番号	種別 器種	出土位置 残存状況	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	壁際直下 L1縁部~底部 1/2	L径 12.8 底径 - 器高 3.1	① 細砂粒 ② 炭化燧 良好 ③ 灰白(SY 6/7)	内面:L1縁部横ナデ、体部~底部へラ削り。 内面:L1縁部横ナデ、体部~底部ナデ調整。掻き傷痕が無 敷にあり。	
	土師器 杯	床面+20cm L1縁部~底部 1/4	L径 13.0 底径 - 器高 3.3	① 細砂粒 ② 炭化燧 良好 ③ 赤褐色(SY 4/6)	内面:L1縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半~底部手持ち へラ削り。 内面:L1縁部~体部横ナデ、底部ナデ調整。	
2	黒色土器 杯	床面+41cm 底部 破片	L径 - 底径 8.5 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細燧 ② 炭化燧 良好 内面黒色 ③ 赤い黄褐色(10R 5/3)	内面:底部分ナデへラ寄せ、内面磨し。 口クロ整形。回転回切り。縁肉内側に回転糸切りが残る。 外面:天井部上半回転へラ削り。天井部下半~L1縁部横ナデ、 横み取付。 内面:L1縁部~天井部回転ナデ。	
	須恵器 杯蓋	床面+5cm L1縁部~横部 1/3	L径 19.4 横径 6.2 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元燧 良好 ③ 灰白(SY 7/1)	口クロ整形。回転回切り。 内面:L1縁部~天井部回転ナデ。	
3	須恵器 杯蓋	床面+21cm L1縁部~天井部 破片	L径 16.7 横径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元燧 良好 ③ 灰白(SY 7/0)	口クロ整形。 外面:天井部~L1縁部横ナデ。 内面:L1縁部~天井部回転ナデ。	
	須恵器 杯	床面+10cm L1縁部~底部 1/4	L径 12.5 底径 6.0 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元燧 良好 ③ オリーブ色(2.5Y 5/1)	内面:L1縁部~体部回転ナデ調整。 外面:L1縁部~体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面:L1縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面+7cm、14号住 居床面+15cm L1縁部~底部 2/3	L径 14.3 底径 8.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元燧 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	口クロ整形。回転回切り。 外面:L1縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。厚辺部を わずかに回転へラ削り。 内面:L1縁部~底部回転ナデ調整。	14号住居遺物と接 合。
	須恵器 杯	床面+25cm 底部 のみ残存	L径 8.4 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元燧 良好 ③ 灰白(SY 7/1)	内面:底部分回転糸切り。横大部分を回転へラ削り。 内面:底部回転ナデ調整。	底部外面中央に へラ記号「+」

4区14号住居跡(旧称4区S1-14)

位置: X=36339 Y=-39563 軸方向: N-78° - E

規模: 不明 平面形状: 不明 残存深度: 40cm~47cm

埋没土: 主に少量の白色軽石・微量の焼土粒を含む灰黄色砂質土~多量の焼土粒と炭化物を含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状況から自然埋没と推察される。床面: 掘り方埋土であるロームを主体としたにぶい黄褐色土で埋め固め、床面としている。

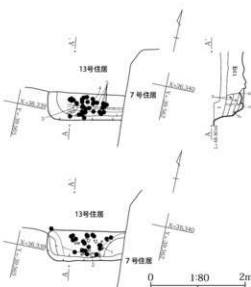
カマド・柱穴・貯蔵穴: 残存部においては検出されていない。

壁周溝: 西壁部で幅14cm、深さ6cmを測る壁溝が検出された。

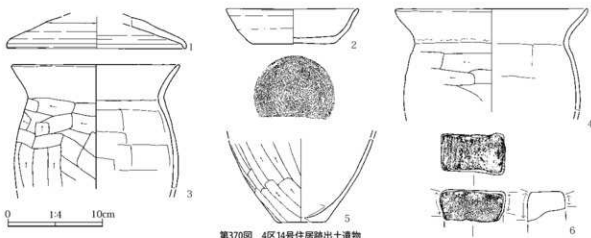
重複遺構: 7号・13号住居跡と重複する。遺構確認~掘削時の埋土の様相から、本遺構は両住居跡より古いものと判断される。

掘り方: 地山ローム土を3~8cmほど掘り留める。

出土遺物: 床面直上で土師器裏(No. 3・4)、須恵器杯(No. 2)・蓋(No. 1)の破片、砥石(No. 6)などが出土している。



第369図 4区14号住居跡平・断面図、掘り方平面図



第370回 4区14号住居跡出土遺物

4区14号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	出土位置 保存状態	計測値 値	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 製型手法	備考
					①胎土	②焼成	③色調		
1	須恵器	杯蓋	床面直上 口縁部～天井部 破片	口径 18.6 口径 — 底径 — 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7.5Y 6.1)	口ウロ整形。 外面：天井部上半部転へつ割り。下半部1線部横ナデ。 内面：1線部～天井部転ナデ。 口ウロ整形。凹転白石目。	輪削み		
2	須恵器	杯	壁面直下 口縁部～底部 1/2	口径 13.9 口径 8.6 底径 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7.5Y 4.1)	口ウロ整形。凹転白石目。 外面：1線部～底部転ナデ。底部1線部へつ割り。 内面：1線部～底部転ナデ。底部ナデ調整。底部ナデ調整。	輪削み		
3	土師器	鉢	床面直上 口縁部～側部上半 破片	口径 17.6 口径 — 底径 — 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 明赤相(2.5YR 5/8)	輪削み 外面：1線部横ナデ。側部上位横。中位縦方向へつ割り。 内面：1線部横ナデ。側部へつ割り。	輪削み		
4	土師器	鉢	床面+2cm 口縁部～側部上端 破片	口径 20.2 口径 — 底径 — 高さ —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 明赤相(6.8)	輪削み 外面：1線部横ナデ。側部上位横方向へつ割り。 内面：1線部横ナデ。側部へつ割り。	輪削み		
5	土師器	鉢	床面+1cm 側部下半～底部 破片	口径 5.2 口径 — 底径 — 高さ —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 明赤相(5YR 3/1)	輪削み 外面：側部～底部へつ割り。 内面：側部～底部へつ割り。	輪削み		
番号	種別	器種	状態	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	概要
6	石製品	瓦石	大半欠損	6.3	3.0	4.2	121	瓦石	表裏、両側面とも使用されている。頂部は若干使用されている。加工痕が残る。

4区15号住居跡(旧称4区J-15)

位置：X=36329 Y=-39562 主軸方向：N-90° - E

規模：4.1m×3.3m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：41cm～48cm 埋没土：主に白色軽石と少量の焼土粒などを含む灰黄色～灰黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。

カマド：東壁の中央やや南寄りに位置する。両袖は地山ロームを掘り残す形で形成される。煙道部は緩やかに傾斜し、煙

15号住居 P1 埋土

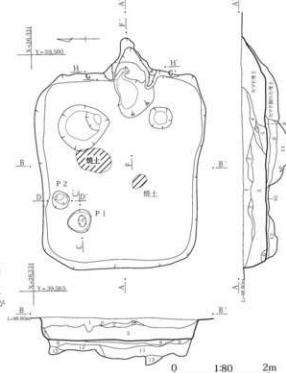
1層 黒褐色土(2.5YR 3/2) 粘性なし しまりや中強い ローム相 φ10mm以下を少量含む
2層 黒褐色土(2.5YR 3/2) 粘性なし しまりや強い ロームで全体が固く埋れる 両側も1層に物類は認められしまりやピット内のみ。

15号住居 P2 埋土

1層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし しまりや中 φ20mm以下のロームブロック少量含む
2層 黒褐色土(10YR 2/3) 1層のロームブロック微量 北側壁はローム 両側は1層に近い状態にピット内はしまりやのみ。

15号住居 埋土

1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 白色軽石・焼土を少し含む φ30mm程度の礫を含む
2層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりや強い 両側面を少し含む
3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 白色軽石・灰化物・少量の多量の褐色土粒子を含む
4層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石・焼土・灰化物・φ1～3mm程度の黄褐色土ブロックを含む
5層 濃い黄褐色土(10YR 5/3) 黄褐色土粒子を少し含む
6層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ30mm程度の黄褐色土ブロックを含む
7層 暗灰色土(10YR 4/7) 黒色土粒子を含む
8層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし しまりや φ15mm以下の焼土・φ1mm程度の白色パミスを数箇所含む (厚約4cm)
9層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性に物類するが しまりや中強い
10層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりや中強い 白色パミスを1mm程度を数箇所含む
全体にロームで埋め 8層より南側が強い。



11層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし しまりや中強い 多量のロームブロックφ10mm前後と白色パミスを微量含む
12層 暗褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりや中強い φ2～3cm以下のロームブロックを少量含む
13層 黒褐色土(10YR 3/1) 粘性なし しまりや強い 砂状土

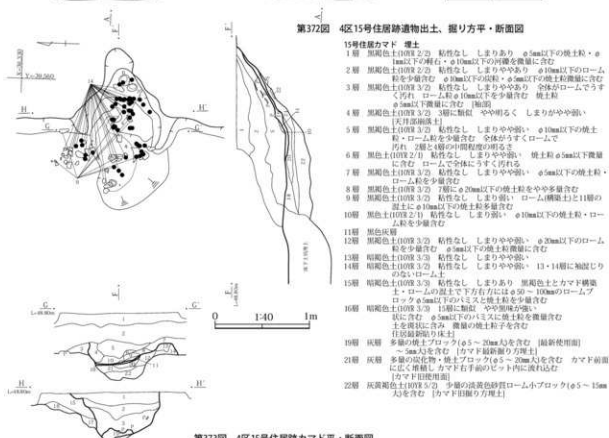
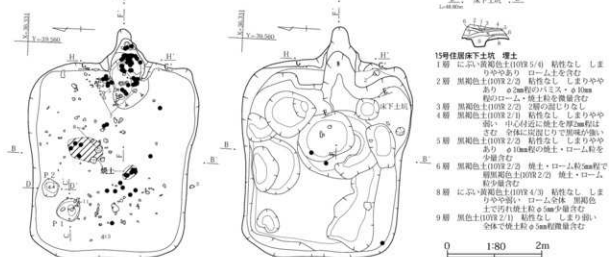
第371回 4区15号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

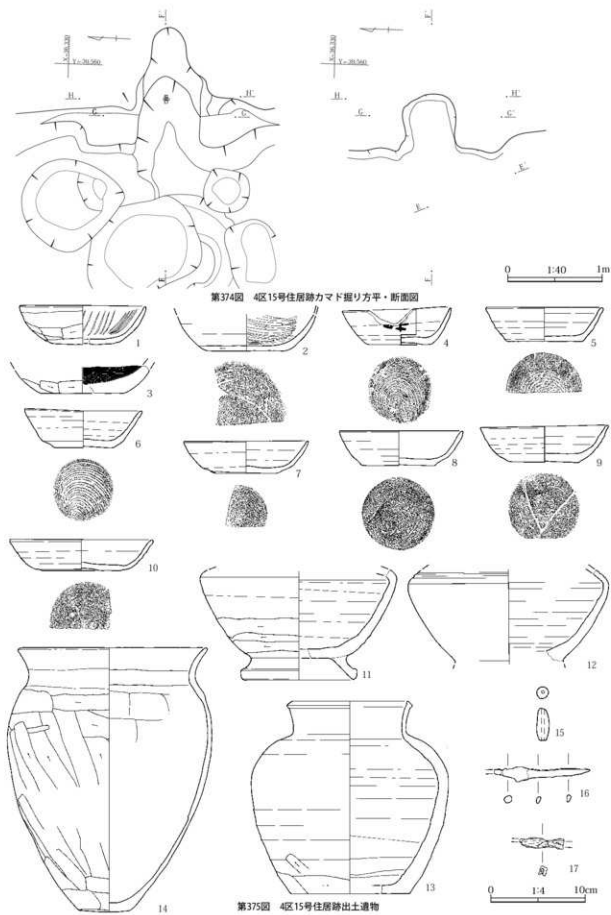
道端は急峻に立ち上がる。このカマドは最終使用面下に間層をはさんで多量の炭化物と焼土ブロックを含んだ灰が厚く堆積した旧使用面が検出された。しかも、この灰層は燃焼部から煙道部にかけて広く堆積していることから、使用期間が長かったものと思われる。 **柱穴**:床面上に径36～53cm 深さ23～38cmを測る2基の柱穴と考えられるピット(P1・P2)を検出した。また、掘り方調査段階で、柱穴状の掘り込みを2ヶ所検出した。 **貯蔵穴**:なし。 **壁周溝**:なし。

重複遺構:なし。 **掘り方**:住居中央西側を除く各所に、深度4～40cmを測る土坑状の掘り込みを多数有する。

出土遺物:床面直上でほぼ完形の須恵器杯(No.8)が出土した他、埋土中から土唾(No.15)が、カマド内からは完形の土師器甕(No.14)と須恵器杯(No.4・6・9)・灰輪陶器(No.11)片が出土している。また、P1埋土中からは土師器杯(漆付着)が出土し、隣接する6号住居跡埋土中のもので接合され、住居掘り方埋土中から出土の灰輪陶器(No.11)は、隣接する8号住居跡と1号集石跡から出土したものと接合される等、出土遺物の遺構間接合が際立つ。



第373図 4区15号住居跡カマド平・断面図



第3章 検出遺構と出土遺物

4区15号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①土土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法		備考
				①	②	③			
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部	口径 底径 器高	13.1 — 4.1	① 細砂粒 ② 焼成土 良好 ③ 珪赤褐(2.5YR 5/8)	外面：口縁部横ナデ、底部平ナデ、下半へう割り、 内面：口縁部～底部横ナデ、底部ナデ調整、斜紋射状彫	器面厚減。		
		床面～5cm 体部～底部	口径 底径 器高	— 8.4 1/4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成土 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	外面：体部④転ナデ。底部④転へう割り。 内面：体部、底部ともへう磨き。	器面外周中央へう記号「X」		
2	黒色土器 杯	住居付近 体部～底部	口径 底径 器高	— 8.8 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成土 やや不良 ③ 黒色処理	外面：体部～底部へう割り。 内面：へう磨き。			
		破片	口径 底径 器高	— — —	① 灰黄褐(7.5YR 8/4)				
4	須恵器 杯	埋土中 ほぼ完成 口縁部～底部	口径 底径 器高	11.4 6.5 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼成土 良好 ③ 灰白(10Y 7/1)	口縁部整形、回転石回り。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。	器面外周にの 遺書、口縁部 歪みあり。		
		床面+22cm 口縁部～底部	口径 底径 器高	12.2 8.0 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元土 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	口縁部整形、回転石回り。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り後、底部周 辺は④転へう割り。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。			
6	須恵器 杯	埋土中 完成	口径 底径 器高	12.2 6.4 4.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼成土 ③ 珪(7.5YR 7/6)	口縁部整形、回転石回り。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。			
		床面+25cm 口縁部～底部	口径 底径 器高	13.0 6.4 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成土 ③ にぶ・黄褐(10YR 6/4)	口縁部整形。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り後、底部周 辺は④転へう割り。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。			
8	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完成 口縁部～底部	口径 底径 器高	13.0 7.7 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元土 やや不良 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	口縁部整形、回転石回り。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り後、底部周 辺は④転へう割り。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。			
		埋土中 完成	口径 底径 器高	13.4 7.4 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成土 ③ にぶ・黄褐(10YR 6/3)	口縁部整形。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り後④転へう 割り方。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。	器面厚減。		
10	須恵器 杯	埋土中、遺堀方 埋土中 口縁部～底部	口径 底径 器高	15.0 8.3 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元土 やや不良 ③ にぶ・黄褐(10YR 4/3)	口縁部整形、回転石回り。 外面：口縁部～体部④転ナデ。底部④転糸切り後、底部周 辺は④転へう割り。 内面：口縁部～底部④転ナデ調整。			
		床面～4cm、掘方 埋土中 胴部～上部	口径 底径 器高	— 10.2 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元土 良好 ③ 灰白(7.5Y 7/1)	口縁部整形、回転石回り。 外面：胴部横ナデ、胴部下半、底部④転へう割り。 内面：胴部～底部④転ナデ調整。	8号住土1号黒 石出土土器片 と接合。		
12	須恵器 長頸壺	破片	口径 底径 器高	— — —	① 細砂粒 ② 還元土 ③ 灰オリーブ(7.5Y 6/2)	口縁部整形。 外面：胴部下半は④転へう割りであるが、陶灰着により単 位不明、高台割付。 内面：胴部ナデ。			
		胴部片	口径 底径 器高	— — —	① 細砂粒 ② 還元土 ③ 灰オリーブ(7.5Y 6/2)	口縁部整形。 外面：胴部下半は④転へう割りであるが、陶灰着により単 位不明、高台割付。 内面：胴部ナデ。			
13	須恵器 壺	床面+20cm 口縁部～底部	口径 底径 器高	12.3 12.4 20.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元土 良好 ③ 灰赤(6Y 6/3)	口縁部整形。 外面：口縁部横ナデ、胴部ナデ。最下位に1段④転へう割り。 底部～フナデ。 内面：口縁部～胴部横ナデ。底部ナデ。	1号黒石出土土 器片と接合。		
		埋土中 ほぼ完成	口径 底径 器高	19.7 5.5 27.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成土 良好 ③ 珪赤褐(5YR 5/6)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ、胴部～頸部下と底部上に1～2段の 横方へう割り。その間は縦方へう割り。底部へう割り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部へう割り。			
15	土製品 鏝	埋土中 完成	長さ 径 孔	3.4 1.3 0.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成土 良好 ③ にぶ・黄褐(5YR 6/4)	外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量：4g			

4区16号住居跡(旧称4区S1-16)

位置：X=36322 Y=-39582 主軸方向：N-55°-E 規模：2.3m×2.6m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：15～35cm 埋没土：主に白色軽石・焼土粒・ローム粒などを含むにぶい黄褐色～暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体としたにぶい黄褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：北東壁のほぼ中央に位置する。遺存状態はあまり良くなく、明瞭な使用面も検出し得なかった。両袖部は地山を掘り残す形で形成される。柱穴：なし。貯蔵穴：住居南東コーナー部において130～140cmを測る楕円形を呈する貯蔵穴と考えられる土坑が検出され、東コーナーには完成の土師器小型甕(No.4)が正位で据えられていた。壁周溝：なし。重複遺構：4号・11号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本住居の方が新しいものと判断される。掘り方：全体に8～14cmほど掘り窪める。出土遺物：出土量は全体的に少なく、土師器杯(No.1)

の破片が出土している。 所見：一辺2m強と規模も小さく、
 検出当初は土坑(SK-110)として番号付けをした。他の竪穴住
 居跡群とはやや離れた位置に単独で存在しカマドを有する小
 型竪穴住居跡という点では、1・2区46号住居跡に近似する。
 集落内での特別(特殊)な存在が推察される。

16号住居 埋土

- 1層 赤い黄褐色土(01R 5/3) 赤い黄褐色土粒子を渾然に含む
- 2層 赤い黄褐色土(01R 4/3) φ2mm程度の白色軽石・φ2mm程度の暗褐色土ブロック・
 褐色土粒子を含む φ1mm以下の焼土・φ3mm程度のロー
 ム粒子をわずかに含む 互層されて高い
- 3層 暗褐色土(01R 3/3) φ2mm程度の褐色土ブロックを含む φ1mm程度のローム粒子を
 わずかに含む
- 4層 赤い黄褐色土(01R 4/3) 褐色土粒子を少し含む φ1mm以下のローム粒子・φ1mm程
 度の白色軽石をわずかに含む
- 5層 赤い黄褐色土(01R 5/3) 微小の白色軽石をわずかに含む 褐色土粒子を含む
- 6層 暗褐色土(01R 3/3) φ2mm程度の褐色土ブロック・ローム粒子を少し含む
- 6層 赤い黄褐色土(01R 4/3) 褐色土ブロック(φ1mm)をわずかに含む
- 7層 赤い黄褐色土(01R 7/2) 暗褐色土粒子を多く含む 褐色土粒子をわずかに含む
 粘灰色をもつ

イ層 灰褐色土(01R 4/2) 多量の黄褐色砂質ロームブロック(φ10~20mm)・少量の白色軽
 石(燻名ニツ出+浅凹C)を含む

ロ層 暗褐色土(01R 3/3) 多量の黒粒砂と少量の白色軽石・灰化物を含む

ハ層 赤い黄褐色土(01R 4/3) 少量の白色軽石・黄色スコリアを含む

ニ層 暗褐色土(01R 3/3) 黒褐色土を渾然に含む 少量の白色軽石・灰化物を含む

ホ層 赤い黄褐色土(01R 5/3) 多量の黒色土小ブロック(φ5~10mm)と少量の白色軽石・
 黄色スコリアを含む

ヘ層 赤い黄褐色土(01R 5/3) 少量の黒色土小ブロック(φ5~10mm)と白色軽石・黄色スコリアを含む

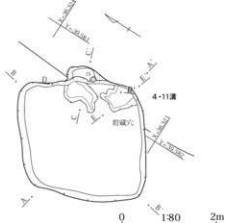
ト層 黒色土(01R 3/3) 多量の赤い黄褐色土・黄褐色砂質ロームブロック(φ3~30mm)を含む

チ層 赤い黄褐色土(01R 5/3) 多量のφ1~3mmの褐色土ブロック・少量のローム粒子を含む φ0.5mmの焼土粒子・白色軽石をわずかに含む

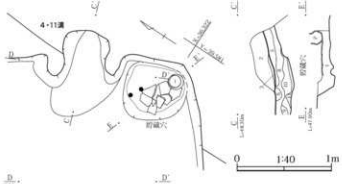
リ層 黒色土(01R 2/1) φ1~3mmのロームブロックを少し含む



第375図 4区16号住居跡平・断面図



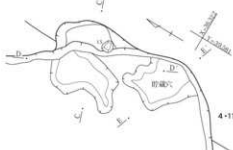
第376図 4区16号住居跡掘り方平面図



16号住居跡埋土

- 1層 赤い黄褐色土(01R 4/3) φ1mmの灰化物・
 少量の暗粒砂を含む φ0.5mmの黒色
 粘質土ブロック・微小な白色軽石
 を少し含む

第377図4区16号住居跡カマド平・断面図



第378図 4区16号住居跡カマド掘り方平面図

16号住居カマド 埋土

- 1層 灰黄褐色土(01R 4/2) 多量の暗粒砂と少量の白色軽石(燻名ニツ出+浅凹C)を含む
- 2層 赤い黄褐色土(01R 5/3) 少量の黒土小ブロック(φ3~10mm)・灰化物・淡黄色シルト小ブ
 ロック(φ3~5mm)・白色軽石を含む
- 3層 灰黄褐色土(01R 4/2) 多量の灰化物と少量の焼土小ブロック(φ3~5mm)を含む
- 4層 赤い黄褐色土(01R 5/3) 少量の淡黄色シルト小ブロック(φ3~5mm)を含む [焼跡]
- 4層 赤い黄褐色土(01R 5/3) 褐色土粒子を少し含む
- 5層 黒褐色土(01R 3/1) φ2~5mmの焼土・灰化物を含む 淡黄色シルト小ブロック
 (φ3~5mm)を含む
- 6層 灰黄褐色土(01R 6/2) 褐色土粒子を含む 焼土粒子・褐色土ブロック(φ1mm程度)をわずかに含む
- 7層 赤い黄褐色土(01R 2/1) 焼土を少し含む 褐色土粒子・φ2~10mmの黒色土ブロックを含む
- 9層 黒色土(01R 2/1) 粘質土
- 10層 灰黄褐色土(01R 6/2) 褐色土粒子を含む 白色軽石・淡黄色シルト小ブロック(φ2mm以下)を
 わずかに含む φ1mm以下の黒色土ブロックを少し含む
- 11層 黒色土(01R 2/1) 粘質土



第379図 4区16号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

4区16号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+3cm 口縁部~底部 1/2	口径 11.0 底径 - 器高 3.2	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ におい・糟(9)R(6/4)	口縁部内流。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ、底部ナデ。	
2	黒色土器 椀	埋土中 口縁部~体部上半	口径 17.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 内面黒色 ③ におい・黄緑(10)R(6/3)	外面：口縁部~体部は横方向ヘラ磨き。	
3	須恵器 杯	貯蔵穴埋土中 破片	口径 8.8 底径 6.0 器高 3.4	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 暗灰黄(10)S(5/2)	ロクロ整形。 外面：体部下半~底部は10回転ヘラ削り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	
4	土師器 壺	貯蔵穴埋土中 完形	口径 12.3 底径 8.0 器高 12.1	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 浅黄緑(7)S(8/3)	輪削り。 外面：口縁部横ナデ、胴部上位横、中位縦、下位斜め方向ヘラ削り、底部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部~底部ヘラナデ。	外面の黒色赤り、胴部から底部内面はスス付器。

4区17号住居跡(旧称4区J-17)

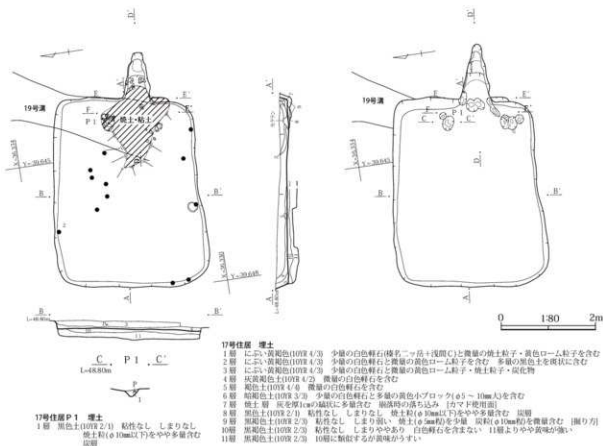
位置：X=36332 Y=-39646 主軸方向：N-98°-E 平面形状：隅丸長方形

残存深度：9cm~27cm 埋没土：少量の白色軽石を含むにおい黄褐色~灰黄褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土である黒褐色土で埋め固め、床面としている。

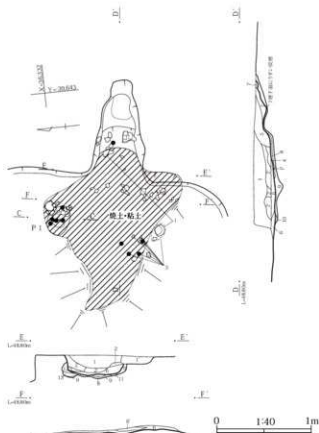
カマド：南東壁中央南寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。袖部は失われているものの、燃焼部使用面には灰層および天井部崩落堆土が認められ、煙道部も良く焼けているため、長期間にわたって使用していたことがうかがえる。調査時にP1として調査した穴と掘り方調査時に検出された小ピットは、その位置と埋土からカマド袖内の心材(袖石)の掘り方である可能性が高い。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁溝溝：なし。

重複遺構：19号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断された。

掘り方：全体に12~22cmほど掘り窪める。出土遺物：床面直上で須恵器杯(No.2)・椀(No.3)の破片などが出土している。所見：4区内の他の竪穴住居跡群とは離れた別群の一画と考えられる。

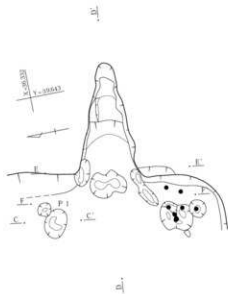


第380図 4区17号住居跡平・断面図、掘り方平面図

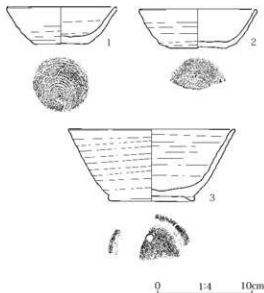


- 17号住居カマド 埋土**
- 1層 黒褐色土(010R 3/3) 多量の白色軽石(砕石C)と少量の焼土粒子 黄色ローム粒子を含む
 - 1層 黒褐色土(010R 3/3) 焼土粒子を含まない
 - 2層 黒褐色土(010R 3/3) 少量の白色軽石と多量の黄色ロームブロック(φ5~10mm)を含む
 - 2層 黒褐色土(010R 3/3) 多量の黄色ロームブロック(φ5~10mm)と焼土ブロック(φ5~10mm)を含む [胎、天井部崩壊土]
 - 3層 灰層 多量の軽石と少量の焼土・小ブロック・黄色ローム・小ブロック(φ5~10mm)を含む 黒褐色土(010R 3/2) 少量の焼土粒子を含む
 - 5層 主に、黒褐色土(010R 3/3) 多量の焼土ブロック(φ5~30mm)を含む [天井部崩壊土]
 - 6層 黒褐色土(010R 2/1) 粘性なし、しまりなし、焼土粒(φ10mm以下)をやや多量含む 炭層
 - 6層 黒褐色土(010R 2/1) 黄灰色粘土(カマド崩壊土)をブロック(φ10mm以下)でやや多量含む
 - 7層 焼土層 灰を厚1cmの層状に多量含む 崩壊時の落ち込み
 - 8層 黒褐色土(010R 2/1) 灰層、しまり強い、焼土ブロック(φ10mm)をやや多量含む 上面が使用面
 - 9層 黒褐色土(010R 2/3) 粘性なし、しまり強い、焼土(φ5mm程度)を少量、炭粒(φ10mm程度)を少量含む [圍り方]
 - 10層 灰層 上面が使用面 厚3cmの焼土(φ0.5~20mm)を少量含む
 - 11層 灰と焼土粒(φ20mm程度)の混層
 - 12層 黒褐色土(010R 2/3) 粘性なし、しまりやや強い、焼土粒(φ10mm)、焼土粒(φ10mm)少量を含む [圍り方]
 - 13層 黒褐色土(010R 2/3) 粘性なし、しまりやや弱い、焼土ブロック(φ30mm)・焼土粒(φ10mm)をやや多量含む [圍り方]

第381図 4区17号住居カマド平・断面図



第382図 4区17号住居カマド掘り方平面図



第383図 4区17号住居出土遺物

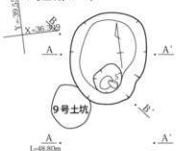
4区17号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法		備考
1	須置器 杯	埋土中 口縁部~底部 2/3	口径 11.5 底径 5.6 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(2.5YR 6/2)	口クロ整形。回転石回り。	外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。体部下端に胎痕あり。	
2	須置器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/2	口径 12.2 底径 6.0 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にぶく(7.5YR 5/3)	口クロ整形。回転石回り。口縁部やや外反。	外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。	
3	須置器 碗	床面直上 口縁部~底部 1/5	口径 17.4 底径 9.0 器高 7.6	① 細砂粒・粗砂粒・細焼 ② 還元焼 不良(生焼け) ③ 灰白(7.0)	口クロ整形。回転石回り。	外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。	

第3章 検出遺構と出土遺物

3. 土坑跡・ピット跡

1号土坑(SK-1)



3号土坑(SK-3)



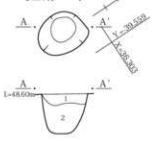
3号土坑 埋土

- 1層 灰黄色土(10FR 5/3) 黄緑色の白色軽石を含む。褐色土粒子・φ1mm程度の黒褐色土ブロックを少量含む
- 2層 期灰土(10FR 4/1) 黄色砂質ローム粒子を含む

1号土坑 埋土

- 1層 黒褐色土(10FR 5/2) φ1mm程の上と重なる。軽石粒φ0.1~10mmの堆土粒をやや多量含む。一部に炭粒を含む。粘性なし。しまり有り
- 2層 黒褐色土(10FR 5/2) 1層から堆土と同状を含む。粘性なし。しまり有り。2層に比べて薄い
- 3層 黒褐色土(10FR 2/1) Cと対する軽石を少量含む。粘性なし。しまり有り。2層に比べて薄い
- 4層 黒褐色土(10FR 2/2) 3層に類似。軽石なし
- 5層 地山のロームで全体に汚れる

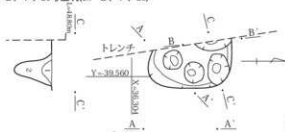
4号土坑(SK-4)



4号土坑 埋土

- 1層 期灰土(10FR 5/1) 微緑の白色軽石を含む。褐色土粒子・黒褐色土粒子を少量含む
- 2層 期灰土(10FR 5/1) 黒褐色土粒子を多く含む。黄色砂質ローム粒子を少量含む

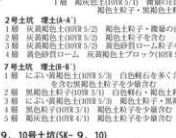
2. 7. 26号土坑(SK-2, 7, 26)



26号土坑 埋土(C-C)

- 1層 灰黄色土(10FR 5/2) 微緑の白色軽石・黒褐色土粒子を含む
- 2層 灰黄色土(10FR 5/2) 黒褐色土粒子を含む。黄色砂質ローム粒子を少量含む

5号土坑(SK-5)



5号土坑 埋土

- 1層 期灰土(10FR 5/1) 微緑の白色軽石を含む。褐色土粒子・黒褐色土粒子を少量含む

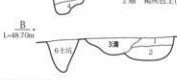
2号土坑 埋土(A-A')

- 1層 灰黄色土(10FR 5/2) 褐色土粒子・微緑の白色軽石を含む
- 2層 灰黄色土(10FR 5/2) 褐色土粒子を含む
- 3層 灰黄色土(10FR 5/2) 黄色砂質ローム粒子を少量含む
- 4層 黄色砂質ローム 灰黄色土ブロック(10FR 5/2 φ20mm)を含む

7号土坑 埋土(B-B')

- 1層 期灰土(10FR 5/3) 白色軽石を多く含む。褐色土粒子を含む。黒褐色土粒子を少量含む
- 2層 期灰土(10FR 5/3) 白色軽石・褐色土粒子を含む
- 3層 期灰土(10FR 5/3) 褐色土粒子・黒褐色土粒子を含む
- 4層 黒色土(10FR 3/1) 褐色土粒子を少量含む
- 5層 期灰土(10FR 4/1) 褐色土粒子を少量含む

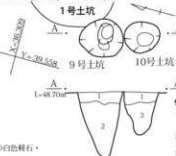
6. 63号土坑(SK-6, 63)



6号土坑 埋土

- 1層 期灰土(10FR 4/1) 褐色土粒子・白色軽石を含む。褐色土粒子を少量含む。褐色土粒子を非常に多量含む
- 2層 黒褐色土(10FR 3/1) 黄色砂質ローム粒子を少量含む
- 3層 黒褐色土(10FR 3/1) 黄色砂質ローム粒子を多量含む
- 4層 黒褐色土(10FR 3/1) 黄色砂質ローム粒子を多量含む

9. 10号土坑(SK-9, 10)



1号土坑

9号土坑

10号土坑

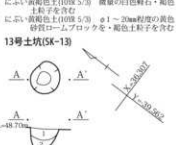
11号土坑 埋土

- 1層 期灰土(10FR 5/3) 微緑の白色軽石・少量のφ1mm程度の黄色砂質ロームブロックを含む。炭化物が表面に充ちまわっている。褐色土粒子を少量含む
- 2層 期灰土(10FR 5/3) 少量のφ1mm程度の黄色砂質ロームブロック・褐色土粒子を含む

9号土坑 埋土

- 1層 期灰土(10FR 5/3) 少量の白色軽石を含む。φ1mm程度の黄色砂質ロームブロック・褐色土粒子を少量含む
- 2層 期灰土(10FR 5/3) 微緑の白色軽石・褐色土粒子を含む
- 3層 期灰土(10FR 5/3) φ1~2mm程度の黄色砂質ロームブロックを含む。褐色土粒子を含む

13号土坑(SK-13)



13号土坑 埋土

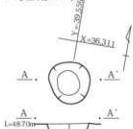
- 1層 灰黄色土(10FR 4/2) 少量の白色軽石・炭化物を含む。褐色土粒子を含む
- 2層 灰黄色土(10FR 4/2) 褐色土粒子を含む



第384図 4区1~13・26・63号土坑路平・断面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

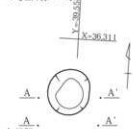
14号土坑(SK-14)



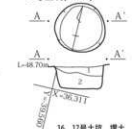
14号土坑 埴土

- 1層 灰黄褐色土(10層 5/3) 少量の白色軽石・褐色土粒子・ ϕ 1mm程度の黄色砂質ロームブロックを含む
- 2層 灰黄褐色土(10層 5/3) ϕ 1mm程度の黄色砂質ロームブロックを含む 黄色砂質ローム粒子を少量含む
- 3層 にごい黄褐色土(10層 5/4) 褐色土粒子を含む

15号土坑(SK-15)



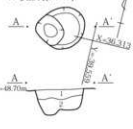
16号土坑(SK-16)



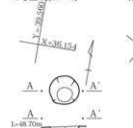
16, 17号土坑 埴土

- 1層 褐色土(10層 5/3) 少量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
- 2層 褐色土(10層 5/3) 褐色土粒子を含む

17号土坑(SK-17)



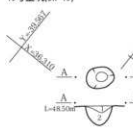
18号土坑(SK-18)



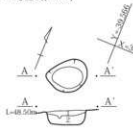
18号土坑 埴土

- 1層 褐色土(10層 5/1) 微量の白色軽石を含む 褐色土粒子を少量含む
- 2層 褐色土(10層 5/1) 褐色土粒子を少量含む

19号土坑(SK-19)



20号土坑(SK-20)



19, 20号土坑 埴土

- 1層 灰黄褐色土(10層 4/2) 微量の白色軽石を含む
- 2層 黄褐色土(10層 3/1) 灰黄褐色土粒子を少量含む

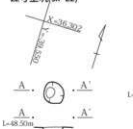
21号土坑(SK-21)



21号土坑 埴土

- 1層 褐色土(10層 4/1) 褐色土粒子を少量含む
- 2層 明黄褐色土(10層 7/3) ϕ 30mm程度の褐色土ブロックを多く含む

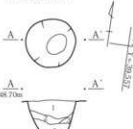
22号土坑(SK-22)



22号土坑 埴土

- 1層 褐色土(10層 4/3) ϕ 1~20mm程度の明黄褐色土ブロックを含む
- 2層 明黄褐色土(10層 7/3) ϕ 20mm程度の褐色土ブロックを含む

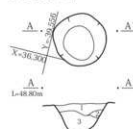
27号土坑(SK-27)



27号土坑 埴土

- 1層 にごい黄褐色土(10層 5/3) 少量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
- 2層 にごい黄褐色土(10層 5/3) ϕ 2~10mm程度のにごい黄褐色土ブロックを少量含む 褐色土粒子を含む
- 3層 にごい黄褐色土(10層 5/3) 褐色土粒子を含む 褐色土(10層 5/1) ϕ 20mm程度の黄色砂質ロームブロックを含む

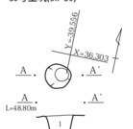
28号土坑(SK-28)



28号土坑 埴土

- 1層 褐色土(10層 5/1) 褐色土粒子を含む少量の黄色砂質ローム粒子を含む
- 2層 褐色土(10層 4/1) 黒褐色土粒子を含む
- 3層 褐色土(10層 5/1) 少量の褐色土粒子を含む

30号土坑(SK-30)



30号土坑 埴土

- 1層 褐色土(10層 4/1) 褐色土粒子を少量含む
- 2層 褐色土(10層 4/1) 黄褐色土粒子を含む

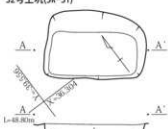
31号土坑(SK-31)



31号土坑 埴土

- 1層 褐色土(10層 4/1) 褐色土粒子を少量含む
- 2層 灰黄褐色土(10層 4/2) 微量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む

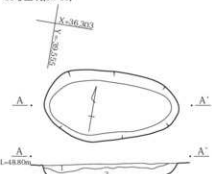
32号土坑(SK-31)



32号土坑 埴土

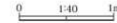
- 1層 灰黄褐色土(10層 4/2) 白色軽石を含む 褐色土粒子を少量含む
- 2層 灰黄褐色土(10層 4/2) 褐色土粒子を少量含む

33号土坑(SK-33)



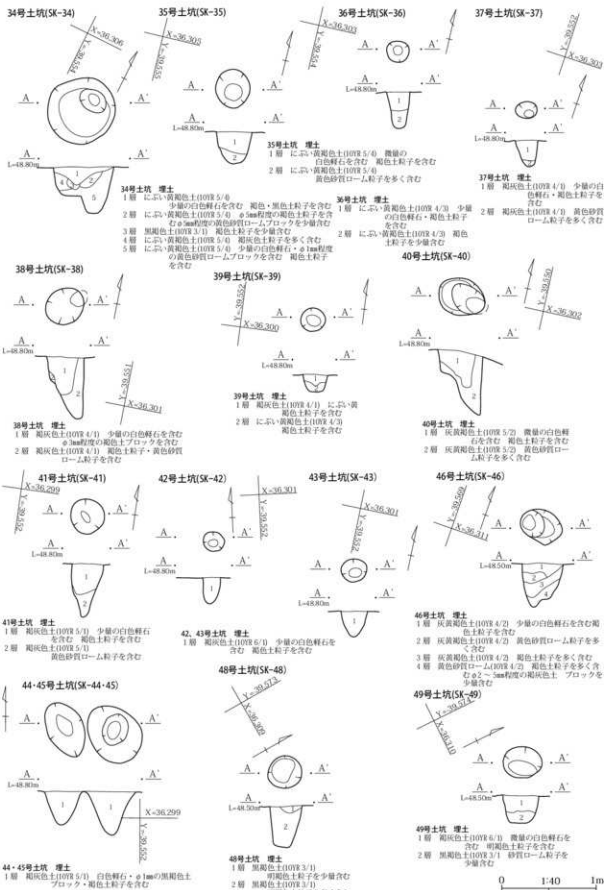
33号土坑 埴土

- 1層 にごい黄褐色土(10層 5/4) 黒小 ϕ 10mm程度の白色軽石を含む褐色土粒子を少量含む
- 2層 灰黄褐色土(10層 5/2) ϕ 1mm程度の白色軽石を含む褐色土粒子を少量含む



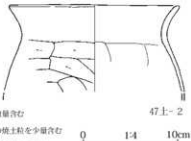
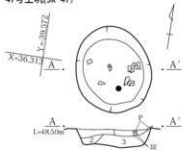
第385図 4区14~22・27・28・30~33号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第386図 4区34～46・48・49号土坑跡平・断面図

47号土坑(SK-47)



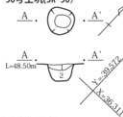
- 47号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 2/3) 粘性なし しまりや中や
 φ5mm以下の白色パミス・炭・φ5mm以下の焼土粒を微量含む
 2層 黒褐色土(10PR 2/3) 粘性なし しまりや中や
 φ5mm以下の白色パミスと炭を微量含む φ5mm以下の焼土粒を少量含む
 3層 黒褐色土(10PR 2/3) 粘性なし しまりや中や
 φ5mm以下の白色パミスと炭を微量含む φ5mm以下の焼土粒を含む

第387図 4区47号土坑跡平・断面図、出土遺物

4区47号土坑跡出土遺物観察表

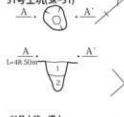
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須臾器 杯蓋	底面+14cm 胴部~1.5縁部 1/3	口径 19.2 胴径 5.5 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化始 ③ 赤い相(5PR 7/4)	口ケロ整形。回転右回り。 外面：天井部上半へラ削り。天井部下半~1.5縁部横ナデ。 端ハ削付。 内面：天井部~1.5縁部ハ削付ナデ。	
2	土師器 甕	底面+12cm 口縁部~胴部上半 破片	口径 17.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化始 良好 ③ 褐色(6.6)	輪削み。 外面：1.5縁部横ナデ。胴部上立橋。中位斜め方向へラ削り。 内面：1.5縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

50号土坑(SK-50)



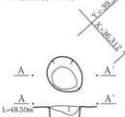
- 50号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 4/1) 少量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
 2層 黒褐色土(10PR 4/1) 褐色土粒子を多く含む

51号土坑(SK-51)



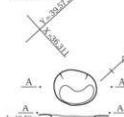
- 51号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 5/1) 微量の白色軽石を含む 褐色土粒子を少量含む
 2層 黒褐色土(10PR 5/1) 砂質ローム粒子を少量含む

52号土坑(SK-52)



- 52号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 5/1) 少量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
 2層 黒褐色土(10PR 5/1) 褐色土粒子を少量含む
 3層 黒褐色土(10PR 5/1) 砂質ローム粒子を少量含む

54号土坑(SK-54)



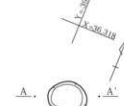
- 54号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 5/1) 少量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
 2層 黒褐色土(10PR 5/1) 褐色土粒子を少量含む
 3層 黒褐色土(10PR 5/1) 砂質ローム粒子を少量含む

53号土坑(SK-53)



- 53号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 3/1) 砂質ローム粒子を少量含む

55号土坑(SK-55)



- 55号土坑 埋土
 1層 灰黄褐色土(10PR 5/2) 微量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
 2層 灰黄褐色土(10PR 5/2) 褐色土粒子を含む
 3層 灰黄褐色土(10PR 5/2) 砂質ローム粒子を含む

56号土坑(SK-56)



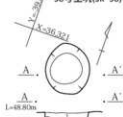
- 56号土坑 埋土
 1層 灰黄褐色土(10PR 5/2) 褐色土粒子を含む
 2層 灰黄褐色土(10PR 5/2) 褐色土粒子を含む 少量の白色軽石を含む
 3層 黒褐色土(10PR 4/1) 砂質ローム粒子を含む

57号土坑(SK-57)



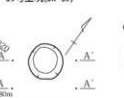
- 57号土坑 埋土
 1層 灰黄褐色土(10PR 5/2) 少量の白色軽石・φ3mm程度の土ブロックを含む
 2層 灰黄褐色土(10PR 5/2) 赤い黄褐色土粒子を少量含む
 3層 灰黄褐色土(10PR 5/2) 赤い黄褐色土粒子を含む

58号土坑(SK-58)



- 58号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 4/1) 微量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
 2層 黒褐色土(10PR 4/1) 褐色土粒子を含む
 3層 黒褐色土(10PR 4/1) φ5mm程度の砂質ロームブロックを含む

59号土坑(SK-59)



- 59号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 4/1) 微量の白色軽石を含む褐色土粒子を含む
 2層 黒褐色土(10PR 4/1) 褐色土粒子を含む
 3層 黒褐色土(10PR 4/1) 砂質ローム粒子を含む

60号土坑(SK-60)

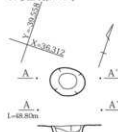


- 60号土坑 埋土
 1層 黒褐色土(10PR 4/1) 微量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
 2層 黒褐色土(10PR 3/4) 褐色土粒子を含む
 3層 黒褐色土(10PR 5/1) 褐色土粒子を含む
 4層 黒褐色土(10PR 5/1) 砂質ローム粒子を多く含む

第388図 4区50~60号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

61号土坑(SK-61)



61号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(100R 5/2) 少量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
- 2層 黒褐色土(100R 3/1) 微量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
- 3層 黒褐色土(100R 3/1) 砂質ローム粒子を多く含む

62号土坑(SK-62)



62号土坑 埋土

- 1層 灰褐色土(100R 4/1) 微量の白色軽石を含む
- 2層 灰黄褐色土(100R 4/2) 褐色土粒子を少量含む 砂質ローム粒子を多く含む

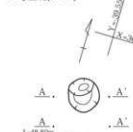
64号土坑(SK-64)



64号土坑 埋土

- 1層 褐色土(100R 4/1) φ1mm程度の褐色土ブロック・φ2～11mm程度の黄色砂質ロームブロックを少量含む

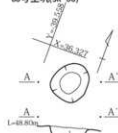
65号土坑(SK-65)



65号土坑 埋土

- 1層 主に、黄褐色砂質土(100R 4/3) 上部に灰化物を含む φ1～5mmの黄褐色土ブロックを多く含む 微量の白色軽石を含む

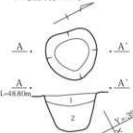
66号土坑(SK-66)



66号土坑 埋土

- 1層 暗褐色砂質土(100R 3/3) 少量の白色軽石・黒色のφ1mm程度の黄色砂質ロームブロックを含む φ2mm程度の褐色土粒子を含む
- 2層 褐色土(100R 4/1) φ10mm程度の黄色砂質ロームブロックを含む

67号土坑(SK-67)



67号土坑 埋土

- 1層 暗褐色砂質土(100R 3/3) 少量の白色軽石・黒色のφ1mm程度の黄色砂質ロームブロックを含む φ2mm程度の褐色土粒子を含む
- 2層 暗褐色土(100R 3/3) φ1mm程度の黒褐色土ブロック・黄色砂質ローム粒子を含む

68号土坑(SK-68)



68号土坑 埋土

- 1層 褐色土(100R 4/6) φ0.5～2mm程度の白色軽石を少量含む φ1mm程度の黒褐色土ブロックを含む
- 2層 褐色土(100R 4/6) 黄色砂質ローム粒子を多く含む φ1mm程度の黒褐色土ブロックを含む
- 3層 黒褐色土(100R 3/1) 黄色砂質ローム粒子を少量含む
- 4層 褐色土(100R 4/6) 黄色砂質ローム粒子を多く含む

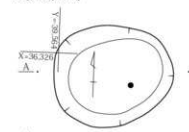
70号土坑(SK-70)



70号土坑 埋土

- 1層 灰褐色土(100R 5/1) 白色軽石を少量含む 褐色土粒子を含む

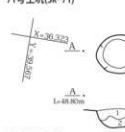
69号土坑(SK-69)



69号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(100R 5/2) φ1～5mm程度の白色軽石を含む 褐色土粒子を多く含む
- 2層 褐色土(100R 6/1) 少量の白色軽石を含む 褐色土粒子を含む
- 3層 灰黄褐色土(100R 5/2) 白色軽石を多く含む 褐色土粒子を含む

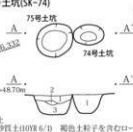
71号土坑(SK-71)



71号土坑 埋土

- 1層 褐色土(100R 5/1) φ1～5mm程度の白色軽石・褐色土粒子を少量含む
- 2層 褐色土(100R 5/1) 微量の白色軽石を含む 褐色土粒子を多く含む

74-75号土坑(SK-74)



74号土坑 埋土

- 1層 暗褐色砂質土(100R 6/1) 褐色土粒子を含むローム粒子を少量含む 微量の白色軽石を含む
- 2層 暗褐色砂質土(100R 5/1) 褐色土粒子を少量含む
- 3層 暗褐色砂質土(100R 3/1) 褐色土粒子を含む
- 4層 褐色土(100R 4/6) 黄色砂質ローム粒子を多く含む

72号土坑(SK-72)



72号土坑 埋土

- 1層 褐色土(100R 6/1) 主に、黄褐色土粒子を多く含む 褐色土粒子を少量含む
- 2層 褐色土(100R 6/1) 褐色土粒子を多く含む 灰化物を含む
- 3層 褐色土(100R 6/1) 褐色土粒子・黄色砂質ローム粒子を含む

73号土坑(SK-73)



73号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(100R 5/2) 少量の白色軽石を含む 微量の褐色土を含む 褐色土粒子を含む 中央部に黒褐色土粒子が散在
- 2層 褐色土(100R 6/1) 褐色土粒子を多く含む

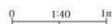
77号土坑(SK-77)



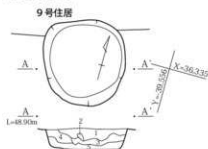
77号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(100R 4/2) 微量の灰化物を含む 少量の白色軽石を含む φ1mm程度の褐色土ブロックを含む
- 2層 灰黄褐色土(100R 5/2) 褐色土粒子を含む

第389図 4区61・62・64～77号土坑跡平・断面図



78号土坑(SK-78)



78号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 少量の白色軽石を含む
- 2層 黄褐色土(10R 3/2) 褐色土粒子を含む
- 3層 黄褐色土(10R 3/2) 少量の白色軽石を含む
- 4層 黄褐色土(10R 3/2) 少量の白色軽石を含む
- 5層 黄褐色土(10R 3/2) 微量の白色軽石を含む

79号土坑(SK-79)



79号土坑 埋土

- 1層 褐色土(10R 4/1)
- 2層 褐色土(10R 4/1)
- 3層 褐色土(10R 4/1) 少量含む

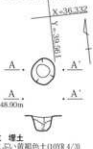
81号土坑(SK-81)



81号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(10R 5/2) 褐色土粒子を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土(10R 5/2) 微量の白色軽石を含む
- 3層 褐色土(10R 4/1) 少量の白色軽石・褐色土粒子を含む

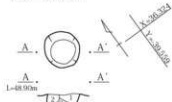
82号土坑(SK-82)



82号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色土(10R 4/2) 褐色土粒子を含む
- 2層 におい・黄褐色土(10R 4/2) 黄色砂質ローム粒子をわずかに含む
- 3層 におい・黄褐色土(10R 4/2) 灰黄褐色土粒子を含む

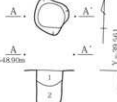
80号土坑(SK-80)



80号土坑 埋土

- 1層 褐色土(10R 4/1) 少量の白色軽石を含む
- 2層 褐色土(10R 4/1) 少量の白色軽石を含む
- 3層 褐色土(10R 4/1) 少量の白色軽石・褐色土粒子を含む
- 4層 褐色土(10R 4/1) 微量の白色軽石を含む

83号土坑(SK-83)



83号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 少量の白色軽石を含む
- 2層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 灰化物・褐色土粒子を含む

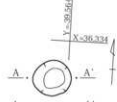
84号土坑(SK-84)



84号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 微量の白色軽石を含む
- 2層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 褐色土粒子・黄色砂質ローム粒子を少量含む

87号土坑(SK-87)



87号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 褐色土粒子を少量含む
- 2層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 0.1mm程度の暗褐色土ブロックを少量含む

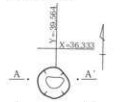
85号土坑(SK-85)



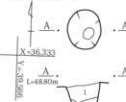
85, 86, 88号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色土(10R 4/2) 褐色土粒子を少量含む
- 2層 におい・黄褐色土(10R 4/2) 黄色砂質ローム粒子を少量含む
- 3層 褐色土(10R 4/1) 0.1mm程度の黄色砂質ロームブロックを多く含む

86号土坑(SK-86)



88号土坑(SK-88)



88号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10R 4/2) 褐色土粒子を含む
- 2層 におい・黄褐色砂質土(10R 6/2) 黄色砂質ローム粒子を含む
- 3層 灰黄褐色土(10R 4/2) 微量の白色軽石を多く含む

89号土坑(SK-89)



89号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 褐色土粒子を少量含む
- 2層 におい・黄褐色土(10R 5/6) 0.1mm程度の暗褐色土ブロックを少量含む

90号土坑(SK-90)



90～92号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色砂質土(10R 4/2) 褐色土粒子を含む

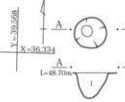
91号土坑(SK-91)



13号溝

- 1層

92号土坑(SK-92)



93号土坑 埋土

- 1層 におい・黄褐色砂質土(10R 4/2) 灰黄褐色土粒子を少量含む
- 2層 におい・黄褐色砂質土(10R 4/2) 褐色土粒子を含む

93号土坑(SK-93)



93号土坑 埋土

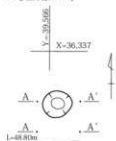
- 1層 におい・黄褐色砂質土(10R 4/2) 灰黄褐色土粒子を少量含む
- 2層 におい・黄褐色砂質土(10R 4/2) 褐色土粒子を含む



第390図 4区78～93号土坑踏平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

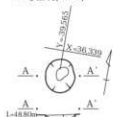
94号土坑(SK-94)



94号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(107R 5/2) 褐色土粒子を少量含む
- 2層 褐色土(107R 4/1) 褐色土粒子を少量含む
- 3層 褐色土(107R 4/1) 褐色土粒子を少量含む

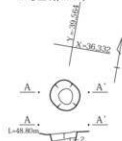
95号土坑(SK-95)



95号土坑 埋土

- 1層 褐色土(107R 5/1) 黄色砂質ローム粒子を多く含む
- 2層 褐色土(107R 4/1) 褐色土粒子を含む
- 3層 褐色土(107R 4/1) 褐色土粒子を多く含む

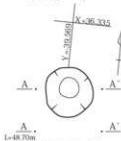
96号土坑(SK-96)



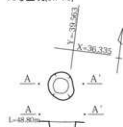
96、97号土坑 埋土

- 1層 におい黄褐色砂質土(107R 4/2) 灰黄褐色土粒子を少量含む
- 2層 におい黄褐色砂質土(107R 4/2) 褐色土粒子を含む
- 3層 におい黄褐色土(107R 4/2) 褐色土粒子を少量含む φ5mm程度の黒色土ブロックを含む

97号土坑(SK-97)



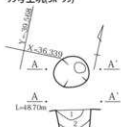
98号土坑(SK-98)



98号土坑 埋土

- 1層 におい黄褐色砂質土(107R 4/2) 灰黄褐色土粒子を少量含む

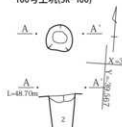
99号土坑(SK-99)



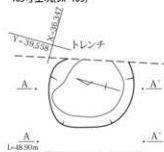
99、100号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(107R 6/2) 褐色土粒子を含む φ2mm程度の褐色土ブロックを少量含む
- 2層 灰黄褐色土(107R 6/2) 褐色土粒子を多く含む φ2mm程度の黄色砂質ロームブロックを少量含む
- 3層 灰黄褐色土(107R 6/2) 褐色土粒子を多く含む 褐色土粒子を少量含む 黒色土粒子を少量含む

100号土坑(SK-100)



105号土坑(SK-105)



105号土坑 埋土

- 1層 におい黄褐色土(107R 5/3) φ2mmくらいの白色軽石を多く含む 灰褐色土粒子を含む
- 2層 黒褐色土(107R 3/1) ローム粒子を含む φ1mmの黒褐色土(107R 3/1) 褐色土粒子を少量含む

101号土坑(SK-100)



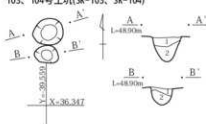
101～104号土坑 埋土

- 1層 におい黄褐色土(107R 5/3) φ1mm程度の墳土・微小の白色軽石をわずかに含む 褐色土粒子を少量含む
- 2層 におい黄褐色土(107R 5/3) 微小の白色軽石を含む 褐色土粒子を少量含む

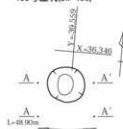
102号土坑(SK-100)



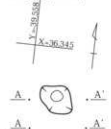
103、104号土坑(SK-103、SK-104)



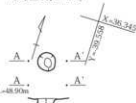
106号土坑(SK-106)



107号土坑(SK-107)



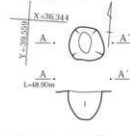
108号土坑(SK-108)



106～109号土坑 埋土

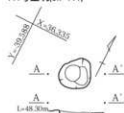
- 1層 におい黄褐色土(107R 4/2) φ1mmの白色軽石を含む φ1mmの黒褐色土ブロック・褐色土粒子を少量含む
- 2層 におい黄褐色土(107R 4/2) φ1mmの黒褐色土ブロック・褐色土粒子を少量含む

109号土坑(SK-109)



第391図 4区94～109号土坑跡平・断面図

111号土坑(SK-111)



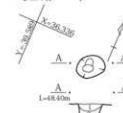
111号土坑 埋土
1層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) 黄色砂質ローム粒子をわずかに含む
2層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) 黒褐色土粒子を含む

112号土坑(SK-112)



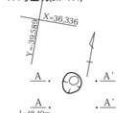
112号土坑 埋土
1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ2mmの白色軽石・φ2mmの褐色土ブロックを少量含む φ3mmの黒褐色土ブロックを多く含む
2層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) 黒褐色土粒子・黄色砂質ローム粒子を少量含む

113号土坑(SK-113)



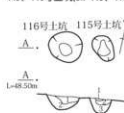
113号土坑 埋土
1層 灰黄褐色土(10YR 6/2) 褐色土粒子・φ0.5mm黄色砂質ロームブロックを少量含む φ1mmの黒褐色土ブロックをわずかに含む
2層 灰黄褐色土(10YR 6/2) 褐色土粒子を少量含む φ1mmの黒褐色土ブロックをわずかに含む
3層 褐色土(10YR 4/1) 黄色砂質ローム粒子を少量含む

114号土坑(SK-114)



114号土坑 埋土
1層 黒褐色土(10YR 3/1) φ2mmの白色軽石をわずかに含む 褐色土粒子・黄色砂質ローム粒子を少量含む
2層 黒褐色土(10YR 3/1) 褐色土粒子・黄色砂質ローム粒子を少量含む

115、116号土坑(SK-115、116)



115号土坑 埋土
1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ1mmの白色軽石・黄色砂質ローム粒子をわずかに含む
2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 黒褐色土粒子を少量含む
3層 黒褐色土(10YR 3/1) わずかに灰黄褐色土粒子を含む

117号土坑(SK-117)



117号土坑 埋土
1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ2mmの白色軽石・φ2mmの黒褐色土ブロック・褐色土粒子を少量含む
2層 暗褐色土(10YR 3/4) 黄色砂質ローム粒子をわずかに含む

118、119号土坑(SK-118、119)



118、119号土坑 埋土
1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ1mmの白色軽石・φ3mmの黒褐色土ブロック・褐色土粒子を少量含む
2層 黒褐色土(10YR 3/1) 黄色砂質ローム粒子を少量含む
3層 黒褐色土(10YR 3/1) 黄色砂質ローム粒子・褐色土粒子を少量含む

120号土坑(SK-120)



120号土坑 埋土
1層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) φ1mmの白色軽石を少量含む
2層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) 黒褐色土粒子を含む

121号土坑(SK-121)



121号土坑 埋土
1層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) φ2mmの白色軽石を少量含む
2層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) 黒褐色土粒子を含む

122号土坑(SK-122)



122号土坑 埋土
1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ1mmの白色軽石・φ1mmの黒褐色土ブロックをわずかに含む
2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 黒褐色土粒子を多く含む
3層 黒褐色土(10YR 3/1) ローム粒子を少量含む

129号土坑(SK-129)



129号土坑 埋土
1層 暗褐色土(10YR 5/1) 褐色土粒子・φ5mmの黄色砂質ロームブロックを少量含む φ1mmの白色軽石・φ2mmの黒褐色土ブロックをわずかに含む
2層 暗褐色土(10YR 5/1) 黄色砂質ロームブロックを少量含む

123、124号土坑(SK-123、124)



124、125号土坑 埋土
1層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) 褐色土粒子を多く含む

125号土坑(SK-125)

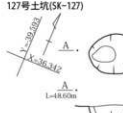


123、126号土坑 埋土
1層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) φ2mmの褐色土ブロック・φ1mmの黄色砂質ロームブロックを少量含む
2層 におい・黄褐色土(10YR 5/3) 黒褐色土粒子を少量含む
3層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ1mmの褐色土ブロック・黄色砂質ローム粒子をわずかに含む

126号土坑(SK-126)



127号土坑(SK-127)



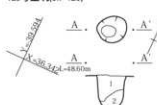
127号土坑 埋土
1層 暗褐色土(10YR 5/1) φ1mmの白色軽石・φ1mmの黄色砂質ロームブロックを含む φ1~3mmの黒褐色土ブロック・褐色土粒子を少量含む
2層 暗褐色土(10YR 5/1) 黄色砂質ローム粒子を少量含む 褐色土粒子をわずかに含む



第392図 4区111～127・129号土坑跡平・断面図

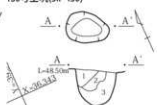
第3章 検出遺構と出土遺物

128号土坑(SK-128)



- 128号土坑 埋土**
 1層 褐灰色土(10R 5/1) 褐色土粒子を少量含む 黄色砂質ローム粒子をわずかに含む
 2層 褐灰色土(10R 5/1) 黄色砂質ロームを多く含む

130号土坑(SK-130)



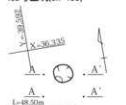
- 130号土坑 埋土**
 1層 深い黄褐色土(10R 5/2) 黒褐色土粒子を含む φ0.5mmの白色軽石をわずかに含む
 2層 深い黄褐色土(10R 6/2) 黒褐色土粒子を多く含む
 3層 深い黄褐色土(10R 6/2) 褐色土粒子を含む φ2mmの黒褐色土ブロックを少量含む

132号土坑(SK-132)



- 132号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色土(10R 6/2) 褐色土粒子を含む ローム粒子をわずかに含む
 2層 灰黄褐色土(10R 6/2) 黒褐色土粒子を多く含む

133号土坑(SK-133)



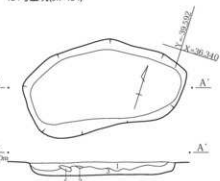
- 133号土坑 埋土**
 1層 黒褐色土(10R 2/2) φ1mm以下の白色軽石をわずかに含む 褐色土粒子を少量含む

131号土坑(SK-131)



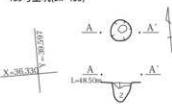
- 131号土坑 埋土**
 1層 褐灰色土(10R 5/1) 褐色土粒子・深い黄褐色土粒子を少量含む φ0.5~1.5mmの白色軽石をわずかに含む
 2層 褐灰色土(10R 5/1) 深い黄褐色土粒子φ0.5mmのロームブロックを含む φ2mmの黒褐色土ブロックをわずかに含む
 3層 褐灰色土(10R 5/1) 深い黄褐色土粒子φ2mmのロームブロックを含む ローム粒子を少量含む

134号土坑(SK-134)

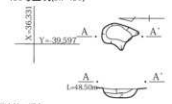


- 134号土坑 埋土**
 1層 褐灰色土(10R 5/1) φ2mmの白色軽石を含む 褐色土粒子・黒褐色土粒子を軽状に少量含む
 2層 黒褐色土(10R 3/1) 灰黄褐色土粒子をわずかに含む
 3層 褐灰色土(10R 4/1) 灰黄褐色土粒子を塊状に含む 黄色砂質ローム粒子を少量含む

135号土坑(SK-135)



136号土坑(SK-136)



- 135, 136号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色土(10R 6/2) 褐色土粒子・黒褐色土粒子を少量含む ローム粒子をわずかに含む
 2層 灰黄褐色土(10R 6/2) φ1.5mmの褐色土粒子を少量含む

137号土坑(SK-137)

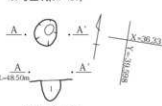


- 137~139号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色土(10R 6/2) 褐色土粒子・黒褐色土粒子を少量含む ローム粒子をわずかに含む

138号土坑(SK-138)

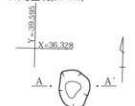


139号土坑(SK-139)



- 140号土坑 埋土**
 1層 褐灰色土(10R 5/1) φ1mmの褐色土粒子を含む φ0.5mmの白色軽石φ2mmのロームブロックを少量含む
 2層 褐灰色土(10R 5/1) φ1mmの褐色土粒子を含む φ0.5mmの白色軽石を少量含む

140号土坑(SK-140)



141号土坑(SK-141)



- 141, 142号土坑 埋土**
 1層 褐灰色土(10R 6/1) φ0.5mmの白色軽石・褐色土粒子をわずかに含む φ1mmの黒褐色土ブロックを少量含む

142号土坑(SK-142)

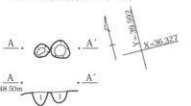


143号土坑(SK-143)

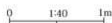


- 143号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色土(10R 6/2) 褐色土粒子・黒褐色土粒子を少量含む ローム粒子をわずかに含む
 2層 灰黄褐色土(10R 6/2) 褐色土粒子を多く含む

144, 145号土坑(SK-144, 145)

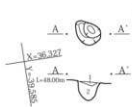


- 144, 145号土坑 埋土**
 1層 褐灰色土(10R 6/1) φ0.5mmの白色軽石・褐色土粒子をわずかに含む φ1mmの黒褐色土ブロックを少量含む



第393図 4区128・130~145号土坑跡平・断面図

146号土坑(SK-146)



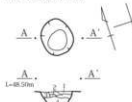
- 146号土坑 埋土**
 1層 明黄褐色土(10YR 6/4) ϕ 1.0mの黒色粘質土ブロックを少量含む褐色土粒を多数含む
 2層 明黄褐色土(10YR 6/4) ϕ 1.5mの黒色粘質土ブロックを多く含む 褐色土粒子を含む

147号土坑(SK-147)



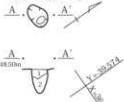
- 147号土坑 埋土**
 1層 褐色土(10YR 5/1) 赤い黄褐色土粒子を含む
 2層 褐色土(10YR 5/1) 褐色土粒子を少量含む ϕ 1.0mの褐色土をわずかに含む
 3層 褐色土(10YR 5/1) 赤い黄褐色土粒子を多く含む
 4層 褐色土(10YR 5/1) 褐色土粒子・ ϕ 1.0mの褐色砂質ロームブロックを少量含む
 5層 褐色砂質土(10YR 5/1) ϕ 1.0mの黄色砂質ロームブロック 褐色土粒子を少量含む
 6層 褐色土(10YR 5/1) 褐色土ブロック(ϕ 1m)・黄色砂質ローム粒子を少量含む

148号土坑(SK-148)



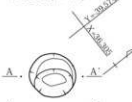
- 148号土坑 埋土**
 1層 褐色土(10YR 4/1) 微細の褐色土粒子を含む ϕ 5mmの黒褐色土ブロックをわずかに含む
 2層 褐色土(10YR 6/1) 微細の褐色土粒子を含む ϕ 1mmの黄色砂質ローム粒子を多く含む
 3層 褐色土(10YR 4/1) わずかに褐色土粒子を含む
 4層 褐色土(10YR 6/1) 微細の褐色土粒子を含む ϕ 1mmの黒褐色土ブロックを少量含む

149号土坑(SK-149)



- 149号土坑 埋土**
 1層 褐色土(10YR 4/1) ϕ 0.5mの白色軽石・黄色砂質ロームブロック(ϕ 0.5mm)をわずかに含む
 2層 褐色土(10YR 4/1) 黄色砂質ローム粒子を含む

150号土坑(SK-150)



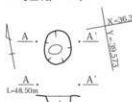
- 150号土坑 埋土**
 1層 褐色土(10YR 4/1) ϕ 1mの白色軽石・ ϕ 1mmの黒褐色土ブロックをわずかに含む 褐色ローム粒子を少量含む
 2層 褐色土(10YR 4/1) ϕ 1mmの白色軽石・褐色土粒子をわずかに含む
 3層 灰黄褐色土(10YR 5/2) ϕ 1mm以下の褐色砂質土を含む 黄色砂質ローム粒子を少量含む
 4層 褐色土(10YR 4/1) ϕ 1mmの褐色土ブロックをわずかに含む
 5層 灰黄褐色土(10YR 5/2) ϕ 1mm以下の褐色砂質土・黄色砂質ローム粒子を含む
 6層 褐色土(10YR 3/1) 黄色砂質ローム粒子を少量含む

151号土坑(SK-151)



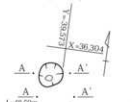
- 151号土坑 埋土**
 1層 赤い黄褐色土(10YR 6/4) 黄色砂質ローム粒子を多く含む

152号土坑(SK-152)



- 152号土坑 埋土**
 1層 赤い黄褐色土(10YR 5/7) ϕ 1mmの白色軽石をわずかに含む 褐色土粒子・ ϕ 0.5mmの黄色砂質ローム粒子を少量含む
 2層 褐色土(10YR 4/1) 黄色砂質ローム粒子を含む

153号土坑(SK-153)



- 153号土坑 埋土**
 1層 褐色土(10YR 4/1) 褐色土粒子を含む
 2層 黒褐色土(10YR 3/1) 褐色土粒子を含む

154号土坑(SK-154)



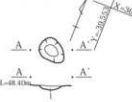
- 154号土坑 埋土**
 1層 黄色砂質ローム ϕ 5mmの黒褐色土ブロックを含む

157号土坑(SK-157)



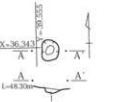
- 157号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 褐色土粒子を多く含む 微細の白色軽石を含む
 2層 赤い黄褐色土(10YR 5/3) 褐色土粒子を多く含む
 3層 褐色土(10YR 4/1) ローム粒子を少量含む
 4層 褐色土(10YR 4/1) 微細の白色軽石を含む 褐色土粒子・ローム粒子を含む
 5層 赤い黄褐色土(10YR 6/3) 褐色土粒子・ローム粒子を含む

155号土坑(SK-155)



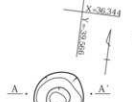
- 155, 156号土坑 埋土**
 1層 赤い黄褐色土(10YR 4/3) ローム粒子を含む

156号土坑(SK-156)



- 156, 162号土坑 埋土**
 1層 赤い黄褐色土(10YR 4/3) ϕ 0.5~2mmの白色軽石・褐色土粒子を少量含む 粘土をわずかに含む
 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 赤い黄褐色土粒子・ ϕ 0.5mmのロームブロックを少量含む

160号土坑(SK-160)



- 160号土坑 埋土**
 1層 褐色土(10YR 4/1) ϕ 1mmの褐色土ブロックをわずかに含む

162号土坑(SK-162)

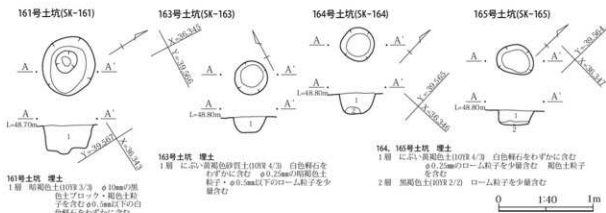


- 162号土坑 埋土**
 1層 褐色土(10YR 4/1) ϕ 1mmの褐色土ブロックをわずかに含む

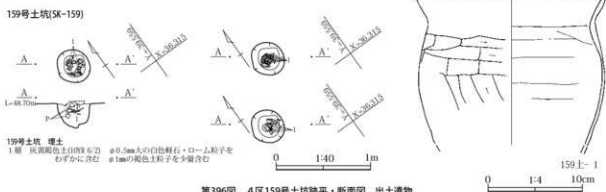


第394図 4区146~157・160・162号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



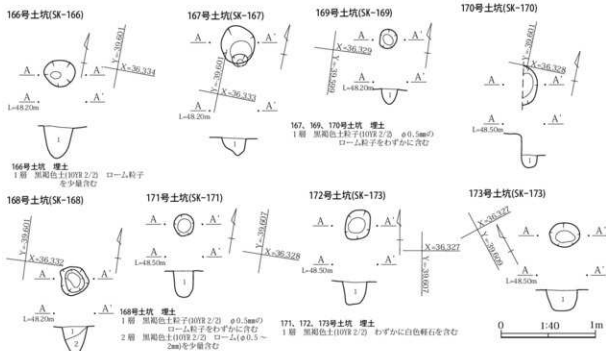
第395図 4区161～165号土坑跡平・断面図



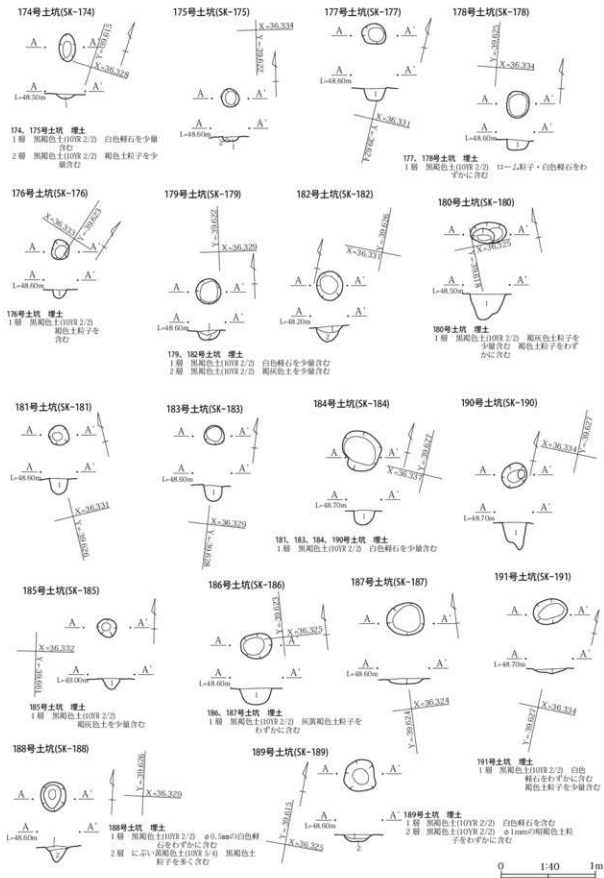
第396図 4区159号土坑跡平・断面図、出土遺物

4区159号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	底面+7cm 口縁部～胴部上半 破片	口径 20.1 底径 — 器高 —	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ 明赤褐色(図5/6)	輪埴み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	



第397図 4区166～173号土坑跡平・断面図



第398図 4区174～191号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

4区 土坑跡一覧表						注) 計測値の()は、推定値を示す			
遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	重複関係	備考
1号土坑跡	X = 36309 Y = 39557	100 × 80cm	80cm	楕円形	逆台形	骨(土台石)	白色軽石と焼土粒、炭化物を含んだ黒褐色土。	9号土坑よりも新	
2号土坑跡	X = 36305 Y = 39560	不明	27cm	不明	逆台形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。	7号土坑、26号土坑よりも旧	
3号土坑跡	X = 36304 Y = 39559	55 × 45cm	63cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石を含む、褐色土粒子、黒褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。		
4号土坑跡	X = 36303 Y = 39555	50 × 45cm	45cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石を含むと少量の褐色土粒子、黒褐色土粒子を含んだ褐色土。		
5号土坑跡	X = 36302 Y = 39559	40 × 35cm	58cm	楕円形	U字形	土師器片	微量の白色軽石と少量の褐色土粒子、黒褐色土粒子を含んだ褐色土。		
6号土坑跡	X = 36302 Y = 39558	45 × 35cm	33cm	楕円形	逆台形	なし	褐色土粒子、白色軽石、黒色土粒子を含んだ褐色土。		
7号土坑跡	X = 36305 Y = 39560	不明	31cm	不明	平円形	なし	少量の褐色土粒子を含んだ褐色土。	2号土坑よりも新	
8号土坑跡	X = 36307 Y = 39557	30 × 25cm	34cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石を含んだ赤・黄褐色土。		
9号土坑跡	X = 36308 Y = 39557	45 × 40cm	69cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と黄色砂質ロームブロック、褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。	1号土坑よりも旧	
10号土坑跡	X = 36308 Y = 39557	35 × 30cm	63cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と黄色砂質ロームブロック、褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。		
11号土坑跡	X = 36309 Y = 39558	32 × 32cm	53cm	円形	U字形	なし	微量の白色軽石と少量の黄色砂質ロームブロック、褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。		
12号土坑跡	X = 36305 Y = 39563	36 × 27cm	20cm	楕円形	逆台形	なし	多量の白色軽石と少量の褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。		
13号土坑跡	X = 36308 Y = 39562	30 × 35cm	20cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と炭化物、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
14号土坑跡	X = 36310 Y = 39559	46 × 43cm	29cm	楕円形	逆台形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子、黄色砂質ロームブロックを含んだ灰黄褐色土。		
15号土坑跡	X = 36310 Y = 39558	50 × 45cm	28cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
16号土坑跡	X = 36312 Y = 39560	55 × 55cm	25cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
17号土坑跡	X = 36313 Y = 39558	55 × 45cm	27cm	楕円形	逆台形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
18号土坑跡	X = 36314 Y = 39560	32 × 32cm	22cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
19号土坑跡	X = 36310 Y = 39566	30 × 22cm	23cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石を含んだ灰黄褐色土。		
20号土坑跡	X = 36310 Y = 39566	45 × 33cm	15cm	不定形	逆台形	なし	微量の白色軽石を含んだ灰黄褐色土。		
21号土坑跡	X = 36303 Y = 39559	45 × 32cm	36cm	楕円形	U字形	須恵器片	褐色土粒子と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
22号土坑跡	X = 36301 Y = 39559	25 × 22cm	36cm	楕円形	V字形	なし	明黄褐色ブロックを含んだ褐色土。	柱穴の可能性が高い。	
24号土坑跡	X = 36301 Y = 39559	150 × 70	48cm	不定形	なし	なし	白色軽石、焼土粒、炭化物、ローム粒子を含んだ灰黄褐色土。	6号住居と重複	6号住居跡穴の可能性有。
26号土坑跡	X = 36305 Y = 39560	35 × 23cm	40cm	楕円形	U字形	土師器片	少量の褐色土粒子を含んだ褐色土。	2号土坑よりも新しい	
27号土坑跡	X = 36299 Y = 39558	53 × 50cm	47cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子、径2～10mm程の赤・黄褐色土ブロックを含んだ赤・黄褐色土。		
28号土坑跡	X = 36300 Y = 39558	55 × 55cm	40cm	円形	逆台形	なし	褐色土粒子と少量の黄色砂質ローム粒子を含んだ褐色土。	28号土坑東に29号土坑有。	
30号土坑跡	X = 36303 Y = 39558	28 × 28cm	36cm	円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子を含んだ褐色土。		
31号土坑跡	X = 36302 Y = 39555	38 × 30cm	17cm	楕円形	逆台形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含む黄褐色土。		
32号土坑跡	X = 36304 Y = 39555	105 × 70cm	32cm	縦長正方形	逆台形	土師器片	白色軽石と少量の褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
33号土坑跡	X = 36302 Y = 39554	143 × 75cm	15cm	楕円形	逆台形	なし	白色軽石と少量の褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。		
34号土坑跡	X = 36305 Y = 39553	73 × 70cm	50cm	ほぼ円形	逆台形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。		
35号土坑跡	X = 36305 Y = 39554	40 × 37cm	33cm	ほぼ円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。		
36号土坑跡	X = 36303 Y = 39555	25 × 25cm	36cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ赤・黄褐色土。		
37号土坑跡	X = 36302 Y = 39552	25 × 20cm	27cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。	柱穴の可能性有。	
38号土坑跡	X = 36302 Y = 39552	45 × 35cm	67cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と径3mm程の褐色土ブロックを含んだ褐色土。	柱穴の可能性有。	
39号土坑跡	X = 36300 Y = 39551	40 × 35cm	23cm	楕円形	U字形	なし	赤・黄褐色土粒子を含んだ褐色土。		
40号土坑跡	X = 36302 Y = 39551	50 × 40cm	65cm	楕円形	V字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。	柱穴の可能性有。	
41号土坑跡	X = 36299 Y = 39551	38 × 38cm	60cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。	柱穴の可能性有。	
42号土坑跡	X = 36301 Y = 39552	22 × 22cm	33cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。	柱穴の可能性有。	
43号土坑跡	X = 36300 Y = 39552	28 × 25cm	28cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	重要関係	備考
44号土坑	X = 36300 Y = 39553	60 × 40cm35cm		楕円形	U字形	土師器表	白色軽石と径1mmの黒褐色土ブロック、褐色土粒子を含んだ褐色土。		
45号土坑	X = 36300 Y = 39552	65 × 55cm45cm		楕円形	U字形	なし	白色軽石と径1mmの黒褐色土ブロック、褐色土粒子を含んだ褐色土。		
46号土坑	X = 36311 Y = 39568	45 × 35cm54cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
47号土坑	X = 36313 Y = 39571	92 × 80cm20cm		楕円形	逆台形	土師器裏、須恵器裏	微量の白色軽石と炭化物、焼土を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性有。
48号土坑	X = 36309 Y = 39572	35 × 35cm43cm		円形	U字形	なし	少量の明褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性有。
49号土坑	X = 36310 Y = 39573	40 × 35cm30cm		楕円形	逆台形	なし	微量の白色軽石と明褐色土粒子を含んだ褐色土。		
50号土坑	X = 36311 Y = 39573	30 × 30cm20cm		円形	逆台形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		柱穴の可能性有。
51号土坑	X = 36312 Y = 39573	30 × 20cm32cm		不定形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		柱穴の可能性有。
52号土坑	X = 36311 Y = 39572	40 × 35cm40cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		柱穴の可能性有。
53号土坑	X = 36312 Y = 39572	17 × 14cm20cm		ほぼ円形	U字形	なし	砂質ローム粒子を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性有。
54号土坑	X = 36311 Y = 39572	45 × 35cm40cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		柱穴の可能性有。
55号土坑	X = 36317 Y = 39569	45 × 35cm23cm		楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
56号土坑	X = 36317 Y = 39566	35 × 25cm22cm		不定形	逆台形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
57号土坑	X = 36319 Y = 39560	30 × 30cm23cm		円形	逆台形	なし	少量の白色軽石と黒色土ブロックを含んだ灰黄褐色土。		
58号土坑	X = 36321 Y = 39560	55 × 45cm38cm		楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
59号土坑	X = 36320 Y = 39561	35 × 35cm35cm		円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
60号土坑	X = 36316 Y = 39558	40 × 40cm32cm		ほぼ円形	U字形	土師器裏	微量の白色軽石と炭化物、褐色土粒子を含んだ褐色土。		
61号土坑	X = 36312 Y = 39557	40 × 30cm20cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
62号土坑	X = 36319 Y = 39561	35 × 35cm32cm		ほぼ円形	U字形	なし	微量の白色軽石を含んだ褐色土。		
63号土坑	X = 36301 Y = 39558	不明	21cm	不明	逆台形か	なし	白色軽石、褐色土粒子を含んだ褐色土。		
64号土坑	X = 36325 Y = 39553	35 × 30cm12cm		楕円形	U字形	なし	少量の褐色土ブロックと黄色砂質ロームブロックを含んだ褐色土。		
65号土坑	X = 36326 Y = 39557	35 × 35cm31cm		円形	半円形	なし	上面に炭化物があり、径1～5mmの黄褐色土ブロックと微量の白色軽石を含んだにぶい黄褐色土。		
66号土坑	X = 36327 Y = 39558	40 × 35cm26cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土ブロック、黄色砂質ロームブロックを含んだ暗褐色砂質土。		
67号土坑	X = 36326 Y = 39559	55 × 50cm40cm		不定形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土ブロック、黄色砂質ロームブロックを含んだ暗褐色砂質土。		
68号土坑	X = 36325 Y = 39560	90 × 70cm84cm		不定形	U字形	なし	少量の白色軽石と黒褐色土ブロックを含んだ褐色土。		
69号土坑	X = 36326 Y = 39563	130 × 110cm	30cm	楕円形	逆台形	土師器裏、須恵器杯	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
70号土坑	X = 36324 Y = 39565	30 × 28cm22cm		ほぼ円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ褐色土。		
71号土坑	X = 36323 Y = 39566	45 × 40cm22cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と黒褐色土粒子、褐色土粒子を含んだ褐色土。		
72号土坑	X = 36332 Y = 39568	37 × 37cm26cm		円形	U字形	須恵器杯	褐色土粒子と炭化物を含んだ褐色土。		
73号土坑	X = 36332 Y = 39568	55 × 50cm15cm		楕円形	逆台形	なし	褐色土粒子とローム粒子を含んだにぶい黄褐色砂質土。		
74号土坑	X = 36332 Y = 39568	32 × 22cm21cm		楕円形	U字形	なし	褐色土粒子と少量のローム粒子、微量の白色軽石を含んだ褐色土砂質土。		
75号土坑	X = 36332 Y = 39568	40 × 35cm20cm		楕円形	逆台形	なし	少量の褐色土粒子を含んだ褐色土砂質土。		
76号土坑	X = 36332 Y = 39566	30 × 25cm15cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と焼土、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
77号土坑	X = 36334 Y = 39557	30 × 25cm25cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と炭化物、径2mm程度の褐色土ブロックを含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
78号土坑	X = 36335 Y = 39557	90 × 90cm20cm		隅丸方形	逆台形	土師器裏、須恵器裏	少量の白色軽石を含んだにぶい黄褐色土。	9号住居よりも新	
79号土坑	X = 36334 Y = 39555	35 × 35cm36cm		ほぼ円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子、多量のにぶい黄褐色土粒子を含んだ褐色土。		柱穴の可能性有。
80号土坑	X = 36334 Y = 39560	40 × 40cm18cm		ほぼ円形	U字形	なし	微量の白色軽石と黄色砂質ロームブロック、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色砂質土。		柱穴の可能性有。
81号土坑	X = 36333 Y = 39560	40 × 35cm35cm		楕円形	U字形	なし	褐色土粒子と黄色砂質ローム粒子を含んだにぶい黄褐色土。		柱穴の可能性有。
82号土坑	X = 36331 Y = 39561	28 × 24cm17cm		楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだにぶい黄褐色土。		柱穴の可能性有。
83号土坑	X = 36333 Y = 39562	35 × 35cm40cm		不定形	U字形	須恵器杯	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだにぶい黄褐色土。		柱穴の可能性有。
84号土坑	X = 36334 Y = 39562	40 × 30cm32cm		楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、黄色砂質ローム粒子を含んだにぶい黄褐色土。		柱穴の可能性有。

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	重要関係	備考
85号土坑跡	X = 36333 Y = -39563	35 × 35cm	45cm	円形	U字形	なし	褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
86号土坑跡	X = 36333 Y = -39564	35 × 30cm	30cm	楕円形	U字形	なし	褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
87号土坑跡	X = 36334 Y = -39564	40 × 38cm	33cm	ほぼ円形	U字形	なし	褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
88号土坑跡	X = 36333 Y = -39565	40 × 35cm	37cm	楕円形	U字形	なし	褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
89号土坑跡	X = 36334 Y = -39565	55 × 50cm	67cm	楕円形	逆台形	土師器環・ 鉄、築基 礎石	微量の白色軽石と焼土、炭化物、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
90号土坑跡	X = 36335 Y = -39566	24 × 23cm	22cm	円形	U字形	なし	褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
91号土坑跡	X = 36336 Y = -39565	23 × 20cm	16cm	不定形	U字形	土師器片	褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
92号土坑跡	X = 36334 Y = -39567	35 × 30cm	27cm	楕円形	U字形	なし	褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。	13号溝より新	柱穴の可能性有。
93号土坑跡	X = 36333 Y = -39568	35 × 33cm	20cm	ほぼ円形	U字形	なし	灰褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
94号土坑跡	X = 36336 Y = -39566	30 × 30cm	25cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
95号土坑跡	X = 36339 Y = -39565	35 × 30cm	27cm	楕円形	U字形	土師器片	多量の黄色砂質ローム粒子を含んだ灰褐色土。		柱穴の可能性有。
96号土坑跡	X = 36334 Y = -39569	52 × 52cm	25cm	円形	U字形	なし	少量の灰黄褐色土粒子と褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
97号土坑跡	X = 36331 Y = -39564	32 × 32cm	22cm	円形	U字形	なし	少量の灰黄褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
98号土坑跡	X = 36335 Y = -39563	30 × 27cm	35cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の灰黄褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
99号土坑跡	X = 36339 Y = -39567	40 × 33cm	57cm	楕円形	U字形	土師器片・ 須恵器杯・ 鉄	褐色土粒子と径2mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
100号土坑跡	X = 36339 Y = -39567	30 × 27cm	53cm	ほぼ円形	U字形	なし	褐色土粒子と径2mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
101号土坑跡	X = 36347 Y = -39564	不明	37cm	不明	逆台形	土師器片	微量の白色軽石と焼土、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		
102号土坑跡	X = 36347 Y = -39561	35 × 30cm	33cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と焼土、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
103号土坑跡	X = 36348 Y = -39559	35 × 30cm	28cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と焼土、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
104号土坑跡	X = 36348 Y = -39559	25 × 20cm	18cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と焼土、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
105号土坑跡	X = 36348 Y = -39559	90cm × 不明	20cm	隅丸長方形	逆台形	土師器片	白色軽石と黒褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		9号溝の沈没の跡を伴う。
106号土坑跡	X = 36348 Y = -39559	40 × 38cm	37cm	円形	U字形	土師器片	白色軽石と褐色土粒子と、径1mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
107号土坑跡	X = 36345 Y = -39558	40 × 30cm	30cm	不定形	U字形	なし	白色軽石と褐色土粒子と、径1mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
108号土坑跡	X = 36345 Y = -39558	20 × 20cm	25cm	円形	U字形	なし	白色軽石と褐色土粒子と、径1mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
109号土坑跡	X = 36344 Y = -39558	40 × 35cm	33cm	不定形	U字形	なし	白色軽石と褐色土粒子と、径1mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		
111号土坑跡	X = 36335 Y = -39587	35 × 30cm	25cm	不定形	V字形	なし	微量の黄色砂質ローム粒子を含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
112号土坑跡	X = 36334 Y = -39588	32 × 32cm	25cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の白色軽石と多量の黒褐色土ブロック、径3mm程度の褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
113号土坑跡	X = 36336 Y = -39588	30 × 22cm	26cm	楕円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子、黄色砂質ロームブロックを含んだ灰黄褐色土。		柱穴の可能性有。
114号土坑跡	X = 36335 Y = -39588	22 × 22cm	20cm	ほぼ円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、黄色砂質ローム粒子を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性有。
115号土坑跡	X = 36337 Y = -39588	30 × 20cm	16cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石と黒褐色土粒子、黄色砂質ローム粒子を含んだ灰黄褐色土。		
116号土坑跡	X = 36337 Y = -39589	35 × 30cm	16cm	楕円形	U字形	なし	白色軽石と褐色土粒子と、黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		
117号土坑跡	X = 36337 Y = -39588	25 × 25cm	20cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子、径2mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		
118号土坑跡	X = 36337 Y = -39590	35 × 30cm	25cm	不定形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子、径3mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	重要関係	備考
119 号土坑跡	X = 36337 Y = 39590	28 × 25cm	25cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子、径3mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		
120 号土坑跡	X = 36337 Y = 39590	20 × 20cm	22cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
121 号土坑跡	X = 36339 Y = 39591	20 × 17cm	22cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の白色軽石を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
122 号土坑跡	X = 36339 Y = 39590	40 × 30cm	38cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と黒褐色土粒子、径1mm程度の黒褐色土ブロックを少量含んだ灰黄褐色土。		
123 号土坑跡	X = 36340 Y = 39591	30 × 30cm	44cm	円形	U字形	なし	径2mm程度の褐色土ブロック、黄色砂質ロームブロックを少量含んだに い黄褐色土。	13号溝より新	柱穴の可能性有。
124 号土坑跡	X = 36340 Y = 39591	22 × 20cm	24cm	ほぼ円形	U字形	なし	径2mm程度の褐色土ブロック、黄色砂質ロームブロックを少量含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
125 号土坑跡	X = 36340 Y = 39591	20 × 20cm	35cm	ほぼ円形	V字形	なし	褐色土粒子を多く含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
126 号土坑跡	X = 36340 Y = 39591	20 × 20cm	18cm	円形	U字形	なし	径2mm程度の褐色土ブロック、黄色砂質ロームブロックを少量含んだに い黄褐色土。		
127 号土坑跡	X = 36342 Y = 39592	50 × 40cm	60cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石、黒褐色土ブロック、褐色土粒子、黄色砂質ロームブロックを含んだ褐色土。		
128 号土坑跡	X = 36343 Y = 39593	33 × 30cm	38cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子と黄色砂質ローム粒子を含んだ褐色土。		
129 号土坑跡	X = 36343 Y = 39593	不明	52cm	不明	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、径2mm程度の褐色土ブロック、黄色砂質ロームブロックを含んだ褐色土。		
130 号土坑跡	X = 36343 Y = 39589	45 × 30cm	38cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と黒褐色土粒子を含んだに い黄褐色土。		
131 号土坑跡	X = 36343 Y = 39588	50 × 40cm	70cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石とに い黄褐色土粒子。		柱穴の可能性有。
132 号土坑跡	X = 36340 Y = 39580	43 × 38cm	40cm	不定形	U字形	なし	褐色土粒子とローム粒子を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
133 号土坑跡	X = 36335 Y = 39592	20 × 20cm	32cm	円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性有。
134 号土坑跡	X = 36339 Y = 39592	170 × 90cm	15cm	不定形	逆台形	なし	白色軽石と褐色土粒子、黒褐色土粒子を含んだ褐色土。		
135 号土坑跡	X = 36330 Y = 39596	22 × 22cm	27cm	円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子、ローム粒子、黒褐色土粒子を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
136 号土坑跡	X = 36330 Y = 39597	30 × 22cm	12cm	不定形	逆台形	なし	少量の褐色土粒子、ローム粒子、黒褐色土粒子を含んだに い黄褐色土。		
137 号土坑跡	X = 36331 Y = 39597	17 × 17cm	16cm	円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子、ローム粒子、黒褐色土粒子を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
138 号土坑跡	X = 36331 Y = 39598	15 × 15cm	12cm	円形	U字形	須恵器片	少量の褐色土粒子、ローム粒子、黒褐色土粒子を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
139 号土坑跡	X = 36331 Y = 39599	28 × 23cm	25cm	楕円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子、ローム粒子、黒褐色土粒子を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
140 号土坑跡	X = 36328 Y = 39594	40 × 30cm	18cm	不定形	U字形	なし	少量の白色軽石と褐色土粒子、径2mmのロームブロックを含んだ褐色土。		
141 号土坑跡	X = 36328 Y = 39593	15 × 15cm	10cm	円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、径1mmの黒褐色土ブロックを含んだ褐色土。		
142 号土坑跡	X = 36328 Y = 39593	22 × 19cm	9cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、径1mmの黒褐色土ブロックを含んだ褐色土。		
143 号土坑跡	X = 36327 Y = 39598	25 × 20cm	30cm	不定形	U字形	なし	少量の褐色土粒子、ローム粒子、黒褐色土粒子を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
144 号土坑跡	X = 36327 Y = 39593	17 × 15cm	14cm	ほぼ円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、径1mmの黒褐色土ブロックを含んだ褐色土。		
145 号土坑跡	X = 36327 Y = 39593	20 × 20cm	13cm	ほぼ円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、径1mmの黒褐色土ブロックを含んだ褐色土。		
146 号土坑跡	X = 36327 Y = 39594	30 × 23cm	28cm	不定形	U字形	なし	褐色土粒子と、径1mmの黒褐色土ブロックを少量含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
147 号土坑跡	X = 36305 Y = 39578	50 × 40cm	32cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、に い黄褐色土粒子を含んだ褐色土。		
148 号土坑跡	X = 36304 Y = 39578	38 × 32cm	20cm	楕円形	逆台形	なし	褐色土粒子、径5mmの黒褐色土ブロック、黄色砂質ローム粒子を含んだ褐色土。		
149 号土坑跡	X = 36305 Y = 39575	26 × 18cm	30cm	不定形	V字形	なし	微量の白色軽石と黄色砂質ローム粒子を含んだ褐色土。		柱穴の可能性有。
150 号土坑跡	X = 36304 Y = 39574	50 × 45cm	30cm	楕円形	逆台形	なし	微量の白色軽石とローム粒子、径1mmの結核質ブロックを含んだ褐色土。		
151 号土坑跡	X = 36304 Y = 39575	18 × 18cm	18cm	円形	U字形	なし	黄色砂質ローム粒子を含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
152 号土坑跡	X = 36304 Y = 39573	35 × 28cm	35cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子、黄色砂質ローム粒子を少量含んだに い黄褐色土。		柱穴の可能性有。
153 号土坑跡	X = 36304 Y = 39573	28 × 25cm	35cm	不定形	V字形	なし	褐色土粒子を含んだ褐色土。		柱穴の可能性有。
154 号土坑跡	X = 36330 Y = 39553	38 × 35cm	90cm	ほぼ円形	U字形	なし	黄色砂質ロームと径5mmの黒褐色土ブロックを含んだ褐色土。		柱穴の可能性有。
155 号土坑跡	X = 36338 Y = 39553	30 × 23cm	7cm	不定形	平円形	なし	ローム粒子を含んだに い黄褐色土。		
156 号土坑跡	X = 36343 Y = 39555	22 × 18cm	7cm	不定形	平円形	なし	ローム粒子を含んだに い黄褐色土。		

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	重要関係	備考
157号土坑跡	X = 36334 Y = -39583	95 × 70cm	49cm	不定形	逆台形	なし	多量の褐色土粒子と微量の白色軽石を含んだ灰黄褐色土。	6号溝、10号溝より新	
158号土坑跡	X = 36337 Y = -39563	176 × 76cm	58cm	不定形	逆台形	なし	少量の淡黄色砂質ローム土を塊状に含んだ黒褐色土。	8号住居より旧	調査土坑が、ないしは、遺物が出土して、ないことから、埋壊も遺となる可能性もある。
159号土坑跡	X = 36315 Y = -39566	35 × 35cm	23cm	ほぼ円形	U字形	土師器残片が正位で確認	微量の白色軽石とローム粒子、褐色土粒子を含んだ灰黄褐色土。		埋壊
160号土坑跡	X = 36343 Y = -39566	50 × 50cm	27cm	ほぼ円形	逆台形	土師器杯、残	少量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ、赤、黄褐色土。		
161号土坑跡	X = 36343 Y = -39568	62 × 56cm	34cm	楕円形	逆台形	土師器残	微量の白色軽石と褐色土粒子、径10mmの黄色ブロックを含んだ黒褐色土。		
162号土坑跡	X = 36345 Y = -39566	52 × 50cm	55cm	ほぼ円形	U字形	土師器残	少量の白色軽石と褐色土、褐色土粒子を含んだ、赤、黄褐色土。		
163号土坑跡	X = 36345 Y = -39565	35 × 35cm	15cm	円形	U字形	土師器残	微量の白色軽石と褐色土粒子、ローム粒子を含んだ、赤、黄褐色砂質土。		
164号土坑跡	X = 36346 Y = -39565	35 × 35cm	20cm	円形	逆台形	なし	微量の白色軽石とローム粒子、褐色土粒子を含んだ、赤、黄褐色土。		
165号土坑跡	X = 36347 Y = -39565	40 × 30cm	26cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石とローム粒子、褐色土粒子を含んだ、赤、黄褐色土。		
166号土坑跡	X = 36334 Y = -39602	35 × 28cm	36cm	楕円形	U字形	なし	少量のローム粒子を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性有。
167号土坑跡	X = 36333 Y = -39601	40 × 35cm	32cm	楕円形	U字形	なし	微量のローム粒子を含んだ黒褐色土。		
168号土坑跡	X = 36332 Y = -39600	30 × 30cm	30cm	不定形	U字形	なし	微量のローム粒子を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性が高い。東側にある土坑群より検出レベルが30cmほど低い。
169号土坑跡	X = 36327 Y = -39598	20 × 20cm	18cm	円形	U字形	なし	微量のローム粒子を含んだ黒褐色土。		東側にある土坑群より検出レベルが30cmほど低い。
170号土坑跡	X = 36327 Y = -39598	不明	14cm	不明	U字形	なし	微量のローム粒子を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性が高い。東側にある土坑群より検出レベルが30cmほど低い。
171号土坑跡	X = 36328 Y = -39608	23 × 22cm	28cm	円形	U字形	なし	微量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		柱穴の可能性有。
172号土坑跡	X = 36327 Y = -39608	33 × 26cm	31cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
173号土坑跡	X = 36326 Y = -39608	32 × 25cm	23cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
174号土坑跡	X = 36328 Y = -39615	30 × 20cm	6cm	楕円形	半円形	なし	少量の褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		
175号土坑跡	X = 36333 Y = -39622	20 × 20cm	6cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
176号土坑跡	X = 36333 Y = -39623	20 × 20cm	10cm	不定形	U字形	なし	褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		
177号土坑跡	X = 36332 Y = -39624	26 × 22cm	18cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石とローム粒子を含んだ黒褐色土。		
178号土坑跡	X = 36333 Y = -39625	28 × 24cm	12cm	隅丸長方形	U字形	なし	微量の白色軽石とローム粒子を含んだ黒褐色土。		
179号土坑跡	X = 36329 Y = -39622	26 × 26cm	10cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
180号土坑跡	X = 36325 Y = -39618	40 × 20cm	30cm	楕円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子と褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		
181号土坑跡	X = 36332 Y = -39626	22 × 22cm	18cm	円形	U字形	なし	少量の褐色土粒子と褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		
182号土坑跡	X = 36331 Y = -39626	30 × 28cm	17cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
183号土坑跡	X = 36330 Y = -39628	22 × 22cm	17cm	円形	U字形	なし	少量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
184号土坑跡	X = 36333 Y = -39627	30 × 25cm	30cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
185号土坑跡	X = 36332 Y = -39660	20 × 18cm	11cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の褐色土を含んだ黒褐色土。		
186号土坑跡	X = 36325 Y = -39623	34 × 25cm	17cm	楕円形	U字形	なし	微量の灰黄褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		
187号土坑跡	X = 36325 Y = -39624	40 × 34cm	6cm	楕円形	U字形	なし	微量の灰黄褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		
188号土坑跡	X = 36329 Y = -39627	30 × 26cm	18cm	楕円形	U字形	なし	微量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
189号土坑跡	X = 36327 Y = -39614	32 × 32cm	8cm	不定形	U字形	なし	白色軽石を含んだ黒褐色土。		
190号土坑跡	X = 36337 Y = -39628	45 × 35cm	23cm	不定形	U字形	なし	少量の白色軽石を含んだ黒褐色土。		
191号土坑跡	X = 36337 Y = -39627	35 × 26cm	7cm	楕円形	半円形	なし	微量の白色軽石と褐色土粒子を含んだ黒褐色土。		

4 井戸跡

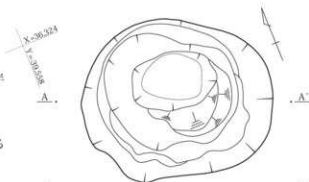
4区1号井戸(旧称=4区SK-25)

位置: X=36323 Y=-39557 規模: 210×180cm

深度: 200cm 形状: 平面形状は楕円形、断面形状は上半部が掘り鉢状、下半部が筒状を呈する。

重複遺構: なし。出土遺物: 土錘が出土している。

所見: 井戸枠の痕跡はなく、側面の所々に扶けがみられることから、素掘り井戸と考えられる。



5 その他の遺構

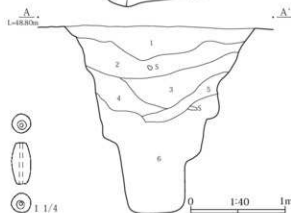
4区1号集石

位置: X=36329 Y=-39571

重複遺構: 13号溝跡と重複し、遺構検出レベルの差より、本遺構の方が新しいものと判断される。

出土遺物: 凝灰岩を含む礫595点、土器類は、土師器杯・小型甕、須恵器蓋・皿・壺・短頸甕片、土錘の他、黒色土器杯の底部に線刻の入ったものなど83点が出土している。

所見: 調査区中央よりやや北寄りに位置し、礫下には掘り込を有す、中央部は円形に礫を配する。祭祀遺構の可能性が高い。



- 1号井戸 埋土
- 1層 灰黄褐色土(00R 4/2) 多量の白色軽石(0m×0種)と少量の炭化物・粘土粒子を含む
- 2層 灰黄褐色土(00R 5/2) 多量の白色軽石を含む。1層土に追加
- 3層 灰黄褐色土(00R 4/2) 少量の白色軽石と黄色砂質ローム粒子を含む
- 4層 灰黄褐色土(00R 4/2) 少量の白色軽石と黄色砂質ロームブロック(φ20mm)を含む
- 5層 灰黄褐色土(00R 4/2) 多量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)を含む
- 6層 凝灰色土(100R 4/1) 両方黄色砂質ローム土を若干含む

第399図 4区1号井戸跡平・断面図、出土遺物

4区1号井戸跡出土遺物観察表

番号	種別 器物	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 観察手法	備考
				長さ	径	孔		
1.	土器品 錘	埋土中 完形	長さ 4.3 径 2.1 孔 0.4	① 凝砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ におい相付.5YR 6/3		外面側面ナデ、両端部へツナデ。 中心部縦に径4.0mmの穿孔。 重量: 16g	型取あり。	

4区1号集石(1面)

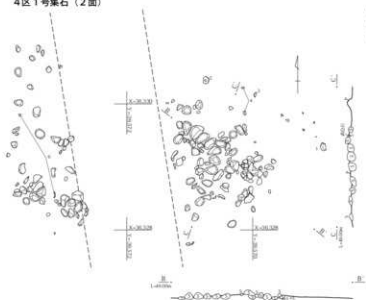


- 1号集石 埋土
- 1層 黒褐色土(00R 1/2) 粘付なし しまりあり 凝灰岩の破片を少量含む
- 2層 黒褐色土(00R 3/2) 粘付なし しまりあり 凝灰岩の破片をほとんど含まない

第400図 4区1号集石平・断面図(1)

第3章 検出道構と出土遺物

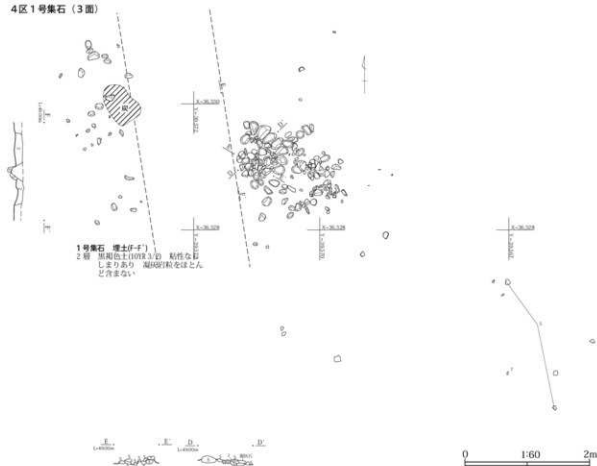
4区1号集石 (2面)



4区1号集石 (4面)



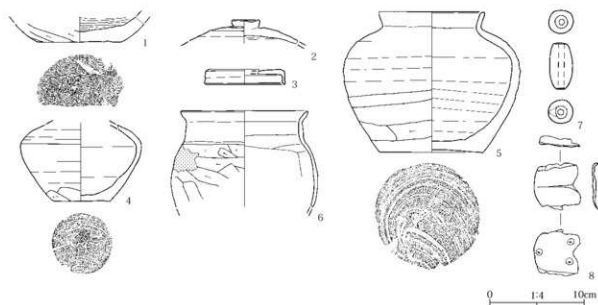
4区1号集石 (3面)



1号集石 埋土(D-F)

1層 小礫石 $\phi 30 \sim 40\text{mm}$ を中心とする。中心には黒灰質があり、これを囲むようにつめる。黒灰質には入らない。小礫の周囲には $\phi 20\text{cm}$ 程度のやや大ぶりな石を重畳に並べる。中心がくぼむように積まれている。

第401図 4区1号集石平・断面図(2)



第402図 4区1号集石出土遺物

4区1号集石跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	黑色土器 鉢	体部下半～底部	口径 — 底径 9.0 器高 — 器高 1/2	① 細砂粒・粗砂粒・粗焼 ② 酸化焼 良好 内面黒色 処理	③ 灰青(10YR 6/2)	外部：体部へラ削り。底部ナデ。 内部：体部～底部へラ磨き。	底部外面にへラ 記号「+」	
2	須恵器 鉢蓋	天井部～胴部 破片	口径 — 口径 2.8 器高 — 器高 ①灰青(6/1)	① 細砂粒・粗砂粒・粗焼 ② 還元焼 良好	③ 灰青(6/1)	ロウ口整形。回転右回り。 外面：天井部上半回転へラ削り。天井部下半横ナデ。横み 削り。 内面：天井部回転ナデ。		
3	須恵器 長頸直蓋	口縁部～天井部 破片	口径 8.4 底径 — 器高 1.6 器高 5/10	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 灰青(5/0)	ロウ口整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。天井部へラ削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
4	須恵器 壺	胴部～底部 1/3	口径 — 底径 6.0 器高 — 器高 ①灰青(7/1)	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 灰青(7/1)	ロウ口整形。 外面：胴部～胴部横ナデ。底部回転系切り後、へラ削り調整。 内面：口縁部～底部横ナデ。		
5	須恵器 短頸直	口縁部～底部 2/3	口径 11.0 底径 11.0 器高 14.8 器高 ①灰青(7.5/4/1)	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好	③ 灰青(7.5/4/1)	ロウ口整形。回転右回り。 外面：口縁部～胴部上半回転ナデ。下半回転へラ削り。底 部回転系切り。 内面：口縁部～胴部回転ナデ調整。		
6	土師器 小型甕	口縁部～胴部上半 破片	口径 13.2 底径 — 器高 — 器高 4.8 器高 ①灰青(5YR 4/2)	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好	③ 灰青(5YR 4/2)	縮み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位傾。中位縦方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。		
7	土製品 罎	完形	長さ 4.8 径 2.0 孔 0.6	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好	③ ①ふい焼(10YR 6/3)	ロウ口整形。回転右回り。 外面横面はナデ。両端部へラナデ。 中心部縦に径6.0mmの穿孔。	黒斑あり。 重量30g	
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	概要
8	副製品	蛇尾	両辺部欠損	2.4	2.1	0.2	6.0	

4区2号集石

位置：X=36324 Y=-39575

重複遺構：10号溝跡と重複し、遺構検出レベルの差より、本遺構の方が新しいものと判断される。

出土遺物：罎95点。土器片は検など10点ほどが出土している。

所見：調査区中央よりやや北寄りに位置し、すぐ北側には1号集石がある。1号集石とは異なり下面に浅い堀込を有する。位置的に1号集石に付随するものと考えられる。

4区1号・2号杭列

位置：X=36305 Y=-39561

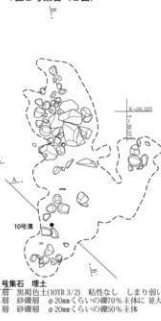
所見：15本の杭と杭痕が確認できた。出土した13本の杭はいずれも加工がされている。13号溝跡の底部にまで達しているものもある。13号溝跡に伴う柵(しがら)と考えられる。

第3章 検出遺構と出土遺物

4区2号集石 (1面)



4区2号集石 (2面)



4区2号集石 (3面)

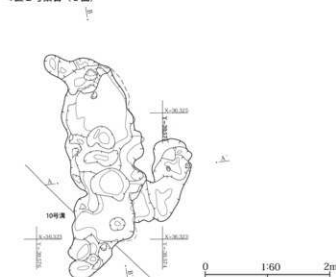


2号集石 埋土
 1層 黄褐色土10%以上 粘性なし、しまり強い砂礫をほとんど含まない
 2層 砂礫層 φ20mm以下の礫70%主体に 炭入～φ50mm程度の礫を含む
 3層 砂礫層 φ20mm以下の礫50%主体

4区2号集石 (4面)



4区2号集石 (5面)



0 1:60 2m

0 1:4 10cm

第403図 4区2号集石平・断面図、出土遺物

4区2号集石跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	陶器 碗	口縁部～底部 1/5	口径 12.7 底径 5.2 器高 4.6	① 羅砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内外面に種葉付着。
2	軟質陶器 焙烙	口縁部～底部 破片	口径 - 底径 - 器高 4.9	① 羅砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黒褐(2.5Y 3/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。底部ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

第3項 5区の遺構と遺物

1. 調査区の概要

平成15年10月、7区の調査に並行して、調査面までの深度や遺構の分布状況を把握するために、5区・6区のトレンチによる範囲確認調査を行った。その結果、6区については隣接区と同様の様相が見られ、全域の表土除去の必要性が認められたが、5区については区全域にわたり上層部は土取りにより削平、下面も近現代洪水の影響を大きく受けて遺構は全て削平されているとの判断に至り、全面的な表土掘削および調査を行わず、トレンチ調査をもって5区の調査を終えることとした。

5区トレンチの設定は、下掲図のとおり座標軸に沿わず、調査区に対して全域を網羅できるよう任意に設定した。トレンチで確認された落ち込みは不定形に蛇行し、その埋土が水性堆積によるものであることから、人為的な遺構ではなく、河道跡若しくは大規模な河川の決潰による自然災害の痕跡と判断された。

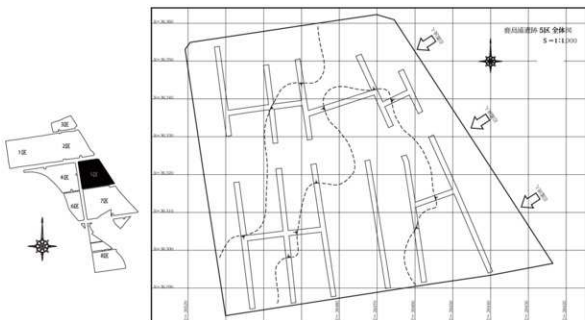
この氾濫跡は、隣接する6・7区へと続き、その時期については最も新しい出土遺物より昭和20年代頃と推定される。この時期の渡良瀬川水系の決潰・氾濫事例として、昭和22年9月のキャサリン(カスリン)台風・翌23年のアイオン台風・24年のキティー台風による未曾有の水害が記録されており、中でもキャサリン台風時には、渡良瀬川が増水し、葉鹿橋より上流側600mで堤防を越流、流域周辺の広範囲に床下浸水などの被害をもたらした。5～7区検出の氾濫跡もこの水害によるものと判断される。(「第3節 第2項 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世～)参照」)



5区トレンチ北半部(西より)



5区トレンチ南半部(西より)



第404図 5区全体図